

原田英語の

英熟語・イディオム問題集

Vol.2　標準編　STANDARD

合格点はここで決まる。差がつく頻出熟語

選択肢ごとの解説　紛らわしい表現の見分け方　書き込み確認テスト　赤シート対応　索引つき

対象　GMARCH・関関同立・国公立

レベル　合格点をとるための標準

1,183問

FEATURES

この問題集の特長

1 入試に出る熟語を、出る順に全部

原田英語の英熟語・イディオム大全の出る順ランク A（GMARCH・関関同立・国公立レベル）の熟語 1183 個を、分類ごと・出る順に並べました。

2 意味ではなく「使い方」を問う 4 択

入試で本当に問われる前置詞の選択・紛らわしい表現との選び分け・語法の誤りを、すべてオリジナルの問題で。

3 なぜ他の選択肢はダメなのかまで解説

正解の理由だけでなく、ひっかけの選択肢がなぜ入らないかまで。紛らわしい表現との「見分け方」も付けました。

4 同じ熟語を 2 回、違う形で確かめる

各章の最後に、例文の空所に 1 語を書き込む確認テスト。4 択で選べても書けない熟語をなくします。

5 赤シートで何度でも

正解と答えの熟語は赤字。赤シートを重ねればそのまま繰り返し使えます。チェック欄は 3 回分。

1183	1183	7	A
4 択問題	書き込み問題	章	出る順ランク

シリーズ全 4 巻（レベル別）

Vol.1	Vol.2	Vol.3	Vol.4
基礎編	標準編	難関編	発展編
共通テスト・日東駒専・中堅国公立	GMARCH・関関同立・国公立	早慶上智・難関国公立	最難関・長文・会話文
ランク S	この本	ランク B	ランク C

各熟語の語源・イメージ・会話例・音声は、サイト「原田英語の英熟語・イディオム大全」（haradaeigo.com/eijukugo/）で、索引の熟語名から探せます。問題と例文はすべてオリジナルで、過去問をそのまま載せたものではありません。

HOW TO USE

この本の使い方

ページの左に問題、右に解答と解説があります。右側を赤シートや手で隠して解きましょう。

◂問題（右を隠して解く）

0012 □□□

The candle went ＿＿＿＿ when someone opened the window.

① off　② up
③ out　④ down

解答・解説▸

③ go out 外出する；（明かり・火が）消える

訳 誰かが窓を開けたとき、ろうそくの火が消えた。

解説 火・ろうそくが「消える」は go out。go off は「（警報が）鳴る・爆発する」で炎が消える意味にはならない。go up は「上がる」、go down は「下がる・沈む」。風で炎が消えた場面なので out。

区別 **go out ⇔ go off** go off は「（目覚まし・警報が）鳴る」「（爆弾が）爆発する」「（食べ物が）腐る（英）」。go out は「（火・明かりが）消える」。見分け方：音や爆発なら go off、炎が消えるなら go out。

0001 通し番号（索引から引ける）
赤字 正解・熟語・意味（赤シートで消える）
解説 正解の理由と、他の選択肢がダメな理由
注意 入試での出方（区別がない熟語）
□□□ 解けたら印。3 回分
訳 問題文の日本語訳
区別 紛らわしい表現との意味の違いと見分け方

1. **1 回目：1 章ずつ解く。**迷った問題は、当たっても □ に印を付けずに残す。
2. **解説を読む。**正解の理由より「他の選択肢がダメな理由」を声に出して説明できるかを確かめる。
3. **章の最後の確認テスト。**例文の空所に 1 語を書き込む。書けなかった熟語の番号に戻る。
4. **2 回目・3 回目。**□ に印が付いていない問題だけを解き直す。3 つ全部に印が付けば合格。

学習の目安

1 日のペース	10 問	20 問	30 問
1 周にかかる日数	119 日	60 日	40 日
3 周（2・3 周目は半分の時間）	237 日	119 日	79 日

準拠アプリ

この本と同じ番号の問題を、スマホで解けます（無料）

haradaeigo.com/eijukugo/book/2/　4 択・書き込みテスト・苦手だけの復習・3 回正解で「合格」のチェック表

CONTENTS

目次

1 **句動詞（動詞＋前置詞・副詞）** No.0001〜0204
look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。

2 **動詞が中心の熟語・語法** No.0205〜0520
take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。

3 **be＋形容詞＋前置詞** No.0521〜0630
be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。

4 **前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語** No.0631〜0871
in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。

5 **会話文で出るイディオム** No.0872〜1045
Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。

6 **比喩のイディオムとことわざ** No.1046〜1181
break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。

7 **口語・スラング（原田英語 用語集）** No.1182〜1183
海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。

＋ **確認テスト（書き込み式）**
各章の最後。例文の空所に 1 語を書き込む

＋ **索引（アルファベット順）**
熟語から問題番号を引く

CHAPTER 1

句動詞（動詞＋前置詞・副詞）

look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。　No.0001〜0204（204 問）

問題

0001 □□□

Her new novel _____ last week, and it has already sold 100,000 copies.

① was come out　② came out
③ came up　④ came across

解答・解説（赤シートで隠せます）

② come out　出版される・発売される；明るみに出る

訳 彼女の新しい小説は先週出版され、すでに 10 万部売れている。

解説 本が「出版された」は come out。自動詞なので受動態 was come out は誤り。came up は「（話題が）出た」、came across は「偶然見つけた」で、主語の小説の発売を表せない。数字の売れ行きとも合う。

区別 **come out ⇔ come up**　come up は「（話題・問題が）持ち上がる」「（行事が）近づく」。come out は「外に出てくる・公になる」。見分け方：会議で話題に出るなら come up、本の発売や秘密の発覚なら come out。

0002 □□□

A: Have you been to the new café near the station? B: Not yet, but I'd like to check _____ this weekend.

① out it　② it in
③ it out　④ in it

③ check out
（ホテルを）チェックアウトする；〜を調べる

訳 A：駅の近くの新しいカフェに行ったことある？　B：まだだけど、今週末に行ってみたいな。

解説 「〜を見てみる」の check out は、目的語が代名詞 it なら check it out の語順。out it のように副詞の後ろに代名詞を置くのは誤り。check in は「チェックインする」で、カフェを見に行く意味にならない。

区別 **check out ⇔ check in**　check in は「（ホテル・空港で）到着の手続きをする」、check out は「（ホテルで）出る手続きをする」。前置詞は check in at ~ / check out of ~。見分け方：到着なら in、出発なら out。

0003 □□□

We're both too tired to cook tonight. Why don't we _____?

① eat out dinner　② go eating out
③ eat out of　④ eat out

④ eat out　外食する

訳 今夜は二人とも疲れていて料理する気になれないね。外食しない？

解説 「外食する」は自動詞 eat out で、目的語を取らない。eat out dinner は目的語を付けた誤り。go eating out という形は使わない（go out to eat なら可）。eat out of は「〜から（直接）食べる」で後ろに名詞が必要。

区別 **eat out ⇔ eat outside**　eat outside は「屋外で（外の空気の中で）食べる」で、庭や公園で食べること。eat out は「外食する（店で食べる）」。見分け方：レストランで食べるなら eat out、ピクニック・テラスなど屋外なら eat outside。

0004 ☐☐☐

I called the ticket office many times, but I couldn't get ＿＿＿＿ to anyone.

① through　② over
③ by　④ away

① get through ~ ～を終える；～を切り抜ける

訳 チケット売り場に何度も電話したが、誰にもつながらなかった。

解説 電話が相手に「通じる」は get through to ~。through は回線を通り抜けて届く様子。get over は「（病気・失敗）を乗り越える」、get by は「何とかやっていく」、get away は「逃げる」で、電話の文脈に合わない。

区別 **get through ~ ⇔ go through ~** go through は「（つらいこと）を経験する」「～を詳しく調べる」。get through は「～を乗り切る・やり終える」と、終わりまで行き着く感じが強い。見分け方：経験している最中なら go through、通り抜けて終えたなら get through。

0005 ☐☐☐

Your grades have improved a lot this term. Keep ＿＿＿＿ the good work!

① on　② off
③ up　④ out

③ keep up ~ ～を維持する；～を続ける

訳 今学期は成績がずいぶん上がったね。その調子で頑張って！

解説 Keep up the good work! は「その調子で頑張って」という決まり文句で、keep up は「（水準）を維持する」。keep on ~ は後ろに ~ing を取り「～し続ける」の形。keep off（避ける）、keep out（入れない）は意味が合わない。

区別 **keep up ~ ⇔ keep up with ~** keep up with は「（人・流行・変化）に遅れずについていく」で、すでに並んでいる状態を保つ。catch up with は「（遅れていて）追いつく」。見分け方：遅れずに並走し続けるなら keep up with、差を縮めて追いつくなら catch up with。

0006 ☐☐☐

This is a family matter, so please keep ＿＿＿＿ of it.

① away　② out
③ up　④ back

② keep out (of ~)
（～の）中に入らない；（～を）中に入れない

訳 これは家族の問題だから、口を出さないでください。

解説 「（問題）に関わらない」は keep out of ~。away を使うなら keep away from ~ で、of とは組まない。keep up は「維持する」、keep back は「後ろに下がる・抑える」で of it と合わない。家族の問題に口を出さないでという場面。

区別 **keep out (of ~) ⇔ keep off ~** keep off は「（芝生など表面）に立ち入らない・触れない」（Keep off the grass）、keep out は「（建物・区域の）中に入らない」。見分け方：表面に乗る・触れるなら off、囲まれた中へ入るなら out (of)。

0007 ☐☐☐

That's an interesting theory, but can you back it _____ with any data?

① up ② down
③ out ④ off

① back up ~ ～を支持する；～を裏付ける

訳 それは面白い説だが、何かデータで裏づけることはできますか。

解説 back up A with B で「B で A を裏付ける」。代名詞 it は back と up の間に置く。back down は「引き下がる」で目的語を取らず、back out は「手を引く」、back off は「後ずさる」で意味が合わない。

区別 **back up ~ ⇔ back down** back down は「（主張・要求を）引っ込める・引き下がる」。back up は「支える・裏付ける」で、意味の方向が逆。見分け方：主張を取り下げるなら down、主張を支えるなら up。

0008 ☐☐☐

Emma broke _____ with her boyfriend because he never listened to her.

① down ② up
③ out ④ into

② break up with ~ （恋人など）と別れる

訳 エマは、彼氏が全く話を聞いてくれないので、彼と別れた。

解説 「（恋人）と別れる」は break up with ~。break down は「故障する・泣き崩れる」、break out は「（戦争・火事が）起こる」、break into は「押し入る」で、with ＋ 恋人と組んで別れの意味にならない。

区別 **break up with ~ ⇔ make up with ~** make up with は「（けんかした相手と）仲直りする」で、break up with の反対方向。見分け方：関係が終わるなら break up with、関係が元に戻るなら make up with。どちらも with ＋ 人。

0009 ☐☐☐

Tickets for her concerts are very hard to come _____. They sell out in minutes.

① up ② over
③ out ④ by

④ come by ~ ～を手に入れる；（ちょっと）立ち寄る

訳 彼女のコンサートのチケットはなかなか手に入らない。数分で売り切れてしまう。

解説 be hard to come by で「なかなか手に入らない」。come up は「話題に出る」、come over は「やって来る」、come out は「出る・発売される」で、すぐ売り切れるチケットの入手の難しさを表せない。

区別 **come by ~ ⇔ come across ~** come across は「～に偶然出会う・偶然見つける」で、探していなかった物に出くわす。come by は「（努力して・どうにか）手に入れる」。見分け方：hard to ~ の形で入手の難しさを言うなら come by、偶然見つけたなら come across。

0010 ☐☐☐

To get to the museum, you need to get _____ the train at the next station.

① out ② off
③ away ④ over

② get off ~ （乗り物）から降りる；（仕事）を終える

訳 博物館へ行くには、次の駅で電車を降りる必要がある。

解説 電車から「降りる」は get off ~。get out だけでは後ろに名詞を置けず（get out of ~ なら車に使う）、get away は「逃げる」、get over は「乗り越える」で意味が合わない。電車・バスは on / off と覚える。

区別 **get off ~ ⇔ get out of ~** 乗り物の種類で動詞が変わる。立って乗れる大型の乗り物（bus / train / plane / bike）は get on / get off、乗用車・タクシーなどかがんで乗る物は get in / get out of。見分け方：car / taxi なら get out of。

0011 ☐☐☐

A: How are you getting _____ with your new classmates? B: Pretty well. They're all very friendly.

① on ② over
③ up ④ off

① get on ~ （バス・電車など）に乗る；うまくやっていく

訳 A：新しいクラスメートとはうまくやってる？ B：かなりね。みんなとても親しみやすいよ。

解説 get on with ＋ 人で「～と仲良くやる」（≒ get along with）。get over は「乗り越える」、get up は「起きる」、get off は「降りる」で、人間関係を表さない。B の答えから人付き合いの調子を聞いていると分かる。

区別 **get on ~ ⇔ get in ~** 乗用車・タクシーなど、かがんで「中に」入る乗り物は get in / into、バス・電車・飛行機など立って乗る大型の物は get on。見分け方：car / taxi なら in、bus / train なら on。

0012 ☐☐☐

The candle went _____ when someone opened the window.

① off ② up
③ out ④ down

③ go out 外出する；（明かり・火が）消える

訳 誰かが窓を開けたとき、ろうそくの火が消えた。

解説 火・ろうそくが「消える」は go out。go off は「（警報が）鳴る・爆発する」で炎が消える意味にはならない。go up は「上がる」、go down は「下がる・沈む」。風で炎が消えた場面なので out。

区別 **go out ⇔ go off** go off は「（目覚まし・警報が）鳴る」「（爆弾が）爆発する」「（食べ物が）腐る（英）」。go out は「（火・明かりが）消える」。見分け方：音や爆発なら go off、炎が消えるなら go out。

0013 ☐☐☐

Keep away _____ the edge of the cliff. It's very dangerous.

① of ② off
③ from ④ out

③ keep away from ~ ～に近づかない；～を避ける

訳 崖の縁に近づかないで。とても危ないよ。

解説 「～に近づかない」は keep away from ~。away は from と組んで「～から離れて」を表す。of は keep out of の形、off は keep off ~ の形で使い away とは並ばない。out も away の後ろに置けない。

区別 **keep away from ~ ⇔ keep out of ~** keep out of は「（部屋・区域）の中に入らない・（問題）に関わらない」。keep away from は「そばに近寄らない」。見分け方：中に入るかどうかなら out of、距離を取るなら away from。前置詞も of / from で違う。

0014 ☐☐☐

No matter what other people say about you, I'll always stand ＿＿＿ you.

① by　② for
③ out　④ off

① stand by (~)　（～を）支持する・味方する；待機する

訳 ほかの人があなたのことを何と言おうと、私はいつでもあなたの味方だ。

解説 stand by ＋ 人で「～の味方をする・支える」。stand for は「（略語が）～を表す・（主義）を支持する」で人の味方には使わない。stand out は「目立つ」、stand off は「離れている」で意味が合わない。

区別 **stand by (~) ⇔ stand for ~**　stand for は「（略語・記号が）～を表す」「～を支持する（主義）」。stand by は「（人）の味方をする・そばにいる」。見分け方：UN stands for United Nations のように略語の意味なら stand for、困っている人を支えるなら stand by。

0015 ☐☐☐

If people treat you unfairly, you should stand up ＿＿＿ yourself and say no.

① to　② with
③ by　④ for

④ stand up for ~　～を擁護する；～の味方をする

訳 人に不当な扱いを受けたら、自分を守って、嫌だと言うべきだ。

解説 stand up for oneself で「自分の立場を守る・言いなりにならない」。stand up to は「（敵対する相手）に立ち向かう」で、to の後ろは自分ではなく相手になる。with / by は stand up と組んでこの意味にならない。

区別 **stand up for ~ ⇔ stand up to ~**　stand up to は「（強い相手・圧力）に立ち向かう・屈しない」で、to の後ろは敵対する相手。stand up for は「（守りたい人・物）を擁護する」で、for の後ろは味方。見分け方：to の後ろはいじめっ子など敵、for の後ろは守る対象。

0016 ☐☐☐

Please turn ＿＿＿ your reports to the office by Friday afternoon.

① into　② on
③ out　④ in

④ turn in ~　～を提出する；（犯人など）を引き渡す

訳 金曜日の午後までにレポートを事務室に提出してください。

解説 「（書類）を提出する」は turn in ~（＝ hand in）。turn into は「～に変わる」、turn on は「（電気）をつける」、turn out は「～だと分かる・（明かり）を消す」で、レポートの提出を表せない。

区別 **turn in ~ ⇔ turn into ~**　turn into は「～に変わる・～になる」（The caterpillar turned into a butterfly）で、変化を表す。turn in は「提出する」。見分け方：into ＋ 変化後の姿なら変身、in ＋ 書類なら提出。

0017 ☐☐☐

The sign in the park says, Keep _____ the grass.

① out　② away
③ off　④ from

③ keep off ~ ～に立ち入らない；～を避ける

訳 公園の看板には「芝生に入らないでください」と書いてある。

解説 芝生に「立ち入らない」は keep off ~。out を使うなら keep out of ~（中に入らない）で of が必要、away も keep away from ~ と from が必要。from 単独は keep の後ろに置けない。掲示の決まり文句。

区別 **keep off ~ ⇔ keep out (of ~)** keep off は「表面に乗らない・触れない」（芝生・線路など）、keep out (of) は「（囲まれた）中に入らない」（部屋・区域）。見分け方：上に乗るなら off、中に入るなら out。

0018 ☐☐☐

Before the trip, my father _____ out the map on the table and showed us the route.

① lay　② laid
③ lied　④ lain

② lay out ~ ～を広げる；～を並べる

訳 旅行の前に、父はテーブルの上に地図を広げて、私たちに道順を見せてくれた。

解説 後ろに目的語 the map があるので他動詞 lay（並べる・広げる）の過去形 laid。lay は自動詞 lie（横たわる）の過去形で目的語を取れない。lied は「うそをついた」、lain は lie の過去分詞で単独では使えない。

区別 **lay out ~ ⇔ lie（自動詞）** lie（横たわる）は自動詞で lie - lay - lain、lay（横たえる・置く）は他動詞で lay - laid - laid。lie の過去形が lay なので混同しやすい。見分け方：後ろに目的語があれば lay（過去形 laid）。

0019 ☐☐☐

Pandas live almost entirely _____ bamboo, eating up to 20 kilograms a day.

① by　② with
③ at　④ on

④ live on ~ ～を常食とする；～（の収入）で生活する

訳 パンダはほとんど竹だけを食べて生きており、1 日に 20 キロも食べる。

解説 「～を常食とする」は live on ~。生活が食べ物に支えられているイメージの on。live by は「（主義）に従って生きる」、live with は「～と一緒に暮らす・（不快なこと）を我慢する」で意味が合わない。at も bamboo とは組まない。

区別 **live on ~ ⇔ live by ~** live on は食べ物・収入など生活を支える物に頼って暮らす。live by は主義・規則に従って生きる（live by one's principles）、または手段で生計を立てる（live by farming）。見分け方：後ろが食べ物やお金なら on、ルールや信念なら by。

0020 ☐☐☐

All players must abide ＿＿＿＿ the rules of the game.

① to　② on
③ for　④ by

④ abide by ~ （規則・約束など）を守る；~に従う

訳 すべての選手は試合のルールを守らなければならない。

解説 「（規則）を守る」は abide by ~ で、前置詞は by。stand by と同じく「~のそばにとどまる」イメージ。to / on / for は abide と組んでこの意味にならない。comply with / adhere to など、似た意味の動詞と前置詞を混ぜないこと。

区別 **abide by ~ ⇔ comply with ~** どちらも規則に「従う」だが、前置詞が違う（abide by / comply with）。comply with は要求・命令・基準に応じる、abide by は規則・約束・判断を守り抜く響き。見分け方：動詞ごとに前置詞を覚える。

0021 ☐☐☐

When the movie ＿＿＿＿, we went to a café to talk about it.

① was overed　② overed
③ was over　④ had overed

③ be over 終わっている；済んでいる

訳 映画が終わると、私たちはその感想を話しにカフェへ行った。

解説 「終わる」は be over で、over は動詞ではないので -ed を付けない。was overed / overed / had overed は存在しない形。時制は be 動詞で表すので was over が正しい。

区別 **be over ⇔ be finished** be finished は finish の過去分詞で「終えられた・完了した」、be over は「（時間的に）終わった」。どちらも「終わった」と訳せるが、over は動詞ではないので -ed は付かない。見分け方：over に活用はない。

0022 ☐☐☐

This old song always brings ＿＿＿＿ memories of my high school days.

① back　② out
③ about　④ off

① bring back ~ ~を思い出させる；~を戻す

訳 この古い歌を聞くと、いつも高校時代の思い出がよみがえる。

解説 「（記憶）を思い出させる」は bring back ~。bring out は「引き出す・（製品）を出す」、bring about は「引き起こす」、bring off は「やってのける」で、記憶をよみがえらせる意味にならない。

区別 **bring back ~ ⇔ remind A of B** remind A of B は「A に B を思い出させる」で、思い出す人 A を目的語に取る。bring back は思い出す内容（memories）を目的語に取り、人は to A で添える。見分け方：人が目的語なら remind、記憶が目的語なら bring back。

0023 ☐☐☐

He doesn't care _____ whether he wins or loses; he just enjoys the game.

① about ② for
③ to ④ with

① care about ～ ～を気にかける；～に関心を持つ

訳 彼は勝つか負けるかを気にしていない。ただ試合を楽しんでいるだけだ。

解説 「勝ち負けを気にしない」は care about。about の後ろには whether 節のような wh 節も置ける。care for は「世話をする・好む」で、後ろは名詞に限られ、whether 節は続かない。care to は「～したいと思う」で後ろは動詞の原形。care with とは言わない。

区別 **care about ～ ⇔ care for ～** care about は「気にかける・関心を持つ」で、wh 節も続けられる。care for は「世話をする」（＝look after）、否定・疑問で「好む」（Would you care for some tea?）。見分け方：病人・子ども・動物の世話なら care for、関心・重要さなら care about。care for の後ろに whether 節は来ない。

0024 ☐☐☐

It's cloudy now, but the weather forecast says it will clear _____ by noon.

① out ② away
③ off ④ up

④ clear up （天気が）晴れる；～を解決する

訳 今は曇っているが、天気予報によると昼までには晴れるらしい。

解説 天気が「晴れる」は clear up。clear out は「（場所）を空にする・出ていく」、clear away は「（物）を片付けて取り除く」で目的語が要る。clear off は「立ち去る（英口語）」。天候に使うのは clear up。

区別 **clear up ⇔ clean up ～** clean up は「（汚れを）掃除してきれいにする」。clear up は「（散らかった物を）片付ける」「（問題を）解決する」「（天気が）晴れる」。見分け方：天気・誤解・謎なら clear up、汚れ・ごみの掃除なら clean up。

0025 ☐☐☐

I'm sorry, but something urgent has come _____, so I can't attend the meeting today.

① up ② out
③ over ④ across

① come up 話題に出る；（問題・機会が）生じる

訳 申し訳ないのですが、急用ができたので、今日の会議には出られません。

解説 「急用ができる」は Something has come up. で、come up は「（予定外のことが）生じる」。come out は「出版される・明るみに出る」、come over は「やって来る」、come across は「偶然見つける」で、急用の発生を表せない。

区別 **come up ⇔ come up with ～** come up with は「（考え・解決策）を思いつく・提案する」で人が主語の他動詞的な表現。come up は「（話題・問題が）出てくる」で、主語は話題・問題。見分け方：with ＋ アイデアなら思いつく。

0026 □□□

This temple ＿＿＿＿ back to the eighth century.

① is dated　② is dating
③ has dated　④ dates

④ date back to ~ ～に遡る；～から始まる

訳 この寺は 8 世紀に遡る。

解説 date back to ~ は「～に遡る」という状態を表す自動詞で、現在形で使う。主語 temple は三人称単数なので dates。受け身の is dated、進行形の is dating は使わない。has dated は「（ある時点から）古くなった」に近い意味になり、ここでは不自然。

区別 **date back to ~ ⇔ date from ~** date back to と date from はほぼ同じ意味だが、back to は「～まで遡る」と現在から過去を振り返る向き、from は「～から（続いている）」と起点を示す向き。見分け方：back がある形には to、back がない形には from を付ける。どちらも現在形で受け身にしない。

0027 □□□

It's hard to get ＿＿＿＿ on such a small salary in a big city like Tokyo.

① over　② through
③ across　④ by

④ get by なんとかやっていく；（そばを）通り抜ける

訳 東京のような大都市で、そんなに少ない給料でやっていくのは大変だ。

解説 get by on ＋ 収入で「～で何とかやっていく」。get over は「乗り越える」、get through は「終える・切り抜ける」で on ＋ 収入とは組まず、get across は「伝える」。少ない給料で暮らす苦労を表すのは get by。

区別 **get by ⇔ get along** get along は「（人と）仲良くやる」「（物事が）進む」。get by は「（不十分な条件で）どうにか暮らす・切り抜ける」。見分け方：お金・能力が足りない中で何とかするなら get by、人間関係なら get along。

0028 □□□

A: May I use your dictionary for a minute? B: Sure, ＿＿＿＿.

① go ahead　② go away
③ go out　④ go back

① go ahead 先に行く；（許可して）どうぞ

訳 A：ちょっと辞書を使ってもいい？　B：もちろん、どうぞ。

解説 許可を求められて「どうぞ」と答えるのは Go ahead.。go away は「あっちへ行け」、go out は「外出する」、go back は「戻る」で、辞書を使ってよいという返事にならない。Sure との組み合わせが定番。

区別 **go ahead ⇔ go away** go away は「立ち去る」で、命令文 Go away! は「あっちへ行け」と失礼な言い方。go ahead は「どうぞ（やって）」と許可。見分け方：相手の頼みを受け入れるなら go ahead、追い払うなら go away。

0029 □□□

Take this medicine and get some rest. The pain should ＿＿＿＿ in a few days.

① go ahead　② go away
③ go out　④ go over

② go away 立ち去る；（痛み・問題が）なくなる

訳 この薬を飲んで休みなさい。数日で痛みは消えるはずだ。

解説 痛みが「なくなる」は go away。go ahead は「どうぞ・先に進む」、go out は「外出する・（火が）消える」、go over は「調べる・見直す」で、痛みが消えることを表せない。

区別 **go away ⇔ go out** go out は「外出する」「（火・明かりが）消える」。go away は「（その場から）いなくなる」「（痛み・問題が）なくなる」。見分け方：痛み・症状が消えるなら go away、火が消えるなら go out。

0030 □□□

Do you think this red tie goes ＿＿＿＿ my gray suit?

① to　② for
③ with　④ at

③ go with ~ ～と調和する・合う；～に付随する

訳 この赤いネクタイは私のグレーのスーツに合うと思う？

解説 物と物が「合う・調和する」は go with ~。to / for / at は go と組んでこの意味にならない（go for は「～を選ぶ」）。ネクタイとスーツの組み合わせを尋ねる典型的な場面。

区別 **go with ~ ⇔ match / suit** match は「（物と物が）合う・調和する」で他動詞（This tie matches your shirt）。suit は「（服・色が）人に似合う」（Red suits you）。go with は物と物の組み合わせ。見分け方：人に似合うなら suit、物同士なら go with / match。

0031 □□□

She got so angry that she hung ＿＿＿＿ on me in the middle of our conversation.

① on　② out
③ off　④ up

④ hang up 電話を切る；（服など）を掛ける

訳 彼女はひどく怒って、話の途中で私からの電話を一方的に切った。

解説 hang up on A で「（話の途中で）A の電話を一方的に切る」。hang on は「（切らずに）待つ」で反対の意味、hang out は「ぶらぶら過ごす」、hang off という形は電話に使わない。怒って電話を切った場面。

区別 **hang up ⇔ hang on / hold on** hang on / hold on は「（電話を切らずに）待つ」で、hang up の反対。見分け方：電話を終えるなら hang up、そのまま待つなら hang on。Hang on a minute.（少々お待ちください）。

0032 □□□

Sorry I'm late. I was held ＿＿＿＿ in a traffic jam for an hour.

① on　② up
③ out　④ off

② hold up ~ ～を遅らせる；～を持ち上げる

訳 遅れてごめん。1 時間渋滞で足止めされていたんだ。

解説 be held up で「（渋滞などで）遅れる・足止めされる」。hold on は「待つ」、hold out は「持ちこたえる・差し出す」、hold off は「延期する・寄せつけない」で、遅刻の理由にならない。

区別 **hold up ~ ⇔ hold on** hold on は「（電話を切らずに）待つ」「しっかりつかまる」。hold up は「遅らせる・持ち上げる」。見分け方：遅刻の言い訳で受動態 be held up なら up、電話で「待って」なら hold on。

0033 □□□

Could you pass this message ＿＿＿＿ to Mr. Sato when he comes back?

① away　② by
③ on　④ off

③ pass on ~ ～を伝える；（病気）をうつす

訳 佐藤さんが戻ってきたら、この伝言を伝えていただけますか。

解説 「（伝言）を伝える」は pass on A to B（pass A on to B）。pass away は「亡くなる」で目的語を取らない。pass by は「そばを通り過ぎる」、pass off は「（偽物を本物として）通す」で、伝言を渡す意味にならない。

区別 **pass on ~ ⇔ pass away** pass away は「亡くなる」（die の遠回しな言い方）で自動詞。pass on にも古くは「亡くなる」の意味があるが、入試で問われるのは「伝える」の pass on と「亡くなる」の pass away の区別。見分け方：目的語（伝える物）があれば pass on。

0034 ☐☐☐

She puts ＿＿＿＿ 10,000 yen every month for her trip to Europe next year.

① off　② aside
③ out　④ on

② put aside ~ ～を取っておく；（お金）を貯える

訳 彼女は来年のヨーロッパ旅行のために、毎月１万円を取っておいている。

解説 「（お金）を取っておく・貯える」は put aside ~。put off は「延期する」、put out は「（火）を消す・出す」、put on は「着る」で、旅行のためにお金を確保する意味にならない。

区別 **put aside ~ ⇔ put off ~** put off は「延期する」。put aside は「（今は使わずに）取っておく・わきに置く」。見分け方：予定を後ろへずらすなら put off、お金・物を後のために確保するなら put aside。

0035 ☐☐☐

The climbers set out ＿＿＿＿ the top of the mountain early in the morning.

① for　② at
③ on　④ with

① set out

出発する；（set out to do で）～し始める・～しようとする

訳 登山者たちは早朝に山頂を目指して出発した。

解説 「～へ向けて出発する」は set out for ~。for は行き先・目的地を示す（leave for / start for と同じ）。at は場所の一点、on は set out on a journey のように旅そのものに使い、目的地には付かない。with も不可。

区別 **set out ⇔ set off** set off も「出発する」で、ほぼ同じ意味。set off は「（警報）を鳴らす」「（爆弾）を爆発させる」の意味もある。set out は set out to do（～しようとする）の形が特徴。見分け方：to do が続けば set out。

0036 ☐☐☐

I signed up ＿＿＿＿ a cooking class at the community center to learn how to make bread.

① on　② by
③ for　④ of

③ sign up for ~ ～に申し込む；～に登録する

訳 パンの作り方を学ぶため、地域センターの料理教室に申し込んだ。

解説 「（講座）に申し込む」は sign up for ~。for は「～を求めて・～のために」で、apply for / register for と同じ。sign up on / by / of では申し込む対象を表せない。enroll in なら in を使うので、動詞ごとに前置詞を覚える。

区別 **sign up for ~ ⇔ enroll in ~** sign up for は講座・イベント・サービスなどに名前を書いて申し込む、と広く使えるくだけた言い方。enroll in は学校・講座に正式に入学・登録すること。見分け方：前置詞が違う（sign up for / enroll in）。apply for は「（仕事・ビザなど）に応募・申請する」。

0037 ☐☐☐

She decided to jog every morning, and she stuck to ＿＿＿＿ every day, even in winter.

① run　② running
③ ran　④ have run

② stick to ~ ～を守り通す；～をやり通す

訳 彼女は毎朝ジョギングすることに決め、冬でも毎日走ることをやり通した。

解説 stick to の to は前置詞なので、後ろに動詞を置くときは動名詞にする。よって running が正しい。run / have run は to を不定詞と取り違えた形。ran は過去形で、前置詞の後ろには置けない。look forward to ~ing と同じ考え方。

区別 **stick to ~ ⇔ stick with ~** stick to は計画・規則・決定・話題を「守り通す・外れない」。stick with は人・物・活動から「離れずに付き合い続ける」（stick with a friend / stick with the piano）。見分け方：決まり事や方針なら to、人や続けている活動なら with が多い。

0038 ☐☐☐

A: Have you finished your science report? B: Not yet. I'm still working ＿＿＿＿ it.

① out　② off
③ up　④ on

④ work on ~ ～に取り組む；～に影響を与える

訳 A：理科のレポートは終わった？　B：まだだよ。今も取り組んでいるところなんだ。

解説 「～に取り組んでいる最中だ」は be working on ~。work out は「解決する・うまくいく」、work off は「（体重など）を運動で落とす」、work up は「（気持ち）をかき立てる」で、レポートを作成中の意味にならない。

区別 **work on ~ ⇔ work out** work out は「（問題）を解決する・考え出す」「うまくいく」「運動する」。work on は「（完成に向けて）取り組んでいる最中」。見分け方：結果が出る・解けるなら work out、作業中なら work on。

0039 ☐☐☐

Your phone number is long. Let me write ＿＿＿＿ so I don't forget it.

① it down　② down it
③ it off　④ off it

① write down ~ ～を書き留める

訳 あなたの電話番号は長いね。忘れないように書き留めておくよ。

解説 write down の目的語が代名詞 it なら write it down の語順。down it のように副詞の後ろに代名詞を置くのは誤り。write off は「（借金など）を帳消しにする・見限る」で、メモする意味にならない。

区別 **write down ~ ⇔ write out ~** write out は「（省略せずに）全部書き出す・清書する」。write down は「（忘れないように）書き留める」。見分け方：メモなら write down、完全な形で書き上げるなら write out。

0040 □□□

Fortunately, no one was hurt when the bomb blew ＿＿＿＿ in the empty building.

① up　② out
③ off　④ down

① blow up 爆発する；～を爆破する

訳 幸い、誰もいない建物で爆弾が爆発したとき、けが人はいなかった。

解説 爆弾が「爆発する」は blow up。blow out は「（火）を吹き消す」、blow off は「吹き飛ばす」で目的語が要り、blow down は「（風で）倒す・倒れる」で、爆発を表せない。

区別 **blow up ⇔ blow out** blow out は「（ろうそく・火）を吹き消す」。blow up は「爆発する・ふくらませる」。見分け方：ケーキのろうそくなら blow out、爆弾・風船なら blow up。

0041 □□□

I bumped ＿＿＿＿ my old classmate at the station yesterday. I hadn't seen him in ten years.

① into　② to
③ on　④ over

① bump into ～ ～に偶然出会う；～にぶつかる

訳 昨日、駅で昔のクラスメートにばったり会った。10 年ぶりだった。

解説 「～に偶然出会う」は bump into ～。to / on / over は bump と組んで偶然の出会いを表さない。10 年ぶりに会ったという後半から、予定外の出会いだと分かる。

区別 **bump into ～ ⇔ run into ～** run into も「偶然出会う」で bump into とほぼ同じ。run into には「（困難）に直面する」（run into trouble）の意味もある。どちらも into。見分け方：問題・困難に出くわすなら run into。

0042 □□□

When she heard the funny story, she burst out ＿＿＿＿.

① to laugh　② laughing
③ laugh　④ laughter

② burst out ~ing 急に～し出す

訳 その面白い話を聞いて、彼女は突然笑い出した。

解説 burst out ~ing で「急に～し出す」なので laughing。to laugh / laugh は burst out の後ろに置けない。名詞 laughter は burst into laughter の形で使い、out とは組まない。

区別 **burst out ~ing ⇔ burst into ～** burst into の後ろは名詞（tears / laughter / flames）、burst out の後ろは ~ing（crying / laughing）。見分け方：into ＋ 名詞、out ＋ ~ing。burst into tears ＝ burst out crying。

0043 □□□

I'm in a meeting right now. Can I call you ＿＿＿＿ in about an hour?

① in　② out
③ off　④ back

④ call back 折り返し電話する；～を呼び戻す

訳 今、会議中なんだ。1 時間くらいしたら折り返し電話してもいい？

解説 「（後で）かけ直す・折り返す」は call A back。call in は「（専門家）を呼ぶ・立ち寄る」、call out は「大声で呼ぶ」、call off は「中止する」で、電話をかけ直す意味にならない。

区別 **call back ⇔ call up ～** call up は「～に電話をかける」（主に米）で、最初にかける電話。call back は「（かかってきた電話に）折り返す・かけ直す」。見分け方：back は「返して・もう一度」。

0044 ☐☐☐

We arrived at the hotel at 3 p.m. and checked in ———— the front desk.

① on ② at
③ with ④ for

② check in
（ホテル・空港で）チェックインする；（人に）連絡を入れる

訳 私たちは午後 3 時にホテルに着き、フロントでチェックインした。

解説 ホテルの受付で「チェックインする」は check in at ~（地点の at）。on は面に、for は目的（check in for a flight 便の搭乗手続き）に使い、with は人と連絡を取る意味（check in with A）になるので受付には合わない。

区別 **check in ⇔ check out** check out は「（ホテルを）出る手続きをする」（check out of the hotel）で反対。他動詞で「調べる・見てみる」の意味もある。見分け方：到着なら in、出発なら out。前置詞は at（in）と of（out）。

0045 ☐☐☐

I have a sore throat and a slight fever. I think I'm coming down ———— a cold.

① to ② by
③ on ④ with

④ come down with ~ （病気）にかかる

訳 喉が痛くて少し熱がある。風邪をひきかけているようだ。

解説 「（病気）にかかる」は come down with ~。to / by / on は come down と組んで病気にかかる意味にならない。のどの痛みと微熱から、風邪をひきかけていると分かる。

区別 **come down with ~ ⇔ come up with ~** come up with は「（案）を思いつく」。come down with は「（病気）にかかる」。down と up の一語違いで意味が全く違う。見分け方：後ろが病名なら down、アイデアなら up。

0046 ☐☐☐

Her grandfather died ———— cancer at the age of 80.

① of ② at
③ by ④ for

① die of ~ ~（病気・飢えなど）で死ぬ

訳 彼女の祖父は 80 歳のとき、がんで亡くなった。

解説 病気が死因のときは die of ~（from も可）。by は受け身の動作主に使う前置詞で、die は受け身にしないので不可。at は年齢（at the age of）で使われており、病名の前には置かない。die for は「~のために死ぬ・命をささげる」で意味が合わない。

区別 **die of ~ ⇔ be killed in ~** die of / from は病気・飢えなど体の内側からの死因。事故・戦争・災害で突然命を落とすときは be killed in an accident / a war が自然。見分け方：病気や衰弱なら die of、事故や戦争なら be killed in。be killed は受け身なので by 以下が来ることもある。

0047 □□□

He copied his friend's homework, but the teacher noticed. He didn't get away ＿＿＿ it.

① from　② of
③ with　④ by

③ get away with ~

～を罰せられずにやりおおせる；～で済む

訳 彼は友達の宿題を写したが、先生に気づかれた。うまく逃れることはできなかったのだ。

解説 「（悪事）をして罰を免れる」は get away with ~。from を使うと get away from ~（～から逃れる）で、it（宿題を写したこと）から離れる意味になり文脈に合わない。of / by も get away と組んでこの意味にならない。

区別 **get away with ~ ⇔ get away from ~** get away from は「～から逃れる・離れる」（get away from the city）。get away with は「（悪事）をしてもとがめられない」。見分け方：from ＋ 場所・人なら逃げる、with ＋ 悪事なら罰を免れる。

0048 □□□

My brother always tries to get out of ＿＿＿ the dishes after dinner.

① to do　② doing
③ do　④ done

② get out of ~

～から出る；（義務・やりたくないこと）を逃れる

訳 兄［弟］はいつも夕食後の皿洗いをしないで済まそうとする。

解説 get out of ~ の of は前置詞なので後ろは動名詞 doing。to do / do / done は前置詞の後ろに置けない。「皿洗いを何とかしてやらずに済ませようとする」という、義務を逃れる意味の get out of。

区別 **get out of ~ ⇔ get off ~** 乗り物から降りるとき、乗用車・タクシーは get out of、バス・電車・飛行機は get off。見分け方：かがんで乗る小さな車なら out of、立って乗る大きな乗り物なら off。

0049 □□□

I got ＿＿＿ know her well when we were in the same tennis club.

① to　② for
③ into　④ at

① get to ~

～に着く；（get to do）～するようになる・～する機会を得る

訳 同じテニス部にいたとき、私は彼女とよく知り合うようになった。

解説 get to do で「～するようになる」。get to know ~ は「～と知り合いになる・～をよく知るようになる」という定番の形。for / into / at の後ろには動詞の原形を置けない。

区別 **get to ~ ⇔ reach ~ / arrive at ~** reach は他動詞で前置詞なし（reach the station）、arrive は at / in を取る、get は to を取る。見分け方：動詞ごとに前置詞を確認する。home の前には to も at も付けない（get home / arrive home / reach home）。

0050 □□□

Don't tell me how the movie ends! Please don't give ＿＿＿ the ending.

① out　② up
③ off　④ away

④ give away ~ ～をただでやる；（秘密）を漏らす

訳 映画の結末を言わないで！どうかネタばらしはしないで。

解説 「（秘密・結末）を漏らす」は give away ~。give out は「配る」、give up は「あきらめる・やめる」、give off は「（におい・熱）を発する」で、結末をばらす意味にならない。

区別 **give away ~ ⇔ give out ~** give out は「（多くの人に）配る」（give out leaflets）で、配布。give away は「（無料で）手放す・譲る」「（秘密を）漏らす」。見分け方：チラシを配るなら give out、秘密をばらすなら give away。

0051 □□□

As the years went ＿＿＿, she gradually got used to living in a foreign country.

① by　② off
③ out　④ over

① go by （時が）過ぎる；通り過ぎる

訳 年月がたつにつれて、彼女は次第に外国での暮らしに慣れていった。

解説 時が「過ぎる」は go by。go off は「（警報が）鳴る」、go out は「外出する・消える」、go over は「調べる・見直す」で、年月の経過を表せない。as time goes by は歌の題名にもなっている定番の形。

区別 **go by ⇔ pass by** pass by も「通り過ぎる」「（時が）過ぎる」でほぼ同じ。go by には「（規則）に従う・（見た目）で判断する」の意味がある。見分け方：go by the book / go by appearances は go by。

0052 □□□

A: Can I speak to Mr. Tanaka, please?
B: Sure. Hang ＿＿＿ a minute, and I'll get him.

① up　② out
③ on　④ off

③ hang on （電話を）切らずに待つ；しっかりつかまる

訳 A：田中さんをお願いできますか。　B：はい。少々お待ちください、呼んできます。

解説 電話で「切らずに待って」は Hang on.。hang up は「電話を切る」で反対の意味、hang out は「ぶらぶら過ごす」、hang off は電話には使わない。取り次ぐ間待ってもらう場面。

区別 **hang on ⇔ hang up** hang up は「電話を切る」で、hang on の反対。見分け方：電話を終えるなら up、切らずに待つなら on。Don't hang up. ＝ Hang on.

0053 □□□

While taking a shower, she suddenly hit ＿＿＿ a great idea for the school festival.

① at　② to
③ in　④ on

④ hit on ~ ～を思いつく；～を偶然見つける

訳 シャワーを浴びているとき、彼女は文化祭のための素晴らしいアイデアを急に思いついた。

解説 「（考え）を思いつく」は hit on ~（hit upon ~）。at / to / in は hit と組んでこの意味にならない（hit at は「殴りかかる」）。シャワー中に突然ひらめいた、という偶然性も hit on に合う。

区別 **hit on ~ ⇔ come up with ~** come up with は「（考えて）案を出す・思いつく」と、考えた結果を言う。hit on は「（ふと・偶然）ひらめく」と偶然性が強い。どちらも後ろはアイデア。入試ではほぼ同じ意味として言い換えが問われる。

0054 ☐☐☐

The baby is sleeping, so please keep your voice ＿＿＿＿.

① off　② out
③ down　④ under

③ keep down ~ ～を抑える；～を低く保つ

訳 赤ちゃんが寝ているので、声を小さくしてください。

解説 「（声）を抑える・小さくする」は keep A down。keep off は「立ち入らない」、keep out は「入れない」、under は keep A under control の形で使い、声の大きさには使わない。赤ちゃんが寝ているので静かにという場面。

区別 **keep down ~ ⇔ keep up ~** keep up は「（水準・ペース）を高いまま保つ」で、keep down の反対方向。見分け方：費用・音量を下げたままにするなら down、努力・水準を落とさないなら up。

0055 ☐☐☐

Our soccer team was knocked ＿＿＿＿ of the tournament in the first round.

① down　② off
③ over　④ out

④ knock out ~ ～をノックアウトする；～を気絶させる

訳 私たちのサッカーチームはトーナメントの 1 回戦で敗退した。

解説 be knocked out of ~ で「（大会）から敗退する」。knock down は「打ち倒す・取り壊す」、knock off は「（仕事）をやめる・値引きする」、knock over は「ひっくり返す」で、大会からの敗退を表せない。

区別 **knock out ~ ⇔ knock down ~** knock down は「～を打ち倒す」「（建物）を取り壊す」「（車が人を）はねる」。knock out は「（意識を失わせて）倒す」「（大会から）敗退させる」。見分け方：建物の取り壊しなら down、試合からの敗退なら out。

0056 ☐☐☐

Because of the economic crisis, the company had to lay ＿＿＿＿ 200 workers.

① off　② out
③ down　④ aside

① lay off ~ ～を（一時）解雇する；（口語で）～をやめる

訳 経済危機のため、その会社は 200 人の従業員を解雇しなければならなかった。

解説 「（従業員）を解雇する」は lay off ~。lay out は「並べる・設計する」、lay down は「（規則）を定める・置く」、lay aside は「取っておく」で、人員削減を表せない。経済危機による解雇は lay off の典型。

区別 **lay off ~ ⇔ fire ~** fire は「（本人の落ち度で）首にする」。lay off は「（会社の経営上の理由で）解雇する」で、本人に非がない場合に使う。見分け方：不況・業績悪化による人員削減なら lay off、ミス・不正による解雇なら fire。

0057 ☐☐☐

It's stuffy in here. Open the window to let ＿＿＿＿ some fresh air.

① out　② in
③ off　④ on

② let in ~ ～を中に入れる

訳 ここは空気がこもっている。窓を開けて新鮮な空気を入れて。

解説 部屋が息苦しいので外の新鮮な空気を「中に入れる」let in ~。let out は「外に出す」で、新鮮な空気を出すのでは文脈に合わない。let off は「（罰を）免除する」、let on は「（秘密を）漏らす」で不可。

区別 **let in ~ ⇔ let out ~** let out は「（人・動物・空気）を外に出す」「（声）を出す」「（秘密）を漏らす」で、let in の反対方向。見分け方：中へ入れるなら in、外へ出すなら out。

0058 □□□

Have you made up ＿＿＿＿ your sister yet? You two haven't talked for a week.

① for　② with
③ to　④ on

② make up with ~ ～と仲直りする

訳 お姉さん［妹さん］とはもう仲直りした？二人とも１週間口をきいていないじゃない。

解説 「（人）と仲直りする」は make up with ~。for を使うと make up for ~（埋め合わせをする）になり、your sister を目的にしても意味が通らない。to / on は make up と組んでこの意味にならない。

区別 **make up with ~ ⇔ make up for ~** make up for は「～の埋め合わせをする・～を取り戻す」（make up for lost time）。make up with は「（人）と仲直りする」。見分け方：with ＋ 人なら仲直り、for ＋ 損失・遅れなら埋め合わせ。

0059 □□□

This sale only lasts until Sunday. Don't miss out ＿＿＿＿ this great chance!

① of　② at
③ from　④ on

④ miss out (on ~)
（～の）機会を逃す；（～を）逃して損をする

訳 このセールは日曜日までです。この絶好の機会を逃さないで！

解説 「（機会）を逃して損をする」は miss out on ~。of / at / from は miss out と組まない。日曜までのセールという限られた機会を逃すな、という呼びかけ。

区別 **miss out (on ~) ⇔ miss ~** miss ~ は他動詞で「（電車・機会）を逃す」「～がいなくて寂しい」と幅広い。miss out on ~ は「（楽しいこと・得になる機会）を逃して損をする」と、損した気持ちが強い。見分け方：on が付けば「逃して損をする」の意味。

0060 □□□

He passed ＿＿＿＿ from the heat during the marathon, but he recovered after drinking some water.

① out　② away
③ by　④ on

① pass out (~) 気絶する；～を配る

訳 彼はマラソン中に暑さで気を失ったが、水を飲んだら回復した。

解説 暑さで「気絶した」が、水を飲んで回復したので pass out。pass away は「亡くなる」で、回復した後半と矛盾する。pass by は「通り過ぎる」、pass on は「伝える」で意味が合わない。

区別 **pass out (~) ⇔ pass away** pass away は「亡くなる」。pass out は「気絶する」（後で意識が戻る）。見分け方：回復した・水を飲ませたなど意識が戻る流れなら pass out、亡くなったなら pass away。

0061 □□□

All the evidence points ＿＿＿＿ the same man, but he says he was at home that night.

① to　② in
③ on　④ for

① point to ~ ～を指さす；～を示す

訳 すべての証拠が同じ男を示しているが、彼はその夜家にいたと言っている。

解説 point to ～で「（証拠が）～を示す」。evidence が主語のときの典型的な使い方で、方向を表す to が必要。on / in / for は point と組んでこの意味を作らない。

区別 **point to ~ ⇔ point out ~** point out は「～を指摘する」で、point out that S V や point out a mistake の形。point to は「（証拠が）～を示す」が中心で、後ろは名詞。見分け方：that 節が続けば point out。

0062 ☐☐☐

Put your toys ＿＿＿＿ before dinner, or I'll throw them out.

① off　② out
③ away　④ on

③ put away ~ ～を片付ける；（お金）を貯える

訳 夕食の前におもちゃを片づけなさい。でないと捨てるよ。

解説 「（物）を片付ける・しまう」は put away ~。put off は「延期する」、put out は「（火）を消す・外に出す」、put on は「着る」で、おもちゃを片付ける意味にならない。

区別 **put away ~ ⇔ put off ~** put off は「延期する」。put away は「片付ける・しまう」。見分け方：物を元の場所に戻すなら put away、予定を後ろへずらすなら put off。

0063 ☐☐☐

The students put ＿＿＿＿ posters all over the school to advertise the festival.

① on　② up
③ off　④ away

② put up ~ ～を掲げる；～を建てる

訳 生徒たちは文化祭を宣伝するために、学校中にポスターを貼った。

解説 「（ポスター）を貼る・掲げる」は put up ~。put on は「着る・（劇）を上演する」、put off は「延期する」、put away は「片付ける」で、ポスターを貼る意味にならない。

区別 **put up ~ ⇔ put up with ~** put up with は「～を我慢する」（＝ tolerate / stand / bear）。put up は「掲げる・建てる・泊める」。見分け方：with が付けば我慢。

0064 ☐☐☐

The police have not ruled ＿＿＿＿ the possibility that the fire was started on purpose.

① off　② down
③ out　④ over

③ rule out ~ ～を除外する；～の可能性を否定する

訳 警察は、その火事が放火だった可能性を排除していない。

解説 「（可能性）を除外する・否定する」は rule out ~。rule off / rule down という句動詞はこの意味で使わず、rule over は「～を支配する」で意味が違う。放火の可能性も否定していない、という報道の典型。

区別 **rule out ~ ⇔ leave out ~** leave out は「（うっかり・わざと）～を省く・入れ忘れる」で、リスト・文章から抜かす。rule out は「（検討した結果）～の可能性を否定する」。見分け方：可能性・候補を否定するなら rule out。

0065 ☐☐☐

The boy ran away ＿＿＿＿ home after an argument with his parents.

① of　② out
③ off　④ from

④ run away (from ~) （～から）逃げる；家出する

訳 その男の子は両親と口論した後、家出した。

解説 「（～から）逃げる・家出する」は run away from ~。of / out / off は run away の後ろで逃げ出す元を示せない（run out of は「使い切る」）。親とけんかして家出した場面。

区別 **run away (from ~) ⇔ get away (from ~)** get away は「（なんとか）逃げおおせる・離れる」と結果に重心がある。run away は「走って逃げる」と逃げる行動そのもの。家出は run away from home が定番。

0066 ☐☐☐

He's always showing ＿＿＿＿ his expensive watch to everyone in the office.

① off　② up
③ out　④ in

① show off (~)　（～を）見せびらかす；目立とうとする

訳 彼はいつも、会社のみんなに高価な腕時計を見せびらかしている。

解説 「～を見せびらかす」は show off ~。show up は「現れる」で目的語に時計を取らない。show out は「（客を）出口まで送る」、show in は「（客を）中へ案内する」で、自慢の意味にならない。

区別 **show off (~) ⇔ show up**　show up は「（人が）現れる・来る」（He didn't show up）。show off は「見せびらかす」。見分け方：到着・出席なら up、自慢なら off。

0067 ☐☐☐

Kenta finally stood up ＿＿＿＿ the boy who had been bullying him and told him to stop.

① for　② to
③ with　④ by

② stand up to ~　～に立ち向かう；～に（よく）耐える

訳 健太はついに、自分をいじめていた男の子に立ち向かい、やめろと言った。

解説 いじめていた相手に「やめろ」と言ったので、相手に立ち向かう stand up to ~。for を使うと「いじめっ子を擁護した」ことになり文脈に合わない。with / by は stand up と組んでこの意味にならない。

区別 **stand up to ~ ⇔ stand up for ~**　stand up for は「（攻撃されている人・権利）を擁護する」で、for の後ろは守る対象。stand up to の to の後ろは立ち向かう敵。見分け方：to ＋ いじめっ子・権力者なら立ち向かう、for ＋ 弱い人・権利なら守る。

0068 ☐☐☐

I stayed ＿＿＿＿ until 3 a.m. studying for the test, so I'm really sleepy now.

① down　② off
③ up　④ away

③ stay up　（寝ないで）起きている

訳 テスト勉強で夜中の 3 時まで起きていたので、今とても眠い。

解説 「（寝ないで）起きている」は stay up。stay down は「（低い位置に）とどまる」、stay off は「控える」、stay away は「近づかない」で、夜更かしを表せない。今眠いという後半とも合う。

区別 **stay up ⇔ wake up / get up**　wake up は「目を覚ます」、get up は「起き上がる・起床する」で、どちらも朝の動作。stay up は「（寝るべき時間に）起きたままでいる」で夜の話。見分け方：夜遅くまでなら stay up、朝起きるなら wake up / get up。

0069 ☐☐☐

To sum ＿＿＿＿, the new system is cheaper, faster, and easier to use than the old one.

① out　② up
③ in　④ on

② sum up ~　～を要約する；～を合計する

訳 まとめると、新しいシステムは古いものより安く、速く、使いやすい。

解説 「要約すると」は文頭の決まり文句 to sum up。up は「すっかり・まとめて」の意味。sum out / sum on という表現はない。in sum（要するに）という言い方はあるが、to sum in とは言わない。直後に要点が並ぶ流れとも合う。

区別 **sum up ~ ⇔ add up ~**　add up は数を「合計する」が中心で、比ゆでは「つじつまが合う」（It doesn't add up.）。sum up も合計の意味はあるが、入試では「要約する・まとめる」が中心。見分け方：話・内容をまとめるなら sum up、数を足すなら add up。

0070 □□□

A: I like this jacket. Can I ＿＿＿＿?
B: Of course. The fitting room is over there.

① try it on　② try on it
③ try it out　④ try out it

① try on ~ ～を試着する

訳 A：このジャケット、いいですね。試着してもいいですか。B：もちろんです。試着室はあちらです。

解説 服を「試着する」は try on で、目的語が代名詞 it なら try it on の語順。try on it は代名詞の位置が誤り。try it out は「（道具などを）試してみる」で、服の試着には使わない。try out it も語順の誤り。

区別 **try on ~ ⇔ try out ~** try out は「（機械・方法など）を試してみる」で、使い心地や効果を確かめる。try on は「（身に着ける物）を試着する」。見分け方：服・靴なら try on、道具・アイデアなら try out。

0071 □□□

If you're not watching the TV, please turn ＿＿＿＿.

① off it　② it off
③ it on　④ on it

② turn off ~
（電気・水道など）を消す・止める；（人に）興味を失わせる

訳 テレビを見ていないなら、消してください。

解説 見ていないなら「消して」なので turn off で、代名詞 it は turn it off と間に挟む。off it は語順の誤り。it on は「つけて」で文脈と反対、on it も語順の誤り。

区別 **turn off ~ ⇔ turn down ~** turn down は「（音量・温度）を下げる」「（申し出）を断る」で、消すのではなく弱める。turn off は「（電源）を切る」。見分け方：音を小さくするなら down、完全に止めるなら off。

0072 □□□

It's getting dark in here. Could you turn ＿＿＿＿ the light?

① off　② in
③ over　④ on

④ turn on ~
（電気・テレビなど）をつける；（突然）～に襲いかかる

訳 ここは暗くなってきたね。電気をつけてくれる？

解説 暗くなってきたので明かりを「つける」turn on。turn off は「消す」で文脈と反対。turn in は「提出する」、turn over は「ひっくり返す」で、明かりをつける意味にならない。

区別 **turn on ~ ⇔ turn up ~** turn up は「（音量・温度）を上げる」で、すでについている物を強める。turn on は「（電源）を入れる」。見分け方：消えている物をつけるなら on、ついている物を強くするなら up。turn up は「（人が）現れる」の意味もある。

0073 □□□

I ＿＿＿＿ at six this morning, but I stayed in bed until seven.

① got up　② stood up
③ woke up　④ came up

③ wake up (~) 目を覚ます；（～を）起こす

訳 今朝は 6 時に目が覚めたが、7 時まで布団の中にいた。

解説 6 時に目は覚めたが 7 時までベッドにいたので woke up（目を覚ました）。got up は「起き上がった・寝床から出た」で、ベッドにいたという後半と矛盾する。stood up は「立ち上がった」、came up は「上がってきた・話題に出た」で合わない。

区別 **wake up (~) ⇔ get up** wake up は「目が覚める」（意識が戻る）、get up は「起き上がる・寝床から出る」。目が覚めてもベッドにいれば wake up だけ。見分け方：目覚ましで意識が戻るなら wake up、布団から出るなら get up。

0074 ☐☐☐

Watch out _____ cars when you cross the street. This road is very busy.

① for ② of
③ to ④ with

① watch out (for ~)
（～に）気をつける；（～を）警戒する

訳 道路を渡るときは車に気をつけなさい。この道はとても交通量が多い。

解説 「～に気をつける」は watch out for ~。of は be careful of ~ の形で使い watch out とは組まない。to / with も watch out の後ろで注意の対象を示さない。交通量の多い道で車に注意を促す文。

区別 **watch out (for ~)** ⇔ **look after ~** look after は「～の世話をする」。watch out for は「～に用心する」で、危険なものを避けるために注意する。見分け方：守って面倒を見るなら look after、危険を避けるなら watch out for。

0075 ☐☐☐

The company plans to bring _____ a new model of its smartphone next month.

① up ② about
③ back ④ out

④ bring out ~ ～を引き出す；（製品）を出す

訳 その会社は来月、スマートフォンの新機種を発売する予定だ。

解説 「（新製品）を出す・発売する」は bring out ~。bring up は「育てる・話題に出す」、bring about は「引き起こす」、bring back は「戻す・思い出させる」で、新製品の発売を表せない。

区別 **bring out ~** ⇔ **bring up ~** bring up は「（子ども）を育てる」「（話題）を持ち出す」。bring out は「（隠れていた物）を引き出す・世に出す」。見分け方：子育て・話題なら up、才能・新製品なら out。

0076 ☐☐☐

I haven't spoken French for years, so I need to brush up _____ it before my trip to Paris.

① on ② at
③ with ④ to

① brush up on ~ ～を磨き直す；～を復習する

訳 何年もフランス語を話していないので、パリへの旅行の前に勉強し直す必要がある。

解説 「～を磨き直す・復習する」は brush up on ~。at / with / to は brush up と組まない。何年も話していなかったフランス語を、旅行前に勉強し直すという場面に合う。

区別 **brush up on ~** ⇔ **catch up on ~** catch up on は「（遅れていた仕事・睡眠など）を取り戻す」。brush up on は「（さびついた技能）を磨き直す」。見分け方：たまった物を片付けるなら catch up on、能力を磨くなら brush up on。

0077 ☐☐☐

Regular exercise and good food will help you build _____ your strength after your illness.

① on ② up
③ out ④ off

② build up ~ ～を築き上げる；～を増強する

訳 規則正しい運動と良い食事は、病気の後で体力をつけるのに役立つ。

解説 「（体力）を増強する・つける」は build up ~。build on は「～を土台にする」、build out / build off はこの意味の句動詞として使わない。病後に少しずつ体力をつける、という意味に合うのは build up。

区別 **build up ~** ⇔ **set up ~** set up は「（会社・組織）を設立する・（機械）を準備する」と、最初に立ち上げること。build up は「（時間をかけて）少しずつ大きくする・強くする」。見分け方：一度に立ち上げるなら set up、徐々に増やすなら build up。

0078 □□□

I called ＿＿＿＿ his office yesterday, but he had already gone home.

① on　② for
③ at　④ in

③ call at ~
（場所・家）を訪問する；（船・列車が）～に寄る

訳 昨日彼の事務所を訪ねたが、彼はもう帰宅していた。

解説 訪問先が場所（オフィス）なので call at ~。call on は訪問先が人のとき（call on Mr. Sato）。call for は「～を求める・迎えに行く」、call in は「立ち寄る（自動詞）・呼び入れる」で、場所を続けるこの形には合わない。

区別 **call at ~ ⇔ call on ~** call on の後ろは人（call on my uncle）、call at の後ろは場所（call at his house）。見分け方：訪問先が人なら on、建物・場所なら at。call on A to do は「A に～するよう求める」。

0079 □□□

You go ahead. I'll catch ＿＿＿＿ with you at the station.

① on　② up
③ out　④ in

② catch up 追いつく；遅れを取り戻す

訳 先に行ってて。駅で追いつくから。

解説 「（人）に追いつく」は catch up with ~。catch on は「流行る・理解する」、catch out は「（間違いを）見破る」、catch in は「（雨などに）遭う（be caught in）」で、with ＋ 人と組んで追いつく意味にならない。

区別 **catch up ⇔ keep up with ~** keep up with は「（遅れずに）ついていく・並んでいる状態を保つ」、catch up with は「（遅れていたのが）追いつく」。見分け方：差を縮める動作なら catch up、並走し続けるなら keep up。

0080 □□□

Volunteers gathered on Sunday morning to clean ＿＿＿＿ the beach.

① up　② down
③ with　④ away

① clean up ~ ～をきれいに片付ける；～を一掃する

訳 日曜日の朝、ボランティアが集まって浜辺を清掃した。

解説 「～をきれいに掃除する」は clean up ~。clean down は「（壁などを）洗い流す」でまれな言い方、clean with は「～を使って掃除する」で道具が続き、clean away もこの意味では使わない。浜辺の清掃活動は clean up。

区別 **clean up ~ ⇔ clear up ~** clear up は「（散らかった物を）片付ける」「（問題を）解決する」「（天気が）晴れる」。clean up は「（汚れ・ごみを）きれいに掃除する」。見分け方：汚れ・ごみなら clean up、問題・天気なら clear up。

0081 □□□

The doctor told my father to cut down ＿＿＿＿ salt and sugar.

① in　② on
③ off　④ with

② cut down ~ （木）を切り倒す；～を減らす

訳 医者は父に、塩分と糖分を減らすように言った。

解説 「（量）を減らす・控える」は cut down on ~。in / with は cut down と組まず、off は cut off ~（断つ）の形で down とは並ばない。医者が塩分と糖分を控えるよう言った、という定番の場面。

区別 **cut down ~ ⇔ cut down on ~** cut down on は「（飲食・支出の）量を減らす」で、on の後ろは控える物。cut down ~ は「（木）を切り倒す」が中心。見分け方：sugar / smoking / spending など量を減らすなら on を付ける。

0082 ☐☐☐

The store on the corner deals _____ used books; it buys and sells thousands of them every month.

① at　② in
③ on　④ for

② deal in ~ （商品）を扱う；～の商売をする

訳 角の店は古本を扱っていて、毎月何千冊も売り買いしている。

解説 後半の buys and sells（売買する）から、商品を扱う deal in ~ が正しい。at / on / for は deal と組んで商品の売買を表さない。なお deal with は問題や人に「対処する」意味で使うので、商売の意味では in を選ぶ。

区別 **deal in ~ ⇔ deal with ~** deal in は商品を「売買する」、deal with は問題・人に「対処する」や、本が話題を「扱う」。見分け方：主語が店や業者で後ろが商品なら deal in。問題・苦情・お客など対処の相手なら deal with。

0083 ☐☐☐

On Halloween, the children dressed up _____ witches and ghosts.

① as　② for
③ to　④ by

① dress up 正装する；着飾る

訳 ハロウィーンに、子どもたちは魔女やお化けの仮装をした。

解説 「～に仮装する」は dress up as ~ で、as は「～として」。for は目的・行事（dress up for the party）に使い、仮装の役は示さない。to / by も dress up と組んでこの意味にならない。

区別 **dress up ⇔ get dressed** get dressed は「（普段の）服を着る」という日常の動作。dress up は「（特別な場のために）正装する・仮装する」。見分け方：朝の着替えなら get dressed、パーティー・ハロウィンなら dress up。

0084 ☐☐☐

If you're ever in the neighborhood, please drop _____ for a cup of tea.

① off　② out
③ by　④ down

③ drop by ちょっと立ち寄る

訳 近くに来ることがあったら、お茶を飲みに気軽に立ち寄ってください。

解説 「ちょっと立ち寄る」は drop by。drop off は「（人・物）を降ろす・居眠りする」、drop out は「中退する・脱落する」、drop down は「落ちる」で、近くに来たら寄ってという誘いに合わない。

区別 **drop by ⇔ drop off** drop off は「（人・物）を（車から）降ろす・届ける」「居眠りする」。drop by は「立ち寄る」。見分け方：人や荷物を置いていくなら drop off、自分が寄るなら drop by。

0085 ☐☐☐

She fell out _____ her best friend over a silly misunderstanding.

① to　② of
③ from　④ with

④ fall out with ~ ～と仲たがいする；～とけんかする

訳 彼女はくだらない誤解がもとで親友と仲たがいした。

解説 「（人）と仲たがいする」は fall out with ~。to / of / from は fall out の後ろで仲たがいの相手を示せない（fall out of ~ は「～から落ちる」）。over ~ が原因を表している。

区別 **fall out with ~ ⇔ make up with ~** make up with は「～と仲直りする」で反対方向。fall out with は「仲たがいする」。見分け方：関係が悪くなるなら fall out、修復するなら make up。どちらも with ＋ 人。

0086 ☐☐☐

It took my son a few months to fit _____ at his new school, but now he has lots of friends.

① on ② up
③ out ④ in

④ fit in （集団に）なじむ；溶け込む

訳 息子は新しい学校になじむのに数か月かかったが、今は友達がたくさんいる。

解説 「（集団に）なじむ」は fit in。fit on は「（ふたなどが）はまる」、fit up は「（設備を）備え付ける（英）」で人間関係には使わない。fit out は「（装備を）整える」。友達がたくさんできた後半と合う。

区別 **fit in ⇔ fit into ~** fit into は「（物が）～の中に収まる・入る」（The bag won't fit into the car）で物理的な大きさ。fit in は「（人が）集団になじむ」。見分け方：サイズの話なら fit into、人間関係なら fit in。

0087 ☐☐☐

I don't know the answer right now, but I'll get back _____ you as soon as I can.

① at ② to
③ for ④ with

② get back 戻る；～を取り戻す

訳 今すぐには答えが分からないけれど、できるだけ早く折り返し連絡します。

解説 「（人）に後で連絡する・返事をする」は get back to ~。at を使うと get back at ~（～に仕返しする）になり意味が違う。for / with も get back と組んでこの意味にならない。仕事の会話の定番。

区別 **get back ⇔ come back** come back は「（話し手のいる所へ）戻ってくる」「（記憶が）よみがえる」。get back は「戻る（着く）」「取り戻す」「（連絡を）返す」と幅が広い。見分け方：I'll get back to you.（後で連絡します）は get back で固定。

0088 ☐☐☐

If you keep lying to your teachers, you'll get _____ trouble.

① into ② to
③ at ④ on

① get into ~ ～に入る；（困った状態）に陥る

訳 先生にうそをつき続けていると、困ったことになるよ。

解説 「困ったことになる」は get into trouble で、into は困った状態の「中へ」入ること。to / at / on は get と組んで trouble に陥る意味にならない（get to は「着く」）。うそを続けると問題になる、という警告。

区別 **get into ~ ⇔ get out of ~** get out of は「～から出る・～を逃れる」で反対方向。get into trouble ⇔ get out of trouble（困難から抜け出す）。見分け方：状態に入るなら into、抜け出すなら out of。

0089 ☐☐☐

We haven't seen each other for ages. Let's get _____ for lunch next week.

① together ② along
③ up ④ on

① get together 集まる；会う

訳 ずいぶん長い間会っていないね。来週、集まって昼ご飯を食べよう。

解説 「集まる・会う」は get together。get along は「仲良くやる」、get up は「起きる」、get on は「乗る・仲良くやる」で、ランチに会う約束を表せない。久しぶりに会おうという誘い。

区別 **get together ⇔ get along** get along は「（人と）仲良くやる」。get together は「（人が）集まる・会う」。見分け方：会う約束なら get together、関係がうまくいっているかなら get along。

0090 □□□

Humans can't go ＿＿＿＿ water for more than a few days.

① with　② off
③ out　④ without

④ go without ~ ～なしで済ませる；～なしで我慢する

訳 人間は数日以上水なしではいられない。

解説 「～なしで済ませる」は go without ~。with では「水と一緒に行く」となり意味が通らない。go off は「（警報が）鳴る」、go out は「外出する」で、水なしで生きる意味にならない。

区別 **go without ~ ⇔ It goes without saying that ~** It goes without saying that ~ は「～は言うまでもない」（＝ needless to say）という決まり文句。go without ~ は「～なしで済ませる」。見分け方：saying が続けば「言うまでもない」。

0091 □□□

This ring has been handed ＿＿＿＿ from mother to daughter for five generations.

① over　② in
③ down　④ out

③ hand down ~
（次の世代に）～を伝える；（判決）を言い渡す

訳 この指輪は 5 世代にわたって、母から娘へと受け継がれてきた。

解説 「（次の世代に）伝える」は hand down ~。hand over は「引き渡す」、hand in は「提出する」、hand out は「配る」で、何世代にもわたって受け継がれる意味にならない。

区別 **hand down ~ ⇔ hand in / hand out** hand in は「提出する」、hand out は「配る」、hand down は「（後の世代へ）伝える」、hand over は「引き渡す」。見分け方：方向の副詞で決める（in 中へ、out 外へ配る、down 下の世代へ、over 向こうへ）。

0092 □□□

When she heard the sad news, she couldn't hold ＿＿＿＿ her tears.

① up　② back
③ on　④ out

② hold back ~ （感情など）を抑える；～を隠す

訳 その悲しい知らせを聞いて、彼女は涙をこらえることができなかった。

解説 「（涙・感情）を抑える」は hold back ~。hold up は「遅らせる・持ち上げる」、hold on は「待つ・つかまる」、hold out は「差し出す・持ちこたえる」で、涙をこらえる意味にならない。

区別 **hold back ~ ⇔ hold up ~** hold up は「（物事）を遅らせる・持ち上げる」。hold back は「（感情・人）を抑える・引き止める」。見分け方：涙・怒りを抑えるなら back、交通・計画を遅らせるなら up。

0093 □□□

We only have ten minutes, so please keep ＿＿＿＿ the point.

① to　② on
③ at　④ with

① keep to ~
（規則・約束・予定）を守る；（道など）から離れない

訳 10 分しかないので、要点から外れないようにしてください。

解説 「（話題）からそれない」は keep to the point。on / at / with は the point と組んでこの意味にならない（keep at は「根気よく続ける」）。時間がないので要点から外れないで、という依頼。

区別 **keep to ~ ⇔ keep up with ~** keep up with は「～に遅れずについていく」。keep to は「（決まり・道）から外れずに守る」。見分け方：決まり・予定・話題を守るなら keep to、ペースについていくなら keep up with。

0094 □□□

Hold the rope tightly and don't let go _____ it until I say so.

① from ② off
③ of ④ with

③ let go of ~ ～から手を放す；～を手放す

訳 ロープをしっかり握って、私が言うまで手を離さないで。

解説 「～から手を放す」は let go of ~。from / off / with は let go と組んでこの決まり文句にならない。合図があるまでロープを放すな、という指示。

区別 **let go of ~ ⇔ hold on to ~** hold on to は「～にしがみつく・手放さない」で、let go of の反対。見分け方：手放すなら let go of、しっかり持ち続けるなら hold on to。

0095 □□□

The secret of his success _____ in his habit of reading every day.

① lies ② lain
③ lays ④ laying

① lie in ~ ～にある；～に存在する

訳 彼の成功の秘けつは、毎日本を読む習慣にある。

解説 「成功の秘けつは～にある」は lie in ~。主語 secret は三人称単数で現在の話なので lies。lays は他動詞 lay（置く）の形で目的語が必要。lain は lie の過去分詞で、単独では述語にならない。laying も述語動詞にならない。

区別 **lie in ~ ⇔ lay** lie は自動詞で「ある・横たわる」（目的語なし）、活用は lie - lay - lain。lay は他動詞で「～を置く・横たえる」（目的語が必要）、活用は lay - laid - laid。見分け方：後ろに目的語があれば lay、なく in ~ などが続けば lie。lie の過去形が lay なので特に注意。

0096 □□□

I looked _____ all the papers on my desk, but I couldn't find the receipt.

① through ② after
③ up ④ like

① look through ~
～に（ざっと）目を通す；～をくまなく調べる

訳 机の上の書類に全部目を通したが、領収書は見つからなかった。

解説 「～をくまなく調べる・目を通す」は look through ~。look after は「世話をする」、look up は「（辞書で）調べる・見上げる」、look like は「～のように見える」で、書類をあさる意味にならない。

区別 **look through ~ ⇔ look over ~** look over は「（間違いがないか）ざっと調べる・点検する」。look through は「（書類・引き出しなどを）一通り目を通す・あさる」。ほぼ同じ意味で使うが、探し物をするなら look through。

0097 □□□

The twins look so alike that I always mix them _____.

① in ② up
③ out ④ on

② mix up ~ ～を混同する；～をごちゃまぜにする

訳 その双子はとてもよく似ているので、私はいつも二人を取り違えてしまう。

解説 「～を混同する・取り違える」は mix up ~ で、代名詞 them は mix them up と間に挟む。mix in は「混ぜ込む」、mix out / mix on はこの意味の句動詞として使わない。双子を取り違えるという場面に合う。

区別 **mix up ~ ⇔ tell A from B** tell A from B は「A と B を見分ける」で、mix up の反対。見分け方：区別できるなら tell A from B / distinguish、区別できずに取り違えるなら mix up。

0098 □□□

This is my class photo. Can you pick _____ my brother?

① up　② on
③ out　④ off

③ pick out ~ ～を選び出す；～を見分ける

訳 これは私のクラスの写真です。私の兄［弟］を見つけられますか。

解説 写真の中から「～を見分ける・見つけ出す」は pick out ~。pick up は「拾う・迎えに行く」で写真の中の人には使えない。pick on は「いじめる」、pick off は「摘み取る」で意味が合わない。

区別 **pick out ~ ⇔ pick up ~** pick up は「拾い上げる・（人を）車で迎えに行く・（言語を）自然に身につける」。pick out は「（多くの中から）選び出す・見分ける」。見分け方：たくさんの中から一つを選ぶ・見つけるなら out。

0099 □□□

The government sent soldiers to put _____ the rebellion.

① off　② out
③ down　④ away

③ put down ~ ～を書き留める；（反乱など）を鎮める

訳 政府は反乱を鎮圧するために兵士を送った。

解説 「（反乱）を鎮める」は put down ~。put off は「延期する」、put out は「（火）を消す」、put away は「片付ける」で、反乱の鎮圧を表せない。put out は火を消す意味なので混同しやすい。

区別 **put down ~ ⇔ write down ~** 書き留める意味では put down / write down / take down はほぼ同じ。put down には「（反乱を）鎮める」「けなす」など別の意味もある。見分け方：反乱・暴動が目的語なら put down（鎮圧）。

0100 □□□

At the meeting, she put _____ a new plan to reduce waste in the school.

① off　② away
③ aside　④ forward

④ put forward ~ （意見・案）を出す；～を提案する

訳 会議で、彼女は校内のごみを減らすための新しい計画を提案した。

解説 「（案）を出す・提案する」は put forward ~。put off は「延期する」、put away は「片付ける」、put aside は「取っておく」で、会議で計画を提案する意味にならない。

区別 **put forward ~ ⇔ put off ~** put off は「延期する」。put forward は「（案を）出す」。見分け方：提案するなら forward、後回しにするなら off。forward は「前へ」、off は「離して」と副詞のイメージで区別する。

0101 □□□

While cleaning my room, I ran _____ a letter my grandmother had written to me.

① over　② across
③ after　④ out

② run across ~ ～に偶然出会う；～を偶然見つける

訳 部屋を掃除しているとき、祖母が私に書いてくれた手紙を偶然見つけた。

解説 「～を偶然見つける」は run across ~。run over は「（車が）ひく・ざっと目を通す」、run after は「追いかける」、run out は「尽きる」で、掃除中に手紙を見つけた意味にならない。

区別 **run across ~ ⇔ run over ~** run over は「（車が）～をひく」「～にざっと目を通す」。run across は「偶然出会う・見つける」。見分け方：偶然の発見なら across、車の事故なら over。

0102 ☐☐☐

I'm sorry, but we're sold ＿＿＿＿ of that size. Would you like to try a larger one?

① off　② out
③ up　④ away

② sell out 売り切れる；（～を）売り切る

訳 申し訳ございませんが、そのサイズは売り切れです。大きめのものをお試しになりますか。

解説 店が主語で「（商品）を売り切っている」は be sold out of ~。sell off は「（安く）売り払う」、sell up は「（家・店を）売り払う（英）」、sell away はこの意味で使わない。店員が品切れを伝える定番の言い方。

区別 **sell out ⇔ run out of ~** run out of は「（物を）使い切る・切らす」で、主語は人。be sold out of ~ は「（店が商品）を売り切っている」。見分け方：店の商品なら sold out、家の牛乳などを使い切ったなら run out of。

0103 ☐☐☐

Try to set ＿＿＿＿ at least thirty minutes every day for reading.

① off　② in
③ back　④ aside

④ set aside ~ ～を取っておく；（時間・お金）を確保する

訳 毎日少なくとも 30 分は読書のための時間を取っておくようにしなさい。

解説 「（時間）を取っておく・確保する」は set aside ~。set off は「出発する」、set in は「（季節などが）始まる」、set back は「遅らせる」で、毎日の読書時間を確保する意味にならない。

区別 **set aside ~ ⇔ set up ~** set up は「（会社・組織）を設立する・（機械・会合）を準備する」。set aside は「（後のために）取っておく」。見分け方：新しく立ち上げるなら set up、確保・棚上げなら set aside。

0104 ☐☐☐

After years of traveling around the world, he decided to settle ＿＿＿＿ in his hometown.

① down　② up
③ off　④ over

① settle down 落ち着く；（結婚などして）身を固める

訳 何年も世界中を旅した後、彼は故郷に落ち着くことにした。

解説 「（一か所に）落ち着く・定住する」は settle down。settle up は「（勘定を）清算する」、settle off / settle over はこの意味の句動詞として使わない。旅の生活を終えて故郷に落ち着く場面。

区別 **settle down ⇔ calm down** calm down は「（興奮・怒りが）静まる・落ち着く」と感情に重心がある。settle down は感情に加え「（生活が）落ち着く・定住する」の意味がある。見分け方：結婚・定住なら settle down。

0105 ☐☐☐

You're driving too fast in this rain. Please slow ＿＿＿＿!

① away　② off
③ down　④ out

③ slow down (~) 速度を落とす；（～を）遅くする

訳 この雨の中で飛ばしすぎだよ。スピードを落として！

解説 「速度を落とす」は slow down。away / off / out は slow と組んで減速の意味にならない。反対の「速度を上げる」は speed up。雨の中でのスピードの出しすぎを注意する場面。

区別 **slow down (~) ⇔ speed up** speed up は「速度を上げる」で反対。見分け方：遅くするなら slow down、速くするなら speed up。down / up の方向で速さの増減を表す。

0106 ☐☐☐

After a long battle, the army finally surrendered _____ the enemy.

① to　② with
③ at　④ for

① surrender to ~ ～に降伏する；～に身を任せる

訳 長い戦いの後、軍はついに敵に降伏した。

解説 surrender to ～で「～に降伏する」。降伏する相手は to で示す。for / with / at は surrender と組んで相手を表さない。他動詞として使うなら surrender the city to the enemy（町を敵に明け渡す）の形になる。

区別 **surrender to ~** ⇔ **give in to ~** give in to は「（要求・誘惑など）に屈する」で口語的。surrender to は「（敵）に降伏する」と硬い響きで、戦争の文脈によく使う。どちらも to を落とさない。

0107 ☐☐☐

A: Will you join our team? B: It sounds interesting, but let me think _____ before I decide.

① over it　② it over
③ it up　④ up it

② think over ~ ～をよく考える；～を熟考する

訳 A：私たちのチームに入らない？　B：面白そうだけど、決める前によく考えさせて。

解説 「よく考える」は think over で、代名詞 it は think it over と間に挟む。over it は語順の誤り。think it up は「（案などを）考え出す」で、誘いをじっくり検討する意味にならない。up it も語順の誤り。

区別 **think over ~** ⇔ **think up ~** think up は「（案・言い訳）を考え出す・ひねり出す」。think over は「（すでにある提案）をじっくり検討する」。見分け方：新しく作り出すなら up、決める前に吟味するなら over。

0108 ☐☐☐

We've used _____ all the printer paper. Could you buy some more?

① out　② off
③ over　④ up

④ use up ~ ～を使い果たす

訳 プリンター用紙を使い切ってしまった。もう少し買ってきてくれる？

解説 「～を使い果たす」は use up ~。use out / use off / use over はこの意味の句動詞として使わない（run out of なら「切らす」）。もっと買ってきてという後半から、紙を使い切ったと分かる。

区別 **use up ~** ⇔ **run out of ~** run out of は「（人が物を）切らす」で、主語は人、of の後ろが物。use up は「（物を）使い切る」で、目的語が物。どちらも「なくなる」だが、見分け方：use up の後ろに直接名詞、run out の後ろには of。

0109 ☐☐☐

The old movie theater was knocked _____ to make room for a new hotel.

① out　② off
③ over　④ down

④ knock down ~　～を取り壊す；～を打ち倒す

訳 その古い映画館は、新しいホテルの場所を作るために取り壊された。

解説 「（建物）を取り壊す」は knock down ~。knock out は「気絶させる・敗退させる」、knock off は「（仕事を）やめる・値引きする」、knock over は「（物を）ひっくり返す」で、建物の取り壊しを表せない。

区別 **knock down ~ ⇔ knock out ~**　knock out は「気絶させる」「（大会から）敗退させる」。knock down は「打ち倒す・取り壊す・（車が）はねる」。見分け方：建物・人を物理的に倒すなら down、意識を失わせる・試合から追い出すなら out。

0110 ☐☐☐

This folk tale has been passed _____ from generation to generation in our village.

① away　② out
③ down　④ by

③ pass down ~
（次の世代へ）～を伝える；～を受け継がせる

訳 この民話は私たちの村で代々語り継がれてきた。

解説 「（次の世代へ）伝える」は pass down ~。pass away は「亡くなる」、pass out は「気絶する・配る」、pass by は「通り過ぎる」で、民話が代々伝わる意味にならない。from generation to generation と合うのは down。

区別 **pass down ~ ⇔ pass on ~**　pass on は「（情報・伝言を）次の人へ伝える」で、世代に限らない。pass down は「（親から子へ）代々伝える」と縦の伝達。見分け方：伝統・家宝が世代を越えるなら down、伝言なら on。

0111 ☐☐☐

Nobody thought our small team could win the championship, but we pulled it _____.

① out　② off
③ up　④ over

② pull off ~
（難しいこと）をやってのける；～を引きはがす

訳 私たちの小さなチームが優勝できるとは誰も思っていなかったが、私たちはそれをやってのけた。

解説 「（難しいこと）をやってのける」は pull it off。pull out は「撤退する・引き抜く」、pull up は「（車が）止まる・引き上げる」、pull over は「車を道路わきに寄せる」で、予想外の優勝を表せない。

区別 **pull off ~ ⇔ pull over**　pull over は「（車を）道路わきに寄せて止める」。pull off ~ は「（難しいことを）やってのける」。見分け方：運転の話で路肩に止めるなら over、困難な事の成功なら off。

0112 ☐☐☐

Sorry to break ＿＿＿＿, but there's an urgent phone call for you.

① in　② out
③ up　④ down

① break in　押し入る；口をはさむ

訳 お話し中すみませんが、急ぎの電話が入っています。

解説 会話に「口をはさむ・割り込む」は break in。Sorry to break in は話の途中に割って入るときの決まり文句。break out は「（戦争などが）起こる」、break up は「別れる・解散する」、break down は「故障する」で合わない。

区別 **break in ⇔ break into ~** break into は他動詞的で、後ろに場所が来る（break into a house）。break in は自動詞で場所を続けない（Someone broke in）。見分け方：後ろに建物があれば into、なければ in。会話への割り込みは break in (on ~)。

0113 ☐☐☐

The new video game quickly caught ＿＿＿＿ among teenagers all over the world.

① on　② up
③ in　④ out

① catch on　流行る；人気が出る

訳 その新しいテレビゲームは、世界中の 10 代の若者の間ですぐに流行した。

解説 「流行る・人気が出る」は catch on。catch up は「追いつく」、catch in は be caught in の形で「（雨などに）遭う」、catch out は「（間違いを）見破る」で、ゲームが流行る意味にならない。

区別 **catch on ⇔ catch up** catch up は「追いつく・遅れを取り戻す」。catch on は「流行る・理解する」。見分け方：人気が出る・分かるなら on、遅れを取り戻すなら up。

0114 ☐☐☐

Could you drop me ＿＿＿＿ at the station on your way to work?

① by　② out
③ off　④ in

③ drop off
（人・物）を車から降ろす・届ける；居眠りする

訳 仕事に行く途中で、駅で私を降ろしてくれますか。

解説 「（人）を車から降ろす・送り届ける」は drop A off。drop by は「立ち寄る」で人を目的語にしてこの意味にならない。drop out は「中退する」、drop in は「立ち寄る」で、駅で降ろしてという依頼に合わない。

区別 **drop off ⇔ pick up ~** pick up は「（人を）車で迎えに行く・拾う」、drop off は「（人を）車から降ろす・送り届ける」。見分け方：乗せるなら pick up、降ろすなら drop off。

0115 ☐☐☐

Their long marriage sadly ended ＿＿＿＿ divorce.

① up　② in
③ at　④ for

② end in ~　~に終わる；~という結果になる

訳 二人の長い結婚生活は、悲しいことに離婚に終わった。

解説 物事が「~に終わる」は end in ＋ 結果の名詞。end up は人が主語で「結局~することになる」の意味になり、後ろに名詞 divorce だけを置く形には合わない。at / for も end と組んで結果を示さない。

区別 **end in ~ ⇔ end up ~** end up は「（人が）結局~することになる」で、後ろは ~ing・場所・形容詞（end up paying）。end in は「（物事が）~の結果に終わる」で後ろは名詞。見分け方：主語が人で ~ing が続けば end up、物事の結末なら end in。

0116 ☐☐☐

Stop chatting and get on ＿＿＿ your homework. You have a test tomorrow.

① with　② to
③ at　④ for

① get on with ~
～と仲良くやる；（仕事など）を続ける・進める

訳 おしゃべりはやめて、宿題を進めなさい。明日テストがあるんでしょう。

解説 「（仕事・作業）を続ける・進める」は get on with ~。to / at / for は get on と組んでこの意味にならない。おしゃべりをやめて宿題を続けなさい、という場面。

区別 **get on with ~ ⇔ get along with ~** 人と仲良くやる意味では get along with（主に米）と同じ。get on with には「（中断していた仕事）を続ける」の意味もある。見分け方：with の後ろが仕事・作業なら「続ける」の get on with。

0117 ☐☐☐

How long have you been going out ＿＿＿ your boyfriend?

① to　② for
③ by　④ with

④ go out with ~ ～と付き合う；～とデートする

訳 彼氏とはどのくらい付き合っているの？

解説 「～と付き合う」は go out with ~。to / for / by は go out と組んで交際相手を示さない。have been going out with ~ で、どのくらい付き合っているかを尋ねている。

区別 **go out with ~ ⇔ go out** go out だけだと「外出する」「（火が）消える」。with ＋ 人が付くと「～と付き合う」の意味が生まれる。見分け方：進行形で交際の期間を言うなら go out with。

0118 ☐☐☐

On weekends, I usually hang ＿＿＿ with my friends at the shopping mall.

① up　② on
③ out　④ off

③ hang out
（友達と）ぶらぶら過ごす・遊ぶ；（洗濯物）を外に干す

訳 週末はたいてい、ショッピングモールで友達とぶらぶら過ごす。

解説 「（友達と）ぶらぶら過ごす」は hang out。hang up は「電話を切る」、hang on は「待つ・しがみつく」、hang off はこの意味で使わない。週末に友達とモールで過ごす、という典型的な場面。

区別 **hang out ⇔ hang up** hang up は「電話を切る」「（服）を掛ける」。hang out は「ぶらぶら過ごす」「洗濯物を干す」。見分け方：友達と過ごす・外に干すなら out、電話・ハンガーなら up。

0119 ☐☐☐

I felt dizzy, so I ＿＿＿ down on the sofa for a while.

① laid　② lied
③ lain　④ lay

④ lie down 横になる；横たわる

訳 めまいがしたので、しばらくソファーで横になった。

解説 目的語がなく「横になった」ので、自動詞 lie の過去形 lay。laid は他動詞 lay（横たえる）の過去形で目的語が必要。lied は「うそをついた」、lain は lie の過去分詞で単独では使えない。

区別 **lie down ⇔ lay ~ down** lay は他動詞「～を置く・横たえる」で目的語が必要（lay the baby down）。lie は自動詞「横になる」で目的語を取らない。lie の過去形 lay と lay の原形が同じつづりなので混乱しやすい。見分け方：目的語の有無。

0120 □□□

Unfortunately, our plan to build a new park met ＿＿＿＿ strong opposition from local residents.

① to　② with
③ on　④ for

② meet with ～
（事故・反対・成功など）に遭う；～を受ける

訳 残念ながら、新しい公園を作る私たちの計画は地元住民から強い反対に遭った。

解説 「（反対）に遭う」は meet with opposition。後ろが人ではなく反対・成功などの反応なので with が必要。to / on / for は meet と組んでこの意味にならない。meet with success（成功する）、meet with an accident（事故に遭う）も同じ形。

区別 **meet with ～ ⇔ meet** meet ＋ 人は「（人）に会う」で、with は付けない（meet my friend）。meet with ＋ 事故・反対などは「（出来事）に遭う・（反応）を受ける」。見分け方：後ろが人なら meet、opposition / success / an accident のような出来事なら meet with。meet with ＋ 人は「話し合いのために会う」と改まった場面。

0121 □□□

We've spent enough time on this topic. Let's move ＿＿＿＿ to the next one.

① in　② up
③ on　④ off

③ move on 次に進む；先へ進む

訳 この話題には十分時間をかけた。次の話題に移ろう。

解説 「次に進む」は move on (to ～)。move in は「引っ越してくる」、move up は「昇進する・上へ移る」、move off は「動き出す・立ち去る」で、次の話題へ進む意味にならない。

区別 **move on ⇔ move in** move in は「引っ越してくる・入居する」。move on は「次へ進む・吹っ切る」。見分け方：新しい家に住み始めるなら move in、話題・人生の次の段階へ進むなら move on。

0122 □□□

Thanks for lending me the money. I'll pay you ＿＿＿＿ next week.

① back　② off
③ out　④ up

① pay back ～ （借りたお金）を返す；～に仕返しをする

訳 お金を貸してくれてありがとう。来週返すね。

解説 「（借りたお金）を返す」は pay A back。pay off は「完済する・報われる」で人を目的語にして返す意味にはならない。pay out は「支払う・支出する」、pay up は「（しぶしぶ）全額払う」で、借りた相手に返す文脈に合わない。

区別 **pay back ～ ⇔ pay off ～** pay off は「（借金）を完済する」「（努力が）報われる」。pay back は「（借りた相手に）返す」。見分け方：全額返し終えるなら pay off、借りた人に返すなら pay back。努力が実るなら pay off。

0123 □□□

It took me two hours to put the new bookshelf ＿＿＿＿ by myself.

① on　② off
③ together　④ away

③ put together ～ ～を組み立てる；～をまとめる

訳 新しい本棚を一人で組み立てるのに 2 時間かかった。

解説 「～を組み立てる」は put together ～。put on は「着る」、put off は「延期する」、put away は「片付ける」で、本棚を組み立てる意味にならない。一人で 2 時間かかったという作業の文。

区別 **put together ～ ⇔ take apart ～** take apart は「～を分解する」で、put together の反対。見分け方：部品を組み合わせるなら put together、ばらばらにするなら take apart。

0124 ☐☐☐

She plans to run ＿＿＿＿ mayor in next year's election.

① for　② at
③ to　④ on

① run for ~　~に立候補する；~を目指して走る

訳 彼女は来年の選挙で市長に立候補するつもりだ。

解説 「~に立候補する」は run for ~。for は「~を求めて」を示す。at / to / on は run と組んで立候補を表さない。選挙の文脈で、市長職を目指すことを表している。

区別 **run for ~ ⇔ run after ~**　run after は「~を追いかける」。run for は「~に立候補する・~を目指して走る」。見分け方：選挙・役職なら run for、人・物を追うなら run after。

0125 ☐☐☐

The little dog was nearly run ＿＿＿＿ by a truck when it ran into the street.

① across　② after
③ out　④ over

④ run over ~
（車が）~をひく；~にざっと目を通す・~をおさらいする

訳 その小犬は道路に飛び出したとき、もう少しでトラックにひかれるところだった。

解説 「（車が）~をひく」は run over ~ で、受動態 be run over by ~。run across は「偶然出会う」、run after は「追いかける」、run out は「尽きる」で、トラックにひかれそうになった意味にならない。

区別 **run over ~ ⇔ run into ~**　run into は「（車などが）~にぶつかる」「~に偶然出会う」。run over は「（車が人・動物を）ひく」。見分け方：車輪の下にするなら over、正面からぶつかるなら into。

0126 ☐☐☐

We couldn't get front-row tickets, so we had to settle ＿＿＿＿ seats at the back.

① down　② in
③ with　④ for

④ settle for ~　（不満だが）~で我慢する；~で手を打つ

訳 最前列の券が取れなかったので、後ろの席で我慢しなければならなかった。

解説 前の席が取れず、後ろの席で我慢したので settle for ~（~で妥協する）。settle down は「落ち着く」、settle in は「（新しい場所に）慣れる」で、後ろに seats を取ってこの意味にならない。settle with は「（人と）和解する・清算する」。

区別 **settle for ~ ⇔ settle on ~**　settle for は「（仕方なく）~で妥協する」と不満が残る。settle on は「（いくつかの中から）~に決める」で、不満の響きはない。見分け方：もっと良い物が欲しかったのに受け入れるなら for、選んで決めるなら on。

0127 ☐☐☐

I'm sorry I called you lazy. I take ＿＿＿＿ what I said.

① back　② off
③ out　④ in

① take back ~
（発言）を取り消す；~を返品する・引き取る

訳 怠け者なんて言ってごめん。さっき言ったことは取り消すよ。

解説 「（発言）を取り消す」は take back ~。take off は「脱ぐ・離陸する」、take out は「取り出す・連れ出す」、take in は「取り入れる・だます」で、言ったことを撤回する意味にならない。

区別 **take back ~ ⇔ bring back ~**　bring back は「（物）を持って帰ってくる・（記憶）を思い出させる」で、話し手の所へ戻す。take back は「（店へ）返しに行く」「（発言を）撤回する」。思い出させる意味ではどちらも使える。見分け方：発言の撤回なら take back。

0128 ☐☐☐

It's your turn to take ———— the garbage tonight. The truck comes early tomorrow morning.

① off ② up
③ over ④ out

④ take out ~ ～を取り出す；（人）を連れ出す

訳 今夜はあなたがごみを出す番だよ。収集車は明日の朝早く来るから。

解説 ごみを家の「外へ出す」のは take out ~。take off は「脱ぐ・離陸する」、take up は「始める・（場所や時間を）とる」、take over は「引き継ぐ」で、ごみを出す意味にならない。

区別 **take out ~ ⇔ take off ~** take off は「（服・靴）を脱ぐ」「（飛行機が）離陸する」。take out は「（中から）取り出す・連れ出す・持ち帰る」。見分け方：身に着けた物を外すなら off、入れ物・店の中から外へ出すなら out。

0129 ☐☐☐

My sister is going to try out ———— the school basketball team next week.

① to ② at
③ for ④ in

③ try out ~
～を試してみる；（try out for で）～の選抜テストを受ける

訳 姉［妹］は来週、学校のバスケットボール部の入部テストを受ける予定だ。

解説 「（チーム）の選抜テストを受ける」は try out for ~。for は「～を目指して」の意味。to / at / in は try out と組んで選抜の対象を示せない。

区別 **try out ~ ⇔ try on ~** try on は「（服・靴）を試着する」。try out は「（道具・方法）を試す」。見分け方：身に着ける物なら on、使ってみる物・やり方なら out。

0130 ☐☐☐

Two waiters waited ———— us during dinner, bringing dishes and refilling our glasses.

① on ② at
③ to ④ by

① wait on ~ ～（客など）の給仕をする；～に仕える

訳 夕食の間、2人のウェイターが料理を運んだりグラスに飲み物を注ぎ足したりして、私たちに給仕してくれた。

解説 wait on ～で「～の給仕をする」。料理を運び、グラスに飲み物を注ぎ足すという内容が給仕の仕事を表している。wait at は場所（wait at the station）を示し、us の前には置かない。wait to は後ろに動詞、wait by は「～のそばで待つ」で給仕の意味にならない。

区別 **wait on ~ ⇔ wait for ~** wait for は「～を待つ」。wait on は「～の給仕をする・世話をする」。見分け方：店員やウェイターが客の世話をする場面なら wait on。waiter（給仕する人）という語も wait on から来ていると押さえる。

0131 ☐☐☐

He was kicked ———— of school for cheating on the final exam.

① out ② off
③ away ④ down

① kick out ~ ～を追い出す；～を退学［解雇］させる

訳 彼は期末試験でカンニングをして退学させられた。

解説 「（学校から）追い出す・退学させる」は kick out of ~ で、受動態 be kicked out of school。kick off は「始める」、kick away / kick down は「蹴り飛ばす・蹴り倒す」で、退学の意味にならない。

区別 **kick out ~ ⇔ kick off** kick off は「（試合・行事を）始める・キックオフする」。kick out は「追い出す」。見分け方：始まりなら off、追放なら out。

0132 ☐☐☐

The school has laid ＿＿＿＿ strict rules about using phones in class.

① off　② down
③ up　④ away

② lay down ~ （規則など）を定める；～を下に置く

訳 その学校は、授業中の携帯電話の使用について厳しい規則を定めている。

解説 「（規則）を定める」は lay down ~。lay off は「解雇する」、lay up は「（病気で）寝込ませる・蓄える」、lay away は「取っておく」で、規則を定める意味にならない。

区別 **lay down ~ ⇔ lie down** lie down は自動詞「横になる」で目的語を取らない。lay down は他動詞で「～を置く・定める」と目的語を取る。見分け方：後ろに規則・物などの目的語があれば lay down。

0133 ☐☐☐

When she saw the huge spider, she let ＿＿＿＿ a loud scream.

① in　② off
③ on　④ out

④ let out ~ ～を外に出す；（声など）を出す

訳 大きなクモを見て、彼女は大きな悲鳴を上げた。

解説 「（声・叫び）を出す」は let out ~。let in は「中に入れる」、let off は「（罰を）免除する・（花火を）打ち上げる」、let on は「（秘密を）漏らす（自動詞的）」で、叫び声を上げる意味にならない。

区別 **let out ~ ⇔ let in ~** let in は「～を中に入れる」で反対方向。let out は「～を外に出す」。見分け方：中へなら in、外へ（声・秘密も含めて）なら out。

0134 ☐☐☐

We've done well so far, but many difficult challenges still lie ＿＿＿＿ of us.

① front　② forward
③ toward　④ ahead

④ lie ahead (of ~) （～の）前途に待ち受けている

訳 これまではよくやってきたが、まだ多くの困難な課題が私たちの前に待ち受けている。

解説 「前途に待ち受けている」は lie ahead of ~。front は in front of の形で使い、lie front of とは言わない。forward / toward は of と組んでこの意味にならない。

区別 **lie ahead (of ~) ⇔ ahead of time** ahead of time は「予定より早く・前もって」（finish ahead of time）という副詞句。lie ahead of ~ は「～の前途にある」。見分け方：time が続けば「前もって」、lie と組めば「待ち受ける」。

0135 ☐☐☐

We have two free hours before our train leaves. Let's look ＿＿＿＿ the old town.

① after　② into
③ around　④ for

③ look around (~) （～を）見て回る；見回す

訳 電車が出るまで 2 時間空いている。旧市街を見て回ろう。

解説 「（場所）を見て回る・見物する」は look around ~。look after は「世話をする」、look into は「調べる」、look for は「探す」で、空き時間に町を見物する意味にならない。

区別 **look around (~) ⇔ look for ~** look for は「～を探す」で、探す対象（物・人）が後ろに来る。look around ~ は「（場所）を見て回る」で後ろは場所。見分け方：場所を見物するなら look around、探し物なら look for（look around for ~ も可）。

0136 ☐☐☐

Nobody tried to help; the crowd just looked _____ as the man struggled in the water.

① on ② up
③ after ④ for

① look on 傍観する；見物する

訳 誰も助けようとしなかった。男性が水の中でもがいているのを、群衆はただ傍観していた。

解説 「（何もせずに）傍観する」は自動詞 look on。look up は「見上げる・調べる」、look after は「世話をする」、look for は「探す」で、誰も助けず見ているだけの様子を表せない。

区別 **look on ⇔ look on A as B** look on A as B は「A を B とみなす」（regard / think of A as B）。自動詞の look on は「傍観する」。見分け方：as が続けば「みなす」、目的語なしなら「傍観」。

0137 ☐☐☐

When it started to rain, we quickly made _____ the nearest café.

① to ② for
③ at ④ into

② make for ~ ～に向かう；～に役立つ・～を生み出す

訳 雨が降り始めたので、私たちは急いで一番近いカフェに向かった。

解説 「～に向かう」は make for ~。for は「～を目指して」で、目的地を示す。to / at / into は make と組んで「向かう」を表さない。雨が降り出したので近くのカフェへ急いだ場面。

区別 **make for ~ ⇔ head for ~** head for も「～に向かう」で make for とほぼ同じ。make for は「～に役立つ・～につながる」（Good sleep makes for better health）の意味もある。見分け方：主語が物事で結果を生むなら make for。

0138 ☐☐☐

Our new neighbors moved _____ next door last week, so I took them some cookies.

① out ② in
③ off ④ up

② move in 引っ越してくる；入居する

訳 先週、隣に新しい人が引っ越してきたので、クッキーを持っていった。

解説 新しい隣人が「引っ越してきた」ので move in。move out は「引っ越していく」で新しい隣人には合わない。move off は「立ち去る」、move up は「昇進する」で、入居を表せない。

区別 **move in ⇔ move out** move out は「（今の家から）引っ越していく・退去する」で反対方向。move in は「（新しい家に）入居する」。見分け方：新しく住み始めるなら in、出ていくなら out。

0139 ☐☐☐

Stop picking _____ your little brother! He's only five.

① up ② out
③ on ④ off

③ pick on ~ ～をいじめる；～にけちをつける

訳 弟をいじめるのはやめなさい！まだ 5 歳なのよ。

解説 「～をいじめる・からかう」は pick on ~。pick up は「拾う・迎えに行く」、pick out は「選び出す」、pick off は「摘み取る・一人ずつ倒す」で、弟をいじめる意味にならない。

区別 **pick on ~ ⇔ pick up ~** pick up は「拾う・迎えに行く・（言語を）自然に覚える」。pick on は「いじめる」。見分け方：on ＋ 人で弱い者をからかうなら pick on。

0140 ☐☐☐

The company tried to play ＿＿＿＿ the problem, but customers knew it was serious.

① up　② out
③ off　④ down

④ play down ~

～を軽く扱う；～を重要でないように見せる

訳 その会社は問題を大したことではないように見せようとしたが、客はそれが深刻だと分かっていた。

解説 「～を軽く扱う・小さく見せる」は play down ~。but 以下で「客は深刻だと分かっていた」と対比しているので、会社は問題を小さく見せようとしたと分かる。play up は「大げさに言う」で逆、play out / play off はこの意味にならない。

区別 **play down ~ ⇔ play up ~** play up は「～を強調する・大げさに言う」で反対。play down は「～を小さく見せる」。見分け方：重要さを下げるなら down、上げるなら up。

0141 ☐☐☐

When I threw the ball, my dog ran ＿＿＿＿ it and brought it back.

① after　② across
③ over　④ out

① run after ~ ～を追いかける；～を追い求める

訳 私がボールを投げると、犬はそれを追いかけて持ってきた。

解説 「～を追いかける」は run after ~。run across は「偶然出会う」、run over は「（車が）ひく」、run out は「尽きる」で、投げたボールを追いかける意味にならない。

区別 **run after ~ ⇔ look after ~** look after は「～の世話をする」。run after は「～を追いかける」。同じ after でも動詞で意味が変わる。見分け方：走って後を追うなら run after、面倒を見るなら look after。

0142 ☐☐☐

He told me he was sick, but I saw ＿＿＿＿ his lie immediately. I knew he just wanted to skip school.

① into　② over
③ across　④ through

④ see through ~

～を見抜く；（see A through で）A をやり遂げる・A（人）を最後まで助ける

訳 彼は具合が悪いと言ったが、私はすぐにそのうそを見抜いた。ただ学校をサボりたいだけだと分かっていた。

解説 「（うそ）を見抜く」は see through ~。see into は「調べる（まれ）」、see over は「見下ろす・視察する」、see across はこの意味で使わない。仮病を見抜いた、という後半の内容と合う。

区別 **see through ~ ⇔ see off ~** see off は「（人）を見送る」。see through は「（うそ・正体）を見抜く」。見分け方：駅・空港で別れを告げるなら see off、だましを見破るなら see through。

0143 ☐☐☐

After breakfast, she set about ＿＿＿＿ the messy room.

① clean　② cleaned
③ cleaning　④ cleans

③ set about ~ ～に取りかかる

訳 朝食の後、彼女は散らかった部屋の掃除に取りかかった。

解説 set about ~ の about は前置詞なので後ろは動名詞 cleaning。clean / cleaned / cleans は前置詞の後ろに置けない。朝食後に散らかった部屋の掃除に取りかかった、という文。

区別 **set about ~ ⇔ set out to do** set out to do は「～しようと乗り出す」で、目標に向かって動き出す（後ろは to ＋ 原形）。set about ~ing は「（作業）に取りかかる」（後ろは ~ing）。見分け方：to do なら set out、~ing なら set about。

0144 ☐☐☐

Winter has set _____ early this year; it's already snowing in October.

① in ② up
③ off ④ out

① set in （季節・悪天候・病気などが）始まる；定着する

訳 今年は冬の訪れが早く、10 月にもう雪が降っている。

解説 「（季節が）始まる・本格的になる」は set in。set up は「設立する・準備する」、set off は「出発する」、set out は「出発する・乗り出す」で、季節の到来を表せない。10 月に雪が降っているという後半と合う。

区別 **set in ⇔ set out** set out は「（人が）出発する・乗り出す」。set in は「（季節・悪いことが）始まって居座る」。見分け方：主語が人で旅や目標なら set out、主語が天候・病気なら set in。

0145 ☐☐☐

The reporter took _____ every word the minister said in his notebook.

① off ② down
③ out ④ in

② take down ~ ～を書き留める；～を取り壊す・降ろす

訳 記者は大臣の言葉を一言残らずノートに書き留めた。

解説 「～を書き留める」は take down ~。take off は「脱ぐ・離陸する」、take out は「取り出す」、take in は「取り入れる・理解する」で、ノートに書き留める意味にならない。in his notebook が手がかり。

区別 **take down ~ ⇔ take off ~** take off は「（服・靴）を脱ぐ」「離陸する」。take down は「（高い所から）降ろす・書き留める・取り壊す」。見分け方：身に着けた物なら off、掲げた物・建てた物・話の内容なら down。

0146 ☐☐☐

Since he retired, my grandfather has taken to _____ in the park every morning.

① jog ② jogged
③ jogging ④ be jogging

③ take to ~ ～を好きになる；～の習慣がつく

訳 退職してから、祖父は毎朝公園でジョギングするようになった。

解説 take to ~ の to は前置詞なので後ろは動名詞 jogging（take to ~ing ＝ ～する習慣がつく）。不定詞と思い込んで原形 jog を選ぶのが典型的な誤り。jogged / be jogging も前置詞の後ろに置けない。

区別 **take to ~ ⇔ take after ~** take after は「（親など）に似ている」。take to は「～を好きになる・～の習慣がつく」。見分け方：家族に似ているなら after、好きになる・習慣になるなら to。

0147 ☐☐☐

Always do some stretching to warm _____ before you run.

① up ② on
③ out ④ off

① warm up (~) 準備運動をする；（～を）温める

訳 走る前には、必ずストレッチをして体を温めなさい。

解説 「準備運動をする」は warm up。warm on / warm off はこの意味の句動詞として使わない。warm out も不可。走る前のストレッチという、準備運動の典型的な場面。

区別 **warm up (~) ⇔ cool down** cool down は「（運動後に）整理運動をする」「冷める・落ち着く」で、warm up の反対。見分け方：運動前の準備なら warm up、運動後の整理なら cool down。

0148 ☐☐☐

The results of the experiment bore _____ the scientist's theory.

① up ② out
③ off ④ down

② bear out ~ ～を裏付ける；～の正しさを証明する

訳 実験の結果は、その科学者の理論を裏づけた。

解説 「（理論）を裏付ける」は bear out ~（bore は過去形）。bear up は「（困難に）耐える」で自動詞、bear off / bear down は「（～の方向へ）進む・のしかかる」でこの意味にならない。実験結果が理論の正しさを示した文。

区別 **bear out ~ ⇔ back up ~** back up は「（主張）を裏付ける」のほか「（人）を支持する」「（データ）を保存する」と幅広い。bear out は主語が証拠・結果で「（理論・話が）正しいと示す」に限られる。どちらも主張を裏付ける意味で言い換えられる。

0149 ☐☐☐

After the incident, the two countries broke _____ diplomatic relations.

① up ② down
③ out ④ off

④ break off ~ ～を中断する；（関係）を絶つ

訳 その事件の後、両国は外交関係を断絶した。

解説 「（関係・交渉）を絶つ」は break off ~。break up は「別れる・解散する」で国交には普通使わない。break down は「（交渉が）決裂する」だが自動詞で目的語を取らず、break out は「（戦争が）起こる」。

区別 **break off ~ ⇔ break up** break up は「（恋人と）別れる」「（集会を）解散する」で主に人間関係の終わり。break off は「（交渉・婚約など正式な関係）を打ち切る」「折り取る」。見分け方：国同士・交渉・婚約の打ち切りなら break off。

0150 ☐☐☐

The old wooden temple burned _____ in the big fire last year.

① off ② over
③ down ④ away

③ burn down 全焼する；～を焼き払う

訳 その古い木造の寺は、昨年の大火事で全焼した。

解説 建物が「全焼する」は burn down。burn off は「焼き払う（余分な物を）」、burn over / burn away は建物が焼け落ちる意味にならない。大火事で木造の寺が焼け落ちた、という文。

区別 **burn down ⇔ burn out** burn out は「（火が）燃え尽きる」「（人が）燃え尽きる・疲れ果てる」。burn down は「（建物が）焼け落ちる」。見分け方：建物が焼けて倒れるなら down、火・人の力が尽きるなら out。

0151 ☐☐☐

I called _____ my grandmother to wish her a happy birthday.

① off ② out
③ in ④ up

④ call up ~ ～に電話をかける；～を思い出させる

訳 祖母に電話をかけて、誕生日おめでとうと伝えた。

解説 「～に電話をかける」は call up ~（主に米）。call off は「中止する」、call out は「大声で呼ぶ」、call in は「（専門家を）呼ぶ・立ち寄る」で、誕生日に電話をかける意味にならない。

区別 **call up ~ ⇔ call back** call back は「折り返し電話する・かけ直す」。call up は「（こちらから）電話をかける」。見分け方：かかってきた電話に返すなら back、最初にかけるなら up。

0152 □□□

When I saw the old photo, memories of my childhood came ＿＿＿ to me.

① up　② out
③ back　④ over

③ come back 戻る；（記憶が）よみがえる

訳 その古い写真を見たとき、子どもの頃の思い出がよみがえってきた。

解説 「（記憶が）よみがえる」は come back (to A)。come up は「（話題が）出る」、come out は「出版される・明るみに出る」、come over は「やって来る・（感情が）襲う」で、記憶がよみがえる意味にならない。

区別 **come back ⇔ return** return 自体に「戻る」の意味があるので return back とは言わない。come back は「come（来る）＋ back（戻って）」。見分け方：return には back を付けない、come / go には back を付ける。

0153 □□□

My parents are away this weekend. Why don't you come ＿＿＿ and watch movies with me?

① over　② across
③ after　④ off

① come over
（家に）立ち寄る・遊びに来る；（感情が）襲う

訳 今週末は両親が留守なんだ。うちに来て一緒に映画を見ない？

解説 「（家に）遊びに来る」は come over。come across は「偶然出会う」、come off は「取れる・うまくいく」、come after は「～の後に来る・追いかける」で、家に誘う意味にならない。

区別 **come over ⇔ come across ~** come across は「偶然出会う・見つける」「（印象を）与える」。come over は「（家へ）遊びに来る」「（感情が）襲う」。見分け方：家に招く・来訪なら over、偶然の発見なら across。

0154 □□□

If you make a mistake, ＿＿＿ the wrong word and write the correct one above it.

① cross over　② cross out
③ cross down　④ cross up

② cross out ~ ～を線を引いて消す

訳 間違えたら、間違った単語を線で消して、正しい単語をその上に書きなさい。

解説 「～を線を引いて消す」は cross out ~。cross over は「渡る・越える」、cross down / cross up はこの意味の句動詞として使わない。間違えた語を線で消して上に正しく書く、という指示。

区別 **cross out ~ ⇔ cross off ~** cross off は「（リスト・名簿から）線を引いて外す」（cross his name off the list）と、済んだ項目を消す。cross out は「（間違いを）線で消す」。見分け方：リストの項目を済ませたなら off、誤りを消すなら out。

0155 □□□

Because of the bad economy, many families are cutting back ＿＿＿ spending.

① in　② on
③ off　④ with

② cut back on ~ ～を削減する；～を減らす

訳 景気が悪いので、多くの家庭が支出を切り詰めている。

解説 「～を削減する」は cut back on ~。in / with は cut back と組まず、off は cut off（断つ）の形で back とは並ばない。景気が悪く出費を減らしている、という文。

区別 **cut back on ~ ⇔ cut down on ~** cut down on と cut back on はほぼ同じ「～を減らす」。cut back は会社・政府の予算・人員の削減によく使い、cut down は個人の飲食・習慣にもよく使う。どちらも on の後ろは減らす物。

0156 ☐☐☐

The strong wind finally died _____ after midnight, and we could sleep.

① off　② over
③ down　④ up

③ die down （風・騒ぎ・火が）静まる；弱まる

訳 強い風は夜中の 12 時過ぎにようやく収まり、私たちは眠ることができた。

解説 風が「静まる・弱まる」は die down。die off は「（次々に）死んでいく」、die over / die up はこの意味の句動詞として使わない。強風がやんで眠れた、という流れに合う。

区別 **die down ⇔ die out** die out は「（種・習慣が）絶滅する・廃れる」と完全になくなる。die down は「（勢いが）弱まる」でなくなるとは限らない。見分け方：絶滅・消滅なら out、弱まる・静まるなら down。

0157 ☐☐☐

I've moved into a smaller apartment, and I don't know what to do _____ all these old books.

① with　② for
③ to　④ of

① do with ~
（what to do with で）～を処理する・扱う；～で済ませる

訳 狭いアパートに引っ越したので、この古い本を全部どうしたらいいか分からない。

解説 「～をどう処理するか」は what to do with ~。for / to / of は what to do と組んで処理の対象を示せない。狭い部屋に引っ越して、古い本をどうしたらよいか困っている場面。

区別 **do with ~ ⇔ do without ~** do without は「～なしで済ませる」。do with は「～をどう扱う」「～で済ませる」。見分け方：what to do with ＋ 物なら処理、without なら「なしで」。

0158 ☐☐☐

You keep talking about money and my new car. What exactly are you driving _____?

① to　② on
③ for　④ at

④ drive at ~ ～を言おうとする；～を意図する

訳 さっきからお金や私の新しい車の話ばかりしているけど、いったい何が言いたいの？

解説 「～を言おうとする」は drive at ~ で、What are you driving at?（何が言いたいの）の形で使う。to / on / for は drive と組んでこの意味にならない。遠回しな話の意図を問いただす場面。

区別 **drive at ~ ⇔ drive A to do** drive A to do / drive A crazy は「A を～するように追い立てる」「A を怒らせる」。drive at は「～を言おうとする」。見分け方：at が続き疑問詞 what と組んでいれば「言いたいこと」。

0159 ☐☐☐

As the train moved off, the sound of the music slowly faded _____.

① into　② over
③ away　④ on

③ fade away 次第に消えていく；衰える

訳 列車が動き出すと、音楽の音は次第に消えていった。

解説 fade away で「次第に消えていく」。列車が遠ざかって音が薄れていく場面に合う。fade over / fade on という句動詞はない。into は後ろに名詞が必要（fade into the distance）で、文末には置けない。

区別 **fade away ⇔ die out** die out は「（種族・習慣などが）絶滅する・すたれる」で、完全になくなることに重点がある。fade away は「だんだん薄れていく」と、消えていく過程に重点がある。

0160 ☐☐☐

I've worn these shoes every day for five years, and now they're falling ＿＿＿＿.

① away　② off
③ apart　④ down

③ fall apart ばらばらになる；崩壊する

訳 この靴は 5 年間毎日履いているので、今ではぼろぼろになりかけている。

解説 靴が「ばらばらになる・壊れる」は fall apart。fall away は「（次第に）なくなる・減る」、fall off は「落ちる・減る」、fall down は「倒れる・転ぶ」で、使い古した靴が壊れる意味にならない。

区別 **fall apart ⇔ fall down** fall down は「倒れる・転ぶ」と下へ倒れること。fall apart は「ばらばらに分解する・崩壊する」。見分け方：転ぶ・倒れるなら down、部品・関係がばらばらになるなら apart。

0161 ☐☐☐

It's wise to have some savings to fall back ＿＿＿＿ in case you lose your job.

① on　② to
③ in　④ at

① fall back on ~ （いざというとき）～に頼る

訳 仕事を失ったときに備えて、頼りにできる貯金を持っておくのは賢明だ。

解説 「（いざというとき）～に頼る」は fall back on ~。to / in / at は fall back と組んで頼る対象を示さない。仕事を失ったときに頼れる貯金、という意味で something to fall back on の形。

区別 **fall back on ~ ⇔ fall behind** fall behind は「遅れる・後れを取る」（fall behind in class）。fall back on は「（非常時に）～に頼る」。見分け方：on ＋ 頼れる物が続けば「頼る」、behind なら「遅れる」。

0162 ☐☐☐

Our plans for a beach trip fell ＿＿＿＿ because of the typhoon.

① down　② over
③ off　④ through

④ fall through （計画などが）失敗に終わる；だめになる

訳 浜辺への旅行の計画は、台風のせいでだめになった。

解説 計画が「だめになる」は fall through。fall down は「倒れる」、fall over は「つまずいて転ぶ」、fall off は「落ちる・減る」で、計画が実現しない意味にならない。台風で旅行が中止になった場面。

区別 **fall through ⇔ fall apart** fall apart は「（物・組織が）ばらばらになる・崩壊する」。fall through は「（計画・約束が）実現せずに終わる」。見分け方：計画・取引が成立しなかったなら through、壊れて崩れるなら apart。

0163 ☐☐☐

The room was completely dark, so I felt ＿＿＿＿ the light switch on the wall.

① like　② for
③ with　④ to

② feel for ~ ～に同情する；～を手探りで探す

訳 部屋は真っ暗だったので、私は壁の電気のスイッチを手探りで探した。

解説 暗い部屋でスイッチを探す場面なので「手探りで探す」の feel for ~。feel like は「…したい気がする・～のように感じる」で合わない。feel with / feel to はこの意味で使わない。

区別 **feel for ~ ⇔ feel like ~ing** feel for は「同情する・手探りで探す」、feel like は「…したい気がする・～のように感じる」。見分け方：後ろが人・物で同情や探す場面なら for、~ing で気分・欲求なら like。

0164 ☐☐☐

At the gas station: Regular gas, please. Could you fill it ＿＿＿＿ ?

① in　② up
③ out　④ on

② fill up　いっぱいになる；～をいっぱいにする

訳 ガソリンスタンドで：「レギュラーをお願いします。満タンにしてもらえますか。」

解説 タンクを「いっぱいにする（満タンにする）」は fill it up。fill in / fill out は「（書類に）記入する」で、ガソリンの文脈に合わない。fill on は句動詞として使わない。

区別 **fill up ⇔ fill in / fill out**　fill in / fill out は「（書類・用紙）に記入する」（fill in the form）。fill up は「（容器・場所）を満たす」。見分け方：書類なら in / out、タンク・コップ・部屋なら up。

0165 ☐☐☐

His English was not very good, so he found it hard to get his ideas ＿＿＿＿ to the audience.

① along　② by
③ off　④ across

④ get across ～　（考え・意味）を伝える・理解させる

訳 彼は英語があまり上手ではなかったので、聴衆に自分の考えを伝えるのに苦労した。

解説 「（考え）を伝える・理解させる」は get A across to B。get along は「仲良くやる」、get by は「何とかやっていく」、get off は「降りる」で、考えを伝える意味にならない。英語が苦手で伝えにくい、という文脈。

区別 **get across ～ ⇔ get through to ～**　get through to は「（人に）話が通じる・（電話が）つながる」。get across は「（考えを）伝える」で目的語は考え・メッセージ。見分け方：伝える内容が目的語なら get across、相手に通じるかが問題なら get through to。

0166 ☐☐☐

Stop playing games and get down to ＿＿＿＿ your homework.

① do　② done
③ doing　④ does

③ get down to ～　（仕事など）に本気で取りかかる

訳 ゲームはやめて、宿題に本腰を入れて取りかかりなさい。

解説 get down to ～ の to は前置詞なので後ろは動名詞 doing。不定詞と思い込んで原形 do を選ぶのが典型的な誤り。done / does も前置詞の後ろに置けない。

区別 **get down to ～ ⇔ set about ～**　set about は「～に取りかかる・着手する」で、始めること自体を言う。get down to は「（ぐずぐずせずに）本腰を入れて取りかかる」と気持ちの切り替えを強調する。どちらも後ろは名詞・~ing。

0167 ☐☐☐

The teacher gave ＿＿＿＿ the test papers and told us to begin.

① out　② off
③ up　④ away

① give out　～を配る；（力・供給が）尽きる

訳 先生はテスト用紙を配って、始めなさいと言った。

解説 「（多くの人に）配る」は give out ～。give off は「（におい・熱）を発する」、give up は「あきらめる」、give away は「ただでやる・（秘密を）漏らす」で、試験用紙を配る意味にならない。

区別 **give out ⇔ give in ～**　give in は「屈する・降参する」、give in ～ は「（書類）を提出する（英）」。give out は「配る」。見分け方：配布なら out、提出・降参なら in。

0168 ☐☐☐

Don't give up ＿＿＿＿ your dream of becoming a doctor. Keep studying hard.

① to　② at
③ of　④ on

④ give up on ~ ～に見切りをつける；～を見放す

訳 医者になるという夢を諦めないで。一生懸命勉強を続けなさい。

解説 「～に見切りをつける・あきらめる」は give up on ~。to / at / of は give up と組んで対象を示さない（give in to なら「屈する」）。医者になる夢をあきらめるな、と励ます文。

区別 **give up on ~ ⇔ give up ~** give up ~ は「（習慣・行動）をやめる」（give up smoking）や「（望み）を捨てる」。give up on ~ は「（人・物事）に期待するのをやめる・見放す」。見分け方：人を見放すなら on が必要（give up on my son）。

0169 ☐☐☐

I don't really like the idea, but I'll go along ＿＿＿＿ it if everyone else agrees.

① to　② for
③ with　④ by

③ go along with ~ ～に賛成する；～に従う

訳 その案はあまり気に入らないが、ほかのみんなが賛成するなら従うよ。

解説 「～に同調する・従う」は go along with ~。to / for / by は go along と組んで同調の対象を示さない。気は進まないが皆が賛成なら従う、という消極的な同意を表す文。

区別 **go along with ~ ⇔ get along with ~** get along with は「（人と）仲良くやる」。go along with は「（案・人の意見）に同調する」。見分け方：人間関係なら get along、意見・計画に乗るなら go along。

0170 ☐☐☐

A: I'm thinking of entering the speech contest, but I'm nervous. B: You can do it. Go ＿＿＿＿ it!

① for　② by
③ off　④ on

① go for ~ ～を選ぶ；～を目指す

訳 A：スピーチコンテストに出ようと思っているんだけど、緊張するな。　B：君ならできるよ。頑張れ！

解説 「頑張れ・やってみなよ」と挑戦を励ます決まり文句は Go for it!。for は「～を求めて」で、目標に向かって行けという意味。by / off / on は go と組んでこの励ましにならない（go by は「過ぎる」、go off は「鳴る」、go on は「続ける」）。

区別 **go for ~ ⇔ go with ~** go with も「（案・品）を選ぶ」の意味で使えるが、「～と合う・調和する」が中心。go for は「～を選ぶ・目指す」。見分け方：服と服が合うなら go with、目標・挑戦なら go for。

0171 ☐☐☐

The police ordered the robber to hand ＿＿＿＿ the stolen money.

① down　② over
③ up　④ off

② hand over ~ ～を引き渡す；～を譲る

訳 警察は強盗に、盗んだお金を引き渡すよう命じた。

解説 「～を引き渡す」は hand over ~。hand down は「（次の世代に）伝える」、hand up は「（上の人に）手渡す」でまれ、hand off は「（ボールを）手渡す（スポーツ）」で、警察への引き渡しには合わない。

区別 **hand over ~ ⇔ hand down ~** hand down は「（次の世代に）伝える」。hand over は「（相手に）引き渡す・譲る」。見分け方：世代を越える伝統なら down、目の前の相手・後任に渡すなら over。

0172 ☐☐☐

The bus is about to start. Please hold on ＿＿＿ the rail.

① at　② with
③ to　④ for

③ hold on to ~ ～にしがみつく；～を手放さない

訳 バスが発車します。手すりにしっかりつかまってください。

解説 「～にしっかりつかまる」は hold on to ~。at / with / for は hold on と組んでつかまる対象を示さない（hold on for は「～まで待つ」に近い）。バスが動き出すので手すりにつかまって、という案内。

区別 **hold on to ~ ⇔ let go of ~** let go of は「～から手を放す・手放す」で反対。hold on to は「しっかり持ち続ける」。見分け方：放すなら let go of、しがみつくなら hold on to。

0173 ☐☐☐

The school festival kicks ＿＿＿ next Friday with a concert in the gym.

① off　② out
③ up　④ in

① kick off (~)
（～を）始める；（サッカーで）試合を開始する

訳 文化祭は来週の金曜日、体育館でのコンサートで幕を開ける。

解説 「（行事が）始まる」は kick off。kick out は「追い出す」、kick up は「（ほこり・騒ぎ）を起こす」、kick in は「（効果などが）効き始める」で、文化祭が始まる意味にならない。

区別 **kick off (~) ⇔ kick out ~** kick out は「～を追い出す」。kick off は「始まる・始める」。見分け方：開始なら off、追放なら out。

0174 ☐☐☐

The doctor said the pain in my knee won't go away completely, so I'll have to learn to live ＿＿＿ it.

① on　② by
③ with　④ for

③ live with ~
（嫌なこと）を受け入れて我慢する；～と同居する

訳 医者によると、膝の痛みは完全には消えないそうなので、うまく付き合っていけるようにならなければならない。

解説 「（嫌なこと）を受け入れて付き合っていく」は live with ~。live on は「（収入・食べ物）で暮らす」、live by は「（信条）に従って生きる」、live for は「～のために生きる」で、痛みを受け入れる意味にならない。

区別 **live with ~ ⇔ live on ~** live on は「～を食べて生きる」「（収入）で暮らす」（live on a small pension）。live with は「（嫌なこと）を我慢する」。見分け方：食べ物・お金で生活するなら on、つらい状況を受け入れるなら with。

0175 ☐☐☐

I was so nervous that I forgot my lines and really messed ＿＿＿ the presentation.

① out　② off
③ down　④ up

④ mess up ~ ～を台無しにする；～を散らかす

訳 とても緊張していたのでせりふを忘れてしまい、発表を本当に台無しにしてしまった。

解説 「～を台無しにする・しくじる」は mess up ~。mess out / mess off / mess down はこの意味の句動詞として使わない（mess around は「ぶらぶらする」）。せりふを忘れて発表を台無しにした場面。

区別 **mess up ~ ⇔ mix up ~** mix up は「～を混同する・取り違える」。mess up は「～を台無しにする・散らかす」。見分け方：区別がつかないなら mix up、失敗して台無しにするなら mess up。

0176 ☐☐☐

The police officer signaled me to pull _____ to the side of the road.

① away ② over
③ back ④ down

② pull over （車を）道路わきに寄せて止める

訳 警察官は私に、道路脇に車を寄せて止めるよう合図した。

解説 「（車を）道路わきに寄せて止める」は pull over。pull away は「（車が）走り去る」、pull back は「後退する・手を引く」、pull down は「取り壊す・引き下ろす」で、路肩に止める意味にならない。

区別 **pull over ⇔ pull up** pull up は「（車が目的地などで）止まる」（A taxi pulled up in front of the hotel）。pull over は「（路肩に）寄せて止める」。見分け方：警察に止められる・路肩に寄るなら over、建物の前などに着いて止まるなら up。

0177 ☐☐☐

If you need help with anything, please don't hesitate to reach _____ to us.

① up ② over
③ for ④ out

④ reach out (to ~)
（～に）手を差し伸べる；（～に）連絡を取る

訳 何かお困りのことがあれば、遠慮なくご連絡ください。

解説 「（人に）連絡する・助けを求める」は reach out to ~。reach up は「上へ手を伸ばす」、reach over は「（～越しに）手を伸ばす」、reach for は「～を取ろうと手を伸ばす」で to us とは組まない。

区別 **reach out (to ~) ⇔ reach ~** reach は他動詞で「～に着く・届く」（reach the station）と前置詞なし。reach out to ＋ 人 は「人に手を差し伸べる・連絡する」。見分け方：場所に着くなら reach、人に働きかけるなら reach out to。

0178 ☐☐☐

My brother suddenly had a high fever, so we sent _____ a doctor.

① for ② at
③ with ④ by

① send for ~ （人）を呼びにやる；（物）を取り寄せる

訳 弟が急に高熱を出したので、私たちは医者を呼んだ。

解説 「（医者）を呼びにやる」は send for ~。for は「～を求めて」の意味で、使いを出して来てもらう。send at / send by は意味をなさない。send with は「～と一緒に送る」で目的語が必要。医者・救急車・警察を呼ぶ場面の定番表現。

区別 **send for ~ ⇔ call for ~** send for は「（医者など）を呼び寄せる」と、人や物に来てもらうこと。call for は「～を要求する・必要とする」（call for help / The job calls for patience.）、または「（人）を迎えに行く」。見分け方：医者・救急車に来てもらうなら send for、助け・変化を求めるなら call for。

0179 ☐☐☐

The old factory was shut ＿＿＿＿ last year, and 300 people lost their jobs.

① down　② off
③ in　④ away

① shut down (~)

（～を）閉鎖する；（機械・コンピュータを）停止させる

訳 その古い工場は昨年閉鎖され、300 人が職を失った。

解説 「（工場）を閉鎖する」は shut down ~（受動態 was shut down）。shut off は「（水道・電気）を止める」、shut in は「閉じ込める」、shut away は「隔離する」で、工場の閉鎖を表せない。

区別 **shut down (~) ⇔ close down** close down も「（店・工場が）閉鎖する」でほぼ同じ。shut down は機械・システムの停止にも使う。見分け方：コンピュータを終了するなら shut down。

0180 ☐☐☐

The teacher singled ＿＿＿＿ Emma for special praise because of her excellent report.

① up　② down
③ off　④ out

④ single out ~

～を（1つだけ）選び出す；～を特に取り上げる

訳 先生は、すばらしいレポートを書いたエマを特に選んでほめた。

解説 「（多くの中から）選び出して特に取り上げる」は single out。out は「外へ取り出す」イメージ。single up / off / down という句動詞はこの意味にならない。single A out for praise（A を選んでほめる）は典型的な形。

区別 **single out ~ ⇔ pick out ~** single out は多くの中から 1 人・1 つだけを特別扱いして取り上げる（ほめる・責める）。pick out は「選び出す・見分ける」と広く使える。見分け方：for praise / for criticism と特別扱いの理由が続けば single out が自然。

0181 ☐☐☐

There's a mistake in my bill. Could you help me sort it ＿＿＿＿?

① up　② off
③ out　④ down

③ sort out ~ ～を整理する；（問題）を解決する

訳 請求書に間違いがあります。解決するのを手伝っていただけますか。

解説 「（問題）を解決する・整理する」は sort out ~ で、代名詞は sort it out。sort up / sort off / sort down はこの意味の句動詞として使わない。請求書の間違いを解決してほしい、という依頼。

区別 **sort out ~ ⇔ work out ~** work out は「（問題・方法）を考え出す・解決する」と頭を使って答えを出す。sort out は「（混乱・問題）を整理して片付ける」。どちらも「解決する」で言い換えられるが、ごちゃごちゃを整理するなら sort out。

0182 □□□

I'm sorry, but I can't hear you well. Could you speak ＿＿＿ a little?

① out　② up
③ on　④ down

② speak up 大きな声で話す；はっきり意見を言う

訳 すみませんが、よく聞こえません。もう少し大きな声で話していただけますか。

解説 「大きな声で話す」は speak up。speak out は「公然と意見を言う」で声量の頼みには使わない。speak on は「（話題）について話す」、speak down は「見下して話す（speak down to ~）」で合わない。

区別 **speak up ⇔ speak out** speak out は「（反対意見などを）公然と言う」（speak out against injustice）と、社会的な問題で勇気を持って発言すること。speak up は「声を大きくする」「遠慮せず言う」。見分け方：声量なら speak up、公の抗議なら speak out。

0183 □□□

After the scandal, the company president stepped ＿＿＿.

① up　② out
③ in　④ down

④ step down 辞任する；（地位から）退く

訳 不祥事の後、その会社の社長は辞任した。

解説 「辞任する」は step down。step up は「強化する・進み出る」、step out は「ちょっと外へ出る」、step in は「介入する」で、不祥事の後の辞任を表せない。

区別 **step down ⇔ step up** step up は「（取り組み）を強化する」「進み出る・名乗り出る」。step down は「辞任する」。見分け方：地位から降りるなら down、前に出る・強めるなら up。

0184 □□□

Could you stop ＿＿＿ the supermarket on your way home and buy some milk?

① by　② off
③ up　④ over

① stop by (~) （~に）立ち寄る

訳 帰りにスーパーに寄って、牛乳を買ってきてくれる？

解説 「（場所）に立ち寄る」は stop by ~ で、後ろに直接場所を置ける。stop off は at が必要（stop off at the supermarket）。stop up は「（穴を）ふさぐ」、stop over は「途中で一泊する（in が必要）」で、ここには合わない。

区別 **stop by (~) ⇔ stop off at ~** stop off は「（途中で）立ち寄る」で、場所を言うときは at が必要（stop off at the bank）。stop by は後ろに直接場所を置ける（stop by the bank）。見分け方：前置詞なしで場所が続くなら stop by。

0185 □□□

After the war, many families struggled ＿＿＿ enough food to survive.

① against　② with
③ for　④ at

③ struggle for ~ ~を得ようと奮闘する；~のために戦う

訳 戦後、多くの家族が生きていくのに十分な食べ物を得ようと苦労した。

解説 struggle for ~で「~を得ようと奮闘する」。十分な食べ物は「手に入れたいもの」なので for。against は抵抗する相手、with は格闘する困難を表し、enough food（求めるもの）には合わない。at は struggle と組んでこの意味を作らない。

区別 **struggle for ~ ⇔ struggle with ~** struggle with は「（問題・困難）と格闘する・~に苦労する」（struggle with math）。struggle for は「（目標）を求めて奮闘する」。見分け方：後ろが困難なら with、手に入れたい物なら for。

0186 ☐☐☐

This medicine will take ＿＿＿ the pain, but you still need to rest.

① off　② up
③ away　④ over

③ take away ~ ～を持ち去る；～を取り除く

訳 この薬で痛みは取れるが、それでも休む必要がある。

解説 「（痛み）を取り除く」は take away ~。take off は「脱ぐ・離陸する」、take up は「始める・（場所を）とる」、take over は「引き継ぐ」で、痛みをなくす意味にならない。

区別 **take away ~ ⇔ take out ~** 料理の持ち帰りは英国で take away、米国で take out。take out には「取り出す・連れ出す」の意味もある。take away は「持ち去る・取り除く」。見分け方：痛みを取る・物を没収するなら take away。

0187 ☐☐☐

This is an important decision. Let's talk it ＿＿＿ with your parents before you decide.

① up　② off
③ down　④ over

④ talk over ~ ～について話し合う

訳 これは大事な決断だ。決める前に、ご両親とよく話し合おう。

解説 「～について話し合う」は talk over ~ で、代名詞は talk it over。talk up は「褒めそやす」、talk off はこの意味の句動詞にならず、talk down は「（人を）言い負かす・見下して話す」。決める前に相談する場面。

区別 **talk over ~ ⇔ talk about ~** talk about は「～について話す」と広く使う。talk over は「（決定・問題）をよく話し合う・相談する」と、結論に向けた話し合い。discuss は他動詞で about が付かない（× discuss about）。

0188 ☐☐☐

In the past, the terrible disease wiped ＿＿＿ almost the entire population of the village.

① off　② out
③ up　④ down

② wipe out ~ ～を全滅させる；～を一掃する

訳 昔、その恐ろしい病気で村のほぼ全員が亡くなった。

解説 「～を全滅させる」は wipe out ~。wipe off は「（汚れを）ふき取る」、wipe up は「（こぼれた物を）ふき取る」、wipe down は「（表面を）ふく」で、病気が村人を全滅させた意味にならない。

区別 **wipe out ~ ⇔ wipe off ~** wipe off は「（汚れ・水）をふき取る」（wipe off the table）と、表面からぬぐうこと。wipe out は「（集団・病気）を完全になくす」。見分け方：表面の汚れなら off、全滅・根絶なら out。

0189 ☐☐☐

We're almost out of time, so let's wrap ＿＿＿ the meeting.

① up　② out
③ off　④ in

① wrap up ~ ～を終える；～をまとめる

訳 もうほとんど時間がないので、会議を締めくくりましょう。

解説 「（会議）を終える・締めくくる」は wrap up ~。wrap out / wrap off はこの意味で使わず、wrap in は「（～で）包む（wrap A in B）」で会議を終える意味にならない。時間がないので会議を締めくくろう、という場面。

区別 **wrap up ~ ⇔ sum up ~** sum up は「（要点を）要約する」。wrap up は「（会議・作業を）締めくくって終える」。見分け方：内容をまとめて言うなら sum up、活動そのものを終わらせるなら wrap up。

0190 ☐☐☐

For a doctor, the health of patients should come ———— everything else.

① first ② ahead
③ over ④ before

④ come before ~ ～より優先する；～より重要である

訳 医者にとって、患者の健康は他の何よりも優先されるべきだ。

解説 後ろに比べる相手 everything else があるので come before ~（～より優先する）。first は相手を取らず come first とだけ言う。ahead は ahead of ~ と of が要る。come over は「やって来る」などの意味で優先を表さない。

区別 **come before ~ ⇔ come first** come before ~ は「～より優先」と比べる相手を目的語に取る。come first は相手を取らず「最優先・一番大事」。見分け方：後ろに比べる名詞があれば come before、なければ come first。

0191 ☐☐☐

The two companies entered ———— an agreement to share their technology.

① into ② to
③ in ④ on

① enter into ~
（契約・交渉・議論など）を始める；～を結ぶ

訳 その 2 社は、技術を共有する契約を結んだ。

解説 「（契約）を結ぶ」は enter into an agreement。後ろが契約という抽象的な物なので into を付ける。enter in / enter to / enter on はこの意味で使わない。なお部屋や建物に入るなら enter the room と into を付けない点と区別する。

区別 **enter into ~ ⇔ enter** enter ＋ 場所は「～に入る」で前置詞なし（enter the classroom）。enter into ＋ 契約・議論などは「～を始める・結ぶ」。見分け方：後ろが部屋・建物・国など物理的な場所なら enter だけ、agreement / negotiations / a relationship など抽象的な物なら enter into。go into the room なら into が必要な点と混同しない。

0192 ☐☐☐

He's thirty years old, has no job, and still lives ———— his parents' money.

① with ② off
③ under ④ at

② live off ~ ～に頼って暮らす；～で生計を立てる

訳 彼は 30 歳で仕事もなく、今でも親のお金に頼って暮らしている。

解説 「（人のお金）に頼って暮らす」は live off ~。live with は「（人）と同居する」で his parents' money とは組まない。under / at も live の後ろでこの意味にならない。仕事もなく親のお金で暮らす、という批判的な文。

区別 **live off ~ ⇔ live on ~** live on は「（食べ物）を常食にする」「（収入）で暮らす」（live on a small salary）。live off は「（人・他人のお金）に頼って暮らす」と寄生する感じが強い。見分け方：自分の収入なら on、他人に頼るなら off。

0193 ☐☐☐

He was very shy at first, and it took a long time for him to open ＿＿＿＿ to me about his problems.

① out　② in
③ off　④ up

④ open up (~) 心を開く；（～を）開放する

訳 彼は最初はとても内気で、自分の悩みを私に打ち明けてくれるまで長い時間がかかった。

解説 「心を開く・打ち明ける」は open up (to A about B)。open out は「広がる」、open in / open off はこの意味の句動詞として使わない。恥ずかしがり屋が悩みを打ち明けるまで時間がかかった、という文。

区別 **open up (~) ⇔ open** open だけでも「開く」だが、open up は「（すっかり）開く」「（閉ざしていた心を）開く」「（新しい道を）切り開く」と、閉じていた物が大きく開く感じ。見分け方：人が心の内を話すなら open up。

0194 ☐☐☐

I pass ＿＿＿＿ the old bookstore every day on my way to school.

① over　② out
③ by　④ off

③ pass by (~) （～のそばを）通り過ぎる；（時が）過ぎる

訳 私は毎日、学校へ行く途中でその古い本屋の前を通る。

解説 「（～のそばを）通り過ぎる」は pass by ~。pass over は「（～の上を）通過する・見落とす」、pass out は「気絶する・配る」、pass off は「（偽物を）通す」で、毎日本屋の前を通る意味にならない。

区別 **pass by (~) ⇔ pass through ~** pass through は「～を通り抜ける・通過する」と中を通ること。pass by は「～のそばを通り過ぎる」と外側を通ること。見分け方：中を通るなら through、横を通るなら by。

0195 ☐☐☐

A black taxi pulled ＿＿＿＿ in front of the hotel, and a famous actor got out.

① up　② off
③ out　④ back

① pull up (~) （車が）止まる；～を引き上げる

訳 黒いタクシーがホテルの前に止まり、有名な俳優が降りてきた。

解説 車が（目的地に着いて）「止まる」は pull up。俳優が降りてきたので、タクシーはホテルの前で停車している。pull off は「（道から）外れる・やってのける」、pull out は「（車が）出ていく」、pull back は「後退する」で合わない。

区別 **pull up (~) ⇔ pull over** pull over は「（路肩に）寄せて止める」（警察に止められる場面）。pull up は「（目的地などに着いて）止まる」。見分け方：建物・人の前に着いて止まるなら up、道の端に寄せて止まるなら over。

0196 □□□

Hello. Could you put me ＿＿＿＿ to the sales department, please?

① through　② on
③ up　④ off

① put through ~

（電話）をつなぐ；（苦難）を経験させる

訳 もしもし。営業部につないでいただけますか。

解説 電話を「つなぐ」は put A through to B。put on は「着る・（電話に人を）出す（put A on）」、put up は「泊める・掲げる」、put off は「延期する」で、部署に電話をつないでもらう依頼にならない。

区別 **put through ~ ⇔ get through (to ~)** get through to は「（電話が）～につながる」で、主語はかける人。put A through to B は「（交換手などが）A の電話を B につなぐ」で、主語はつなぐ人。見分け方：つないでもらう依頼なら put me through。

0197 □□□

I can't call you because my phone battery has run ＿＿＿＿.

① off　② over
③ up　④ down

④ run down ~

～をけなす；（電池などが）切れる・（人が）疲れる

訳 携帯電話の電池が切れたので、電話できないんだ。

解説 電池が「切れる」は run down。run off は「逃げる・（コピーを）刷る」、run over は「（車が）ひく・あふれる」、run up は「（借金が）かさむ・駆け上がる」で、電池が切れる意味にならない。

区別 **run down ~ ⇔ run out** run out は「（物が）尽きる・（期限が）切れる」、run out of ~ は「～を切らす」。run down は「（電池が）弱って切れる」「（人が）疲れ果てる」。見分け方：電池・機械が弱るなら run down、在庫・時間がなくなるなら run out。

0198 □□□

The heavy snow set the construction of the bridge ＿＿＿＿ by two weeks.

① off　② back
③ up　④ out

② set back ~　～を遅らせる；～を妨げる

訳 大雪のせいで、橋の工事が 2 週間遅れた。

解説 「～を遅らせる」は set back ~。set off は「出発する・引き起こす」、set up は「設立する・準備する」、set out は「出発する・並べる」で、工事を遅らせる意味にならない。by two weeks が遅れの幅。

区別 **set back ~ ⇔ hold up ~** hold up は「（一時的に）遅らせる・足止めする」（be held up in traffic）。set back は「（進行を）後退させる・遅れさせる」と計画全体が後戻りする感じ。見分け方：期間を示して計画を遅らせるなら set back。

0199 □□□

Many students spoke out ＿＿＿＿ the new school rule, which they thought was unfair.

① to　② with
③ against　④ at

③ speak out (against ~)
（～に反対して）公然と意見を述べる

訳 多くの生徒が、不公平だと思う新しい校則に反対の声を上げた。

解説 不公平だと思う規則に「反対して公然と意見を述べる」は speak out against ~。to は話す相手、with は一緒に話す相手を示し、反対の対象にはならない。at も不可。

区別 **speak out (against ~) ⇔ speak up** speak up は「（もっと）大きな声で話す」「遠慮せず意見を言う」。speak out は「（不正などに）公に異を唱える」と社会的な発言。見分け方：声量なら speak up、公の抗議なら speak out against。

0200 □□□

That dog is dangerous. Stay away ＿＿＿＿ it.

① of　② off
③ from　④ out

③ stay away from ~ ～に近づかない；～を避ける

訳 あの犬は危ないよ。近寄らないで。

解説 「～に近づかない」は stay away from ~。of / off / out は away の後ろで離れる対象を示せない（stay out of ~ なら「入らない」）。危険な犬に近寄るなという警告。

区別 **stay away from ~ ⇔ stay out of ~** stay out of は「（場所・問題）に入らない・関わらない」（stay out of trouble）。stay away from は「～に近寄らない」。見分け方：中に入る・首を突っ込むなら out of、そばに寄るなら away from。

0201 □□□

After the robberies, the police stepped ＿＿＿＿ patrols in the neighborhood.

① down　② up
③ out　④ in

② step up ~ ～を強化する；～を増やす

訳 相次ぐ強盗事件の後、警察はその地域のパトロールを強化した。

解説 「（パトロール）を強化する」は step up ~。step down は「辞任する」、step out は「ちょっと外へ出る」、step in は「介入する」で、目的語 patrols と組んで強化を表さない。強盗事件の後の対応。

区別 **step up ~ ⇔ step down** step down は「辞任する」。step up は「強化する・進み出る」。見分け方：地位から退くなら down、取り組みを強める・前に出るなら up。

0202 □□□

Working late every night soon began to tell ＿＿＿＿ his health.

① to　② at
③ on　④ for

③ tell on ~ ～にこたえる；～に（悪い）影響が出る

訳 毎晩遅くまで働くことが、すぐに彼の健康にこたえ始めた。

解説 「（悪い影響が）～にこたえる」は tell on ~。on は負担がのしかかる対象を示す（have an effect on と同じ）。tell to / tell at / tell for は健康への悪影響を表さない。毎晩の残業という負担の内容とも合う。

区別 **tell on ~ ⇔ tell A from B** tell on は「（悪影響が）～にこたえる・告げ口する」。tell A from B は「A と B を見分ける」。同じ tell でも前置詞で意味が全く違う。見分け方：後ろに A from B と 2 つ並べば区別、on ＋ 体・健康なら悪影響。

0203 ☐☐☐

The teacher said, Turn ＿＿＿＿ your test papers and begin. You have fifty minutes.

① up　② in
③ out　④ over

④ turn over ~ ～をひっくり返す；～を引き渡す

訳 先生は「テスト用紙を裏返して始めなさい。時間は 50 分です」と言った。

解説 試験用紙を「裏返す」は turn over ~。試験を始める合図なので、伏せてある用紙を表にする。turn in は「提出する」で、始める合図と合わない。turn up は「（音量を）上げる・現れる」、turn out は「（明かりを）消す」で不可。

区別 **turn over ~ ⇔ turn in ~** turn in は「（書類）を提出する」「（犯人）を警察に届ける」。turn over は「裏返す」「引き渡す」。見分け方：試験用紙を裏返すなら over、先生に出すなら in。

0204 ☐☐☐

The effect of the painkiller will wear ＿＿＿＿ in a few hours, so take another one if necessary.

① off　② out
③ down　④ away

① wear off
（効果・痛みなどが）次第に消える；すり減ってなくなる

訳 痛み止めの効き目は数時間で切れるので、必要ならもう 1 錠飲みなさい。

解説 薬の効果が「次第に消える」は wear off。wear out は「すり減って使えなくなる・疲れさせる」、wear down は「すり減らす・（相手を）根負けさせる」、wear away は「（石などが）すり減る」で、効き目が切れる意味にならない。

区別 **wear off ⇔ wear out** wear out は「（物を）すり減らして使えなくする」「（人を）疲れ果てさせる」。wear off は「（効果・痛みが）だんだん薄れる」。見分け方：薬・麻酔の効き目が切れるなら off、靴・服がだめになるなら out。

確認テスト1　句動詞｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0001 彼女の新しい小説は来月書店に並ぶ。
Her new novel will come **out** in bookstores next month.

0002 駅の近くにできた新しいカフェに行ってみるといいよ。
You should check **out** the new cafe near the station.

0003 私たちは金曜の夜はたいていレストランで外食する。
We usually eat **out** at a restaurant on Friday nights.

0004 金曜までに片付けなければならない仕事がたくさんある。
I have a lot of work to get **through** before Friday.

0005 英語が上達しているから、その調子で頑張って！
Your English is getting better, so keep **up** the good work!

0006 門の看板には「危険！立入禁止」と書いてあった。
The sign on the gate said, 'Danger! Keep **out**.'

0007 あなたの主張を裏付けるデータを何か見せてもらえますか。
Can you show me any data to back **up** your claim?

0008 彼女は3年付き合った恋人と別れた。
She broke up **with** her boyfriend after three years together.

0009 最近は良い仕事がなかなか見つからない。
Good jobs are hard to come **by** these days.

0010 次の駅で電車を降りて、路線を乗り換えてください。
Get **off** the train at the next station and change lines.

0011 私たちは家の近くのバス停でバスに乗った。
We got **on** the bus at the stop near my house.

0012 突然、建物の明かりがすべて消えた。
Suddenly all the lights in the building went **out**.

0013 大雨の後は川に近づかないほうがいい。
You should keep **away** from the river after heavy rain.

0014 何が起きても私はあなたの味方だ。
I will stand **by** you no matter what happens.

0015 友達が困っているときは、かばってあげるべきだ。
You should stand up **for** your friends when they are in trouble.

0016 金曜日の午後までにレポートを提出してください。
Please turn **in** your reports to me by Friday afternoon.

0017 この公園では芝生に入らないでください。
Please keep **off** the grass in this park.

0018 一番良いものを選ぶため、彼女は写真を全部床に並べた。
She laid **out** all the photos on the floor to choose the best one.

0019 大都市でそんなに少ない給料で暮らすのは大変だ。
It is hard to **live** on such a small salary in a big city.

0020 全ての選手は試合のルールを守らなければならない。
All players must **abide** by the rules of the game.

0021 私たちが球場に着いたときには、試合は終わっていた。
By the time we arrived at the stadium, the game was **over** .

0022 この歌を聞くといつも高校時代を思い出す。
This song always brings **back** memories of my high school days.

0023 彼は他人にどう思われているかを気にしない。
He doesn't care **about** what other people think of him.

0024 空が晴れて、私たちはハイキングに行けた。
The sky cleared **up** and we were able to go hiking.

0025 今朝の会議で君の名前が話題に出たよ。
Your name came **up** during the meeting this morning.

0026 この寺は 8 世紀に遡る。
This temple **dates** back to the eighth century.

0027 彼はアルバイトのわずかな収入でなんとかやっている。
He gets **by** on a small income from his part-time job.

0028 電話を借りてもいい？——ええ、どうぞ。
May I use your phone? Sure, go **ahead** .

0029 この薬を飲めば、頭痛はすぐ治まるよ。
Take this medicine, and your headache will go **away** soon.

0030 この赤いネクタイは僕の青いシャツに合うと思う？
Do you think this red tie goes **with** my blue shirt?

0031 彼女は怒って、私が説明する前に電話を切った。
She got angry and hung **up** before I could explain.

0032 渋滞で1時間以上足止めされた。
We were held **up** in traffic for over an hour.

0033 このメッセージをクラスの全員に伝えてください。
Please pass this message **on** to everyone in your class.

0034 彼女は旅行のために毎月いくらかのお金を貯めている。
She puts **aside** some money every month for her trip.

0035 彼女はチームで一番の選手になろうと取り組み始めた。
She set **out** to become the best player on the team.

0036 昨日、英語のスピーチコンテストに申し込んだ。
I **signed** up for the English speech contest yesterday.

0037 一度計画を立てたら、それを守り通すべきだ。
Once you make a plan, you should **stick** to it.

0038 クラスメイトと新しいプロジェクトに取り組んでいる。
I'm working **on** a new project with my classmates.

0039 この用紙に名前と住所を書いてください。
Write **down** your name and address on this sheet.

0040 その古い橋は戦争中に爆破された。
The old bridge was blown **up** during the war.

0041 昨日スーパーで昔の先生にばったり会った。
I bumped **into** my old teacher at the supermarket yesterday.

0042 その冗談を聞くと、彼女は急に笑い出した。
When she heard the joke, she burst **out** laughing.

0043 彼女は今会議中です。後で折り返しお電話してよろしいですか。
She's in a meeting now. Can she call you **back** later?

0044 6時までにフロントでチェックインしてください。
Please check **in** at the front desk by six o'clock.

0045 風邪をひきかけているみたいだ。
I think I'm coming **down** with a cold.

0046 戦争中、その村ではたくさんの人が飢えで亡くなった。
Many people in the village died **of** hunger during the war.

0047 彼はテストで不正をしたが、ばれずには済まなかった。
He cheated on the test, but he didn't get **away** with it.

0048 彼女はいつも皿洗いを逃れようとする。
She always tries to get **out** of doing the dishes.

0049 ここから空港に行く一番早い方法は何ですか。
What's the fastest way of getting **to** the airport from here?

0050 彼女は古いおもちゃを全部子ども病院に寄付した。
She gave **away** all her old toys to the children's hospital.

0051 時がたつにつれて、彼女は自信をつけていった。
As time went **by**, she became more confident.

0052 ペンを取ってくるから、ちょっと待って。
Hang **on** a second while I go and get my pen.

0053 彼女は朝の時間を節約するうまい方法を思いついた。
She hit **on** a clever way to save time in the morning.

0054 その会社は経費を抑えようと懸命になっている。
The company is trying hard to keep costs **down** .

0055 私たちのチームは1回戦でトーナメントから敗退した。
Our team was knocked **out** of the tournament in the first round.

0056 その工場は昨年200人の労働者を解雇した。
The factory laid **off** two hundred workers last year.

0057 窓を開けて新鮮な空気を入れて。
Open the window and let some fresh air **in** .

0058 長いけんかの後、ケンはようやく姉と仲直りした。
After a long fight, Ken finally made up **with** his sister.

0059 パーティーに行かなければ、楽しいことを全部逃すよ。
If you don't go to the party, you'll miss **out** on all the fun.

0060 とても暑かったので、ランナーの一人がレース中に気を失った。
It was so hot that one runner passed **out** during the race.

0061 すべての証拠が同じ結論を示している。
All the evidence **points** to the same conclusion.

0062 お父さんが帰ってくる前におもちゃを片付けてね。
Please put **away** your toys before your father comes home.

0063 町中に文化祭のポスターを貼った。
We put **up** posters for the school festival all over town.

0064 警察は殺人の可能性を排除していない。
The police have not ruled **out** the possibility of murder.

0065 その少年は15歳のときに家出した。
The boy ran **away** from home when he was fifteen.

0066 彼は友達に新しい車を見せびらかすのが好きだ。
He likes to show **off** his new car to his friends.

0067 彼女はクラスのいじめっ子たちに勇敢に立ち向かった。
She bravely stood up **to** the bullies in her class.

0068 昨夜はテスト勉強で遅くまで起きていた。
I stayed **up** late last night studying for the test.

0069 その話の要点を１文でまとめられますか。
Can you **sum** up the main idea of the story in one sentence?

0070 このジャケットの大きいサイズを試着してもいいですか。
Can I try **on** this jacket in a larger size?

0071 部屋を出るときは電気を消すのを忘れないで。
Don't forget to turn **off** the lights when you leave the room.

0072 エアコンをつけてくれない？すごく暑いよ。
Could you turn **on** the air conditioner? It's really hot.

0073 今朝は騒音のせいで5時に目が覚めた。
I woke **up** at five this morning because of the noise.

0074 森を歩くときはヘビに気をつけて。
Watch **out** for snakes when you walk in the forest.

0075 良い教師はどの生徒からも一番良いところを引き出せる。
A good teacher can bring **out** the best in every student.

0076 ロンドン旅行の前に英語を磨き直さないといけない。
I need to brush **up** on my English before my trip to London.

0077 彼が事業を築き上げるのには何年もかかった。
It took years for him to build **up** his business.

0078 彼の事務所を訪ねたが、彼はいなかった。
I called **at** his office, but he wasn't there.

0079 学校を1週間休んだので、遅れを取り戻すために頑張らなければならない。
I missed a week of school, so I have to work hard to catch **up** .

0080 家に帰る前に教室をきれいに片付けよう。
Let's clean **up** the classroom before we go home.

0081 毎年広大な面積の森林が切り倒されている。
Large areas of forest are cut **down** every year.

0082 この小さな店は古本と地図を扱っている。
This small shop **deals** in old books and maps.

0083 みんな土曜の夜のパーティーのためにおめかしした。
Everyone dressed **up** for the party on Saturday night.

0084 空いているなら、昼食後に事務所に寄るよ。
I'll drop **by** your office after lunch if you're free.

0085 彼女はささいなことで親友と仲たがいした。
She fell **out** with her best friend over a small thing.

0086 彼が新しい学校になじむのに数か月かかった。
It took him a few months to fit **in** at his new school.

0087 答えが分かったらすぐに折り返しご連絡します。
I'll get **back** to you as soon as I have the answer.

0088 彼は窓を割って面倒なことになった。
He got **into** trouble for breaking the window.

0089 来週のどこかで集まってランチしよう。
Let's get **together** for lunch sometime next week.

0090 その地域の多くの人々は何日も水なしで過ごさなければならなかった。
Many people in the area had to go **without** water for days.

0091 このレシピはわが家で何世代にもわたって受け継がれてきた。
This recipe has been handed **down** in my family for generations.

0092 送別会で彼女は涙をこらえられなかった。
She couldn't hold **back** her tears at the farewell party.

0093 森を歩くときは、大きな道から外れないでください。
Please keep **to** the main path when you walk through the forest.

0094 この人混みでは私の手を放さないで。
Don't let **go** of my hand in this crowd.

0095 彼女の成功の秘密は努力にある。
The secret of her success **lies** in her hard work.

0096 彼女は求人広告を探して新聞に目を通した。
She looked **through** the newspaper to find the job ads.

0097 その双子はとても似ているので、いつも取り違えてしまう。
I always mix **up** the twins because they look so alike.

0098 彼女はパーティー用に青いドレスを選んだ。
She picked **out** a blue dress for the party.

0099 このカードに名前と電話番号を書いてください。
Put **down** your name and phone number on this card.

0100 彼女は会議で興味深い案を出した。
She put **forward** an interesting idea at the meeting.

0101 部屋を掃除していて古い写真を偶然見つけた。
I ran **across** some old photos while cleaning my room.

0102 コンサートのチケットはたった10分で売り切れた。
The concert tickets sold **out** in just ten minutes.

0103 毎日1時間を読書のために取ってある。
I set **aside** an hour every day for reading.

0104 何年も旅をした後、彼は小さな町に落ち着いた。
After years of traveling, he settled **down** in a small town.

0105 スピードを落として。道路が濡れていて危ないよ。
Please slow **down**. The road is wet and dangerous.

0106 食べ物がない 3 日間の後、兵士たちはついに敵に降伏した。
After three days without food, the soldiers finally surrendered **to** the enemy.

0107 私の申し出をよく考えて、明日返事をください。
Please think **over** my offer and tell me tomorrow.

0108 私がシャワーを浴びる前にお湯を全部使わないでね。
Don't use **up** all the hot water before I take a shower.

0109 ホテルを建てるため、古い劇場は取り壊される。
The old theater will be knocked **down** to build a hotel.

0110 このレシピは私の家で代々受け継がれてきた。
This recipe has been passed **down** in my family for generations.

0111 誰も彼が勝てるとは思わなかったが、彼はやってのけた。
Nobody thought he could win, but he pulled it **off** .

0112 話の途中にすみませんが、お電話です。
Sorry to break **in** , but there is a phone call for you.

0113 その新しいダンスはすぐに10代の間で流行った。
The new dance quickly caught **on** among teenagers.

0114 途中で駅に降ろしてもらえますか。
Could you drop me **off** at the station on your way?

0115 彼らの長い言い争いは、最後には大げんかになった。
Their long argument finally ended **in** a big fight.

0116 おしゃべりはやめて、仕事を進めなさい。
Stop talking and get on **with** your work.

0117 彼とはどのくらい付き合っているの？
How long have you been going **out** with him?

0118 週末はたいてい友達とショッピングモールで遊んでいる。
I usually hang **out** with my friends at the mall on weekends.

0119 めまいがしたので、しばらくソファに横になった。
I felt dizzy, so I lay **down** on the sofa for a while.

0120 その新しい計画は地元の人々の強い反対に遭った。
The new plan **met** with strong opposition from the local people.

0121 テストの話はそれくらいにして、次の話題に移ろう。
That's enough about the test, so let's move **on** to the next topic.

0122 お金は来週返すね。
I'll pay you **back** the money next week.

0123 この本棚を組み立てるのに3時間かかった。
It took me three hours to put **together** this bookshelf.

0124 彼女は生徒会長に立候補することにした。
She decided to run **for** president of the student council.

0125 うちの犬はトラックにひかれそうになった。
Our dog was almost run **over** by a truck.

0126 店に青いシャツがなかったので、白いもので我慢した。
The shop had no blue shirts, so I **settled** for a white one.

0127 ごめんなさい。昨日言ったことは取り消します。
I'm sorry. I take **back** what I said yesterday.

0128 彼は携帯電話を取り出して写真を撮り始めた。
He took **out** his phone and started taking pictures.

0129 今週末、新しいカメラを試してみるつもりだ。
I'm going to try **out** my new camera this weekend.

0130 その若いウエーターは私たちのテーブルをとても丁寧に担当してくれた。
The young waiter waited **on** our table very politely.

0131 彼は規則を破ったのでクラブを追い出された。
He was kicked **out** of the club for breaking the rules.

0132 学校は携帯電話の使用について厳しい規則を定めている。
The school has laid **down** strict rules about using phones.

0133 クモを見て彼女は悲鳴を上げた。
She let **out** a scream when she saw the spider.

0134 新政府の前途には多くの課題が待ち受けている。
Many challenges lie **ahead** of the new government.

0135 少し時間があるから、お店を見て回ろう。
We have some time, so let's look **around** the shops.

0136 男性が強盗に遭っている間、多くの人はただ傍観していた。
Many people just looked **on** as the man was robbed.

0137 雨が降り出すと、みんな一番近い建物に向かった。
When the rain started, everyone made **for** the nearest building.

0138 先週、隣に新しい家族が引っ越してきた。
A new family moved **in** next door last week.

0139 小柄だったので、年上の男の子たちはいつも彼をいじめた。
The older boys always picked **on** him because he was small.

0140 政府はその問題の深刻さを小さく見せようとした。
The government tried to play **down** the seriousness of the problem.

0141 警察官は泥棒を追いかけ、ついに捕まえた。
The police officer ran **after** the thief and finally caught him.

0142 彼が話し始めるとすぐに、彼女はうそを見抜いた。
She saw **through** his lie as soon as he started talking.

0143 朝食後、彼はガレージの掃除に取りかかった。
After breakfast, he set **about** cleaning the garage.

0144 今年は梅雨入りが早い。
The rainy season has set **in** early this year.

0145 生徒たちは先生の言葉を一言残らず書き留めた。
Students took **down** every word the teacher said.

0146 子どもたちはすぐに新しい先生になついた。
The children took **to** their new teacher right away.

0147 選手たちは試合前に20分間ウォーミングアップをした。
The players warmed **up** for twenty minutes before the match.

0148 調査の結果が私たちの当初の説を裏付けた。
The results of the survey bore **out** our original theory.

0149 両国は昨年国交を断絶した。
The two countries broke **off** diplomatic relations last year.

0150 その古い木造の学校は去年の冬に火事で全焼した。
The old wooden school burned **down** in a fire last winter.

0151 何年かぶりに昔の友人に電話をかけた。
I called **up** my old friend for the first time in years.

0152 あの夏の思い出が突然よみがえってきた。
The memories of that summer suddenly came **back** to me.

0153 今週末うちに遊びに来ない？
Why don't you come **over** to my place this weekend?

0154 間違えたら、その語を線で消すだけでいい。
If you make a mistake, just cross **out** the wrong word.

0155 会社は昨年、支出を削減しなければならなかった。
The company had to cut **back** on spending last year.

0156 私たちは風が弱まるまで中で待った。
We waited inside until the wind died **down** .

0157 この古い本を全部どうしたらいいのか分からない。
I don't know what to do **with** all these old books.

0158 すみませんが、何をおっしゃりたいのか分かりません。
I'm sorry, but I don't understand what you're driving **at** .

0159 年月が経つにつれ、あの夏の記憶はゆっくりと薄れていった。
As the years passed, the memories of that summer slowly **faded** away.

0160 古いランニングシューズがついにばらばらになり始めた。
My old running shoes are finally starting to fall **apart** .

0161 いざというときに頼れる貯金が少しあるといい。
It's good to have some savings to fall **back** on.

0162 旅行の計画は直前になってだめになった。
Our plans for the trip fell **through** at the last minute.

0163 最後の1分で負けた選手たちには本当に同情する。
I really **feel** for the players who lost in the final minute.

0164 スタジアムはすぐに興奮したファンでいっぱいになった。
The stadium quickly filled **up** with excited fans.

0165 講演者は聴衆にメッセージを伝えようと懸命だった。
The speaker tried hard to get her message **across** to the audience.

0166 おしゃべりはやめて、本気で仕事に取りかかろう。
Let's stop chatting and get **down** to work.

0167 先生は授業の終わりにテストの結果を配った。
The teacher gave **out** the test results at the end of class.

0168 医師たちはその若い患者を決して見放さなかった。
The doctors never gave up **on** the young patient.

0169 本当は賛成ではないが、君の計画に従うよ。
I don't really agree, but I'll go **along** with your plan.

0170 今日はチキンサラダにしようかな。
I think I'll go **for** the chicken salad today.

0171 強盗は店員に金を渡せと言った。
The robber told the clerk to hand **over** the money.

0172 古いレコードは手放さない方がいい。価値が出るかもしれないから。
You should hold on **to** your old records. They may become valuable.

0173 お祭りは土曜日に大きなパレードで始まる。
The festival will kick **off** with a big parade on Saturday.

0174 騒音はうっとうしいが、我慢するしかない。
The noise is annoying, but we have to live **with** it.

0175 緊張しすぎてスピーチを台無しにしてしまった。
I messed **up** my speech because I was too nervous.

0176 警察官は運転手に車を道路わきに止めるよう言った。
The police officer told the driver to pull **over** .

0177 助けが必要なとき、彼女は昔の友人たちに連絡を取った。
She reached **out** to her old friends when she needed help.

0178 父が倒れたとき、私たちはすぐに医者を呼んだ。
When my father fell down, we **sent** for a doctor at once.

0179 その工場は汚染のため閉鎖された。
The factory was shut **down** because of the pollution.

0180 コーチは試合後、ケンを特に取り上げて褒めた。
The coach **singled** out Ken for praise after the match.

0181 週末までにこの問題を解決しなければならない。
We need to sort **out** this problem before the weekend.

0182 もう少し大きな声で話してもらえますか。聞こえません。
Could you speak **up** a little? I can't hear you.

0183 不祥事が明るみに出て、社長は辞任した。
The company president stepped **down** after the scandal became public.

0184 帰りにお店に寄ってくれない？
Could you stop **by** the store on your way home?

0185 砂漠の多くの動物は毎日水を得るために必死に戦っている。
Many animals in the desert **struggle** for water every day.

0186 食べ終わる前にウェイターが皿を下げてしまった。
The waiter took **away** our plates before we had finished.

0187 決める前に両親とよく話し合ったほうがいい。
You should talk it **over** with your parents before you decide.

0188 その病気で島の住民はほぼ全滅した。
The disease almost wiped **out** the whole population of the island.

0189 会議を終わりにして帰ろう。
Let's wrap **up** the meeting and go home.

0190 彼にとっては、いつも仕事より家族が優先だ。
For him, his family always **comes** before his work.

0191 その 2 社は協力する契約を結んだ。
The two companies **entered** into an agreement to work together.

0192 彼は30歳なのにまだ親のすねをかじっている。
He is thirty but still lives **off** his parents.

0193 彼が新しいクラスメイトに打ち解けるまで長い時間がかかった。
It took a long time for him to open **up** to his new classmates.

0194 毎日、学校へ行く途中で古い図書館のそばを通る。
I pass **by** the old library every day on my way to school.

0195 タクシーがホテルの前に止まった。
A taxi pulled **up** in front of the hotel.

0196 少々お待ちください。責任者におつなぎします。
Hold on, please. I'll put you **through** to the manager.

0197 人前でチームメイトをけなしてはいけない。
Don't run **down** your teammates in front of others.

0198 大雪で工事が2週間遅れた。
The heavy snow set **back** the construction by two weeks.

0199 新しい法律に反対の声を上げる人が増えている。
More people are speaking **out** against the new law.

0200 医者はジャンクフードの食べすぎを避けるべきだと言う。
Doctors say you should stay **away** from too much junk food.

0201 警察は空港の警備を強化した。
The police have stepped **up** security at the airport.

0202 長年の重労働が彼の健康にこたえ始めた。
Years of hard work began to **tell** on his health.

0203 用紙を裏返してテストを始めなさい。
Turn **over** the paper and begin the test.

0204 薬の効き目は数時間で切れた。
The effects of the medicine wore **off** after a few hours.

CHAPTER 2

動詞が中心の熟語・語法

take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。 No.0205〜0520（316 問）

問題

0205 □□□

Mika applied ＿＿＿ Kyoto University ＿＿＿ admission last fall.

① for / to　② at / with
③ on / of　④ to / for

解答・解説（赤シートで隠せます）

④ apply to ～ ～に当てはまる；（申込先）に申し込む

訳 ミカは昨年の秋、京都大学に入学を申し込んだ（出願した）。

解説 申込先の大学には to、求めるもの（admission＝入学許可）には for を使う。apply to A for B「A に B を申し込む」の形。for / to にすると申込先と求めるものが入れ替わり誤り。at / with や on / of は apply と結び付かない。

区別 **apply to ～ ⇔ apply for ～** apply to は「申込先（大学・会社・役所）」、apply for は「手に入れたいもの（職・ビザ・奨学金）」。見分け方：後ろが組織なら to、欲しい物なら for。両方並べると apply to a company for a job（会社に職を申し込む）。

0206 □□□

It took the exchange student a few months to adapt to ＿＿＿ in a big city.

① live　② living
③ lives　④ be lived

② adapt to ～ ～に適応する；～に順応する

訳 その留学生が大都市での生活に慣れるまで数か月かかった。

解説 adapt to の to は不定詞ではなく前置詞なので、後ろは動名詞 living。原形 live を置くと to 不定詞と取り違えた誤り。lives は三単現で前置詞の後ろに置けず、be lived は自動詞 live の受け身で不可。look forward to ~ing と同じ発想。

区別 **adapt to ～ ⇔ adopt ～** adapt は「（環境に）合わせる・適応する」、adopt は「（案・方法を）採用する・養子にする」で他動詞、後ろに to は来ない。綴りは a と o の 1 字違い。見分け方：後ろが to＋環境なら adapt、直接目的語（plan / child）なら adopt。

0207 □□□

After a long discussion, the company finally agreed ＿＿＿ pay its workers higher wages.

① to　② with
③ on　④ for

① agree to ～ （提案・計画など）に同意する；～を承諾する

訳 長い話し合いの後、会社はついに従業員の賃金を上げることに同意した。

解説 後ろが動詞の原形 pay なので agree to do「～することに同意する」。with / on / for は前置詞で、後ろに動詞の原形は置けない。to は不定詞の to（agree to do）にも前置詞の to（agree to the plan）にもなる点を押さえる。

区別 **agree to ～ ⇔ agree with ～** agree to は「示された提案・要求を受け入れる（承諾）」、agree with は「人・意見と同じ考えだ（同意見）」。見分け方：相手の考えに賛成なら with、頼まれたことを OK するなら to。「食べ物・気候が体に合う」も agree with。

0208 □□□

I'm sorry to bother you, but may I ask a big favor ＿＿＿ you?

① for　② to
③ of　④ with

③ ask A of B　B に A（好意・質問など）を頼む・求める

訳 お手数をおかけしてすみませんが、大きなお願いをしてもよろしいですか。

解説 ask A of B で「B に A を頼む」。favor が頼む内容、you が相手なので of。for は ask 人 for 物 の形で物の前に置くので、ここでは使えない。to / with は ask と組まない。ask you a big favor と言い換えても同じ意味。

区別 **ask A of B ⇔ ask A for B**　ask A of B は A＝頼む内容、B＝相手。ask A for B は A＝相手、B＝求める物（ask him for advice）。人と物の位置が逆になる。見分け方：of の後ろは人、for の後ろは物。

0209 □□□

In the story, the witch changed the prince ＿＿＿ a frog.

① into　② for
③ with　④ at

① change A into B　A を B に変える

訳 その物語では、魔女が王子をカエルに変えた。

解説 王子そのものがカエルという別の姿に変わる変化なので into。for は change A for B「A を B と交換する」で、王子を手放してカエルを受け取る意味になってしまう。with / at は変化の結果を表せない。

区別 **change A into B ⇔ change A for B**　into は「A そのものが変化して別の物になる」、for は「交換・取り替え（A を手放して B を受け取る）」。見分け方：変身・変化なら into、店で取り替える・別の物と換えるなら for。

0210 □□□

The police believe the man is connected ＿＿＿ the robbery.

① for　② with
③ of　④ at

② connect A with B

A を B と結びつける；A を B と関連づける

訳 警察はその男が強盗事件に関わっていると考えている。

解説 be connected with ~ で「～と関係がある」。connect A with B の受け身。to も使えるが選択肢にない。for / of / at は connected と組んで「関係」を表せない。in connection with ~（～に関連して）も合わせて覚える。

区別 **connect A with B ⇔ associate A with B**　connect は「つなぐ・関連づける」で道路・電線・機器の物理的接続にも使う。associate A with B は「A から B を連想する」で、心の中の結び付きだけ。見分け方：物をつなぐなら connect、思い浮かべるなら associate。

0211 ☐☐☐

She has been engaged ＿＿＿＿ research on climate change for ten years.

① to　② for
③ in　④ at

③ engage in ~ ～に従事する；～に参加する

訳 彼女は 10 年間、気候変動の研究に携わっている。

解説 研究という活動に従事しているので be engaged in。to は be engaged to＋人で「～と婚約している」の意味になる。for / at は engaged と組んで「従事」を表さない。for ten years があるので現在完了で継続を表している点も確認。

区別 **engage in ~ ⇔ be engaged to ~** be engaged in は in＋活動（仕事・研究）で「従事している」、be engaged to は to＋人で「～と婚約している」。見分け方：前置詞の後ろが人なら婚約、活動なら従事。

0212 ☐☐☐

All the classrooms in the new school are equipped ＿＿＿＿ air conditioners.

① by　② for
③ of　④ with

④ equip A with B
A に B を備え付ける；A に B（能力）を身につけさせる

訳 新しい学校の教室にはすべてエアコンが備え付けられている。

解説 be equipped with ~「～を備えている」。with は「～を持って」で、教室がエアコンを持った状態を表す。by は受け身の動作主（誰が備え付けたか）を示すので物には合わない。for / of は equipped と組まない。

区別 **equip A with B ⇔ provide A with B** provide は「必要な物を与える・提供する」一般、equip は「設備・装置・能力を備え付ける」で、長く使う装備に限られる。どちらも「人・場所 with 物」の型。食事や情報を与えるなら provide。

0213 ☐☐☐

Her eyes were filled ＿＿＿＿ tears when she heard the news.

① of　② by
③ in　④ with

④ fill A with B A を B で満たす

訳 その知らせを聞いて、彼女の目は涙でいっぱいになった。

解説 be filled with ~「～でいっぱいだ」。of を使うのは形容詞 full（be full of）。by は受け身の動作主で、涙が「満たした人」ではない。in も不可。filled と full の前置詞を取り違える誤りが狙われる。

区別 **fill A with B ⇔ be full of ~** 意味は同じ「～でいっぱいだ」だが前置詞が違う。be filled with、be full of。見分け方：fill（動詞の過去分詞）なら with、full（形容詞）なら of。

0214 ☐☐☐

A: Do you know a writer named Tom Lee? B: No, I've never even heard ＿＿＿＿ him.

① from　② of
③ to　④ at

② hear of ~ ～のことを耳にする；～のうわさを聞く

訳 A：トム・リーという作家を知っていますか。 B：いいえ、その人のことは聞いたことすらありません。

解説 作家を知っているかと聞かれ「名前すら聞いたことがない」と答えるので hear of ~（～の存在を耳にする）。hear from は「本人から連絡をもらう」で、知らない作家から連絡がないと言っても答えにならない。to / at は hear と組まない。

区別 **hear of ~ ⇔ hear from ~** hear of は「～について（存在・うわさを）聞く」、hear from は「～から直接連絡・手紙をもらう」。見分け方：本人から便りが来るなら from。I look forward to hearing from you. は手紙の結びの定番。

0215 ☐☐☐

My brother will leave Japan ＿＿＿＿ London next week to study music.

① to　② at
③ for　④ from

③ leave A for B　A を出て B へ向かう

訳 兄は音楽を勉強するために、来週日本を発ってロンドンへ向かう。

解説 leave A for B「A を出て B へ向かう」で目的地の前は for。to を使う leave A to B は「A を B に任せる」で、B は人。at / from は目的地を表せない。leave は他動詞なので Japan の前にも前置詞は要らない。

区別 **leave A for B ⇔ leave A to B**　leave A for B は「A を出て B へ向かう」（場所 for 場所）、leave A to B は「A を B に任せる・遺す」（物事 to 人）。見分け方：B が目的地なら for、人なら to。

0216 ☐☐☐

A: We're having a party on Saturday. Can you ＿＿＿＿ it? B: Sorry, I have to work that day.

① make　② take
③ have　④ get

① make it　うまくいく；間に合う

訳 A：土曜日にパーティーをするんだ。来られる？　B：ごめん、その日は仕事なんだ。

解説 make it で「都合がつく・（会に）来られる」。B が仕事があると断っているので、参加の都合を尋ねている。take it は「受け止める・我慢する」、have it は「持つ」、get it は「分かる」で、どれも参加の都合を表さない。

注意 make it to ~（〜に間に合う）/ make it（成功する・都合がつく）。会話の Can you make it on Friday?（金曜は大丈夫？）も頻出。

0217 ☐☐☐

How much did you pay ＿＿＿＿ that jacket? It looks really expensive.

① on　② for
③ to　④ with

② pay A for B
B の代金として A を払う；B のことで A（人）に支払う

訳 そのジャケットにいくら払ったの？　すごく高そうだね。

解説 pay（金額）for（物）「〜の代金を払う」。on は spend A on B の形で使う前置詞。to は支払う相手（pay money to him）、with は支払い手段（pay with a card）を表すので、上着の代金には for。

区別 **pay A for B ⇔ spend A on B**　pay A for B は「代金として支払う」、spend A on B は「A（お金・時間）を B に使う」で on。見分け方：for が来れば pay、on が来れば spend。物が主語なら cost（The book cost me 10 dollars）。

0218 ☐☐☐

The rescue team searched the mountain ＿＿＿＿ the missing climbers.

① for　② to
③ of　④ with

① search for ~　〜を探す；〜を捜索する

訳 救助隊は行方不明の登山者を探して山を捜索した。

解説 search A for B「B を求めて A を調べる」。山を調べ、行方不明の登山者を探しているので for。to / of / with では「探し求める対象」を表せない。search の直後は調べる場所という語順も確認しておく。

区別 **search for ~ ⇔ search A for B**　search for B は「B を探す」、search A は「A（場所・ポケット）の中を調べる」。search the room for the key＝鍵を探して部屋を調べる。見分け方：search の直後は場所、for の後ろは探す物。

0219 □□□

This TV program is mainly aimed ＿＿＿ young children and their parents.

① to　② on
③ at　④ with

③ aim A at B　A を B に向ける

訳 このテレビ番組は主に幼い子どもとその親に向けて作られている。

解説 be aimed at ~「～を対象としている」。aim A at B の受け身で、向ける先は一点を表す at。to / on / with は aim と組んで対象を表さない。番組・本・商品の対象者を言う定番表現。

区別 **aim A at B ⇔ aim to do**　aim A at B は向ける物 A が入る他動詞、aim to do / aim at ~ は「～を目指す」自動詞。見分け方：aim の直後に物（gun / camera / product）があれば aim A at B、不定詞が続けば目標。

0220 □□□

I have some urgent business to attend ＿＿＿, so I have to leave early today.

① at　② for
③ on　④ to

④ attend to ~　～に注意を払う；～の世話をする

訳 急ぎで片づけなければならない用事があるので、今日は早く帰らなければならない。

解説 attend to ~「～に対処する・処理する」。business to attend to の形で、to 不定詞の後ろに前置詞 to が残る。at / for / on は attend と組まない。前置詞なしの attend だと「出席する」になり意味が合わない。

区別 **attend to ~ ⇔ attend ~**　attend＋会・学校は「出席する・通う」で前置詞なし（× attend to the meeting）。attend to は「注意を向ける・世話する・処理する」。見分け方：会合・授業なら to なし、仕事・人・問題に対処なら to あり。

0221 □□□

The teacher caught him ＿＿＿ during the math test.

① to cheat　② cheat
③ cheating　④ cheated

③ catch A ~ing　A が～しているところを見つける

訳 先生は彼が数学のテスト中にカンニングしているところを見つけた。

解説 catch A ~ing で「A が～しているところを見つける」。カンニングの最中を見つけたので現在分詞 cheating が正しい。catch は知覚動詞と違って原形 cheat を取らず、to cheat も不可。cheated だと「だまされた」という受け身の意味になり合わない。

区別 **catch A ~ing ⇔ see A do / see A ~ing**　see / hear などの知覚動詞は A do（動作の全体）も A ~ing（最中）も取れる。catch は「最中を押さえる」動詞なので A ~ing だけで、原形は取らない。見分け方：catch の後ろの動詞は必ず ~ing。

0222 □□□

When we got to the top, the whole mountain was covered ＿＿＿ snow.

① of　② at
③ with　④ from

③ cover A with B　A を B で覆う

訳 頂上に着いたとき、山全体が雪に覆われていた。

解説 be covered with ~「～で覆われている」。with は覆う材料を表す。of は be full of のように形容詞の後ろで使い、at / from は覆う物を表せない。cover A with B の受け身として捉えると前置詞を間違えない。

注意 受け身 be covered with（～で覆われている）が頻出。be covered in（びっしり覆われている）とも。

0223 □□□

The witness described the man ＿＿＿＿ tall and thin, with short black hair.

① like　② as
③ to　④ for

② describe A as B　A を B だと言う；A を B と評する

訳 目撃者はその男を、背が高くやせていて、黒い短髪だったと説明した。

解説 describe A as B「A を B だと述べる」。as の後ろには形容詞（tall and thin）も置ける。like は前置詞で、後ろに形容詞を直接置けない。to / for は describe と組まない。regard / see A as B と同じ型。

区別 **describe A as B ⇔ regard A as B**　describe A as B は「言葉で A を B と描写する・評する」、regard A as B は「心の中で A を B と見なす」。どちらも as の後ろは名詞か形容詞。言葉に出すか、心で思うかの違い。

0224 □□□

All the old documents were disposed ＿＿＿＿ last week.

① of　② with
③ off　④ from

① dispose of ~　~を処分する；~を片付ける

訳 古い書類はすべて先週処分された。

解説 dispose of ~ の受け身は be disposed of で、前置詞 of は残す。with / off / from では「処分する」の意味にならない。自動詞＋前置詞をひとかたまりの他動詞として受け身にするとき、前置詞を落とさない点が狙われる。

区別 **dispose of ~ ⇔ get rid of ~**　意味はほぼ同じ「~を処分する」。get rid of は口語的で、悪い習慣・不安・風邪などにも使う。dispose of は改まった語で、ごみ・廃棄物・書類の処分によく使う。どちらも受け身で of を残す。

0225 □□□

You should focus your energy ＿＿＿＿ the things you can actually change.

① in　② at
③ to　④ on

④ focus A on B　A を B に集中させる

訳 自分が実際に変えられることにエネルギーを集中させるべきだ。

解説 focus A on B「A を B に集中させる」。on は意識が対象の上に乗るイメージ。in / at / to は focus と組まない。自動詞 focus on ~ も同じ on なので、名詞の focus を含めて on とセットで覚える。

区別 **focus A on B ⇔ concentrate A on B**　同じ意味・同じ on で言い換えに出る。focus は「焦点を合わせる」、concentrate は「一点に集める」が元の意味。どちらも自動詞（focus on / concentrate on）としても使える。in / at を選ばせる問題が多い。

0226 □□□

Thank you very much for inviting me ＿＿＿＿ your wedding.

① at　② on
③ to　④ with

③ invite A to B　A を B に招待する

訳 結婚式に招待してくださって本当にありがとうございます。

解説 invite A to B「A を B に招待する」。to は招く先の行事を表す。at は「その場所で」の意味になり、招待の行き先を表せない。on / with も invite と組まない。for の後ろなので動名詞 inviting になっている点も確認。

区別 **invite A to B ⇔ invite A to do**　invite A to B は to＋名詞（行事・場所）で「招待する」、invite A to do は to＋原形で「~するよう勧める・依頼する」。to の後ろが名詞か動詞かで意味が変わる。

0227 □□□

You should know better ＿＿＿＿ to play video games the night before an important exam.

① as　② than
③ but　④ rather

② know better (than to do)
（～しないだけの）分別がある；～するほど愚かではない

訳 大事な試験の前夜にゲームをするなんて、もっと分別を持つべきだよ。

解説 know better than to do で「～しないだけの分別がある」。better は比較級なので than と組む。as / but / rather は better の後ろで to do を続けられない。大事な試験の前夜にゲームをするほど愚かであってはいけない、という意味。

区別 **know better (than to do) ⇔ had better do** know better than to do は「～しないだけの分別がある」で、than の後ろは to do。had better do は「～した方がよい」で、後ろは原形。見分け方：know が付けば than to do、had が付けば原形。better を含む形が似ているので混同させる問題に注意。

0228 □□□

My sister is majoring ＿＿＿＿ economics at a university in Tokyo.

① at　② in
③ on　④ for

② major in ～　～を専攻する

訳 姉は東京の大学で経済学を専攻している。

解説 major in ～「～を専攻する」。in は分野の内側を表す。at は大学名（at a university）の前に使う前置詞で、学問分野の前ではない。on / for は major と組まない。

区別 **major in ～ ⇔ specialize in ～** major in は「大学で専攻する」に限る。specialize in は「専門にする」で、研究者・医師・店・会社の専門分野にも使う。見分け方：大学の学部生の話なら major in、店や職業の専門なら specialize in。

0229 □□□

The teacher scolded Tom ＿＿＿＿ not doing his homework again.

① of　② on
③ with　④ for

④ scold A for B　B のことで A を叱る

訳 先生はトムがまた宿題をしなかったことで彼を叱った。

解説 scold A for B「B のことで A を叱る」。for は理由を表し、後ろは動名詞（not doing）。of / on / with は理由を表せない。否定の動名詞では not を ~ing の前に置く点も確認。

区別 **scold A for B ⇔ blame A for B** scold は「（親・先生などが）声に出して叱る」、blame は「～のせいにする・責任を問う」。blame は blame A for B と blame B on A の両方の形がある。叱る場面なら scold、責任の所在なら blame。

0230 □□□

Sorry, I took you ＿＿＿＿ someone else. You look just like my friend.

① for　② as
③ to　④ of

① take A for B　A を B と思い込む；A を B と間違える

訳 すみません、別の人と間違えました。私の友達にそっくりなんです。

解説 take A for B「A を B と間違える」。友達にそっくりなので見間違えた場面。as は take A as B「A を B と受け取る・解釈する」で、人違いには使わない。to / of は take と組んでこの意味にならない。

区別 **take A for B ⇔ take A as B**　take A for B は「誤って A を B と思う（人違い・見間違い）」、take A as B は「A を B と受け取る・解釈する」（take it as a compliment＝褒め言葉と受け取る）。見分け方：取り違えなら for、受け止め方なら as。

0231 □□□

Her paintings are highly thought ＿＿＿＿ by art critics.

① about　② for
③ of　④ over

③ think highly of ～　～を高く評価する；～を尊敬する

訳 彼女の絵は美術評論家から高く評価されている。

解説 think highly of ～の受け身は be highly thought of by ...。think of がひとかたまりの動詞として扱われるので、受け身でも of が残る。think about / think over は「よく考える」の意味で、highly と組んで評価を表さない。for も不可。

区別 **think highly of ～ ⇔ think little of ～**　think little of は「～を軽く見る・何とも思わない」で反対の意味。think much of は「～を重んじる」で、否定文 don't think much of（あまり評価しない）でよく使う。副詞を入れ替えて評価の高さを表す。

0232 □□□

The radio warned drivers ＿＿＿＿ heavy snow on the highway.

① against　② of
③ from　④ for

② warn A of B　A に B を警告する

訳 ラジオはドライバーに高速道路の大雪について警告した。

解説 warn A of B「A に B（危険）を警告する」。大雪の存在を知らせるので of。against は warn A against ~ing「～しないよう警告する」で、後ろは避けるべき行為。from / for は warn と組まない。

区別 **warn A of B ⇔ warn A against ~ing**　warn A of B は「B（危険の存在）を知らせる」、warn A against ~ing は「～しないように注意する」で、against の後ろはしてはいけない行為。見分け方：危険そのものなら of、避けるべき行動なら against。

0233 □□□

It took me a week to adjust ＿＿＿＿ the time difference after my trip to New York.

① to　② with
③ for　④ at

① adjust to ～　～に慣れる；～に適応する

訳 ニューヨーク旅行の後、時差に慣れるのに 1 週間かかった。

解説 adjust to ~「～に慣れる・順応する」。to は前置詞で慣れる対象を表す。with / for / at は adjust と組まない。adapt to / get used to と同じ to なので、後ろに動詞が来るなら ~ing にする。

区別 **adjust to ～ ⇔ get used to ～**　どちらも「～に慣れる」で to は前置詞（後ろは名詞・動名詞）。get used to は日常語で慣れていく過程、adjust to は変化に合わせて調整していく響き。used to do（以前は～した）と混ぜないこと。

0234 □□□

Try to apply what you have learned ＿＿＿ real-life situations.

① for　② of
③ to　④ at

③ apply A to B　A を B に当てはめる；A を B に塗る

訳 学んだことを実生活の場面に応用するようにしなさい。

解説 apply A to B「A を B に応用する」。A が what you have learned（学んだこと）、B が real-life situations。for は apply for ~「～に申し込む」で求めるものの前に置く。of / at は apply と組まない。

区別 **apply A to B ⇔ apply to ~**　他動詞 apply A to B は「A を B に当てはめる」で目的語 A が必要、自動詞 apply to ~ は主語が「当てはまる」。見分け方：apply の直後に名詞（目的語）があるか。The law applies to everyone. は主語が当てはまる。

0235 □□□

The course combines lectures ＿＿＿ practical training at a hospital.

① for　② to
③ at　④ with

④ combine A with B
A を B と組み合わせる；A と B を兼ねる

訳 その講座は講義と病院での実習を組み合わせている。

解説 combine A with B「A と B を組み合わせる」。with は「一緒に」で 2 つを組み合わせる。combine A and B とも言えるが、選択肢では with だけが正しい。for / to / at は combine と組まない。

注意 combine A and B とも。名詞 combination。in combination with（～と組み合わせて）。

0236 □□□

Our small shop cannot compete ＿＿＿ large supermarkets on price.

① for　② to
③ at　④ with

④ compete with ~　～と競争する；～に匹敵する

訳 私たちの小さな店は、価格では大型スーパーに太刀打ちできない。

解説 compete with ~「～と競争する」。大型スーパーという競う相手を示すので with（against も可だが選択肢にない）。for は求めるもの（compete for customers）の前に置く。to / at は compete と組まない。

区別 **compete with ~ ⇔ compete for ~**　with は「競う相手」、for は「勝ち取りたいもの（賞・地位・客）」。compete with A for B で「B を求めて A と争う」。見分け方：後ろが人・会社なら with、手に入れたい物なら for。

0237 □□□

Very young children often cannot distinguish between fantasy ＿＿＿ reality.

① and　② from
③ or　④ with

① distinguish between A and B　A と B を区別する

訳 幼い子どもは空想と現実を区別できないことが多い。

解説 distinguish between A and B「A と B を区別する」。between は and とセットで使う。from は distinguish A from B の形で使うので、between と混ぜると誤り。or / with も between の相手にならない。

区別 **distinguish between A and B ⇔ distinguish A from B**
between A and B は 2 つを対等に並べる、A from B は A を B から切り離す語順。前置詞の組み合わせを混ぜない（× distinguish between A from B）。意味は同じなので書き換えに出る。

0238 □□□

Children who are exposed ＿＿＿＿ English at an early age often have good pronunciation.

① with　② at
③ to　④ for

③ expose A to B　A を B にさらす；A に B を経験させる

訳 幼いころに英語に触れた子どもは、発音がよいことが多い。

解説 be exposed to ~「～にさらされる・触れる」。expose A to B の受け身で、触れる対象は to で表す。with / at / for は exposed と組まない。英語に触れるという良い意味でも使える点に注意。

注意 be exposed to（～にさらされる・～に触れる機会がある）の受け身が長文で頻出。名詞 exposure。

0239 □□□

All the students have free access ＿＿＿＿ the computer room after school.

① for　② to
③ in　④ of

② have access to ~　～を利用できる；～に接近できる

訳 生徒は全員、放課後にコンピュータ室を自由に利用できる。

解説 have access to ~「～を利用できる」。名詞 access は到達点の to を取る。for / in / of は access と組まない。動詞の access なら to を付けない（access the room）ので、品詞で前置詞の有無を判断する。

区別 **have access to ~ ⇔ access ~（動詞）**　名詞 access は have / get access to ~ と to が必要、動詞 access は他動詞で to を付けない。見分け方：have / get / gain の後ろなら名詞で to あり、主語の直後に来る動詞なら to なし。

0240 □□□

A: These cookies look delicious. B: Please help ＿＿＿＿ to as many as you like.

① yourself　② you
③ your　④ yours

① help oneself to ~　～を自由に取って食べる［飲む］

訳 A：このクッキー、おいしそうですね。　B：好きなだけご自由に取って食べてください。

解説 help oneself to ~「～を自由に取って食べる」。相手に勧めるので oneself を yourself にする。you では「あなたを助ける」となり、to 以下と合わない。your / yours は help の目的語として形が合わない。

区別 **help oneself to ~ ⇔ help A with B**　help oneself to は「自分で自由に取る」、help A with B は「A（人）の B（仕事）を手伝う」。help の後ろが oneself か人かで区別する。× help my homework（help me with my homework が正しい）。

0241 □□□

The government decided to impose a higher tax ＿＿＿＿ imported cars.

① to　② for
③ on　④ with

③ impose A on B　B に A を課す；B に A を押しつける

訳 政府は輸入車により高い税を課すことを決めた。

解説 impose A on B「A を B に課す」。負担を上にのせるイメージで on。to は「到達」で課税の対象を表さない。for / with も impose と組まない。put a tax on ~ と同じ on。

区別 **impose A on B ⇔ impose on ~（自動詞）**　他動詞 impose A on B は課す物 A が入る、自動詞 impose on ~ は「（好意に）つけこむ・迷惑をかける」。見分け方：impose の直後に tax / rule などの名詞があるか。

0242 □□□

Ken left Osaka _____ Tokyo last spring, and he left his dog _____ his sister.

① to / for　② at / with
③ from / on　④ for / to

④ leave A to B　A を B に任せる；A を B に残す

訳 ケンは昨年の春、大阪を離れて東京へ移り、犬は姉に預けた。

解説 前半は「大阪を出て東京へ向かう」なので leave A for B の for。後半は「犬を姉に任せる」なので leave A to B の to。to / for と逆にすると意味が成り立たない。at / with や from / on は前半の目的地を表せない。

区別 **leave A to B ⇔ leave A for B**　leave A to B は「A を B（人）に任せる」、leave A for B は「A（場所）を出て B（目的地）へ向かう」。見分け方：B が人なら to、目的地なら for。A が仕事・判断なら to の方。

0243 □□□

At the ceremony, the mayor presented each winner _____ a gold medal.

① to　② with
③ for　④ of

② present A with B　A に B を贈る；A に B を授与する

訳 式典で、市長は優勝者一人一人に金メダルを贈った。

解説 present A with B「A に B を贈る」。present の直後が人（each winner）なので with。to を使うのは present B to A（物 to 人）の語順のとき。for / of は present と組まない。

区別 **present A with B ⇔ present B to A**　present A with B は「人 with 物」、present B to A は「物 to 人」で意味は同じ。見分け方：present の直後が人なら with、物なら to。provide A with B / provide B for A、supply A with B / supply B to A と同じ書き換えの型。

0244 □□□

The seat belt saved him _____ being seriously injured in the accident.

① of　② against
③ from　④ out

③ save A from B　A を B から救う

訳 シートベルトのおかげで、彼は事故で大けがをせずに済んだ。

解説 save A from ~ing「A が～するのを防ぐ・救う」。from は分離を表し、後ろは動名詞（being injured）。of / out は save と組まない。against は protect A against B なら使えるが、save とは組まない。

区別 **save A from B ⇔ protect A from B**　save A from B は「（危険・困った状況から）救い出す」で、すでに迫っている危機に使う。protect A from B は「（害が来ないように）守る・防ぐ」で予防の響き。against も使えるのは protect。

0245 □□□

At the airport, the officer searched _____ for drugs.

① the suitcase
② for the suitcase
③ after the suitcase
④ of the suitcase

① search A for B
B を求めて A を探す；B がないか A を調べる

訳 空港で、係官は麻薬がないかスーツケースを調べた。

解説 search A for B「B を求めて A を調べる」。調べる場所（スーツケース）は search の直後に前置詞なしで置き、探す物（drugs）を for の後ろに置く。for the suitcase だと for が 2 つになり意味が通らない。after / of は不可。

区別 **search A for B ⇔ search for ~**　search A for B は「A（場所）を調べる」が中心、search for B は「B を探す」。× search the key（鍵の中を調べる意味になる）。見分け方：search の直後に置くのは中を調べる場所、探す物は必ず for の後ろ。

0246 ☐☐☐

This small restaurant specializes _____ traditional seafood dishes.

① at ② in
③ on ④ with

② specialize in ~ ～を専門にする；～を専攻する

訳 この小さなレストランは伝統的な魚介料理を専門にしている。

解説 specialize in ~「～を専門にする」。in は分野の内側を表す。at は be good at ~ の前置詞、on / with は specialize と組まない。主語が店でも使える点が major in との違い。

区別 **specialize in ~ ⇔ major in ~** major in は「大学（学部）で専攻する」に限る。specialize in は「専門にする」で、店・会社・職業の専門分野に広く使える。見分け方：主語が店や会社なら specialize in。

0247 ☐☐☐

The government must take _____ to reduce air pollution in big cities.

① act ② active
③ acting ④ action

④ take action 行動を起こす；措置をとる

訳 政府は大都市の大気汚染を減らすために行動を起こさなければならない。

解説 take action「措置をとる」。take の目的語には名詞 action が必要。act も名詞になるが「（法律・行為）」の意味で take と組まない。active は形容詞、acting は「演技」で意味が合わない。to reduce は目的を表す不定詞。

区別 **take action ⇔ take measures / take steps** どれも「対策をとる」だが、action は数えない名詞で a や -s を付けないのが普通、measures / steps は数える名詞で複数形が普通。見分け方：action なら冠詞なし、measures / steps なら複数形。

0248 ☐☐☐

Schools need to take _____ to protect students from bullying.

① measure ② measures
③ a measure ④ measuring

② take measures 対策を講じる

訳 学校はいじめから生徒を守るための対策を講じる必要がある。

解説 take measures「対策をとる」。「対策・措置」の意味の measure は複数形で使うのが普通。単数の measure / a measure は「寸法・尺度」の意味に寄り、この形では使わない。measuring は「測ること」。take steps と同じく複数形。

区別 **take measures ⇔ take action** 意味はほぼ同じだが、measures は数える名詞で複数形、action は数えない名詞で冠詞なし。take measures は具体的な対策を複数講じる響き。見分け方：空所の前後に冠詞や複数形があるかを確認。

0249 ☐☐☐

My parents tried to talk me _____ studying abroad, but I went anyway.

① into ② from
③ out of ④ off

③ talk A out of ~ing A を説得して～をやめさせる

訳 両親は私を説得して留学を思いとどまらせようとしたが、私はそれでも行った。

解説 but I went anyway（それでも行った）とあるので、親は留学をやめさせようとした。talk A out of ~ing「説得して～をやめさせる」。into は「説得して～させる」で、後半と矛盾する。from / off は talk と組んでこの意味にならない。

区別 **talk A out of ~ing ⇔ talk A into ~ing** into は「～の中へ」→ その行動をさせる、out of は「～の外へ」→ その行動から引き出す＝やめさせる。見分け方：文脈で、相手がその行動をした（into）のか、やめた（out of）のかを確かめる。

0250 □□□

Many people _____ him a national hero.

① consider ② view
③ regard ④ look on

① view A as B　A を B と見なす

訳 多くの人が彼を国民的英雄だと考えている。

解説 him の直後に名詞（a national hero）を直接置けるのは consider だけ（consider A B）。view / regard / look on は A as B の形で as が必要なので、view him as a national hero なら正しい。as の有無で動詞を選ぶ定番問題。

区別 **view A as B ⇔ consider A B**　view / regard / see / look on A as B は as が必須。consider は consider A (to be) B で as なしが普通（consider A as B も使われる）。見分け方：目的語の直後に名詞・形容詞を直接置けるのは consider（と think）だけ。

0251 □□□

She took no _____ of my advice and went hiking in the storm.

① attention ② care
③ mind ④ notice

④ take notice of ~　～に注意を払う；～に気づく

訳 彼女は私の忠告を全く気に留めず、嵐の中ハイキングに出かけた。

解説 take no notice of ~「～を気に留めない・無視する」。attention は pay attention to ~ の形で take とは組まない。take care of は「世話をする」で、助言には合わない。mind は take と組んでこの意味にならない。

区別 **take notice of ~ ⇔ take note of ~**　take notice of は「注意を向ける・気付く」、take note of は「（覚えておくように）心に留める・書き留める」。見分け方：無視する・気付かないの否定表現なら take no notice of。

0252 □□□

All you have to do is _____ this button, and the machine will start.

① pressed ② press
③ pressing ④ presses

② All you have to do is (to) do　～しさえすればよい

訳 このボタンを押しさえすれば、機械は動き出す。

解説 All you have to do is (to) do で「...しさえすればよい」。is の後ろは原形（to を付けても可）なので press。pressing は be 動詞の後ろで進行形のように見えるが、この構文では使わない。pressed / presses も is の後ろに置けない。

区別 **All you have to do is (to) do ⇔ You have only to do**　同じ意味で形が違う。All you have to do is do は「...することが全部だ」と all が主語、You have only to do は you が主語で only を have の後ろ（または前）に置く。見分け方：文頭が All なら is ＋原形、You なら have only to do。

0253 ☐☐☐

The man was arrested and charged _____ murder.

① with　② of
③ to　④ at

① charge A with B

A を B の罪で告発する；A に B（責任）を負わせる

訳 その男は逮捕され、殺人罪で起訴された。

解説 charge A with B「A を B の罪で告発する」の受け身。of は accuse A of B の前置詞で、charge とは組まない。to / at も不可。charge は with、accuse は of とセットで覚える。

区別 **charge A with B ⇔ accuse A of B** どちらも「A を B（罪）で訴える・責める」だが前置詞が違う。charge A with B（主に法的な告発）、accuse A of B（非難する・告発する）。見分け方：charge なら with、accuse なら of。

0254 ☐☐☐

Dolphins are known to communicate _____ each other using various sounds.

① at　② for
③ with　④ by

③ communicate with ~

～と意思を伝え合う；～と連絡を取る

訳 イルカはさまざまな音を使って互いに意思を伝え合うことで知られている。

解説 communicate with ~「～と意思を伝え合う」。each other（お互い）という相手を示すので with。at / for / by は communicate と組んで相手を表せない。using various sounds は手段を表す分詞。

区別 **communicate with ~ ⇔ communicate A to B** communicate with は「人と意思疎通する（双方向）」、communicate A to B は「A（考え・情報）を B に伝える（一方向）」。見分け方：communicate の直後に伝える内容があれば to、相手だけなら with。

0255 ☐☐☐

I'm afraid of my boss, so I dare not _____ him the truth about the mistake.

① to tell　② telling
③ told　④ tell

④ dare (to) do 思い切って～する；あえて～する

訳 上司が怖いので、失敗について本当のことを言う勇気が出ない。

解説 dare not do の dare は助動詞なので、後ろは動詞の原形 tell。to tell は普通の動詞の dare（don't dare to tell）の形で、dare not の直後には置かない。telling / told も助動詞の後ろに置けない。

区別 **dare (to) do ⇔ need not do** dare も need も、否定文で助動詞として使えば後ろは原形（dare not do / need not do）、普通の動詞なら to do（don't dare to do / don't need to do）。見分け方：not が直後に付けば助動詞なので原形、do / does / did を使った否定なら to を付ける。

0256 □□□

I was so tired that I fell ＿＿＿＿ in the middle of the movie.

① sleep　② sleeping
③ slept　④ asleep

④ fall asleep 寝入る；眠り込む

訳 とても疲れていたので、映画の途中で眠ってしまった。

解説 fall asleep「眠り込む」。fall の後ろには状態を表す形容詞 asleep が来る（fall ill と同じ型）。sleep は名詞・動詞、sleeping / slept は動詞の変化形で、fall の補語として使わない。

区別 **fall asleep ⇔ go to bed** go to bed は「寝床に入る」という行動で、眠ったかは問わない。fall asleep は「（意識が）眠りに落ちる」で、授業中や映画中のようにうっかり寝る場面にも使う。

0257 □□□

Do you have a particular hotel ＿＿＿＿ mind for our trip to Osaka?

① on　② at
③ to　④ in

④ have ~ in mind ～を考えている；～を心に描いている

訳 大阪旅行用に、どこか特定のホテルを考えていますか。

解説 have A in mind で「A を考えている」。心の「中に」持っているので in。on mind / at mind / to mind とは言わない（to mind は come to mind「思い浮かぶ」の形で使う）。

区別 **have ~ in mind ⇔ keep [bear] ~ in mind** keep / bear A in mind は「A を覚えておく・心に留める」と忘れないことに重点がある。have A in mind は「A を（候補・計画として）考えている」。見分け方：注意を忘れないなら keep、案を持っているなら have。

0258 □□□

She has a good command ＿＿＿＿ three languages, so she works as a guide for foreign tourists.

① in　② with
③ of　④ on

③ have a good command of ~ （言語など）を自由に使いこなせる

訳 彼女は 3 か国語を自由に使いこなせるので、外国人観光客のガイドとして働いている。

解説 「（言語）を使いこなす力がある」は have a good command of ~ で、前置詞は of。in は be fluent in ~ の形で使うが、command とは組まない。with / on も command の後ろで言語を表さない。

区別 **have a good command of ~ ⇔ be fluent in ~** have a good command of は読み書きも含めて言語を「使いこなす力」がある、と能力全体を言う。be fluent in は特に「流ちょうに話せる」。前置詞も of と in で違う。見分け方：command の後ろは of、fluent の後ろは in。

0259 □□□

Everyone in the office has a ＿＿＿＿ opinion of Ms. Sato because she always keeps her promises.

① highly　② height
③ high　④ much

③ have a high opinion of ~ ～を高く評価する

訳 佐藤さんはいつも約束を守るので、職場の誰もが彼女を高く評価している。

解説 opinion は名詞なので、修飾するのは形容詞の high（have a high opinion of ~ で「～を高く評価する」）。highly は副詞で think highly of ~ の形で使う。height は名詞で名詞を修飾できない。much は数えられない名詞の量に使い、a ~ opinion の形に入らない。

区別 **have a high opinion of ~ ⇔ think highly of ~** 意味は同じだが形が違う。have a high opinion of は形容詞 high ＋名詞 opinion、think highly of は副詞 highly ＋動詞 think。見分け方：空所の後ろが opinion なら形容詞 high / low、think の後ろなら副詞 highly。

0260 □□□

A: Where did Tom go? B: Sorry, I have no idea _____ he went.

① what ② where
③ which ④ who

② have no idea まったく分からない

訳 A：トムはどこへ行ったの？ B：ごめん、どこへ行ったのか全然分からない。

解説 have no idea の後ろに間接疑問を続ける形。he went の後ろに場所が欠けているので where。what / which / who はどれも went の後ろに名詞が欠けている必要があり、自動詞 go では成り立たない。語順が S V になる点も確認。

注意 = don't know at all。後ろに wh 節を続ける形が多い。会話の I have no idea. は定番。

0261 □□□

Living abroad gave her many chances to interact _____ people from different cultures.

① to ② for
③ with ④ at

③ interact with ~ ～と交流する；～と関わり合う

訳 海外で暮らしたことで、彼女はさまざまな文化の人々と交流する機会をたくさん得た。

解説 interact は自動詞で、交流する相手は with で示す（interact with ~）。to / for / at は interact と組まない。chances to interact で「交流する機会」となり、with の後ろが交流の相手。

区別 **interact with ~ ⇔ communicate with ~** communicate with は「（言葉などで）意思を伝え合う」、interact with は「関わり合い、互いに影響し合う」で、物質どうしにも使える。見分け方：情報・考えを伝える話なら communicate、互いに働きかけ合う・薬や物質の反応なら interact。

0262 □□□

He always _____ his promises, so everyone trusts him.

① keeps ② protects
③ defends ④ holds

① keep one's promise 約束を守る

訳 彼はいつも約束を守るので、みんなに信頼されている。

解説 keep one's promise「約束を守る」。日本語の「守る」に引かれて protect / defend を選ぶのが典型的な誤り。protect / defend は「危険・攻撃から守る」の意味。holds も約束とは組まない。

区別 **keep one's promise ⇔ break one's promise** keep は「守る」、break は「破る」で正反対。どちらも promise / word を目的語にとる。keep a secret（秘密を守る）、keep the rules（規則を守る）も keep で、protect は使わない。

0263 □□□

Scientists have linked eating too much sugar _____ several health problems.

① for ② at
③ to ④ on

③ link A to B A を B と結びつける；A を B と関連づける

訳 科学者は砂糖の取り過ぎをいくつかの健康問題と結びつけている。

解説 link A to B「A を B と関連づける」。A が eating too much sugar、B が several health problems。to は結び付く先を表す（with も可だが選択肢にない）。for / at / on は link と組まない。

区別 **link A to B ⇔ connect A with B** 意味はほぼ同じ「結び付ける・関連づける」で、どちらも with / to を取れる。link は「関連・因果関係」を示すときに特に多く（smoking is linked to cancer）、connect は物理的な接続にもよく使う。

0264 □□□

The singer slowly made ＿＿＿＿ way through the crowd to the stage.

① a　② his
③ the　④ one's

② make one's way 進む；（努力して）成功する

訳 その歌手は人混みの中をゆっくりと進んでステージへ向かった。

解説 make one's way「進む」の one's は主語に合わせて所有格に変える。主語は The singer なので his。a / the は使わない。one's は辞書の見出し上の形で、実際の文ではそのまま使わない点が狙われる。

区別 **make one's way ⇔ lose one's way** make one's way は「（目的地へ）進んでいく」、lose one's way は「道に迷う」、find one's way は「道を見つけてたどり着く」。どれも one's way の前の動詞で意味が決まる。

0265 □□□

He didn't ＿＿＿＿ the accident to his parents because he didn't want them to worry.

① talk　② speak
③ say　④ mention

④ mention A to B B に A のことを言う；B に A を話す

訳 両親に心配をかけたくなかったので、彼は事故のことを両親に話さなかった。

解説 mention A to B「A を B に話す」。the accident が直後に来る他動詞が必要なので mention。talk / speak は about が必要な自動詞。say は say A to B の形はとれるが、出来事を「伝える・触れる」意味では mention が合う。

区別 **mention A to B ⇔ talk about ～** mention は他動詞で直後に目的語、talk / speak は自動詞で about が必要。日本語の「～について話す」に引かれて × mention about と書く誤りが狙われる。discuss も他動詞で about は不要。

0266 □□□

The invention of the printing press paved the ＿＿＿＿ for the spread of knowledge.

① road　② street
③ way　④ course

③ pave the way for ～ ～への道を開く；～の準備をする

訳 印刷機の発明は、知識が広まる道を開いた。

解説 「～への道を開く」は pave the way for ～ で、way を使う決まった形。road / street は文字どおりの道路で、比ゆの「道を開く」の決まった形にならない。course も不可。印刷機が知識の広まりを可能にした、という歴史の文。

区別 **pave the way for ～ ⇔ lead to ～** pave the way for は「（後の発展が）できるように準備をする・道を開く」と、可能にするきっかけを表す。lead to は「（直接）～を引き起こす」と結果に結び付く。見分け方：後に続く発展の土台を作るなら pave the way for。

0267 □□□

He was punished ＿＿＿＿ breaking the school rules.

① of　② with
③ at　④ for

④ punish A for B B のことで A を罰する

訳 彼は校則を破ったことで罰せられた。

解説 punish A for B「B のことで A を罰する」の受け身。for は理由を表し、後ろは動名詞 breaking。of は accuse A of B の前置詞で punish とは組まない。with / at も理由を表せない。

区別 **punish A for B ⇔ accuse A of B** punish A for B は「罰を与える」で for、accuse A of B は「（罪だと）責める・告発する」で of。前置詞の取り違えが頻出。見分け方：punish / blame / scold は for、accuse / suspect は of。

0268 □□□

It is easy to make a good plan, but it is often difficult to put it ＿＿＿＿ practice.

① on　② for
③ into　④ at

③ put A into B

A を B に翻訳する；A を B（言葉・行動）に移す

訳 よい計画を立てるのは簡単だが、それを実行に移すのは難しいことが多い。

解説 put A into practice「A を実行に移す」。into は「ある状態の中へ」の変化を表す。on / for / at は practice と組んでこの意味にならない。put A into words（言葉にする）も同じ into。

区別 **put A into B ⇔ carry out ~** put A into practice は「（考え・計画を）実行に移す」で、頭の中のものを実践の場に出す点に焦点。carry out は「（計画・実験・命令を）最後までやり遂げる」。言い換えで同じ意味として出ることが多い。

0269 □□□

The prices of the hotel rooms range ＿＿＿＿ 5,000 ＿＿＿＿ 20,000 yen a night.

① to / from　② from / to
③ in / of　④ at / by

② range from A to B （範囲が）A から B に及ぶ

訳 そのホテルの部屋の料金は、1 泊 5,000 円から 20,000 円までの幅がある。

解説 range from A to B「A から B に及ぶ」。起点に from、終点に to を置く。to / from と逆にすると範囲が逆転して意味が通らない。in / of や at / by は range と組まない。

区別 **range from A to B ⇔ vary from A to B** range は「最小から最大までの幅」を示す、vary は「（物・場所によって）異なる・変わる」。vary from person to person（人によって違う）のように同じ名詞を繰り返す形は vary。

0270 □□□

How did your parents react ＿＿＿＿ the news that you passed the exam?

① to　② for
③ on　④ with

① react to ~ ～に反応する

訳 あなたが試験に合格したという知らせに、ご両親はどんな反応をしましたか。

解説 react to ~「～に反応する」。反応の向かう先は到達の to。for / on は react と組まず、with は化学反応（react with oxygen）で使う。the news that ~ は同格の that 節。

区別 **react to ~ ⇔ respond to ~** react to は刺激・出来事に対する「反応（感情・体の動き）」、respond to は質問・手紙・要求への「返答・対応」にも使う。手紙や質問に答えるなら respond、ニュースに驚く・怒るなら react。

0271 □□□

A: You look tired. Why don't you _____ a break? B: Good idea. I've been working for hours.

① make ② do
③ take ④ break

③ take a break 休憩する

訳 A：疲れているみたいだね。休憩したら？ B：いい考えだね。何時間も働きっぱなしなんだ。

解説 take a break「休憩する」（have a break も可だが選択肢にない）。make / do は break と組まない。break a break は同じ語の繰り返しで意味をなさない。Why don't you ~? は「～したらどう？」という提案。

区別 **take a break ⇔ take a day off** take a break は「（作業の途中で）ひと休みする」、take a day off は「（仕事・学校を）1日休む」。休む長さと場面で区別。break は「中断」、off は「仕事から離れて」。

0272 □□□

Don't think _____ of the cold; it can become serious if you don't rest.

① highly ② few
③ little ④ small

③ think little of ~ ～を軽く見る；～を何とも思わない

訳 風邪を軽く見てはいけない。休まないと重くなることがある。

解説 「休まないと重くなる」という後半から、「風邪を軽く見るな」の think little of ~。highly は「高く評価する」で文脈と合わない。few は数えられる名詞の数を表す語で think ~ of の形を作らない。small は think small（小さく考える）という別の言い方で of と組まない。

区別 **think little of ~ ⇔ think highly of ~** think little of は「軽く見る」、think highly [much] of は「高く評価する」と反対。見分け方：little / nothing / poorly なら低い評価、highly / much / well なら高い評価。of の前の語で評価の上下が決まる。

0273 □□□

Don't waste your money _____ things you don't really need.

① for ② on
③ to ④ at

② waste A on B A を B に浪費する；A を B に無駄に使う

訳 本当に必要ではない物にお金を無駄遣いしてはいけない。

解説 waste A on B「A を B に浪費する」。on はお金を注ぎ込む対象を表す。for は pay A for B（代金）の前置詞で、waste とは組まない。to / at も不可。spend A on B と同じ on。

区別 **waste A on B ⇔ spend A on B** spend は「使う・費やす」で中立、waste は「無駄に使う」で否定的。どちらも on＋名詞、(in)＋~ing の形をとる。言い換えでは「無駄にする」の意味を含むかどうかを確認する。

0274 □□□

I asked him many times, but he _____ tell me his secret.

① mustn't ② needn't
③ wouldn't ④ shouldn't

③ wouldn't do どうしても～しようとしなかった

訳 何度も頼んだが、彼はどうしても秘密を教えてくれなかった。

解説 wouldn't do で「どうしても～しようとしなかった」。何度頼んでも拒んだ、という流れに合う。mustn't（～してはいけない）・needn't（～する必要はない）・shouldn't（～すべきでない）は、過去の拒絶を表さない。

区別 **wouldn't do ⇔ couldn't do** couldn't は「（能力的に）できなかった」。wouldn't は「（意志として）しようとしなかった」。見分け方：本人の気持ちで拒んだなら wouldn't、能力や状況でできなかったなら couldn't。

0275 □□□

When I saw his funny face, I couldn't but ＿＿＿＿.

① laugh　② laughing
③ to laugh　④ laughed

① cannot but do
～せざるをえない；～せずにはいられない

訳 彼のおかしな顔を見たとき、私は笑わずにはいられなかった。

解説 cannot but do「～せずにはいられない」で、but の後ろは動詞の原形 laugh。laughing は cannot help ~ing の形で使う。to laugh / laughed は but の後ろに置けない。過去でも原形のまま。

区別 **cannot but do ⇔ cannot help ~ing** 意味は同じ「～せずにはいられない」だが形が違う。cannot but＋原形、cannot help＋動名詞。両方を混ぜた cannot help but＋原形 も使われる。見分け方：but の後ろは原形、help の直後は ~ing。

0276 □□□

I don't like being made a fool ＿＿＿＿ in front of my friends.

① for　② to
③ at　④ of

④ make a fool of ～ ～をばかにする；～をだます

訳 友達の前でばかにされるのは嫌だ。

解説 make a fool of ~ の受け身は be made a fool of で、of は残す。being made は動名詞の受け身。for / to / at は make a fool と組まない。自動詞＋前置詞の熟語を受け身にしたとき前置詞を落とさない点が狙われる。

区別 **make a fool of ~ ⇔ make fun of ~** 意味はほぼ同じ「からかう・ばかにする」。make fun of は fun（数えない名詞）なので冠詞なし、make a fool of は fool（数える名詞）なので a が必要。冠詞の有無が狙われる。

0277 □□□

Although she was busy, she took the trouble ＿＿＿＿ me to the station.

① drive　② to drive
③ driven　④ drove

② take the trouble to do わざわざ～する

訳 彼女は忙しかったのに、わざわざ私を駅まで車で送ってくれた。

解説 take the trouble to do「わざわざ～する」で、後ろは to 不定詞 to drive。drive / driven / drove は形が合わない。go to the trouble を使うなら of driving になる。Although で「忙しいのに」とつないでいる。

区別 **take the trouble to do ⇔ go to the trouble of ~ing** 意味は同じ「わざわざ～する」だが形が違う。take the trouble＋to do、go to the trouble＋of ~ing。見分け方：take なら不定詞、go to なら of＋動名詞。

0278 □□□

Our team aims ＿＿＿＿ winning the championship this year.

① at　② on
③ in　④ with

① aim at ～ ～を狙う；～を目指す

訳 私たちのチームは今年、優勝することを目指している。

解説 aim at ~「～を目指す」で、後ろは動名詞 winning。at は一点をめがけるイメージ。on / in / with は aim と組まない。aim to win と不定詞で言い換えることもできる。

区別 **aim at ~ ⇔ aim A at B** 自動詞 aim at ~ は主語が「～を狙う・目指す」、他動詞 aim A at B は「A（銃・カメラ・批判）を B に向ける」で目的語が入る。見分け方：aim と at の間に名詞があるか。

0279 □□□

I often argue ＿＿＿＿ my brother about which TV program to watch.

① to　② against
③ with　④ at

③ argue with ~ ～と言い争う；～と議論する

訳 どのテレビ番組を見るかで、私はよく弟と言い争う。

解説 argue with＋人「～と言い争う」。my brother は相手（人）なので with。against は argue against ~ で反対する案・意見の前に置く。to / at は argue と組まない。about の後ろが争いの種。

区別 **argue with ~ ⇔ argue for / against ~** argue with の後ろは言い争う相手（人）、argue for / against の後ろは賛成・反対する意見・案。見分け方：人なら with、案・政策なら for / against。

0280 □□□

Many problems at work arise ＿＿＿＿ a lack of communication.

① in　② to
③ with　④ from

④ arise from ~ ～から生じる

訳 職場での多くの問題は、コミュニケーション不足から生じる。

解説 arise from ~「～から生じる」。主語の problems が結果で、a lack of communication が原因なので from。in を使う result in は「原因 result in 結果」の向きで、arise とは組まない。to / with も不可。

区別 **arise from ~ ⇔ result in ~** arise from は「結果 arise from 原因」、result in は「原因 result in 結果」で向きが逆。見分け方：主語が原因なら result in、主語が問題・結果なら arise from（＝ result from）。

0281 □□□

A: Can I ＿＿＿＿ a favor of you? B: Sure. What do you need?

① do　② give
③ take　④ ask

④ ask a favor of A A に頼み事をする

訳 A：お願いがあるんだけど、いいかな？　B：もちろん。何が必要なの？

解説 ask a favor of A「A に頼みごとをする」。頼む側の発言なので ask。do は do A a favor（A の頼みを聞く）の形で、do a favor of you とは言わない。give / take も favor of と組まない。

区別 **ask a favor of A ⇔ do A a favor** ask a favor of A は「頼む側」が主語で「A に頼みごとをする」、do A a favor は「頼まれる側」が主語で「A の頼みを聞く」。見分け方：Would you do me a favor? は相手に「頼みを聞いてくれる？」と尋ねる形。

0282 □□□

The police officer caught the thief ＿＿＿＿ the arm as he tried to run away.

① on　② by
③ at　④ in

② catch A by the arm A の腕をつかむ

訳 警察官は、逃げようとした泥棒の腕をつかんだ。

解説 catch A by the arm「A の腕をつかむ」。つかむ動作は by を使う。on は pat / tap A on the shoulder のような表面をたたく動作、in は look A in the eye のような内側へ向かう動作に使う。at は不可。

区別 **catch A by the arm ⇔ tap A on the shoulder** つかむ・引っ張る動作は by（catch him by the arm）、表面に触れる・たたく動作は on（tap him on the shoulder）、目や腹など内側へ向かう動作は in（look him in the eye）。動詞の種類で前置詞を選ぶ。

0283 ☐☐☐

To get to Kofu, you have to change ＿＿＿＿ at Shinjuku.

① trains ② train
③ the train ④ a train

① change trains 電車を乗り換える

訳 甲府へ行くには、新宿で電車を乗り換えなければならない。

解説 change trains「乗り換える」は複数形。乗り換えには今の電車と次の電車の 2 本が関わる。train / the train / a train の単数は誤り。make friends with / shake hands with も同じく複数形。

区別 **change trains ⇔ make friends with ~** どちらも「相手が必要＝2 つ以上」なので複数形にする熟語。change trains（電車を乗り換える）、make friends with（～と友達になる）、shake hands with（～と握手する）。単数形を選ばせる誤りが狙われる。

0284 ☐☐☐

The organization came ＿＿＿＿ being shortly after the war.

① to ② in
③ into ④ on

③ come into being 生まれる；出現する

訳 その組織は戦争が終わってまもなく誕生した。

解説 come into being「生まれる・成立する」。into は「存在という状態の中へ入る」変化を表す。to / in / on は being と組んでこの意味にならない。come into existence / effect / use も同じ into。

区別 **come into being ⇔ come into effect** come into being は「（組織・物が）生まれる・成立する」、come into effect は「（法律・規則が）施行される・効力を持つ」。主語が法律・規則なら effect、組織・国・物なら being。

0285 ☐☐☐

All visitors to the factory must comply ＿＿＿＿ the safety rules.

① to ② for
③ on ④ with

④ comply with ~ （規則・命令など）に従う

訳 工場を訪れる人は全員、安全規則に従わなければならない。

解説 comply with ~「～に従う」。with が正しい前置詞。to は conform to ~ の前置詞で、comply とは組まない。for / on も不可。obey なら前置詞なしで obey the rules と言える。

区別 **comply with ~ ⇔ conform to ~** どちらも「従う」だが前置詞が違う。comply with は「規則・要求・命令に応じる」、conform to は「基準・慣習・周りに合わせる」。見分け方：comply なら with、conform なら to。

0286 ☐☐☐

The two companies cooperated ＿＿＿＿ each other on the new project.

① with ② to
③ for ④ at

① cooperate with ~ ～と協力する

訳 2 つの会社は新しいプロジェクトで互いに協力した。

解説 cooperate with ~「～と協力する」。each other という相手を with で示す。on は協力する事柄（the new project）の前。to / for / at は相手を表せない。co- は「一緒に」で、with と相性が良い。

注意 cooperate with A in / on B（B について A と協力する）。名詞 cooperation、形容詞 cooperative。＝ work together with。

0287 □□□

They have ＿＿＿＿ in love with each other for more than ten years.

① fallen　② fell
③ been　④ become

③ fall in love (with ~)　（～と）恋に落ちる

訳 二人は 10 年以上、互いに愛し合っている。

解説 for more than ten years と継続を表すので、状態の be in love を現在完了にした have been in love。fall in love は「恋に落ちる」一瞬の変化なので、継続の期間とは合わない。fell は形が誤り、become in love とは言わない。

区別 **fall in love (with ~) ⇔ be in love with ~**　fall in love は「恋に落ちる」という一瞬の変化、be in love は「恋をしている」状態。見分け方：for ~ / since ~ と継続を表すなら be in love（have been in love）、きっかけ・瞬間なら fall in love。

0288 □□□

Please forgive me ＿＿＿＿ being so late. The train stopped because of the snow.

① of　② for
③ about　④ from

② forgive A for B　B のことで A を許す

訳 こんなに遅れてしまったことを許してください。雪のせいで電車が止まったんです。

解説 forgive A for B「B のことで A を許す」。for は理由を表し、後ろは動名詞 being。of / about / from は理由を表す前置詞として forgive と組まない。thank you for ~ と同じ for。

区別 **forgive A for B ⇔ excuse A for B**　forgive は罪・過ち・ひどい仕打ちを「心から許す」、excuse は遅刻・失礼など小さなことを「大目に見る」。どちらも人 for 理由の型。Excuse me for ~ は軽いおわび、Please forgive me は深刻なおわび。

0289 □□□

You look worried. Do you have something ＿＿＿＿ your mind?

① at　② with
③ on　④ to

③ have ~ on one's mind
～を気にかけている；～が心配だ

訳 心配そうだね。何か気になることでもあるの？

解説 「気にかけている・心配事がある」は have ~ on one's mind。心配事が心の上にのしかかっているイメージの on。You look worried（心配そうだね）という文脈とも合う。at / with / to は mind と組んでこの意味にならない。

区別 **have ~ on one's mind ⇔ have ~ in mind**　on one's mind は「（心配事が）心の上にのしかかっている」、in mind は「（計画・考えが）頭の中にある」。見分け方：悩み・心配なら on one's mind、意図・候補なら in mind（Do you have anyone in mind?）。in mind には所有格を付けないことが多い。

0290 □□□

We ＿＿＿＿ a really good time at the school festival yesterday.

① made　② played
③ had　④ took

③ have a good time 楽しい時を過ごす

訳 昨日の文化祭では本当に楽しく過ごした。

解説 have a good time「楽しく過ごす」で、昨日のことなので過去形 had。made / played / took は a good time と組んで「楽しむ」の意味にならない。enjoyed を使うなら enjoyed ourselves のように目的語が必要。

区別 **have a good time ⇔ enjoy oneself** have a good time は自動詞的に使えるが、enjoy は他動詞なので目的語が必要（× I enjoyed. → I enjoyed myself / I enjoyed the party.）。言い換え問題では enjoy の目的語を落とす誤りが狙われる。

0291 □□□

Is the service charge included ＿＿＿＿ the price of the meal?

① in　② on
③ to　④ with

① include A in B A を B に含める

訳 サービス料は食事の料金に含まれていますか。

解説 be included in ~「~に含まれている」。include A in B の受け身で、中に入るイメージの in。on / to / with は included と組まない。including the service charge（サービス料込みで）の形も合わせて覚える。

区別 **include A in B ⇔ exclude A from B** include A in B は「中に入れる」で in、exclude A from B は「外に締め出す」で from。前置詞まで反対になる。見分け方：中へなら in、外へ（分離）なら from。

0292 □□□

My uncle tried to interest me ＿＿＿＿ fishing, but I never liked it.

① at　② for
③ on　④ in

④ interest A in B A に B への興味を持たせる

訳 おじは私に釣りへの興味を持たせようとしたが、私は結局好きにならなかった。

解説 interest A in B「A に B への興味を持たせる」。be interested in と同じ in を使う。at / for / on は interest と組まない。but I never liked it とあり、興味を持たせようとしたがだめだったという流れ。

区別 **interest A in B ⇔ be interested in ~** interest A in B は主語が「興味を持たせる側」、be interested in B は主語が「興味を持っている人」。見分け方：主語が興味を持つ本人なら受け身の be interested in。

0293 □□□

After months in the hospital, she longed ＿＿＿＿ fresh air and sunshine.

① to　② for
③ at　④ with

② long for ~ ~を切望する；~を思い焦がれる

訳 何か月も入院した後、彼女は新鮮な空気と日の光を切望した。

解説 long for ~「~を切望する」。後ろが名詞（fresh air）なので for。to は long to do の形で後ろに動詞の原形が必要。at / with は long と組まない。yearn for / wish for と同じ for。

区別 **long for ~ ⇔ look forward to ~** long for は「（手に入らないもの・遠いもの）を強く望む」、look forward to は「（予定されている楽しいこと）を楽しみに待つ」。look forward to の to は前置詞で後ろは ~ing。

0294 ☐☐☐

She was so nervous that she couldn't look him in _____ eye.

① his　② her
③ the　④ an

③ look A in the eye　A の目をまっすぐ見る

訳 彼女はとても緊張していたので、彼の目をまっすぐ見ることができなかった。

解説 look A in the eye で「A の目をまっすぐ見る」。目の持ち主はすでに him で示しているので、体の部分には the を付ける（pat A on the shoulder と同じ型）。his eye / her eye と所有格にしない。an eye も不可。

区別 **look A in the eye ⇔ look at A's eyes**　look A in the eye は「（人と向き合って）目をまっすぐ見る」と人を相手にした表現。look at A's eyes は「A の目（という部分）を見る」で、目の色や形を見る場面。見分け方：人と向き合う態度なら look A in the eye、目そのものを観察するなら look at A's eyes。

0295 ☐☐☐

A: Come in! Please make _____ at home. B: Thank you. What a nice room!

① you　② your home
③ yourself　④ yours

③ make oneself at home　くつろぐ

訳 A：どうぞ入って！　楽にしてくださいね。　B：ありがとう。なんてすてきな部屋！

解説 make oneself at home「くつろぐ」。相手に勧めるので oneself を yourself にする。you では「あなたを～にする」となり、再帰の意味にならない。your home / yours は at home と重なり意味をなさない。

区別 **make oneself at home ⇔ feel at home**　make oneself at home は「（自分を）くつろがせる」で oneself が必要、主に命令文で客に勧める。feel at home は「くつろいだ気分になる・慣れ親しむ」で oneself は不要。見分け方：make なら oneself、feel ならなし。

0296 ☐☐☐

The chef prides himself _____ using only fresh local vegetables.

① on　② of
③ in　④ at

① pride oneself on ~　～を誇りに思う

訳 そのシェフは、地元の新鮮な野菜だけを使っていることを誇りにしている。

解説 pride oneself on ~「～を誇りに思う」。of は be proud of、in は take pride in で使う前置詞で、pride oneself とは組まない。at も不可。後ろが動名詞 using になっている点も確認。

区別 **pride oneself on ~ ⇔ be proud of / take pride in**　同じ「誇りに思う」でも前置詞が違う。pride oneself on、be proud of、take pride in。見分け方：動詞 pride なら on、形容詞 proud なら of、名詞 pride を take するなら in。

0297 □□□

Our school puts great emphasis _____ speaking practice in English classes.

① to　② on
③ in　④ at

② put emphasis on ~　～を強調する；～を重視する

訳 私たちの学校は、英語の授業で話す練習をとても重視している。

解説 put emphasis on ~「～を重視する」。力点を対象の上に置くイメージで on。to / in / at は emphasis と組まない。動詞 emphasize なら on を付けずに emphasize speaking practice と言う。

区別 **put emphasis on ~ ⇔ emphasize ~**（動詞）　名詞 emphasis を使うと put emphasis on ~ と on が必要、動詞 emphasize は直後に目的語（emphasize the importance）。見分け方：put / place / lay の後ろなら名詞で on あり、主語の直後なら動詞で on なし。

0298 □□□

The sad ending of the movie reduced the audience _____ tears.

① into　② in
③ for　④ to

④ reduce A to B

A を B に減らす；A を B（悪い状態）にする

訳 その映画の悲しい結末に、観客は涙を流した。

解説 reduce A to tears「A を泣かせる」。to は「（ある状態）にまで」の到達点を表す。into は burst into tears（泣き出す）で使うが reduce とは組まない。in / for も不可。

区別 **reduce A to B ⇔ reduce A by B**　to は「到達点（～まで）」、by は「差（～だけ）」。reduce the price to 800 yen は 800 円に、reduce the price by 200 yen は 200 円分値下げ。見分け方：結果の数値なら to、減った量なら by。

0299 □□□

This new medicine will rid you _____ your headache in a few minutes.

① with　② off
③ of　④ out

③ rid A of B　A から B を取り除く

訳 この新しい薬を飲めば、数分で頭痛が取れます。

解説 rid A of B「A から B を取り除く」。you が場所（取り除かれる側）、your headache が取り除く物で、分離の of を使う。with / off / out は rid と組まない。cure A of B（A の B を治す）と同じ型。

区別 **rid A of B ⇔ get rid of ~**　rid A of B は「A（人・場所）から B を取り除く」で取り除かれる場所が目的語、get rid of B は「B を処分する」で取り除く物が of の後ろ。get rid of の方が日常的。

0300 □□□

The two brothers were separated _____ each other during the war.

① with　② off
③ to　④ from

④ separate A from B

A を B から分ける；A と B を引き離す

訳 その兄弟は戦争中に離れ離れになった。

解説 be separated from ~「～と離れ離れになる」。separate A from B の受け身で、分離の from。with / off / to は separated と組まない。into なら分けた結果（いくつかの部分）を表す。

区別 **separate A from B ⇔ separate A into B**　from は「切り離す相手」、into は「分けた結果のいくつかの部分」。separate the class into three groups（3 つのグループに分ける）。見分け方：後ろが分けた結果なら into、引き離す相手なら from。

0301 □□□

Someone set _____ to the old warehouse late last night.

① fire　② a fire
③ the fire　④ fires

① set fire to ~ ～に火をつける

訳 昨夜遅く、何者かが古い倉庫に火をつけた。

解説 set fire to ~「～に火をつける」。fire は冠詞を付けずに使う。a fire / the fire / fires は具体的な「たき火・火事」になり、この熟語の形ではない。set the warehouse on fire と言い換えられる。

区別 **set fire to ~ ⇔ set ~ on fire** 意味は同じだが語順が違う。set fire to＋物、set＋物＋on fire。見分け方：fire の後ろに to があれば set fire to、物が先なら on fire。catch fire は主語が燃える物で目的語をとらない。

0302 □□□

The new discovery may shed light _____ the cause of the disease.

① to　② on
③ in　④ for

② shed light on ~ ～を解明する；～に光を当てる

訳 その新しい発見は、その病気の原因を解明する手がかりになるかもしれない。

解説 shed light on ~「～を解明する」。光を対象の上に注ぐイメージで on。to は come / bring to light（明るみに出る・出す）の形で使う。in / for は shed light と組まない。

区別 **shed light on ~ ⇔ bring ~ to light** shed light on は「（謎・問題に）光を当てて説明する・理解を助ける」、bring ~ to light は「隠れていた事実を明るみに出す」。前者は説明・解明、後者は暴露・発見。

0303 □□□

Many students struggle _____ English grammar when they start high school.

① to　② with
③ for　④ at

② struggle with ~ ～と格闘する；～に苦労する

訳 多くの生徒は、高校に入ると英文法に苦労する。

解説 struggle with ~「～に苦労する」。苦労の種（English grammar）を with で示す。to は struggle to do で後ろは動詞の原形。for は求めるもの（自由など）の前に置く。at は不可。

区別 **struggle with ~ ⇔ struggle for ~** with は「取り組む相手・困難」、for は「手に入れたいもの（自由・生存）」、against は「抵抗する相手」。見分け方：苦労の種なら with、目的なら for、敵なら against。

0304 □□□

Who will _____ charge of the class while Ms. Sato is on leave?

① do　② make
③ take　④ put

③ take charge of ~ ～を担当する；～の責任を引き受ける

訳 佐藤先生が休暇の間、誰がクラスを担当するのですか。

解説 take charge of ~「～の担当を引き受ける」。先生が休む間の代わりの担当を引き受ける動作なので take。do / make / put は charge と組んでこの意味にならない。状態なら be in charge of。

区別 **take charge of ~ ⇔ be in charge of ~** take charge of は「（新たに）引き受ける」動作、be in charge of は「担当している」状態。見分け方：期間・現状を言うなら be in charge of、交代・就任の場面なら take charge of。

0305 ☐☐☐

The school took steps ＿＿＿＿ bullying among students.

① preventing　② prevent
③ prevented　④ to prevent

④ take steps (to do)
（～するための）措置をとる；手を打つ

訳 学校は生徒間のいじめを防ぐための手段を講じた。

解説 take steps to do「～するための措置をとる」で、目的は to 不定詞 to prevent。preventing / prevent / prevented は steps の後ろに続ける形として誤り。take measures to do / take action to do も同じ形。

区別 **take steps (to do) ⇔ take action** どちらも「対策をとる」。steps は数える名詞で複数形、action は数えない名詞で冠詞なし。目的は両方とも to do で表す。複数形の有無を選ばせる問題が多い。

0306 ☐☐☐

Can you tell the difference ＿＿＿＿ these two kinds of rice?

① between　② from
③ of　④ among

① tell the difference (between A and B)
（A と B の）違いが分かる

訳 この 2 種類のお米の違いが分かりますか。

解説 tell the difference between A and B「A と B の違いが分かる」。these two kinds（2 種類）の違いなので between。from は tell A from B の形で使う。of / among は difference の後ろでこの意味にならない。

区別 **tell the difference (between A and B) ⇔ tell A from B** tell the difference between A and B は difference（違い）が目的語で between A and B、tell A from B は A を直接目的語にして from。between と from を混ぜない。

0307 ☐☐☐

You should think ＿＿＿＿ before you quit your job.

① twice　② double
③ two times　④ second

① think twice よく考え直す；慎重に考える

訳 仕事を辞める前によく考え直すべきだ。

解説 think twice で「よく考え直す」という決まった形。two times は数を数えるときの言い方で、この成句には使わない。double / second も think の後ろに置いてこの意味を作らない。

区別 **think twice ⇔ think over ～** think over は他動詞的に「～をよく考える」で、目的語を取る（think it over）。think twice は目的語を取らず、before / about で考える内容を示す。

0308 ☐☐☐

The coach treated all the players ＿＿＿＿ equals, regardless of age.

① to　② for
③ as　④ with

③ treat A as B A を B として扱う

訳 コーチは年齢に関係なく、すべての選手を対等に扱った。

解説 treat A as B「A を B として扱う」。all the players＝equals（対等な者）の関係なので as。to は treat A to B「A に B をおごる」で、後ろは食事など。for / with は treat と組んでこの意味にならない。

区別 **treat A as B ⇔ treat A to B** treat A as B は「A を B として扱う」、treat A to B は「A に B（食事など）をおごる」。見分け方：後ろが扱い方（a child / an equal）なら as、ごちそう（lunch / dinner）なら to。

0309 ☐☐☐

My uncle treated us _____ dinner at a nice restaurant to celebrate my birthday.

① for ② to
③ with ④ as

② treat A to B　A に B をおごる；A を B でもてなす

訳 おじは私の誕生日を祝うため、素敵なレストランで夕食をおごってくれた。

解説 「A に B をおごる」は treat A to B で、前置詞は to。for は「～のために」で、おごる物を示せない。with は treat A with kindness（親切に扱う）のように扱い方を表す。as は treat A as B（A を B として扱う）になり意味が合わない。

区別 **treat A to B ⇔ treat A as B**　treat A to B は「A に B をおごる」で、B は食事など。treat A as B は「A を B として扱う」（treat him as a child）で、B は役割や立場。見分け方：前置詞が to なら楽しい物を与える、as なら扱い方。

0310 ☐☐☐

A: I'll be at home all evening. B: OK, I'll _____ you a call after dinner.

① make ② take
③ do ④ give

④ give A a call　A に電話する

訳 A：今晩はずっと家にいるよ。　B：分かった、夕食の後に電話するね。

解説 give A a call「A に電話する」。you を直後に置けるのは give。make a call は「電話をかける」だが、相手は to で示し × make you a call とは言わない。take / do も a call と組んで相手を直後に置けない。

区別 **give A a call ⇔ make a call**　give A a call は相手 A を give の直後に置く。make a (phone) call は「電話をかける」で、相手は to で示す（make a call to A）。× make you a call。見分け方：相手を直後に置けるのは give。

0311 ☐☐☐

He makes a lot of _____ by selling used books online.

① money ② moneys
③ a money ④ coin

① make money　金を稼ぐ；もうける

訳 彼は古本をネットで売って、たくさんのお金を稼いでいる。

解説 make money「お金を稼ぐ」。money は数えられない名詞なので複数形 moneys や a money は誤り。coin は数えられる名詞で a lot of coin とは言わない。by ~ing は稼ぐ手段を表す。

区別 **make money ⇔ make a profit**　make money は「（働いて・商売で）お金を稼ぐ」で広く使う。make a profit は「（取引の結果）利益を出す」で、profit は数えられる用法で a が付く。会社・取引の話なら make a profit が多い。

0312 □□□

I never look at this photo without _____ of my late grandmother.

① think ② thinking
③ to think ④ thought

② never ~ without ...ing ～すると必ず…する

訳 この写真を見ると、私は必ず亡くなった祖母のことを思い出す。

解説 never ~ without ...ing「～すると必ず…する」。without は前置詞なので後ろは動名詞 thinking。原形 think、不定詞 to think、過去形 thought は前置詞の後ろに置けない。Whenever I look at this photo, I think of ~ と言い換えられる。

区別 **never ~ without ...ing ⇔ never fail to do** never fail to do は「必ず～する」で行為は 1 つ。never A without B-ing は「A すると必ず B する」で 2 つの行為の結び付き。見分け方：without の前後に 2 つの動作があるか。

0313 □□□

Please see _____ it that all the windows are closed before you leave.

① to ② for
③ about ④ on

① see to it that S V ～するように取り計らう

訳 出かける前に、必ず窓が全部閉まっているようにしてください。

解説 see to it that S V「必ず～するようにする」。see の後ろには to が必要で、it も落とさない。for / about / on は see to it の形にならない。that 節は未来のことでも現在形（are closed）。make sure that ~ と言い換えられる。

区別 **see to it that S V ⇔ make sure that S V** 意味はほぼ同じ「必ず～するようにする」。make sure は口語的で it も to も不要。see to it は to と it が必要で、それが問題の狙い。見分け方：see の後ろなら to it、make の後ろなら sure だけ。

0314 □□□

Don't _____ a lie. It's always better to be honest.

① say ② speak
③ tell ④ talk

③ tell a lie うそをつく

訳 うそをついてはいけない。正直なほうがいつでもよい。

解説 tell a lie「うそをつく」。tell は lie / truth / story など内容を伝える語を目的語にとる。say a lie とは言わない。speak は言語（speak English）、talk は自動詞的に使うのが普通で、a lie と組まない。

区別 **tell a lie ⇔ tell the truth** どちらも tell を使う。tell は「（内容のあるもの）を伝える」で、a lie / the truth / a story / a joke を目的語にとる。say はせりふ・言葉そのものを言うときに使う。

0315 □□□

I really admire my mother _____ her patience and kindness.

① of ② with
③ at ④ for

④ admire A for B

B のことで A を称賛する；B の点で A に感心する

訳 私は母の忍耐強さと優しさを本当に尊敬している。

解説 admire A for B「B の点で A を称賛する」。for は理由を表す。of / with / at は admire と組んで理由を表さない。praise / respect A for B も同じ for。

区別 **admire A for B ⇔ praise A for B** admire は「（心の中で）感心する・尊敬する」、praise は「（言葉で）褒める」。どちらも人 for 理由の型。見分け方：声に出して褒めるなら praise、心で感心するなら admire。

0316 □□□

The total cost of the trip amounted _____ more than 200,000 yen.

① for ② to
③ at ④ in

② amount to ~ 合計～になる；（結局）～に等しい

訳 旅行の費用は合計で 20 万円以上になった。

解説 amount to ~「（合計が）～に達する」。到達点を表す to。for / at / in は amount と組まない。自動詞なので be amounted とせず、amounted のまま使う。

区別 **amount to ~ ⇔ come to ~** 「合計～になる」の意味では同じ。come to は口語的（The bill came to 3,000 yen.）、amount to は改まった語で、「結局～と同じことになる」という比喩の意味でも使う（His words amount to a refusal.）。

0317 □□□

The long war was finally _____ to an end in 1945.

① come ② brought
③ taken ④ made

② bring ~ to an end ～を終わらせる

訳 長い戦争は 1945 年にようやく終わりを迎えた（終結させられた）。

解説 受け身 be brought to an end「終わらせられる」。bring ~ to an end の受け身。come to an end は自動詞的なので受け身にできず、was come は誤り。taken / made は to an end と組まない。

区別 **bring ~ to an end ⇔ come to an end** bring ~ to an end は「（人・出来事が）～を終わらせる」で目的語あり、come to an end は「（物事が）終わる」で目的語なし。見分け方：終わらせる物が目的語にあるなら bring、主語自身が終わるなら come。

0318 □□□

When she heard that her dog had been found, she burst _____ tears of joy.

① into ② out
③ in ④ to

① burst into tears わっと泣き出す

訳 自分の犬が見つかったと聞いて、彼女はうれし泣きをした。

解説 burst into tears「泣き出す」。後ろが名詞 tears なので into。out は burst out crying のように後ろに動名詞をとる。in / to は burst と組んでこの意味にならない。

区別 **burst into tears ⇔ burst out crying** 意味は同じ「泣き出す」だが形が違う。burst into＋名詞（tears）、burst out＋動名詞（crying）。見分け方：into の後ろは名詞、out の後ろは ~ing。

0319 □□□

I can't wait _____ my cousins from Canada next week.

① seeing ② see
③ for seeing ④ to see

④ can't wait to do ～するのが待ちきれない

訳 来週カナダから来るいとこたちに会うのが待ちきれない。

解説 can't wait to do「～するのが待ちきれない」で、後ろは to 不定詞 to see。seeing は look forward to ~ing の形で使う。原形 see は wait の直後に置けず、for の後ろは名詞（for the trip）が普通。

区別 **can't wait to do ⇔ look forward to ~ing** can't wait to do は不定詞、look forward to ~ing は to が前置詞で動名詞。見分け方：wait の後ろなら to do、forward to の後ろなら ~ing。どちらも楽しみな未来に使う。

0320 □□□

I have ＿＿＿＿ a cold since last Sunday, so I'm staying home today.

① caught　② taken
③ had　④ made

③ catch (a) cold 風邪をひく

訳 先週の日曜日から風邪をひいているので、今日は家にいる。

解説 since last Sunday（日曜からずっと）と継続を表すので、状態の have a cold を現在完了にした have had a cold。catch a cold は「ひく」瞬間の動作で、since の継続とは合わない。take / make は cold と組まない。

区別 **catch (a) cold ⇔ have a cold** catch a cold は「ひく」瞬間の動作、have a cold は「ひいている」状態。見分け方：since last week などの継続を表すなら have a cold（have had a cold）、ひいたきっかけなら catch。

0321 □□□

The hotel charged us 2,000 yen ＿＿＿＿ breakfast.

① for　② with
③ on　④ to

① charge A for B
B の代金として A（人・金額）を請求する

訳 そのホテルは朝食代として私たちに 2,000 円を請求した。

解説 charge A＋金額＋for B「B の代金として A に～を請求する」。代金の対象（breakfast）には for。with は charge A with B「A を B（罪）で告発する」の形。on / to は請求の対象を表さない。

区別 **charge A for B ⇔ charge A with B** for は「代金の対象（品物・サービス）」、with は「罪・責任」。charge him for the repair（修理代を請求）、charge him with theft（窃盗で告発）。見分け方：後ろがお金のかかる物なら for。

0322 □□□

When I think of summer, the first thing that ＿＿＿＿ to mind is fireworks.

① occurs　② crosses
③ hits　④ comes

④ come to mind （考えが）頭に浮かぶ

訳 夏と言えば、最初に頭に浮かぶのは花火だ。

解説 come to mind「頭に浮かぶ」。occur は occur to＋人 の形で、to mind とは組まない。cross は cross one's mind で to は不要。hits to mind とも言わない。主語 the first thing に合わせて三単現の comes。

区別 **come to mind ⇔ occur to ～** come to mind は人を示さなくてよい（mind の前に one's を入れることはある）、occur to は to の後ろに人が必要（It occurred to me that ～）。見分け方：to の後ろが人なら occur、mind なら come。

0323 □□□

The old school building was converted ＿＿＿＿ a museum last year.

① for　② into
③ with　④ at

② convert A into B A を B に変える；A を B に転換する

訳 その古い校舎は昨年、博物館に改装された。

解説 convert A into B「A を B に変える」の受け身。変化の結果（a museum）は into で表す（to も可）。for / with / at は convert と組んで変化の結果を表せない。turn A into B と同じ型。

注意 convert A into / to B。名詞 conversion。convert to＋宗教（改宗する）もある。

0324 □□□

After looking at several sofas, we finally decided ＿＿＿ the blue one.

① to　② with
③ on　④ at

③ decide on ~ ～に決める

訳 いくつかのソファーを見た後、私たちは結局青いソファーに決めた。

解説 decide on ~「～に決める」。後ろが名詞（the blue one）なので on。to は decide to do の形で後ろに動詞の原形が必要。with / at は decide と組まない。候補から 1 つを選ぶ場面の定番。

区別 **decide on ~ ⇔ decide to do** decide on の後ろは選んだ物（名詞・動名詞）、decide to do の後ろは動詞の原形。見分け方：空所の後ろが名詞なら on、動詞なら to。

0325 □□□

Many English words derive ＿＿＿ Latin or French.

① in　② from
③ to　④ of

② derive from ~ ～に由来する；～から出ている

訳 英語の単語の多くはラテン語やフランス語に由来する。

解説 derive from ~「～に由来する」。出どころを表す from。in は originate in ~ の前置詞で、derive とは組まない。to / of も不可。be derived from ~ と受け身で言っても同じ意味。

区別 **derive from ~ ⇔ derive A from B** 自動詞 derive from は主語が「～に由来する」、他動詞 derive A from B は「B から A（喜び・利益・情報）を得る」。見分け方：derive の直後に目的語（pleasure など）があるか。

0326 □□□

The newspaper article drew public attention ＿＿＿ the problem of food waste.

① on　② at
③ for　④ to

④ draw attention to ~ ～に注意を向けさせる

訳 その新聞記事は、食品ロスの問題に世間の注意を向けさせた。

解説 draw attention to ~「～に注意を引く」。注意を向ける先は到達の to。on / at / for は attention と組んで注目の向かう先を表さない。pay attention to と同じ to なので、後ろに動詞を置くなら ~ing。

区別 **draw attention to ~ ⇔ pay attention to ~** draw attention to は「（他人の）注意を～に向けさせる」、pay attention to は「（自分が）～に注意を払う」。見分け方：主語が注目させる側（記事・事件）なら draw、注意する本人なら pay。

0327 □□□

As a child, she dreamed ＿＿＿ becoming an astronaut.

① of　② to
③ for　④ with

① dream of ~
～を夢見る；（否定で）～など思いもよらない

訳 子どものころ、彼女は宇宙飛行士になることを夢見ていた。

解説 dream of ~「～を夢見る」。後ろが動名詞 becoming なので前置詞 of（about も可だが選択肢にない）。to を選ぶと to becoming となり形が合わない。for / with は dream と組まない。

区別 **dream of ~ ⇔ dream about ~** どちらも使えるが、将来の夢・あこがれは dream of、夜に見た夢の中身は dream about が多い傾向。どちらも後ろは名詞か動名詞で、to do は続けないのが普通。

0328 ☐☐☐

Two prisoners escaped ＿＿＿＿ the prison late last night.

① out　② off
③ from　④ away

③ escape from ~　～から逃げる；～から逃れる

訳 昨夜遅く、2 人の囚人が刑務所から脱走した。

解説 escape from ~「～から脱出する」。閉じ込められていた場所から逃げ出すので from。out / off / away は escape の後ろに名詞を直接続ける前置詞として使わない。他動詞の escape は危険・罰を免れるときに使う。

区別 **escape from ~ ⇔ escape ~（他動詞）** escape from＋場所は「そこから逃げ出す」、escape＋名詞・~ing は「（危険・罰を）うまく免れる」。見分け方：閉じ込められた場所から出るなら from、身に降りかかる災難を避けるなら直接目的語。

0329 ☐☐☐

My parents forbid me ＿＿＿＿ out after ten at night.

① to going　② of going
③ from going　④ go

③ forbid A from ~ing　A が～するのを禁じる

訳 両親は私が夜 10 時以降に外出することを禁じている。

解説 forbid A from ~ing「A が～するのを禁じる」。from の後ろは動名詞 going。to going は to 不定詞と前置詞を混ぜた誤り（to go なら正しい）。of going / go は forbid の形として誤り。

区別 **forbid A from ~ing ⇔ prohibit A from ~ing** forbid は from ~ing と to do の両方をとれるが、prohibit は from ~ing だけ（× prohibit A to do）。prohibit は法律・規則による禁止に多く、forbid は親・先生など個人の禁止にも使う。

0330 ☐☐☐

We ＿＿＿＿ lost in the forest because it got dark so quickly.

① lost　② got
③ made　④ went

② get lost　道に迷う

訳 あっという間に暗くなったので、私たちは森で道に迷った。

解説 get lost「道に迷う」の過去形 got lost。lost lost は同じ語の重複で誤り（lost our way なら可）。made / went は lost と組んで「迷う」にならない。get＋過去分詞で状態の変化を表す。

区別 **get lost ⇔ lose one's way** 意味は同じ「道に迷う」だが形が違う。get lost は get＋過去分詞で自動詞的、lose one's way は lose が他動詞で one's way が目的語。× lose the way も避けて所有格を使う。

0331 ☐☐☐

We're going skiing ＿＿＿＿ Hokkaido during the winter vacation.

① in　② to
③ at　④ for

① go ~ing　～しに行く

訳 冬休みに北海道へスキーをしに行く予定だ。

解説 go ~ing の後ろの場所は活動をする所なので in（スキーをするのは北海道で）。to は「～へ行く」に引かれた誤り。Hokkaido のような広い地域には at は合わない。for は目的・期間を表す。

区別 **go ~ing ⇔ go for a ~** go ~ing は活動そのもの（go swimming）、go for a＋名詞は「ひと～しに行く」（go for a walk / a drive / a swim）。見分け方：後ろが ~ing なら go だけ、名詞なら for a が必要。

0332 □□□

Can I have a _____ at your notebook? I missed yesterday's class.

① see ② watch
③ view ④ look

④ have a look at ~ ～をちょっと見る

訳 ノートを見せてもらってもいい？ 昨日の授業を休んだんだ。

解説 have a look at ~「～をちょっと見る」。名詞 look が at と組む。see は名詞として a see とは言わず、watch / view は at と組んで「ちょっと見る」の意味にならない。take a look at ~ も同じ意味。

注意 ＝ take a look at ~。have a word / have a talk / have a try と同じ型。

0333 □□□

It's hard to keep track _____ all my expenses without a notebook.

① on ② with
③ of ④ for

③ keep track of ~ ～の経過を追う；～を把握している

訳 ノートがないと、自分の出費をすべて把握しておくのは難しい。

解説 keep track of ~「～を把握し続ける」。前置詞は of。on / with / for は track と組んでこの意味にならない。反対の lose track of ~ も of なので、前置詞はセットで覚える。

区別 **keep track of ~ ⇔ lose track of ~** keep track of は「（見失わずに）把握し続ける」、lose track of は「（途中で）分からなくなる」で正反対。lose track of time（時間を忘れる）は頻出。前置詞はどちらも of。

0334 □□□

Each speaker is limited _____ five minutes, so please keep your speech short.

① to ② in
③ on ④ by

① limit A to B A を B に制限する

訳 発表者一人の持ち時間は 5 分に限られているので、スピーチは短くしてください。

解説 be limited to ~「～に限られている」。limit A to B の受け身で、上限を表す到達の to。in / on / by は limited と組んで制限の範囲を表さない。restrict A to B も同じ to。

注意 be limited to（～に限られる）。名詞 limit / limitation。＝ restrict A to B。

0335 □□□

You have to make a _____ between the two universities by Friday.

① choose ② choice
③ chosen ④ choosing

② make a choice 選ぶ；選択する

訳 金曜日までに、2 つの大学のどちらかを選ばなければならない。

解説 make a choice「選択する」。a の後ろには名詞 choice が必要。choose は動詞、chosen は過去分詞、choosing は動名詞・現在分詞で、a の後ろに置けない。between A and B で選ぶ候補を示す。

区別 **make a choice ⇔ have no choice but to do** make a choice は「選ぶ」、have no choice but to do は「～する以外に選択肢がない＝～するしかない」。but の後ろは to 不定詞。choice が名詞である点は共通。

0336 □□□

Dr. Ito made a great contribution _____ the development of the town.

① for ② on
③ with ④ to

④ make a contribution to ~ ～に貢献する

訳 伊藤先生は町の発展に大きく貢献した。

解説 make a contribution to ~「～に貢献する」。差し出す先を表す到達の to。日本語の「～のために」に引かれて for を選ぶのが典型的な誤り。on / with も contribution と組まない。

区別 **make a contribution to ~ ⇔ contribute A to B** 名詞を使うと make a contribution to B、動詞では contribute to B（貢献する）、contribute A to B（A を B に寄付する・寄稿する）。どの形でも前置詞は to。for を選ぶ誤りが狙われる。

0337 □□□

My grandmother made the old curtains _____ a beautiful dress.

① from ② of
③ with ④ into

④ make A into B A を B にする；A を B に作り変える

訳 祖母は古いカーテンを作り直して、きれいなドレスにした。

解説 make A into B「A を B に作り変える」。古いカーテン（材料）がドレス（完成品）になるので into。from / of は make 製品 from / of 材料 の語順で使うので、ここでは材料と製品が逆になる。with は材料を表す型にならない。

区別 **make A into B ⇔ make A from / of B** make A into B は「A（材料）を B（製品）にする」、make A from / of B は「B（材料）から A（製品）を作る」で、材料と製品の位置が逆。from は原料が変化して見えない、of は材料が見える。

0338 □□□

Her speech made a deep impression _____ everyone in the hall.

① on ② to
③ for ④ in

① make an impression on ~ ～に印象を与える

訳 彼女のスピーチは会場の全員に深い感銘を与えた。

解説 make an impression on ~「～に印象を与える」。印象を心に押し付けるイメージで on。to / for を選ぶのが典型的な誤り。in も不可。動詞なら impress everyone と前置詞なしで言う。

区別 **make an impression on ~ ⇔ impress ~（動詞）** 名詞を使うと make an impression on＋人、動詞では impress＋人（前置詞なし）。受け身 be impressed by / with ~ は「感銘を受ける」で主語が受ける側。前置詞の有無と主語の立場で区別。

0339 □□□

With prices rising, many families find it hard to make ends _____.

① met ② meet
③ meeting ④ to meet

② make ends meet 収入内でやりくりする

訳 物価が上がって、多くの家庭が収入内でやりくりするのに苦労している。

解説 make ends meet「やりくりする」。make A do（A に～させる）の形なので原形 meet。met / meeting / to meet はこの熟語の形ではない。find it hard to do（～するのが難しいと思う）の形も確認。

注意 長文や会話で「家計が苦しい」場面に出る。ends は複数形。

0340 □□□

The last bus has already left. We may as well _____ home.

① walking ② to walk
③ walk ④ walked

③ may as well do ～したほうがよい；～してもよい

訳 最終バスはもう出てしまった。歩いて帰ったほうがよさそうだ。

解説 may as well do「～した方がいい（他に手がない）」で、助動詞 may の後ろなので原形 walk。walking / to walk / walked は助動詞の後ろに置けない。バスがないので歩くしかない、という消極的な提案。

区別 **may as well do ⇔ had better do** had better は「～しないとまずい」という強い忠告で、目上には失礼になることもある。may as well は「（どうせなら）～してもいい」という消極的な提案。見分け方：しないと困るなら had better、他に手がないからなら may as well。

0341 □□□

Last summer, we paid a visit _____ our grandparents in Nagano.

① for ② to
③ at ④ on

② pay a visit to ～ ～を訪問する

訳 去年の夏、私たちは長野の祖父母を訪ねた。

解説 pay a visit to ～「～を訪問する」。訪問の行き先は到達の to。for / at / on は visit と組まない。動詞 visit なら to を付けず visited our grandparents と言う。pay our grandparents a visit とも言える。

区別 **pay a visit to ～ ⇔ visit ～（動詞）** 動詞 visit は直後に目的語（visit my aunt）、名詞 visit を使う pay a visit は to が必要（pay a visit to my aunt）。見分け方：pay / make の後ろなら名詞で to あり。

0342 □□□

The teacher is preparing her students _____ the entrance exam.

① for ② to
③ with ④ at

① prepare A for B
A に B の準備をさせる；B に備えて A を用意する

訳 先生は生徒たちに入試の準備をさせている。

解説 prepare A for B「A に B の準備をさせる」。入試という出来事に向けて生徒を準備させるので for。to / with / at は prepare と組まない。for がないと「入試問題を作る」の意味になるので注意。

区別 **prepare A for B ⇔ prepare ～（他動詞）** prepare the exam は「試験（問題）を作る」、prepare for the exam は「試験に備える」。for の有無で意味が全く変わる。見分け方：用意して出来上がる物なら直接目的語、備える出来事なら for。

0343 □□□

It is important to reflect ＿＿＿＿ your mistakes so that you can learn from them.

① to　② for
③ on　④ at

③ reflect on ~ ～をよく考える；～を振り返る

訳 失敗から学べるように、自分の失敗をよく振り返ることが大切だ。

解説 reflect on ~「～を振り返る・よく考える」。考える対象の上に心を置くイメージで on。to / for / at は reflect と組まない。前置詞なしの reflect your mistakes だと「誤りを反映する」の意味になる。

区別 **reflect on ~ ⇔ reflect ~（他動詞）** reflect on ~ は「～を振り返って考える」、reflect＋名詞は「（光・姿を）反射する・映す、（意見・状況を）反映する」。見分け方：on があれば熟考、目的語が直後なら反射・反映。

0344 □□□

I can really relate ＿＿＿＿ the main character in this novel.

① at　② for
③ on　④ to

④ relate to ~ ～に関係する；～に共感する

訳 この小説の主人公には本当に共感できる。

解説 relate to ~「～に共感する」。結び付く先を表す to。at / for / on は relate と組まない。can relate to ~ は「～の気持ちがよく分かる」という会話でもよく使う形。

区別 **relate to ~ ⇔ be related to ~** relate to は自動詞で「関係する・共感する」、be related to は受け身の形で「関係がある・血縁がある」。共感の意味は relate to だけ。見分け方：can relate to なら共感、be related to なら関係・親戚。

0345 □□□

The singer is often spoken ill ＿＿＿＿ on the Internet, but she doesn't care.

① of　② for
③ by　④ to

① speak ill of ~ ～の悪口を言う

訳 その歌手はネット上でよく悪口を言われているが、気にしていない。

解説 speak ill of ~（～の悪口を言う）の受け身は be spoken ill of で、of を落とさない。by は行為者を示すが、of を飛ばして by だけを置くことはできない（spoken ill of by many people なら可）。for / to は speak ill と組まない。

区別 **speak ill of ~ ⇔ speak well of ~** speak ill of は「悪口を言う」、speak well of は「良く言う・褒める」と反対。どちらも受け身は be spoken ill [well] of で of が残る。見分け方：悪く言うなら ill、褒めるなら well。

0346 □□□

The new teacher is well spoken ＿＿＿＿ by all the students.

① of　② for
③ to　④ with

① speak well of ~ ～のことをよく言う；～をほめる

訳 新しい先生は、すべての生徒から評判がよい。

解説 speak well of ～の受け身は be well spoken of by ...。speak of がひとかたまりなので、受け身でも of を落とさない。to / for / with では「～のことを言う」という意味にならない。

区別 **speak well of ~ ⇔ speak ill of ~** speak ill of は「～の悪口を言う」で反対の意味。well / ill / highly を入れ替えるだけで、形は同じ。受け身も be ill spoken of と同じ仕組み。

0347 □□□

I know it's risky, but I'll take a _____ and start my own business.

① luck　② chance
③ fortune　④ hope

② take a chance　一か八かやってみる；思い切ってやる

訳 危険なのは分かっているが、思い切って自分で事業を始めるつもりだ。

解説 take a chance「いちかばちかやってみる」。luck / fortune は数えない名詞として使うのが普通で、take a luck / take a fortune とは言わない。hope も take と組まない。try one's luck なら「運を試す」。

区別 **take a chance ⇔ take a risk** take a chance は「うまくいく可能性に賭けてみる」で前向き、take a risk は「危険・損失を承知で行う」で危険の方に焦点。どちらも「冒険する」の意味で近い。by chance（偶然）は全く別の意味。

0348 □□□

Could you take a look _____ this report before I send it?

① at　② to
③ on　④ for

① take a look at ~　~をちょっと見る

訳 送る前に、この報告書に目を通していただけますか。

解説 take a look at ~「~をちょっと見る」。動詞 look at と同じく、見る対象は at。to / on / for は look と組んでこの意味にならない（look for は「探す」）。

注意 = look at ~ / have a look at ~。take a walk / take a break など「take a ＋動作名詞」の型を押さえる。

0349 □□□

He took the risk _____ losing all his money on the new business.

① to　② for
③ of　④ in

③ take a risk　危険を冒す

訳 彼は新しい事業で全財産を失う危険を冒した。

解説 take the risk of ~ing「~する危険を冒す」。risk の中身は of ＋動名詞で示す。to は不定詞なら to lose だが、ここは losing なので不可。for / in は risk の中身を表さない。

区別 **take a risk ⇔ put ~ at risk** take a risk は「（自分から）危険を冒す」、put ~ at risk は「（ほかの物・人を）危険にさらす」。見分け方：主語が危険に飛び込むなら take、目的語が危険な状態に置かれるなら put ~ at risk。

0350 □□□

During the lecture, the students took _____ on everything the professor said.

① notes　② note
③ a note of　④ notice

① take notes (on ~)
（~について）メモを取る；ノートを取る

訳 講義の間、学生たちは教授が言ったことを全部メモした。

解説 「メモを取る」は take notes で、内容は on で示す。take note は of と組んで「~に注意する」の意味になり、on とは使わない。a note of の後ろに on は続かない。notice は take notice of ~（~に注意する）の形で、メモの意味はない。

区別 **take notes (on ~) ⇔ take note of ~** take notes は「メモを取る（書く）」、take note of は「~に注意を払う・気に留める」で、書くとは限らない。見分け方：note に s があり on / about が続けば書く方、s がなく of が続けば注意する方。

0351 ☐☐☐

The president took full responsibility _____ the accident and resigned.

① of ② to
③ on ④ for

④ take responsibility for ~ ～の責任をとる

訳 社長はその事故の全責任を取って辞任した。

解説 take responsibility for ~「～の責任をとる」。責任の対象は for で示す。of / to / on は responsibility と組んで責任の対象を表さない。be responsible for ~ も同じ for。

区別 **take responsibility for ~ ⇔ be responsible for ~** take responsibility for は「責任を引き受ける（行動）」、be responsible for は「責任がある（状態）」。どちらも for。言い換え問題では品詞（名詞・形容詞）と動詞（take / be）の組み合わせが狙われる。

0352 ☐☐☐

In just a few weeks, the caterpillar is transformed _____ a butterfly.

① for ② with
③ by ④ into

④ transform A into B A を B に（すっかり）変える

訳 わずか数週間で、毛虫はチョウに姿を変える。

解説 be transformed into ~「～に変わる」。変化の結果（a butterfly）は into で表す。for は交換、with は道具・材料、by は受け身の動作主で、変化の結果を表せない。

注意 変化系 A into B。change より変化が大きい。名詞 transformation。

0353 ☐☐☐

Many Japanese companies attach great importance _____ teamwork.

① on ② for
③ to ④ with

③ attach importance to ~ ～を重視する

訳 日本の多くの企業はチームワークをとても重視している。

解説 attach importance to ~「～を重視する」。attach（くっ付ける）は to と組む。on は place / put importance on ~ の形で使い、attach とは組まない。for / with も不可。

区別 **attach importance to ~ ⇔ place importance on ~** 意味は同じ「重視する」だが、動詞によって前置詞が違う。attach importance to（付ける→to）、place / put importance on（置く→on）。見分け方：attach なら to、place / put なら on。

0354 ☐☐☐

The disease spreads when people come into contact _____ infected animals.

① to ② with
③ for ④ at

② come into contact with ~ ～と接触する；～に出会う

訳 その病気は、人が感染した動物と接触すると広がる。

解説 come into contact with ~「～と接触する」。接触する相手は with で示す。to / for / at は contact と組んで相手を表さない。be in contact with ~ も同じ with。

区別 **come into contact with ~ ⇔ get in touch with ~** come into contact with は「（物理的に・初めて）接触する・触れる」、get in touch with は「（電話・メールで）連絡をとる」。見分け方：病気・物質・異文化に触れるなら contact、連絡なら touch。

0355 ☐☐☐

The new traffic law will come ＿＿＿＿ effect next April.

① into　② to
③ in　④ on

① come into effect （法律などが）発効する；実施される

訳 新しい交通法は来年の 4 月に施行される。

解説 come into effect「施行される」。into は「効力の状態に入る」変化を表す。to / in / on は come ~ effect の形にならない。take effect なら前置詞なしで言える。

区別 **come into effect ⇔ take effect** どちらも「効力を生じる」だが形が違う。come into effect は into が必要、take effect は前置詞なし。take effect は薬が「効く」意味でも使う。

0356 ☐☐☐

After retiring, he committed himself to ＿＿＿＿ poor children in the area.

① helping　② help
③ helped　④ be helped

① commit oneself to ~ ～を約束する；～に専心する

訳 引退後、彼は地域の貧しい子どもたちを助けることに身をささげた。

解説 commit oneself to ~ の to は前置詞なので、後ろは動名詞 helping。原形 help を置くと to 不定詞と取り違えた誤り。helped / be helped は前置詞の後ろに置けない。devote oneself to ~ing と同じ形。

区別 **commit oneself to ~ ⇔ commit a crime** commit oneself to ~ は「～に身を捧げる・専念する」、commit＋犯罪は「（罪・誤りを）犯す」。見分け方：commit の後ろが oneself で to が続けば献身、crime / suicide / error なら犯す。

0357 ☐☐☐

She is doing ＿＿＿＿ on climate change at a university in Kyoto.

① a research　② researches
③ research　④ researching

③ do research (on ~) （～について）研究・調査する

訳 彼女は京都の大学で気候変動の研究をしている。

解説 do research on ~「～の研究をする」。research は数えない名詞なので a research や researches は誤り。researching は動詞の ~ing で、do の後ろに置けず on とも合わない。

注意 research は不可算（× researches は避ける）。do [conduct / carry out] research on [into] ~。

0358 ☐☐☐

It is too early to ＿＿＿＿ a conclusion from these results.

① take　② draw
③ do　④ give

② draw a conclusion 結論を引き出す

訳 これらの結果から結論を出すのはまだ早すぎる。

解説 draw a conclusion from ~「～から結論を引き出す」。take / do / give は conclusion と組んでこの意味にならない。come to / reach a conclusion も使えるが、from ~ と結び付くのは draw。

区別 **draw a conclusion ⇔ come to a conclusion** draw a conclusion は「（データ・事実から）結論を引き出す」で他動詞的、come to / reach a conclusion は「（話し合いの末に）結論に達する」。draw の後ろには from ~ が続きやすい。

0359 ☐☐☐

My host family was so kind that I soon felt ＿＿＿＿ home.

① in　② on
③ to　④ at

④ feel at home　くつろぐ；気楽にする

訳 ホストファミリーがとても親切だったので、私はすぐにくつろいだ気分になった。

解説 feel at home「くつろぐ・居心地が良い」。at home の形で使い、in / on / to は不可。so ~ that ...（とても～なので...）の構文。make oneself at home と違い oneself は不要。

区別 **feel at home ⇔ make oneself at home**　feel at home は「くつろいだ気分になる」で oneself 不要、make oneself at home は「くつろぐ」で oneself が必要、主に命令文で客に勧める。見分け方：feel の後ろなら at home だけ。

0360 ☐☐☐

A: I've never eaten natto. B: Why don't you give it a ＿＿＿＿? You might like it.

① tried　② try
③ trying　④ tries

② give ~ a try　～を試してみる

訳 A：納豆を食べたことがないんだ。　B：試しに食べてみたら？気に入るかもしれないよ。

解説 give ~ a try「～を試しにやってみる」。a の後ろには名詞 try（試み）が必要。tried / trying は動詞の変化形、tries は名詞の複数形で a と合わない。Why don't you ~? は「～したらどう？」と勧める表現。

区別 **give ~ a try ⇔ try to do**　give ~ a try は「（試しに）やってみる」で try ~ing に近い。try to do は「～しようと努力する（できるか分からない）」。見分け方：結果を見るために試すなら give ~ a try / try ~ing、努力なら try to do。

0361 ☐☐☐

It's raining hard. Could you give me a ＿＿＿＿ to the station?

① drive　② run
③ riding　④ ride

④ give A a ride　A を車に乗せる

訳 雨が激しく降っています。駅まで車に乗せてもらえませんか。

解説 give A a ride「A を車に乗せる」。drive は動詞・名詞があるが give me a drive とは言わない。run は「走ること」で意味が合わない。riding は a の後ろに置く名詞の形ではない。英では give me a lift。

注意 ＝ give A a lift（イギリス英語）/ drive A to ~。会話の Can you give me a ride? が頻出。

0362 ☐☐☐

Many small shops went ＿＿＿＿ of business after the big shopping mall opened.

① off　② away
③ out　④ down

③ go out of business　倒産する；廃業する

訳 大きなショッピングモールができた後、多くの小さな店が廃業した。

解説 go out of business「倒産する・廃業する」。out of ~ で「～していない状態」を表す。off / away / down は of business と組まない。go down だけなら「沈む・下がる」で、of business と続かない。

注意 ＝ go bankrupt / close down。on business（仕事で）と区別。

0363 □□□

Can I have a word _____ you after class? It's about your report.

① with ② to
③ for ④ at

① have a word with ~ ～とちょっと話をする

訳 授業の後、少し話せるかな？ 君のレポートのことなんだ。

解説 have a word with ~「～とちょっと話をする」。話す相手は with。to / for / at は have a word と組んで相手を表さない。先生が生徒を呼び止める場面などで使う会話表現。

区別 **have a word with ~ ⇔ have words with ~** a word（単数）は「ちょっとした話」、words（複数・冠詞なし）は「言い争い・口論」。見分け方：a が付いていれば話、なければ口論。in a word（一言で言えば）も単数。

0364 □□□

Please leave me _____. I want to be by myself for a while.

① lonely ② only
③ single ④ alone

④ leave ~ alone ～をそっとしておく；～に構わない

訳 そっとしておいてください。しばらく一人でいたいんです。

解説 leave ~ alone「～をそっとしておく」。leave A＋形容詞の型で、alone は「ひとりで（構われずに）」の状態。lonely は「寂しい」という気持ちで意味が合わない。only / single は leave A の補語として使わない。

区別 **leave ~ alone ⇔ let alone ~** leave ~ alone は「～を放っておく」、let alone ~ は否定文の後ろで「～は言うまでもなく（まして～ない）」。見分け方：let alone の前には否定の内容があり、後ろは比べる物。

0365 □□□

A: This box is so heavy. B: Let me _____ you a hand.

① borrow ② take
③ lend ④ make

③ lend A a hand A に手を貸す

訳 A：この箱、すごく重い。 B：手を貸すよ。

解説 lend A a hand「A に手を貸す」。手伝う側の発言なので lend。borrow は「借りる」で borrow you a hand とは言わない。take / make は a hand と組んでこの意味にならない。give you a hand も同じ意味。

区別 **lend A a hand ⇔ borrow ~** lend は「貸す」で lend A B（A に B を貸す）、borrow は「借りる」で borrow B from A。lend A a hand は「手を貸す」なので lend。見分け方：主語が与える側なら lend、受け取る側なら borrow。

0366 □□□

After moving to Tokyo, I lost touch _____ most of my high school friends.

① to ② with
③ from ④ of

② lose touch with ~ ～と連絡が途絶える；～に疎くなる

訳 東京に引っ越してから、高校時代の友達のほとんどと連絡が途絶えた。

解説 lose touch with ~「～と連絡が途絶える」。相手は with で示す。to / from / of は touch と組んで相手を表さない。keep in touch with / get in touch with も同じ with。

区別 **lose touch with ~ ⇔ keep in touch with ~** lose touch with は「連絡が途絶える」、keep in touch with は「連絡を取り合い続ける」で正反対。lose の後ろは touch だけ、keep / get の後ろは in touch と in が入る点に注意。

0367 ☐☐☐

My father makes a habit ＿＿＿＿ jogging in the park every morning.

① of ② to
③ for ④ in

① make a habit of ~ing ～するのを習慣にする

訳 父は毎朝公園でジョギングするのを習慣にしている。

解説 make a habit of ~ing「～するのを習慣にする」。habit の中身は of＋動名詞で示す。to は不定詞なら to jog だが、ここは jogging なので不可。for / in も habit と組まない。

区別 **make a habit of ~ing ⇔ make it a rule to do** 意味は同じ「～することにしている」だが形が違う。make a habit of＋~ing、make it a rule＋to do。見分け方：habit なら of ~ing、rule なら it と to do。

0368 ☐☐☐

He never fails ＿＿＿＿ his mother on her birthday.

① calling ② call
③ called ④ to call

④ never fail to do 必ず～する

訳 彼は母親の誕生日に必ず電話をかける。

解説 never fail to do「必ず～する」で、fail の後ろは to 不定詞 to call。calling / call / called は fail の後ろの形として誤り。never ~ without ...ing と混同して ~ing を選ぶ誤りが狙われる。

区別 **never fail to do ⇔ never ~ without ...ing** never fail to do は 1 つの行為を「必ずする」、never A without B-ing は「A するときは必ず B する」で 2 つの行為の結び付き。fail の後ろは to do、without の後ろは ~ing。

0369 ☐☐☐

On April Fool's Day, the children played a trick ＿＿＿＿ their teacher.

① on ② to
③ with ④ for

① play a trick on ~ ～にいたずらをする；～をだます

訳 エイプリルフールに、子どもたちは先生にいたずらをした。

解説 play a trick on ~「～にいたずらをする」。いたずらが相手に降りかかるイメージで on。to / for は相手を表しそうに見えるが trick とは組まない。with だと「一緒に」になり意味が合わない。

区別 **play a trick on ~ ⇔ make fun of ~** play a trick on は「（行動で）いたずらをしてだます」、make fun of は「（言葉や態度で）からかう・ばかにする」。前置詞も on と of で違う。見分け方：仕掛けやだましなら trick、悪口・笑いなら fun。

0370 ☐☐☐

Driving too fast puts other people's lives ＿＿＿＿ risk.

① in ② on
③ at ④ under

③ put ~ at risk ～を危険にさらす

訳 スピードを出し過ぎると、ほかの人の命を危険にさらす。

解説 put ~ at risk「～を危険にさらす」。risk と組む前置詞は at。in を使うのは in danger。on / under も risk と組まない。主語は動名詞句 Driving too fast で、三単現の puts になっている。

区別 **put ~ at risk ⇔ put ~ in danger** 意味は同じ「危険にさらす」だが前置詞が違う。risk は at（at risk）、danger は in（in danger）。見分け方：risk なら at、danger なら in。take a risk（自分で危険を冒す）とも区別。

0371 ☐☐☐

Parents shouldn't put too much pressure _____ their children to get good grades.

① to　② on
③ for　④ at

② put pressure on ~　～に圧力をかける

訳 親は、よい成績を取るよう子どもに過度のプレッシャーをかけるべきではない。

解説 put pressure on ~「～に圧力をかける」。上から押し付けるイメージで on。to / for / at は pressure と組んで相手を表さない。put pressure on A to do（A に～するよう圧力をかける）の形も確認。

区別 **put pressure on ~ ⇔ be under pressure** put pressure on は「（相手に）圧力をかける」で主語がかける側、be under pressure は「圧力を受けている」で主語が受ける側。前置詞も on と under で違う。

0372 ☐☐☐

Her family has _____ a small hotel in Kyoto for over a hundred years.

① ran　② running
③ run　④ runs

③ run a business　事業を経営する

訳 彼女の家族は 100 年以上、京都で小さな旅館を経営している。

解説 run a business / hotel「経営する」を現在完了にした形。has の後ろは過去分詞で、run の過去分詞は run（run-ran-run）。ran は過去形、running / runs は has の後ろに置けない。for over a hundred years で継続を表す。

注意 run a hotel / run a restaurant など。run の「経営する」の意味が語彙問題で狙われる。＝ manage。

0373 ☐☐☐

Parents should set a good example _____ their children.

① to　② at
③ in　④ with

① set an example (to ~)　（～に）手本を示す

訳 親は子どもによい手本を示すべきだ。

解説 set an example to ~「～に手本を示す」。示す相手は to（for も可だが選択肢にない）。at / in / with は example と組んで相手を表さない。follow one's example（手本に従う）とは主語の立場が逆。

区別 **set an example (to ~) ⇔ follow one's example** set an example は「手本を示す」で主語が手本になる側、follow one's example は「～の手本に従う・見習う」で主語がまねる側。動詞（set / follow）で立場が逆になる。

0374 ☐☐☐

Excuse me, could you take a picture _____ us in front of the castle?

① at　② of
③ to　④ on

② take a picture (of ~)　（～の）写真を撮る

訳 すみません、お城の前で私たちの写真を撮っていただけますか。

解説 take a picture of ~「～の写真を撮る」。写る対象（us）は of で示す。at / to / on は picture と組んで写る対象を表さない。in front of the castle は撮る場所。

区別 **take a picture (of ~) ⇔ draw a picture** picture は「写真」にも「絵」にもなる。take a picture は「写真を撮る」、draw / paint a picture は「絵を描く」（draw は線で、paint は絵の具で）。動詞で写真か絵かが決まる。

0375 ☐☐☐

She took great ＿＿＿＿ to make the party a success.

① pain　② painful
③ a pain　④ pains

④ take pains (to do)　（～しようと）骨を折る；苦労する

訳 彼女はパーティーを成功させるために大変な苦労をした。

解説 take pains to do「～しようと骨を折る」。「苦労」の意味の pains は複数形。pain / a pain は「痛み・悩みの種」になり、この熟語の形ではない。painful は形容詞で take の目的語にならない。

区別 **take pains (to do) ⇔ take the trouble to do**　どちらも「労を惜しまず～する」だが、take pains は「念入りに・苦心して」、take the trouble は「（面倒なのに）わざわざ」の響き。形は pains が複数形、trouble は the が付く単数形。

0376 ☐☐☐

I haven't seen Mike for years. What has ＿＿＿＿ of him?

① happened　② come
③ become　④ done

③ What has become of ~?　～はどうなったか

訳 マイクにはもう何年も会っていない。彼はどうしているのだろう。

解説 What has become of ~?「～はどうなったか」。of と組むのは become。happened は What has happened to him? のように to と組む。come / done は of him と続けてこの意味にならない。

区別 **What has become of ~? ⇔ What happened to ~?**　意味は同じ「～はどうなったか」だが前置詞が違う。become of、happen to。見分け方：become なら of、happen なら to。become of は主語が what に限られる。

0377 ☐☐☐

Teachers need to adapt their teaching methods ＿＿＿＿ the needs of each student.

① with　② to
③ on　④ at

② adapt A to B　A を B に適応させる；A を B に合わせる

訳 教師は生徒一人一人のニーズに合わせて教え方を変える必要がある。

解説 adapt A to B「A を B に合わせる」。合わせる相手（each student's needs）は to で示す。with / on / at は adapt と組まない。用途の「～用に改作する」なら for を使う。

区別 **adapt A to B ⇔ adapt A for B**　adapt A to B は「A を B（状況・条件）に合わせる」、adapt A for B は「A を B（目的・媒体）用に作り変える」。見分け方：合わせる相手（環境・ニーズ）なら to、用途（映画・子供向け）なら for。

0378 ☐☐☐

He quickly adapted ＿＿＿＿ to the new environment at his new school.

① him　② his
③ he　④ himself

④ adapt oneself to ~　～に順応する

訳 彼は新しい学校の新しい環境にすぐに慣れた。

解説 adapt oneself to ~「～に適応する」。主語 He と同じ人を目的語にするので再帰代名詞 himself。him だと主語とは別の人を指す。his / he は目的語の形ではない。adapted to ~ と目的語を省いても同じ意味。

区別 **adapt oneself to ~ ⇔ adopt ~**　adapt oneself to は「～に適応する」、adopt は「（方法を）採用する・養子にする」で、oneself も to もとらない。綴りが 1 字違いなので、後ろに oneself to があれば adapt。

0379 □□□

I agree ＿＿＿＿ you, but we haven't agreed ＿＿＿＿ the details of the plan yet.

① with / on　② on / with
③ to / for　④ for / to

① agree on ~

（話し合って）～について意見が一致する；～を取り決める

訳 あなたの意見には賛成ですが、計画の細かい点についてはまだ意見がまとまっていません。

解説 前半は人（you）と同じ考えなので agree with、後半は計画の細部という議題について合意するので agree on。on / with と逆にすると × agree on you となる。to / for や for / to も、人に対して agree to / for とは言わない。

区別 **agree on ~ ⇔ agree with ~** agree with は「人・意見と同じ考えだ」、agree on は「（複数の人が）議題について合意に至る」。見分け方：with の後ろは人・意見、on の後ろは決める内容（date / price / plan）。

0380 □□□

Please attach a recent photo ＿＿＿＿ your application form.

① to　② on
③ with　④ in

① attach A to B　A を B に取り付ける；A を B に添付する

訳 申込書に最近撮った写真を貼ってください。

解説 attach A to B「A を B に添付する」。くっ付ける先は to。日本語の「～に貼る」に引かれて on を選ぶのが典型的な誤り。with / in も attach と組まない。

区別 **attach A to B ⇔ be attached to ~** attach A to B は「物を取り付ける・添付する」、be attached to＋人・物は「～に愛着を持っている」の意味にもなる（She is very attached to her dog.）。見分け方：主語が人で感情の文脈なら愛着。

0381 □□□

I couldn't bring ＿＿＿＿ to tell my best friend the sad news.

① me　② myself
③ mine　④ I

② bring oneself to do

～する気になる（否定文で：どうしても～する気になれない）

訳 親友にその悲しい知らせを、どうしても伝える気になれなかった。

解説 bring oneself to do で「～する気になる」。主語が I なので再帰代名詞 myself にする。主語と目的語が同じ人なので me は不可。mine は所有代名詞、I は主格で目的語の位置に置けない。couldn't と組んで「どうしても～する気になれなかった」。

区別 **bring oneself to do ⇔ make oneself do** bring oneself to do は「気持ちを～へ持っていく」で否定文が中心、後ろは to do。make oneself do は「無理に自分に～させる」で、後ろは原形。見分け方：bring なら to、make なら原形。

0382 ☐☐☐

New facts about the accident have come ＿＿＿＿ light.

① into　② to
③ in　④ on

② come to light 明るみに出る

訳 その事故について新たな事実が明らかになった。

解説 come to light「明るみに出る」。光の当たる所へ到達するイメージで to。into / in / on は light と組んでこの熟語にならない。bring ~ to light（明るみに出す）も同じ to。

区別 **come to light ⇔ bring ~ to light** come to light は「（事実が）明るみに出る」で目的語なし、bring ~ to light は「（人・調査が）～を明るみに出す」で目的語あり。come to an end / bring ~ to an end と同じ自動・他動の対。

0383 ☐☐☐

Hard work can compensate ＿＿＿＿ a lack of natural talent.

① with　② to
③ for　④ on

③ compensate for ~ ～を埋め合わせる；～を補う

訳 努力は生まれつきの才能の不足を補うことができる。

解説 compensate for ~「～を埋め合わせる」。不足（a lack of talent）の代わりを差し出すイメージで for。with / to / on は compensate と組まない。make up for ~ と言い換えられる。

区別 **compensate for ~ ⇔ make up for ~** 意味は同じ「埋め合わせる」。make up for は口語的、compensate for は改まった語で、補償金の文脈でも使う。どちらも for を伴う点が共通。言い換え問題で頻出。

0384 ☐☐☐

Students are expected to conform ＿＿＿＿ the school rules.

① for　② on
③ at　④ to

④ conform to ~
（規則・習慣など）に従う；～に合わせる

訳 生徒は校則に従うことが求められている。

解説 conform to ~「～に従う」。形を合わせる先は到達の to。for / on / at は conform と組まない。comply なら with、obey なら前置詞なし、と動詞ごとに前置詞を覚える。

区別 **conform to ~ ⇔ comply with ~** どちらも「従う」だが前置詞が違う。conform to は「基準・慣習・周りに合わせる」、comply with は「要求・命令・規則に応じる」。見分け方：conform なら to、comply なら with。

0385 ☐☐☐

Water consists ＿＿＿＿ hydrogen and oxygen, while true happiness consists ＿＿＿＿ being content with what you have.

① in / of　② of / in
③ with / to　④ on / for

② consist in ~ ～にある；～に存する

訳 水は水素と酸素からできているが、本当の幸せは今持っているもので満足することにある。

解説 前半は水の構成要素なので consist of（～から成る）、後半は幸福の本質なので consist in（～にある）。in / of と逆にすると意味が入れ替わる。with / to や on / for は consist と組まない。

区別 **consist in ~ ⇔ consist of ~** consist of は「～から成り立つ」（材料・構成要素）、consist in は「～にある」（本質・核心）。見分け方：中身を並べる（members / parts）なら of、何が大事かを言うなら in（＝ lie in）。

0386 □□□

There is no English word that exactly corresponds ＿＿＿ the Japanese word 'mottainai'.

① to　② at
③ for　④ in

① correspond to ~　~に相当する；~と一致する

訳 日本語の「もったいない」にぴったり当てはまる英単語はない。

解説 correspond to ~「~に相当する」。単語と単語が対応する関係なので to。at / for / in は correspond と組まない。人と手紙をやりとりする意味なら correspond with を使う。

区別 **correspond to ~ ⇔ correspond with ~**　correspond to は「~に相当する・対応する」、correspond with は「~と文通する（手紙のやりとり）」。見分け方：人とのやりとりなら with、物と物の対応なら to。

0387 □□□

It is against the law to discriminate ＿＿＿ people because of their race.

① to　② with
③ on　④ against

④ discriminate against ~　~を差別する

訳 人種を理由に人を差別するのは法律に反する。

解説 discriminate against ~「~を差別する」。不利な扱いを表す against。to / with / on は discriminate と組んで差別の対象を表さない。between を使うと「区別する」で、A and B の 2 つが必要。

区別 **discriminate against ~ ⇔ discriminate between A and B**　against は「~に不利になるように＝差別する」、between A and B は「A と B を区別する・識別する」で中立の意味。見分け方：against なら差別、between なら区別。

0388 □□□

She studied very hard and ＿＿＿ well in the final exam.

① made　② got
③ did　④ took

③ do well (in ~)　（~で）うまくいく；好成績をとる

訳 彼女は一生懸命勉強して、期末試験でよい成績を取った。

解説 do well in ~「~で好成績をとる」。試験をうまくこなすのは do。made / got / took は well と組んで「うまくいく」の意味にならない。studied と時制をそろえて過去形 did。

区別 **do well (in ~) ⇔ be doing well**　do well in ~ は「（試験・仕事で）好成績をとる・成功する」、進行形の be doing well は「（人が）元気だ・（事業が）順調だ」と今の様子を表す。見分け方：in ~ で分野が示されていれば成績・成果、進行形で単独なら近況。

0389 □□□

Because of the long recession, the company ＿＿＿ bankrupt and all the workers lost their jobs.

① went　② became to
③ came　④ got to

① go bankrupt　破産する；倒産する

訳 長引く不況のため、その会社は倒産し、従業員は全員仕事を失った。

解説 go bankrupt で「倒産する」。go ＋形容詞は悪い状態への変化を表す。came は come true のように良い状態への変化に使い、bankrupt とは組まない。became to / got to は後ろに形容詞を置けない（became bankrupt なら可）。

区別 **go bankrupt ⇔ go out of business**　意味は近いが、go out of business は「廃業する・店をたたむ」で、借金が払えなくなる破産でなくても使える。go bankrupt は「借金が払えず破産する」。形は go ＋形容詞と go ＋前置詞句。

0390 □□□

Something ＿＿＿＿ wrong with my computer, so I couldn't finish my report.

① became ② made
③ went ④ did

③ go wrong うまくいかない；故障する

訳 パソコンの調子がおかしくなったので、レポートを仕上げられなかった。

解説 go wrong「（機械が）調子が悪くなる」。悪い状態への変化は go＋形容詞。became wrong とは言わず、made / did も wrong と組んで「故障する」にならない。with ~ で問題の起きた物を示す。

区別 **go wrong ⇔ get ~ wrong** go wrong は「（物事・機械が）うまくいかなくなる」で自動詞的、get ~ wrong は「（人が）～を誤解する・間違える」で目的語が入る（Don't get me wrong.＝誤解しないで）。

0391 □□□

Our company plans to invest more ＿＿＿＿ renewable energy.

① on ② in
③ to ④ for

② invest in ~ ～に投資する；（時間・労力）をつぎ込む

訳 私たちの会社は再生可能エネルギーにもっと投資する計画だ。

解説 invest in ~「～に投資する」。お金を事業の中へ入れるイメージで in。on は spend A on B の前置詞で、invest とは組まない。to / for も不可。

区別 **invest in ~ ⇔ spend A on B** invest は「（将来の利益のために）投資する」で in、spend は「使う」で on。前置詞を取り違えやすい。見分け方：invest なら in、spend / waste なら on。

0392 □□□

It is not ＿＿＿＿ much to say that the Internet has changed our lives completely.

① so ② too
③ very ④ as

② It is not too much to say that ~ ～と言っても言い過ぎではない

訳 インターネットが私たちの生活を完全に変えたと言っても言い過ぎではない。

解説 It is not too much to say that ~ で「～と言っても言い過ぎではない」。too much（多すぎる）が否定されて「言い過ぎではない」となる。so much / very much / as much ではこの意味にならない（not so much A as B は「A というより B」で別の構文）。

区別 **It is not too much to say that ~ ⇔ It is no exaggeration to say that ~** 意味は同じで、not too much（多すぎない）と no exaggeration（誇張ではない）と否定の仕方が違う。見分け方：形の問題で、not の後ろに too much、no の後ろに名詞 exaggeration が来る。どちらも to say that が続く。

0393 □□□

It is hard for older people to keep pace ＿＿＿＿ the rapid changes in technology.

① to ② for
③ on ④ with

④ keep pace with ~ ～に遅れずについていく

訳 高齢者が技術の急速な変化についていくのは難しい。

解説 keep pace with ~「～に遅れずについていく」。歩調を合わせる相手は with。to / for / on は pace と組んで相手を表さない。keep up with ~ と言い換えられる。

区別 **keep pace with ~ ⇔ catch up with ~** keep pace with / keep up with は「（遅れずに）ついていく」状態の維持、catch up with は「（遅れていたのが）追いつく」変化。見分け方：もともと遅れているなら catch up、並んでいる状態を保つなら keep pace。

0394 □□□

After retiring, my grandfather led a quiet ＿＿＿＿ in the countryside.

① life　② living
③ live　④ lives

① lead a ~ life　～な生活を送る

訳 引退後、祖父は田舎で静かな生活を送った。

解説 lead a ~ life「～な生活を送る」。a quiet の後ろには名詞 life（生活）が必要。living は make a living（生計を立てる）で使い、lead a quiet living とは言わない。live は動詞、lives は複数形で a と合わない。

区別 **lead a ~ life ⇔ live a ~ life**　意味は同じ「～な生活を送る」。live は普通自動詞だが、a ~ life を目的語にとる（同族目的語）。lead は他動詞。どちらも形容詞を間に入れる。lead を led と過去形にする変化も問われる。

0395 □□□

I'd like to make ＿＿＿＿ with Dr. Tanaka for tomorrow afternoon.

① an appointment　② a promise
③ a reservation　④ an engagement

① make an appointment (with ~)
（～と会う）約束をする；（診察などの）予約をする

訳 明日の午後、田中先生の診察の予約を取りたいのですが。

解説 医者と会う時間の約束なので make an appointment with ~。a promise は「～すると誓う約束」、a reservation は席・部屋の予約で人とは組まない。an engagement は婚約や改まった会合の約束で、診察には使わない。

区別 **make an appointment (with ~) ⇔ make a reservation**　appointment は「人と会う約束（診察・面会）」、reservation は「席・部屋・チケットの予約」。見分け方：会う相手が人（医者・先生）なら appointment、場所・物なら reservation。promise は「～すると誓う約束」。

0396 □□□

It makes no difference ＿＿＿＿ me whether we go by bus or by train.

① with　② to
③ on　④ at

② make no difference (to ~)
（～にとって）どうでもよい；重要でない

訳 バスで行くか電車で行くかは、私にはどちらでも構わない。

解説 make no difference to ~「～にとってどうでもよい」。影響を受ける人は to で示す。with / on / at は difference と組んで「誰にとって」を表さない。whether A or B が形式主語 It の中身。

区別 **make no difference (to ~) ⇔ make a difference**　make a difference は「違いを生む・影響がある・重要だ」、make no difference は「違いがない・どうでもいい」。a と no の 1 語で正反対。make a difference in the world（世界を良くする）のように前向きにも使う。

0397 □□□

This product doesn't ＿＿＿＿ the needs of young people.

① see　② join
③ reach　④ meet

④ meet one's needs ～の必要を満たす

訳 この製品は若者のニーズを満たしていない。

解説 meet one's needs「～の必要を満たす」。要求に応じる意味の meet。see / join は needs と組まない。reach は「（数値・場所に）届く」で、needs を満たす意味にはならない。satisfy で言い換えられる。

注意 meet the demand（需要を満たす）/ meet one's expectations（期待に応える）も同じ meet。

0398 □□□

Even after the teacher answered, he persisted ＿＿＿＿ asking the same question.

① on　② to
③ in　④ at

③ persist in ～ ～に固執する；～をあくまで続ける

訳 先生が答えた後も、彼は同じ質問をしつこく続けた。

解説 persist in ~ing「～をしつこく続ける」。前置詞は in。on は insist on ~ の前置詞で、persist とは組まない。to / at も不可。後ろが動名詞 asking になっている点も確認。

区別 **persist in ~ ⇔ insist on ~** persist in は「（行動を）やめずに続ける」で in、insist on は「（意見・要求を）強く言い張る」で on。見分け方：行動を続けるなら persist in、主張するなら insist on。

0399 □□□

He works two jobs to provide ＿＿＿＿ his large family.

① for　② with
③ to　④ on

① provide for ~ ～を養う；～に備える

訳 彼は大家族を養うために 2 つの仕事をしている。

解説 provide for ~「～を養う」。目的語なしで家族を後ろに置くので for。with は provide A with B の形で、A（人）が provide の直後に必要。to / on は provide と組まない。support his family と言い換えられる。

区別 **provide for ~ ⇔ provide A with B** provide for＋人は「～を養う」、provide A with B は「A に B を与える」、provide B for A は「A のために B を用意する」。見分け方：provide の直後が人で with が続けば供給、for の直後が人で目的語がなければ「養う」。

0400 □□□

She is recognized ＿＿＿＿ one of the best pianists in the world.

① to　② for
③ as　④ like

③ recognize A as B A を B と認める；A が B だと分かる

訳 彼女は世界で最も優れたピアニストの一人として認められている。

解説 be recognized as ~「～として認められている」。She＝one of the best pianists の関係なので as。for は理由・功績を表し（recognized for her skill）、人物そのものを表す名詞の前には使わない。to / like も不可。

区別 **recognize A as B ⇔ recognize A for B** as は「A＝B（～として）」、for は「理由・功績（～のことで）」。be recognized as a great pianist（偉大なピアニストとして）、be recognized for her talent（才能で評価される）。見分け方：B が A の正体なら as、理由なら for。

0401 □□□

When he lost his job, he resorted to _____ money from his friends.

① borrow　② borrowed
③ be borrowed　④ borrowing

④ resort to ~ （最後の手段として）～に訴える；～に頼る

訳 仕事を失ったとき、彼は友達からお金を借りるという手段に頼った。

解説 resort to ~ の to は前置詞なので、後ろは動名詞 borrowing。原形 borrow を置くと to 不定詞と取り違えた誤り。borrowed / be borrowed は前置詞の後ろに置けない。仕事を失い、最後の手段として借金に頼った場面。

区別 **resort to ~ ⇔ rely on ~** rely on は「（日頃から）頼る・信頼する」、resort to は「（他に手がなくて）～という手段を使う」で否定的な響き。見分け方：最後の手段・暴力などなら resort to、信頼できる相手なら rely on。

0402 □□□

We are running short _____ time, so let's skip the last topic.

① with　② of
③ in　④ for

② run short (of ~) （～が）不足する；（～を）切らす

訳 時間が足りなくなってきたので、最後の話題は飛ばしましょう。

解説 run short of ~「～が不足する」。足りない物（time）は of で示す。with / in / for は run short と組まない。物を主語にするなら Time is running short. と of を付けない。

区別 **run short (of ~) ⇔ run out of ~** run short of は「残り少なくなる（まだ少しある）」、run out of は「すっかりなくなる・使い果たす」。物が主語なら run short / run out と of を付けない。見分け方：ゼロになったなら run out。

0403 □□□

During the long drought, many cattle starved _____ because there was no grass to eat.

① to die　② dead
③ of death　④ to death

④ starve to death 飢え死にする；餓死する

訳 長い干ばつの間、食べる草がなかったので、多くの牛が飢え死にした。

解説 starve to death で「飢え死にする」。to は結果を表す前置詞なので後ろは名詞 death。to die は不定詞になり starve と組まない。of death では原因が「死」になってしまう（die of hunger と混同した誤り）。dead は形容詞で starve の後ろに置けない。

区別 **starve to death ⇔ die of hunger** 意味はほぼ同じ「餓死する」だが形が違う。starve to death は動詞 starve ＋結果の to death、die of hunger は動詞 die ＋原因の of。見分け方：空所の前が starve / freeze なら to death、die なら of ＋原因。

0404 □□□

Many of his health problems stem _____ a lack of sleep.

① in　② to
③ with　④ from

④ stem from ~ ～から生じる；～に由来する

訳 彼の健康問題の多くは睡眠不足から生じている。

解説 stem from ~「～に起因する」。主語の problems が結果、a lack of sleep が原因なので from。in は result in（原因 result in 結果）の前置詞で、stem とは組まない。to / with も不可。

区別 **stem from ~ ⇔ result in ~** stem from は「結果 stem from 原因」、result in は「原因 result in 結果」で向きが逆。見分け方：主語が原因なら result in、主語が結果（問題・感情）なら stem from（＝result from）。

0405 □□□

I really sympathize ＿＿＿＿ you. It must be hard to be away from your family.

① for　② with
③ to　④ on

② sympathize with ~ ～に同情する；～に共感する

訳 本当にお気持ちはよく分かります。家族と離れて暮らすのはつらいでしょうね。

解説 sympathize with ~「～に同情する」。動詞の sympathize は with をとる。for は名詞 sympathy（feel sympathy for ~）で使う前置詞。to / on も sympathize と組まない。

区別 **sympathize with ~ ⇔ feel sympathy for ~** 動詞 sympathize は with、名詞 sympathy は for（feel / have sympathy for ~）。品詞で前置詞が変わる。見分け方：sympathize なら with、sympathy なら for。

0406 □□□

Don't take his words ＿＿＿＿. He was only joking.

① seriously　② serious
③ series　④ seriousness

① take ~ seriously
～を真剣に受け止める；～を本気にする

訳 彼の言葉を真に受けないで。冗談を言っただけだから。

解説 take ~ seriously「～を本気にする」。take を修飾するのは副詞 seriously。serious は形容詞で、take の後ろの補語にはならない。series は「連続」、seriousness は名詞。He was only joking. から「本気にするな」の意味。

区別 **take ~ seriously ⇔ take ~ lightly** take ~ seriously は「真剣に受け止める」、take ~ lightly は「軽く考える・甘く見る」で反対。make light of ~ も「軽視する」。どれも受け止め方を副詞などで表す。

0407 □□□

After the president retired, his son took control ＿＿＿＿ the company.

① on　② of
③ at　④ to

② take control of ~ ～を支配する；～を管理する

訳 社長が引退した後、その息子が会社の実権を握った。

解説 「～の主導権を握る」は take control of ~ で、支配の対象は of で示す。on / at / to は control と組んでこの意味にならない。be in control of ~（管理している）、lose control of ~（制御できなくなる）も同じ of を取る。

区別 **take control of ~ ⇔ be in control of ~** take control of は「支配権を握る」と変化・動作、be in control of は「支配・管理している」と状態。見分け方：after / when などで「その時から握った」なら take、今管理しているなら be in。lose control of は反対の動作。

0408 □□□

The painkiller began to ＿＿＿＿ effect about thirty minutes after I took it.

① make　② do
③ take　④ give

③ take effect （薬が）効く；（法律などが）発効する

訳 痛み止めは飲んでから 30 分ほどで効き始めた。

解説 take effect「（薬が）効く」。make / do / give は effect と組んでこの意味にならない。have an effect on ~ は「～に影響を与える」で形が違う。began to do（～し始めた）の形も確認。

区別 **take effect ⇔ have an effect on ~** take effect は「（薬・法律が）効き始める」で目的語なし、have an effect on は「～に影響を与える」で on の後ろが影響を受ける物。effect の冠詞の有無でも区別できる。

0409 ☐☐☐

The investigation finally brought the truth _____ light.

① into ② to
③ at ④ on

② bring ~ to light ～を明るみに出す

訳 その調査によって、ついに真実が明るみに出た。

解説 bring ~ to light「～を明るみに出す」。光の当たる所へ連れてくるので到達の to。into / at / on は light と組んでこの熟語にならない。自動詞的に言うなら The truth came to light.

区別 **bring ~ to light ⇔ shed light on ~** bring ~ to light は「隠れていた事実を暴く・明るみに出す」、shed light on は「（よく分からないこと）を解明する・説明の手がかりを与える」。暴露なら bring to light、解明なら shed light on。

0410 ☐☐☐

The curtains _____ fire because they were too close to the heater.

① set ② made
③ got ④ caught

④ catch fire 火がつく；燃え出す

訳 カーテンがストーブに近過ぎたので、火がついた。

解説 catch fire「燃え出す」の過去形 caught。主語のカーテンが燃えたので catch fire。set fire は set fire to ~ の形で「（人が）火をつける」で、to の後ろに燃やす物が必要。made / got は fire と組んでこの意味にならない。

区別 **catch fire ⇔ set fire to ~** catch fire は「（物が）燃え出す」で主語が燃える物、set fire to は「（人が）～に火をつける」で燃やされる物が to の後ろ。見分け方：主語が燃えるなら catch fire、主語が火をつけるなら set fire to。

0411 ☐☐☐

Hurry up and get ready _____ school, or you'll miss the bus!

① to ② with
③ for ④ at

③ get ready (for ~) （～の）準備をする

訳 急いで学校へ行く支度をしなさい。でないとバスに乗り遅れるよ！

解説 get ready for ~「～の準備をする」。後ろが名詞 school なので for。to は get ready to do の形で後ろに動詞の原形が必要（to go to school なら可）。with / at は ready と組まない。

区別 **get ready (for ~) ⇔ be ready for ~** get ready は「準備をする（動作）」、be ready は「準備ができている（状態）」。見分け方：Hurry up and ~ のように行動を促すなら get ready、もう整っているなら be ready。

0412 ☐☐☐

A: So you mean we should start the project earlier? B: Exactly. You've _____ the point.

① got ② done
③ given ④ put

① get the point 要点を理解する

訳 A：つまり、プロジェクトをもっと早く始めるべきだということ？ B：その通り。要点が分かったね。

解説 get the point「要点をつかむ」。A が B の言いたいことを正しく理解したので You've got the point. done / given / put は the point と組んで「理解する」の意味にならない。

区別 **get the point ⇔ miss the point** get the point は「要点をつかむ」、miss the point は「要点を外す・肝心なところが分かっていない」で反対。You're missing the point.（論点がずれている）は会話で頻出。

0413 □□□

I have complete confidence ＿＿＿ my doctor.

① on ② to
③ at ④ in

④ have confidence in ~
～を信頼している；～に自信がある

訳 私は自分の主治医を全面的に信頼している。

解説 have confidence in ~「～を信頼している」。信頼の対象は in で示す（believe in と同じ）。on / to / at は confidence と組まない。形容詞なら be confident of / about ~。

区別 **have confidence in ~ ⇔ be confident of ~** 名詞 confidence は in（have confidence in ~）、形容詞 confident は of / about（be confident of success）や that 節をとる。品詞で前置詞が変わる。見分け方：confidence なら in、confident なら of / about。

0414 □□□

Even when the customer shouted at him, he managed to ＿＿＿ his temper.

① keep ② lose
③ break ④ take

① keep one's temper 腹を立てずにいる；平静を保つ

訳 客に怒鳴られても、彼は何とか冷静さを保った。

解説 keep one's temper「怒りを抑える」。Even when ~（～したときでさえ）、managed to（何とか～できた）の流れから、平静を保った意味。lose one's temper は「かっとなる」で逆。break / take は temper と組まない。

区別 **keep one's temper ⇔ lose one's temper** keep one's temper は「怒りを抑える」、lose one's temper は「かっとなる」で正反対。temper は「平静な気分」の意味で、それを保つ（keep）か失う（lose）か。

0415 □□□

We ＿＿＿ our way in the thick fog and had to call for help.

① got ② went
③ lost ④ took

③ lose one's way 道に迷う

訳 私たちは濃い霧の中で道に迷い、助けを呼ばなければならなかった。

解説 lose one's way「道に迷う」の過去形 lost。got は get lost の形なら使えるが、our way を目的語にとらない。went / took は our way と組んで「迷う」の意味にならない。had to call for help の流れにも合う。

区別 **lose one's way ⇔ get lost** 意味は同じ「道に迷う」だが形が違う。lose one's way は lose（他動詞）＋ one's way、get lost は get ＋過去分詞。get を lose に、lost を way に入れ替えた混合（× get one's way lost）に注意。

0416 □□□

I was so absorbed in the novel that I lost track ＿＿＿ time.

① with ② of
③ in ④ for

② lose track of ~ ～を見失う；～が分からなくなる

訳 その小説に夢中になっていて、時間がたつのを忘れていた。

解説 lose track of ~「～が分からなくなる」。lose track of time で「時間を忘れる」。with / in / for は track と組まない。so ~ that ...（とても～なので...）の構文も確認。

区別 **lose track of ~ ⇔ keep track of ~** lose track of は「分からなくなる・見失う」、keep track of は「把握し続ける」で正反対。前置詞はどちらも of。lose track of time は「夢中で時間を忘れる」という意味で頻出。

0417 □□□

Thanks to the new product, the company made a large ＿＿＿＿ last year.

① benefit　② interest
③ use　④ profit

④ make a profit 利益を上げる

訳 新製品のおかげで、その会社は昨年大きな利益を上げた。

解説 make a profit「利益を上げる」。会社の金銭上のもうけなので profit。benefit は「恩恵・利点」で make a benefit とは言わない。interest は「利子・興味」、use は「使用」で、make と組んでもうけの意味にならない。

区別 **make a profit ⇔ benefit** profit は「金銭上の利益・もうけ」、benefit は「恩恵・利点・得」で、お金以外にも使う（the benefits of exercise）。見分け方：売上から出たもうけなら profit、良い影響なら benefit。

0418 □□□

You shouldn't make light ＿＿＿＿ your illness. Please see a doctor.

① on　② to
③ of　④ for

③ make light of ~ ～を軽く見る；～を軽視する

訳 病気を軽く見てはいけません。医者に診てもらってください。

解説 make light of ~「～を軽視する」。make A of B の型で of。on は shed light on ~（解明する）で使う前置詞。to / for は make light と組まない。make much of ~（重視する）も同じ of。

区別 **make light of ~ ⇔ shed light on ~** make light of の light は「軽い」（形容詞）で「軽視する」、shed light on の light は「光」（名詞）で「解明する」。同じ light でも意味が違い、前置詞も of と on で違う。

0419 □□□

I stayed up all night to ＿＿＿＿ the deadline for my report.

① meet　② catch
③ follow　④ arrive

① meet the deadline 締め切りに間に合わせる

訳 レポートの締め切りに間に合わせるため、徹夜した。

解説 meet the deadline「締め切りに間に合う」。期限を満たす意味の meet。catch は電車などに「間に合う」で deadline とは組まない。follow は「従う」、arrive は自動詞で目的語をとらない。

区別 **meet the deadline ⇔ miss the deadline** meet the deadline は「締め切りに間に合う」、miss the deadline は「締め切りを過ぎる」。miss は「逃す」で、miss the train（電車に乗り遅れる）と同じ発想。

0420 □□□

Don't put the blame ＿＿＿＿ others when things go wrong.

① to　② on
③ for　④ with

② put the blame on ~ ～のせいにする

訳 物事がうまくいかないときに、他人のせいにしてはいけない。

解説 put the blame on ~「～のせいにする」。責めを人の上に負わせるイメージで on。to / with は blame と組まない。for は blame A for B の形で、後ろは失敗・出来事。

区別 **put the blame on ~ ⇔ blame A for B** put the blame on＋人は「人に責めを負わせる」、blame A for B は「B のことで A を責める」。blame B on A なら on の後ろが人。見分け方：on の後ろは責められる人、for の後ろは失敗・出来事。

0421 □□□

I'm going to take a day ＿＿＿＿ next Friday to see a doctor.

① out　② away
③ rest　④ off

④ take a day off 1日休みを取る

訳 医者に行くために、来週の金曜日に1日休みを取るつもりだ。

解説 take a day off「1日休みをとる」。off は「仕事から離れて」。out / away は day と組んで休暇の意味にならない。rest は名詞で、a day rest とは言わない。

区別 **take a day off ⇔ take a break** take a day off は「（仕事・学校を）1日休む」、take a break は「（作業の途中で）ひと休みする」。休む長さが違う。見分け方：日単位で休むなら day off、数分・数十分なら break。

0422 □□□

Recently, my brother has taken an interest ＿＿＿＿ Japanese history.

① on　② to
③ in　④ for

③ take an interest in ～ ～に興味を持つ

訳 最近、弟は日本の歴史に興味を持つようになった。

解説 take an interest in ～「～に興味を持つ」。興味の対象は in で示す。on / to / for は interest と組んで対象を表さない。be interested in / lose interest in も同じ in。

区別 **take an interest in ～ ⇔ be interested in ～** take an interest in は「興味を持つ（ようになる）」、be interested in は「興味を持っている」状態。どちらも in。名詞 interest には an が付く点に注意。

0423 □□□

You should ＿＿＿＿ this medicine after every meal.

① drink　② take
③ eat　④ make

② take medicine 薬を飲む

訳 この薬は毎食後に飲んでください。

解説 take medicine「薬を飲む」。薬は take を使う。drink は飲み物に使い、薬には使わないのが普通。eat は食べ物、make は「作る」で意味が合わない。日本語の「飲む」に引かれないこと。

区別 **take medicine ⇔ drink ～** drink は「（飲み物を）飲む」で、水・お茶・お酒に使う。薬は液体でも take。soup も drink ではなく eat を使うことが多い（皿から飲む場合）。日本語の「飲む」に引かれた誤りが狙われる。

0424 □□□

Please take note ＿＿＿＿ the following points before you begin the test.

① of　② to
③ on　④ at

① take note of ～ ～に注意を払う；～を書きとめる

訳 テストを始める前に、次の点に注意してください。

解説 take note of ～「～に注意する・心に留める」。対象は of で示す。to / on / at は note と組んで注意の対象を表さない。take notice of ～ も同じ of。

区別 **take note of ～ ⇔ take notes** take note of ～ は「～に注意を払う・心に留める」で単数・冠詞なし、take notes は「（講義などの）メモをとる」で複数形。見分け方：of が続けば注意、単独で授業の話ならメモ。

0425 □□□

Please adjust the volume ＿＿＿＿ a comfortable level.

① to　② for
③ with　④ in

① adjust A to B　A を B に合わせる；A を B に調節する

訳 音量を聞きやすい大きさに調整してください。

解説 adjust A to B「A を B に合わせる」。合わせる先（a comfortable level）は到達の to。for / with / in は adjust と組んで基準を表さない。adapt A to B と同じ to。

区別 **adjust A to B ⇔ adjust to ~**　他動詞 adjust A to B は「A を B に合わせる」で調整する物 A が入る、自動詞 adjust to ~ は「~に慣れる」で主語自身が順応する。見分け方：adjust の直後に名詞（目的語）があるか。

0426 □□□

We should allow ＿＿＿＿ delays when planning a trip in winter.

① to　② of
③ with　④ for

④ allow for ~　~を考慮に入れる；~を見込んでおく

訳 冬に旅行の計画を立てるときは、遅れが出ることを考えに入れておくべきだ。

解説 allow for ~「~を見込んでおく」。遅れのための余地を与えるイメージで for。to は allow A to do（許可）の形で使い、後ろに人と動詞が必要。of / with は allow と組まない。

区別 **allow for ~ ⇔ allow A to do**　allow for は「~を見込んでおく・考慮する」、allow A to do は「A が~するのを許す」。見分け方：allow の直後が for なら考慮、人が来て to do が続けば許可。

0427 □□□

I've arranged ＿＿＿＿ a taxi to pick us up at the airport.

① with　② for
③ about　④ to

② arrange for ~　~の手はずを整える；~を手配する

訳 空港で私たちを迎えてくれるタクシーを手配した。

解説 arrange for A to do で「A が~するよう手配する」。a taxi が to pick us up の意味上の主語なので for が必要。arrange with は「（人）と打ち合わせる」、arrange to do は自分が~する予定を立てる形で、後ろに名詞は来ない。about はこの形を作らない。

区別 **arrange for ~ ⇔ arrange ~**　for を付けない arrange A は「A を並べる・整える」（arrange the flowers）。arrange for A は「A を手配する」。見分け方：手配・準備の話なら for が必要。

0428 □□□

He was banned ＿＿＿＿ driving for a year after the accident.

① to　② from
③ of　④ for

② ban A from ~ing　A が~するのを禁止する

訳 彼はその事故の後、1 年間運転を禁止された。

解説 be banned from ~ing「~するのを禁止される」。from は分離を表し、後ろは動名詞 driving。to は不定詞なら to drive だが ban は to do をとらない。of / for も不可。

区別 **ban A from ~ing ⇔ forbid A to do**　ban / prohibit は from ~ing の形だけ、forbid は to do も from ~ing もとれる。見分け方：to do が続いていたら forbid。ban は法律・規則による公的な禁止に多い。

0429 ☐☐☐

She _____ her promise to call me back, so I'm a little upset.

① lost ② cut
③ broke ④ missed

③ break one's promise 約束を破る

訳 彼女は折り返し電話するという約束を破ったので、私は少し腹を立てている。

解説 break one's promise「約束を破る」の過去形 broke。lost / cut / missed は promise と組んで「破る」の意味にならない。I'm a little upset（少し腹が立つ）という気持ちとも合う。

区別 **break one's promise ⇔ keep one's promise** break は「破る」、keep は「守る」で反対。どちらも promise / word を目的語にとる。break the rules（規則を破る）・keep the rules（規則を守る）も同じ対。

0430 ☐☐☐

The accident brought home _____ me how dangerous driving can be.

① for ② to
③ at ④ on

② bring A home to B A（物事）を B（人）に痛感させる

訳 その事故で、運転がどれほど危険になりうるかを痛感した。

解説 bring A home to B で「A を B に痛感させる」。A の how 節が長いので bring home to B A の語順になっている。分からせる相手は to で示すので to me。for / at / on は bring home の後ろで人を示せない。

区別 **bring A home to B ⇔ come home to ~** bring A home to B は「（出来事が）A を B に痛感させる」と他動詞の形。come home to B は「（事実が）B に痛切に感じられる」と、分かる内容が主語の自動詞の形。見分け方：主語が原因の出来事なら bring、主語が分かった事実なら come。

0431 ☐☐☐

A red dress in the shop window caught _____ eye.

① me ② my
③ I ④ mine

② catch one's eye ～の目にとまる；～の注意を引く

訳 店のショーウィンドーの赤いドレスが私の目に留まった。

解説 catch one's eye「～の目にとまる」。eye の前には所有格が必要なので my。me は目的格、I は主格、mine は所有代名詞で、名詞 eye の前に置けない。主語は目を引く物（a red dress）。

区別 **catch one's eye ⇔ catch sight of ~** catch one's eye は「（物が）人の目を引く」で主語が見られる物、catch sight of は「（人が）～を見つける」で主語が見る人。見分け方：主語が見る側なら catch sight of。

0432 □□□

It took her years to come to terms _____ her father's death.

① to ② on
③ with ④ for

③ come to terms with ~
（つらいこと）を受け入れる；～と折り合う

訳 彼女が父親の死を受け入れられるようになるまで何年もかかった。

解説 come to terms with ~「～を受け入れる」。折り合いをつける相手（事実）は with で示す。to / on / for は terms と組んでこの意味にならない。It took ~ years to do（～するのに何年もかかった）の形も確認。

区別 **come to terms with ~ ⇔ be on good terms with ~** come to terms with は「（事実を）受け入れる・（相手と）合意する」、be on good terms with は「～と仲が良い」。どちらも terms が複数形。見分け方：come to なら受け入れ・合意、be on なら関係。

0433 □□□

The minister refused to comment _____ the issue.

① on ② to
③ for ④ at

① comment on ~ ～について意見を述べる

訳 大臣はその問題についてのコメントを拒んだ。

解説 comment on ~「～について意見を述べる」。テーマの on。to / for / at は comment と組んで話題を表さない。discuss / mention なら前置詞なしで the issue を続ける。

区別 **comment on ~ ⇔ mention ~** comment は自動詞で on が必要（comment on the plan）、mention / discuss は他動詞で前置詞なし（mention the plan）。見分け方：comment / remark なら on、mention / discuss なら直接目的語。

0434 □□□

Ten teams from all over the country are competing _____ the championship.

① with ② against
③ to ④ for

④ compete for ~ ～を求めて競う；～を争う

訳 全国から集まった 10 チームが優勝を争っている。

解説 compete for ~「～を求めて競う」。優勝（the championship）は勝ち取りたい物なので for。with / against は競争相手の前に置く。to は compete と組まない。

区別 **compete for ~ ⇔ compete with ~** for は「勝ち取りたい物」、with / against は「競争相手」、in は「大会・競技」。見分け方：後ろが賞・地位なら for、人・会社なら with、大会なら in。

0435 □□□

You should concentrate your efforts _____ one goal at a time.

① in ② at
③ on ④ to

③ concentrate A on B A を B に集中させる

訳 一度に一つの目標に努力を集中すべきだ。

解説 concentrate A on B「A を B に集中させる」。意識を対象の上に置くイメージで on。in / at / to は concentrate と組まない。自動詞の concentrate on ~ も同じ on。

区別 **concentrate A on B ⇔ focus A on B** 同じ意味・同じ on で、言い換えに出る。concentrate は「一点に集める」、focus は「焦点を合わせる」。どちらも自動詞（concentrate on / focus on）でも使え、in / at を選ばせる問題が多い。

0436 □□□

In the essay, the writer contrasts city life _____ country life.

① from ② for
③ at ④ with

④ contrast A with B　A を B と対比する

訳 その随筆で、筆者は都会の生活と田舎の生活を対比している。

解説 contrast A with B「A を B と対比する」。2 つを並べる with。from は distinguish A from B（区別する）で使う前置詞。for / at は contrast と組まない。

区別 **contrast A with B ⇔ compare A with B**　compare A with B は「A と B を比べる（似ている点も違う点も）」、contrast A with B は「A と B の違いを際立たせる」。compare A to B は「A を B に例える」になる点にも注意。

0437 □□□

She contributed a large sum of money _____ the children's hospital.

① to ② for
③ with ④ at

① contribute A to B
A を B に寄付する；A を B に提供する

訳 彼女は子ども病院に多額のお金を寄付した。

解説 contribute A to B「A を B に寄付する」。差し出す先は到達の to。日本語の「～のために」に引かれて for を選ぶのが典型的な誤り。with / at も contribute と組まない。

区別 **contribute A to B ⇔ contribute to ~（自動詞）**　他動詞 contribute A to B は「A を B に寄付・提供する」、自動詞 contribute to ~ は「～に貢献する・～の一因となる」。後者は Smoking contributes to cancer. のように悪い結果にも使う。

0438 □□□

This book is dedicated _____ my mother, who always believed in me.

① for ② to
③ at ④ with

② dedicate A to B　A を B にささげる

訳 この本を、いつも私を信じてくれた母にささげる。

解説 dedicate A to B「A を B に捧げる」の受け身。捧げる相手は to。for は「～のために」に引かれた誤り。at / with も dedicate と組まない。本の献辞の定番の形。

区別 **dedicate A to B ⇔ devote A to B**　意味も形もほぼ同じ「A を B に捧げる」で、どちらも to の後ろは名詞・動名詞。dedicate は作品を人に捧げる献辞にもよく使う。devote oneself to ~ / dedicate oneself to ~ は書き換えで出る。

0439 □□□

She _____ look tired yesterday, but today she looks fine.

① was ② does
③ had ④ did

④ do + 動詞の原形（強調）　本当に～する；確かに～する

訳 彼女は昨日は確かに疲れて見えたが、今日は元気そうだ。

解説 yesterday なので過去形の強調 did ＋原形 look。「確かに疲れて見えた」と強めている。does は現在形で yesterday と合わない。was look / had look は be 動詞・have の後ろに原形を置けないので誤り。

区別 **do + 動詞の原形（強調）⇔ 強調構文 It is ~ that ...**　It is ～ that ...は特定の語句（人・物・時・場所）を強める。do ＋原形は動詞そのもの（本当にしたこと）を強める。見分け方：動作の真実性を強めるなら do。

0440 ☐☐☐

The typhoon did a lot of ＿＿＿＿ to the rice crops.

① damages　② a damage
③ damage　④ damaged

③ do damage to ~ ～に損害を与える

訳 台風は稲に大きな被害を与えた。

解説 do damage to ~「～に損害を与える」。damage は数えない名詞なので a lot of damage。damages は「損害賠償」で意味が違い、a damage は冠詞が誤り。damaged は過去分詞で名詞の位置に置けない。

区別 **do damage to ~ ⇔ damage ~（動詞）** 名詞 damage は do / cause damage to ~ と to が必要、動詞 damage は他動詞で直後に目的語（damage the crops）。見分け方：do / cause の後ろなら名詞で to あり。

0441 ☐☐☐

The sun emerged ＿＿＿＿ behind the clouds.

① out　② of
③ off　④ from

④ emerge from ~ ～から現れる；～から抜け出す

訳 太陽が雲の後ろから姿を現した。

解説 emerge from ~「～から現れる」。from behind the clouds（雲の陰から）のように、from の後ろに前置詞句を置くこともできる。out / of / off は emerge の後ろでこの形にならない。

注意 名詞 emergence（出現）と emergency（緊急事態）の両方につながる。emerge as（～として台頭する）も長文で多い。

0442 ☐☐☐

She entrusted her neighbor ＿＿＿＿ the care of her cat while she was away.

① with　② to
③ for　④ of

① entrust A with B A に B を任せる；A に B を預ける

訳 彼女は留守の間、猫の世話を隣の人に任せた。

解説 entrust A with B「A に B を任せる」。entrust の直後が人（her neighbor）なので with。to を使うのは entrust B to A（物 to 人）の語順のとき。for / of は entrust と組まない。

区別 **entrust A with B ⇔ entrust B to A** entrust A with B は「人 with 物」、entrust B to A は「物 to 人」で意味は同じ。見分け方：entrust の直後が人なら with、物なら to。provide / supply / present と同じ書き換えの型。

0443 ☐☐☐

Please excuse me ＿＿＿＿ interrupting, but there's a phone call for you.

① from　② for
③ of　④ with

② excuse A for B B のことで A を許す

訳 お話し中に割り込んですみませんが、あなたにお電話です。

解説 excuse A for B「B について A を許す」。話を遮った失礼を許してもらうので for。from を使う excuse A from B は「A を B から免除する」で、「遮ることを免除して」となり意味が合わない。of / with は不可。

区別 **excuse A for B ⇔ excuse A from B** excuse A for B は「B（の失礼）について A を許す」、excuse A from B は「A を B（義務・授業）から免除する」。見分け方：後ろが自分の失礼な行為なら for、義務・活動なら from。

0444 □□□

My parents always expect too much ＿＿＿＿ me.

① to ② for
③ on ④ of

④ expect A of B B に A を期待する；B に A を求める

訳 両親はいつも私に期待し過ぎる。

解説 expect A of B「B に A を期待する」。too much が期待する内容、me が人なので of（from も可だが選択肢にない）。to / for / on は expect と組まない。ask A of B / require A of B と同じ型。

区別 **expect A of B ⇔ expect A to do** expect A of B は A＝求める内容、B＝人。expect A to do は A＝人、to do＝期待する行動。人の位置が逆になる。見分け方：of の後ろが人なら expect A of B。

0445 □□□

The sales of the new product fell short ＿＿＿＿ our expectations.

① to ② in
③ of ④ for

③ fall short of ～ ～に達しない；～に及ばない

訳 新製品の売り上げは私たちの期待に届かなかった。

解説 fall short of ～「～に達しない」。届かなかった目標（our expectations）は of で示す。to / in / for は fall short と組まない。run short of ～ は「～が不足する」で意味が違う。

区別 **fall short of ～ ⇔ run short of ～** fall short of は「（目標・期待に）届かない」、run short of は「（物が）足りなくなる」。見分け方：of の後ろが目標・期待なら fall short、お金・時間・食料なら run short。

0446 □□□

When I woke up, I found ＿＿＿＿ in a hospital bed.

① myself ② me
③ I ④ mine

① find oneself ～ （気がつくと）～にいる；～だと分かる

訳 目が覚めると、私は病院のベッドにいた。

解説 find oneself ～「気付くと～にいる」。主語 I と同じ人なので再帰代名詞 myself。me だと主語とは別の人を指すことになるので誤り。I / mine は目的語の形ではない。

注意 find oneself ＋場所／形容詞／~ing の形。和訳で「気がつくと」と訳す。

0447 □□□

The new law will free small companies ＿＿＿＿ heavy taxes.

① to ② from
③ with ④ at

② free A from B

A を B から解放する；A から B を取り除く

訳 新しい法律によって、小さな会社は重い税から解放されるだろう。

解説 free A from B「A を B から解放する」。分離の from。to / with / at は free と組んで解放の意味にならない。形容詞 be free from ～（～がない）も同じ from。

区別 **free A from B ⇔ be free from ～** free A from B は「解放する」動作（動詞）、be free from B は「B がない」状態（形容詞）。どちらも from。free of ～ も「～がない」（free of charge＝無料）。

0448 □□□

Don't let your fear of failure get in the _____ of your dreams.

① road ② path
③ way ④ street

③ get in the way (of ~)　（～の）邪魔になる

訳 失敗への恐れに、夢の邪魔をさせてはいけない。

解説 get in the way of ~「～の邪魔になる」。決まった形なので way。road / path / street は具体的な道を表し、この熟語にならない。let A do（A に～させる）の形で、恐れが夢の邪魔をしないように、の意味。

区別 **get in the way (of ~) ⇔ on the way**　in the way は「（通り道に入り込んで）邪魔になって」、on the way は「途中で」（on the way home＝帰る途中）。前置詞 1 つで意味が変わる。見分け方：邪魔なら in、途中なら on。

0449 □□□

My grandfather _____ blind in his seventies, but he still enjoys listening to music.

① came ② made
③ went ④ took

③ go blind　失明する；目が見えなくなる

訳 祖父は 70 代で失明したが、今でも音楽を聞くのを楽しんでいる。

解説 「失明する」は go blind。go ＋ 形容詞は本来の状態から離れて悪い状態になることを表す（go bad / go deaf と同じ）。come ＋ 形容詞は come true のように望ましい状態になるときに使い、come blind とは言わない。made / took は blind と組んで「なる」の意味にならない。

区別 **go blind ⇔ come true**　go ＋ 形容詞は本来の状態から離れて悪い方へ変わる（go bad / go blind）。come ＋ 形容詞は本来のあるべき状態に戻る・良くなる（come true / come right）。見分け方：望ましくない変化なら go、夢の実現や良い結果なら come。

0450 □□□

He hid the bad test results _____ his parents.

① to ② from
③ for ④ of

② hide A from B　A を B に隠す；A を B から隠す

訳 彼は悪いテストの結果を両親に隠した。

解説 hide A from B「A を B から隠す」。隠す相手は分離の from。日本語の「親に隠す」の「に」に引かれて to を選ぶのが典型的な誤り。for / of も hide と組まない。

区別 **hide A from B ⇔ keep A from B**　hide A from B は「A を B に隠す」の 1 つの意味だけ。keep A from B は「A を B に秘密にする」と「A が B するのを妨げる（keep A from ~ing）」の 2 つ。後ろが ~ing なら妨げる意味。

0451 □□□

We're hoping _____ good weather for the school trip tomorrow.

① to ② of
③ at ④ for

④ hope for ~　～を望む；～を期待する

訳 明日の修学旅行がよい天気になることを願っている。

解説 hope for ~「～を望む」。後ろが名詞 good weather なので for。to は hope to do の形で後ろに動詞の原形が必要。of / at は hope と組まない。

区別 **hope for ~ ⇔ want A to do**　want / expect は want A to do の形がとれるが、hope は × hope A to do。人に望むときは hope (that) S V。見分け方：hope の直後に人＋to do が来たら誤り。

0452 ☐☐☐

The man in the video was identified _____ the thief.

① as ② to
③ for ④ at

① identify A as B

A が B だと突き止める；A を B と確認する

訳 動画に映っていた男は、その泥棒だと特定された。

解説 be identified as ~「~だと特定される」。the man＝the thief の関係なので as。to / for / at は identify と組んで正体を表さない。regard / recognize A as B と同じ as。

区別 **identify A as B ⇔ identify with ~** identify A as B は「A を B だと特定する」、identify with ~（自動詞）は「~に共感する・自分を重ねる」。見分け方：as の後ろは正体、with の後ろは共感する人物。

0453 ☐☐☐

She invested all her savings _____ her friend's new company.

① on ② in
③ to ④ for

② invest A in B

A（お金・時間）を B に投資する；A を B につぎ込む

訳 彼女は貯金をすべて友達の新しい会社に投資した。

解説 invest A in B「A を B に投資する」。お金を事業の中へ入れるイメージで in。on は spend / waste A on B の前置詞で、invest とは組まない。to / for も不可。

区別 **invest A in B ⇔ spend A on B** invest A in B は「（将来の利益のために）投資する」で in、spend A on B は「使う」で on、waste A on B は「浪費する」で on。前置詞の取り違えが狙われる。

0454 ☐☐☐

Little children sometimes don't know right _____ wrong.

① from ② to
③ with ④ of

① know A from B A を B と区別できる

訳 幼い子どもは、ときどき善悪の区別がつかない。

解説 know A from B「A と B を区別できる」。区別の from。to / with / of は know A ~ B の形で区別を表さない。tell right from wrong / distinguish right from wrong と言い換えられる。

区別 **know A from B ⇔ know of ~** know A from B は「A と B を見分ける」、know of ~ は「（会ったことはないが）~の存在を知っている」。見分け方：from の前後に比べる 2 つがあれば区別。

0455 ☐☐☐

My father is trying to _____ weight by walking for an hour every day.

① miss ② fail
③ take ④ lose

④ lose weight 体重が減る；やせる

訳 父は毎日 1 時間歩いて体重を減らそうとしている。

解説 lose weight「やせる」。体重を失うイメージの lose。miss は「逃す・恋しく思う」、fail は「失敗する」、take は「取る」で、weight と組んでやせる意味にならない。

区別 **lose weight ⇔ put on weight** lose weight は「やせる」、put on / gain weight は「太る」で反対。put on は「身に着ける」で、体重を身に着ける＝太る。どちらも weight に冠詞を付けない。

0456 ☐☐☐

It is important to make a distinction _____ facts and opinions.

① from ② among
③ between ④ of

③ make a distinction between A and B
A と B を区別する

訳 事実と意見を区別することが大切だ。

解説 make a distinction between A and B「A と B を区別する」。2 つを and で並べるので between。from は distinguish A from B の形で使う。among は 3 つ以上で、and で 2 つを結ぶ形には合わない。of は不可。

区別 **make a distinction between A and B ⇔ distinguish A from B** 名詞 distinction を使うと make a distinction between A and B、動詞 distinguish は A from B も between A and B も可。from と between を混ぜない（× make a distinction between A from B）。

0457 ☐☐☐

He made a _____ to help me with my homework this weekend.

① reservation ② booking
③ contact ④ promise

④ make a promise 約束する

訳 彼は今週末、私の宿題を手伝うと約束した。

解説 make a promise to do「～すると約束する」。手伝うと誓う約束なので promise。reservation / booking は席・部屋などの予約で、to do と続けない。contact は「接触・連絡」で意味が合わない。

区別 **make a promise ⇔ make an appointment** promise は「（何かをすると）誓う約束」、appointment は「（日時を決めて人と）会う約束・予約」。日本語ではどちらも「約束」なので注意。見分け方：to do が続けば promise、with＋人なら appointment。

0458 ☐☐☐

I'd like to make a reservation _____ two at seven o'clock tonight.

① of ② with
③ for ④ to

③ make a reservation 予約する

訳 今夜 7 時に 2 名で予約をお願いしたいのですが。

解説 make a reservation for ~「～の予約をする」。人数（two）や日時は for で示す。of / with / to は reservation と組んで人数を表さない。レストランに電話で予約するときの定番の言い方。

区別 **make a reservation ⇔ make an appointment** reservation は「席・部屋・切符を取っておく予約」、appointment は「人と会う時間の予約（診察・面会）」。見分け方：レストラン・ホテル・飛行機なら reservation、医者・先生・美容師なら appointment。

0459 ☐☐☐

She finally persuaded her father _____ buying her a new smartphone.

① to ② into
③ out ④ from

② persuade A into ~ing A を説得して～させる

訳 彼女はついに父親を説得して、新しいスマートフォンを買ってもらった。

解説 persuade A into ~ing「A を説得して～させる」。後ろが動名詞 buying なので into。to は persuade A to do の形で後ろは原形（to buy）。out は out of としないと形にならない。from は persuade と組まない。

区別 **persuade A into ~ing ⇔ persuade A out of ~ing** into は「～の中へ」→その行動をさせる、out of は「～の外へ」→その行動をやめさせる。見分け方：結果としてその行動をしたなら into、やめたなら out of。to do で言えるのは into の方（persuade A to do）。

0460 □□□

The lawyer tried to persuade the jury ＿＿＿＿ his client's innocence.

① of　② into
③ for　④ with

① persuade A of B

A に B を納得させる；A に B を信じさせる

訳 弁護士は陪審員に依頼人の無実を納得させようとした。

解説 persuade A of B「A に B を確信させる」。無実という事実を信じさせるので of。into は persuade A into ~ing（説得して～させる）で、後ろは行動を表す動名詞。for / with は不可。convince A of B と同じ形。

区別 **persuade A of B ⇔ persuade A to do** persuade A of B は「A に B（事実・考え）を信じさせる」、persuade A to do は「A を説得して～させる」。見分け方：of の後ろは信じさせる内容（名詞）、to do なら行動。

0461 □□□

Thousands of people gathered to protest ＿＿＿＿ the new tax.

① to　② with
③ against　④ at

③ protest against ~　～に抗議する

訳 新しい税に抗議するため、何千人もの人が集まった。

解説 protest against ~「～に抗議する」。反対する対象（the new tax）は against。to は protest to the government のように抗議する相手（人・組織）の前に置く。with / at は不可。

区別 **protest against ~ ⇔ object to ~** protest against は「（声を上げて・デモで）抗議する」、object to は「～に反対する・異議を唱える」。object to の to は前置詞で、後ろは名詞・動名詞（object to being treated like a child）。

0462 □□□

Whether the new plan will really work remains to be ＿＿＿＿.

① seeing　② see
③ saw　④ seen

④ remain to be seen

まだ分からない；今後の成り行き次第だ

訳 新しい計画が本当にうまくいくかどうかは、まだ分からない。

解説 remain to be seen で「まだ分からない」。主語の whether 節（計画がうまくいくかどうか）は「見られる」側なので、受け身の不定詞 to be seen になる。seeing / see / saw は to be の後ろで受け身の形にならない。

区別 **remain to be seen ⇔ be yet to do** remain to be seen は「（結果は）まだ分からない」と判断を保留する決まり文句。be yet to do は「まだ～していない」と未完了を表す（The results are yet to be announced.）。見分け方：whether 節が主語なら remain to be seen。

0463 □□□

Firefighters rescued three people _____ the burning building.

① out ② off
③ of ④ from

④ rescue A from B A を B から救出する

訳 消防士は燃えている建物から 3 人を救出した。

解説 rescue A from B「A を B から救出する」。危険な場所から引き離す分離の from。out は out of としないと名詞を続けられない。off / of も rescue と組まない。

区別 **rescue A from B ⇔ save A from B** どちらも「救う」で from をとる。rescue は「（差し迫った危険から）実際に救出する」行動に焦点、save は「救う・守る」に加えて「A が～するのを防ぐ」（save A from ~ing）にも使う。

0464 □□□

It's rude to stare _____ people on the train.

① at ② to
③ on ④ for

① stare at ~ ～をじっと見つめる

訳 電車の中で人をじろじろ見るのは失礼だ。

解説 stare at ~「～をじっと見る」。見る対象は一点を表す at。to / on / for は stare と組まない。look at / glance at / gaze at と同じ at。It's rude to do（～するのは失礼だ）の形も確認。

区別 **stare at ~ ⇔ glance at ~** stare at は「（長い時間）じっと見る」、glance at は「ちらっと見る（一瞬）」。どちらも at。gaze at は「（感心・物思いで）じっと見つめる」で、stare より良い意味が多い。

0465 □□□

This power plant supplies electricity _____ the whole city.

① with ② to
③ at ④ of

② supply B to A A に B を供給する

訳 この発電所は市全体に電気を供給している。

解説 supply B to A「A に B を供給する」。supply の直後が物（electricity）なので、届け先は to。with は supply A with B の語順（the whole city with electricity）のときに使う。at / of は不可。

区別 **supply B to A ⇔ supply A with B** supply B to A は「物 to 人」、supply A with B は「人 with 物」で意味は同じ。見分け方：supply の直後が物なら to（for も使う）、人なら with。provide B for A / provide A with B と同じ型。

0466 □□□

The doctor warned him _____ eating too much salt.

① of ② from
③ for ④ against

④ warn A against ~ing A に～しないよう警告する

訳 医者は彼に塩分を取り過ぎないよう注意した。

解説 warn A against ~ing「A に～しないよう警告する」。塩分のとりすぎという避けるべき行為なので against。of は warn A of B で危険の存在を知らせる形。from / for は warn と組まない。warn him not to eat ~ と言い換えられる。

区別 **warn A against ~ing ⇔ warn A of B** warn A against ~ing は「～しないように注意する（禁止）」、warn A of B は「B（危険の存在）を知らせる」。見分け方：against の後ろはしてはいけない行為、of の後ろは危険そのもの。

0467 □□□

After weeks of protests, the government finally yielded ＿＿＿＿ public pressure.

① to　② for
③ with　④ at

① yield to ~ ～に屈する；～に道を譲る

訳 何週間もの抗議の末、政府はついに世論の圧力に屈した。

解説 yield to ~「～に屈する」。屈する相手（public pressure）は到達の to。for / with / at は yield と組まない。give in to ~ と言い換えられる。

区別 **yield to ~ ⇔ give in to ~** 意味はほぼ同じ「～に屈する」。give in to は口語的、yield to は改まった語で、「道を譲る」（Yield to pedestrians.＝歩行者優先）の意味もある。どちらも to。

0468 □□□

Try to accustom your new puppy ＿＿＿＿ its new home little by little.

① with　② for
③ to　④ in

③ accustom A to B A を B に慣れさせる

訳 新しく迎えた子犬を、少しずつ新しい家に慣れさせるようにしなさい。

解説 accustom A to B「A を B に慣れさせる」。慣れる先は到達の to。with / for / in は accustom と組まない。be accustomed to / get used to と同じ to。

区別 **accustom A to B ⇔ get used to ~** 意味は同じ「～に慣れる」で、どちらも to は前置詞。get used to は口語的、become accustomed to は改まった語。used to do（以前はよく～した）と混同しない。

0469 □□□

I can assure you ＿＿＿＿ his honesty. He has never told a lie.

① with　② of
③ for　④ to

② assure A of B A に B を保証する；A に B を確信させる

訳 彼の誠実さは私が保証します。彼は一度もうそをついたことがありません。

解説 assure A of B「A に B を保証する」。保証する内容（his honesty）は of で示す。with / for / to は assure と組まない。convince A of B / inform A of B と同じ型。

区別 **assure A of B ⇔ ensure ~** assure は人を目的語にして「人に保証する・安心させる」、ensure は事柄を目的語にして「～を確実にする」（ensure safety / ensure that ~）。見分け方：直後が人なら assure、事柄なら ensure。

0470 □□□

His years of hard work finally ＿＿＿＿ fruit when he won the prize.

① grew　② made
③ took　④ bore

④ bear fruit 実を結ぶ；成果を生む

訳 長年の努力が実を結び、彼はついに賞を取った。

解説 bear fruit「実を結ぶ」の過去形 bore。grew は植物が実を育てる文字通りの意味で、努力が主語のときは使わない。made / took も fruit と組んで「成果を上げる」にならない。

注意 bear の過去形 bore が出る。＝ pay off / succeed。

0471 □□□

Please _____ yourself while we are at the restaurant.

① keep ② do
③ behave ④ make

③ behave oneself 行儀よくする

訳 レストランにいる間は、行儀よくしていなさい。

解説 behave oneself「行儀よくする」。命令文で相手に言うので yourself。keep yourself は後ろに状態（keep yourself warm）が必要。do / make yourself も単独で「行儀よくする」の意味にならない。

注意 親が子に言う Behave yourself!（お行儀よくしなさい）が定番。名詞 behavior。

0472 □□□

He is always boasting _____ his expensive car.

① on ② of
③ in ④ at

② boast of ~ ～を自慢する；～を誇る

訳 彼はいつも自分の高級車を自慢している。

解説 boast of ~「～を自慢する」。自慢の種は of で示す（about も可だが選択肢にない）。on / in / at は boast と組まない。pride oneself on（on）、take pride in（in）と混同しないこと。

区別 **boast of ~ ⇔ be proud of ~** be proud of は「～を誇りに思う」で気持ちを表し、良い意味が普通。boast of は「（人に）自慢して言いふらす」で否定的な響き。どちらも of。

0473 □□□

Everyone burst _____ laughing when the teacher's wig fell off.

① out ② into
③ in ④ to

① burst into laughter どっと笑い出す

訳 先生のかつらが落ちたとき、みんながどっと笑い出した。

解説 後ろが動名詞 laughing なので burst out ~ing「どっと～し出す」。into は burst into laughter のように後ろに名詞をとる。in / to は burst と組んでこの意味にならない。名詞なら into、~ing なら out。

区別 **burst into laughter ⇔ burst into tears** 同じ burst into でも laughter は「笑い」、tears は「涙」。形の違いは、into＋名詞（laughter / tears）、out＋~ing（laughing / crying）。名詞と動名詞を入れ違える誤りが狙われる。

0474 □□□

I caught a _____ of the famous actor as he got into his car.

① glance ② look
③ watch ④ glimpse

④ catch a glimpse of ~ ～をちらりと見る

訳 その有名な俳優が車に乗り込むところを、私はちらりと見かけた。

解説 catch a glimpse of ~「～をちらっと見る」。glance は take / cast a glance at ~ の形で使い、catch a glance of とは普通言わない。look / watch も catch a ~ of の形にならない。

区別 **catch a glimpse of ~ ⇔ glance at ~** catch a glimpse of は「（偶然）ちらっと見えた」、glance at は「（自分から）ちらっと目をやる」。前置詞も of と at で違う。名詞 glance は take / cast a glance at ~。

0475 □□□

Workers cleared the road ＿＿＿＿ snow early in the morning.

① of　② with
③ at　④ for

① clear A of B

A から B を片付ける；A の B（疑い）を晴らす

訳 作業員たちは朝早く道路の雪を取り除いた。

解説 clear A of B「A から B を取り除く」。道（場所）が clear の直後にあるので、取り除く物（snow）は除去の of。with / at / for は clear と組んで除去を表さない。clear the snow from the road とも言える。

区別 **clear A of B ⇔ clear B from A** clear A of B は「場所 of じゃま物」、clear B from A は「じゃま物 from 場所」で語順が逆。見分け方：clear の直後が場所なら of、取り除く物なら from / off。

0476 □□□

Keep this map in your bag. It may come in ＿＿＿＿ during the trip.

① hand　② handily
③ handy　④ hands

③ come in handy 役に立つ

訳 この地図をかばんに入れておきなさい。旅行中に役に立つかもしれないよ。

解説 come in handy「役に立つ」。handy は形容詞でこの形が決まっている。hand / hands は名詞、handily は副詞で、come in の後ろに置いてこの意味にならない。

注意 ＝ be useful / be of use。会話・長文に出る。

0477 □□□

After hours of talks, the two companies came ＿＿＿＿ an agreement.

① into　② to
③ at　④ on

② come to an agreement 合意に達する

訳 何時間も話し合った末、2 つの会社は合意に達した。

解説 come to an agreement「合意に達する」。到達点の to。into / at / on は come ~ an agreement の形にならない。arrive at a conclusion なら at だが、agreement は come to か reach。

区別 **come to an agreement ⇔ agree on ~** come to an agreement は名詞を使った言い方で、agree on ~ は動詞を使った言い方。意味はほぼ同じ「合意する」。名詞 agreement には an、come to の to は前置詞。

0478 □□□

The dictionary defines 'friend' ＿＿＿＿ a person you know well and like.

① for　② to
③ as　④ like

③ define A as B A を B と定義する

訳 その辞書は「友達」を、よく知っていて好きな人と定義している。

解説 define A as B「A を B と定義する」。'friend'＝a person you know well and like の関係なので as。like は「～のように」で定義には使わない。for / to は define と組まない。

区別 **define A as B ⇔ describe A as B** define A as B は「A の意味を B と定める（定義）」、describe A as B は「A を B だと言い表す・評する」。どちらも as。言葉や概念の意味なら define、人・物の様子なら describe。

0479 ☐☐☐

My grandfather derives great pleasure ＿＿＿ gardening.

① in　② from
③ of　④ with

② derive A from B　B から A を得る；B から A を引き出す

訳 祖父は庭いじりから大きな喜びを得ている。

解説 derive A from B「B から A を得る」。喜びの出どころ（gardening）は from で示す。in / of / with は derive と組まない。take pleasure in ~（～を楽しむ）なら in なので混同しないこと。

区別 **derive A from B ⇔ derive from ~（自動詞）**　他動詞 derive A from B は主語（人）が「B から A を得る」、自動詞 derive from / be derived from は主語（言葉・習慣）が「～に由来する」。見分け方：derive の直後に pleasure などの目的語があるか。

0480 ☐☐☐

You cooked dinner, so I'll ＿＿＿ the dishes tonight.

① do　② make
③ take　④ have

① do the dishes　皿洗いをする

訳 夕食を作ってくれたから、今夜は私が皿洗いをするよ。

解説 do the dishes「皿洗いをする」。家事の作業は do で表す。make the dishes は「料理を作る」と誤解されやすく、皿洗いにはならない。take / have は the dishes と組んで皿洗いの意味にならない。

区別 **do the dishes ⇔ make the bed**　同じ家事でも動詞が違う。do the dishes（皿洗い）、do the laundry（洗濯）は do、make the bed（ベッドを整える）は make、cook a meal / make dinner（食事を作る）は cook / make。動詞の取り違えが狙われる。

0481 ☐☐☐

Children under twelve are excluded ＿＿＿ the competition.

① of　② out
③ off　④ from

④ exclude A from B　A を B から除外する

訳 12 歳未満の子どもはその大会に参加できない。

解説 exclude A from B「A を B から除外する」の受け身。外へ締め出す分離の from。of / out / off は exclude と組まない。include A in B（含める）と前置詞も反対になる。

区別 **exclude A from B ⇔ include A in B**　exclude A from B は「外に締め出す」で from、include A in B は「中に入れる」で in。前置詞まで反対になる。見分け方：除くなら from、含めるなら in。

0482 ☐☐☐

She finds it difficult to express ＿＿＿ in English.

① herself　② her
③ hers　④ she

① express oneself　自分の考えを表現する

訳 彼女は英語で自分の考えを表現するのが難しいと感じている。

解説 express oneself「自分の考えを表現する」。主語 She と同じ人なので再帰代名詞 herself。her だと主語とは別の女性を指すことになる。hers / she は目的語の形ではない。

区別 **express oneself ⇔ make oneself understood**　express oneself は「自分の考えを表現する（言葉にする）」、make oneself understood は「（相手に）自分の言うことを理解してもらう」。後者は相手に通じたかどうかに焦点。

0483 □□□

He fell _____ and had to stay in bed for a week.

① illness ② sickness
③ badly ④ ill

④ fall ill 病気になる

訳 彼は病気になり、1週間寝ていなければならなかった。

解説 fall ill「病気になる」。fall の後ろには状態を表す形容詞 ill。illness / sickness は名詞で fall の補語にならない。badly は副詞で、fall badly だと「ひどく転ぶ」の意味になる。

区別 **fall ill ⇔ sick** ill は普通 be ill / fall ill のように補語で使い、名詞の前では sick（a sick person）。sick は「吐き気がする」（feel sick）の意味もある。名詞は illness / sickness。

0484 □□□

It was dark, but we somehow found _____ way back to the camp.

① the ② a
③ us ④ our

④ find one's way (to ~)
（～へ）苦労してたどり着く；道を見つけて進む

訳 暗かったが、私たちはなんとかキャンプ場まで戻る道を見つけた。

解説 find one's way で「なんとかたどり着く」。one's には主語 we に合わせた所有格 our が入る。the way / a way だと「その道・方法を見つけた」になり、成句の意味にならない。us は目的格で way の前に置けない。back は副詞なので to は不要。

区別 **find one's way (to ~) ⇔ make one's way (to ~)** make one's way は「（～へ）進む・向かう」で、苦労の響きは弱い。find one's way は「道を探しながらたどり着く」と、迷いや苦労の響きがある。lose one's way は「道に迷う」で反対。

0485 □□□

The boss forced him _____ working overtime every day.

① to ② into
③ from ④ out

② force A into ~ing A に無理やり～させる

訳 上司は彼に毎日無理やり残業させた。

解説 force A into ~ing「A に無理やり～させる」。後ろが動名詞 working なので into。to は force A to do の形で後ろは原形（to work）。from / out は force と組んでこの意味にならない。

区別 **force A into ~ing ⇔ force A to do** 意味は同じ「A に無理に～させる」だが形が違う。force A into＋~ing、force A to＋原形。見分け方：into の後ろは ~ing、to の後ろは原形。persuade / talk A into ~ing と同じ into。

0486 □□□

I've gotten into the habit _____ checking my phone right before bed.

① to ② for
③ of ④ in

③ get into the habit of ~ing ～する習慣がつく

訳 寝る直前にスマートフォンを確認するのが習慣になってしまった。

解説 get into the habit of ~ing「～する習慣がつく」。習慣の中身は of＋動名詞。to は不定詞なら to check だが checking とは合わない。for / in も habit の中身を表さない。

区別 **get into the habit of ~ing ⇔ be in the habit of ~ing** get into は「習慣がつく（変化）」、be in は「習慣がある（状態）」。make a habit of は「（意識して）習慣にする」。どれも of＋~ing。get into は悪い癖にも使う。

0487 □□□

I knew I shouldn't open the box, but my curiosity got the better ＿＿＿ me.

① to　② of
③ for　④ with

② get the better of ~ ～に勝つ；～を負かす

訳 箱を開けてはいけないと分かっていたが、好奇心に負けてしまった。

解説 get the better of ~「～に勝つ」。好奇心が私に勝った＝好奇心に負けた、という意味。負ける側は of で示す。to / for / with は the better と組んでこの意味にならない。

区別 **get the better of ~ ⇔ make the best of ~** get the better of は「～に勝つ・（感情が人を）負かす」、make the best of は「（不利な状況）を最大限に生かす」。better と best、get と make で意味が全く違う。

0488 □□□

In an emergency, we should give priority ＿＿＿ safety over speed.

① for　② on
③ with　④ to

④ give priority to ~ ～を優先する

訳 緊急時には、速さよりも安全を優先すべきだ。

解説 give priority to ~「～を優先する」。優先を与える先は到達の to。for / on / with は priority と組まない。over ~ で「～よりも」と比べる相手を示している。

注意 ＝ prioritize。top priority（最優先事項）も一緒に。

0489 □□□

She glanced ＿＿＿ her watch and hurried out of the room.

① at　② on
③ to　④ for

① glance at ~ ～をちらっと見る

訳 彼女は腕時計をちらっと見て、急いで部屋を出た。

解説 glance at ~「～をちらっと見る」。見る対象は一点を表す at。on / to / for は glance と組まない。look at / stare at と同じ at。

区別 **glance at ~ ⇔ stare at ~** glance at は「ちらっと（一瞬）見る」、stare at は「じっと（長く）見る」。どちらも at。catch a glimpse of は「（偶然）ちらっと見える」で前置詞が of。

0490 □□□

Put the milk in the fridge, or it will ＿＿＿ bad.

① make　② do
③ go　④ take

③ go bad （食べ物が）腐る

訳 牛乳は冷蔵庫に入れなさい。そうしないと悪くなるよ。

解説 go bad「（食べ物が）腐る」。悪い状態への変化は go＋形容詞。make / do / take は bad と組んで「腐る」の意味にならない。命令文, or ...（～しなさい、さもないと...）の形も確認。

区別 **go bad ⇔ go wrong** go bad は「（食べ物が）腐る」、go wrong は「（物事・機械が）うまくいかない・故障する」。どちらも go＋形容詞で悪い変化を表すが、主語が食べ物か物事かで使い分ける。

0491 □□□

Wealth does not always go hand in hand ＿＿＿ happiness.

① to　② with
③ for　④ by

② go hand in hand (with ~)
（～と）密接に関連している；（～と）一緒に起こる

訳 富と幸せは必ずしも密接に結びついているわけではない。

解説 go hand in hand with ~「～と密接に関係している」。一緒に進む相手は with。to / for / by は go hand in hand と組まない。not always は「いつも～とは限らない」という部分否定。

注意 ＝ be closely related。hand in hand は無冠詞。

0492 □□□

My sister went ＿＿＿ a diet to lose weight before the wedding.

① in　② to
③ on　④ for

③ go on a diet ダイエットをする

訳 姉は結婚式の前にやせるため、ダイエットを始めた。

解説 go on a diet「ダイエットを始める」。継続中の状態を表す on。in / to / for は diet と組んでこの意味にならない。be on a diet（ダイエット中）も同じ on。

区別 **go on a diet ⇔ be on a diet** go on a diet は「ダイエットを始める（動作）」、be on a diet は「ダイエット中だ（状態）」。前置詞はどちらも on。I'm on a diet.（今ダイエット中なの）は会話の定番。

0493 □□□

He was so angry that he went so far as ＿＿＿ me a liar.

① to call　② calling
③ call　④ called

① go so far as to do ～しさえする

訳 彼はとても怒っていたので、私をうそつき呼ばわりまでした。

解説 go so far as to do「～までする」で、as の後ろは to 不定詞 to call。calling / call / called はこの形に合わない。so angry that ~（とても怒っていたので）と、極端な行動の流れになっている。

区別 **go so far as to do ⇔ as far as ~** go so far as to do は「～までもする（極端な行動）」、as far as は「～の範囲では」（as far as I know）や「～まで（距離）」。見分け方：go so far as の後ろは to＋原形。

0494 □□□

She went to the trouble ＿＿＿ making lunch for all of us.

① to　② for
③ in　④ of

④ go to the trouble of ~ing わざわざ～する

訳 彼女はわざわざ私たち全員の昼食を作ってくれた。

解説 go to the trouble of ~ing「わざわざ～する」。手間の中身は of＋動名詞 making。to は take the trouble to do の形で後ろは原形。for / in も trouble と組んでこの意味にならない。

区別 **go to the trouble of ~ing ⇔ take the trouble to do** 意味は同じ「わざわざ～する」。go to the trouble＋of ~ing、take the trouble＋to do。見分け方：go to なら of＋動名詞、take なら不定詞。

0495 ☐☐☐

My grandfather has a liking ＿＿＿ old movies and watches one almost every night.

① to　② of
③ with　④ for

④ have a liking for ~ ～を好む；～が好きだ

訳 祖父は古い映画が好きで、ほとんど毎晩１本見ている。

解説 「～を好む」は have a liking for ~ で、好みの対象は for で示す。to は take a liking to ~（～を好きになる）の形で、have とは組まない。of / with も liking の後ろでこの意味にならない。have a taste for ~ と同じ for。

区別 **have a liking for ~ ⇔ take a liking to ~** have a liking for は「好んでいる」と状態、take a liking to は「（初めて会って）気に入る」と変化。前置詞も for と to で違う。見分け方：have なら for、take なら to。take a liking to は人や動物を目的語にすることが多い。

0496 ☐☐☐

A: We should leave early to avoid the traffic. B: You ＿＿＿ a point. Let's go at six.

① get　② take
③ have　④ do

③ have a point 一理ある

訳 A：渋滞を避けるために早く出発したほうがいいね。　B：一理あるね。6 時に出よう。

解説 have a point「一理ある」。B は A の意見を認めて出発時刻を決めている。get the point は「要点を理解する」で、相手の意見を認める返事にはならない。take / do は a point と組まない。

区別 **have a point ⇔ get the point** have a point は「（相手の意見に）一理ある」、get the point は「（話の）要点が分かる」。主語が意見を言った人なら have、聞いて理解した人なら get。

0497 ☐☐☐

In basketball, tall players have an advantage ＿＿＿ short players.

① over　② to
③ for　④ at

① have an advantage over ~ ～より有利である

訳 バスケットボールでは、背の高い選手は背の低い選手より有利だ。

解説 have an advantage over ~「～より有利である」。比べる相手より上にいるイメージで over。to / for / at は advantage と組んで比べる相手を表さない。take advantage of ~（利用する）と混同しないこと。

区別 **have an advantage over ~ ⇔ take advantage of ~** have an advantage over は「～より有利だ」、take advantage of は「～を利用する・つけこむ」。見分け方：over の後ろは比べる相手、of の後ろは利用する物・人。

0498 ☐☐☐

The ship is heading ＿＿＿ Hawaii and will arrive in three days.

① at　② in
③ on　④ for

④ head for ~ ～へ向かう

訳 その船はハワイに向かっていて、3 日後に到着する。

解説 head for ~「～へ向かう」。目的地は方向を表す for（to も使えるが選択肢にない）。at / in / on は方向を表せない。leave for ~ と同じ for。

区別 **head for ~ ⇔ leave for ~** head for は「～の方へ向かって進む（移動中）」、leave for は「～へ向けて出発する（出発の瞬間）」。どちらも for で目的地を示す。

0499 □□□

If A is larger than B, and B is larger than C, it ＿＿＿＿ that A is larger than C.

① comes ② follows
③ goes ④ leads

② it follows that ... （当然）...ということになる

訳 AがBより大きく、BがCより大きいならば、AはCより大きいということになる。

解説 it follows that ...で「（当然）...ということになる」。前の2つの前提から結論を導いている。comes / goes / leads は it ～ that の形でこの意味を作らない（lead は lead to ～の形で使う）。

区別 **it follows that ... ⇔ as follows** as follows は「次のとおり」で、後ろに一覧や説明を並べる（The rules are as follows: ...）。it follows that ...は「...ということになる」と結論を導く。見分け方：that 節が続けば it follows that。

0500 □□□

My grandmother swims three times a week to keep in ＿＿＿＿.

① health ② shape
③ body ④ fit

② keep (oneself) in shape 体調を保つ

訳 祖母は健康な体を保つために、週に3回泳いでいる。

解説 keep in shape「体調を保つ」。shape は「（体の）状態」。health / body は keep in と組んで熟語にならない。fit は keep fit なら正しいが、in は付けない。

区別 **keep (oneself) in shape ⇔ out of shape** in shape は「（体が）良い状態」、out of shape は「（運動不足で）体がなまって」。in と out of で反対になる。in good shape（良い状態で）は物にも使う。

0501 □□□

My son played the new video game for a week, but soon lost interest ＿＿＿＿ it.

① in ② on
③ of ④ for

① lose interest in ～ ～への興味を失う

訳 息子は新しいテレビゲームを1週間遊んだが、すぐに興味を失った。

解説 lose interest in ～「～への興味を失う」。興味の対象は in で示す。on / of / for は interest と組んで対象を表さない。be interested in / take an interest in と同じ in。

区別 **lose interest in ～ ⇔ take an interest in ～** lose interest in は「興味を失う」、take an interest in は「興味を持つ」。lose の方は interest に冠詞が付かないのが普通、take の方は an が付く。前置詞はどちらも in。

0502 □□□

The child made a ＿＿＿＿ when he tasted the bitter medicine.

① head ② eye
③ mouth ④ face

④ make a face 顔をしかめる；しかめっ面をする

訳 その子は苦い薬を味わうと、顔をしかめた。

解説 make a face「顔をしかめる」。苦い薬を味わったときの表情。head / eye / mouth は make a ～ の形でこの意味にならない。複数形で make faces とも言う。

区別 **make a face ⇔ lose face** make a face は「顔をしかめる（表情）」、lose face は「面目を失う」。face は表情の意味と、面目・体面の意味がある。lose face は冠詞なし。

0503 ☐☐☐

My father was asked to ＿＿＿＿ a speech at my sister's wedding.

① say　② make
③ speak　④ talk

② make a speech 演説する；スピーチをする

訳 父は姉の結婚式でスピーチをするよう頼まれた。

解説 make a speech「スピーチをする」（give も可だが選択肢にない）。say は言葉そのものを言う動詞で speech と組まない。speak / talk は speech を目的語にとらない。

区別 **make a speech ⇔ speak / talk** make a speech は名詞 speech を目的語にとる、speak / talk は自動詞的で × speak a speech。見分け方：空所の後ろに a speech があれば make / give。

0504 ☐☐☐

He made an attempt ＿＿＿＿ the world record, but he failed.

① breaking　② break
③ to break　④ broke

③ make an attempt (to do) （～しようと）試みる

訳 彼は世界記録を破ろうと挑戦したが、失敗した。

解説 make an attempt to do「～しようと試みる」で、後ろは to 不定詞 to break。breaking を使うなら at が必要（an attempt at breaking）。break / broke は attempt の後ろに置けない。

区別 **make an attempt (to do) ⇔ attempt to do**（動詞） 名詞を使うと make an attempt to do / at ~ing、動詞では attempt to do（他動詞で × attempt at）。見分け方：make の後ろなら名詞で an が付く。

0505 ☐☐☐

He always makes ＿＿＿＿ for being late for class.

① excusing　② excused
③ excuses　④ an excused

③ make an excuse 言い訳をする

訳 彼はいつも授業に遅れたことの言い訳をする。

解説 make an excuse / make excuses for ~「～の言い訳をする」。make の目的語には名詞 excuses が必要。excusing / excused は動詞の変化形、an excused は過去分詞に冠詞を付けた誤り。

区別 **make an excuse ⇔ excuse A for B** 名詞 excuse は make an excuse（言い訳をする）、動詞 excuse は excuse A for B（A の B を許す）。同じ綴りで品詞と意味が違う。見分け方：make / an の後ろなら名詞。

0506 ☐☐☐

He made good ＿＿＿＿ his promise and paid back all the money he had borrowed.

① at　② on
③ in　④ for

② make good ~
（約束など）を果たす；（損害など）を償う

訳 彼は約束を果たし、借りたお金を全部返した。

解説 「約束を果たす」は make good on a promise（on なしの make good a promise も可）。後半の「借りたお金を全部返した」が約束を果たした内容。at / in / for は make good の後ろで約束の対象を表さない。make good in ~ は「～で成功する」で意味が違う。

区別 **make good ~ ⇔ make up for ~** make good は損害を「（元どおりに）償う」や約束を「果たす」。make up for は「（不足・遅れ）を埋め合わせる」（make up for lost time）。見分け方：約束を守るなら make good (on)、失った時間や欠点を補うなら make up for。

0507 □□□

You might as well throw your money away ———— lend it to him. He never pays anyone back.

① as ② than
③ to ④ so

① might as well A as B
B するくらいなら A したほうがましだ

訳 彼にお金を貸すくらいなら、捨てたほうがましだ。彼は誰にもお金を返さないから。

解説 might as well A as B「B するくらいなら A する方がましだ」。as ~ as の比較なので as。than は would rather A than B などで使い、might as well とは組まない。to / so は不可。

区別 **might as well A as B ⇔ would rather A than B** might as well A as B は「B するのは A するのと同じくらいばかげている」、would rather A than B は「B より A したい（好み）」。比べる語が as と than で違う点が狙われる。

0508 □□□

I ordered a new pair of running shoes ———— an online store.

① to ② from
③ of ④ by

② order A from B B に A を注文する

訳 オンラインストアに新しいランニングシューズを注文した。

解説 注文先は from で示す（order A from B）。品物は店から届くので from。日本語の「～に注文する」につられた to は誤り。of / by も注文先を表さない。受け取る人を言うなら for を使う（order shoes for my son）。

区別 **order A from B ⇔ order A for B** from の後ろは注文先（店）、for の後ろは受け取る人・目的（誰のために）。見分け方：B が店や会社なら from、家族や友達など受け取る人なら for。日本語の「～に注文する」につられて to にしない。

0509 □□□

This festival is said to have originated ———— China more than 1,000 years ago.

① at ② to
③ of ④ in

④ originate in ~ ～に起源がある；～で始まる

訳 この祭りは 1,000 年以上前に中国で始まったと言われている。

解説 originate in ~「～に起源がある」。起源の場所（China）は in で示す。at は国のような広い場所に使わず、to / of は originate と組まない。be said to have done は「～したと言われている」。

区別 **originate in ~ ⇔ derive from ~** originate in は場所・時代に起源がある（originate in China）、derive from は出どころ（言語など）に由来する（derive from Latin）。前置詞が in と from で違う。originate from も可。

0510 □□□

I was so happy that I couldn't put my feelings ———— words.

① on ② into
③ to ④ at

② put ~ into words ～を言葉で表す

訳 とてもうれしくて、自分の気持ちを言葉にできなかった。

解説 put ~ into words「～を言葉にする」。気持ちを言葉という形に変えるので into。on / to / at は put ~ words の形にならない。put A into practice / English と同じ into。

区別 **put ~ into words ⇔ in other words** put ~ into words は「～を言葉にする」、in other words は「言い換えれば」でつなぎの言葉。words が複数形なのは共通。in a word（一言で言えば）は単数。

0511 □□□

A lot of patience is required ＿＿＿＿ nurses.

① to　② at
③ on　④ of

④ require A of B　B に A を要求する

訳 看護師には大変な忍耐力が求められる。

解説 require A of B「B に A を求める」の受け身で、求められる人（nurses）は of で示す。to / at / on は require と組んで人を表さない。ask A of B / expect A of B と同じ型。

区別 **require A of B ⇔ require A to do**　require A of B は A＝求める物、B＝人。require A to do は A＝人、to do＝求める行動。人の位置が逆になる。見分け方：of の後ろが人なら require A of B。

0512 □□□

Since my best friend moved to Osaka, I have seen ＿＿＿＿ of her. We haven't met even once this year.

① a little　② little
③ few　④ much

② see little of ~　～にほとんど会わない

訳 親友が大阪に引っ越してから、彼女にはほとんど会っていない。今年は一度も会っていない。

解説 今年は一度も会っていないので「ほとんど会っていない」の see little of ~。a little は「少しは会った」、much は「よく会った」で、後ろの文と矛盾する。few は数えられる名詞の数を表す語で、see ~ of の型では使わない。

区別 **see little of ~ ⇔ see much of ~**　同じ型で頻度が逆。see little [nothing] of は「ほとんど［全く］会わない」、see much [a lot] of は「よく会う」。見分け方：文脈が疎遠・忙しいなら little、親しい・頻繁なら much / a lot。much は否定文・疑問文で使うことが多い。

0513 □□□

Since he moved to Osaka, I haven't seen ＿＿＿＿ of him.

① many　② lot
③ much　④ few

③ see much of ~　～によく会う

訳 彼が大阪に引っ越してから、あまり会っていない。

解説 「～によく会う」は see much of ~ で、否定文で「あまり会っていない」。much は名詞的に「多く」を表し of と組む。many / few は可算名詞の数を表す語で、see ~ of 人の形にならない。lot は a lot of の形にしないと使えない。

区別 **see much of ~ ⇔ see little of ~**　see much of は否定・疑問で使うのが普通で、not see much of で「あまり会わない」。see little of は肯定の形のまま「めったに会わない」と否定の意味になる。見分け方：not があれば much、not がなく「ほとんど会わない」なら little。

0514 □□□

The bird was set ＿＿＿＿ after its broken wing healed.

① freely　② free
③ freedom　④ freed

② set ~ free　～を自由にする；～を解放する

訳 その鳥は折れた翼が治った後、放たれた。

解説 set ~ free「～を解放する」の受け身。set A＋形容詞の型なので形容詞 free。freely は副詞、freedom は名詞で、set の補語にならない。freed は動詞 free の過去分詞で、set と重ねない。

注意 ＝ release / free。目的語が長いと set free ~ の語順。

0515 □□□

It's important to _____ a realistic goal before you start studying.

① set ② build
③ open ④ do

① set a goal 目標を立てる

訳 勉強を始める前に、現実的な目標を立てることが大切だ。

解説 set a goal「目標を設定する」。build（建てる）は日本語の「立てる」に引かれた誤り。open / do も goal と組んで「目標を立てる」の意味にならない。達成するなら achieve / reach a goal。

区別 **set a goal ⇔ achieve a goal** set a goal は「目標を立てる」、achieve / reach a goal は「目標を達成する」。日本語の「目標を立てる」に引かれて make / build を使わない。

0516 □□□

We had to stand _____ line for an hour to buy the concert tickets.

① at ② by
③ in ④ with

③ stand in line 列に並ぶ

訳 コンサートのチケットを買うために、1 時間列に並ばなければならなかった。

解説 stand in line「列に並ぶ」。列の中に立つイメージで in。at / by / with は line と組んで「並ぶ」の意味にならない。wait in line / cut in line も同じ in。

区別 **stand in line ⇔ line up** stand in line は「列に並んで立っている（状態）」、line up は「並ぶ・整列する（動作）」。line up は他動詞で「〜を並べる」の意味もある。

0517 □□□

It's not easy to strike a balance _____ work and family life.

① among ② of
③ between ④ with

③ strike a balance (between A and B) （A と B の）バランスをとる

訳 仕事と家庭生活のバランスを取るのは簡単ではない。

解説 strike a balance between A and B「A と B のバランスをとる」。2 つを and で結ぶので between。among は 3 つ以上で、A and B の形と合わない。of / with も balance の後ろでこの形にならない。

区別 **strike a balance (between A and B) ⇔ keep one's balance** strike a balance between A and B は「2 つの間でちょうど良い釣り合いを見つける」、keep one's balance は「（体の）バランスを保つ・倒れない」。lose one's balance は「よろける」。

0518 □□□

It's a beautiful day. Let's _____ a walk along the river.

① take ② go
③ walk ④ play

① take a walk 散歩する

訳 いい天気だね。川沿いを散歩しよう。

解説 take a walk「散歩する」。go を使うなら go for a walk と for が必要で、go a walk は誤り。walk a walk は同じ語の重複、play は walk と組まない。have a walk も可だが選択肢にない。

区別 **take a walk ⇔ go for a walk** 意味は同じ「散歩する」だが形が違う。take a walk は take の直後に a walk、go for a walk は for が必要。見分け方：go なら for a walk、take / have なら a walk。

0519 ☐☐☐

The little girl took hold ＿＿＿ her mother's hand when they crossed the street.

① on　② of
③ with　④ at

② take hold of ~ ～をつかむ；～を支配する

訳 その女の子は道路を渡るとき、母親の手をしっかり握った。

解説 take hold of ~「～をつかむ」。つかむ対象は of で示す。on / with / at は hold と組んでこの意味にならない。catch hold of / get hold of も同じ of。

区別 **take hold of ~ ⇔ get hold of ~** take hold of は「（手で）つかむ」、get hold of は「つかむ」のほかに「（物を）手に入れる・（人と）連絡がつく」の意味が多い（I couldn't get hold of him.＝彼に連絡がつかなかった）。

0520 ☐☐☐

The old woman took pity ＿＿＿ the hungry cat and gave it some fish.

① for　② to
③ on　④ at

③ take pity on ~ ～を哀れむ；～に同情して助ける

訳 そのおばあさんはおなかをすかせた猫をかわいそうに思い、魚をあげた。

解説 「～を哀れむ」は take pity on ~ で前置詞は on。後半の「魚をあげた」という助ける行動とも合う。for は feel pity for ~（気の毒に思う）の形で使い、take pity とは組まない。to / at も pity と組まない。

区別 **take pity on ~ ⇔ feel pity for ~** take pity on は「哀れんで（手を差し伸べる）」と行動を伴うことが多く、前置詞は on。feel pity for / feel sorry for は「気の毒に思う」と気持ちだけで、前置詞は for。見分け方：take / have なら on、feel なら for。

確認テスト 2　動詞の熟語｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0205 これらの規則は 1 年生も含めすべての生徒に当てはまる。
These rules **apply** to all students, including those in the first year.

0206 動物は生き残るために環境の変化に適応しなければならない。
Animals must **adapt** to changes in their environment to survive.

0207 部長はようやく私たちの計画を承諾した。
The manager finally agreed **to** our plan.

0208 お願いがあるのですが。
May I ask a **favor** of you?

0209 手品師はスカーフを白いハトに変えた。
The magician **changed** the scarf into a white dove.

0210 科学者は睡眠不足を記憶力の低下と結びつけている。
Scientists **connect** lack of sleep with poor memory.

0211 多くの高校生がボランティア活動に取り組んでいる。
Many high school students **engage** in volunteer work.

0212 すべての教室にエアコンが備え付けられている。
All the classrooms are **equipped** with air conditioners.

0213 彼女はボトルを冷たい水でいっぱいにした。
She **filled** the bottle with cold water.

0214 ドリアンという果物のことを聞いたことがある？
Have you ever heard **of** a fruit called durian?

0215 彼女は先月東京を発ってパリへ向かった。
She **left** Tokyo for Paris last month.

0216 ずっと走って、ぎりぎり駅に間に合った。
We ran all the way and **made** it to the station just in time.

0217 このジャケットに 3,000 円払った。
I **paid** 3,000 yen for this jacket.

0218 警察は行方不明の少年を一晩中捜索した。
The police searched **for** the missing boy all night.

0219 その番組は幼い子ども向けだ。
The program is **aimed** at young children.

0220 今日の午後、対応しなければならない急ぎの仕事がある。
I have some urgent business to **attend** to this afternoon.

0221 先生は、テスト中に二人の生徒がスマホを見ているところを見つけた。
The teacher **caught** two students looking at their phones during the test.

0222 山々は雪で覆われていた。
The mountains were **covered** with snow.

0223 友人たちは彼女のことを優しくて面白いと言う。
Her friends **describe** her as kind and funny.

0224 古い電池はどう安全に処分すればいいだろうか。
How should we **dispose** of old batteries safely?

0225 最も重要な点に注意を集中させなさい。
Focus your attention on the most important points.

0226 パーティーに招待してくれてありがとう。
Thank you for **inviting** me to your party.

0227 夜に一人で海で泳ぐなんて、それくらいの分別はあるはずだ。
You should know **better** than to swim alone in the sea at night.

0228 姉は東京の大学で経済学を専攻している。
My sister **majors** in economics at a university in Tokyo.

0229 母は私が帰りが遅かったのを叱った。
My mother **scolded** me for coming home late.

0230 私をばかだと思っているの？
Do you **take** me for a fool?

0231 コーチはいつも公平なので、選手はみんな彼を高く評価している。
All the players think **highly** of their coach because he is always fair.

0232 ラジオは運転者に山間部の大雪を警告した。
The radio **warned** drivers of heavy snow in the mountains.

0233 寮生活に慣れるのに数週間かかった。
It took me a few weeks to **adjust** to life in the dormitory.

0234 この規則はすべての例に当てはめることができる。
You can **apply** this rule to all the examples.

0235 運動と健康的な食事を組み合わせるようにしよう。
Try to **combine** exercise with a healthy diet.

0236 小さな店は大型スーパーと競争するのが難しい。
Small shops find it hard to **compete** with large supermarkets.

0237 幼い子どもは空想と現実を区別できないことがよくある。
Young children often can't distinguish **between** fantasy and reality.

0238 肌を強い日差しに長時間さらさないで。
Don't **expose** your skin to strong sunlight for too long.

0239 全生徒が図書館のコンピューターを利用できる。
All students have **access** to the computers in the library.

0240 テーブルのクッキーをご自由にどうぞ。
Please help **yourself** to the cookies on the table.

0241 政府はたばこに新しい税を課した。
The government **imposed** a new tax on cigarettes.

0242 全部僕に任せて。ちゃんとやるから。
Leave everything to me. I'll take care of it.

0243 校長は優勝者にトロフィーを授与した。
The principal **presented** the winner with a trophy.

0244 消防士は燃えている家から子どもを救い出した。
The firefighter **saved** the child from the burning house.

0245 警察は証拠を求めてその家を捜索した。
The police **searched** the house for evidence.

0246 この店は手作り家具を専門に扱っている。
This shop **specializes** in hand-made furniture.

0247 政府は環境を守るために行動を起こさなければならない。
The government must take **action** to protect the environment.

0248 学校は冬の風邪の流行を防ぐ対策を講じている。
Schools have taken **measures** to prevent the spread of colds in winter.

0249 両親は彼女を説得して学校を辞めるのを思いとどまらせた。
Her parents **talked** her out of quitting school.

0250 多くの企業はインターネットを重要なビジネスの道具と見なしている。
Many companies **view** the internet as an important tool for business.

0251 ドアのそばの小さな掲示に誰も気づかなかった。
Nobody took any **notice** of the small sign by the door.

0252 機械を動かすには、このボタンを押しさえすればよい。
All you have to do is press this button to start the machine.

0253 その男は殺人罪で起訴された。
The man was **charged** with murder.

0254 今では世界中の人と簡単にやりとりできる。
These days we can easily **communicate** with people all over the world.

0255 怒っている先生に、誰もあえて質問しようとしなかった。
Nobody **dared** to ask the angry teacher a question.

0256 ソファで映画を見ているうちに眠り込んだ。
I fell **asleep** while watching a movie on the sofa.

0257 その仕事に誰か心当たりの人はいますか。
Do you have anyone in **mind** for the job?

0258 彼女は中国語を含めて3か国語を自由に使いこなせる。
She has a good **command** of three languages, including Chinese.

0259 部長は彼女の仕事ぶりを高く評価している。
The manager has a high **opinion** of her work.

0260 どこに傘を置いてきたのかまったく分からない。
I have no **idea** where I left my umbrella.

0261 子どもは互いに関わり合う中で、たくさんの社会的な力を身に付ける。
Children learn many social skills when they **interact** with each other.

0262 彼女は約束を守って私の演奏会に来てくれた。
She kept her **promise** and came to my concert.

0263 研究者は砂糖の取りすぎを心臓病と関連づけている。
Researchers have **linked** eating too much sugar to heart disease.

0264 私たちは人混みをかき分けて出口へ進んだ。
We made our **way** through the crowd to the exit.

0265 それは誰にも言わないで。
Don't **mention** it to anyone.

0266 彼の研究が新しいがん治療への道を開いた。
His research **paved** the way for new cancer treatments.

0267 選手たちはチームの規則を破ったことで罰を受けた。
The players were **punished** for breaking the team rules.

0268 自分の気持ちを言葉にするのは難しい。
It's hard to **put** my feelings into words.

0269 シャツの値段は 2,000 円から 8,000 円まで幅がある。
The prices of the shirts **range** from 2,000 to 8,000 yen.

0270 ご両親はその知らせにどう反応した？
How did your parents **react** to the news?

0271 休憩して、昼食後に勉強を続けよう。
Let's take a **break** and continue studying after lunch.

0272 彼は毎朝駅まで10キロ歩くことを何とも思っていない。
He thinks **little** of walking ten kilometers to the station every morning.

0273 そんなくだらないことに時間を無駄にするな。
Don't **waste** your time on such silly things.

0274 ドアを強く押したが、どうしても開かなかった。
I pushed the door hard, but it **wouldn't** open.

0275 けがをした男性を助けた彼女の勇気に感心せずにはいられない。
We cannot **but** admire her courage in helping the injured man.

0276 彼は自分がばかにされていると感じて、部屋を出ていった。
He felt they were making a **fool** of him, so he left the room.

0277 彼女はわざわざ招待客一人一人に礼状を書いた。
She took the **trouble** to write a thank-you letter to each guest.

0278 新しい法律は交通事故を減らすことを目指している。
The new law **aims** at reducing traffic accidents.

0279 彼が怒っているときに言い争っても無駄だ。
There's no point in **arguing** with him when he's angry.

0280 トラブルの大半はちょっとした誤解から生じた。
Most of the trouble **arose** from a simple misunderstanding.

0281 お帰りになる前に、一つお願いしてもいいですか。
May I ask a **favor** of you before you go home?

0282 警官は泥棒の腕をつかんだ。
The police officer caught the thief by the **arm** .

0283 三鷹へ行くには新宿で乗り換える必要がある。
You need to change **trains** at Shinjuku for Mitaka.

0284 国際連合は 1945 年に誕生した。
The United Nations came into **being** in 1945.

0285 すべての運転者は新しい交通規則に従わなければならない。
All drivers must **comply** with the new traffic rules.

0286 2 つの学校は協力して祭りを開いた。
The two schools **cooperated** with each other to hold the festival.

0287 2 人はひと目で恋に落ちた。
They fell in **love** with each other at first sight.

0288 昨日ひどく失礼な態度をとったことを許してください。
Please **forgive** me for being so rude yesterday.

0289 心配そうだね。何か気になっていることがあるの？
You look worried. Do you have something on your **mind** ?

0290 先週末はビーチで楽しい時を過ごした。
We had a **good** time at the beach last weekend.

0291 メールに名前を入れるのを忘れないで。
Don't forget to **include** your name in the email.

0292 おじのおかげで天文学に興味を持った。
My uncle **interested** me in astronomy.

0293 1 週間雨が続いて、誰もが日差しを待ち焦がれていた。
After a week of rain, everyone was **longing** for sunshine.

0294 彼は謝るとき、私の目をまっすぐ見られなかった。
He couldn't look me in the **eye** when he said sorry.

0295 どうぞ上がって、くつろいでください。
Please come in and make yourself at **home** .

0296 そのレストランは地元の野菜だけを使うことを誇りにしている。
The restaurant prides **itself** on using only local vegetables.

0297 本校は英語の授業で話す力を重視している。
Our school puts **emphasis** on speaking skills in English class.

0298 火事で古い寺は灰になった。
The fire **reduced** the old temple to ashes.

0299 新市長は街から犯罪をなくすと約束した。
The new mayor promised to **rid** the city of crime.

0300 海が日本をアジア大陸から隔てている。
The ocean **separates** Japan from the Asian continent.

0301 昨夜遅く、誰かが古い倉庫に火をつけた。
Someone set **fire** to the old warehouse late last night.

0302 その研究は子どもがどのように言語を習得するかを解明している。
The study sheds **light** on how children learn languages.

0303 多くの生徒が最初は英文法に苦労する。
Many students **struggle** with English grammar at first.

0304 佐藤先生の休暇中は伊藤先生が私たちのクラスを担当する。
Ms. Ito will take **charge** of our class while Mr. Sato is on leave.

0305 市は学校付近の交通事故を減らすための手を打っている。
The city is taking **steps** to reduce traffic accidents near schools.

0306 私にはその双子の見分けがつかない。
I can't tell the **difference** between the twins.

0307 友人にお金を貸す前には、よく考えた方がいい。
You should think **twice** before you lend money to a friend.

0308 私を子ども扱いしないで。
Please don't **treat** me as a child.

0309 叔父は素敵なレストランで私たちに夕食をおごってくれた。
My uncle **treated** us to dinner at a nice restaurant.

0310 駅に着いたら電話してね。
Give me a **call** when you get to the station.

0311 彼は絵をネットで売ってたくさん稼いだ。
He made a lot of **money** by selling his paintings online.

0312 この写真を見るといつも京都旅行を思い出す。
I never see this photo **without** remembering our trip to Kyoto.

0313 帰る前に必ず窓が閉まっているようにしてください。
Please **see** to it that the windows are closed before you leave.

0314 彼はどこに行っていたかについて両親にうそをついた。
He told a **lie** to his parents about where he had been.

0315 彼女の勇気には本当に感心する。
I really **admire** her for her courage.

0316 旅行の費用は合計 5 万円を超えた。
The cost of the trip **amounted** to more than 50,000 yen.

0317 雨で野球の試合は早く打ち切られた。
The rain **brought** the baseball game to an early end.

0318 その知らせを聞いて、彼女はわっと泣き出した。
When she heard the news, she burst into **tears** .

0319 来月また会えるのが待ちきれないよ。
I can't **wait** to see you again next month.

0320 コートを着なさい。でないと風邪をひくよ。
Put on a coat, or you'll catch a **cold** .

0321 ホテルは駐車料金として 2,000 円を請求した。
The hotel **charged** us 2,000 yen for parking.

0322 夏と言えば花火が頭に浮かぶ。
When I think of summer, fireworks come to **mind** .

0323 太陽光パネルは日光を電気に変える。
Solar panels **convert** sunlight into electricity.

0324 作文のテーマはもう決めた？
Have you **decided** on a topic for your essay yet?

0325 多くの英単語はラテン語に由来する。
Many English words **derive** from Latin.

0326 その歌手は自分の名声を生かして貧困に人々の目を向けさせた。
The singer used her fame to draw **attention** to poverty.

0327 彼女はプロのダンサーになることを夢見ている。
She **dreams** of becoming a professional dancer.

0328 昨夜、ライオン 2 頭が動物園から逃げ出した。
Two lions **escaped** from the zoo last night.

0329 両親は 10 時以降テレビゲームをするのを禁じている。
My parents **forbid** me from playing video games after ten.

0330 地図なしで旧市街を歩いて道に迷った。
We got **lost** in the old town without a map.

0331 冬休みに長野へスキーに行った。
We went **skiing** in Nagano during winter vacation.

0332 宿題をちょっと見せて。
Let me have a **look** at your homework.

0333 支出を把握するためにアプリを使っている。
I use an app to keep **track** of my spending.

0334 その学校は 1 クラスの人数を 30 人に制限している。
The school **limits** the number of students in each class to thirty.

0335 2 つの大学のどちらかを選ぶのは難しかった。
It was hard to make a **choice** between the two universities.

0336 その科学者は医学に大きく貢献した。
The scientist made a great **contribution** to medicine.

0337 祖母は古いカーテンをバッグに作り変えた。
My grandmother made the old curtains **into** a bag.

0338 彼女の力強いスピーチは聴衆に強い印象を与えた。
Her powerful speech made a strong **impression** on the audience.

0339 大学時代、彼女は家計をやりくりするために 2 つの仕事をした。
During college, she worked two jobs to make **ends** meet.

0340 最終バスが出てしまったので、タクシーに乗ったほうがいい。
The last bus has gone, so we may **as** well take a taxi.

0341 休みに祖父母を訪ねた。
We paid a **visit** to our grandparents during the holidays.

0342 コーチは大事な試合に向けてチームを仕上げた。
The coach **prepared** the team for the big game.

0343 今年学んだことを少し振り返ってみよう。
Take some time to **reflect** on what you learned this year.

0344 多くの十代がこの小説の主人公に共感できる。
Many teenagers can **relate** to the main character in this novel.

0345 陰で他人の悪口を言うのは失礼だ。
It is not polite to speak **ill** of others behind their backs.

0346 彼女の生徒は皆、彼女の授業をほめている。
All of her students speak **well** of her lessons.

0347 思い切って奨学金に応募したら、受かった。
I took a **chance** and applied for the scholarship, and I got it.

0348 提出する前に私の作文をちょっと見てもらえますか。
Could you take a **look** at my essay before I hand it in?

0349 新しく事業を始めるのは大きな危険を冒すことだ。
Starting a new business means taking a big **risk** .

0350 彼女は授業中、先生の言うことをいつもメモする。
She always takes **notes** on what the teacher says in class.

0351 主将はチームの敗戦の責任をとった。
The captain took **responsibility** for the team's loss.

0352 新しい公園がその地域をにぎやかな場所にすっかり変えた。
The new park **transformed** the area into a lively place.

0353 多くの日本企業はチームワークと協調を非常に重視する。
Many Japanese companies attach great **importance** to teamwork and harmony.

0354 動物に触れた後は手を洗いなさい。
Wash your hands after you come into **contact** with animals.

0355 新しい交通法は来月施行される。
The new traffic law will come into **effect** next month.

0356 その会社はプラスチックごみの削減に取り組むことを約束した。
The company has committed **itself** to reducing plastic waste.

0357 彼女は東京の大学で海洋汚染について研究している。
She is doing **research** on ocean pollution at a university in Tokyo.

0358 これらの結果から結論を引き出すのはまだ早い。
It is too early to draw a **conclusion** from these results.

0359 ホストファミリーがとても親切だったので、すぐにくつろげた。
My host family was so kind that I felt at **home** right away.

0360 タイ料理は食べたことがないけど、試してみるよ。
I've never eaten Thai food, but I'll give it a **try** .

0361 おじが空港まで車で送ってくれた。
My uncle gave me a **ride** to the airport.

0362 その書店は昨年廃業した。
The bookstore went out of **business** last year.

0363 授業の後で少し話をしてもいいですか。
Can I have a **word** with you after class?

0364 猫に構わないで。触られるのが嫌いなんだ。
Leave the cat **alone** ; it doesn't like to be touched.

0365 これらのいすを運ぶのを手伝ってくれる？
Could you **lend** me a hand with these chairs?

0366 引っ越した後、ほとんどのクラスメートと連絡が途絶えた。
I lost **touch** with most of my classmates after moving.

0367 授業の後でノートを見直すのを習慣にしなさい。
Try to make a **habit** of reviewing your notes after class.

0368 彼は母親の誕生日に必ず電話をする。
He never **fails** to call his mother on her birthday.

0369 兄は私の靴を隠していたずらをした。
My brother played a **trick** on me by hiding my shoes.

0370 スピードの出しすぎは皆の命を危険にさらす。
Driving too fast puts everyone's life at **risk** .

0371 親は子どもに過度の重圧をかけるべきではない。
Parents should not put too much **pressure** on their children.

0372 おばは手作り石けんを売る小さな会社を経営している。
My aunt runs a small **business** selling handmade soap.

0373 上級生は下級生によい手本を示すべきだ。
Older students should set a good **example** to younger ones.

0374 城の前で私たちの写真を撮ってもらえますか。
Could you take a **picture** of us in front of the castle?

0375 作者は物語を子どもが読みやすいものにしようと大変苦心した。
The author took great **pains** to make the story easy for children to read.

0376 以前隣に住んでいたおじいさんはどうなったのだろう。
What has **become** of the old man who used to live next door?

0377 教師は授業をそれぞれの生徒のレベルに合わせる必要がある。
Teachers need to **adapt** their lessons to each student's level.

0378 彼が新しい学校に慣れるまでしばらくかかった。
It took him a while to adapt **himself** to the new school.

0379 双方はようやく会議の日取りについて合意した。
The two sides finally agreed **on** a date for the meeting.

0380 申込用紙に写真を貼ってください。
Please **attach** a photo to your application form.

0381 私はどうしても彼女にその悲しい知らせを伝える気になれなかった。
I couldn't **bring** myself to tell her the sad news.

0382 その事故に関する新事実が先週明るみに出た。
New facts about the accident came to **light** last week.

0383 彼は失った時間を埋め合わせようと必死に勉強した。
He studied hard to **compensate** for the time he had lost.

0384 生徒は校則に従うことが求められている。
Students are expected to **conform** to the school rules.

0385 本当の幸せは、持っているもので満足することにある。
True happiness consists **in** being satisfied with what you have.

0386 日本語の「生きがい」にぴったり相当する英単語はない。
The Japanese word 'ikigai' doesn't exactly **correspond** to any English word.

0387 年齢を理由に人を差別することは違法だ。
It is illegal to **discriminate** against people because of their age.

0388 彼女は一生懸命勉強して、数学の試験でよい成績をとった。
She studied hard and did **well** in the math exam.

0389 紙の本を買う人が減ったため、その小さな書店は倒産した。
The small bookstore went **bankrupt** because fewer people bought paper books.

0390 パソコンの調子が悪くなって、レポートが消えてしまった。
Something went **wrong** with my computer, so I lost my report.

0391 市は新しい公立図書館に投資する計画だ。
The city plans to **invest** in new public libraries.

0392 この発明が私たちの生活を変えたと言っても過言ではない。
It is not too **much** to say that this invention changed our lives.

0393 高齢者が新しい技術についていくのは大変だ。
It is hard for old people to keep **pace** with new technology.

0394 祖父母は田舎で静かな生活を送っている。
My grandparents **lead** a quiet life in the countryside.

0395 木曜日に歯医者の予約を取った。
I made an **appointment** with the dentist for Thursday.

0396 バスで行こうが電車で行こうが、私にはどちらでもよい。
It makes no **difference** to me whether we go by bus or by train.

0397 新しい図書館は地元の学生の必要を満たすよう設計された。
The new library was designed to meet the **needs** of local students.

0398 彼は努力を続け、ついにコンテストで優勝した。
He **persisted** in his efforts and finally won the contest.

0399 彼は家族を養うために仕事を 2 つ掛け持ちしている。
He works two jobs to **provide** for his family.

0400 東京は世界で最も安全な都市の一つと認められた。
Tokyo was **recognized** as one of the safest cities in the world.

0401 問題を解決するために暴力に訴えるべきではない。
We should never **resort** to violence to solve problems.

0402 牛乳が足りなくなってきたので、帰りに買ってくるよ。
We are running **short** of milk, so I'll buy some on the way home.

0403 長く寒い冬の間に、多くの動物が飢え死にした。
Many animals **starved** to death during the long, cold winter.

0404 彼の問題の多くは自信のなさから来ている。
Many of his problems **stem** from a lack of confidence.

0405 洪水で家を失った人々に同情する。
I **sympathize** with people who lost their homes in the flood.

0406 彼の冗談を本気にしてはいけない。人をからかうのが好きなんだ。
Don't take his jokes **seriously**; he likes to tease people.

0407 新しい監督はすぐにチームの主導権を握った。
The new manager quickly took **control** of the team.

0408 スマートフォンに関する新しい校則は来年4月に施行される。
The new school rule about smartphones takes **effect** next April.

0409 その調査で多くの新事実が明らかになった。
The investigation brought many new facts to **light** .

0410 その古い木造家屋は夜の間に燃え出した。
The old wooden house caught **fire** during the night.

0411 生徒たちは文化祭の準備をしている。
The students are getting **ready** for the school festival.

0412 彼の長話の要点が分からなかった。
I didn't get the **point** of his long story.

0413 そのコーチは若い選手たちを全面的に信頼している。
The coach has complete **confidence** in her young players.

0414 彼にうそをつかれて、怒りを抑えるのは大変だった。
It was hard to keep my **temper** when he lied to me.

0415 森で道に迷い、助けを求めなければならなかった。
We lost our **way** in the forest and had to ask for help.

0416 とても忙しくて時間が分からなくなった。
I was so busy that I lost **track** of time.

0417 その小さなカフェは 2 年目に利益を出し始めた。
The small café started to make a **profit** in its second year.

0418 高熱を軽く見てはいけない。
You shouldn't make **light** of a high fever.

0419 締め切りに間に合わせるために毎晩遅くまで働いた。
We worked late every night to meet the **deadline** .

0420 自分の間違いを人のせいにしてはいけない。
Don't put the **blame** on others for your own mistakes.

0421 父は私の卒業式に来るために 1 日休みを取った。
My father took a day **off** to come to my graduation.

0422 息子は最近、宇宙や星に興味を持ち始めた。
My son has recently taken an **interest** in space and stars.

0423 この薬を 1 日 3 回食後に飲みなさい。
Take this **medicine** three times a day after meals.

0424 列車の時刻表の変更に注意してください。
Please take **note** of the changes in the train schedule.

0425 座席を自分の身長に合わせて調節できます。
You can **adjust** the seat to your height.

0426 渋滞を見込んで 1 時間早く出るべきだ。
We should **allow** for traffic jams and leave an hour early.

0427 学校は生徒を博物館へ連れて行くバスを手配した。
The school **arranged** for a bus to take the students to the museum.

0428 その選手は 3 か月の出場停止処分を受けた。
The player was **banned** from playing for three months.

0429 彼は宿題を手伝うという約束を破った。
He **broke** his promise to help me with my homework.

0430 そのニュース報道で、問題がどれほど深刻か私は痛感した。
The news report brought **home** to me how serious the problem was.

0431 壁のカラフルなポスターが目にとまった。
A colorful poster on the wall caught my **eye** .

0432 彼が父親の死を受け入れるまでには何年もかかった。
It took him years to come to **terms** with his father's death.

0433 大臣はそのうわさについてのコメントを拒んだ。
The minister refused to **comment** on the rumor.

0434 今週末、5 チームが優勝を争う。
Five teams will compete **for** the championship this weekend.

0435 彼女は全力をレースに勝つことに注いだ。
She **concentrated** all her energy on winning the race.

0436 筆者は都会の生活を田舎の生活と対比している。
The writer **contrasts** city life with life in the country.

0437 彼は病院に多額の寄付をした。
He **contributed** a lot of money to the hospital.

0438 彼は最初の小説を母にささげた。
He **dedicated** his first novel to his mother.

0439 確かにドアにかぎをかけたのに、なぜか今朝開いていた。
I **did** lock the door, but somehow it was open this morning.

0440 台風は米の収穫に深刻な被害をもたらした。
The typhoon did serious **damage** to the rice crops.

0441 小さな猫が車の下から出てきた。
A small cat **emerged** from under the car.

0442 隣の人は留守の間、私に猫を預けた。
My neighbor **entrusted** me with her cat while she was away.

0443 お話中すみませんが、質問してもいいですか。
Excuse me for **interrupting**, but could I ask a question?

0444 コーチは私たちに大いに期待している。
Our coach **expects** a lot of us.

0445 新製品の売り上げは予想に届かなかった。
The sales of the new product fell **short** of our expectations.

0446 目が覚めると、病院のベッドにいた。
When I woke up, I found **myself** in a hospital bed.

0447 新しい機械のおかげで労働者は退屈な作業から解放される。
The new machine **frees** workers from boring tasks.

0448 失敗への恐れを夢の妨げにしてはいけない。
Don't let your fear of failure get in the **way** of your dreams.

0449 その老犬は目が見えなくなったが、まだ庭を歩き回れた。
The old dog went **blind** but could still walk around the yard.

0450 彼は悪い知らせを両親に隠そうとした。
He tried to **hide** the bad news from his parents.

0451 遠足の日は晴れてほしいと願っている。
We are **hoping** for good weather on the day of the trip.

0452 警察はその男が泥棒だと突き止めた。
The police **identified** the man as the thief.

0453 彼女は貯金をすべて自分のカフェにつぎ込んだ。
She **invested** all her savings in her own café.

0454 彼はバイオリンとビオラの区別もつかない。
He doesn't **know** a violin from a viola.

0455 父はやせたいので、毎日歩いて通勤している。
My father wants to lose **weight**, so he walks to work every day.

0456 子どもは善悪を区別することを学ばなければならない。
Children must learn to make a **distinction** between right and wrong.

0457 彼は毎週母親に電話すると約束した。
He made a **promise** to call his mother every week.

0458 そのイタリア料理店に 4 人分の予約をした。
I made a **reservation** for four at the Italian restaurant.

0459 セールスマンは父を説得して新車を買わせた。
The salesman persuaded my father **into** buying a new car.

0460 彼女は両親に留学の価値を納得させた。
She **persuaded** her parents of the value of studying abroad.

0461 何千人もの人が新しい法律に抗議した。
Thousands of people **protested** against the new law.

0462 新しい規則がうまく機能するかどうかは、まだ分からない。
Whether the new rule will work well **remains** to be seen.

0463 乗組員は沈みかけた船から５人を救出した。
The crew **rescued** five people from the sinking boat.

0464 子どもは驚いてその見慣れない動物をじっと見つめた。
The child **stared** at the strange animal in surprise.

0465 その会社は市全体に電気を供給している。
The company **supplies** electricity to the whole city.

0466 医者は彼に塩分を取りすぎないよう注意した。
The doctor warned him **against** eating too much salt.

0467 政府は抗議者の要求に屈するのを拒んだ。
The government refused to **yield** to the protesters' demands.

0468 寒い気候に慣れるのにしばらくかかった。
It took a while to **accustom** myself to the cold weather.

0469 スタッフはツアー中の安全を私たちに保証した。
The staff **assured** us of our safety during the tour.

0470 合格して、彼女の努力はついに実を結んだ。
All her hard work finally bore **fruit** when she passed the exam.

0471 子どもたちは長い式の間、行儀よくしていた。
The children behaved **themselves** during the long ceremony.

0472 彼はいつも金持ちの父親を自慢している。
He is always **boasting** of his rich father.

0473 彼の冗談にクラス中がどっと笑った。
The whole class burst into **laughter** at his joke.

0474 その有名俳優が車に乗り込むところをちらりと見た。
We caught a **glimpse** of the famous actor as he got into the car.

0475 客が来る前に道の雪をどけた。
We **cleared** the road of snow before the guests arrived.

0476 この小さな懐中電灯は停電のときに役に立つ。
This small flashlight will come in **handy** during a blackout.

0477 両国はついに貿易について合意に達した。
The two countries finally came to an **agreement** on trade.

0478 辞書は幸せを喜びの感情と定義している。
The dictionary **defines** happiness as a feeling of pleasure.

0479 彼女はガーデニングから大きな喜びを得ている。
She **derives** great pleasure from gardening.

0480 今夜は君が皿洗いをする番だ。
It's your turn to do the **dishes** tonight.

0481 6 歳未満の子どもはコンテストの対象外だ。
Children under six are **excluded** from the contest.

0482 彼女は大勢の前でも英語で自分の考えをうまく表現する。
She expresses **herself** well in English, even in front of many people.

0483 彼は旅行中に病気になり、早く帰らなければならなかった。
He fell **ill** during the trip and had to go home early.

0484 地図がなかったが、何とかホテルにたどり着いた。
Without a map, we somehow found our **way** to the hotel.

0485 悪天候のため登山者たちは引き返さざるを得なかった。
Bad weather **forced** the climbers into turning back.

0486 朝にコーヒーを飲む習慣がついた。
I got into the **habit** of drinking coffee in the morning.

0487 好奇心に負けて彼はその箱を開けてしまった。
His curiosity got the **better** of him, and he opened the box.

0488 その病院は重症の患者を優先する。
The hospital gives **priority** to patients in serious condition.

0489 彼女はちらっと時計を見て急いで出て行った。
She **glanced** at her watch and hurried out.

0490 魚を冷蔵庫に入れなさい。でないと腐るよ。
Put the fish in the fridge, or it will go **bad** .

0491 健康と定期的な運動は密接に関係している。
Good health and regular exercise **go** hand in hand.

0492 姉は夏の前にダイエットを始めた。
My sister went on a **diet** before the summer.

0493 彼は私をうそつき呼ばわりまでした。
He went so **far** as to call me a liar.

0494 彼女はわざわざ私たち全員に昼食を作ってくれた。
She went to the **trouble** of making lunch for all of us.

0495 兄は辛い食べ物が好きだ。
My brother has a **liking** for spicy food.

0496 最初は賛成できなかったが、君の言うことには一理ある。
I didn't agree at first, but you have a **point** .

0497 バスケットボールでは背の高い選手のほうが低い選手より有利だ。
Tall players have an **advantage** over short players in basketball.

0498 放課後、私たちは一緒に駅へ向かった。
After school, we **headed** for the station together.

0499 全ての人間に水が必要なら、当然あなたにも水が必要だということになる。
If all humans need water, it **follows** that you need water too.

0500 母は体調を保つために週 2 回泳いでいる。
My mother swims twice a week to keep in **shape** .

0501 多くの子どもは数日でおもちゃへの興味を失う。
Many children lose **interest** in a toy after a few days.

0502 苦い薬を口にして、その子は顔をしかめた。
The child made a **face** when he tasted the bitter medicine.

0503 校長は始業式でスピーチをした。
The principal made a **speech** at the opening ceremony.

0504 登山者たちは頂上を目指して 2 度目の挑戦をした。
The climbers made a second **attempt** to reach the top.

0505 彼は遅刻するといつも言い訳をする。
He always makes an **excuse** when he is late.

0506 その会社は、作業員による損害は全て償うと約束した。
The company promised to make **good** any damage caused by its workers.

0507 そんなゲームにお金を使うくらいなら捨てたほうがましだ。
You **might** as well throw your money away as spend it on such a game.

0508 ネットのお店で新しい靴を注文した。
I **ordered** a new pair of shoes from an online shop.

0509 茶を飲む習慣は中国で始まったと考えられている。
Tea drinking is thought to have **originated** in China.

0510 自分の気持ちを言葉にするのは難しい。
It is hard to put my feelings into **words** .

0511 この仕事で私に求められていることは何ですか。
What is **required** of me in this job?

0512 親友が大阪に引っ越してから、私は彼女にほとんど会っていない。
Since my best friend moved to Osaka, I have seen **little** of her.

0513 いとこたちが大阪に引っ越してから、あまり会っていない。
I haven't seen **much** of my cousins since they moved to Osaka.

0514 子どもたちは鳥が元気になった後、空へ放した。
The children set the bird **free** after it got better.

0515 始める前に現実的な目標を立てることが大切だ。
It is important to set a realistic **goal** before you start.

0516 コンサートのチケットを買うために１時間列に並んだ。
We stood in **line** for an hour to buy the concert tickets.

0517 仕事と休息のバランスをとることが大切だ。
It's important to strike a **balance** between work and rest.

0518 昼食後に公園を散歩しよう。
Let's take a **walk** in the park after lunch.

0519 人混みの中で、男の子は母親の手をつかんだ。
The boy took **hold** of his mother's hand in the crowd.

0520 その老婦人はお腹を空かせた猫を気の毒に思って、食べ物を与えた。
The old woman took **pity** on the hungry cat and gave it some food.

CHAPTER 3

be＋形容詞＋前置詞

be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。 No.0521〜0630（110 問）

問題

0521 □□□

You told a lie to your best friend? You should be ashamed ＿＿＿ yourself.

① to ② of
③ with ④ at

② be ashamed of ~ 〜を恥じている

訳 親友にうそをついたの？自分を恥ずかしく思うべきだよ。

解説 be ashamed of ~ で「〜を恥じる」。You should be ashamed of yourself. は「恥を知りなさい」と叱る決まり文句。to は to do（不定詞）の形でしか使わず、yourself のような名詞は続けられない。with / at は ashamed と組まない。

区別 **be ashamed of ~ ⇔ be embarrassed** ashamed は悪いことをした罪悪感を伴う「恥」、embarrassed は人前で転ぶ・言い間違えるなど、悪くはないが「きまりが悪い・照れくさい」。見分け方：うそ・不正など自分の非があるなら ashamed、単なる失敗やばつの悪さなら embarrassed。

0522 □□□

When the teacher asked me why I hadn't done my homework, I was at a loss ＿＿＿ words.

① in ② of
③ for ④ with

③ be at a loss 途方に暮れている；困っている

訳 なぜ宿題をしなかったのかと先生に聞かれて、私は言葉に詰まった。

解説 be at a loss for words で「言葉に詰まる・何と言ってよいか分からない」。for は「〜を求めて」の意味で、言葉を探しても見つからない状態を表す。in / of / with はこの決まった形には使わない。what to say を続けるなら for は不要。

区別 **be at a loss ⇔ at a loss（損をして）** sell ~ at a loss のように動詞の後ろに付くと「損失を出して・赤字で」というお金の意味になる。見分け方：be 動詞＋ at a loss で人が主語なら「途方に暮れる」、sell / run（a business）など商売の動詞の後ろなら「赤字で」。

0523 □□□

I couldn't go out last weekend because I was busy ＿＿＿ for the exam.

① to study ② study
③ studying ④ studied

③ be busy with ~ 〜で忙しい

訳 試験勉強で忙しかったので、先週末は出かけられなかった。

解説 be busy の後ろに動作を続けるときは ~ing の形（be busy studying）。to study は不可で、入試で一番狙われる誤り。原形 study や過去形 studied も busy の直後には置けない。名詞なら be busy with the exam となる。

区別 **be busy with ~ ⇔ be busy ~ing** 名詞なら with、動作なら直接 ~ing を続ける。to 不定詞は不可。見分け方：空所の後ろが名詞（work / exams）なら with、動詞なら ~ing の形を選ぶ。spend time ~ing / have trouble ~ing と同じ「~ing を直接続ける」仲間。

0524 ☐☐☐

Even after hurting her knee, Mia was determined _____ the marathon.

① finishing ② finish
③ finished ④ to finish

④ be determined to do ～しようと固く決心している

訳 膝を痛めた後でも、ミアはマラソンを完走しようと固く決意していた。

解説 be determined to do で「～しようと固く決心している」。to の後ろは原形なので to finish。finishing（動名詞）や finish（原形のみ）、finished は determined の後ろに直接置けない。怪我をしても走り切る強い決意を表す文。

区別 **be determined to do ⇔ be determined by ~** 受動態の be determined by ~ は「～によって決定される」で、主語は物事（価格・結果など）。be determined to do の主語は決意する人。見分け方：後ろが by ＋ 決定要因なら「決められる」、to ＋ 動詞なら「決意している」。

0525 ☐☐☐

My grandfather was engaged _____ farming for more than forty years.

① to ② in
③ at ④ for

② be engaged in ~ ～に従事している；～に携わっている

訳 祖父は 40 年以上農業に従事していた。

解説 仕事・活動に「従事している」は be engaged in ~。to を使うと be engaged to ~（～と婚約している）で、後ろは人になる。at / for は engaged と組んで「従事」の意味にならない。forty years の継続とも合う。

区別 **be engaged in ~ ⇔ be engaged to ~** to の後ろが人なら「～と婚約している」。in の後ろは仕事・活動。見分け方：後ろが人（to Mary）なら婚約、活動・研究なら従事。× be engaged with Mary（婚約の意味にならない）。

0526 ☐☐☐

The children were so _____ about the school trip that they couldn't sleep.

① excited ② exciting
③ excite ④ excitement

① be excited about ~ ～にわくわくしている

訳 子どもたちは修学旅行にとてもわくわくしていて、眠れなかった。

解説 主語は children（人）で、旅行に「わくわくさせられている」ので過去分詞 excited。exciting は「物事が人をわくわくさせる」側で、人の気持ちには使わない。excite（動詞の原形）や excitement（名詞）は were の後ろの補語として形が合わない。

区別 **be excited about ~ ⇔ exciting** excited は「（人が）わくわくさせられた」、exciting は「（物事が）わくわくさせる」。見分け方：主語が人で気持ちを表すなら excited、主語が試合・旅行など物事なら exciting。× I'm exciting.（私は人をわくわくさせる人だ、の意味になる）。

0527 □□□

His explanation was far ———— clear; nobody in the class understood it.

① of　② off
③ from　④ away

③ be far from ~ 決して～ではない；～からほど遠い

訳 彼の説明は決して分かりやすいものではなく、クラスの誰も理解できなかった。

解説 be far from ~ で「決して～ではない」。後ろに形容詞 clear を置ける。far off / far away は「遠く離れて」という副詞で、後ろに形容詞を続けて否定の意味にはできない。of は far と組まない。後半の「誰も理解しなかった」と意味が合う。

区別 **be far from ~ ⇔ be free from ~** free from は「（嫌なもの）がない・免れている」（free from worry）。far from は「～とはほど遠い＝全然～でない」で、後ろには本来あってよい性質が来る。見分け方：far from perfect は「完璧には遠い」、free from mistakes は「間違いがない」。

0528 □□□

You can use this train ticket as many times as you like. It's good ———— three days.

① at　② to
③ with　④ for

④ be good for ~ ～によい；～の間有効である

訳 この切符は何度でも使えます。3 日間有効です。

解説 切符・券が主語の be good for ~ は「～の間有効である」。for は期間を表す。at は「～が得意」、to は「～に親切」で、どちらも期間とは組まない。with も不可。何度でも使えるという前の文と合う。

区別 **be good for ~ ⇔ be good at ~** at は「～が得意・上手」で、主語は人、後ろは技能・活動（be good at math / swimming）。for は「～のためになる・有効」。見分け方：人の能力なら at、物事が何かに役立つ・有効なら for。

0529 □□□

In this country, all passengers are obliged ———— a seat belt, even in the back seat.

① wearing　② to wear
③ wear　④ for wearing

② be obliged to do ～せざるをえない；～する義務がある

訳 この国では、後部座席でも、乗客は全員シートベルトを締めることが義務づけられている。

解説 be obliged to do で「～する義務がある・～せざるをえない」。oblige A to do の受動態なので to ＋ 原形。wearing / for wearing のように動名詞にはならず、原形 wear だけでも不可。法律・規則の文でよく使われる硬い表現。

区別 **be obliged to do ⇔ be obliged to** ＋ 人 to の後ろが人（または for ＋ 物事）なら「～に感謝している」（I'm obliged to you for your help）。to の後ろが動詞の原形なら「～せざるをえない」。見分け方：to の後ろが動詞か人かを見る。

0530 ☐☐☐

My brother is a great writer, but he is poor at _____ speeches in front of people.

① making ② make
③ to make ④ made

① be poor at ~ ～が下手である；～が苦手である

訳 兄［弟］は文章を書くのはとても上手だが、人前でスピーチをするのは苦手だ。

解説 at は前置詞なので後ろは動名詞 making。原形 make、不定詞 to make、過去分詞 made は前置詞の後ろに置けない。「人前でスピーチをするのが苦手」という技能の話なので be poor at ~ がぴったり。

区別 **be poor at ~ ⇔ be poor in ~** in は「（資源・成分など）が乏しい」で、主語は土地・食べ物など（poor in vitamins）。at は人の能力。見分け方：人の技能なら at、物に含まれる量なら in。反対はそれぞれ good at / rich in。

0531 ☐☐☐

Many doctors recommend this vegetable because it is rich _____ iron and fiber.

① at ② of
③ in ④ for

③ be rich in ~ ～が豊富である

訳 この野菜は鉄分と食物繊維が豊富なので、多くの医者が勧めている。

解説 「（成分）が豊富である」は be rich in ~。at は能力（good at）、of は full of の形で使い rich とは組まない。for も不可。主語が野菜で、含まれる栄養素を表しているので in が正しい。

区別 **be rich in ~ ⇔ be poor in ~** 反対の「～が乏しい」も同じ in を使う。be poor at ~（～が下手）と取り違えやすい。見分け方：含まれる量の多い・少ないなら rich / poor in、人の能力なら good / poor at。

0532 ☐☐☐

I'm a little short _____ money this month. Could you lend me 3,000 yen?

① of ② for
③ with ④ in

① be short of ~ ～が不足している

訳 今月は少しお金が足りないんだ。3,000 円貸してもらえる？

解説 「（お金など）が不足している」は be short of ~。short for は「～の略である」で意味が違う。with / in は short と組んで不足を表さない。お金を貸してと頼む流れから、不足の of が正しい。

区別 **be short of ~ ⇔ be short for ~** for の後ろには元の長い語が来て「～の略である」（TV is short for television）。of は「不足」。見分け方：主語が略語なら for、主語が人で物が足りないなら of。

0533 ☐☐☐

I really feel sorry _____ the families who lost their homes in the flood.

① to ② at
③ with ④ for

④ be sorry for ~ ～を気の毒に思う；～をすまなく思う

訳 洪水で家を失った家族の方々を本当に気の毒に思う。

解説 feel sorry for ＋ 人で「～を気の毒に思う」。to は sorry to do の不定詞の形でしか使わず、名詞 the families を直接続けられない。at / with も sorry と組まない。洪水の被害者への同情を表す文。

区別 **be sorry for ~ ⇔ be sorry to do** to do は「～して（知って）残念だ」（I'm sorry to hear that）か、これからする行為への断り（Sorry to bother you）。for ~ing は「（すでにした）ことをわびる」。見分け方：聞いて気の毒・残念なら to hear、自分の過去の行為をわびるなら for ~ing。

0534 ☐☐☐

There is something wrong ＿＿＿＿ my computer; it keeps shutting down by itself.

① with　② in
③ for　④ about

① There is something wrong with ~

～はどこか調子が悪い；～はどこかおかしい

訳 私のパソコンはどこか調子がおかしい。勝手に電源が切れてばかりいる。

解説 「～はどこか調子が悪い」は There is something wrong with ~。about を使うと be wrong about ~（～について考えが間違っている）の意味になり、機械の不具合には使わない。in / for も wrong と組んで不具合を表さない。

区別 **There is something wrong with ~ ⇔ be wrong about ~** be wrong about ~ は「～について（人の判断が）間違っている」（I was wrong about him）。something wrong with ~ は「～に不具合がある」。見分け方：人の考え・判断の誤りなら about、物・体の調子が悪いなら with。

0535 ☐☐☐

Many teenagers are addicted to ＿＿＿＿ their phones late at night.

① checking　② check
③ be checking　④ have checked

① be addicted to ~

～の中毒になっている；～にふけっている

訳 多くの 10 代の若者が、夜遅くにスマートフォンをチェックすることに夢中になっている［やめられなくなっている］。

解説 be addicted to ~ の to は前置詞なので、後ろは動名詞 checking。不定詞と勘違いして原形 check を選ぶのが典型的な誤り。be checking / have checked も前置詞の後ろには置けない。

区別 **be addicted to ~ ⇔ be devoted to ~** devoted to は「～に献身的・打ち込んでいる」というほめる意味。addicted to はやめられない「中毒」で悪い意味。見分け方：やめたくてもやめられない悪習なら addicted、熱心に尽くす対象なら devoted。どちらも to ＋ ~ing。

0536 ☐☐☐

I'm really bad ＿＿＿＿ remembering people's names, so I always write them down.

① for　② in
③ at　④ with

③ be bad at ~　～が下手である

訳 私は人の名前を覚えるのが本当に苦手なので、いつも書き留めている。

解説 能力が「下手だ」は be bad at ~。for だと be bad for ~（～に悪い・有害だ）になり、主語は物事でなければならない。in / with も bad と組んで能力を表さない。名前を覚える能力の話なので at。

区別 **be bad at ~ ⇔ be bad for ~** for は「～に悪い・害になる」で、主語は物事（Smoking is bad for you）。at は人の能力。見分け方：主語が人で下手なら at、主語が物事で害になるなら for。good at / good for と全く同じ使い分け。

0537 □□□

I'm ＿＿＿＿ with this video game. Let's play something else.

① boring ② bore
③ boredom ④ bored

④ be bored with ~ ～に退屈している；～に飽きている

訳 このテレビゲームには飽きた。何か別のことをして遊ぼう。

解説 主語 I は「退屈させられている」側なので過去分詞 bored。boring は物事が人を退屈させる側で、I'm boring. だと「私はつまらない人間だ」の意味になる。bore（動詞・名詞）や boredom（名詞）は補語の形として合わない。

区別 **be bored with ~ ⇔ boring** bored は「（人が）退屈させられた」、boring は「（物事が）退屈させる」。見分け方：主語が人で気持ちなら bored、主語が授業・映画など物事なら boring。× I'm boring. は「私はつまらない人間だ」の意味になる。

0538 □□□

Sorry I'm late. We were caught ＿＿＿＿ a traffic jam on the highway.

① in ② on
③ at ④ into

① be caught in ~ （雨・渋滞など）にあう

訳 遅れてごめん。高速道路で渋滞に巻き込まれたんだ。

解説 「（渋滞・雨など）に遭う」は be caught in ~。渋滞の「中に」閉じ込められたので in。on / at は caught と組んでこの意味にならず、into も be caught の後ろには置かない。遅刻の言い訳の定番。

区別 **be caught in ~ ⇔ be caught by ~** be caught by ~ は「～に捕まえられる」（The thief was caught by the police）で、by の後ろは捕まえる人。be caught in は「（天候・状況）の中に閉じ込められる」。見分け方：後ろが雨・渋滞など状況なら in、警察など行為者なら by。

0539 □□□

The nurse has been devoted to ＿＿＿＿ sick children for over twenty years.

① help ② helping
③ helped ④ be helped

② be devoted to ~ ～に専念している；～に献身的である

訳 その看護師は 20 年以上、病気の子どもたちを助けることに身をささげてきた。

解説 be devoted to ~ の to は前置詞なので後ろは動名詞 helping。不定詞と勘違いして原形 help を選ぶのが典型的な誤り。helped / be helped も前置詞の後ろに置けない。長年の献身を表す文。

区別 **be devoted to ~ ⇔ be dedicated to ~** ほぼ同じ意味で、どちらも to ＋ ~ing。dedicated は仕事・目的への「専心」、devoted は家族・人への「深い愛情」まで含みやすい。入試ではどちらも前置詞の to と後ろの ~ing が問われる。

0540 □□□

We were very ＿＿＿＿ to hear that the concert had been canceled because of the rain.

① disappointing
② disappoint
③ disappointed
④ disappointment

③ be disappointed with ~ ～にがっかりしている

訳 雨のためにコンサートが中止になったと聞いて、私たちはとてもがっかりした。

解説 主語 We は「がっかりさせられた」側なので過去分詞 disappointed。be disappointed to hear ~ で「～と聞いてがっかりした」。disappointing は物事が主語のとき。disappoint（動詞）や disappointment（名詞）は were の補語に合わない。

区別 **be disappointed with ~ ⇔ disappointing** disappointed は「（人が）がっかりさせられた」、disappointing は「（物事が）がっかりさせる」。見分け方：主語が人なら disappointed、主語が結果・映画など物事なら disappointing。

0541 □□□

The new bridge across the river is expected _____ next spring.

① to complete　② completing
③ being completed　④ to be completed

④ be expected to do

～すると見込まれている；～することになっている

訳 川に架かる新しい橋は来年の春に完成する予定だ。

解説 be expected to do の形で、主語の橋は「完成させられる」側なので to be completed（受動の不定詞）。to complete だと橋が何かを完成させる意味になる。completing / being completed は expected の後ろに置けない。

区別 **be expected to do ⇔ expect A to do**（能動態） 能動態は主語が予想する人で、A の後ろに to do。受動態は A が主語になり be expected to do。見分け方：予想する人が主語なら expect A to do、予想される物が主語なら be expected to do。完成など物がされる側なら to be done。

0542 □□□

The student council _____ ten members from different grades.

① consists　② is consisted of
③ is made up of　④ makes up of

③ be made up of ～ ～から成り立っている

訳 生徒会はいろいろな学年から選ばれた 10 人で構成されている。

解説 全体（生徒会）が主語で「～から成る」は is made up of。consists は of がないので不可（consists of なら正しい）。consist は自動詞なので is consisted of は誤り。makes up of という形はない（make up ～ なら部分が主語）。

区別 **be made up of ～ ⇔ consist of ～** 意味は同じだが、consist は自動詞なので受動態にしない（× is consisted of）。be made up of は受動の形。見分け方：be 動詞があれば made up of / composed of、なければ consist of。

0543 □□□

The weather may change quickly in the mountains, so be prepared _____ the worst.

① to　② with
③ of　④ for

④ be prepared for ～

～の準備ができている；～を覚悟している

訳 山では天気が急に変わることがあるので、最悪の事態に備えておきなさい。

解説 be prepared for ～ で「～に備えている・覚悟している」。the worst（最悪の事態）は名詞なので for。to は to do の形で動詞が続くときに使う。with / of は prepared と組まない。山の天候への備えを促す文。

区別 **be prepared for ～ ⇔ be prepared to do** for ＋ 名詞は「～に備えている」、to do は「～する心づもりがある・進んで～する」（be prepared to help）。見分け方：備える対象（出来事）なら for、自分がする行動なら to do。

0544 ☐☐☐

This movie contains violent scenes, so it is not suitable ＿＿＿ young children.

① with　② for
③ at　④ of

② be suitable for ~　~に適している

訳 この映画には暴力的な場面があるので、小さな子どもには適していない。

解説 「~に適している」は be suitable for ~。for は「~にとって」と対象を表す。with / at / of は suitable と組まない。暴力的な場面があるので「子どもにはふさわしくない」という流れ。

区別 **be suitable for ~ ⇔ suit / be suited to ~**　動詞 suit は「（服・色が）人に似合う」（The dress suits you）、be suited to / for ~ は「（人が仕事など）に向いている」で、主語は人が多い。be suitable for は物・人どちらでも「ふさわしい」。見分け方：似合うなら suit。

0545 ☐☐☐

She was so tired ＿＿＿ working twelve hours that she fell asleep on the train home.

① of　② to
③ from　④ on

③ be tired from ~　~で疲れている

訳 彼女は 12 時間働いてとても疲れていたので、帰りの電車で眠ってしまった。

解説 12 時間働いたことが原因で体が疲れ、電車で眠ってしまったので be tired from ~（~で疲れている）。of だと「~にうんざりしている」という気持ちの飽きになり、眠ってしまった理由として合わない。to / on は tired と組まない。

区別 **be tired from ~ ⇔ be tired of ~**　of は「~に飽きている・うんざりしている」という気持ち。from は「~が原因で体が疲れている」。見分け方：繰り返し・同じことに嫌気がさしているなら of、運動・仕事など体力を使った原因なら from。be sick of / be fed up with が of の仲間。

0546 ☐☐☐

It was very kind ＿＿＿ you to drive me to the station in the rain.

① for　② of
③ to　④ with

② It is kind of A to do　~するとは A は親切だ

訳 雨の中、駅まで車で送ってくれて本当にありがとう［親切にも送ってくれた］。

解説 kind は人の性質を表す形容詞なので It is kind of A to do の形。You were kind.（あなたは親切だった）と言えるので of。for は easy / difficult など行為の評価に使う。to / with はこの構文に入らない。

区別 **It is kind of A to do ⇔ It is ~ for A to do**　easy / difficult / necessary / important など「行為の性質」を表す形容詞は for A。見分け方：「A は~だ」と人をほめる・けなす意味になれば of、「A にとって~は簡単・必要」なら for。You are kind.（○）と言えれば of。

0547 □□□

People are apt ＿＿＿＿ careless mistakes when they are tired.

① making　② to make
③ make　④ for making

② be apt to do ～しがちである；～する傾向がある

訳 人は疲れていると、うっかりミスをしがちだ。

解説 be apt to do で「～しがちだ」。to の後ろは原形なので to make。making / for making のように動名詞は続かず、原形 make だけでも不可。疲れていると間違えやすい、という人の傾向を表す文。

区別 **be apt to do ⇔ be likely to do** be likely to do は「（その時に）～しそうだ」と個別の可能性を言う（It is likely to rain）。be apt to do は「（性質として）よく～する傾向がある」。見分け方：今回起こりそうかなら likely、いつもの癖・性質なら apt。

0548 □□□

The buses are very crowded at this hour. You'd be better off ＿＿＿＿ a taxi.

① to take　② take
③ taking　④ took

③ be better off
もっと暮らし向きがよい；～するほうがよい

訳 この時間帯のバスはとても混んでいる。タクシーに乗ったほうがいいよ。

解説 be better off ~ing で「～するほうがよい」。better off の後ろは動名詞なので taking。to take は不可、原形 take は had better の形のときだけ。took も形が合わない。混雑を避けてタクシーを勧める助言。

区別 **be better off ⇔ had better do** had better do は「～しなさい（さもないと困る）」と強い忠告で、目上の人には失礼になりうる。be better off ~ing は「～するほうが得・楽だ」と状況の比較。形も had better ＋ 原形、be better off ＋ ~ing と違う。

0549 □□□

Our school is committed to ＿＿＿＿ the amount of plastic waste.

① reduce　② be reduced
③ reduced　④ reducing

④ be committed to ~
～に打ち込んでいる；～に力を注いでいる

訳 私たちの学校は、プラスチックごみの量を減らすことに真剣に取り組んでいる。

解説 be committed to ~ の to は前置詞なので後ろは動名詞 reducing。不定詞と思い込んで原形 reduce を選ぶのが典型的な誤り。be reduced / reduced も前置詞の後ろに置けない。学校の方針を述べる文。

区別 **be committed to ~ ⇔ commit a crime** 他動詞 commit ~ は「（罪・過ち）を犯す」（commit a crime / suicide）。be committed to は「～に専心している」で、良い意味が多い。見分け方：後ろが to ＋ 目標なら専心、目的語に罪・過ちが来れば「犯す」。

0550 □□□

Water is composed ＿＿＿ hydrogen and oxygen.

① from ② by
③ of ④ with

③ be composed of ~ ～から構成されている

訳 水は水素と酸素から成っている。

解説 「～から構成されている」は be composed of ~ で前置詞は of。from は be made from（原料から作られる）の前置詞で composed とは組まない。by / with も構成要素を示せない。consist of と同じ of と覚える。

区別 **be composed of ~ ⇔ consist of ~** consist は自動詞で受動態にしない（× is consisted of）。compose は他動詞なので受動の be composed of になる。見分け方：be 動詞があれば composed of / made up of、なければ consist of。

0551 □□□

Walking home alone at night, she was conscious ＿＿＿ someone following her.

① to ② of
③ at ④ with

② be conscious of ~
～を意識している；～に気づいている

訳 夜一人で歩いて帰っていると、彼女は誰かが後をつけてくるのに気づいた。

解説 be conscious of ~ で「～を意識している・～に気づいている」。of の後ろは名詞・動名詞（someone following her は動名詞の意味上の主語つき）。to / at / with は conscious と組まない。aware of と同じ of と覚える。

区別 **be conscious of ~ ⇔ be aware of ~** aware は「（情報として）知っている・気づいている」、conscious は「（体や心で）感じて意識している」に重心がある。入試ではほぼ同じ意味で扱われ、どちらも of ＋ 名詞 / that 節。conscious だけ「意識がある（起きている）」の意味もある。

0552 □□□

My grandfather doesn't want a big house. He is content ＿＿＿ a simple life in the country.

① with ② of
③ at ④ for

① be content with ~ ～に満足している；～で満足する

訳 祖父は大きな家を欲しがっていない。田舎での質素な暮らしに満足している。

解説 「～に満足している」は be content with ~。前置詞は be satisfied with と同じ with。of / at / for は content と組まない。大きな家を望まない、という控えめな満足の文脈に合う。

区別 **be content with ~ ⇔ be satisfied with ~** satisfied は「（期待・条件が）満たされて満足」、content は「（多くを望まず）今あるもので満足」という控えめな満足。見分け方：今の状態に不満を持たず受け入れているなら content。どちらも前置詞は with。

0553 □□□

My little brother is crazy ＿＿＿ dinosaurs. He knows the names of over a hundred kinds.

① of ② to
③ about ④ with

③ be crazy about ~ ～に夢中である

訳 弟は恐竜に夢中だ。100 種類以上の名前を知っている。

解説 「～に夢中だ」は be crazy about ~。about は「～のことで（頭がいっぱい）」。of / to / with は crazy と組んで夢中の意味にならない。名前を百種類以上知っている、という熱中ぶりと合う。

区別 **be crazy about ~ ⇔ drive A crazy** drive A crazy は「A をいらいらさせる・気を狂わせる」（The noise drives me crazy）で、主語が原因。be crazy about は「～に夢中」で良い意味。見分け方：about ＋ 好きな対象なら夢中、drive ＋ 人なら迷惑。

0554 □□□

I've always been curious ＿＿＿ how airplanes stay in the air.

① about　② in
③ at　④ with

① be curious about ~

~に好奇心をもっている；~を知りたがっている

訳 私は飛行機がどうやって空中に浮かんでいられるのか、ずっと興味を持ってきた。

解説 「~を知りたがっている」は be curious about ~。about の後ろに wh 節（how ~）も置ける。in は interested in の前置詞で curious とは組まない。at / with も不可。飛行機の仕組みを知りたいという好奇心の文。

区別 **be curious about ~ ⇔ curious**（奇妙な） 物事が主語・名詞の前の curious は「奇妙な・不思議な」（a curious noise）。人が主語の be curious about は「知りたがる」。見分け方：主語が人で about が続けば好奇心、物事の性質を言うなら「奇妙な」。

0555 □□□

The next train is due ＿＿＿ at 10:30, but it may be a little late.

① arriving　② to arrive
③ arrive　④ for arriving

② be due to do ~する予定である

訳 次の電車は 10 時 30 分に到着する予定だが、少し遅れるかもしれない。

解説 be due to do で「~する予定だ」。to の後ろは原形なので to arrive。arriving / for arriving のような動名詞は続かず、原形 arrive だけでも不可。時刻と「少し遅れるかもしれない」から予定の意味と分かる。

区別 **be due to do ⇔ due to ＋ 名詞** due to の後ろが名詞なら「~が原因で」（due to the rain）＝ because of。to の後ろが動詞の原形なら「~する予定だ」。見分け方：to の直後が名詞か動詞かを見る。

0556 □□□

I'm fed up ＿＿＿ his excuses. He's late every single day.

① on　② at
③ to　④ with

④ be fed up with ~ ~にうんざりしている

訳 彼の言い訳にはうんざりだ。彼は毎日遅刻している。

解説 「~にうんざりしている」は be fed up with ~。on / at / to は fed up と組まない。毎日遅刻して言い訳ばかり、という繰り返しへの嫌気を表す文なので with が正しい。

区別 **be fed up with ~ ⇔ be tired from ~** be fed up with / be tired of は「~に飽き飽きしている」気持ち、be tired from は「~で体が疲れている」。見分け方：繰り返しにうんざりなら fed up with、運動・仕事の疲労なら tired from。

0557 □□□

Smoking is harmful ＿＿＿ not only smokers but also the people around them.

① with　② at
③ to　④ of

③ be harmful to ~ ~に有害である

訳 喫煙は、喫煙者だけでなく周りの人にも害がある。

解説 「~に有害である」は be harmful to ~。to は害が向かう相手を示す。with / at / of は harmful と組まない。not only A but also B の A・B に害を受ける人が入っている。

区別 **be harmful to ~ ⇔ be good for ~** 有益は good for（for）、有害は harmful to（to）と前置詞が違う。be bad for ~ も for。見分け方：harmful の後ろは to、good / bad の後ろは for。do harm to ~ も to なので「harm は to」とまとめる。

0558 □□□

After hearing both sides of the argument, I'm inclined ＿＿＿＿ with you.

① agreeing　② agree
③ to agreeing　④ to agree

④ be inclined to do

～したい気がする；～する傾向がある

訳 議論の両方の言い分を聞いて、私はあなたに賛成したい気持ちになっている。

解説 be inclined to do で「～したい気がする」。to の後ろは原形なので to agree。agreeing / to agreeing のように動名詞にはならず、原形 agree だけでも不可。意見をやわらかく述べる言い方。

区別 **be inclined to do ⇔ be likely to do** be likely to do は「（客観的に）～しそうだ」と可能性の予測。be inclined to do は「（気持ち・性質として）～したい・しがち」と主語の内面の傾き。見分け方：主語の気持ちなら inclined、起こる見込みなら likely。

0559 □□□

He seems completely indifferent ＿＿＿＿ what other people think of him.

① to　② from
③ with　④ at

① be indifferent to ～ ～に無関心である

訳 彼は他人にどう思われているかに全く無関心なようだ。

解説 「～に無関心だ」は be indifferent to ～。from は be different from（～と違う）の前置詞で、indifferent とは組まない。with / at も不可。他人の評価を気にしないという意味の文。

区別 **be indifferent to ～ ⇔ be different from ～** be different from は「～と違う」で前置詞は from。be indifferent to は「～に無関心」で前置詞は to。見分け方：比較なら different from、関心の有無なら indifferent to。見た目が似ているので前置詞で区別する。

0560 □□□

My skin is very ＿＿＿＿ to sunlight, so I always wear sunscreen.

① sensible　② sensitive
③ sensory　④ sensation

② be sensitive to ～ ～に敏感である；～に気を配る

訳 私の肌は日光にとても敏感なので、いつも日焼け止めを塗っている。

解説 「～に敏感な」は sensitive。sensible は「分別のある」で日光への反応を表せない。sensory は「感覚の」で名詞の前に置く形容詞（sensory organs）、sensation は名詞。to sunlight と組んで敏感さを表すのは sensitive。

区別 **be sensitive to ～ ⇔ sensible** sensible は「分別のある・賢明な」（a sensible decision）で、敏感さとは無関係。sensitive は「敏感な・繊細な」。見分け方：判断がまともかなら sensible、刺激・気持ちに反応しやすいなら sensitive。語尾 -ible / -itive で区別する。

0561 □□□

It's been raining for two weeks. I'm really sick ＿＿＿＿ this weather.

① with　② for
③ of　④ at

③ be sick of ～ ～にうんざりしている

訳 2 週間も雨が降り続いている。この天気には本当にうんざりだ。

解説 「～にうんざりしている」は be sick of ～。with を使うと be sick with ～ で「（病気）にかかっている」の意味になり、後ろは病名。for / at も sick と組まない。2 週間の雨への嫌気を表す文。

区別 **be sick of ～ ⇔ be sick with ～** with の後ろが病名なら「～で病気だ」（be sick with the flu）。of は「～にうんざり」。見分け方：後ろが病気なら with、嫌気がさしている物事なら of。

0562 ☐☐☐

The small village is ———— by high mountains on all sides.

① surrounded ② surrounding
③ surround ④ surroundings

① be surrounded by ~ ～に囲まれている

訳 その小さな村は四方を高い山に囲まれている。

解説 村は山に「囲まれている」側なので受動態 is surrounded by ~。surrounding は「周りの」という形容詞か現在分詞で、is surrounding だと村が何かを囲んでいる意味になる。surround（原形）や surroundings（名詞）は is の後ろに合わない。

区別 **be surrounded by ~ ⇔ surrounding / surroundings** surrounding は「周りの」という形容詞（the surrounding area）、surroundings は「環境・周囲」という名詞（複数形）。be surrounded by は受動態。見分け方：be 動詞の後ろで by が続けば surrounded。

0563 ☐☐☐

In many countries, the color red is associated ———— danger.

① to ② by
③ with ④ for

③ be associated with ~
～と関連している；～と結びつけられる

訳 多くの国で、赤という色は危険と結びつけられている。

解説 associate A with B の受動態なので be associated with ~。to は誤りで、日本語の「～に関連して」につられて選びやすい。by / for も associated と組んで関連・連想を表さない。

区別 **be associated with ~ ⇔ be connected with ~** connected with は物理的・事実上の「つながり」（電話・交通・事件）、associated with は「（頭の中で）結びつけて考えられる・関連づけられる」。見分け方：連想・イメージ・統計的関連なら associated。

0564 ☐☐☐

Our plan is well prepared, so it is certain ————.

① to succeed ② of succeeding
③ succeed ④ that succeeds

① be certain to do きっと～する

訳 私たちの計画は十分に準備されているので、きっと成功する。

解説 主語が物事（計画）で「きっと成功する」は be certain to do。be certain of ~ は「（人が）確信している」で、主語が人でなければならないので plan には使えない。原形 succeed や that succeeds は certain の後ろに置けない。

区別 **be certain to do ⇔ be certain of ~** be certain of ~ / that 節は「（主語の人が）～を確信している」。be certain to do は「（話し手から見て）主語はきっと～する」。見分け方：He is certain of winning は彼が確信、He is certain to win は話し手が確信。

0565 ☐☐☐

After hearing his explanation, I'm convinced ———— his innocence.

① to ② with
③ at ④ of

④ be convinced of ~ ～を確信している

訳 彼の説明を聞いて、私は彼の無実を確信している。

解説 convince A of B の受動態なので be convinced of ~（～を確信している）。to は convince A to do（説得して～させる）の形で使い、名詞 innocence を続けられない。with / at も convinced と組まない。

区別 **be convinced of ~ ⇔ convince A to do** convince A to do は「A を説得して～させる」（≒ persuade A to do）。convince A of B / that 節は「A に～を確信させる」。見分け方：to do が続けば説得、of ＋ 事柄 / that 節なら確信。

0566 □□□

Water and sunlight are essential ＿＿＿ the growth of plants.

① with ② to
③ at ④ of

② be essential to ~ ～に不可欠である

訳 水と日光は植物の成長に欠かせない。

解説 「～に不可欠である」は be essential to ~（for も可）。with / at / of は essential と組んで「～にとって必要」の意味にならない。植物の成長に水と日光が欠かせない、という一般的な事実の文。

区別 **be essential to ~ ⇔ be indispensable to ~** indispensable は「（なくすことができない＝）欠かせない」で essential とほぼ同じ。dispensable（なくてもよい）に否定の in- が付いた形。essential は「本質的な・基本の」の意味もある。どちらも to / for を取る。

0567 □□□

Many farmers in the region are faced ＿＿＿ a serious shortage of water this summer.

① with ② at
③ to ④ on

① be faced with ~ ～に直面している

訳 この地域の多くの農家は、今年の夏、深刻な水不足に直面している。

解説 「～に直面している」は be faced with ~。at / to / on は faced と組まない。能動態なら face a serious shortage と前置詞なしになる。夏の水不足という困難に直面している様子。

区別 **be faced with ~ ⇔ face ~（能動態）** 能動態 face は他動詞なので直接目的語を取る（face a problem）。受動態なら be faced with。見分け方：be 動詞があれば with が必要、なければ face の直後に名詞。× The town faces with ~ は誤り。

0568 □□□

This old song is familiar ＿＿＿ most people over sixty in Japan.

① with ② to
③ for ④ at

② be familiar to ~ ～によく知られている

訳 この古い歌は、日本の 60 歳以上のほとんどの人によく知られている。

解説 主語が物事（歌）で「～に知られている」は be familiar to ＋ 人。with は人が主語の be familiar with ~（～をよく知っている）で使う。for / at は familiar と組まない。主語と前置詞の組み合わせを見分ける問題。

区別 **be familiar to ~ ⇔ be familiar with ~** familiar with は「（人が）～をよく知っている・～に精通している」で、主語は人。familiar to は「（物事が）～に知られている」で、主語は物事。見分け方：主語が人なら with、物事なら to。

0569 □□□

This bread is free ＿＿＿ artificial colors and preservatives.

① at ② to
③ from ④ for

③ be free from ~ ～がない；～を免れている

訳 このパンには合成着色料や保存料が入っていない。

解説 「～がない・～を含まない」は be free from ~（of も可）。to は be free to do（自由に～してよい）の形で動詞が続く。at / for は free と組んで「～がない」を表さない。食品の表示によくある文。

区別 **be free from ~ ⇔ be free to do** be free to do は「自由に～してよい」（You are free to leave）と許可を表す。be free from ~ は「（嫌なもの）がない」。見分け方：to ＋ 動詞なら許可、from ＋ 名詞なら「～がない」。

0570 ☐☐☐

They have been in love ＿＿＿＿ each other since they met in high school.

① to　② for
③ at　④ with

④ be in love with ~ ～に恋している

訳 二人は高校で出会って以来、ずっと愛し合っている。

解説 「～に恋している」は be in love with ~ で前置詞は with。to / for / at は love の相手を示せない。have been ~ since で高校からずっと恋している状態を表している。

区別 **be in love with ~ ⇔ fall in love with ~** fall in love with は「恋に落ちる」という一回の動作、be in love with は「恋している」状態。見分け方：for three years など期間があれば be（have been）in love、出会った瞬間なら fall in love。

0571 ☐☐☐

My sister is very keen ＿＿＿＿ learning Korean, so she watches Korean dramas every night.

① at　② in
③ of　④ on

④ be keen on ~ ～に熱中している；～が大好きである

訳 姉［妹］は韓国語の勉強にとても熱心で、毎晩韓国ドラマを見ている。

解説 「～に熱中している」は be keen on ~ で、後ろに動名詞 learning を置ける。at は good at（得意）、in は interested in の前置詞で keen とは組まない。of も不可。

区別 **be keen on ~ ⇔ be keen to do** keen on ~ing は「～するのが好き・熱中している」、keen to do は「（これから）～したがっている」。見分け方：趣味として好きなら on ~ing、これからやりたい意欲なら to do。

0572 ☐☐☐

These used plastic bottles will be made ＿＿＿＿ school uniforms.

① into　② of
③ from　④ by

① be made into ~ ～に作り変えられる；～に加工される

訳 これらの使用済みペットボトルは、学校の制服に作り変えられる。

解説 主語のペットボトルは材料で、制服は完成品なので be made into ~（～に加工される）。be made of / from は主語が製品のときの形で、ここでは逆になる。by は作る人を示す前置詞で材料・製品の関係を表さない。

区別 **be made into ~ ⇔ be made of / from ~** be made of / from は主語が完成品で、後ろに材料（Cheese is made from milk）。be made into は主語が材料で、後ろに完成品。見分け方：主語が材料なら into、製品なら of（材料が見える）／from（原料が変化）。

0573 ☐☐☐

I'm really nervous ＿＿＿＿ my presentation tomorrow. I've never spoken in front of so many people.

① to　② about
③ with　④ on

② be nervous about ~ ～に緊張している；～を不安に思う

訳 明日の発表がとても不安だ。こんなに大勢の人の前で話したことがないんだ。

解説 「～に緊張している」は be nervous about ~。to / with / on は nervous と組んで緊張の対象を示さない。大勢の前で話したことがない、という後半が緊張の理由になっている。

区別 **be nervous about ~ ⇔ be anxious about ~** anxious about は「（結果を）心配している」で、心配が長く続く感じ。nervous about は「（目前のことに）緊張している・あがっている」。見分け方：本番直前のどきどきなら nervous、先行きの心配なら anxious。

0574 □□□

I really want those concert tickets. I'm prepared _____ in line all night if necessary.

① waiting　② for waiting
③ to wait　④ wait

③ be prepared to do ～する覚悟がある；進んで～する

訳 そのコンサートのチケットがどうしても欲しい。必要なら一晩中並んで待つ覚悟がある。

解説 be prepared to do で「～する覚悟がある」。to の後ろは原形なので to wait。waiting / for waiting のように動名詞は続けない（be prepared for ＋ 名詞の形はあるが、ここでは自分の行動）。原形 wait だけでも不可。

区別 **be prepared to do ⇔ be prepared for ～** for ＋ 名詞は「（出来事）に備えている」、to do は「（自分が）～する覚悟がある」。見分け方：後ろが試験・災害など出来事なら for、自分の行動なら to ＋ 原形。

0575 □□□

My little sister is _____ of the dark, so she always sleeps with the light on.

① scary　② scared
③ scaring　④ scare

② be scared of ～ ～を怖がる

訳 妹は暗闇が怖いので、いつも電気をつけたまま寝る。

解説 主語は sister（人）で、暗闇を「怖がっている」ので scared。scary は物事が「怖い」ときに使い、人が主語だと「人を怖がらせる」意味になる。scaring / scare は is の後ろで of と組んで怖がる意味にならない。

区別 **be scared of ～ ⇔ scary** scared は「（人が）怖がっている」、scary は「（物事が）怖い・恐ろしい」。見分け方：主語が人なら scared、主語が映画・場所など物事なら scary。× I'm scary.（私は人を怖がらせる人だ）。

0576 □□□

Please note that the schedule is subject _____ change without notice.

① for　② of
③ with　④ to

④ be subject to ～
～を受けやすい；～に従わなければならない

訳 予定は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

解説 「～を受けやすい・～されることがある」は be subject to ～で、後ろは名詞 change。for / of / with は subject と組んでこの意味にならない。予定表や価格表の注意書きによくある決まった形。

区別 **be subject to ～ ⇔ subject（名詞）** 名詞の subject は「教科・話題・主語・被験者」（What subject do you like?）。形容詞句の be subject to ～ は「～を受けやすい」。見分け方：be subject to の形なら形容詞、a / the が付けば名詞。

0577 □□□

The police said the truck driver was to blame _____ the accident.

① for　② of
③ with　④ about

① be to blame 責任がある；悪い

訳 警察によると、事故の責任はトラックの運転手にあった。

解説 be to blame for ～ で「～に責任がある」。blame A for B と同じく、責任の対象は for で示す。of / with / about は blame と組まない。事故の責任がトラック運転手にあるという文。

区別 **be to blame ⇔ blame A for B** blame A for B は「B のことで A を責める」で、主語は責める人。be to blame for B は「B について A に責任がある」で、主語は責任のある人。見分け方：誰かが責めるなら blame A for、誰に責任があるかなら be to blame。

0578 □□□

His family is well ＿＿＿＿, so he doesn't need to work part-time to pay for college.

① on　② up
③ off　④ out

③ be well off 裕福である；暮らし向きがよい

訳 彼の家は裕福なので、大学の学費を払うためにアルバイトをする必要がない。

解説 「裕福である」は be well off。on / up / out は well の後ろで暮らし向きを表さない（well up は「（涙が）こみ上げる」など別の意味）。アルバイトをしなくてよいという後半と合う。

区別 **be well off ⇔ be better off** be better off は比較級で「（以前・他人より）暮らし向きがよい」に加え、「～するほうがよい」（You'd be better off ~ing）の助言の意味もある。be well off は単に「裕福だ」。見分け方：比較・助言なら better off。

0579 □□□

A: Are you for or ＿＿＿＿ the plan to build a new stadium? B: I'm for it. It will bring more visitors.

① opposite　② opposed
③ contrary　④ against

④ be against ~ ～に反対である

訳 A：新しい競技場を建てる計画に賛成？反対？　B：賛成だよ。もっと多くの人が来るようになるから。

解説 for or against ~ で「～に賛成か反対か」。前置詞 for と並べられるのは前置詞の against。opposed は be opposed to ~ の形で to が要り、for と並ばない。opposite / contrary も for と並べて「反対だ」の意味で使えない。

区別 **be against ~ ⇔ be opposed to ~** 意味は同じ「～に反対だ」だが、be opposed to は to の後ろも名詞・動名詞（× be opposed to do）。be against は前置詞 against の後ろに名詞・動名詞。見分け方：空所の前が opposed なら to ＋ ~ing、be 動詞の直後なら against。

0580 □□□

My new apartment is very close ＿＿＿＿ the station, so I can walk there in two minutes.

① at　② to
③ from　④ with

② be close to ~ ～に近い；～と親しい

訳 新しいアパートは駅のすぐ近くで、2 分で歩いて行ける。

解説 「～に近い」は be close to ~。close は形容詞なので to が必要（near なら不要）。at / from / with は close と組んで「近い」を表さない（far from なら「遠い」）。徒歩 2 分という後半と合う。

区別 **be close to ~ ⇔ near ~** near はそれ自体が前置詞として使え、to なしで near the station と言える。close は形容詞なので close to が必要。見分け方：close なら to を付ける、near なら to は不要。

0581 □□□

This chapter is concerned ＿＿＿＿ the causes of the First World War.

① about　② to
③ with　④ for

③ be concerned with ~
～に関係している；～を扱っている

訳 この章は第一次世界大戦の原因を扱っている。

解説 主語が本の章で「～を扱っている」は be concerned with ~。about を使うと be concerned about ~（～を心配している）になり、章が心配するという意味になって合わない。to / for も concerned と組んでこの意味にならない。

区別 **be concerned with ~ ⇔ be concerned about ~** concerned about は「～を心配している」（be worried about）。concerned with は「～に関係している・～を扱う」。見分け方：主語が人で不安なら about、主語が本・仕事で内容を言うなら with。

0582 ☐☐☐

The police believe that the man is connected ＿＿＿＿ the robbery at the bank.

① with　② by
③ for　④ at

① be connected with ~
～と関係がある；～とつながっている

訳 警察はその男が銀行強盗に関わっていると考えている。

解説 「～と関係がある」は be connected with ~（to も可）。by はつなぐ手段（connected by a bridge）に使い、関係の相手は示せない。for / at も connected と組まない。男が強盗事件に関わっていると疑われている文。

区別 **be connected with ~ ⇔ be associated with ~** associated with は「（頭の中で）～と結びつけて考えられる・連想される」。connected with は「（実際に・事実として）～とつながりがある」。見分け方：連想・イメージなら associated、事件・人間関係・交通のつながりなら connected。

0583 ☐☐☐

All the classrooms in our new school are equipped ＿＿＿＿ air conditioners.

① by　② of
③ for　④ with

④ be equipped with ~ ～を備えている

訳 私たちの新しい学校の教室には全てエアコンが備えつけられている。

解説 equip A with B の受動態なので be equipped with ~（～を備えている）。by は受動態の行為者だが、ここでは設備を示すので with。of / for も equipped と組まない。provide A with B と同じ型。

区別 **be equipped with ~ ⇔ be provided with ~** provided with は「（必要な物）を与えられている・支給されている」で、外から渡される感じ。equipped with は「（設備・装置）を備え付けている」。見分け方：建物・乗り物の設備なら equipped、配られた物なら provided。

0584 ☐☐☐

You are free ＿＿＿＿ any book in this room, but please return it by Friday.

① borrowing　② to borrow
③ from borrowing　④ borrow

② be free to do 自由に～してよい

訳 この部屋の本はどれでも自由に借りてかまいませんが、金曜日までに返してください。

解説 be free to do で「自由に～してよい」。to の後ろは原形なので to borrow。borrowing は形が合わず、from borrowing だと be free from（～がない）の形になり意味が通らない。原形 borrow だけでも不可。

区別 **be free to do ⇔ be free from ~** be free from は「（嫌なもの）がない」で後ろは名詞。be free to do は「自由に～してよい」で後ろは動詞の原形。見分け方：to ＋ 動詞なら許可、from ＋ 名詞なら「～がない」。

0585 □□□

Ken is jealous ＿＿＿＿ his brother because their parents always praise him.

① with　② at
③ of　④ to

③ be jealous of ~ ～をねたむ；～に嫉妬する

訳 両親がいつも兄［弟］を褒めるので、ケンは兄［弟］を妬んでいる。

解説 「～をねたむ」は be jealous of ~。with / at / to は jealous と組まない。動詞 envy なら envy his brother と前置詞なしになる。親にいつもほめられる兄弟への嫉妬を表す文。

区別 **be jealous of ~ ⇔ envy ~** envy は他動詞で envy A（A をうらやむ）、envy A B（A の B をうらやむ）と前置詞を取らない。jealous は形容詞なので be jealous of。見分け方：be 動詞があれば jealous of、動詞なら envy に直接目的語。× envy of him。

0586 □□□

My aunt has been married ＿＿＿＿ a doctor for over twenty years.

① with　② to
③ by　④ for

② be married to ~ ～と結婚している

訳 おばは医者と結婚して 20 年以上になる。

解説 「～と結婚している」は be married to ~。日本語の「～と」につられて with を選ぶのが典型的な誤り。by は受動態の行為者で不可、for は期間（for over twenty years）に使う。have been ~ for で期間を表している。

区別 **be married to ~ ⇔ marry ~** marry は他動詞なので marry A（A と結婚する）と前置詞なし。× marry with A。be married / get married は to A。見分け方：marry の直後は名詞、married の後ろは to。

0587 □□□

I've lived here for ten years, and I'm on good ＿＿＿＿ with all my neighbors.

① term　② relation
③ friends　④ terms

④ be on good terms with ~ ～と仲がよい

訳 ここに住んで 10 年になるが、近所の人みんなと仲よくしている。

解説 「～と仲がよい」は be on good terms with ~ で、terms（間柄）は必ず複数形。単数 term ではこの意味にならない。relation / friends は on good ~ with の形で使わない（be good friends with なら可）。

区別 **be on good terms with ~ ⇔ in terms of ~** in terms of は「～の観点から・～の点で」（in terms of cost）で、人間関係とは無関係。be on good terms with は「～と仲がよい」。見分け方：前置詞が on で with ＋人が続けば人間関係、in で of が続けば観点。

0588 □□□

Our coach is very strict ＿＿＿＿ us about being on time for practice.

① with　② to
③ for　④ at

① be strict with ~ ～に厳しい

訳 うちのコーチは、練習の時間を守ることについて私たちにとても厳しい。

解説 厳しく接する相手の人には with を使い、be strict with A about B（B について A に厳しい）。to / for / at は strict と組んで相手を示さない。about being on time が厳しく求める物事。

区別 **be strict with ~ ⇔ be strict about ~** with の後ろは厳しく接する相手の人、about の後ろは厳しく求める物事（時間・服装など）。見分け方：人なら with、規則・物事なら about。両方入れて be strict with A about B とも言える。

0589 □□□

As is often the ＿＿＿＿ with him, he forgot to bring his homework again.

① rule　② habit
③ fact　④ case

④ be the case 事実である；実情である

訳 彼にはよくあることだが、また宿題を持ってくるのを忘れた。

解説 as is often the case with ~ で「~にはよくあることだが」という決まった形。rule / habit / fact はこの構文に入らない。as は後ろの文の内容を受ける関係代名詞として働いている。

区別 **be the case ⇔ in case ~** in case S V は「~するといけないから・~の場合に備えて」という接続詞的表現。be the case は「事実である」。見分け方：the case の前に be 動詞があれば「事実」、in case なら「備えて」。

0590 □□□

The sky is clear, so it is unlikely ＿＿＿＿ today.

① raining　② to rain
③ rain　④ that rain

② be unlikely to do ~しそうにない

訳 空が晴れているので、今日は雨は降りそうにない。

解説 it is unlikely to do で「~しそうにない」（天候の it が主語）。to の後ろは原形なので to rain。raining / rain は unlikely の後ろに直接置けず、that rain では that 節に動詞がない（that it will rain なら可）。

区別 **be unlikely to do ⇔ It is unlikely that ~** 同じ意味を that 節でも言える（It is unlikely that he will come ＝ He is unlikely to come）。書き換え問題で主語の位置と to の有無が問われる。見分け方：that の後ろは S V、to の後ろは原形。

0591 □□□

I've seen him at meetings, but I'm not acquainted ＿＿＿＿ him personally.

① to　② by
③ with　④ of

③ be acquainted with ~
~と知り合いである；~をよく知っている

訳 会議で彼を見かけたことはあるが、個人的な知り合いではない。

解説 「~と知り合いである」は be acquainted with ~。to / by / of は acquainted と組まない。会議で見かけたことはあるが個人的な面識はない、という文脈に合う。

区別 **be acquainted with ~ ⇔ be familiar with ~** familiar with は「（物事）をよく知っている」が中心で、人について言うと「なじみがある」。acquainted with は人なら「面識がある」、物事なら「（学んで）知っている」。どちらも with。見分け方：人と「知り合い」なら acquainted。

0592 □□□

This online library is available ＿＿＿＿ all students free of charge.

① at　② to
③ in　④ with

② be available to ~ ~が利用できる；~が手に入る

訳 このオンライン図書館は、全ての学生が無料で利用できる。

解説 「（人）が利用できる」は be available to ~（for も可）。to は利用できる人を示す。at / in / with は available の後ろで利用者を示せない。全学生が無料で使える、というサービスの説明。

区別 **be available to ~ ⇔ be valuable** valuable は「価値のある・高価な」。available は「利用できる・手に入る」。つづりが似ているので注意。見分け方：使える・空いているなら available、値打ちがあるなら valuable。

0593 ☐☐☐

She studied very hard, so she is confident ＿＿＿＿ passing the entrance exam.

① to　② of
③ at　④ with

② be confident of ~ ～を確信している；～に自信がある

訳 彼女は一生懸命勉強したので、入試に合格する自信がある。

解説 「～を確信している」は be confident of ~ で、of の後ろに動名詞 passing を置ける。to は to do の形でなら別の意味になるが、動名詞は続かない。at / with も confident と組まない。

区別 **be confident of ~ ⇔ be confident in ~** in の後ろは信頼する人・能力（be confident in yourself）で「～を信頼している」。of の後ろは成功・勝利など結果（be confident of victory）で「～を確信している」。見分け方：結果・見通しなら of、人・能力への信頼なら in。

0594 ☐☐☐

I was very ＿＿＿＿ with his speech; he spoke clearly and confidently.

① impressive　② impressing
③ impressed　④ impression

③ be impressed with ~
～に感心している；～に感銘を受ける

訳 彼のスピーチにとても感心した。はっきりと自信を持って話していた。

解説 主語 I は「感心させられた」側なので過去分詞 impressed。impressive は物事が主語のとき（His speech was impressive）。impressing は形が合わず、impression は名詞で with と組んで補語にならない。

区別 **be impressed with ~ ⇔ impressive** impressed は「（人が）感心させられた」、impressive は「（物事が）感心させる・見事な」。見分け方：主語が人なら impressed、主語がスピーチ・作品など物事なら impressive。

0595 ☐☐☐

Many species of frogs are in danger of ＿＿＿＿ extinct because of climate change.

① becoming　② to become
③ become　④ became

① be in danger of ~ing ～する危険がある

訳 気候変動のせいで、多くの種類のカエルが絶滅する危険にさらされている。

解説 be in danger of ~ の of は前置詞なので、後ろは動名詞 becoming。to become / become / became は前置詞の後ろに置けない。カエルが絶滅する危険にさらされている、という文。

区別 **be in danger of ~ing ⇔ be dangerous** be dangerous は「（主語が）危険だ・危害を加えうる」（The river is dangerous）。be in danger は「（主語が）危険にさらされている」。見分け方：主語が危険の原因なら dangerous、被害を受けそうなら in danger。

0596 ☐☐☐

My father is in the habit of ＿＿＿＿ a walk before breakfast.

① to take　② take
③ taken　④ taking

④ be in the habit of ~ing ～する習慣がある

訳 父は朝食前に散歩をするのを習慣にしている。

解説 be in the habit of ~ の of は前置詞なので、後ろは動名詞 taking。to take / take / taken は前置詞の後ろに置けない。毎朝散歩するという習慣を表す文。

区別 **be in the habit of ~ing ⇔ be used to ~ing** be used to ~ing は「～するのに慣れている」と経験による慣れ。be in the habit of ~ing は「～する習慣がある」と規則的な行動。見分け方：慣れて苦にならないなら used to、習慣としてやっているなら in the habit of。

0597 □□□

This information may be ———— interest to people who are planning to study abroad.

① in ② with
③ of ④ for

③ be of interest 興味深い；関心を引く

訳 この情報は留学を計画している人にとって興味深いかもしれない。

解説 be of interest (to 人) で「（人にとって）興味深い」。of ＋抽象名詞が形容詞 interesting と同じ働きをする。in は be interested in の形で使い、be in interest とは言わない。with / for もこの形を作らない。

区別 **be of interest ⇔ be interested in ~** be interested in は人が主語で「（人が）～に興味がある」。be of interest は物が主語で「（物が人にとって）興味深い」。見分け方：主語が人なら interested、物なら of interest to。

0598 □□□

My father is very particular ———— his coffee. He only drinks beans from Brazil.

① with ② for
③ on ④ about

④ be particular about ~ ～にうるさい；～にこだわる

訳 父はコーヒーにとてもこだわりがある。ブラジル産の豆しか飲まない。

解説 「～にうるさい・こだわる」は be particular about ~。with / for / on は particular と組んでこの意味にならない。ブラジルの豆しか飲まない、という後半がこだわりの中身。

区別 **be particular about ~ ⇔ in particular** in particular は「特に」という副詞句（I like music, rock in particular）。be particular about は「～にうるさい」。見分け方：前置詞 in が付けば「特に」、be ＋ about が付けば「こだわる」。

0599 □□□

All the club members were present ———— the meeting yesterday.

① on ② to
③ at ④ for

③ be present at ~ ～に出席している

訳 昨日の会合には部員全員が出席した。

解説 「～に出席している」は be present at ~。at は「その場に」を示す。on / to / for は present と組んで出席を表さない。反対の「欠席」なら be absent from ~ と from になる。

区別 **be present at ~ ⇔ be absent from ~** 反対の「欠席している」は be absent from で、前置詞は from。present は at。見分け方：出席は at（その場に）、欠席は from（その場から離れて）。前置詞の違いが狙われる。

0600 □□□

After three interviews, she was successful ———— getting the job she wanted.

① at ② in
③ with ④ for

② be successful in ~ ～に成功している

訳 3 回の面接を経て、彼女は希望していた仕事に就くことに成功した。

解説 「～に成功する」は be successful in ~ で、in の後ろに動名詞 getting を置ける。動詞 succeed in ~ing と同じ in。at / with / for は successful と組んでこの意味にならない。

区別 **be successful in ~ ⇔ succeed to ~** succeed to ~ は「（地位・財産）を継ぐ」で、succeed in ~ の「成功する」とは別の意味。形容詞 successful は「成功した」、successive は「連続した」。見分け方：in ＋動作なら成功、to ＋地位なら継承。

0601 ☐☐☐

He forgot my birthday again.
Forgetting things is ＿＿＿＿ of him.

① typical　② typically
③ type　④ typing

① be typical of ~　~に典型的である；いかにも~らしい

訳 彼はまた私の誕生日を忘れた。物忘れはいかにも彼らしい。

解説 be typical of ~ で「いかにも~らしい」。is の後ろの補語には形容詞 typical が入る。typically は副詞で補語にならず、type（名詞・動詞）や typing も of him と組んでこの意味にならない。

区別 **be typical of ~ ⇔ be characteristic of ~**　characteristic of は「~に特有の・~の特徴をよく表す」で、typical of とほぼ同じ。peculiar to / unique to は「~だけに見られる」と前置詞が to。見分け方：typical / characteristic は of、peculiar / unique は to。

0602 ☐☐☐

I'm sorry, but I was unable ＿＿＿＿ the meeting because my train was delayed.

① attending　② attend
③ to attend　④ of attending

③ be unable to do　~することができない

訳 申し訳ないのですが、電車が遅れたので会議に出席できませんでした。

解説 be unable to do で「~することができない」。to の後ろは原形なので to attend。attending / of attending のように動名詞は続けず、原形 attend だけでも不可。電車の遅れで出席できなかった、という理由の文。

区別 **be unable to do ⇔ be able to do / can**　can は助動詞なので will can のように重ねられない。be able / unable to do は時制をつけられる。見分け方：will / have の後ろで「できる・できない」と言うなら be able / unable to do。

0603 ☐☐☐

After years of war, the people in the country are anxious ＿＿＿＿ peace.

① to　② of
③ with　④ for

④ be anxious for ~　~を切望している

訳 長年の戦争の後、その国の人々は平和を切に望んでいる。

解説 「~を切望している」は be anxious for ＋ 名詞。to は be anxious to do の形で動詞が続くときに使い、名詞 peace は置けない。of / with も anxious と組まない。長い戦争の後で平和を強く望む文。

区別 **be anxious for ~ ⇔ be anxious about ~**　about の後ろは心配事（be anxious about the exam）で「~を心配している」。for の後ろは望むもの（be anxious for success）で「~を切望している」。見分け方：不安なら about、強く望むなら for / to do。

0604 ☐☐☐

At the funeral, everyone was dressed ＿＿＿＿ black.

① in　② with
③ on　④ by

① be dressed in ~　~を着ている

訳 葬儀では、全員が黒い服を着ていた。

解説 「~を着ている」は be dressed in ~ で、in は服に包まれている様子を示す。with / on / by は dressed の後ろで服や色を示さない。wear なら wore black と前置詞なしになる。

区別 **be dressed in ~ ⇔ wear ~**　wear は他動詞なので前置詞なし（wear black）。be dressed は in が必要（be dressed in black）。見分け方：be dressed の後ろには in、wear の後ろには直接名詞。put on は「着る（動作）」。

0605 ☐☐☐

The children were ＿＿＿＿ by the magician's tricks and watched without blinking.

① fascinating ② fascinated
③ fascinate ④ fascination

② be fascinated by ~ ～に魅了されている

訳 子どもたちはマジシャンの手品に魅了され、まばたきもせずに見入っていた。

解説 主語は children（人）で、手品に「魅了された」ので過去分詞 fascinated。fascinating は物事が「魅力的な」ときに使う。fascinate（動詞の原形）や fascination（名詞）は were の補語として by と組まない。

区別 **be fascinated by ~ ⇔ fascinating** fascinated は「（人が）魅了された」、fascinating は「（物事が）魅力的な・とても面白い」。見分け方：主語が人なら fascinated、主語が話・景色など物事なら fascinating。

0606 ☐☐☐

If you're ever ＿＿＿＿ trouble, don't hesitate to call me.

① on ② at
③ under ④ in

④ be in trouble 困っている；問題を抱えている

訳 もし困ったことがあったら、遠慮なく電話してね。

解説 「困っている」は be in trouble で、困りごとの「中に」いる状態の in。on / at / under は trouble と組んでこの意味にならない。困ったら遠慮なく電話して、という申し出。

区別 **be in trouble ⇔ have trouble ~ing** have trouble ~ing は「～するのに苦労する」（have trouble sleeping）と、何かをするのが難しいこと。be in trouble は「困った状況にいる」。見分け方：~ing が続けば苦労、in trouble なら苦境。

0607 ☐☐☐

I'm really thankful ＿＿＿＿ your help with my project last week.

① to ② of
③ for ④ with

③ be thankful for ~
～に感謝している；～をありがたく思う

訳 先週、課題を手伝ってくれて本当に感謝しています。

解説 感謝する物事は for で示し、be thankful for ~。to は感謝する相手の人に使う（thankful to you）ので、your help の前には置けない。of / with も thankful と組まない。

区別 **be thankful for ~ ⇔ be grateful for ~** grateful も「感謝している」で同じ型（grateful to A for B）。thankful は「（運よく）ありがたく思う」という安堵の感じも含む。どちらも人は to、物事は for。見分け方：前置詞は同じなので形で迷わない。

0608 ☐☐☐

Many young people like this app, and the same is true ＿＿＿＿ older people.

① to ② of
③ at ④ by

② be true of ~ ～に当てはまる

訳 多くの若者がこのアプリを気に入っていて、年配の人についても同じことが言える。

解説 「同じことが～にも当てはまる」は the same is true of ~。to は be true to ~（～に忠実だ）の形で、年配の人に忠実という意味になり文脈に合わない。at / by は true と組まない。なお for も使われるが、選択肢では of だけが正しい。

区別 **be true of ~ ⇔ be true to ~** be true of は「（ある事柄が）～に当てはまる」で、主語は説明・特徴。be true to は「（人が）～に忠実だ・～を裏切らない」で、主語は人が多い。見分け方：主語が人で、約束・信念・自分自身に忠実なら to、事柄が他にも当てはまるなら of。

0609 □□□

Even after seeing the evidence, he was unwilling ＿＿＿＿ his mistake.

① admitting　② admit
③ for admitting　④ to admit

④ be unwilling to do ～したがらない；～する気がない

訳 証拠を見た後でさえ、彼は自分の間違いを認めようとしなかった。

解説 be unwilling to do で「～したがらない」。to の後ろは原形なので to admit。admitting / for admitting のような動名詞は続けず、原形 admit だけでも不可。証拠を見ても間違いを認めない様子。

区別 **be unwilling to do ⇔ be reluctant to do** reluctant to do は「（ためらいながら）～するのを嫌がる」で、unwilling とほぼ同じ。refuse to do は「（はっきり）拒む」で行動に出る。見分け方：拒否の行動なら refuse、気が進まない気持ちなら unwilling / reluctant。

0610 □□□

Having grown up in Paris, she is quite ＿＿＿＿ in French.

① at a home　② in home
③ at home　④ home

③ be at home in ～
～に精通している；～でくつろいでいる

訳 パリで育ったので、彼女はフランス語に精通している。

解説 「～に精通している・慣れている」は be at home in ～ で、at home は無冠詞の決まった形。at a home は「ある施設で」の意味になり、in home / home だけでもこの形にならない。パリ育ちなのでフランス語に堪能、という文。

区別 **be at home in ～ ⇔ feel at home** feel at home / make oneself at home は「くつろぐ・気楽にする」で、場所での居心地を言う。be at home in ～ は「（分野・言語）に精通している」の意味もある。見分け方：in ＋ 分野・言語なら「精通」。

0611 □□□

When she heard she had passed the exam, she was beside ＿＿＿＿ with joy.

① her　② herself
③ hers　④ she

② be beside oneself (with ～)
（～で）我を忘れる；取り乱す

訳 試験に合格したと聞いて、彼女は喜びのあまり我を忘れた。

解説 be beside oneself with ～ で「～で我を忘れる」。oneself は主語に合わせるので、主語 she に対して herself。her / hers / she では再帰代名詞にならず、決まった形が崩れる。with joy で喜びのあまり、という意味。

区別 **be beside oneself (with ～) ⇔ besides** beside は「～のそばに」で、be beside oneself は「自分の外に出る＝我を忘れる」。besides は「その上・～に加えて」で全く別の語。見分け方：oneself が続いて感情の話なら beside、情報を付け加えるなら besides。

0612 □□□

Because of the storm, the pilot was compelled _____ the plane at a nearby airport.

① landing ② to land
③ land ④ to land

② be compelled to do

～せざるを得ない；～することを強いられる

訳 嵐のため、パイロットは近くの空港に飛行機を着陸させざるを得なかった。

解説 be compelled to do で「～せざるを得ない」。compel A to do の受け身なので to ＋動詞の原形の to land が入る。landing / land は was compelled の直後に置けない。to landing は to の後ろが原形でないので誤り。

区別 **be compelled to do ⇔ be obliged to do** be obliged to do は義務・規則によって「～しなければならない」。be compelled to do は状況や力によって「強いられる」と、強制の度合いが強い。どちらも to 不定詞を取る。

0613 □□□

After the earthquake, many people were desperate _____ clean water and food.

① to ② of
③ at ④ for

④ be desperate for ～

～が欲しくてたまらない；～を必死に求めている

訳 地震の後、多くの人がきれいな水と食料を切実に必要としていた。

解説 「～を必死に求めている」は be desperate for ＋ 名詞。to は be desperate to do の形で動詞が続くときに使い、名詞 clean water は置けない。of / at も desperate と組まない。

区別 **be desperate for ～ ⇔ be eager for ～** eager for は「～を熱心に望んでいる」と前向きな期待。desperate for は「（ないと困るほど）必死に求めている」と切迫した感じ。見分け方：命や生活に関わる切実さなら desperate。どちらも for / to do を取る。

0614 □□□

Water is indispensable _____ all forms of life on Earth.

① from ② to
③ of ④ with

② be indispensable to ～ ～に欠かせない

訳 水は地球上の全ての生命にとって不可欠だ。

解説 「～に欠かせない」は be indispensable to ～（for も可）。from / of / with は indispensable と組まない。水がすべての生命に不可欠である、という一般的な事実の文。

区別 **be indispensable to ～ ⇔ be dispensable** dispensable は「なくても済む・不可欠でない」で、indispensable の反対。見分け方：in- が付けば「欠かせない」、付かなければ「なくてもよい」。in- の否定で意味が逆転する。

0615 □□□

Be careful when driving. This mountain road is liable _____ in winter.

① freezing ② freeze
③ to freeze ④ for freezing

③ be liable to do ～しがちである；～しやすい

訳 運転には気をつけて。この山道は冬になると凍結しやすい。

解説 be liable to do で「～しがちだ・～しやすい」。to の後ろは原形なので to freeze。freezing は形が合わず、for freezing だと be liable for（～に責任がある）の形になり意味が通らない。原形 freeze だけでも不可。

区別 **be liable to do ⇔ be liable for ～** be liable for は「（損害など）に法的責任がある」（be liable for the damage）。be liable to do は「～しがちだ」。見分け方：for ＋ 損害・費用なら責任、to ＋ 動詞なら傾向。

0616 ☐☐☐

Taking off your shoes at the entrance is a custom that is not peculiar _____ Japan.

① of ② with
③ for ④ to

④ be peculiar to ~ ～に特有である

訳 玄関で靴を脱ぐのは、日本だけに特有の習慣ではない。

解説 「～に特有である」は be peculiar to ~。of は typical of / characteristic of の前置詞で peculiar とは組まない。with / for も不可。玄関で靴を脱ぐ習慣は日本だけのものではない、という文。

区別 **be peculiar to ~ ⇔ be typical of ~** typical of は「～に典型的な・いかにも～らしい」で、前置詞は of。peculiar to / unique to は「～だけに特有」で to。見分け方：peculiar / unique は to、typical / characteristic は of と前置詞で覚える。

0617 ☐☐☐

For short distances, walking is preferable _____ driving.

① to ② than
③ for ④ from

① be preferable to ~ ～より好ましい

訳 短い距離なら、車より歩くほうが望ましい。

解説 be preferable to ~ で「～より好ましい」。比較の意味でも than は使わず to になるのが最大のポイント（prefer A to B と同じ）。for / from も比較の相手を示せない。

区別 **be preferable to ~ ⇔ prefer A to B** 動詞 prefer A to B も比較の相手に to を使う（I prefer tea to coffee）。superior to / inferior to / senior to も同じラテン語系の比較で to。見分け方：-ior の形容詞と prefer は than ではなく to。

0618 ☐☐☐

That's an interesting question, but it isn't relevant _____ today's topic.

① with ② to
③ for ④ of

② be relevant to ~ ～に関係がある；～に関連している

訳 それは面白い質問ですが、今日の話題とは関係がありません。

解説 「～に関係がある」は be relevant to ~。with / for / of は relevant と組まない。面白い質問だが今日の話題とは関係ない、という流れ。

区別 **be relevant to ~ ⇔ be related to ~** related to は「～と関係がある・親類である」で、つながりがあることを広く言う。relevant to は「（今の話題・目的に）関係があって役立つ」と的を射ていること。見分け方：話題との関連性・的確さなら relevant。

0619 ☐☐☐

After two days of searching, the lost hikers were found safe and _____.

① sound ② well
③ healthy ④ fine

① be safe and sound 無事である

訳 2 日間の捜索の後、行方不明になっていたハイカーたちは無事に発見された。

解説 「無事で」は safe and sound で、sound が決まった語。well / healthy / fine は意味が近くてもこの決まり文句に使わない。2 日間の捜索の後で無事に見つかった、という場面。

区別 **be safe and sound ⇔ A sound mind in a sound body.** どちらも形容詞 sound（健全な）を使う。ことわざは心身の健康の話、safe and sound は危険を逃れた無事の話。見分け方：行方不明・事故の後の無事なら safe and sound。

0620 □□□

Koalas live in the wild only in Australia. They are ———— to that country.

① similar ② equal
③ kind ④ unique

④ be unique to ~ ～だけに見られる；～に特有である

訳 コアラはオーストラリアにしか野生では住んでいない。あの国に特有の動物なのだ。

解説 オーストラリアにしか野生でいないので「～だけに見られる」be unique to ~。similar to は「～に似ている」、equal to は「～に等しい」、kind to は「～に親切な」で、生息地の特有さを表せない。

区別 **be unique to ~ ⇔ be common to ~** common to は「～に共通している」（common to all cultures）で、複数のものに当てはまる。unique to は「～だけに見られる」と一つに限る。見分け方：みんなに共通なら common、そこだけなら unique。

0621 □□□

After hiking for ten hours, I was completely worn ————.

① off ② up
③ out ④ in

③ be worn out くたくたに疲れている；すり減っている

訳 10 時間ハイキングした後、私はすっかり疲れ果てていた。

解説 「くたくたに疲れている」は be worn out。wear off は「（効果が）次第に消える」で、be worn off の形で人の疲れには使わない。worn up / worn in はこの意味にならない。10 時間のハイキングの後の疲れ。

区別 **be worn out ⇔ be tired of ~** be tired of は「～に飽きている」という気持ち。be worn out は「（体が）へとへとに疲れている」「（物が）すり切れている」。見分け方：うんざりなら tired of、体力を使い果たしたなら worn out。

0622 □□□

Her courage in saving the child is worthy ———— praise.

① of ② for
③ to ④ with

① be worthy of ~ ～に値する

訳 子どもを救った彼女の勇気は称賛に値する。

解説 「～に値する」は be worthy of ~。worthy の後ろには of が必要（worth なら of なしで worth praise とはならず、worth ~ing などの形）。for / to / with は worthy と組まない。

区別 **be worthy of ~ ⇔ be worth ~** worth は後ろに直接名詞・~ing を置く（be worth a visit / worth visiting）。worthy は of が必要（worthy of a visit）。見分け方：of があれば worthy、なければ worth。× worth of / × worthy visiting。

0623 □□□

My daughter is very attached ———— her old teddy bear and takes it everywhere.

① with ② for
③ to ④ on

③ be attached to ~
～に愛着をもっている；～に付いている

訳 娘は古いテディベアをとても大事にしていて、どこへでも持っていく。

解説 「～に愛着をもっている」は be attached to ~。attach A to B の受動態なので to。with / for / on は attached と組まない。古いぬいぐるみをどこへでも持っていく様子と合う。

区別 **be attached to ~ ⇔ be devoted to ~** devoted to は「～に献身的・打ち込んでいる」と行動の熱心さ。attached to は「～に愛着がある・離れがたい」と気持ちのつながり。見分け方：手放したくない気持ちなら attached、尽くす・打ち込むなら devoted。

0624 ☐☐☐

One kilometer is equal ＿＿＿ 1,000 meters.

① to　② with
③ as　④ for

① be equal to ~　~に等しい；~をこなす力がある

訳 1 キロメートルは 1,000 メートルに等しい。

解説 「~に等しい」は be equal to ~。with / for は equal と組まない。as は as ~ as の比較で使い、equal の後ろには置かない。動詞なら equals 1,000 meters と前置詞なし。

区別 **be equal to ~ ⇔ equal ~（他動詞）** 動詞 equal は他動詞で前置詞なし（Two plus two equals four）。形容詞のときは be equal to。見分け方：be 動詞があれば to、なければ equal の直後に名詞。× equals to。

0625 ☐☐☐

The man was found guilty ＿＿＿ stealing money from his company.

① for　② of
③ with　④ about

② be guilty of ~
~の罪を犯している；~について罪がある

訳 その男は会社のお金を盗んだ罪で有罪とされた。

解説 「~の罪がある」は be guilty of ~ で、of の後ろに罪の内容（動名詞 stealing）を置く。for / with / about は guilty の後ろで罪の内容を示さない（feel guilty about なら罪悪感）。会社のお金を盗んで有罪になった文。

区別 **be guilty of ~ ⇔ feel guilty about ~** feel guilty about は「~に罪悪感を感じる」と気持ち。be guilty of は「（法的・道徳的に）~の罪がある」。見分け方：法律上の有罪・罪を犯した事実なら guilty of、後ろめたい気持ちなら feel guilty about。

0626 ☐☐☐

As a newcomer, he was ignorant ＿＿＿ the local customs and made some mistakes.

① from　② at
③ in　④ of

④ be ignorant of ~　~を知らない

訳 新しく来たばかりだったので、彼は地元の習慣を知らず、いくつか失敗をした。

解説 「~を知らない」は be ignorant of ~。from / at / in は ignorant と組まない。新しく来たばかりで地元の習慣を知らず失敗した、という流れに合う。

区別 **be ignorant of ~ ⇔ ignore ~** ignore は「（知っていて）わざと無視する」。be ignorant of は「（そもそも）知らない」。見分け方：知っているのに相手にしないなら ignore、知識がないなら ignorant of。

0627 ☐☐☐

He is a talented player, but he is lacking ＿＿＿ confidence.

① in　② of
③ with　④ for

① be lacking in ~　~が欠けている

訳 彼は才能のある選手だが、自信に欠けている。

解説 「~が欠けている」は be lacking in ~。of は名詞 lack の後ろ（a lack of confidence）で使い、lacking とは組まない。動詞なら lacks confidence と前置詞なし。with / for も不可。

区別 **be lacking in ~ ⇔ lack ~ / a lack of ~** 動詞 lack は他動詞（lack experience）、名詞 lack は of（a lack of experience）、形容詞 lacking は in（be lacking in experience）。品詞ごとに前置詞が変わるのが最大のポイント。× lack of experience（動詞として）。

0628 □□□

Where have you been? You were meant ＿＿＿＿ here an hour ago!

① being　② be
③ to be　④ to being

③ be meant to do

～することになっている；～するためのものである

訳 どこに行っていたの？1 時間前にここにいるはずだったでしょう！

解説 be meant to do で「～することになっている」。to の後ろは原形なので to be。being / to being のように動名詞は続けず、原形 be だけでも不可。1 時間前に来るはずだったと責める場面。

区別 **be meant to do ⇔ be supposed to do** be supposed to do も「～することになっている」で、予定・義務・期待を表す。be meant to do は「（本来の目的・運命として）～するはずだ」の含みが強い。入試ではどちらも to ＋ 原形が問われる。

0629 □□□

This restaurant's sushi is second to ＿＿＿＿. You won't find better sushi anywhere in the city.

① all　② any
③ one　④ none

④ be second to none 誰にも劣らない；一番である

訳 このレストランのすしは、どこにも負けない。市内のどこを探しても、これよりおいしいすしは見つからないよ。

解説 「誰にも劣らない・一番だ」は be second to none で、none が決まった語。second to all / any / one では「一番」の意味にならない。後半の「街のどこにもこれより良い寿司はない」と合う。

区別 **be second to none ⇔ second only to ~** second only to ~ は「～に次いで 2 番目だ」（second only to Tokyo）と、本当に 2 位であることを言う。second to none は「誰にも負けない＝1 位」。見分け方：none なら一番、only to ＋ 名詞なら 2 番目。

0630 □□□

She is well versed ＿＿＿＿ Japanese history, so you can ask her anything about it.

① on　② in
③ at　④ with

② be versed in ~ ～に精通している；～に詳しい

訳 彼女は日本史に精通しているので、何でも聞いていいよ。

解説 「～に精通している」は be (well) versed in ~ で、分野は in で示す。on / at は versed と組まない。with は be familiar with ~ の形では使うが、versed には使わない。be skilled in ~ / be experienced in ~ と同じ in。

区別 **be versed in ~ ⇔ be familiar with ~** be versed in は専門的な分野に「精通している」と深い知識。be familiar with は「（人が物事を）よく知っている」と日常的な知識にも使う。前置詞も in と with で違う。be familiar to は「（物事が人に）よく知られている」と主語が逆。

確認テスト 3　形容詞の熟語｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0521 彼は先生への失礼な言葉を恥じていた。
He was ashamed **of** his rude words to his teacher.

0522 その知らせを聞いて、彼女は言葉を失った。
She was at a **loss** for words when she heard the news.

0523 父は最近仕事で忙しい。
My father is busy **with** his work these days.

0524 彼女は雨の中でもマラソンを完走しようと固く決めていた。
She was **determined** to finish the marathon, even in the rain.

0525 おじは再生可能エネルギーの研究に携わっている。
My uncle is engaged **in** research on renewable energy.

0526 子どもたちは動物園への旅行にわくわくしている。
The kids are excited **about** the trip to the zoo.

0527 彼の説明は決して分かりやすくはなかったので、誰も理解できなかった。
His explanation was **far** from clear, so nobody understood it.

0528 毎日野菜を食べることは健康によい。
Eating vegetables every day is good **for** your health.

0529 その会社は昨年工場を閉鎖せざるをえなかった。
The company was **obliged** to close its factory last year.

0530 人の名前を覚えるのが苦手なので、書き留めるようにしている。
I'm poor **at** remembering people's names, so I write them down.

0531 オレンジやレモンはビタミン C が豊富で、肌によい。
Oranges and lemons are rich **in** vitamin C, which is good for your skin.

0532 時間が足りないので、会議を手早く終わらせよう。
We are short **of** time, so let's finish the meeting quickly.

0533 みんな、犬をなくした男の子を気の毒に思った。
Everyone was sorry **for** the boy who lost his dog.

0534 パソコンの調子がどこかおかしくて、何度も電源が切れる。
There is something **wrong** with my computer, so it keeps shutting down.

0535 今日の多くの十代は、スマートフォンや SNS に依存している。
Many teenagers today are addicted **to** their smartphones and social media.

0536 彼は数学は苦手だが、小説を読むのは大好きだ。
He is bad **at** math but loves reading novels.

0537 生徒たちは長いスピーチに退屈した。
The students got bored **with** the long speech.

0538 私たちは帰り道でひどいにわか雨にあった。
We were caught **in** a heavy shower on the way home.

0539 彼女は貧しい国の子どもたちを助けることに身をささげている。
She is devoted **to** helping children in poor countries.

0540 ファンたちは試合の結果にがっかりした。
The fans were disappointed **with** the result of the match.

0541 その都市の人口は来年増えると見込まれている。
The population of the city is **expected** to grow next year.

0542 その委員会は10人の生徒と2人の先生で構成されている。
The committee is made **up** of ten students and two teachers.

0543 どの家庭も地震やその他の災害に常に備えておくべきだ。
Every family should always be prepared **for** earthquakes and other disasters.

0544 この映画は幼い子どもには向いていない。
This movie is not suitable **for** young children.

0545 選手たちは暑い中の長い練習で疲れていた。
The players were tired **from** the long practice in the heat.

0546 宿題を手伝ってくれるなんて、あなたはとても親切ですね。
It was very kind **of** you to help me with my homework.

0547 私たちは忙しいと大切なことを忘れがちだ。
We are **apt** to forget important things when we are busy.

0548 車で行くより電車に乗ったほうがいいよ。
You would be **better** off taking the train instead of driving.

0549 その会社はプラスチックごみの削減に力を注いでいる。
The company is committed **to** reducing plastic waste.

0550 水は水素と酸素という2つの元素から成っている。
Water is **composed** of two elements, hydrogen and oxygen.

0551 彼女は写真での自分の見え方をいつも気にしている。
She is always conscious **of** how she looks in photos.

0552 彼女は田舎での質素な生活に満足している。
She is content **with** her simple life in the countryside.

0553 姉はある韓国のポップグループに夢中だ。
My sister is crazy **about** a Korean pop group.

0554 幼い子どもは身の回りのあらゆることに興味をもつ。
Young children are curious **about** everything around them.

0555 次の電車は10時15分に到着する予定だ。
The next train is **due** to arrive at 10:15.

0556 天気についての彼の絶え間ない不満にはうんざりだ。
I'm fed up **with** his constant complaints about the weather.

0557 砂糖のとりすぎは歯に悪い。
Too much sugar is harmful **to** your teeth.

0558 この点については、あなたに賛成したい気がする。
I'm **inclined** to agree with you on this point.

0559 若者は政治に無関心だと言う人もいる。
Some people say that young people are indifferent **to** politics.

0560 私の肌は強い日差しにとても敏感だ。
My skin is very sensitive **to** strong sunlight.

0561 君から同じ言い訳を聞くのにはもううんざりだ。
I'm sick **of** hearing the same excuse from you.

0562 その小さな村は高い山々に囲まれている。
The small village is surrounded **by** high mountains.

0563 赤はよく愛や危険と結びつけられる。
Red is often associated **with** love and danger.

0564 その新しいゲームはこのクリスマスにきっとよく売れる。
The new game is **certain** to sell well this Christmas.

0565 その動画を見て、私は彼の無実を確信した。
After seeing the video, I was convinced **of** his innocence.

0566 きれいな水はすべての生き物の健康にとって不可欠だ。
Clean water is essential **to** the health of all living things.

0567 その町はこの夏、深刻な水不足に直面している。
The town is faced **with** a serious shortage of water this summer.

0568 彼女の顔は多くのテレビ視聴者によく知られている。
Her face is familiar **to** many TV viewers.

0569 手術の後、彼女はようやく痛みから解放された。
After the operation, she was finally free **from** pain.

0570 彼は高校時代からずっと彼女に恋している。
He has been in **love** with her since high school.

0571 父は最近ガーデニングに熱中している。
My father is keen **on** gardening these days.

0572 この古い校舎は博物館に作り変えられる予定だ。
This old school building will be made **into** a museum.

0573 彼は英語でスピーチをすることに緊張していた。
He was nervous **about** giving a speech in English.

0574 必要なら週末も働く覚悟はありますか。
Are you **prepared** to work on weekends if necessary?

0575 あなたは今でも夜の暗闇が怖いの？
Are you still scared **of** the dark at night?

0576 台風のため、全便が変更になる可能性がある。
All flights are subject **to** change because of the typhoon.

0577 警察は誰が事故の責任を負うべきかをまだ調べている。
The police are still investigating who is to **blame** for the accident.

0578 彼の家族は裕福で、大きな家に住んでいる。
His family is **well** off and lives in a big house.

0579 村人のほとんどが、新しい空港を建てる計画に反対している。
Most of the villagers are **against** the plan to build a new airport.

0580 私はずっと祖母ととても仲がよい。
I have always been very close **to** my grandmother.

0581 この本は主に日本の食べ物の歴史を扱っている。
This book is mainly concerned **with** the history of Japanese food.

0582 警察はその2つの犯罪が互いに関係していると考えている。
The police believe the two crimes are connected **with** each other.

0583 すべての教室にエアコンが備え付けられている。
All the classrooms are equipped **with** air conditioners.

0584 図書館のコンピュータは自由に使ってかまいません。
You are **free** to use the computers in the library.

0585 彼は友人の新しいスマートフォンをねたましく思った。
He was jealous **of** his friend's new smartphone.

0586 彼女は有名な画家と結婚して20年になる。
She has been married **to** a famous painter for twenty years.

0587 私は近所の人みんなと仲よくしている。
I'm on good **terms** with all of my neighbors.

0588 私たちのコーチは時間を守ることについて厳しい。
Our coach is strict **with** us about being on time.

0589 日本はどこでも安全だと考える人もいるが、いつもそうとは限らない。
Some people think Japan is safe everywhere, but that is not always the **case** .

0590 火事の後、その店が再開する見込みは低い。
The shop is **unlikely** to open again after the fire.

0591 私はまだ新しい隣人と知り合いではない。
I am not acquainted **with** the new neighbors yet.

0592 このサービスはすべての学生が無料で利用できる。
This service is available **to** all students for free.

0593 彼女は入学試験に合格する自信がある。
She is confident **of** passing the entrance exam.

0594 審査員たちは彼女の美しい声に感心した。
The judges were impressed **with** her beautiful voice.

0595 多くの種類の動物が絶滅の危機にある。
Many kinds of animals are in **danger** of dying out.

0596 祖父は朝食前に散歩をする習慣がある。
My grandfather is in the **habit** of taking a walk before breakfast.

0597 この本は歴史好きな人なら誰にとってもとても興味深いだろう。
This book will be of great **interest** to anyone who loves history.

0598 父はコーヒーの味にとてもこだわる。
My father is very particular **about** the taste of his coffee.

0599 200人以上がその式典に出席した。
More than 200 people were present **at** the ceremony.

0600 彼は1か月以内に新しい仕事を見つけることに成功した。
He was successful **in** finding a new job within a month.

0601 雨の日に傘を忘れるなんて、いかにも彼らしい。
It is typical **of** him to forget his umbrella on a rainy day.

0602 嵐のせいで、私たちは外に出られなかった。
Because of the storm, we were **unable** to go out.

0603 その国の人々は平和を切に望んでいる。
The people of the country are anxious **for** peace.

0604 花嫁は美しい白いドレスを着ていた。
The bride was dressed **in** a beautiful white gown.

0605 子どものころから、彼は恐竜に魅了されている。
Since childhood, he has been fascinated ___by___ dinosaurs.

0606 困ったことがあったら、いつでも電話してね。
If you are in ___trouble___, please call me anytime.

0607 私たちは食卓の食べ物に感謝すべきだ。
We should be thankful ___for___ the food on our table.

0608 あなたが東京について言ったことは、ほかの大都市にも当てはまる。
What you said about Tokyo is also ___true___ of other big cities.

0609 その子はおもちゃをほかの子と分けたがらなかった。
The child was ___unwilling___ to share his toys with others.

0610 おじはクラシック音楽やイタリアオペラにとても詳しい。
My uncle is quite at ___home___ in classical music and Italian opera.

0611 彼女は試験に受かって、喜びで我を忘れた。
She was ___beside___ herself with joy when she passed the exam.

0612 大雪のため、学校はその日休校せざるを得なかった。
Because of the heavy snow, the school was ___compelled___ to close for the day.

0613 日なたを長く歩いた後で、私たちは冷たい飲み物が欲しくてたまらなかった。
After the long walk in the sun, we were desperate ___for___ a cold drink.

0614 スマートフォンは現代社会の日常生活に欠かせないものになった。
Smartphones have become indispensable ___to___ our daily lives in modern society.

0615 この道路は大雨の後に冠水しやすい。
This road is ___liable___ to flood after heavy rain.

0616 この習慣はこの島の人々に特有のものだ。
This custom is peculiar ___to___ the people of this island.

0617 私にとっては、混んだバスに乗るより歩くほうが好ましい。
For me, walking is preferable ___to___ taking a crowded bus.

0618 あなたの質問は今日の話題と関係がない。
Your question is not relevant ___to___ today's topic.

0619 迷子の子どもは翌朝無事に見つかった。
The lost child was found safe and ___sound___ the next morning.

0620 この種類の鳥は沖縄の島々にしかいない。
This kind of bird is unique ___to___ the islands of Okinawa.

0621 長いハイキングの後、私たちはみんなくたくたに疲れていた。
After the long hike, we were all ___worn___ out.

0622 駅での彼女の勇敢な行動は称賛に値する。
Her brave action at the station is worthy ___of___ praise.

0623 その男の子は古いクマのぬいぐるみにとても愛着をもっている。
The boy is very attached ___to___ his old teddy bear.

0624 彼にそんな難しい仕事をこなす力があるかどうか分からない。
I'm not sure he is equal ___to___ such a difficult task.

0625 裁判所はその男が車を盗んだ罪で有罪だと判断した。
The court decided that the man was guilty ___of___ stealing the car.

0626 多くの観光客はその地域の交通規則を知らない。
Many tourists are ignorant ___of___ the local traffic rules.

0627 そのチームは才能はあるが経験が足りない。
The team has talent but is lacking ___in___ experience.

0628 この部屋は先生だけが使うことになっている。
This room is ___meant___ to be used only by teachers.

0629 料理のことになると、父は誰にも負けない。
When it comes to cooking, my father is second to ___none___ .

0630 新しい先生は日本史にとても詳しい。
Our new teacher is well ___versed___ in Japanese history.

CHAPTER 4

前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語

in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。
No.0631〜0871（241 問）

問題

0631 □□□

———— being expensive, the hotel was too far from the station.

① Apart from　② Except
③ Instead of　④ In spite of

解答・解説（赤シートで隠せます）

① apart from ~ ～を除いて；～は別として

訳 値段が高いことは別にしても、そのホテルは駅から遠すぎた。

解説 「高いことに加えて駅からも遠すぎた」と欠点を重ねる文なので「～に加えて」の Apart from。Except は文頭で「加えて」の意味を持たず、being を続ける形も不自然。Instead of は「～の代わりに」、In spite of は「～にもかかわらず」で、高い・遠いという同じ方向の欠点をつなげられない。

区別 **apart from ~ ⇔ except (for) ~** except は all / every / no など「全体」を表す語の直後に置いて「～を除いて」の意味だけを持ち、文頭では except for にするのが普通。apart from は文頭・文中どちらでもよく、「～に加えて」の意味もある。見分け方：also / too が付いて「ほかにも」の流れなら except は使えず apart from（besides）。

0632 □□□

Most of the members voted ———— the new plan, so it was adopted.

① against　② in favor of
③ instead of　④ regardless of

② in favor of ~ ～に賛成して；～の方を選んで

訳 メンバーのほとんどが新しい計画に賛成票を投じたので、それは採用された。

解説 so 以下で「採用された」とあるので、賛成票を投じた in favor of。against は反対票で結果と矛盾する。instead of（～の代わりに）、regardless of（～に関係なく）は vote の後ろに置いても「何に投票したか」を表せない。結果から逆算して賛否を決める問題。

区別 **in favor of ~ ⇔ in one's favor** in favor of ~ は「～に賛成して／～の方を選んで」で of の後ろに対象を置く。所有格を挟む in one's favor は「～に有利に」で、試合・裁判・状況が誰の得になっているかを言う。見分け方：of ~ が続けば賛成・選択、所有格なら有利。

0633 ☐☐☐

The mayor gave a speech on _____ of all the citizens.

① instead ② place
③ behalf ④ sake

③ on behalf of ~ ～を代表して；～の代わりに

訳 市長は市民全員を代表してスピーチをした。

解説 on と of に挟める名詞は behalf で、on behalf of で「～を代表して」。instead は instead of の形で on を付けない。place は in place of、sake は for the sake of で、どれも前置詞が on ではない。前後の前置詞から熟語の形を決める問題。

区別 **on behalf of ~ ⇔ instead of ~** instead of は「～ではなく（別の物・行動を選ぶ）」で、元の人・物は外される。on behalf of は「～の立場で・～の代理として」その人の意思や利益のために動く。見分け方：代表・代理なら on behalf of、「A ではなく B」なら instead of。代表の場面に instead of を使うと「その人を差し置いて」に聞こえる。

0634 ☐☐☐

The price is the same _____ where you buy it.

① in spite of ② because of
③ instead of ④ regardless of

④ regardless of ~ ～に関係なく；～にかまわず

訳 その値段はどこで買っても同じだ。

解説 「どこで買っても値段は同じ」と条件の違いを問題にしない文なので regardless of。後ろが where 節で、wh 節を続けられるのも regardless of の特徴。in spite of / because of / instead of の後ろに where 節は置けず、意味もつながらない。

区別 **regardless of ~ ⇔ in spite of ~** in spite of は実際にある障害を押し切って「～にもかかわらず」。regardless of は「～がどうであれ関係なく」で、条件の違いを問題にしない。見分け方：後ろが what ~ / whether ~ / age など「どの場合でも」を表すなら regardless of。in spite of の後ろに wh 節は置かない。

0635 ☐☐☐

A: Can I speak to Mr. Sato? B: I'm sorry, he's in a meeting _____.

① in a moment ② at a time
③ for a moment ④ at the moment

④ at the moment 今のところ；ちょうど今

訳 A：佐藤さんとお話しできますか。 B：申し訳ありませんが、彼は今、会議中です。

解説 「今は会議中です」と現在の状態を言うので at the moment。in a moment は「すぐに」で未来の動作に使う。at a time は「一度に」、for a moment は「少しの間」で、どちらも「今会議中」という意味にならない。電話応対の定番表現。

区別 **at the moment ⇔ in a moment** at the moment は「今（現在）」の状態。in a moment は「すぐに・まもなく」で未来のこと。見分け方：will / be back / be ready など未来の動作と一緒なら in a moment。for a moment（少しの間）とも区別する。

0636 □□□

Tokyo is ＿＿＿＿ the largest city in Japan.

① very　② more
③ by far　④ so

③ by far　はるかに；断然

訳 東京は日本でずば抜けて大きな都市だ。

解説 the largest という最上級を the の前から強められるのは by far。very は the very largest の語順なら可能だが the の前には置けない。more は比較級を作る語で最上級とは重ねない。so は形容詞を強める副詞で the ＋ 最上級の前には置けない。

区別 **by far ⇔ much / very**　最上級の強調は by far / much / the very、比較級の強調は much / far / even / a lot。very は比較級を強められず（× very better）、最上級は the very best の語順に限る。見分け方：the ＋ 最上級の前に置けるのは by far と much、the の後ろに入るのは very。

0637 □□□

Sorry, I opened your letter ＿＿＿＿ mistake. I thought it was mine.

① on　② by
③ in　④ for

② by mistake　誤って；うっかり

訳 ごめんなさい、間違えてあなたの手紙を開けてしまいました。私宛てだと思ったんです。

解説 「自分のだと思って間違えて開けた」なので by mistake。on は on purpose（わざと）で使う前置詞で、on mistake という形はない。in / for も mistake と組んで「誤って」の意味にならない。前置詞の取り違えを問う定番の形。

区別 **by mistake ⇔ by accident**　by mistake は判断や確認の誤りで「間違えて」。by accident は「偶然に・たまたま」で、良い出来事にも使える（会えた・見つけた）。見分け方：取り違え・送り間違いなど「本来違う物・相手」なら by mistake、予期しない出来事なら by accident。

0638 □□□

She moved to the countryside for the ＿＿＿＿ of her children's health.

① sake　② case
③ cause　④ reason

① for the sake of ~　～のために；～の利益のために

訳 彼女は子どもたちの健康のために田舎へ引っ越した。

解説 for the ( ) of で「～のために」となるのは sake。case は in case of（～の場合）、cause は名詞で「原因・大義」、reason は for the reason that ~ の形で、どれも for the ~ of で「利益のために」の意味にならない。

区別 **for the sake of ~ ⇔ because of ~**　because of は原因「～のせいで・おかげで」。for the sake of は目的・利益「～のためを思って」。見分け方：「～を良くするため」なら sake、「～が原因で」なら because of。He quit smoking because of his health は「健康を害したから」の意味に寄る。

0639 ☐☐☐

My brother is shy and hates speaking ＿＿＿＿.

① at public　② in the public
③ by public　④ in public

④ in public 人前で；公然と

訳 私の兄は内気で、人前で話すのを嫌がる。

解説 「人前で話すのが嫌い」は speak in public。前置詞は in で、冠詞は付けない。at public / by public という形はなく、in the public も熟語としては誤り。冠詞と前置詞の両方を確かめる問題。

区別 **in public ⇔ in private** in public は「大勢の人の目がある所で」、in private は「他人のいない所で・こっそり」。見分け方：人前での行動・発言なら in public、二人だけ・秘密の話なら in private。どちらも冠詞は付けない。

0640 ☐☐☐

The government changed the law ＿＿＿＿ public demand.

① in respond to　② in response of
③ in response to　④ responding

③ in response to ～ ～に応えて；～に反応して

訳 政府は国民の要求に応えて法律を変えた。

解説 名詞 response を使って in response to ～。respond は動詞なので in の後ろに置けない。response の後ろの前置詞は to で of は誤り。responding は respond to の to が抜けていて public demand をつなげない。動詞 respond to の to が残ると考えれば解ける。

区別 **in response to ～ ⇔ in reply to ～** in reply to は手紙・メール・質問への「返事・回答として」に限られる。in response to は要望・批判・変化などへの「反応・対応」全般で、行動にも使える。見分け方：言葉で答えるなら両方可、価格を下げる・法律を変えるなどの行動なら in response to。

0641 ☐☐☐

He tried to open the door, but ＿＿＿＿; it was locked.

① in vain　② at last
③ by chance　④ on purpose

① in vain むだに；むなしく

訳 彼はドアを開けようとしたが、無駄だった。鍵がかかっていたのだ。

解説 but の後ろで「鍵がかかっていた」とあるので、やってみたがだめだった in vain。at last は「ついに（成功した）」で but や locked と矛盾する。by chance（偶然）、on purpose（わざと）は「開けようとしたがだめだった」の流れに合わない。

区別 **in vain ⇔ for nothing** for nothing は「ただで（無料で）」が中心で、「無駄に・理由もなく」の意味もある。in vain は「努力したが結果が出なかった」に限られる。見分け方：「無料」の意味なら for nothing。get A for nothing（A をただで手に入れる）を in vain にはできない。

0642 ☐☐☐

The game was put off ———— the heavy snow.

① because ② owing to
③ although ④ despite of

② owing to ~ ～のために；～のせいで

訳 大雪のため、その試合は延期された。

解説 後ろが the heavy snow という名詞なので、前置詞の働きをする owing to。because と although は接続詞で後ろに S V が必要。despite は of を付けない（despite / in spite of）ので despite of は誤り。原因と形の両方で決まる。

区別 **owing to ~ ⇔ due to ~** 意味はほぼ同じ。伝統的には due to は be 動詞の後ろ（The delay was due to the snow.）、owing to は文に副詞的に付ける（The game was canceled owing to rain.）とされてきた。今はどちらも前置詞として広く使われるが、be の直後には due to が自然。

0643 ☐☐☐

———— you agree or not, the meeting will be held tomorrow.

① Whether ② If
③ Unless ④ Either

① whether A or B AであろうとBであろうと；AかBか

訳 あなたが賛成しようとしまいと、会議は明日開かれます。

解説 「賛成であろうとなかろうと会議は開かれる」という譲歩の副詞節なので Whether。if は「もし～なら」か目的語の「～かどうか」で、or not と組んだ譲歩の意味にはならない。Unless（～でない限り）は or not と合わない。Either は either A or B で、S V の前に置いて節を作れない。

区別 **whether A or B ⇔ if（～かどうか）** 「～かどうか」の if は動詞の目的語になる名詞節だけ。主語（文頭）、前置詞の後ろ、「A であろうと B であろうと」の副詞節、whether or not の語順では if は使えない。見分け方：文頭の名詞節や譲歩の意味なら必ず whether。

0644 ☐☐☐

The station is very close. It'll take ———— ten minutes to walk there.

① at least ② at most
③ at last ④ at first

② at most 多くても；せいぜい

訳 駅はすぐ近くです。歩いてもせいぜい10分しかかかりません。

解説 「駅はとても近い」ので「歩いても多くて 10 分」と上限を示す at most。at least は「少なくとも」で「遠い」の流れになり矛盾する。at last（ついに）、at first（最初は）は数量に付けて上限・下限を表せない。前の文の情報から上限か下限かを選ぶ問題。

区別 **at most ⇔ at least** at least は下限「少なくとも」、at most は上限「多くても」。見分け方：「それ以上はない」なら at most、「それ以下はない」なら at least。文脈に「近い・小さい・少ない」があれば at most、「遠い・大きい」なら at least が多い。

0645 □□□

_____ present, about 50 students belong to the club.

① In　② For
③ By　④ At

④ at present 現在は；目下

訳 現在、約50人の生徒がそのクラブに所属している。

解説 「現在は」は at present で、冠詞を付けない。for は for the present（当分の間）の形で the が必要なので、For present は誤り。In present / By present という熟語はない。時点を表す at と、the の有無を確かめる問題。

区別 **at present ⇔ for the present** at present は「今（この時点で）」の状態の描写。for the present は「当分の間・差し当たり」で、いずれ変わる前提で今後しばらくを指す。見分け方：「今のところ～だ」と現状を言うなら at present、「しばらくは～しておこう」なら for the present。the の有無にも注意。

0646 □□□

If it _____ not for water, no living things could exist on the earth.

① is　② had been
③ were　④ will be

③ if it were not for ～ （今）もし～がなければ

訳 もし水がなければ、地球上のどんな生物も存在できないだろう。

解説 主節が could exist（could ＋ 原形）で、水があるという今も変わらない事実の反対を仮定しているので仮定法過去の were。had been は過去の仮定で主節は could have existed になる。is / will be は直説法で、could exist と組まない。

区別 **if it were not for ～ ⇔ if it had not been for ～** if it were not for は今の事実の反対（今～がなければ）、if it had not been for は過去の事実の反対（あの時～がなかったら）。見分け方：主節が would ＋ 原形なら were、would have p.p. なら had not been。倒置形も Were it not for / Had it not been for で同じ区別。

0647 □□□

_____ of fire, do not use the elevator.

① Because　② If
③ In case　④ Unless

③ in case of ～ ～の場合には；～に備えて

訳 火事の場合は、エレベーターを使わないでください。

解説 空所の後ろに of fire が続くので In case of ～（～の場合は）。Because は because of の形はあるが「火事が原因で」になり命令文と合わない。If / Unless は接続詞で of を続けられない。後ろの of から形を決める問題。

区別 **in case of ～ ⇔ in case S V** in case of ＋ 名詞は「～の場合は（起きたら）」。in case ＋ S V は「～するといけないから・～に備えて」で、起きる前の準備を言う（米では if の意味で使うこともある）。見分け方：後ろが名詞なら in case of、S V なら in case。

0648 □□□

My sister and I have nothing _____. She loves sports, and I love books.

① in common　② in general
③ in all　④ in public

① in common　共通に；共同で

訳 姉と私には共通点が何もない。姉はスポーツが大好きで、私は本が大好きだ。

解説 後ろの文で好みが正反対だと説明しているので、have nothing in common（共通点がない）。in general（一般に）、in all（全部で）、in public（人前で）は have nothing と組んでも「共通点がない」にならない。have A in common の形を見抜く問題。

区別 **in common ⇔ be common to ~** have A in common は人・物が主語で「共通点を持つ」。be common to ~ は特徴が主語で「～に共通している」。見分け方：主語が持ち主（We / The two countries）なら have ~ in common、主語が特徴（This problem）なら be common to。

0649 □□□

Mr. Kato taught our class _____ Ms. Mori, who was sick.

① in front of　② in case of
③ in spite of　④ in place of

④ in place of ~　～の代わりに

訳 病気の森先生の代わりに、加藤先生が私たちのクラスを教えた。

解説 森先生が病気なので、加藤先生が代わりに授業をした in place of。in front of（～の前で）、in case of（～の場合は）、in spite of（～にもかかわらず）は「病気の先生の代役」という関係を表せない。in ~ of の形の熟語を区別する問題。

区別 **in place of ~ ⇔ instead of ~** instead of は人・物のほか動名詞も自然に続く（instead of studying）。in place of は人・物の「代役・代用品」に向き、動名詞は普通続けない。見分け方：後ろが ~ing なら instead of、「～の代わりにこれを使う／この人が務める」なら両方可。

0650 □□□

Why did you buy that guitar _____ if you never play it?

① at first
② in the first place
③ for the first time
④ first of all

② in the first place　まず第一に；そもそも

訳 一度も弾かないのなら、そもそもなぜそのギターを買ったの？

解説 「弾かないなら、そもそもなぜ買ったのか」と前提を問い直すので文末の in the first place。at first は「最初は（後で変わった）」で、一度きりの買い物には合わない。for the first time は「初めて」。first of all は理由を並べる文頭の言葉で文末には置かない。

区別 **in the first place ⇔ at first** at first は「最初は（後で変わった）」で、but / later などと対になる。in the first place は理由を挙げる「第一に」か「そもそも」。見分け方：「最初は～だったが」と変化を言うなら at first、物事の出発点を問い直すなら in the first place。

0651 □□□

Customers came into the shop one ＿＿＿＿ another.

① by　② to
③ with　④ after

④ one after another 次々に；相次いで

訳 客が次から次へと店に入ってきた。

解説 another と組んで「次々に」となるのは one after another。by は one by one の形で another とは組まない。one to another / one with another という熟語もない。後ろの another から前置詞を決める問題。

区別 **one after another ⇔ one by one** one by one は「1つずつ・1人ずつ」で、順番に一つ一つ扱う様子。one after another は「次から次へと」で、連続して止まらない勢いに重点がある。見分け方：丁寧に順番に処理するなら one by one、とめどなく続くなら one after another。

0652 □□□

I agree with you ＿＿＿＿ some extent, but not completely.

① in　② at
③ on　④ to

④ to ~ extent ～の程度まで；～の範囲で

訳 ある程度はあなたに賛成だが、完全にではない。

解説 「ある程度」は to some extent。to は「～の程度まで」と到達点を表す。in / at / on は extent と組んでこの意味にならない。後半の but not completely（でも完全にではない）とも「ある程度」はよく合う。

区別 **to ~ extent ⇔ to some degree** extent と degree はどちらも「程度」で、to some extent ＝ to some degree とほぼ同じ。ただし by degrees（少しずつ）は extent には言い換えられない。見分け方：「ある程度」なら両方可。前置詞はどちらも to。

0653 □□□

＿＿＿＿ regard to the schedule, we will contact you later.

① With　② For
③ On　④ At

① with regard to ~ ～に関して

訳 日程に関しましては、後ほどご連絡いたします。

解説 regard to と組んで「～に関して」となる前置詞は With（in regard to も可だが選択肢にない）。For / On / At は regard to と組む熟語にならない。固い文書で頻出する前置詞の組み合わせを問う問題。

区別 **with regard to ~ ⇔ (best) regards** 手紙の結びの Best regards や Give my regards to ~（よろしく）は複数形 regards。with regard to（～に関して）は単数形 regard。見分け方：「よろしく」なら s あり、「～に関して」なら s なし。

0654 □□□

Jim never stops talking about soccer. He talks about it ＿＿＿＿.

① at times　② for a time
③ all the time　④ in time

③ all the time いつも；しょっちゅう

訳 ジムはサッカーの話を決してやめない。いつもその話ばかりしている。

解説 前の文の never stops talking（話すのを決してやめない）から「いつも」を表す all the time が正しい。at times は「時々」で、決してやめないという内容と矛盾する。for a time は「しばらくの間」、in time は「間に合って・やがて」で文脈に合わない。

区別 **all the time ⇔ at times** all the time は「いつも」、at times は「時々」（＝ sometimes）と頻度が大きく違う。for a time は「しばらくの間」と期間。見分け方：頻度が高いなら all the time、ときどきなら at times。the と複数の s の有無にも注意。

0655 ☐☐☐

The singer, along with her band members, _____ going to appear on TV tonight.

① are ② be
③ is ④ being

③ along with ~ ～と一緒に；～に加えて

訳 その歌手は、バンドのメンバーと一緒に、今夜テレビに出演する予定だ。

解説 A along with B が主語のとき、動詞は A（The singer）に合わせるので単数の is。band members に引っ張られて are にするのが典型的な誤り。be / being は文の動詞にならない。together with / as well as も同じ考え方で解ける。

区別 **along with ~ ⇔ get along with ~** along with ~ は前置詞句で「～と一緒に」。get along with ~ は動詞句で「～と仲良くやる・うまくやっていく」。見分け方：直前に get があれば人間関係の話。along with の前は名詞や文で、動詞の意味は前の動詞が決める。

0656 ☐☐☐

As far as I am _____, the plan is perfect.

① concerning ② concerned
③ known ④ caring

② as far as ~ is concerned ～に関する限り

訳 私に関する限り、その計画は完璧だ。

解説 as far as ~ is concerned で「～に関する限り」。I が主語なので受け身の形 concerned（関係させられている）が入る。concerning は前置詞「～に関して」で be の後ろに置かない。I am known / caring では「私に関する限り」の意味にならない。

区別 **as far as ~ is concerned ⇔ as long as ~** as far as は「範囲・程度」（～に関する限り・～の範囲では）、as long as は「条件・期間」（～さえすれば・～する間は）。見分け方：if / only if に置き換えられれば as long as、「～については」と範囲を区切るなら as far as。

0657 ☐☐☐

As _____ often the case with him, he was late for class again.

① is ② it is
③ was it ④ he is

① as is often the case with ~ ～にはよくあることだが

訳 彼にはよくあることだが、彼はまた授業に遅刻した。

解説 as は関係代名詞で主節の内容を指し、自ら主語になるので、すぐ後ろに is を置く。it is を入れると主語が二重になり誤り。was it は疑問文の語順、he is は意味が通らない。「as の後ろに it を入れない」という定番の語法を問う問題。

区別 **as is often the case with ~ ⇔ it is often the case that ~** as is often the case は as 自体が主語なので it が入らない。it is often the case that S V は形式主語の文で「～ということがよくある」。見分け方：as で始まれば it なし、it で始まれば that 節が続く。

0658 ☐☐☐

Look at those dark clouds. It could start raining at _____ moment.

① the ② a
③ any ④ one

③ at any moment 今にも；いつなんどき

訳 あの黒い雲を見て。今にも雨が降り出しそうだ。

解説 黒い雲が出ていて could start raining（降り出しかねない）なので「今にも」の at any moment。at the moment は「今のところ」で、可能性を言う could の文に合わない。at a moment / at one moment はこの意味の決まった言い方ではない。

区別 **at any moment ⇔ at the moment** at any moment は「今にも（起こりうる）」と近い未来の可能性、at the moment は「現在・今のところ」と今の状態。見分け方：will / may / could など未来・可能性の文なら any、現在形・現在進行形で今の状況なら the。

0659 ☐☐☐

She can be a little difficult ———, but she is a kind person.

① at a time　② at one time
③ at times　④ in time

③ at times 時々；時には

訳 彼女は時々少し気難しいこともあるが、親切な人だ。

解説 can be と組んで「時には少し気難しいこともある」と頻度を言うので at times。at a time は「一度に」で数量と使う。at one time は「かつて」で can be（現在の可能性）と合わない。in time は「間に合って」。複数形 times に注目する問題。

区別 **at times ⇔ at a time / at one time** at a time は「一度に」（two at a time）、at one time は「かつて・一時は」。at times だけが「時々」。見分け方：数量と一緒なら at a time、過去の一時期なら at one time、頻度なら at times。

0660 ☐☐☐

The actor had to learn all his lines ——— heart in a week.

① at　② by
③ in　④ with

② by heart 暗記して；そらで

訳 その俳優は、1週間で自分のせりふを全部暗記しなければならなかった。

解説 learn ~ by heart で「暗記する」。at heart は「根は・心の底では」で learn と組まない。in heart / with heart は熟語として「暗記」の意味を持たない。せりふを 1 週間で覚えるという文脈からも by heart。

区別 **by heart ⇔ at heart** by heart は「暗記して」。at heart は「心の底では・根は」で人の本当の性質を言う（He is kind at heart.）。見分け方：learn / know と一緒で覚える話なら by heart、人柄の話なら at heart。

0661 ☐☐☐

Don't just believe what others say. Go and see ——— yourself.

① of　② to
③ with　④ for

④ for oneself 自分で；自分のために

訳 人の言うことをただ信じてはいけない。自分で行って確かめなさい。

解説 他人の話を信じるのではなく「自分の目で確かめて」なので see for yourself。of / to / with は yourself と組んで「自分で」の意味にならない。他人任せにしない「自分で」は for oneself、と判断の動詞とのつながりで覚える。

区別 **for oneself ⇔ by oneself** by oneself は「一人きりで（alone）」「独力で」で、周りに人がいない・手助けがない状態。for oneself は「自分自身で判断・確認する」「自分のために」。見分け方：see / think / judge など判断の動詞なら for、live / go など一人の状態なら by。

0662 □□□

_____ a sense, he was right, but his way of saying it was rude.

① On ② At
③ By ④ In

④ in a sense ある意味では

訳 ある意味では彼は正しかったが、その言い方は失礼だった。

解説 a sense と組んで「ある意味では」となる前置詞は In。On / At / By は a sense と熟語を作らない。but 以下で一部を否定しているので、「ある意味では正しい」と部分的に認める in a sense が文の流れにも合う。

区別 **in a sense ⇔ make sense** make sense は動詞句で「意味が通じる・筋が通る」（That makes sense.）。in a sense は副詞句で「ある意味では」。見分け方：主語＋動詞の形で「理解できる」なら make sense、文に添えて「ある意味」なら in a sense。

0663 □□□

In contrast _____ her quiet sister, Emi is very talkative.

① of ② to
③ from ④ for

② in contrast to ~ ～とは対照的に

訳 物静かな姉とは対照的に、恵美はとてもおしゃべりだ。

解説 in contrast の後ろに比べる相手を置くときの前置詞は to（with も可だが選択肢にない）。of / from / for は contrast と組んで「～とは対照的に」にならない。different from と混ぜて from を選ぶ誤りに注意。

区別 **in contrast to ~ ⇔ by contrast** by contrast は単独で文頭に置き、前の文と対比するつなぎの言葉（後ろに名詞を続けないのが普通）。in contrast to ~ は直後に比べる相手を名詞で置く。見分け方：コンマの後に文が続くなら by contrast / in contrast、名詞が続くなら in contrast to。

0664 □□□

You can't apply online. You need to come to the office _____.

① in public ② by person
③ in person ④ on person

③ in person 直接；本人が自分で

訳 オンラインでは申し込めません。本人が直接事務所に来る必要があります。

解説 「オンラインではなく本人が来所する」ので in person。in public は「人前で」で手段の対比にならない。by person / on person という熟語はない。前の文の online との対比から「直接」を選ぶ問題。

区別 **in person ⇔ personally** personally は「個人的には（私の意見では）」の意味が中心で、文頭に置いて意見を言う。in person は「本人が直接」で、手段の対比（電話でなく会って）を表す。見分け方：意見なら personally、来る・会う・申し込む方法なら in person。

0665 □□□

He _____ lives in this town. He moved to Osaka last year.

① no longer ② not any longer
③ any longer ④ not longer

① not ~ any longer もはや～ない

訳 彼はもうこの町には住んでいない。去年、大阪へ引っ越した。

解説 一般動詞 lives の前に入って「もはや住んでいない」を表すのは no longer。not any longer は lives の前に置けず、doesn't live ... any longer の形にする必要がある。any longer だけでは否定にならず、not longer という形もない。

区別 **not ~ any longer ⇔ no longer** 意味は同じで位置が違う。no longer は文中（一般動詞の前、be 動詞・助動詞の後ろ）で、not は付けない。not ~ any longer は not で否定し、any longer を文末に置く。見分け方：文中に入れるなら no longer、文末なら any longer。

0666 □□□

Expensive things are ———— good. Sometimes a cheap one works just as well.

① never　② not always
③ always not　④ not ever

② not always　いつも～とは限らない

訳 高価な物が必ずしも良いとは限らない。安い物でも同じくらいうまく使えることがある。

解説 後ろの文で「安いものが同じくらい役立つこともある」と言っているので、「高いものがいつも良いとは限らない」の部分否定 not always。never だと「高いものは決して良くない」となり just as well（同じくらい良い）と矛盾する。always not / not ever は語順・形が不自然。

区別 **not always ⇔ never**　never は「一度も・決して～ない」の全否定。not always は「いつも～とは限らない」の部分否定で、そういう場合もあると認めている。見分け方：後の文に「時には～」「～な場合もある」があれば部分否定の not always。

0667 □□□

He is not so much a teacher ———— a friend to his students.

① than　② as
③ but　④ that

② not so much A as B　AというよりむしろB

訳 彼は生徒たちにとって、教師というよりむしろ友人だ。

解説 not so much A as B で「A というよりむしろ B」。so ~ as の比較の形なので as。than は比較級の後ろ、but は not A but B の形で、not so much と組まない。that も熟語を作らない。「先生というよりむしろ友達」という意味になる。

区別 **not so much A as B ⇔ not so much as ~**　not so much as ~ は「～さえしない」（= not even）で、後ろに動詞の原形が来ることが多い。not so much A as B は A と B の二つを比べて B を選ぶ。見分け方：as の前に A が挟まっていれば比較、not so much as が続いていれば「さえしない」。

0668 □□□

This decision is of great ———— to our future.

① importance　② important
③ importantly　④ import

① of importance　重要な

訳 この決定は私たちの将来にとって非常に重要だ。

解説 of と great の後ろなので名詞が必要で、of great importance（とても重要な）。important は形容詞、importantly は副詞で of の後ろに置けない。import は「輸入」で意味が合わない。of + 抽象名詞 = 形容詞の型を問う問題。

注意 of importance = important、of use = useful、of value = valuable、of help = helpful。of great importance = very important のように great で強める（very は不可）。

0669 □□□

The flight was delayed on ———— of the storm.

① behalf　② spite
③ reason　④ account

④ on account of ~　～のために；～の理由で

訳 嵐のため、その便は遅れた。

解説 on と of に挟んで原因を表すのは account で、on account of（～のために）。on behalf of は「～を代表して」で嵐には使えない。spite は in spite of で前置詞が in、reason は for the reason の形で on ~ of にならない。

区別 **on account of ~ ⇔ on no account**　on no account は「決して～ない」の強い否定で、文頭に置くと倒置が起きる（On no account should you ~）。on account of ~ は原因。見分け方：of ~ が続けば原因、no が入って of がなければ否定。

0670 ☐☐☐

Buying a new car is ＿＿＿＿; we don't have enough money.

① out of question
② without question
③ out of the question
④ beyond question

③ out of the question 問題外で；不可能で

訳 新しい車を買うなんて問題外だ。私たちには十分なお金がない。

解説 お金が足りないので「新車を買うのは不可能」の out of the question。without question / beyond question は「疑いなく」で否定の流れに合わない。out of question は the がなく、「不可能」の意味では使えない。the の有無と意味の向きを確かめる問題。

区別 **out of the question ⇔ without question / beyond question** without question / beyond question は「疑いなく・確かに」で、強い肯定。out of the question は「話にならない・不可能」で否定。見分け方：the があり「無理」の流れなら out of the question、評価をほめる流れなら without question。

0671 ☐☐☐

Only a ＿＿＿＿ of people came to the meeting because of the heavy rain.

① hand　② handle
③ handy　④ handful

④ a handful of ～ 少数の～；一握りの～

訳 大雨のため、会議にはほんのわずかな人しか来なかった。

解説 「少数の～」は a handful of ～。hand ＋ -ful で「手のひらいっぱい」の量。hand（手）/ handle（取っ手）は a ~ of people の形で数を表さない。handy は形容詞で冠詞と of の間に置けない。only と大雨で来た人が少ないという文脈にも合う。

区別 **a handful of ～ ⇔ a host of ～** a handful of は「少数の」、a host of は「多数の」と、数量が正反対。見分け方：hand（手）でつかめる量なら少ない、host（大群）なら多い、と語の元の意味から判断する。only と一緒なら handful。

0672 ☐☐☐

Nobody knew about the plan because the members had discussed it ＿＿＿＿.

① with a secret　② on secret
③ in secret　④ a secret

③ in secret ひそかに；内緒で

訳 メンバーたちがひそかに話し合っていたので、誰もその計画を知らなかった。

解説 「ひそかに」は in secret（＝ secretly）。on secret という言い方はない。with a secret は「秘密を持って」で話し合い方を表さない。a secret だけでは discussed it の後ろに置けない（keep a secret なら可）。

区別 **in secret ⇔ in public** in secret は「ひそかに・人に知られずに」、in public は「人前で・公然と」と反対。見分け方：隠れて行うなら in secret、人が見ている所で行うなら in public。どちらも冠詞は付けない。

0673 □□□

Put on a jacket, ＿＿＿＿ you'll catch a cold.

① and　② so that
③ or else　④ unless

③ or else さもないと；そうでなければ

訳 上着を着なさい。さもないと風邪をひくよ。

解説 「上着を着なさい、さもないと風邪をひく」と、従わない場合の悪い結果が続くので or else。and だと「着れば風邪をひく」となり逆の意味になる。so that は目的（…するように）で、風邪をひくことが目的になってしまう。unless の後ろの節には普通 will を使わず、意味も合わない。

区別 **or else ⇔ 命令文, and ~** 命令文, or (else) ~ は「…しなさい、さもないと（悪い結果）」、命令文, and ~ は「…しなさい、そうすれば（良い結果）」。見分け方：後ろが悪い結果なら or else、良い結果なら and。

0674 □□□

I have a dog and a cat. The former is white, and the ＿＿＿＿ is black.

① latter　② latest
③ later　④ late

① the former …, the latter … 前者は～、後者は…

訳 私は犬と猫を飼っている。前者は白く、後者は黒い。

解説 2 つのうち先に出た dog を the former（前者）で指しているので、後に出た cat は the latter（後者）。later は「もっと後で」と時間を表す語で、2 つのうちの一方を指せない。latest は「最新の」、late は「遅い」で意味が合わない。

区別 **the former …, the latter … ⇔ later** latter は「（2つのうち）後者の」、later は「もっと後で・後の」と時間を表す。見分け方：the former と対になっていれば latter（t が 2 つ）。see you later のように時間なら later。latest は「最新の」。

0675 □□□

When I go to college, I'd like to have a room of ＿＿＿＿ own.

① mine　② me
③ my　④ myself

③ ~ of one's own 自分自身の～

訳 大学に入ったら、自分だけの部屋が欲しい。

解説 ~ of one's own の one's には所有格が入るので my。own の前に置けるのは所有格だけで、mine（所有代名詞）・me・myself は own と組まない。a room of mine という言い方はあるが、その場合は後ろに own を付けない。

区別 **~ of one's own ⇔ on one's own** on one's own は「一人で・独力で」（＝alone / by oneself）で、副詞のように働く。~ of one's own は名詞の後ろに付いて「自分自身の～」と所有を表す。見分け方：直前に名詞があれば of one's own。

0676 □□□

This room is three ＿＿＿＿ as large as mine.

① times　② twice
③ time　④ more

① ~ times as … as — —の～倍…

訳 この部屋は私の部屋の3倍の広さだ。

解説 three の後ろで「3 倍」を表すのは times（複数形）。time は単数で three と合わない。twice は「2 倍」で three と重ねられない。more は比較級を作る語で、as ~ as の前に置いて倍数を表さない。

区別 **~ times as … as — ⇔ ~ times the + 名詞 + of —** as ~ as の代わりに size / number / price などの名詞を使う形。This room is three times the size of mine. のように times の後に the + 名詞 + of を置く。見分け方：形容詞なら as large as、名詞なら the size of。どちらも倍数は前に置く。

0677 □□□

We finished the project two weeks _____ of schedule.

① before ② ahead
③ front ④ early

② ahead of ~ ～より前に；～より進んで

訳 私たちはその計画を予定より2週間早く終えた。

解説 of schedule と組んで「予定より早く」となるのは ahead。before は前置詞なので of を付けない（before the deadline）。front は in front of の形で場所に使う。early は副詞で of を取らない。of から形を決める問題。

区別 **ahead of ~ ⇔ in front of ~** in front of は「（場所が）～の前に」だけ。ahead of は場所に加えて時間（ahead of the deadline）、進度・能力（ahead of other countries）の「先」も表す。見分け方：schedule / time / 競争相手など場所以外の話なら ahead of。

0678 □□□

Please come into the room one _____ a time.

① by ② in
③ on ④ at

④ at a time 一度に；続けて

訳 1人ずつ部屋に入ってください。

解説 one at a time で「1 回に 1 人ずつ」。by は one by one の形で a time とは組まない。in a time / on a time は熟語にならない。one by one と one at a time を混ぜる誤りを問う問題。

区別 **at a time ⇔ at times** at times は「時々」で頻度。at a time は「一度に」で数量の区切り。見分け方：前に数（one / two）があれば at a time、頻度を言うなら at times。冠詞 a と複数の s の違いだけなので注意。

0679 □□□

_____ your help, I would have failed the exam.

① But ② Except
③ Instead of ④ But for

④ but for ~ ～がなければ；～がなかったら

訳 あなたの助けがなかったら、私は試験に落ちていただろう。

解説 主節が would have failed（仮定法過去完了）なので「あなたの助けがなかったら」の But for。But だけでは名詞を続けて条件を表せない。Except は「～を除いて」で仮定の条件にならない。Instead of（～の代わりに）も意味が合わない。

区別 **but for ~ ⇔ if it had not been for ~** if 節は時制で今か過去かを示すが、but for / without は形が変わらない。見分け方：but for の文では主節が would ＋ 原形か would have p.p. かを見る。書き換えでは主節に合わせて if it were not for / if it had not been for を選ぶ。

0680 □□□

A: May I come to the party, too? B: _____ Everyone will be glad to see you.

① By no means. ② By means of it.
③ By all means. ④ By the way.

③ by all means ぜひどうぞ；必ず

訳 A：私もパーティーに行っていいですか。 B：ぜひどうぞ。みんな会えて喜びますよ。

解説 「みんな喜ぶよ」と続くので、許可を強く与える By all means.（ぜひどうぞ）。By no means は「決してだめ」で後ろと矛盾する。By means of it は手段を表す句で返事にならない。By the way は「ところで」で話題を変える言葉。

区別 **by all means ⇔ by no means** by no means は「決して～ない」（not at all）で強い否定。by all means は「ぜひ・もちろん」で強い肯定。見分け方：all（すべての手段で）なら肯定、no（どんな手段でも～ない）なら否定。文頭の By no means は倒置を起こす。

0681 ☐☐☐

The message was sent by ＿＿＿＿ of a special code.

① mean　② means
③ meaning　④ meant

② by means of ~ ～によって；～を用いて

訳 そのメッセージは特別な暗号によって送られた。

解説 「～によって」は by means of ~ で、means（手段）と s が必要。mean は動詞「意味する」、meaning は「意味」、meant はその過去形で、by ~ of の形で手段を表せない。means の s を落とす誤りを問う問題。

区別 **by means of ~ ⇔ by way of ~** by way of ~ は「～を経由して」（by way of Hawaii）、「～として」（by way of example）。by means of ~ は道具・方法の手段。見分け方：経由地なら by way of、道具や方法なら by means of。

0682 ☐☐☐

Hardly ＿＿＿＿ I left home when it began to rain.

① did　② have
③ had　④ was

③ hardly ~ when ... ～するとすぐに…

訳 家を出るとすぐに雨が降り始めた。

解説 否定の副詞 Hardly が文頭に出ると倒置が起き、前半は過去完了なので Hardly had I left。did では did I leave と原形が必要で、left と合わない。have は時制が合わず、was は left と組まない。when 以下の過去形より前の出来事なので過去完了になる。

区別 **hardly ~ when ... ⇔ no sooner ~ than ...** no sooner は比較級 sooner を含むので than と組む。hardly / scarcely は when / before と組む。見分け方：sooner があれば than、hardly / scarcely なら when。どちらも前半は過去完了、後半は過去形で、文頭なら倒置。

0683 ☐☐☐

＿＿＿＿ conclusion, I believe that everyone should learn a second language.

① In　② At
③ On　④ By

① in conclusion 結論として；最後に

訳 結論として、私は誰もが第二言語を学ぶべきだと思います。

解説 conclusion と組んで「結論として」となる前置詞は In。At / On / By は conclusion と熟語を作らない。at last（ついに）と混ぜて At を選ぶ誤りに注意。主張をまとめる文頭の言葉。

区別 **in conclusion ⇔ at last** at last は「（待った末に）ついに・やっと」で、出来事が実現したときに使う。in conclusion はまとめの合図。見分け方：文章の締めくくりで主張を述べるなら in conclusion、長く待ったことが起きたなら at last。「最後に」を at last にする誤りが多い。

0684 ☐☐☐

Could you explain the plan in more ＿＿＿＿?

① details　② detailed
③ detail　④ detailing

③ in detail 詳しく；詳細に

訳 その計画をもっと詳しく説明していただけますか。

解説 「より詳しく」は in more detail で、detail は冠詞なし・単数。details と s を付けるのは熟語として誤り。detailed は形容詞、detailing は動名詞で、in more の後ろに置いて「詳しく」にならない。

区別 **in detail ⇔ in brief** in brief は「手短に・要するに」で、in detail の反対。見分け方：時間をかけて細かく説明するなら in detail、要点だけなら in brief。どちらも冠詞なしで、名詞も単数。

0685 ☐☐☐

I taught him Japanese in exchange ＿＿＿ English lessons.

① of　② with
③ to　④ for

④ in exchange for ~ ～と交換に；～の代わりに

訳 私は英語のレッスンと引き換えに、彼に日本語を教えた。

解説 in exchange の後ろで交換の相手を示す前置詞は for。exchange A for B（A を B と交換する）と同じ for。of / with / to は「～と引き換えに」の意味にならない。for の「交換」の働きを問う問題。

区別 **in exchange for ~ ⇔ in return for ~** in return for は「～のお返しに」で、受けた好意・親切へのお礼にもよく使う。in exchange for は物・サービスを取り替える取引の感じが強い。見分け方：kindness / help への返礼なら in return for、物と物の交換なら in exchange for。重なる場面も多い。

0686 ☐☐☐

This old house is badly in ＿＿＿ of repair.

① needs　② need
③ needing　④ needed

② in need of ~ ～を必要として

訳 この古い家はひどく修理を必要としている。

解説 in と of に挟まるのは名詞 need で、be in need of ~（～を必要としている）。needs は動詞の三単現か複数名詞で熟語の形にならない。needing / needed は動詞の変化形で、in の後ろの名詞の位置に置けない。

区別 **in need of ~ ⇔ in need（単独）** in need は単独で「困窮して・困っている」の意味で、名詞の後ろに置く（children in need）。in need of ~ は「～を必要として」で of の後ろに必要な物を置く。見分け方：of が続けば何が必要か、単独なら困っている状態。

0687 ☐☐☐

He helped me with my homework, so I bought him lunch in ＿＿＿.

① return　② turn
③ time　④ case

① in return お返しに；その代わりに

訳 彼が宿題を手伝ってくれたので、私はお返しに昼食をおごった。

解説 宿題を手伝ってもらった「お返しに」昼食をおごったので in return。in turn は「順番に・今度は」で返礼の意味にならない。in time（間に合って）、in case（念のため）も流れに合わない。return と turn の取り違えを問う問題。

区別 **in return ⇔ in turn** in turn は「順番に」「（その結果）今度は～が」で、出来事の連鎖や順番を表す。in return は受けたものに対する「お返し」。見分け方：何かをしてもらった返礼なら return、順番・連鎖なら turn。

0688 ☐☐☐

＿＿＿ for your kindness, I'd like to invite you to dinner.

① In turn　② In case
③ In spite　④ In return

④ in return for ~ ～のお返しに；～と引き換えに

訳 ご親切へのお礼に、あなたを夕食にご招待したいです。

解説 「ご親切のお返しに夕食に招きたい」なので In return for。In turn は for を取らず「順番に・今度は」の意味。In case は in case of の形、In spite は in spite of の形で、どれも for と組まない。

区別 **in return for ~ ⇔ in exchange for ~** in exchange for は物・サービスの取り替え（取引）の感じが強い。in return for は好意や親切への返礼にも自然に使える。見分け方：kindness / hospitality など気持ちへのお返しなら in return for。

0689 □□□

Many people moved to the city in search _____ work.

① for ② to
③ of ④ with

③ in search of ~ ～を探して；～を求めて

訳 多くの人が仕事を求めて都会へ移り住んだ。

解説 名詞 search を使った in search of ~ で「～を求めて」。動詞 search for ~ と混ぜて for を入れるのが典型的な誤り。to / with も search と組んで「探して」の意味にならない。名詞の後ろは of と覚える。

区別 **in search of ~ ⇔ search A (for B)** search the room は「部屋を（中を）捜索する」で、目的語は探す場所。探す物は for で示す（search the room for the key）。見分け方：探し物を直接言うなら search for ~ / in search of ~、場所を調べるなら search + 場所。

0690 □□□

Stress causes poor sleep, which _____ leads to more stress.

① in return ② in turn
③ in vain ④ in short

② in turn 順番に；今度は

訳 ストレスは睡眠不足を引き起こし、それが今度はさらなるストレスにつながる。

解説 ストレス → 睡眠不足 → 今度はそれがさらにストレスを生む、という因果の連鎖なので in turn。in return は返礼、in vain は「無駄に」、in short は「要するに」で、どれも連鎖の「今度は」を表せない。

区別 **in turn ⇔ in return** in return は受けた好意・物へのお返し。in turn は順番、または「A が B を起こし、B が今度は C を起こす」連鎖。見分け方：関係代名詞 which の後で因果をつなぐなら in turn、返礼なら in return。

0691 □□□

The work is _____ finished. We only need to check it once.

① more and more ② no more
③ more or less ④ much more

③ more or less 多かれ少なかれ；だいたい

訳 その仕事はほぼ終わった。あと1回確認するだけでいい。

解説 「確認が一度残っているだけ」なので「ほぼ終わった」の more or less。more and more は「ますます」で finished（完了）と組まない。no more（もはや～ない）、much more（ずっと多く）も「ほぼ」の意味にならない。

区別 **more or less ⇔ more and more** more and more は「ますます」で、変化が進む様子（It is getting more and more expensive.）。more or less は「だいたい・多少は」で程度のあいまいさ。見分け方：getting / becoming など変化の文なら more and more、完了度やおおよその数なら more or less。

0692 □□□

I don't eat out often, but I go to a nice restaurant once in a _____.

① time ② while
③ way ④ day

② once in a while 時々；たまに

訳 私はあまり外食しないが、時々すてきなレストランに行く。

解説 「たまに」は once in a while。前の文の「よく外食はしない」と頻度の低さが合う。once in a time / once in a way / once in a day は熟語にならない（once a day は「1 日 1 回」で in が入らない）。

区別 **once in a while ⇔ once and for all** once and for all は「きっぱりと・これを最後に」で、問題を一度で決着させる。once in a while は「たまに」で頻度。見分け方：settle / decide / stop など決着の動詞なら once and for all、習慣の頻度なら once in a while。

0693 □□□

Saying you will do something is one thing, and actually doing it is ＿＿＿＿.

① other　② the other
③ another　④ others

③ one ~, another ...
1つは～、もう1つは... ; ある人は～、別の人は...

訳 何かをすると言うことと、実際にそれをすることは別物だ。

解説 A is one thing, and B is another. で「A と B は別物だ」という決まり文句なので another。the other は 2 つのうちの残りを特定する言い方で、この決まり文句では使わない。other は単独で代名詞にならない。others は複数で is と合わない。

区別 **one ~, another ... ⇔ one ~, the other ...** 2 つのうち残りが 1 つに決まるなら the other、3 つ以上あって残りがまだ決まらないなら another。見分け方：全体の数が 2 なら the other、3 以上で「別の 1 つ」なら another。A is one thing, B is another. は数に関係なく another。

0694 □□□

This map is ＿＿＿＿; the new station isn't on it.

① up to date　② out of order
③ out of sight　④ out of date

④ out of date 時代遅れの ; 期限切れの

訳 この地図は古くなっている。新しい駅が載っていない。

解説 新しい駅が載っていないので「古くなっている」の out of date。up to date は「最新の」で正反対。out of order は機械の「故障中」、out of sight は「見えない所に」で、地図の古さには使わない。

区別 **out of date ⇔ up to date** up to date は「最新の・最新情報を取り入れた」で out of date の反対。keep ~ up to date（最新の状態に保つ）の形も頻出。見分け方：古くて使えないなら out of date、新しい情報に追いついているなら up to date。

0695 □□□

The elevator is out ＿＿＿＿ order, so we have to use the stairs.

① of　② in
③ on　④ for

① out of order 故障して ; 順番が狂って

訳 エレベーターが故障しているので、階段を使わなければならない。

解説 「故障中」は out of order。階段を使わなければならない、という流れにも合う。out in / out on / out for は order と組んで「故障」の意味にならない。in order は out を付けず「整っている」の意味になる。

区別 **out of order ⇔ break down** break down は車・機械が「（動いていて）故障する・止まる」という出来事を表す動詞。out of order は設備が「故障中」という状態で、掲示に向く。見分け方：故障した瞬間・車なら break down、使えない状態の設備なら out of order。

0696 □□□

Please check in at least one hour prior to ＿＿＿＿.

① departure　② depart
③ departed　④ be departing

① prior to ～　～より前に；～に先立って

訳 出発の少なくとも1時間前までにチェックインしてください。

解説 prior to の to は前置詞なので、後ろは名詞 departure（出発）。depart / be departing は to 不定詞と勘違いした形で誤り。departed は過去形・過去分詞で前置詞の後ろに置けない。to の品詞を見抜く問題。

区別 **prior to ～ ⇔ before**　意味は同じだが、before は接続詞として S V も続けられる（before he left）。prior to は前置詞だけなので、後ろは名詞・動名詞。見分け方：後ろが S V なら before、名詞なら両方可。prior to は書き言葉向き。

0697 □□□

You can learn these new skills step ＿＿＿＿ step with this guide.

① to　② on
③ by　④ for

③ step by step　一歩一歩；少しずつ

訳 このガイドを使えば、新しい技術を一歩一歩身につけることができる。

解説 step by step で「一歩一歩」。by は「～ずつ」の意味で、one by one / day by day と同じ型。step to step / step on step / step for step という成句はない。

区別 **step by step ⇔ little by little**　little by little は「少しずつ」と量・程度がだんだん変わる様子。step by step は「段階を追って」と順序立てて進む様子に重点がある。どちらも「名詞 by 名詞」の形。

0698 □□□

I can't buy that car. ＿＿＿＿, it's too expensive. Second, it's too big.

① At first　② At last
③ To begin with　④ In the end

③ to begin with　まず第一に；そもそも

訳 その車は買えないよ。まず第一に、高すぎる。次に、大きすぎる。

解説 後ろに Second と理由が続くので、一つ目の理由を出す To begin with。At first は「最初は（後で変わった）」で理由の列挙に使わない。At last（ついに）、In the end（結局）も Second と並べられない。

区別 **to begin with ⇔ at first**　at first は「最初は（後で変わった）」で、but / now などと対比する。to begin with は理由を並べる「第一に」が中心。見分け方：後に Second / Besides と理由が続けば to begin with、時間による変化なら at first。

0699 □□□

We got lost in the mountains. ＿＿＿＿, it began to snow.

① To make matters worse
② To tell the truth
③ To begin with
④ Needless to say

① to make matters worse　さらに悪いことに

訳 私たちは山で道に迷った。さらに悪いことに、雪が降り始めた。

解説 道に迷ったうえに雪まで降り出した、と悪いことを重ねているので To make matters worse。To tell the truth（実を言うと）、To begin with（まず第一に）、Needless to say（言うまでもなく）は悪い出来事を重ねる合図にならない。

区別 **to make matters worse ⇔ what is more**　what is more は「その上・さらに」で、同じ方向の情報を足す（良いことにも使う）。to make matters worse は悪いことを重ねるときだけ。見分け方：前後がどちらも悪い出来事なら to make matters worse / what is worse。

0700 ☐☐☐

The hotel was clean and comfortable. ＿＿＿＿, it was very cheap.

① What is worse　② Instead
③ Otherwise　④ What is more

④ what is more　その上；さらに

訳 そのホテルは清潔で快適だった。その上、とても安かった。

解説 清潔で快適なうえに安かった、と良い点を重ねているので What is more。What is worse は悪い点を重ねるときに使う。Instead（代わりに）、Otherwise（そうでなければ）は情報を付け足す働きを持たない。

区別 **what is more ⇔ what is worse**　what is worse は「さらに悪いことに」で、悪い情報を重ねるときだけ使う。what is more は良い・中立の情報を足すのが普通。見分け方：前後がどちらもほめ言葉・利点なら what is more、どちらも悪い出来事なら what is worse。

0701 ☐☐☐

＿＿＿＿ a rule, I get up at six, but today I overslept.

① In　② By
③ As　④ On

③ as a rule　概して；普通は

訳 私は普段は6時に起きるが、今日は寝坊した。

解説 「原則として 6 時に起きるが今日は寝坊した」なので As a rule。In / By / On は a rule と組んで「普通は」の意味にならない。as（～として）の働きを押さえていれば迷わない。

区別 **as a rule ⇔ as usual**　as usual は「いつものように」で、特定の場面が普段どおりだったことを言う（He was late as usual.）。as a rule は「原則として」で、一般的な習慣・傾向。見分け方：今日・その日の出来事なら as usual、普段の決まりなら as a rule。

0702 ☐☐☐

There was some disagreement ＿＿＿＿ how the money should be used.

① as for　② as to
③ such as　④ as if

② as to ~　～に関して；～について

訳 そのお金をどう使うべきかについて、いくらか意見の食い違いがあった。

解説 disagreement（意見の違い）の内容を how 節で示すので「～について」の as to。as for は文頭で話題を変えるのが普通で、名詞の直後に置いて wh 節を続けない。such as は例示、as if は「まるで～のように」で、意味が合わない。

区別 **as to ~ ⇔ as for ~**　as for は文頭に置いて「～について言えば」と前の話題から別の人・物へ移る（As for me, I'm happy.）。as to は文中で about の代わりに使い、wh 節を続けやすい。見分け方：文頭で話題を変えるなら as for、question / doubt / disagreement の後に置くなら as to。

0703 ☐☐☐

They fell in love at first ＿＿＿＿.

① sights　② see
③ seeing　④ sight

④ at first sight　一目で；一見したところ

訳 彼らは一目で恋に落ちた。

解説 「一目ぼれする」は fall in love at first sight で、sight は冠詞なしの単数。sights は「名所」の意味になる。see は動詞で at first の後ろに置けず、seeing も熟語の形にならない。

区別 **at first sight ⇔ at first**　at first は「最初は（後で変わった）」で時間の変化。at first sight は「最初に見たときに・一目で」。見分け方：見た瞬間の印象・恋なら at first sight、時間がたって気持ちが変わったなら at first。

0704 ☐☐☐

The winners were chosen ＿＿＿＿ random from all the people who entered.

① at　② by
③ in　④ on

① at random 無作為に；手当たり次第に

訳 当選者は、応募した人全員の中から無作為に選ばれた。

解説 「無作為に」は at random。by は by chance（偶然）で使う前置詞で、by random という形はない。in / on も random と組まない。選び方を表す決まった形を問う問題。

区別 **at random ⇔ by chance** by chance は「偶然に」で、意図していないことが起きる。at random は「（わざと）法則を決めずに」で、選ぶ人の行動。見分け方：choose / pick と組んで選び方を言うなら at random、出会いや発見なら by chance。

0705 ☐☐☐

Summers in this city are very hot. ＿＿＿＿, the winters are quite mild.

① On the contrary　② As a result
③ By contrast　④ For example

③ by contrast それとは対照的に；一方

訳 この都市の夏はとても暑い。それとは対照的に、冬はかなり穏やかだ。

解説 夏は暑い、冬は穏やか、と二つの季節を比べているので By contrast。On the contrary は前の内容を打ち消すときに使い、夏が暑いことを否定していないので合わない。As a result（その結果）、For example（例えば）も対比の働きがない。

区別 **by contrast ⇔ on the contrary** on the contrary は「それどころか（反対に）」で、前に述べたことや相手の言葉を否定してから反対の事実を言う。by contrast は二つの事柄をどちらも正しいと認めたうえで違いを示す。見分け方：前の内容を打ち消すなら on the contrary、二つを比べるなら by contrast。

0706 ☐☐☐

All of these sweaters are made ＿＿＿＿ hand.

① by　② with
③ in　④ at

① by hand 手で；手作業で

訳 これらのセーターはすべて手作りだ。

解説 「手作業で」は by hand で、手段を表す by に冠詞なしの hand。with を使うなら with one's hands と所有格と複数形が必要。in hand は「手元に・制御して」、at hand は「近くに」で、作り方の意味にならない。

区別 **by hand ⇔ by heart** by heart は「暗記して」（learn ~ by heart）。by hand は「手で（作る・書く）」。見分け方：覚える話なら heart、作業・作り方なら hand。どちらも冠詞なしで by の後ろに置く。

0707 ☐☐☐

He left two hours ago, so he should have arrived ＿＿＿＿.

① until now　② for now
③ just now　④ by now

④ by now 今ごろはもう；今までに

訳 彼は2時間前に出発したので、今ごろはもう着いているはずだ。

解説 「2 時間前に出たので、今ごろはもう着いているはず」と、今の時点までの完了を推量するので by now。until now は継続で arrived（一回の到着）と合わない。for now は「今のところ」、just now は「ついさっき」で should have arrived と組まない。

区別 **by now ⇔ until now / so far** until now は「今まで（ずっと）」で継続を表し、今それが変わることが多い。so far は「これまでのところ」。by now は「今までには（もう～しているはず）」と完了・推量。見分け方：should have arrived など完了の推量なら by now。

0708 □□□

_____ to what many people believe, bats are not blind.

① Contrast　② On the contrary
③ Contrary　④ Opposite

③ contrary to ~ ～に反して；～とは逆に

訳 多くの人が信じているのとは反対に、コウモリは目が見えないわけではない。

解説 to ＋ what 節と組んで「多くの人が信じていることとは反対に」となるのは Contrary。On the contrary は to を取らない。Contrast は名詞・動詞で to を続けて文頭に置けない。Opposite to も熟語として不自然。

区別 **contrary to ~ ⇔ on the contrary** on the contrary は単独で「それどころか」と、前の文や相手の発言を否定して反対の内容を言う。contrary to ~ は後ろに名詞を置き「～とは反対に」。見分け方：to ＋ 名詞が続けば contrary to、単独で文頭なら on the contrary。

0709 □□□

Online classes are convenient, but many students still prefer _____ lessons.

① face to face　② faces to faces
③ face-to-face　④ face by face

③ face to face 面と向かって；直接会って

訳 オンライン授業は便利だが、今も対面授業の方を好む学生が多い。

解説 名詞 lessons の前に置いて形容詞として使うので、ハイフンでつないだ face-to-face。ハイフンのない face to face は副詞句として動詞の後ろで使う（talk face to face）。faces to faces / face by face という形はない。

区別 **face to face ⇔ to one's face** face to face は二人が対面する様子で所有格を取らない。to one's face は say / tell と組んで「本人に面と向かって（言う）」で、所有格が必要。見分け方：所有格があれば to one's face、会う・話す様子なら face to face。

0710 □□□

_____ all his efforts, he failed the exam.

① By　② At
③ On　④ For

④ for all ~ ～にもかかわらず

訳 あれほど努力したにもかかわらず、彼は試験に落ちた。

解説 「あれほど努力したにもかかわらず不合格だった」と譲歩を表すので For all。By all / At all / On all は「～にもかかわらず」の意味にならない（at all は否定の強め）。努力と不合格が逆の流れになっている点に注目する。

区別 **for all ~ ⇔ all for ~** be all for ~ は「～に大賛成だ」（I'm all for the plan.）。for all ~ は「～にもかかわらず」。見分け方：be 動詞の後ろで all が先なら賛成、文頭や文末で for が先なら譲歩。

0711 □□□

I got this ticket _____ nothing. My friend couldn't go, so he gave it to me.

① by　② for
③ in　④ with

② for nothing ただで；むだに

訳 私はこのチケットをただで手に入れた。友達が行けなくなったので、私にくれたのだ。

解説 友達が行けなくなってくれたので「ただで手に入れた」の for nothing。for は交換の前置詞で「何もないものと引き換えに」。by / in / with は nothing と組んで「無料で」の意味にならない。

区別 **for nothing ⇔ in vain** in vain は「（努力したが）無駄に」だけの意味。for nothing は「ただで」が中心で、「無駄に・理由もなく」も表す。見分け方：お金を払わずに手に入れたなら for nothing、努力が実らなかったなら両方可。

0712 ☐☐☐

Nobody knows ＿＿＿＿ sure what happened that night.

① to　② in
③ for　④ by

③ for sure 確かに；確実に

訳 あの夜何が起きたのか、確かなことは誰にも分からない。

解説 「確かなことは誰にも分からない」は know for sure。to sure / in sure / by sure という形はない。make sure（確かめる）と混ぜないこと。know と組む定番の形。

区別 **for sure ⇔ make sure** make sure は動詞句で「確かめる・必ず～するようにする」（Make sure you lock the door.）。for sure は副詞句で「確かに」。見分け方：動詞として使うなら make sure、know / say などに添えるなら for sure。

0713 ☐☐☐

＿＿＿＿ a doctor's point of view, you should get more sleep and eat more vegetables.

① In　② From
③ On　④ By

② from ~ point of view
～の観点から（は）；～の立場から（は）

訳 医者の観点から言えば、あなたはもっと睡眠を取り、野菜を食べるべきだ。

解説 point of view は「見る地点」なので、その地点「から」の from を使い from a doctor's point of view（医者の観点から）。in は in my opinion / in my view の形では使うが、point of view とは組まない。on / by も不可。

区別 **from ~ point of view ⇔ in my opinion** point of view は「物を見る地点」なので、そこ「から」見る from。opinion は「意見」で、その「中で」言う in。見分け方：point of view / viewpoint / standpoint なら from、opinion / view（意見）なら in（in my view）。

0714 ☐☐☐

＿＿＿＿ dinner, we went out for a walk in the park.

① Eaten　② To have eaten
③ Having been eaten　④ Having eaten

④ Having done ~, ...
～したので...；～した後で...（完了分詞構文）

訳 夕食を食べた後、私たちは公園へ散歩に出かけた。

解説 夕食を食べたのは散歩の前で、主語 we が食べるという能動の関係なので Having eaten。Eaten / Having been eaten は「（私たちが）食べられた」と受け身になり誤り。To have eaten は不定詞で、この位置で「食べた後で」の意味を表さない。

区別 **Having done ~, ... ⇔ Doing ~, ...（普通の分詞構文）** Doing ～は主節と同じ時のこと（Walking along the street, I met him.）。Having done ～は主節より前のこと。見分け方：時間のずれがあれば完了形。

0715 ☐☐☐

Sorry, I can't talk now. I'm ＿＿＿＿ a hurry.

① on　② in
③ at　④ with

② in a hurry 急いで；あわてて

訳 ごめん、今は話せないんだ。急いでいるから。

解説 「急いでいる」は be in a hurry。今は話せないという前の文と合う。on / at / with は a hurry と組んで「急いで」の意味にならない。in ＋ 状態を表す名詞の形を問う問題。

区別 **in a hurry ⇔ There's no hurry.** There's no hurry は相手に「急がなくていいよ」と言う言葉。be in a hurry は「（自分が）急いでいる」状態。見分け方：主語が自分で忙しいなら in a hurry、相手を安心させるなら There's no hurry。

0716 □□□

Our team has won five games in a _____.

① row ② line
③ turn ④ time

① in a row 連続して；一列に

訳 私たちのチームは5連勝している。

解説 「5 連勝した」は win five games in a row。in a line は「一列に並んで」で、試合の連続には使わない。in turn は「順番に・今度は」、in a time という形はない。数 + 名詞 + in a row の形を問う問題。

区別 **in a row ⇔ one after another** one after another は「次々に」で、出来事が途切れず続く様子を言う（数は言わない）。in a row は「～回連続で」と回数を数える。見分け方：前に three days / five games など数があれば in a row。

0717 □□□

I'm not sure if I can come to the party. _____, I'll call you tomorrow.

① In case ② In that case
③ In no case ④ In any case

④ in any case とにかく；いずれにせよ

訳 パーティーに行けるかどうか分からないけど、いずれにしても明日電話するね。

解説 行けるか分からないが、どちらにしても明日電話する、なので In any case。In case は接続詞で後ろに S V が要り、コンマで区切れない。In that case は相手が示した条件を受ける言葉で、ここでは受ける状況がない。In no case は否定の強調で倒置が必要。

区別 **in any case ⇔ in that case** in that case は「その場合は」で、相手が言った条件・状況を受けて行動を決める。in any case は「どんな場合でも・とにかく」で、条件に関係なく。見分け方：直前に具体的な状況が示され、それを受けるなら in that case、はっきりしないことを打ち切るなら in any case。

0718 □□□

Let me explain the plan _____: we'll leave at six and come back at noon.

① in detail ② in brief
③ in vain ④ in turn

② in brief 手短に；要するに

訳 計画を手短に説明させてください。6時に出発して、正午に戻ってきます。

解説 コロンの後ろで出発と帰りの時間だけを短く説明しているので in brief（手短に）。in detail は「詳しく」で、二点だけの説明と合わない。in vain（無駄に）、in turn（順番に）は説明の仕方を表さない。

区別 **in brief ⇔ in detail** in detail は「詳しく」で時間をかけて細部まで。in brief は「手短に」で要点だけ。見分け方：説明の量が少ない・まとめなら in brief、細かく長いなら in detail。

0719 □□□

Don't worry. This medicine will make you feel better in ＿＿＿ time.

① any　② the
③ some　④ no

④ in no time すぐに；あっという間に

訳 心配しないで。この薬を飲めばすぐに気分がよくなるよ。

解説 「すぐに良くなる」は in no time。in any time / in the time / in some time は「すぐに」の意味の熟語にならない。in time（間に合って）と混ぜずに、no が入ると「あっという間」になると押さえる。

区別 **in no time ⇔ in time / on time** in time は「間に合って」（in time for the train）、on time は「時間どおりに」。in no time は「すぐに」で、かかる時間がほとんどないことを言う。見分け方：締め切りに間に合うか → in time、予定時刻どおり → on time、あっという間 → in no time。

0720 □□□

She remained calm in the ＿＿＿ of danger.

① face　② front
③ eye　④ head

① in the face of ～ ～に直面して；～にもかかわらず

訳 彼女は危険に直面しても落ち着いていた。

解説 「危険に直面しても落ち着いていた」は in the face of danger。in the front of は場所の前（列の前方など）で、危険には使わない。in the eye of / in the head of は熟語にならない。

区別 **in the face of ～ ⇔ in spite of ～** in spite of は単に「～にもかかわらず」。in the face of は「（困難）に正面から向き合いながら」という緊張感があり、危険・反対・証拠など強い力に対して使う。見分け方：後ろが danger / opposition / difficulties なら in the face of が自然。

0721 □□□

＿＿＿ from his accent, he must be from Osaka.

① Judged　② Judge
③ Judgment　④ Judging

④ judging from ～ ～から判断すると

訳 なまりから判断すると、彼は大阪出身に違いない。

解説 「なまりから判断すると」は慣用の分詞構文 Judging from。Judged（過去分詞）は「判断された」と受け身になり意味が合わない。Judge（原形）では命令文になり、Judgment（名詞）では文の形が成り立たない。

区別 **judging from ～ ⇔ considering ～** considering は「～を考慮すると・～の割には」で、事情を考えに入れたうえでの評価（Considering his age, he is strong.）。judging from は手がかり（見た目・話し方）から推測する。見分け方：主節が推量（must be ～）なら judging from、「～の割に」なら considering。

0722 ☐☐☐

He can't even ride a bicycle, _____ drive a car.

① much more ② let alone
③ as well as ④ instead of

② let alone ~ （否定文の後で）まして～ない

訳 彼は自転車にさえ乗れない。まして車の運転なんてできるはずがない。

解説 前に can't even ~ という否定があり、「自転車にも乗れない、まして車の運転なんて」なので let alone。後ろが動詞の原形 drive で、前の ride と形がそろっている。much more は肯定文の後で使う古い言い方。as well as / instead of は否定を受けて「まして～ない」の意味にならない。

区別 **let alone ~ ⇔ not to mention ~ / to say nothing of ~** not to mention / to say nothing of は「～は言うまでもなく」で、肯定文にも使える（She speaks French, not to mention English.）。let alone は否定文の後ろで「まして～ない」。見分け方：前が否定文なら let alone、肯定文なら not to mention。

0723 ☐☐☐

It's next _____ impossible to finish this work by tomorrow.

① of ② to
③ by ④ with

② next to ~ ～の隣に；～の次に

訳 この仕事を明日までに終わらせるのは、ほとんど不可能だ。

解説 「ほとんど不可能」は next to impossible。next の後ろに名詞・形容詞を置くときの前置詞は to。next of / next by / next with という形はない。next to の「ほとんど」の用法を問う問題。

区別 **next to ~ ⇔ near ~ / beside ~** near は「～の近くに」（少し離れていてもよい）、beside / next to は「～のすぐ横に」。next to には「ほとんど（next to impossible）」の意味もあるが、near / beside にはない。見分け方：impossible / nothing の前なら next to＝ほとんど。

0724 ☐☐☐

The tickets were _____ 500 yen, so even children could buy them.

① no less than ② as much as
③ not less than ④ no more than

④ no more than ~ たった～；わずか～しか

訳 チケットはたった500円だったので、子どもでも買えた。

解説 「子どもでも買えた」ので「たった 500 円」と安さを強調する no more than。no less than / as much as は「500 円も」と高いことを強調し、後ろと合わない。not less than は「少なくとも」で安さの強調にならない。

区別 **no more than ~ ⇔ not more than ~** not more than は「多くても・せいぜい」（＝ at most）で、上限を客観的に言う。no more than は「たった～しか」（＝ only）で少ないという気持ち。見分け方：no は「差がゼロ（それだけ）」、not は「それより上ではない」。

0725 ☐☐☐

It was not long ＿＿＿＿ he got used to his new school.

① before　② after
③ since　④ until

① not long before ~　まもなく～する

訳 間もなく彼は新しい学校に慣れた。

解説 It was not long before S V で「まもなく～した」。「新しい学校に慣れるまでに長くはかからなかった」という意味になる。after / since / until では「まもなく～した」の決まった形にならない。

区別 **not long before ~ ⇔ long before / before long**　long before ~ は「～よりずっと前に」、before long は単独で「まもなく」。It is not long before ~ は文の形で「まもなく～する」。見分け方：It was not long before ＋ S V なら「まもなく」、He had left long before I came. なら「ずっと前に」。

0726 ☐☐☐

On the one hand, the job pays well. On the ＿＿＿＿ hand, the hours are long.

① another　② other
③ second　④ opposite

② on the one hand　一方では

訳 一方では、その仕事は給料がいい。他方では、勤務時間が長い。

解説 on the one hand と対になるのは on the other hand。手は二つなので「残りのもう一方」は the other。another は三つ以上のうちの「別の一つ」で the と組まない。second / opposite はこの熟語の形にならない。

区別 **on the one hand ⇔ on the contrary**　on the contrary は「それどころか」で、前の内容を否定して反対を言う。on the one hand / on the other hand は二つの面をどちらも認めて比べる。見分け方：前の文を否定していれば on the contrary、両方とも事実なら on the other hand。

0727 ☐☐☐

＿＿＿＿ you get used to it, driving is easy.

① Until　② Unless
③ Once　④ Though

③ once ~（接続詞）　いったん～すると；～するとすぐ

訳 いったん慣れてしまえば、車の運転は簡単だ。

解説 「いったん慣れてしまえば運転は簡単だ」なので Once。Until は「慣れるまで（簡単だ）」で意味が逆になる。Unless は「慣れない限り簡単だ」となり矛盾する。Though（～だけれども）も意味が通らない。

区別 **once ~（接続詞）⇔ once（副詞）**　副詞の once は「一度」（once a week）や「かつて」（I once lived in Kyoto.）。接続詞の once は後ろに S V を伴って文と文をつなぐ。見分け方：once の後ろに主語と動詞があり、コンマの後にもう一つ文があれば接続詞。

0728 ☐☐☐

The car went out of ＿＿＿＿ and hit a wall.

① order ② reach
③ date ④ control

④ out of control 制御できなくなって

訳 その車は制御できなくなって壁にぶつかった。

解説 「車が制御できなくなって壁にぶつかった」なので go out of control。out of order は設備の「故障中」で go と組んで事故の原因にならない。out of reach（手の届かない）、out of date（古くなった）も意味が合わない。

区別 **out of control ⇔ under control** under control は「制御されて・抑えられて」（The fire is under control.）。out of control はその反対で「手に負えない」。見分け方：「鎮まった・管理できている」なら under、「暴走している」なら out of。

0729 ☐☐☐

＿＿＿＿ that he has lived in London for ten years, it's no wonder his English is so good.

① Seen ② Seeing
③ To see ④ Saw

② seeing (that) S V ...であるから；...なので

訳 彼はロンドンに 10 年住んでいるのだから、英語がとても上手なのも当然だ。

解説 「...であるから」と理由を表す接続詞は Seeing (that) S V。Seen は過去分詞で接続詞にならない（Given that ~ なら可だが別の語）。Saw は過去形の動詞で、主語なしに文頭に置けない。To see that ~ は「...を確かめるために」などの意味になり、理由を表さない。

区別 **seeing (that) S V ⇔ now that S V** どちらも理由を表すが、now that は「今や...なので」と状況の変化が前提、seeing that は「...という事実から考えると」と判断の根拠を示す。見分け方：「もう～になったから」なら now that、目の前の事実を根拠にするなら seeing that。

0730 ☐☐☐

The two old friends walked ＿＿＿＿ along the beach.

① face to face ② side by side
③ one by one ④ back to back

② side by side 並んで；協力して

訳 2人の旧友は、浜辺を並んで歩いた。

解説 二人が浜辺を歩く様子なので「並んで」の side by side。face to face（向かい合って）、back to back（背中合わせで）では歩けない。one by one は「1 人ずつ」で、二人の友達が一緒に歩く場面に合わない。

区別 **side by side ⇔ face to face** face to face は「向かい合って・直接会って」。side by side は「横に並んで」。見分け方：向き合って話すなら face to face、同じ方向を向いて並ぶなら side by side。

0731 ☐☐☐

I'll see you in two weeks, ＿＿＿＿, on May 10.

① that is why ② so that
③ such as ④ that is

④ that is (to say) すなわち；つまり

訳 2週間後、つまり5月10日に会いましょう。

解説 in two weeks を on May 10 と具体的に言い直しているので that is（すなわち）。that is why は理由と結果をつなぐ言葉で、言い換えではない。so that は目的「～するように」、such as は例を挙げる言葉で、日付の言い換えに使えない。

区別 **that is (to say) ⇔ that is why ~** that is why S V は「だから～だ」（前が理由、後ろが結果）。that is (to say) は言い換えの「すなわち」で、後ろに前と同じ内容を別の形で置く。見分け方：why が付いて後ろが S V の結果なら that is why。

0732 □□□

A: Do you like my new hairstyle? B: Well, ＿＿＿＿, I liked it better before.

① to begin with
② to make matters worse
③ so to speak
④ to be honest

④ to be honest 正直に言うと

訳 A：私の新しい髪型、気に入った？ B：うーん、正直に言うと、前のほうが好きだったな。

解説 言いにくい本音「前の方が好きだった」の前置きなので to be honest。to begin with は理由を並べる「第一に」、to make matters worse は悪いことを重ねる言葉、so to speak は「いわば」で、本音の前置きにならない。

区別 **to be honest ⇔ to tell the truth** ほぼ同じ意味だが、to tell the truth は「実を言うと」と隠していた事実を打ち明ける感じ、to be honest は自分の率直な意見・感想を言う前置きに使うことが多い。どちらも独立不定詞で文頭に置ける。

0733 □□□

To ＿＿＿＿, no one has found a cure for the disease.

① now　② time
③ day　④ date

④ to date 今までのところ；現在まで

訳 今までのところ、その病気の治療法を見つけた人はいない。

解説 to date で「今までのところ」。現在完了形 has found と合う。to now / to day / to time という言い方はない。until now や so far に言い換えられる。

区別 **to date ⇔ up to date** up to date は「最新の」（up-to-date information）。to date は「今までのところ」。見分け方：「新しい・古くない」と状態を言うなら up to date、期間を言うなら to date。

0734 □□□

I didn't know ＿＿＿＿ to say when my friend told me the sad news.

① how　② which way
③ that　④ what

④ what to do 何を～すべきか；何を～したらよいか

訳 友達が悲しい知らせを伝えてくれたとき、私は何と言えばよいか分からなかった。

解説 say の目的語が欠けているので、目的語の働きをする what（what to say で「何を言うべきか」）。how to say なら say の後ろに it などの目的語が必要。that は to 不定詞を続けられない。which way は「どの道・方向」で say と合わない。

区別 **what to do ⇔ how to do** what to do は what が do の目的語（何をするか）、how to do は方法（どうやってするか）で、do の後ろに目的語を置ける。見分け方：to 不定詞の後ろに目的語が欠けていれば what、目的語がそろっていれば how / when / where。

0735 ☐☐☐

The boy was walking along the street with his hands ＿＿＿ his pockets.

① in　② on
③ into　④ for

① with A + 前置詞句
A を～した状態で；A を～にして（付帯状況）

訳 その少年は、ポケットに手を入れて通りを歩いていた。

解説 with ＋ A ＋前置詞句で「A を～した状態で」。手がポケットの「中にある」状態なので in。into は「中へ」と動きを表し、状態を表すこの形には合わない（put his hands into his pockets なら可）。on は「表面に接して」、for は目的を表し、どちらも手とポケットの関係に合わない。

区別 **with A + 前置詞句 ⇔ with A + 分詞** 前置詞句・形容詞・副詞は形を変えずにそのまま置くが、動詞なら分詞にする。A が自分でしているなら ~ing（with the engine running）、されているなら過去分詞（with his eyes closed）。見分け方：A と動詞の関係が能動か受動か。

0736 ☐☐☐

He saved money with a view to ＿＿＿ a house.

① buy　② bought
③ be bought　④ buying

④ with a view to ~ing ～する目的で；～するために

訳 彼は家を買うつもりでお金を貯めた。

解説 with a view to の to は前置詞なので、後ろは動名詞 buying。buy / be bought は to 不定詞と勘違いした形で誤り。bought は過去形・過去分詞で前置詞の後ろに置けない。to の品詞を見抜く定番問題。

区別 **with a view to ~ing ⇔ in order to do** in order to の to は不定詞の to で後ろは動詞の原形。with a view to の to は前置詞で後ろは動名詞。見分け方：to の前が名詞 view を含む熟語なら前置詞の to（look forward to ~ing と同じ）。

0737 ☐☐☐

At the market we bought apples, oranges, bananas, and so ＿＿＿.

① far　② on
③ much　④ that

② ~ and so on ～など

訳 市場で私たちはりんご、オレンジ、バナナなどを買った。

解説 例を並べた最後に置いて「～など」と言うのは and so on。on は「続けて」の意味。and so far は「今のところ」、and so much は「それほど多く」で意味が合わない。and so that は目的を表す so that の形で、後ろに文が必要。

区別 **~ and so on ⇔ such as ~** such as は例を挙げる前に置いて「～のような」、and so on は例を並べた後ろに置いて「～など」。見分け方：例の前なら such as、例の後ろなら and so on。両方を同時に使うと意味が重なるので避ける。

0738 □□□

A good ＿＿＿＿ visitors from abroad come to this temple every spring.

① much ② deal
③ lot ④ many

④ a good many ~ かなり多くの~

訳 毎年春、かなり多くの外国人観光客がこの寺に来る。

解説 visitors は数えられる名詞の複数形で、間に of がないので a good many。a good deal は数えられない名詞に a good deal of の形で使い、of が必要。much は数えられない名詞用。lot も a lot of のように of が要る。動詞 come も複数で受けている。

区別 **a good many ~ ⇔ a good deal of ~** a good many は数（数えられる名詞の複数形）、a good deal of は量（数えられない名詞）。見分け方：後ろの名詞が複数形なら many、money・time・work など数えられない名詞なら deal of。many の直後には of を置かない（a good many people）。

0739 □□□

He was so happy that he read the letter again and ＿＿＿＿.

① once ② more
③ again ④ twice

③ again and again 何度も何度も

訳 彼はとてもうれしかったので、その手紙を何度も何度も読んだ。

解説 「何度も何度も読んだ」は again and again。同じ語を and で重ねて繰り返しを強調する形。again and once / again and more / again and twice は熟語にならない。

区別 **again and again ⇔ once again** once again は「もう一度・再び」で 1 回の繰り返し。again and again は「何度も何度も」で回数が多い。見分け方：繰り返しが一回なら once again、何回も続くなら again and again / over and over。

0740 □□□

She came all the ＿＿＿＿ from Hokkaido to see us.

① way ② road
③ distance ④ time

① all the way はるばる；ずっと

訳 彼女は私たちに会うために、はるばる北海道から来てくれた。

解説 「はるばる北海道から来た」は come all the way from ~。all the road / all the distance は熟語にならない。all the time は「いつも」で「はるばる」の意味にならない。

区別 **all the way ⇔ on the way / by the way** on the way は「途中で」（on the way home）、by the way は「ところで」と話題を変える。all the way は「道のりの全部」→ はるばる・ずっと。見分け方：遠い距離を強調するなら all the way。

0741 □□□

We need to think about the problem ＿＿＿＿, not just one part of it.

① on the whole ② at all
③ after all ④ as a whole

④ as a whole 全体として

訳 一部分だけでなく、その問題を全体として考える必要がある。

解説 「一部分だけでなく全体として考える」と部分と全体を対比しているので as a whole。on the whole は「概して」で、部分との対比には使わない。at all（少しも）、after all（結局）も意味が合わない。

区別 **as a whole ⇔ on the whole** on the whole は「概して・全体的に見て」で、細かい点はともかく大体の評価を言う（文頭に置くことが多い）。as a whole は「（ばらばらでなく）一つのまとまりとして」で、名詞の後ろにも置ける。見分け方：部分と全体を対比するなら as a whole、大体の評価なら on the whole。

0742 ☐☐☐

We must win this game at all _____.

① prices　② costs
③ fees　④ charges

② at all costs　どんな犠牲を払っても；ぜひとも

訳 私たちは何としてもこの試合に勝たなければならない。

解説 「何としても」は at all costs。cost の「代償・犠牲」の意味で、複数形が決まった形。prices / fees / charges はどれも「料金・値段」の意味で、at all と組んで「どんな犠牲を払っても」にならない。

区別 **at all costs ⇔ at the cost of ~**　at the cost of ~ は「～を犠牲にして」で、後ろに失ったもの（health / life）を置く。at all costs は単独で「どんな犠牲を払っても」と決意を表す。見分け方：of ~ が続けば犠牲にしたもの、単独なら「何としても」。

0743 ☐☐☐

He worked hard at the _____ of his health.

① sake　② mercy
③ end　④ expense

④ at the expense of ~　～を犠牲にして；～の費用で

訳 彼は健康を犠牲にして一生懸命働いた。

解説 「健康を犠牲にして懸命に働いた」は at the expense of ~。sake は for the sake of（～のために）で前置詞が for。at the mercy of は「～のなすがままに」、at the end of は「～の終わりに」で、健康と組んで意味が通らない。

区別 **at the expense of ~ ⇔ at one's expense**　at one's expense は「～の費用（負担）で」のほか、「～を笑いの種にして」（a joke at my expense）の意味がある。at the expense of ~ は「～を犠牲にして」が中心。見分け方：所有格が入って冗談の話なら「からかって」。

0744 ☐☐☐

Please hand in your report by Friday _____.

① at the latest　② at last
③ lately　④ later

① at the latest　遅くとも

訳 遅くとも金曜日までにレポートを提出してください。

解説 by Friday（金曜までに）と期限を示しているので「遅くとも」の at the latest。at last は「ついに」、lately は「最近」で、期限と組まない。later（後で）も by Friday の後ろに置いて期限を強めない。

区別 **at the latest ⇔ at last / lately**　at last は「ついに・やっと」、lately は「最近」（現在完了と）。at the latest は「遅くとも」で期限の上限。見分け方：期限（by Friday）と一緒なら at the latest、待っていたことが起きたなら at last。

0745 □□□

Ken's face turned pale at the thought ＿＿＿ giving a speech in front of the whole school.

① of　② to
③ for　④ about

① at the thought of ~ ～のことを考えて；～を考えると

訳 全校生徒の前でスピーチをすることを考えて、ケンは青ざめた。

解説 at the thought of ~ で「～のことを考えて」。後ろの giving は動名詞なので前置詞 of が必要。to だと不定詞の to になり giving と組めない。for / about は at the thought と組んでこの意味にならない。顔が青ざめた原因を at が表している。

区別 **at the thought of ~ ⇔ at the sight of ~** どちらも感情の原因の at だが、at the thought of は「考えて・想像して」と頭の中のこと、at the sight of は「見て」と目で見たもの。見分け方：まだ起きていない・目の前にないことなら thought、実際に見ているものなら sight。

0746 □□□

My mother is ＿＿＿ work now. She'll be home at seven.

① on　② at
③ for　④ to

② at work 仕事中で；職場で

訳 母は今仕事中です。7 時には帰ってきます。

解説 「仕事中で・職場にいる」は at work。at ＋ 無冠詞の名詞で「その活動中」を表す（at school と同じ）。on work とは言わない。for work は「仕事のために」、to work は go to work のように移動の動詞と使い、is の後ろで「今仕事中」の意味にならない。

区別 **at work ⇔ out of work** at work は「仕事中・職場にいる」、out of work は「失業中」。見分け方：今働いている場所や最中なら at work、仕事がない状態なら out of work。in work（英：職に就いている）もあるが入試ではまれ。

0747 □□□

Her talent is ＿＿＿ question; she is the best singer in the school.

① out of the　② in
③ against　④ beyond

④ beyond question 疑いなく；疑いの余地がない

訳 彼女の才能は疑いようがない。学校で一番の歌手だ。

解説 be beyond question で「疑いの余地がない」。後半の「学校で一番の歌手だ」が才能の確かさを裏付ける。out of the question は「問題外・不可能」、in question は「疑わしい」で、どちらも後半と矛盾する。against question という言い方はない。

区別 **beyond question ⇔ out of the question** out of the question は「問題外・不可能」（＝impossible）。beyond question は「疑いの余地がない」（＝certain）。見分け方：「ありえない・無理」なら out of the question、「確かだ」なら beyond question。the の有無にも注意。

0748 □□□

Excuse me, are you Ms. Yamada, ＿＿＿ any chance?

① at　② in
③ by　④ on

③ by any chance ひょっとして；もしかして

訳 すみません、もしかして山田さんではありませんか。

解説 疑問文に添えて「ひょっとして」と言うのは by any chance。at / in / on は any chance と組まない。by chance（偶然）と同じ by を使う点を押さえる。

区別 **by any chance ⇔ by chance** by chance は「偶然に」で、肯定文で出来事を述べる（I met him by chance.）。by any chance は疑問文で「ひょっとして」と控えめに尋ねる。見分け方：疑問文に添えるなら any が入る。

0749 ☐☐☐

My brother is quiet ＿＿＿＿ nature, but he talks a lot with his friends.

① at ② for
③ with ④ by

④ by nature 生まれつき；本来

訳 私の弟は生まれつき無口だが、友達とはよく話す。

解説 「生まれつきおとなしい」は by nature。at nature / for nature / with nature は熟語にならない。but 以下で「友達とはよく話す」と、本来の性質との対比になっている。

区別 **by nature ⇔ naturally** naturally は「当然・もちろん」（文頭）や「自然に」の意味が中心。by nature は「生まれつきの性質として」。見分け方：人の性格・物の本質の話なら by nature、「当然」なら naturally。

0750 ☐☐☐

＿＿＿＿ his age, he plays tennis very well.

① Considering ② Considered
③ Consider ④ To consider

① considering ～ ～を考慮すると；～の割には

訳 年齢を考えると、彼はとても上手にテニスをする。

解説 「年齢の割にはテニスがとても上手」は前置詞の働きをする Considering。Considered（過去分詞）は「考えられた」と受け身になる。Consider（原形）は命令文になり、To consider は「考慮するために」と目的の意味になって文が成り立たない。

区別 **considering ～ ⇔ judging from ～** judging from は手がかりから「判断すると」で、主節は推量（must be ～）が多い。considering は事情を考えに入れて「～の割には」と評価する。見分け方：「年の割に元気」のように予想とのずれなら considering。

0751 ☐☐☐

I take this medicine every ＿＿＿＿ day: today, the day after tomorrow, and so on.

① another ② each
③ other ④ all

③ every other day 1日おきに

訳 私はこの薬を 1 日おきに飲んでいる。今日、あさって、という具合だ。

解説 「今日、あさって……」と 1 日飛ばしで飲むので every other day（1 日おきに）。every another / every each / every all は形として誤り。the other day（先日）と混ぜないこと。

区別 **every other day ⇔ the other day** the other day は「先日・この間」で過去の一日を指す。every other day は「1 日おきに」で頻度。見分け方：every があれば頻度、the があれば過去の特定の日。

0752 ☐☐☐

I want to sell my old car, so I put it up ＿＿＿＿ sale.

① on ② for
③ in ④ at

② for sale 売り物の；売りに出された

訳 古い車を売りたいので、売りに出した。

解説 「売りに出す」は put ～ up for sale。持ち主が売りたい物について言うのは for sale。on sale は「特売中・発売中」で put up と組まない。in sale / at sale という形はない。

区別 **for sale ⇔ on sale** on sale は主に「特売で・安売り中」（米）、また「発売中・店頭に出ている」。for sale は「（持ち主が）売りに出している」。見分け方：家・車などを売りたい人の話なら for sale、値引き・発売の話なら on sale。Not for sale.（非売品）は for。

0753 ☐☐☐

The students were, ———— , satisfied with the class.

① at most ② most of
③ for the most part ④ mostly of

③ for the most part 大部分は；たいてい

訳 生徒たちは、大部分はその授業に満足していた。

解説 コンマに挟まれて文全体に「大部分は」を添えるので for the most part。at most は数量の上限で、満足の度合いには使わない。most of は後ろに名詞が必要で、mostly of は形として誤り。

区別 **for the most part ⇔ at most** at most は「多くても・せいぜい」で数量の上限を言う。for the most part は「大部分は」で程度・割合。見分け方：数字に付けるなら at most、文全体に「たいていは」を添えるなら for the most part。

0754 ☐☐☐

He went to London for the purpose ———— studying art.

① of ② to
③ for ④ with

① for the purpose of ~ing ～する目的で

訳 彼は美術を勉強する目的でロンドンへ行った。

解説 「～する目的で」は for the purpose of ~ing で、purpose の後ろは of。to を入れると to studying となり形が崩れる。for / with も purpose と組んで目的を表さない。

区別 **for the purpose of ~ing ⇔ on purpose** on purpose は単独で「わざと・故意に」（He broke it on purpose.）。for the purpose of ~ing は後ろに目的を置いて「～する目的で」。見分け方：of ~ing が続けば目的、単独なら「わざと」。

0755 ☐☐☐

———— speaking, Japanese people are punctual.

① General ② Generalize
③ Generality ④ Generally

④ generally speaking 一般的に言えば

訳 一般的に言えば、日本人は時間を守る。

解説 speaking（言う）という分詞を修飾するのは副詞なので Generally。General は形容詞、Generality は名詞で speaking を修飾できない。Generalize は動詞で、speaking と並べて使えない。

区別 **generally speaking ⇔ strictly speaking** strictly speaking は「厳密に言えば」で、細かく正確に言うと一般の理解と違う、と訂正するときに使う。generally speaking は大まかな傾向を述べる。見分け方：例外・正確さにこだわるなら strictly、大体の傾向なら generally。

0756 ☐☐☐

———— I had more time! I could finish this book.

① Only if ② If only
③ Even if ④ As if

② if only ~ ～でありさえすれば（なあ）

訳 もっと時間があればなあ！そうすればこの本を読み終えられるのに。

解説 「もっと時間がありさえすればなあ」と願う感嘆文なので If only（仮定法過去 had）。Only if は「～の場合に限り」で、主節がないと文として成り立たない。Even if（たとえ～でも）、As if（まるで～のように）も願望の感嘆にならない。

区別 **if only ~ ⇔ only if ~** only if は「～の場合に限って」で、条件を限定する（You can go only if you finish your homework.）。if only は願望・後悔の感嘆。見分け方：主節が続いて条件を言うなら only if、それだけで願いの文になるなら if only。

0757 ☐☐☐

_____, losing the game was good for us. We learned a lot.

① In the way　② On the way
③ In a way　④ Out of the way

③ in a way　ある意味では；ある程度

訳 ある意味では、試合に負けたのは私たちにとってよかった。たくさんのことを学んだからだ。

解説 負けたことが「ある意味では良かった、多くを学んだ」と部分的に認めているので In a way。In the way は「邪魔になって」、On the way は「途中で」、Out of the way は「片付いて・人里離れた」で、文頭に置いて意見を限定する意味にならない。

区別 **in a way ⇔ in the way**　in the way は「邪魔になって」（Your bag is in the way.）。in a way は「ある意味では」。見分け方：a なら「一つの見方では」、the なら「（通り）道の中に」→ 邪魔。冠詞一つで意味が全く違う。

0758 ☐☐☐

The money will be used in accordance _____ the law.

① to　② of
③ for　④ with

④ in accordance with ~　～に従って；～と一致して

訳 そのお金は法律に従って使われる。

解説 「法律に従って」は in accordance with ~。名詞 accordance の後ろは with。according to と混ぜて to を選ぶのが典型的な誤り。of / for も accordance と組まない。

区別 **in accordance with ~ ⇔ according to ~**　according to は「（情報源）によれば」（according to the news）が中心で、「～に応じて」の意味もある。in accordance with は規則・指示に「従って」。見分け方：ニュース・調査など情報の出どころなら according to、ルールに沿って行動するなら in accordance with。

0759 ☐☐☐

In comparison _____ last year, sales have increased by 10 percent.

① of　② with
③ from　④ than

② in comparison with ~　～と比べて；～と比較すると

訳 昨年と比べて、売り上げは10パーセント増えた。

解説 in comparison の後ろで比べる相手を示すのは with（to も可だが選択肢にない）。than は比較級の後ろで使い、名詞 comparison とは組まない。of / from も「～と比べて」の意味にならない。

区別 **in comparison with ~ ⇔ compared with ~**　compared with / to は過去分詞を使った形で、意味は in comparison with と同じ。in comparison with は名詞 comparison を使う。見分け方：in があれば名詞 comparison、なければ過去分詞 compared。どちらも後ろに比べる相手を置く。

0760 □□□

We held a party in ＿＿＿＿ of our teacher, who is retiring this year.

① honor　② memory
③ favor　④ place

① in honor of ~　～に敬意を表して；～を記念して

訳 私たちは、今年退職する先生に敬意を表してパーティーを開いた。

解説 今年退職する先生のためのパーティーなので「敬意を表して・祝って」の in honor of。in memory of は亡くなった人をしのぶときに使い、退職する先生には合わない。in favor of（賛成して）、in place of（代わりに）も意味が合わない。

区別 **in honor of ~ ⇔ in memory of ~**　in memory of は「（亡くなった人）をしのんで・記念して」。in honor of は生きている人にも使い、敬意やお祝いを表す。見分け方：故人の追悼なら in memory of、退職・受賞などのお祝いなら in honor of。

0761 □□□

The city stored large amounts of water in preparation ＿＿＿＿ a possible earthquake.

① to　② of
③ for　④ against

③ in preparation for ~　～に備えて；～の準備として

訳 市は地震が起きる可能性に備えて、大量の水を蓄えた。

解説 in preparation for ~ で「～に備えて」。備える対象は for で示す（prepare for と同じ）。of は「～の準備」と準備の中身を言う形で、地震は準備するものではない。to / against は preparation と組んでこの意味にならない。

区別 **in preparation for ~ ⇔ prepare ~ / prepare for ~**　prepare for ~ は「～に備える」（試験・行事が来るのに備える）、prepare ~ は「～を用意する・作る」（料理・資料そのもの）。見分け方：目的語が作る物なら for なし、備える出来事なら for。in preparation for は prepare for と同じ意味。

0762 □□□

He looks rich, but ＿＿＿＿ he has a lot of debt.

① in addition　② in general
③ in reality　④ in particular

③ in reality　実際には；現実には

訳 彼はお金持ちに見えるが、実際にはたくさんの借金がある。

解説 「金持ちに見えるが、実際は借金が多い」と見かけと現実を対比しているので in reality。in addition（さらに）は but と組んで対比を作らない。in general（一般に）、in particular（特に）も意味が合わない。

区別 **in reality ⇔ in practice**　in practice は「（理論・計画ではなく）実際にやってみると」で、in theory と対になる。in reality は見かけや思い込みと「現実」を対比する。見分け方：計画・理論との対比なら in practice、見た目・印象との対比なら in reality。

0763 □□□

Dinner will be ready in 30 minutes. In the ＿＿＿＿, why don't you take a bath?

① meaning　② middle
③ means　④ meantime

④ in the meantime その間に；それまでは

訳 夕食はあと30分でできるよ。その間にお風呂に入ったら？

解説 夕食ができるまでの 30 分の間に風呂に入ったら、なので in the meantime（その間に）。in the meaning / in the means は熟語にならない。in the middle は「真ん中で・最中に」で of ~ が必要で、待ち時間の意味にならない。

区別 **in the meantime ⇔ at the same time** at the same time は「同時に」、また「しかし同時に（一方で）」。in the meantime は「（待っている）その間に」で、ある出来事が起きるまでの時間。見分け方：二つのことがぴったり同時なら at the same time、待ち時間を埋めるなら in the meantime。

0764 □□□

Our school is in the process ＿＿＿＿ building a new gym.

① of　② for
③ to　④ at

① in the process of ~ ～の途中で；～している最中で

訳 私たちの学校は新しい体育館を建てている途中だ。

解説 in the process of ～ing で「～している途中で」。process の後ろは of で、その後ろの動詞は動名詞 building。to / for / at は process と組んでこの意味を作らない。

区別 **in the process of ~ ⇔ in the course of ~** in the course of は「～の間に」（＝during）で、ある期間の中で何かが起きたことを言う。in the process of は「～している途中」で、作業が完了していないことを強調。

0765 □□□

More often ＿＿＿＿ not, the bus is late on rainy days.

① than　② as
③ but　④ or

① more often than not たいてい；多くの場合

訳 雨の日はたいていバスが遅れる。

解説 more often than not で「たいてい」。比較級 more の後ろなので than が必要。as は as often as not の形で使うので more とは組まない。but / or ではこの成句にならない。

区別 **more often than not ⇔ as often as not** as often as not は「そうでないときと同じくらい」→「半分くらい・しばしば」。more often than not は半分を超えて「たいてい」。見分け方：比較の形（more ～ than / as ～ as）で頻度の差を読み取る。

0766 □□□

I like all kinds of fruit, but I like strawberries ＿＿＿＿.

① first of all　② most of all
③ in all　④ at all

② most of all とりわけ；何よりも

訳 私はどんな果物も好きだが、何よりもイチゴが好きだ。

解説 いろいろな果物の中で一番好きなものを言うので most of all（何よりも）。first of all は「まず第一に」と順序を示す。in all は「全部で」と合計を表す。at all は否定文・疑問文で「全然・そもそも」と強める語で、肯定文のこの位置に合わない。

区別 **most of all ⇔ first of all** most of all は「何よりも・一番」と程度の最上級、first of all は「まず最初に」と順序の始まり。見分け方：話の最初に手順や理由を並べ始めるなら first of all、大事さ・好みの一番を言うなら most of all。

0767 □□□

Can you believe it? He paid ＿＿＿＿ 1,000 dollars for that old guitar!

① no more than　② not more than
③ at most　④ no less than

④ no less than ~ ～も（の多さ）

訳 信じられる？彼はあの古いギターに1,000ドルも払ったんだよ！

解説 「信じられる？」と驚いているので「1,000 ドルも払った」と多さを強調する no less than。no more than は「たった 1,000 ドル」で驚きの方向が逆。not more than / at most は「多くても」で上限を言うだけ。

区別 **no less than ~ ⇔ not less than ~** not less than は「少なくとも」（= at least）で、下限を客観的に言う。no less than は「～も」と多いことを強調する。見分け方：驚きや感情が入るなら no less than、規則・条件の下限なら not less than。

0768 □□□

The way the firefighter saved the child from the burning house was nothing ＿＿＿＿ of heroic.

① short　② more
③ less　④ but

① nothing short of ~ まさに～；～にほかならない

訳 その消防士が燃える家から子どもを救ったやり方は、まさに英雄的と言うほかなかった。

解説 nothing short of ～で「まさに～だ」。後ろに of があるので short が入る。nothing less than（まさに～）は than を使うので less of とは言わない。nothing more の後ろに of は来ない。nothing but は of を取らず、「英雄的なだけ」という意味にもならない。

区別 **nothing short of ~ ⇔ anything but ~** nothing short of は「まさに～だ」と強い肯定。anything but は「～以外なら何でも」→「決して～ではない」と強い否定。見分け方：後ろの語を肯定するなら nothing short of、打ち消すなら anything but。

0769 □□□

What ＿＿＿＿ earth are you doing here at this hour?

① in　② at
③ by　④ on

④ on earth
（疑問詞を強めて）いったい；（否定を強めて）全く

訳 こんな時間に、いったいここで何をしているの？

解説 疑問詞 What の直後で「いったい」と強めるのは on earth。in を使うなら in the world（What in the world ~?）で、in earth という形はない。at / by も earth と組んで強調にならない。

区別 **on earth ⇔ on (the) earth（地球上で）** on (the) earth は文字どおり「地球上で」（the largest animal on earth）の意味もある。疑問詞の直後なら「いったい」、最上級と一緒なら「地球上で」。見分け方：what / why / how の直後に置かれていれば強調。

0770 □□□

I usually go to school ＿＿＿＿ foot. It takes about fifteen minutes.

① by　② on
③ with　④ in

② on foot 徒歩で；歩いて

訳 私は普段、歩いて学校に行く。15分くらいかかる。

解説 「徒歩で」は on foot。交通手段の by bus / by car に引っ張られて by を選ぶのが典型的な誤りで、入試では on foot が正しい形。with foot / in foot という言い方はない。

区別 **on foot ⇔ by car / by bus** 乗り物を使う手段は by + 無冠詞の名詞（by car / by train）。歩く場合だけ on foot と前置詞が変わる。見分け方：乗り物なら by、足なら on。所有格や冠詞が付くと in my car / on the bus になる点にも注意。

0771 ☐☐☐

This week, everything in the store is _____ sale. You can get 30 percent off.

① on　② in
③ at　④ under

① on sale 特売で；売りに出て

訳 今週は、店内の全商品がセール中だ。30パーセント引きで買える。

解説 「30%引き」とあるので特売中を表す on sale。in sale / at sale / under sale という形はない。値引きの文脈では on、売りに出す話なら for、と前置詞で区別する。

区別 **on sale ⇔ for sale** for sale は持ち主が「売りに出している」こと（The house is for sale.）。on sale は「特売中」「発売中」。見分け方：値引き（30% off / half price）や発売日の話なら on sale、家・車を売りたいなら for sale。

0772 ☐☐☐

The construction is going well. It should be finished _____ schedule.

① in　② at
③ on　④ by

③ on schedule 予定どおりに

訳 工事は順調に進んでいる。予定どおりに終わるはずだ。

解説 工事が順調で「予定どおりに」終わるはずなので on schedule。in schedule / at schedule / by schedule は熟語にならない。予定より早いなら ahead of schedule と of が付く点も押さえる。

区別 **on schedule ⇔ on time** on time は電車・人が「（決まった時刻）どおりに」。on schedule は計画全体が「予定どおりに進んで」。見分け方：何時に着く・始まるなら on time、工事・計画の進み具合なら on schedule。

0773 ☐☐☐

Students are chosen on the _____ of their test scores.

① basis　② base
③ basic　④ based

① on the basis of ~ ～に基づいて；～を根拠に

訳 生徒はテストの点数に基づいて選ばれる。

解説 on the ~ of の形で「～に基づいて」となるのは名詞 basis。base は名詞だが on the base of は「～のふもと・土台部分に」で根拠の意味にならない。basic は形容詞、based は過去分詞で the と of に挟めない。

区別 **on the basis of ~ ⇔ based on ~** based on は過去分詞を使った形で、名詞の後ろや be の後ろ、文頭に置く（a movie based on a true story）。on the basis of は前置詞句として動詞を修飾する。見分け方：名詞を後ろから説明するなら based on、「何に基づいて決めたか」なら両方可。

0774 ☐☐☐

I'd be _____ too glad to help you with your homework.

① only　② very
③ so　④ more

① only too とても；喜んで（glad, happy などの前で）

訳 喜んで宿題を手伝ってあげるよ。

解説 only too glad to do で「喜んで～する」。only が付くと too ～ to の「できない」の意味にはならず、強い肯定になる。very too / so too / more too という形は使わない。

区別 **only too ⇔ too ~ to do** too ～ to do は「～すぎて…できない」と否定の意味。only too ～ to do は「喜んで…する」と肯定。見分け方：直前に only があれば否定にしない。

0775 ☐☐☐

He knows everything about words. He is, ＿＿＿＿, a walking dictionary.

① for example　② to be honest
③ so to speak　④ in conclusion

③ so to speak いわば

訳 彼は言葉について何でも知っている。いわば歩く辞書だ。

解説 「歩く辞書」は比喩なので、断りを入れる so to speak（いわば）。for example（例えば）は具体例を挙げる言葉で比喩の断りにならない。to be honest（正直に言うと）、in conclusion（結論として）も流れに合わない。

区別 **so to speak ⇔ that is (to say)** that is (to say) は「すなわち」で、前の語句を正確に言い換える（in two weeks, that is, on May 10）。so to speak は比喩・大げさな言い方に「いわば」と断りを入れる。見分け方：言い換えが事実どおりなら that is、たとえなら so to speak。

0776 ☐☐☐

People expect dogs to chase cats, but in our house it's the other way ＿＿＿＿.

① over　② around
③ back　④ off

② the other way around 逆に；あべこべに

訳 犬は猫を追いかけるものと思われているが、うちではその逆だ。

解説 the other way around で「その逆だ」。犬が猫を追う関係が、うちでは逆（猫が犬を追う）だと言っている。the other way over / back / off という成句はない。イギリス英語の the other way round も同じ意味。

区別 **the other way around ⇔ on the other hand** on the other hand は「一方では」と別の観点を対比する。the other way around は「関係の向きがあべこべ」。見分け方：主語と目的語を入れ替えた状態を言うなら the other way around。

0777 ☐☐☐

She can speak French and German, to say nothing ＿＿＿＿ English.

① of　② about
③ for　④ to

① to say nothing of ~ ～は言うまでもなく

訳 彼女は、英語は言うまでもなく、フランス語とドイツ語も話せる。

解説 「英語は言うまでもなく」は to say nothing of ~ で、前置詞は of。say nothing about ~ は「～について何も言わない」という普通の文で、言うまでもなくの決まり文句ではない。for / to も nothing と組んでこの意味にならない。

区別 **to say nothing of ~ ⇔ let alone ~** let alone は否定文の後ろだけで使い「まして～ない」。to say nothing of は肯定文でも使え「～は言うまでもなく」。見分け方：前の文が肯定（She can speak French and German）なら to say nothing of / not to mention。

0778 □□□

_____ the best of my knowledge, the shop closes at nine on weekdays.

① To ② In
③ For ④ At

① to the best of one's knowledge ～の知る限りでは

訳 私の知る限りでは、その店は平日は 9 時に閉まる。

解説 「私の知る限りでは」は to the best of my knowledge。to は「～まで」という到達点で、知識の最も良いところまで、という意味。in / for / at は the best of my knowledge と組んでこの意味にならない。at best（せいぜい）とも区別する。

区別 **to the best of one's knowledge ⇔ as far as I know** 意味はほぼ同じだが、to the best of my knowledge は改まった書き言葉や公式な場面、as far as I know は会話でも使う。形も違い、as far as は後ろに S V。見分け方：of my knowledge と名詞が続けば to the best、I know と文が続けば as far as。

0779 □□□

The manager, together with his staff, _____ at the meeting yesterday.

① were ② was
③ be ④ being

② together with ~ ～と一緒に；～に加えて

訳 部長は部下と一緒に、昨日その会議に出席していた。

解説 A together with B が主語のとき、動詞は A（The manager）に合わせるので単数の was。staff に引っ張られて were を選ぶのが典型的な誤り。be / being は文の動詞にならない。yesterday から過去形も決まる。

区別 **together with ~ ⇔ get together** get together は動詞句で「集まる・会う」（Let's get together this weekend.）。together with ~ は前置詞句で「～と一緒に」。見分け方：直前に get があって主語が複数なら「集まる」、後ろに with ~ が続けば「一緒に」。

0780 □□□

A new library is _____ construction near the station. It will open next spring.

① for ② on
③ at ④ under

④ under construction 建設中で；工事中で

訳 駅の近くで新しい図書館が建設中だ。来年の春に開館する予定だ。

解説 「建設中で」は under construction。under ＋ 名詞で「～されている最中」を表す（under repair と同じ）。for / on / at は construction と組んでこの意味にならない。来春開館という後半とも「建設中」がつながる。

区別 **under construction ⇔ under repair** under construction は新しく「建設中」、under repair はすでにある物を「修理中」。見分け方：新しい建物・道路を作っているなら construction、壊れた物を直しているなら repair。どちらも under ＋ 無冠詞名詞で「～中」。

0781 ☐☐☐

It is important to keep your phone's software up ＿＿＿＿ date to protect it from viruses.

① in　② on
③ at　④ to

④ up to date 最新の；最新式の

訳 ウイルスから守るため、スマートフォンのソフトウェアを最新の状態に保つことが大切だ。

解説 「最新の状態に保つ」は keep A up to date。up to は「～まで」で、今日の日付まで追いついているイメージ。in / on / at は date と組んでこの意味にならない。名詞の前なら up-to-date software とハイフンでつなぐ。

区別 **up to date ⇔ out of date** up to date は「今日の日付まで追いついた＝最新の」、out of date は「日付から外れた＝古くなった・期限切れの」。見分け方：新しい情報を反映しているなら up、古くて使えないなら out of。名詞の前ではどちらもハイフンを付ける（an out-of-date dictionary）。

0782 ☐☐☐

This dictionary was written ＿＿＿＿ beginners in mind, so the explanations are very simple.

① for　② with
③ on　④ by

② with ~ in mind
～を考えに入れて；～のことを念頭に置いて

訳 この辞書は初心者のことを念頭に置いて書かれているので、説明がとても簡単だ。

解説 with ~ in mind で「～を念頭に置いて」。with ＋名詞＋状態の付帯状況の形。for beginners だけなら「初心者向けに」で正しいが、後ろの in mind と組めない。on / by も in mind と組んでこの形を作らない。

区別 **with ~ in mind ⇔ with a view to ~ing** with ~ in mind は「～を考慮して・～を対象にして」、with a view to ~ing は「～する目的で」で、to の後ろは動名詞。見分け方：in mind で終わっていれば前者、a view to があれば後ろは ~ing。

0783 ☐☐☐

Please hand in your report by Friday without ＿＿＿＿.

① miss　② fail
③ lack　④ stop

② without fail 必ず；間違いなく

訳 金曜日までに必ずレポートを提出してください。

解説 「必ず」は without fail。fail はここでは名詞で、冠詞も付けない決まった形。without miss / without lack / without stop という表現はない（stop を使うなら without stopping）。提出期限を念押しする場面の定番。

区別 **without fail ⇔ never fail to do** without fail は文に付け足す副詞句で「必ず」。never fail to do は動詞の形で「必ず～する」と、習慣的に欠かさないことを表す。見分け方：文末に付け足すなら without fail、動詞の位置なら never fail to do。意味はほぼ同じで書き換えに出る。

0784 ☐☐☐

I love her all the _____ for her small faults.

① more ② much
③ many ④ most

① all the + 比較級 (for ~ / because ...)
（～なので）それだけいっそう…；ますます…

訳 ちょっとした欠点があるからこそ、私は彼女が一層好きだ。

解説 all the ＋比較級＋for ～で「～なので一層」。比較級が必要なので more。most は最上級で、この形には入らない。much / many は原級で比較級ではない。「小さな欠点があるからこそ一層好き」という意味になる。

区別 **all the + 比較級 (for ~ / because ...)** ⇔ **none the + 比較級**
none the 比較級 for ～は「～だからといって少しも…ない」と否定。all the 比較級 for ～は「～だから一層…」と肯定。見分け方：all なら程度が増え、none なら変わらない。

0785 ☐☐☐

The summer holidays ended all _____ soon, and we had to go back to school.

① so ② too
③ very ④ much

② all too あまりにも～；本当に～（残念ながら）

訳 夏休みはあまりにも早く終わり、私たちは学校に戻らなければならなかった。

解説 all too soon で「あまりにも早く」。all は too を強める働きで、all so / all very / all much という言い方はない。「休みがあっという間に終わってしまった」という残念な気持ちが all too の響きに合う。

区別 **all too** ⇔ **only too** only too は glad / happy / willing の前で「喜んで～」、true / well の前で「残念ながら本当に」。all too は主に「あまりにも～（で困る）」と否定的。見分け方：喜んで引き受けるなら only too。

0786 ☐☐☐

I don't want to rely on rumors; I want to hear the story at _____ hand.

① one ② first
③ direct ④ own

② at first hand 直接に；じかに

訳 うわさには頼りたくない。直接話を聞きたいのだ。

解説 at first hand で「直接に」。うわさ（＝人づての情報）と対比して「直接聞きたい」と言っている。at one hand / at direct hand / at own hand という言い方はない。direct を使うなら directly と副詞にする。

区別 **at first hand** ⇔ **at second hand** at second hand は「人づてに・間接的に」。at first hand は「自分で直接」。見分け方：情報源が自分自身なら first、他人なら second。secondhand は「中古の」の意味もある。

0787 ☐☐☐

He canceled the trip at the ＿＿＿＿ minute, so we couldn't get our money back.

① last ② final
③ latest ④ end

① at the last minute 土壇場で；直前になって

訳 彼が土壇場で旅行を取り消したので、私たちはお金を返してもらえなかった。

解説 「直前になって取り消したのでお金が戻らなかった」は at the last minute。final / latest は minute と組んでこの決まり文句にならない（at the latest は「遅くとも」）。at the end minute という形もない。

区別 **at the last minute ⇔ at last** at last は「（長く待った末に）ついに」。at the last minute は「ぎりぎりの直前に」で、予定変更や駆け込みの文脈。見分け方：待っていたことが実現したなら at last、締め切り・出発の直前なら at the last minute。

0788 ☐☐☐

The little girl began to cry at the ＿＿＿＿ of the big dog.

① view ② sight
③ look ④ see

② at the sight of ~ ～を見て；～を見たとたん

訳 その小さな女の子は、大きな犬を見て泣き出した。

解説 「大きな犬を見て泣き出した」は at the sight of ~。view は「眺め・意見」、look は「一目・顔つき」で、at the ~ of と組んで「見たとたん」にならない。see は動詞で the と of に挟めない。

区別 **at the sight of ~ ⇔ at first sight** at first sight は「一目で・一見して」（fall in love at first sight）。at the sight of ~ は後ろに見た物を置いて「～を見て（反応した）」。見分け方：of ~ が続けば見た対象、first が入れば最初の一目。

0789 ☐☐☐

In ＿＿＿＿ of the recent accidents, the city will repair the road.

① sight ② light
③ shade ④ bright

② in (the) light of ~ ～を考慮して；～に照らして

訳 最近の事故を考慮して、市はその道路を修理する予定だ。

解説 「最近の事故を考慮して」は in light of ~。in sight of は「～の見える所に」で考慮の意味にならない。in shade of / in bright of は熟語にならない。in view of（～を考慮して）も同じ意味だが選択肢にない。

区別 **in (the) light of ~ ⇔ come to light** come to light は「明るみに出る・判明する」（New facts came to light.）。in light of ~ は「～を考慮して」。見分け方：come の後なら判明、in の後に of ~ が続けば考慮。同じ light でも働きが違う。

0790 ☐☐☐

Nurses are in great ＿＿＿＿ in this country.

① supply ② order
③ demand ④ use

③ in demand 需要がある；引っ張りだこで

訳 この国では看護師の需要がとても高い。

解説 「看護師が非常に求められている」は be in great demand。in supply は熟語として使わない。in order は「整って」、in use は「使用中」で、人が求められている意味にならない。

区別 **in demand ⇔ on demand** on demand は「要求があり次第・請求に応じて」（videos on demand）。in demand は「需要が多い・人気がある」。見分け方：人気・求められている状態なら in、注文に応じてすぐ提供するなら on。

0791 ☐☐☐

The accident was caused ———— part by the bad weather, but the driver was also careless.

① at ② for
③ on ④ in

④ in part 一部は；ある程度は

訳 その事故は一部には悪天候が原因だったが、運転手も不注意だった。

解説 「一部は（天候が原因）」は in part（= partly）。後半の the driver was also careless（運転手も不注意だった）で、原因が天候だけではないと分かる。at part / on part とは言わない。for part も不可で、for the most part（大部分は）は the most が必要。

区別 **in part ⇔ in particular** in part は「一部は・部分的に」と全体の一部であることを表す。in particular は「特に」と多くの中から 1 つを強調する。見分け方：原因・理由が「それだけではない」と言うなら in part、「とりわけ」と取り上げるなら in particular。

0792 ☐☐☐

The plan sounds good in theory, but it may not work ————.

① in practice ② in theory
③ in advance ④ in time

① in practice 実際には；実行面では

訳 その計画は理論上はよさそうだが、実際にはうまくいかないかもしれない。

解説 but で in theory（理論上は）と対比しているので in practice（実際には）。in theory を繰り返すと対比にならない。in advance（前もって）、in time（間に合って）も理論と現実の対比を作らない。

区別 **in practice ⇔ in theory** in theory は「理論上は」で、in practice と対になる。in theory で「うまくいくはず」と言い、in practice で「実際はそうではない」と続く形が典型。見分け方：but の後で現実を言うなら in practice。

0793 ☐☐☐

The new library is special ———— it is open twenty-four hours a day.

① in a sense ② in the sense that
③ in the sense of ④ in sense

② in the sense that S V …という点で；…という意味で

訳 新しい図書館は、1 日 24 時間開いているという点で特別だ。

解説 空所の後ろに it is open という S V が続くので、接続詞の働きをする in the sense that（…という点で）。in a sense は「ある意味では」で後ろに文を続けられない。in the sense of の後ろは名詞か動名詞。in sense という形はない。

区別 **in the sense that S V ⇔ in a sense** in the sense that は後ろに S V を続けて、どの意味でかを具体的に言う。in a sense は「ある意味では」と単独で文を修飾し、後ろに that 節を取らない。見分け方：空所の後ろに S V が続けば in the sense that、カンマで区切って独立していれば in a sense。

0794 □□□

Where ＿＿＿＿ the world have you been all day? We were worried about you.

① on　② at
③ in　④ of

③ in the world
一体全体（疑問詞を強める）；全く（否定を強める）

訳 一日中一体どこにいたの？みんな心配していたんだよ。

解説 疑問詞の直後に in the world を置いて「一体どこに」と強める。on は on earth と組み合わせるので on the world とは言わない。at / of もこの形を作らない。

区別 **in the world ⇔ on earth** on earth も疑問詞の直後で「一体」と強める（What on earth ～?）。意味は in the world とほぼ同じ。前置詞の組み合わせ（in the world / on earth）を取り違えないこと。

0795 □□□

＿＿＿＿ view of the heavy snow, the school decided to send students home early.

① With　② On
③ At　④ In

④ in view of ～ ～を考慮して；～が見える所に

訳 大雪を考慮して、学校は生徒を早めに帰宅させることにした。

解説 大雪という事情を「考慮して」判断しているので In view of ～。With は with a view to ~ing（～する目的で）の形で使い、view of とは組まない。On / At view of も「考慮して」の意味にならない。

区別 **in view of ～ ⇔ with a view to ~ing** with a view to ~ing は「～する目的で」で目的を表す。in view of ～ は「～を考慮して」で根拠を表す。見分け方：前置詞が with で to ~ing が続けば目的、in で of が続けば考慮。

0796 □□□

I'm busy now, but I'll explain the details to you ＿＿＿＿.

① since　② later on
③ lately　④ ago

② later on 後で；その後

訳 今は忙しいけれど、後で詳しいことを説明するね。

解説 「今は忙しいが後で説明する」なので、未来の「後で」を表す later on。lately は「最近」で現在完了と使う。ago は「（今から）～前」で、前に期間が要り過去形と使う。since は「それ以来」で現在完了と使い、will の文に合わない。

区別 **later on ⇔ after** later (on) は副詞で単独で「後で」、after は前置詞・接続詞として後ろに名詞か S V を続けるのが基本（after school / after he left）。見分け方：後ろに何も続かないなら later (on)、名詞・文が続くなら after。期間＋ later（two days later）も可。

0797 □□□

Many a student ＿＿＿＿ made the same mistake on this question.

① have　② has
③ are　④ were

② many a ～ たくさんの～；幾多の～

訳 この問題では、多くの生徒が同じ間違いをしてきた。

解説 many a ＋ 単数名詞は意味が複数でも形は単数扱いなので、動詞は has。made（過去分詞）があるので現在完了の has made。have は複数扱いの形。are / were は be 動詞で、made と組むと受け身になり意味が通らない。

区別 **many a ～ ⇔ many ～** many ＋ 複数名詞 ＋ 複数動詞（Many students have ～）に対し、many a ＋ 単数名詞 ＋ 単数動詞（Many a student has ～）。意味はほぼ同じ。見分け方：a が付いていれば、名詞も動詞も単数。

0798 ☐☐☐

My father often goes to Osaka _____ business.

① in ② at
③ by ④ on

④ on business 仕事で；商用で

訳 父はよく仕事で大阪へ行く。

解説 「仕事で（出張で）大阪へ行く」は go to ~ on business。in business は「営業して・商売をして」で、出かける目的を表さない。at business / by business という形はない。

区別 **on business ⇔ in business** in business は「商売をして・営業して」（The shop has been in business for 50 years.）。on business は「仕事の用事で（出かけて）」。見分け方：出張・移動の目的なら on business、店・会社が営業を続けているなら in business。

0799 ☐☐☐

I'll lend you the money on _____ that you pay me back next week.

① account ② behalf
③ condition ④ purpose

③ on condition that ~ ～という条件で

訳 来週返してくれるという条件で、お金を貸してあげるよ。

解説 「来週返すという条件で貸す」は on condition that ~。on account of は「～のために（原因）」で that 節を取らない。on behalf of は「～を代表して」、on purpose は「わざと」で、条件の意味にならない。

区別 **on condition that ~ ⇔ in case ~** in case S V は「～するといけないから・～に備えて」で、起きるかもしれないことへの準備。on condition that は「～という条件なら」で、許可や約束の条件。見分け方：準備なら in case、条件付きの許可なら on condition that。

0800 ☐☐☐

On the _____ of it, the offer seemed generous, but there were many hidden costs.

① head ② eye
③ top ④ face

④ on the face of it 見たところは；表面上は

訳 見たところその申し出は気前がよさそうだったが、隠れた費用がたくさんあった。

解説 on the face of it で「見たところは」。後ろの but there were many hidden costs（実は隠れた費用が多かった）が「見かけと実際の違い」を示している。head / top / eye はこの成句を作らない。

区別 **on the face of it ⇔ in the face of ~** in the face of は「～に直面して・～にもかかわらず」（in the face of danger）。on the face of it は「見たところは」。見分け方：後ろに名詞が続き困難を表すなら in the face of、it で終わるなら on the face of it。

0801 ☐☐☐

I lost my wallet. _____ top of that, it started to rain.

① On ② At
③ In ④ By

① on top of ~ ～に加えて；～の上に

訳 財布をなくした。その上、雨が降り始めた。

解説 財布をなくしたうえに雨まで降り出した、と悪いことを重ねるので On top of that（その上）。At the top of は「～の最上部に」で that とは組まず、「加えて」の意味にならない。In top of / By top of という形はない。

区別 **on top of ~ ⇔ at the top of ~** at the top of ~ は「～の一番上の部分・上位に」（at the top of the page / class）。on top of ~ は「～の上に載って」「～に加えて」。見分け方：ページ・順位の最上部なら at the top of、物の上や「さらに」なら on top of。

0802 ☐☐☐

One of these days, I ———— a car of my own.

① bought ② will buy
③ have bought ④ was buying

② one of these days そのうちに；近いうちに

訳 そのうち自分の車を買うつもりだ。

解説 one of these days は「そのうちに」と未来を表すので、will buy が正しい。bought / have bought / was buying は過去や完了の形で、未来の副詞句と合わない。過去の「ある日」なら one day を使う。

区別 **one of these days ⇔ one day** one day は過去の「ある日」にも未来の「いつか」にも使える。one of these days は未来だけで、「近いうちに」と近さの響きがある。見分け方：過去形の文なら one day。

0803 ☐☐☐

Keep this medicine out of ———— of children.

① hand ② reach
③ touch ④ order

② out of reach 手の届かない所に

訳 この薬は子どもの手の届かないところに保管してください。

解説 「子どもの手の届かない所に保管する」は keep ~ out of reach of children。out of hand は「手に負えない」、out of touch は「連絡が途絶えて」、out of order は「故障中」で、薬の保管の意味にならない。

区別 **out of reach ⇔ within reach** within reach は「手の届く範囲に」（Keep your phone within reach.）、比喩で「達成できそうな」。out of reach はその反対。見分け方：届く・届かないの違い。同じ reach を前置詞 within / out of で反対にする。

0804 ☐☐☐

A: I went to Kyoto last week. B: ———— Kyoto, have you visited Kinkakuji?

① Speaking of ② Spoken of
③ To speak ④ Speak of

① speaking of ~ ～と言えば

訳 A：先週、京都に行ってきたよ。 B：京都と言えば、金閣寺には行った？

解説 相手が出した Kyoto を受けて「京都と言えば」と話をつなぐので Speaking of。Spoken of は過去分詞で「言われた」と受け身になる。To speak は of がなく形が合わない。Speak of では命令文になり、後ろの疑問文とつながらない。

区別 **speaking of ~ ⇔ Speak of the devil.** Speak of the devil は話題の人が実際に現れたときの「噂をすれば」。speaking of ~ は「～と言えば」と話題をつなげる。見分け方：その人が登場したなら Speak of the devil、話をつなぐだけなら speaking of。

0805 □□□

The test is not difficult if you study every day. To put it ＿＿＿＿ way, daily study is the key to passing.

① other ② others
③ the other ④ another

④ to put it another way
別の言い方をすれば；言い換えると

訳 毎日勉強すれば、そのテストは難しくない。言い換えれば、毎日の勉強が合格の鍵だ。

解説 to put it another way で「別の言い方をすれば」。way は単数の数えられる名詞なので、「もう 1 つ別の」を表す another が付く。other は単数名詞に直接付けられない。the other は「2 つのうち残りの方」で合わない。others は代名詞で名詞の前に置けない。

区別 **to put it another way ⇔ in other words** どちらも言い換えの目印で意味はほぼ同じ。in other words は前置詞句で other ＋複数形 words、to put it another way は独立不定詞で it が要り another ＋単数 way。見分け方：形の問題で、other / another の後ろの名詞の数を確かめる（× in another words）。

0806 □□□

＿＿＿＿ it rains tomorrow? We'll have to cancel the picnic.

① What about ② How about
③ Why not ④ What if

④ What if ~? ～したらどうなるだろう；～したらどう？

訳 明日雨が降ったらどうしよう？ピクニックを中止しなければならなくなる。

解説 空所の後ろが it rains という S V で、「明日雨だったらどうしよう」と心配しているので What if。What about / How about の後ろは名詞か動名詞で、S V を続けられない。Why not は「いいね・～したら？」で後ろに原形が来る。

区別 **What if ~? ⇔ What about ~? / How about ~?** What about / How about の後ろは名詞か動名詞（How about taking a taxi?）。What if の後ろは S V（What if we take a taxi?）。見分け方：空所の後ろに主語と動詞があれば What if。

0807 □□□

Just as rice is the staple food in Japan, ＿＿＿＿ bread is in many Western countries.

① so ② such
③ as ④ too

① (just) as ~, so ... （ちょうど）～であるように…も～だ

訳 日本で米が主食であるように、多くの西洋の国ではパンが主食だ。

解説 Just as ~, so ... で「ちょうど～であるように…もそうだ」。前半の as（～のように）と対応するのは so。such は名詞の前に置く語で文を導かない。as をもう一度使うことはできない。too は文末に置く「～も」で、文の頭には来ない。

区別 **(just) as ~, so ... ⇔ as ~（理由・時）** Just as ~, so ... の as は「～のように」と様態を表し、後ろの so と組む。理由の as（～なので）や時の as（～するとき）は so と組まない。見分け方：後半に so があれば「～のように…も」と訳す。

0808 ☐☐☐

The speech went on for two hours, and I was bored ＿＿＿＿ death.

① to　② in
③ at　④ with

① ～ to death　ひどく～；死ぬほど～

訳 スピーチは 2 時間も続き、私は死ぬほど退屈だった。

解説 「死ぬほど退屈した」は be bored to death。to は「結果として～に至る」を表す。at / in / with は death と組んでこの強調の意味にならない。2 時間も続いたスピーチという内容とも合う。freeze to death（凍死する）と同じ to。

区別 **～ to death ⇔ die of ～**　～ to death は動作・状態の結果として死に至ること（starve to death＝飢えて死ぬ）。die of は死因を示す（die of hunger＝飢えで死ぬ）。見分け方：動詞が die なら of、starve / freeze など他の動詞なら to death。感情の強調で使う to death は死なない。

0809 ☐☐☐

The new smartphone has a ＿＿＿＿ of useful features, such as a better camera and longer battery life.

① guest　② host
③ house　④ home

② a host of ～　多数の～；たくさんの～

訳 その新しいスマートフォンには、より良いカメラや長持ちする電池など、便利な機能がたくさんある。

解説 「多数の～」は a host of ～。この host は「大群」の意味で、後ろの複数名詞の数が多いことを表す。guest / house / home は a ～ of features の形で数量を表さない。such as 以下に便利な機能が複数挙がっているのも手がかり。

区別 **a host of ～ ⇔ a handful of ～**　a host of は「多数の」、a handful of は「少数の」と数量が逆。見分け方：host は「大群・大勢」の意味、handful は「一握り」。数の多い・少ないは文脈（only / many など）でも確かめる。

0810 ☐☐☐

The test was very easy, and ＿＿＿＿ nobody in the class got a perfect score.

① so　② thus
③ therefore　④ yet

④ and yet　それなのに；それでも

訳 テストはとても簡単だったのに、クラスで満点を取った人は誰もいなかった。

解説 「テストはとても簡単だった」から予想されるのは満点が多いこと。それなのに誰も満点を取らなかったので、逆接の and yet が正しい。so / thus / therefore はどれも「だから」という順接で、簡単なのに満点がいないという内容とつながらない。

区別 **and yet ⇔ so / therefore**　and yet は前の内容と反対の結果（逆接）、so / therefore は前の内容から当然出てくる結果（順接）。見分け方：「簡単なのに満点がいない」のように予想が裏切られるなら and yet、「簡単だから満点が多い」のように自然な流れなら so。

0811 ☐☐☐

The point ＿＿＿＿ issue is not how much the plan costs but how long it takes.

① in　② on
③ of　④ at

④ at issue 問題になっている；論争中の

訳 問題になっているのは、計画の費用ではなく、どれだけ時間がかかるかだ。

解説 「問題になっている点（争点）」は the point at issue。at は議論の焦点の一点にあることを表す。in / on / of は issue と組んでこの意味にならない。at stake / at risk と同じ「at ＋ 名詞」の型。

区別 **at issue ⇔ take issue with ~** at issue は「（議論の中で）問題になっている」と状態を表す形容詞句。take issue with は「（人・意見）に異議を唱える」と動作を表す。見分け方：名詞の後ろや be 動詞の後ろなら at issue、人や意見に反対するなら take issue with。

0812 ☐☐☐

He saved the child at the cost ＿＿＿＿ his own life.

① of　② for
③ to　④ by

① at the cost of ~ ～を犠牲にして；～の費用で

訳 彼は自分の命と引き換えにその子どもを救った。

解説 「自分の命を犠牲にして子どもを救った」は at the cost of ~。犠牲にしたものを示す前置詞は of。for / to / by は at the cost と組んで「～を犠牲にして」にならない。at all costs と混ぜないこと。

区別 **at the cost of ~ ⇔ at all costs** at all costs は単独で「どんな犠牲を払っても・何としても」と決意を表す。at the cost of ~ は後ろに犠牲にしたものを置く。見分け方：of ~ が続けば失ったもの、all が入って単独なら「何としても」。

0813 ☐☐☐

＿＿＿＿ this rate, we'll miss the last train home.

① In　② On
③ By　④ At

④ at this [that] rate この調子では；このままでいくと

訳 この調子では、帰りの終電に乗り遅れてしまう。

解説 at this rate で「この調子では」。rate（速度・割合）には at を使う（at the rate of ～）。In / On / By は rate と組んでこの意味を作らない。後ろの we'll miss が、このまま続いた場合の予想を表している。

区別 **at this [that] rate ⇔ at any rate** at any rate は「とにかく・いずれにしても」（＝anyway）。at this rate は「この調子では」と現在の進み具合からの予想。見分け方：予想・見通しの話なら this rate。

0814 ☐☐☐

The new evidence proved ＿＿＿＿ doubt that the man was innocent.

① beyond　② over
③ under　④ out of

① beyond doubt 疑いなく；明らかに

訳 新しい証拠によって、その男性が無実であることが疑いなく証明された。

解説 prove ~ beyond doubt で「～を疑いなく証明する」。beyond は「範囲を超えて」で、疑いが届かないことを表す。under / over / out of は doubt と組んで「疑いなく」の意味にならない（out of the question は「問題外」で別の表現）。

区別 **beyond doubt ⇔ out of the question** beyond question は「疑いなく」で beyond doubt と同じだが、out of the question は「問題外・不可能」で全く違う。見分け方：beyond なら「疑いない」、out of the なら「ありえない」。

0815 □□□

Part-time workers at this shop are paid by ———— hour.

① an ② a
③ the ④ one

③ by the + 単位 ～単位で；～ぎめで

訳 この店のアルバイトは時給で支払われる。

解説 「時給で払われる」は be paid by the hour。単位を表すときは by ＋ the ＋ 単位が決まった形。by an hour は「1 時間差で」の意味になり、by a hour / by one hour も単位の意味にならない（per hour なら可）。

区別 **by the + 単位 ⇔ by + 期限** by Friday / by five は「～までに」と期限を表す。by the hour / by the kilo は「～単位で」。見分け方：the ＋ 単位（hour / day / kilo / dozen）なら単位、曜日・時刻なら期限。

0816 □□□

The farmer sold three ———— eggs at the market this morning.

① dozens of ② dozen of
③ dozens ④ dozen

④ dozens of ～ 何十もの～；たくさんの～

訳 その農家は今朝、市場で卵を 36 個売った。

解説 前に数詞 three があるので、dozen は単数形のまま of も付けずに名詞の前に置く（three dozen eggs＝卵 36 個）。dozens of は数詞のない「何十もの」の形で、three とは組めない。dozen of / dozens も数詞の後ろでは誤り。

区別 **dozens of ～ ⇔ two dozen ～** two dozen eggs は「卵 24 個」という正確な数で、dozen に s も of も付けない。dozens of eggs は「何十個もの卵」という漠然とした多数。見分け方：前に数詞があれば単数・of なし、数詞がなく「たくさん」の意味なら dozens of。hundred / thousand も同じ。

0817 □□□

I realized ———— on that the job was not right for me, so I quit after a month.

① early ② soon
③ first ④ quickly

① early on 早い段階で；初期に

訳 私はその仕事が自分に合わないと早い段階で気づいたので、1か月で辞めた。

解説 early on で「早い段階で」。後半の「1か月で辞めた」と合う。soon on / first on / quickly on という言い方はない。対になる later on（後になって）と一緒に押さえる。

区別 **early on ⇔ at first** at first は「最初は（後で変わった）」と変化を前提にする（At first I hated it, but ...）。early on は「早い段階で（何かが起きた）」と時期だけを示す。見分け方：後で気持ちや状況が逆転するなら at first。

0818 □□□

She spoke quietly for fear ———— waking the baby.

① that ② of
③ to ④ in

② for fear of ～ ～を恐れて；～しないように

訳 彼女は赤ちゃんを起こさないように小声で話した。

解説 後ろが waking という動名詞なので for fear of ~ing。that は後ろに S V（that she might wake the baby）が必要。to / in は fear と組んでこの形にならない。

区別 **for fear of ～ ⇔ in case S V** in case は「～するといけないから（備えて）」で、準備の行動（傘を持つなど）。for fear of は「～を恐れて」で、避けるための行動（静かに話すなど）。見分け方：後ろが名詞・~ing なら for fear of、S V なら in case か for fear that。

0819 □□□

I can't stay ＿＿＿＿. I have to leave in ten minutes.

① for a long　② long time
③ for long　④ during long

③ for long 長い間

訳 長くはいられないんだ。10分後には出なければならない。

解説 否定文で「長くはいられない」は for long。for a long は time が抜けていて不完全。long time は for や a がなく形が崩れている。during long という言い方はない。

区別 **for long ⇔ for a long time** for a long time は肯定文でも否定文でも使える「長い間」。for long は主に否定・疑問文で使う。見分け方：肯定文で「長い間～した」なら for a long time。

0820 □□□

That's all ＿＿＿＿ now. See you next week.

① by　② for
③ until　④ from

② for now 今のところ；差し当たり

訳 今日はここまでです。また来週会いましょう。

解説 授業などの終わりの「今日はここまで」は That's all for now。by now は「今ごろはもう」、until now は「今まで」、from now は「今から」で、どれも締めくくりの決まり文句にならない。

区別 **for now ⇔ by now** by now は「今ごろはもう（～したはず）」と完了・推量。for now は「当面は・今のところは」で、後で変わるかもしれない一時的な状態。見分け方：should have p.p. と一緒なら by now、「とりあえず」なら for now。

0821 □□□

His name is Alexander, but everyone calls him Alex ＿＿＿＿ short.

① for　② in
③ by　④ at

① for short 略して

訳 彼の名前はアレクサンダーだが、みんな彼を略してアレックスと呼ぶ。

解説 「略してアレックスと呼ぶ」は call him Alex for short。in short は「要するに」で、名前の略称には使わない。by short / at short という形はない。

区別 **for short ⇔ in short** in short は「要するに」とまとめる言葉（文頭）。for short は「略して」と短い呼び名を言う。見分け方：名前・語の短縮なら for short、話のまとめなら in short。

0822 □□□

The charity concert was held ＿＿＿＿ the benefit of children who had lost their homes.

① to　② by
③ with　④ for

④ for the benefit of ～
～のために；～の利益になるように

訳 そのチャリティーコンサートは、家を失った子どもたちのために開かれた。

解説 for the benefit of ～ で「～のために」。目的・受益を表す for を使う。to / with / by は the benefit of と組んでこの意味にならない。後ろの children who had lost their homes が利益を受ける人。

区別 **for the benefit of ～ ⇔ benefit from ～** for the benefit of の後ろは利益を受ける人、benefit from の後ろは利益の元になる物（主語が利益を受ける人）。見分け方：名詞 benefit で the と of があれば受け手、動詞 benefit で from があれば利益の出どころ。

0823 ☐☐☐

I'm staying with my aunt ＿＿＿＿ the present, but I'll find my own apartment soon.

① for　② in
③ at　④ by

① for the present 当分の間；差し当たり

訳 差し当たりおばの家に住んでいるが、すぐに自分のアパートを見つけるつもりだ。

解説 but I'll find my own apartment soon（でもすぐに自分の部屋を見つける）から、一時的な状態だと分かるので for the present（差し当たり）。at present は the を付けずに「現在は」と言う形で、at the present とはしない。in the present は「現在において」で、by も不可。

区別 **for the present ⇔ at present** for the present は「（いずれ変わるが）差し当たりは」と一時的な期間、at present は「現在は」と今の状態そのもの。見分け方：後で変える予定や but ~ soon が続くなら for the present。at present には the を付けない（at the present time なら可）。

0824 ☐☐☐

Flowers were blooming here and ＿＿＿＿ in the park.

① where　② somewhere
③ everywhere　④ there

④ here and there あちこちに

訳 公園のあちこちで花が咲いていた。

解説 「あちこちに」は here and there で、語順も決まっている。here and where / here and somewhere / here and everywhere は熟語にならない。everywhere を使うなら単独で「至る所に」となる。

区別 **here and there ⇔ everywhere** everywhere は「至る所に・どこでも」で、すき間なく全体に。here and there は「あちこちに点々と」で、ところどころ。見分け方：全部を覆っているなら everywhere、散らばっているなら here and there。

0825 ☐☐☐

A: Dinner is ready! B: OK, I'm coming. I'll be there ＿＿＿＿ a minute.

① for　② at
③ in　④ on

③ in a minute すぐに；ちょっとしたら

訳 A：夕食ができたよ！　B：分かった、今行く。すぐに行くよ。

解説 「すぐ行く」は in a minute（今から 1 分ほどで＝すぐに）。in ＋時間は「今から～後に」。for a minute は「少しの間」と期間を表し、I'll be there と合わない。at / on は a minute と組んで「すぐに」の意味にならない。

区別 **in a minute ⇔ for a minute** in a minute は「（今から）すぐに」と未来の時点、for a minute は「少しの間」と期間。見分け方：will など未来の動作がすぐ起こるなら in、ある長さだけ続くなら for（wait for a minute）。

0826 □□□

Ten boys and twelve girls came, so there were 22 children ＿＿＿ all.

① in　② at
③ after　④ for

① in all 全部で；合計で

訳 男の子が10人、女の子が12人来たので、子どもは全部で22人いた。

解説 男子 10 人と女子 12 人を足して「全部で 22 人」なので in all。at all は否定文で「少しも」、after all は「結局」、for all は「～にもかかわらず」で、合計を表さない。

区別 **in all ⇔ at all / after all** not ~ at all は「少しも～ない」、after all は「結局・やはり」。in all は「全部で」と合計を言う。見分け方：数や金額の合計なら in all、否定の強調なら at all、予想と結果の話なら after all。

0827 □□□

Long skirts went out ＿＿＿ fashion a few years ago, but now they are popular again.

① of　② from
③ in　④ off

① in fashion 流行して

訳 長いスカートは数年前に流行遅れになったが、今はまた人気がある。

解説 「廃れる」は go out of fashion で、out の後ろに of が必要。from / off は fashion と組まない。in は in fashion（流行して）の形では使うが、went out in fashion とは言わない。後半の「また人気だ」との対比で、いったん流行遅れになったと分かる。

区別 **in fashion ⇔ out of fashion** in fashion は「流行の中に入っている」、out of fashion は「流行の外に出ている＝廃れた」。状態の変化は come into / go out of で表す。見分け方：前置詞が in か out of かで反対の意味になるので、文脈の「人気がある・ない」を確かめる。in style / out of style も同じ型。

0828 □□□

In no way ＿＿＿ responsible for the accident. He wasn't even there.

① he was　② was he
③ he is　④ did he

② in no way 決して～ない；少しも～ない

訳 彼にその事故の責任は決してなかった。彼はその場にさえいなかったのだ。

解説 否定の副詞句 In no way が文頭に出ると倒置が起き、be 動詞は主語の前に来るので was he。he was / he is は倒置していない語順で誤り。did he は be 動詞の文では使えない。後ろの wasn't から過去形と分かる。

区別 **in no way ⇔ in a way** in a way は「ある意味では」と部分的に認める。in no way は「決して～ない」と全面否定。見分け方：a なら部分的な肯定、no なら強い否定。in no way が文頭なら倒置が起きる。

0829 □□□

In ＿＿＿, I should have accepted the job offer from that company.

① respect　② reflect
③ retrospect　④ review

③ in retrospect 振り返ってみると；今思えば

訳 今思えば、あの会社からの仕事の誘いを受けるべきだった。

解説 in retrospect で「今思えば」。should have accepted（受けるべきだった）という過去への後悔とよく合う。in respect は in respect of（～に関して）の形で使い単独ではこの意味にならない。reflect は動詞。in review も「振り返ってみると」の意味では使わない。

注意 ＝ looking back / with hindsight。should have done（～すべきだった）と一緒に使うことが多い。

0830 □□□

After the earthquake, drinking water was ＿＿＿＿ short supply for several days.

① in　② at
③ on　④ of

① in short supply 不足して；品薄で

訳 地震の後、何日かの間、飲み水が不足していた。

解説 be in short supply で「不足している」。状態を表す in を使う。at / on / of は short supply と組まない。short of ~ は人が主語の形（We were short of water.）なので、主語が water のこの文には合わない。

区別 **in short supply ⇔ be short of ~** in short supply は不足している物が主語（Food is in short supply.）、be short of は足りない人・場所が主語で、of の後ろに不足する物（We are short of food.）。見分け方：主語が物資なら in short supply、主語が人なら short of。

0831 □□□

From the top of the hill, we could see Mt. Fuji ＿＿＿＿ the distance.

① in　② at
③ on　④ by

① in the distance 遠くに；遠方で

訳 丘の上から、遠くに富士山が見えた。

解説 「遠くに見える」は in the distance。遠くのあたりという特定の場所の中に見えるので in ＋ the。at は at a distance（少し離れて）と不定冠詞と組む形で、at the distance とは普通言わない。on / by は distance と組まない。

区別 **in the distance ⇔ at a distance** in the distance は「はるか遠くに」と見える物の位置、at a distance は「（ある程度）離れて」と見る人と物の間に距離を置く様子。見分け方：遠くの景色や音なら in the distance、近寄らずに離れて見る・話すなら at a distance。冠詞も the と a で違う。

0832 □□□

Babies learn words by listening. ＿＿＿＿, adults can learn a foreign language by listening a lot.

① In the way　② In the same way
③ On the way　④ Out of the way

② in the same way 同様に；同じように

訳 赤ちゃんは聞くことで言葉を覚える。同じように、大人もたくさん聞くことで外国語を身につけられる。

解説 赤ちゃんが聞いて言葉を覚えるのと同じ理屈で大人も学べる、と似た例を並べているので In the same way。In the way は「邪魔になって」、On the way は「途中で」、Out of the way は「片付いて・人里離れた」で、例をつなぐ働きがない。

区別 **in the same way ⇔ in the way / by the way** in the way は「邪魔になって」、by the way は「ところで」と話題を変える言葉。in the same way は「同様に」で、前の内容と似たことを述べる。見分け方：前の例と同じ理屈の話が続くなら in the same way。

0833 □□□

The trip cost 50,000 yen ＿＿＿＿ total.

① at　② by
③ in　④ on

③ in total 合計で；全体で

訳 その旅行は合計で5万円かかった。

解説 「合計で 5 万円かかった」は in total。at total / by total / on total という形はない。in all と同じく in ＋ 全体を表す名詞で「合計で」と覚える。

区別 **in total ⇔ totally** totally は「全く・完全に」（I totally agree.）で程度を強める副詞。in total は「合計で」と数の合計。見分け方：数・金額を足すなら in total、程度を強めるなら totally。

0834 □□□

It is natural ＿＿＿＿ young children to be afraid of the dark.

① for　② of
③ that　④ to

① It is natural (for A) to do
（A が）～するのは当然だ；～するのも無理はない

訳 幼い子どもが暗闇を怖がるのは当然だ。

解説 It is natural for A to do で「A が…するのは当然だ」。to do の意味上の主語は for で示す。of は kind / careless など人の性質を評価する形容詞のときに使う（It is kind of you to ~）。that の後ろには S V が必要。to は to do の意味上の主語を示せない。

区別 **It is natural (for A) to do ⇔ It is natural that S (should) do** 同じ意味で、to 不定詞か that 節かが違う。that 節の中は should＋原形（または原形）が使われる（It is natural that she should be angry.）。見分け方：後ろに for A to do があれば不定詞の形、that があれば should を探す。

0835 □□□

I'm not ＿＿＿＿ the least tired. Let's keep walking.

① in　② at
③ for　④ by

① not ~ in the least 少しも～ない

訳 私は少しも疲れていない。歩き続けよう。

解説 「少しも疲れていない」は not ~ in the least。at を入れると at the least（少なくとも）となり、not と組んで強い否定にならない。for / by も the least と組んでこの意味にならない。

区別 **not ~ in the least ⇔ at least** at least は「少なくとも」で下限を表す肯定的な表現。not ~ in the least は「少しも～ない」で強い否定。見分け方：not と組んで否定を強めるなら in the least、数量の下限なら at least。

0836 □□□

Everyone said the movie was great, but I thought it was not ＿＿＿＿ that interesting, so I left early.

① so　② very
③ all　④ too

③ not all that ~ それほど～ではない

訳 みんなはその映画をすばらしいと言ったが、私はそれほど面白いと思わなかったので、早めに出た。

解説 「それほど面白くない」は not all that interesting。all that は「そんなに」という副詞のまとまり。so that / very that / too that は形容詞の前で程度を表す形にならない（that を取れば not so / not very interesting は可）。

区別 **not all that ~ ⇔ not all ~** not all that ＋ 形容詞は「それほど～ではない」と程度を弱める。not all ＋ 名詞は「全部が～というわけではない」と部分否定。見分け方：all の後ろが that ＋ 形容詞なら程度、名詞なら部分否定。

0837 □□□

All passengers are now on ＿＿＿＿. The plane will take off soon.

① ship　② plane
③ board　④ air

③ on board （乗り物に）乗って

訳 乗客は全員搭乗しました。飛行機は間もなく離陸します。

解説 「全員搭乗しています」は be on board。on ship / on plane は冠詞がなく形として不自然。on air は「放送中」で意味が違う。飛行機にも船にも使える決まった形を問う問題。

区別 **on board ⇔ board（動詞）** 動詞の board は「（乗り物に）乗り込む」で目的語を直接取る（board a plane）。on board は「乗っている」状態を表す前置詞句。見分け方：動詞として使うなら board、be 動詞の後ろや文末で状態を言うなら on board。

0838 □□□

Police officers must not drink alcohol while they are ＿＿＿＿ duty.

① off　② in
③ at　④ on

④ on duty 勤務中で；当番で

訳 警察官は勤務中に酒を飲んではいけない。

解説 「勤務中は飲酒してはいけない」なので on duty。off duty は「非番」で、非番のときの飲酒を禁じる文としては不自然。in duty / at duty という形はない。

区別 **on duty ⇔ off duty** off duty は「非番で・勤務時間外で」で on duty の反対。見分け方：仕事中なら on、仕事を離れているなら off。on / off の対は on air / off air など他の表現でも同じ。

0839 □□□

Look! That house is ＿＿＿＿ fire! Call 119!

① in　② on
③ at　④ by

② on fire 燃えて；火事で

訳 見て！あの家が燃えているよ！119番に電話して！

解説 「家が燃えている」は be on fire。in fire / at fire / by fire は「燃えている」状態を表さない。119 番に電話しろという緊迫した場面に合う決まった形。

区別 **on fire ⇔ catch fire** catch fire は「火がつく・燃え出す」という出来事。be on fire は「燃えている」状態。見分け方：いつ燃え出したかを言うなら catch fire、今燃えているなら on fire。set ~ on fire は「～に火をつける」。

0840 □□□

On no account ＿＿＿＿ open this door.

① you should　② you shouldn't
③ shouldn't you　④ should you

④ on no account 決して～ない

訳 決してこのドアを開けてはいけない。

解説 否定の副詞句 On no account が文頭に出ると倒置が起き、助動詞が主語の前に来るので should you。you should は倒置していない語順で誤り。you shouldn't / shouldn't you は no と not で否定が二重になる。

区別 **on no account ⇔ on account of ~** on account of ~ は「～のために（原因）」で後ろに名詞が続く。on no account は「決して～ない」で否定の強調。見分け方：no が入れば否定、of が続けば原因。on no account が文頭なら倒置が起きる。

0841 □□□

My father travels a lot for his work, so he is always on the ＿＿＿＿.

① travel　② moving
③ motion　④ move

④ on the move 移動中で；活動して

訳 父は仕事でよく出張するので、いつも動き回っている。

解説 on the move で「動き回って・移動中で」という決まった形。move は名詞として使うので moving にはしない。motion は in motion（動いている）の形で使い、on the motion とは言わない。on the travel という言い方もない。

区別 **on the move ⇔ on the way** on the way は「（目的地への）途中で」で、行き先がはっきりしている（on the way to school）。on the move は行き先よりも「動き続けている・じっとしていない」状態に重点がある。見分け方：to ～で行き先を言うなら on the way。

0842 □□□

I was on the point ＿＿＿ leaving when the phone rang.

① to　② for
③ of　④ at

③ on the point of ~ing まさに～しようとして

訳 ちょうど出かけようとしていたときに電話が鳴った。

解説 「出かけようとしていたときに電話が鳴った」は be on the point of ~ing。to を入れると to leaving になり形が崩れる（be about to leave と混ぜた誤り）。for / at も point と組んでこの意味にならない。

区別 **on the point of ~ing ⇔ be about to do** be about to do は不定詞（to ＋ 原形）を使う。be on the point of は前置詞 of の後ろなので動名詞。見分け方：about なら to 原形、the point of なら ~ing。意味はどちらも「まさに～しようとしている」。

0843 □□□

Many animals are on the ＿＿＿ of extinction because of hunting.

① side　② verge
③ top　④ line

② on the verge of ~ 今にも～しそうで；～の寸前で

訳 狩猟のせいで、多くの動物が絶滅の危機にある。

解説 「多くの動物が絶滅の寸前にある」は on the verge of extinction。on the side of は「～の味方で」、on top of は「～の上に・加えて」で意味が違う。on the line of は「絶滅寸前」の意味の熟語にならない。

区別 **on the verge of ~ ⇔ on the point of ~ing** on the point of ~ing は「（人が）まさに～しようとしている」で、自分の意思でする行動の直前が中心。on the verge of ~ は「～の寸前で」で、絶滅・涙・崩壊など状態の境目にも使う。見分け方：後ろが extinction / tears など名詞なら verge が自然。

0844 □□□

＿＿＿ upon a time, there lived an old woman in a small village.

① One　② Long
③ Once　④ Ever

③ once upon a time 昔々；かつて

訳 昔々、小さな村におばあさんが住んでいました。

解説 Once upon a time で「昔々」。昔話の決まった書き出しで、後ろに there lived ～と過去形が続く。One / Long / Ever は upon a time と組まない。「ずっと昔」と言うなら long ago を使う。

区別 **once upon a time ⇔ at once** at once は「すぐに」（＝immediately）または「同時に」。once upon a time は「昔々・かつて」。同じ once でも at が付くと時の意味が全く違う。見分け方：過去の昔を語るなら once upon a time。

0845 □□□

The car turned the corner and was soon out of ＿＿＿.

① sight　② seeing
③ look　④ eye

① out of sight 見えない所に

訳 その車は角を曲がり、すぐに見えなくなった。

解説 「すぐに見えなくなった」は out of sight。sight は「視界」の名詞。seeing は動名詞、look は「一目」、eye は「目」で、out of と組んで「見えない所に」の決まり文句にならない。

区別 **out of sight ⇔ out of reach** out of reach は「手の届かない所に」。out of sight は「見えない所に」。見分け方：触れられないなら reach、目に見えないなら sight。薬の注意書きは out of reach of children が定番。

0846 □□□

_____ of people lined up in front of the new shop on its opening day.

① Score ② Scored
③ Scores ④ Scoring

③ scores of ~ 多数の~

訳 開店日には、新しい店の前に大勢の人が並んだ。

解説 「多数の~」は複数形を使った scores of ~。冠詞のない単数の Score では of people の主語にならない（a score of なら「20 人の」）。Scored / Scoring は動詞の形で、主語の名詞にならない。開店日に大勢並んだという文脈。

区別 **scores of ~ ⇔ a score of ~** scores of は「何十もの・多数の」と漠然と多い数。a score of は「20 の~」と具体的な数。見分け方：冠詞 a が付いて単数なら 20、複数形で冠詞なしなら多数。dozens of / a dozen と同じ関係。

0847 □□□

My grandfather is something _____ a local hero; everyone in town knows his name.

① of ② for
③ as ④ with

① something of a ~ ちょっとした~；ある程度の~

訳 祖父はちょっとした地元の英雄で、町の誰もが彼の名前を知っている。

解説 something of a ~で「ちょっとした~」。of が入る。as / for / with は something の後ろに置いてこの意味を作らない。後半の「町の誰もが名前を知っている」が「ちょっとした英雄」を裏付けている。

区別 **something of a ~ ⇔ something like ~** something like は「~のようなもの」「（数の前で）約~」（something like 100 people）。something of a は「ちょっとした~（ある程度その性質を持つ）」。見分け方：数の前なら something like、人の性質を控えめに言うなら something of a。

0848 □□□

Most people call a tomato a vegetable, but _____ speaking, it is a fruit.

① strictly ② generally
③ roughly ④ loosely

① strictly speaking 厳密に言えば

訳 ほとんどの人がトマトを野菜と呼ぶが、厳密に言えば果物だ。

解説 「多くの人は野菜と呼ぶが、厳密に言えば果物だ」と一般の言い方を正確に訂正しているので strictly。generally（一般的に）や roughly / loosely（大まかに）では、but の前の「多くの人の言い方」を訂正する流れにならない。

区別 **strictly speaking ⇔ generally speaking** generally speaking は「一般的に言えば」で大まかな傾向。strictly speaking は「厳密に言えば」で、細かく正確に言い直す。見分け方：多くの人の思い込みを訂正するなら strictly、ざっくりした傾向を言うなら generally。

0849 □□□

Look at those dark clouds. The chances _____ that it will rain this afternoon.

① is ② are
③ have ④ do

② the chances are (that) ... おそらく...だろう

訳 あの黒い雲を見て。恐らく今日の午後は雨が降るだろう。

解説 The chances are (that) ...で「恐らく...だろう」。主語 chances は複数形なので be 動詞は are。is は単数の主語に使う。have / do ではこの構文にならない。that 以下が「起こりそうなこと」を表している。

区別 **the chances are (that) ... ⇔ by chance** by chance は「偶然に」（＝accidentally）。the chances are は「恐らく」。chance の「可能性」と「偶然」の 2 つの意味を区別する。見分け方：後ろに that 節が続けば the chances are。

0850 □□□

The reason he left the party early is _____ he felt sick.

① why ② what
③ that ④ for

③ The reason (why) ~ is that ...
～の理由は…ということだ

訳 彼がパーティーを早く帰った理由は、気分が悪かったからだ。

解説 The reason ～ is that ...で「～の理由は…ということだ」。is の補語として完全な文をまとめるのは that。why は The reason の後ろに置く語で、補語の位置には来ない。what は後ろに名詞の抜けが必要。for は前置詞で、後ろに S V を置けない。

区別 **The reason (why) ~ is that ... ⇔ That is why ...** That is why ...は「そういうわけで…」と、前の文が理由で後ろが結果。The reason ～ is that ...は前が結果、that 以下が理由。理由と結果の位置が逆になる点に注意。

0851 □□□

His speech was boring, to say the _____; half of the audience fell asleep.

① less ② least
③ little ④ last

② to say the least (of it) 控えめに言っても；少なくとも

訳 彼のスピーチは控えめに言っても退屈で、聴衆の半分が眠ってしまった。

解説 to say the least で「控えめに言っても」。the の後ろなので最上級 least。less（比較級）・little（原級）はこの成句にならない。last は「最後の」で意味が違う。後半の「聴衆の半分が眠った」が、実際はもっとひどかったことを示している。

区別 **to say the least (of it) ⇔ not to say ~** not to say ～は「～とは言わないまでも」で、A, not to say B（B とは言わないまでも A）の形。to say the least は「控えめに言っても」で、それ以上の程度を暗示する。

0852 □□□

She said something to the _____ that she might quit her job soon.

① affect ② result
③ reason ④ effect

④ to the effect that ...
…という趣旨の［で］；…という意味の

訳 彼女は、近いうちに仕事を辞めるかもしれないという趣旨のことを言った。

解説 to the effect that ...で「…という趣旨の」。effect は名詞で「趣旨」。affect は動詞なので the の後ろに置けない。result / reason は to the ～ that の形でこの意味を作らない。

区別 **to the effect that ... ⇔ in effect** in effect は「事実上・実際は」（＝in fact）または「（法律が）有効で」。to the effect that は伝える内容の要旨。見分け方：後ろに that 節が続けば to the effect that。

0853 ☐☐☐

The road is under ＿＿＿＿, so we have to take another route.

① repaired　② repair
③ to repair　④ repairing

② under repair　修理中で

訳 その道路は修理中なので、別の道を通らなければならない。

解説 under repair で「修理中で」。前置詞 under の後ろには名詞が来るので repair（名詞）。repaired / to repair は前置詞の後ろに置けない。repairing は動名詞だが、under repairing という言い方はしない。

区別 **under repair ⇔ out of order** out of order は「故障中で」と、壊れて使えない状態。under repair は「修理中で」と、直している最中。見分け方：直す作業が行われているなら under repair。

0854 ☐☐☐

Preparations for the school festival are already ＿＿＿＿ way.

① on　② in
③ under　④ by

③ under way　（計画などが）進行中で；始まって

訳 学園祭の準備はすでに始まっている。

解説 「（準備が）進行中だ」は be under way。under ＋ 名詞で「～中」を表す（under construction と同じ）。on way / in way / by way はどれも冠詞がなく、この意味にならない。on the way は「途中で」で、準備が進行中の意味ではない。

区別 **under way ⇔ on the way** under way は計画・作業が「進行中」、on the way は「（移動の）途中で・向かっている」（on the way home）、また「（赤ちゃんなどが）もうすぐ来る」。見分け方：準備・工事・調査などの作業なら under way、人や物の移動なら on the way。

0855 ☐☐☐

It was very cold that day. ＿＿＿＿, it began to rain.

① What is better　② In other words
③ For instance　④ What is worse

④ what is worse　さらに悪いことに

訳 その日はとても寒かった。さらに悪いことに、雨が降り始めた。

解説 寒かったうえに雨まで降り出した、と悪いことを重ねるので What is worse。What is better は良いことを重ねるときの言い方で、雨には合わない。In other words（言い換えれば）、For instance（例えば）は情報を重ねる働きを持たない。

区別 **what is worse ⇔ what is more** what is more は「その上」で、同じ方向の情報を足す（良いことに使うことが多い）。what is worse は悪いことを重ねるときだけ。見分け方：前後がどちらも悪い出来事なら what is worse。

0856 ☐☐☐

I wonder who ＿＿＿＿ that left the lights on in the classroom.

① was it　② did it
③ it was　④ it did

③ Who is it that ~?　...するのは一体誰か

訳 教室の電気をつけっぱなしにしたのは、一体誰なんだろう。

解説 I wonder の後ろの間接疑問なので、疑問詞の後ろは普通の語順 it was（I wonder who it was that ~）。was it は直接疑問文の語順（Who was it that ~?）で、間接疑問には使わない。did it / it did では強調構文 It is ~ that の形を作れない。

区別 **Who is it that ~? ⇔ What is it that ~?** 同じ強調構文の疑問文で、who は人、what は物・事を強調する。見分け方：答えが人なら who、物事なら what。間接疑問の語順（疑問詞＋ it is ＋ that）は共通。

0857 □□□

_____ respect to your question, I will answer it at the next meeting.

① For ② With
③ On ④ By

② with respect to ~ ～に関して；～の点で

訳 ご質問に関しては、次の会議でお答えします。

解説 respect to と組んで「～に関して」となる前置詞は With。For / On / By は respect to と組む熟語にならない。with regard to と同じく with を使う固い表現。

区別 **with respect to ~ ⇔ respectively** respectively は「それぞれ」で、二つ以上のものを順に対応させる（A and B are 10 and 20, respectively.）。with respect to ~ は「～に関して」。見分け方：文末で順番の対応を示すなら respectively、前置詞句で話題を示すなら with respect to。

0858 □□□

A good translator does not translate _____; she tries to express the meaning naturally.

① word for word ② word by words
③ in a word ④ words to words

① word for word 一語一語；（訳などが）逐語的に

訳 優れた翻訳者は一語一語直訳したりしない。意味を自然に表そうとする。

解説 「一語一語訳す（直訳する）」は translate ~ word for word。in a word は「一言で言えば」で訳し方を表さない。word by words / words to words という形はない。後半の「意味を自然に表そうとする」との対比も手がかりになる。

区別 **word for word ⇔ in a word** word for word は「一語ずつ・逐語的に」と訳し方・写し方を表す。in a word は「一言で言えば」と要約する文修飾。見分け方：translate / copy / repeat と組めば word for word、文頭で結論をまとめるなら in a word。

0859 □□□

This restaurant is quite cheap, as restaurants _____ in this expensive area.

① goes ② go
③ going ④ gone

② as ~ go 一般の～と比べると；～としては

訳 このレストランは、物価の高いこの地域のレストランとしては、かなり安い。

解説 as ~ go で「一般の～と比べると」。主語 restaurants は複数で、主節が現在形なので go が正しい。goes は単数の主語に使う形。going / gone は述語動詞にならない。go を「行く」と取らないこと。

区別 **as ~ go ⇔ as far as ~ go** as ~ go は「一般の～の基準では」と比べる相手の種類を示す。as far as it goes は「それなりには（だが不十分）」と限界を示す。見分け方：前に hotels / students のような種類を表す複数名詞があれば as ~ go。

0860 ☐☐☐

In Japan, students are expected to clean their classrooms as a matter of ＿＿＿＿, so they do it without complaining.

① fact ② course
③ time ④ chance

② as a matter of course 当然のこととして；当たり前に

訳 日本では、生徒は当然のこととして教室を掃除するものとされているので、文句を言わずに行う。

解説 「当然のこととして掃除するので文句を言わない」という流れなので as a matter of course。as a matter of fact は「実は」と事実を切り出す前置きで、文中のこの位置には合わない。a matter of time は「時間の問題」で as とは組まない。chance も不可。

区別 **as a matter of course ⇔ as a matter of fact** as a matter of course は「当然のこととして」と、習慣的に・疑わずに行う様子。as a matter of fact は「実は・実際のところ」と、相手の予想に反する事実や補足を述べる前置き。見分け方：文頭で話を切り出すなら fact、行動の様子を説明するなら course。

0861 ☐☐☐

The two towns planted a cherry tree together ＿＿＿＿ a token of their friendship.

① by ② as
③ in ④ for

② as a token of ~ ～の印として；～の記念に

訳 2 つの町は友好の印として、一緒に桜の木を植えた。

解説 「～の印として」は as a token of ~。as は「～として」の前置詞。in を使うなら冠詞なしの in token of ~ になり、a は付かない。by は by the same token（同様に）で使う形で意味が違う。for は token と組んで「印として」の意味にならない。

区別 **as a token of ~ ⇔ by the same token** 同じ token を使うが、by the same token は「同じ理由で・同様に」と文と文をつなぐ副詞句で、印・記念の意味はない。見分け方：後ろに of ＋気持ちの名詞が続けば as a token of、文頭で前の文の理屈を次に当てはめるなら by the same token。

0862 ☐☐☐

A: I need someone who can speak Spanish. B: ＿＿＿＿, my brother lived in Madrid for five years.

① As it were ② As it happens
③ As it is ④ As it seems

② as it happens たまたま；偶然にも

訳 A：スペイン語を話せる人が必要なんだ。 B：実は、兄がマドリードに 5 年住んでいたよ。

解説 相手がスペイン語を話せる人を探していて、偶然ぴったりの事実を伝える場面なので As it happens（実はたまたま）。As it were は「いわば」で比喩を和らげる表現、As it is は「（ところが）実際は」と仮定と現実を対比する表現で、どちらも合わない。As it seems はこの位置で使う決まった言い方ではない。

区別 **as it happens ⇔ as it were** as it happens は「たまたま・実は」と偶然の事実、as it were は「いわば」と比喩的な言い方を和らげる挿入句。as it is は「（ところが）実際は」と仮定と現実の対比。見分け方：比喩の前後なら as it were、仮定の後で現実を言うなら as it is、偶然なら as it happens。

0863 □□□

If you keep practicing every day, you'll be speaking English fluently before you _____ it.

① knew　② will know
③ know　④ known

③ before one knows it

あっという間に；知らないうちに

訳 毎日練習を続ければ、あっという間に英語を流ちょうに話せるようになるよ。

解説 before one knows it で「あっという間に」。before が導く時の副詞節の中では、未来のことでも現在形を使うので know。will know は副詞節の中では使わない。knew は過去形で、主節の未来の話と合わない。known は述語動詞にならない。

区別 **before one knows it ⇔ in no time** どちらも「すぐに・あっという間に」。before one knows it は「気づかないうちに」と本人の意識が追いつかない速さ、in no time は所要時間がほとんどないこと。形の違いに注意し、before 節の中は現在形（未来の話でも will を使わない）。

0864 □□□

The view from the top of the mountain was beautiful _____ description.

① above　② beyond
③ over　④ out of

② beyond description

言葉では言い表せないほど；筆舌に尽くしがたい

訳 山頂からの眺めは、言葉では言い表せないほど美しかった。

解説 「言葉では表せないほど美しい」は beautiful beyond description。beyond は「～の範囲を超えて」の意味で、beyond ＋名詞で「～できない」となる。above / over / out of は description と組んでこの決まった意味にならない。

区別 **beyond description ⇔ beyond belief** beyond description は「言葉で描写できないほど」、beyond belief は「信じられないほど」、beyond doubt は「疑いの余地がない」。見分け方：後ろの名詞の動詞形（describe / believe / doubt）に「できない」を付けて訳す。

0865 □□□

This hotel is a bit expensive. Having said _____, the service is excellent and the rooms are clean.

① what　② as
③ which　④ that

④ having said that　そうは言っても；とはいえ

訳 このホテルは少し高い。とはいえ、サービスはすばらしく、部屋もきれいだ。

解説 「そうは言っても」は Having said that。that は直前の「少し高い」という内容を指す。what / which は関係詞・疑問詞で、ここでは前の文を受ける目的語にならない。as も said の目的語にならない。後ろに長所が続く逆接の流れ。

区別 **having said that ⇔ even so** having said that も even so も逆接だが、having said that は「自分がそう言ったものの」と自分の直前の発言を受けることが多い。even so は状況全体を受けて「それでも」。見分け方：意味の差は小さく、どちらも後ろに反対の内容が来る、と読めればよい。

0866 □□□

In all ＿＿＿＿, the meeting will be put off until next week.

① likely ② likeness
③ likelihood ④ liking

③ in all likelihood 十中八九；おそらく

訳 十中八九、会議は来週まで延期されるだろう。

解説 「十中八九」は in all likelihood。in all の後ろには名詞が来るので、「可能性」を意味する名詞 likelihood が正しい。likely は形容詞（副詞）で名詞の位置に置けない。likeness は「似ていること」、liking は「好み」で意味が合わない。

区別 **in all likelihood ⇔ be likely to do** in all likelihood は文に付ける副詞句で「十中八九」。be likely to do は「～しそうだ」と述語になる形容詞の形。見分け方：in all の後ろは名詞なので likelihood、be の後ろなら形容詞 likely。

0867 □□□

Applications must arrive no ＿＿＿＿ than June 10.

① late ② latter
③ later ④ latest

③ no later than ～ 遅くとも～までに

訳 申込書は遅くとも6月10日までに届かなければならない。

解説 no later than ～で「遅くとも～までに」。than の前なので比較級 later。late は原級、latest は最上級で than と組まない。latter は「後者の」で、時間の遅さを表す比較級ではない。

区別 **no later than ～ ⇔ no sooner ～ than ...** no sooner had S done than ...は「～するとすぐに...」で、2 つの出来事がほぼ同時。no later than は「遅くとも～までに」で期限。見分け方：than の後ろが日付・時刻なら no later than。

0868 □□□

I don't usually eat fast food, but I do have a hamburger ＿＿＿＿ occasion.

① at ② by
③ in ④ on

④ on occasion 時々；折に触れて

訳 普段はファストフードを食べないが、時々はハンバーガーを食べる。

解説 「時々」は on occasion で、前置詞は on。don't usually（普段は～しない）との対比で「たまには食べる」という流れにも合う。at / by / in は occasion と組んでこの意味にならない。on the occasion of ～（～の際に）と冠詞の有無で区別する。

区別 **on occasion ⇔ on the occasion of ～** on occasion（冠詞なし）は「時々」と頻度を表す。on the occasion of ～ は「～の際に・～に当たって」と特定の機会を表し、後ろに名詞が続く。見分け方：the と of が付けば特定のお祝いや行事の機会。

0869 □□□

Be on your ＿＿＿＿ against pickpockets in crowded places.

① guard ② care
③ alert ④ mind

① on one's guard 用心して；警戒して

訳 混雑した場所では、すりに用心しなさい。

解説 be on one's guard against ～で「～に用心する」。care は take care of / be careful の形で使い、on your care とは言わない。alert は on the alert（警戒して）の形で、所有格とは組まない。on your mind は「気にかかって」で、against と組まない。

区別 **on one's guard ⇔ off one's guard** off one's guard は「油断して」で反対の意味。on なら警戒している、off なら警戒が外れている。catch A off guard（不意をつく）の形でよく使う。

0870 ☐☐☐

She used her language skills _____ her advantage and got a job abroad.

① in　② with
③ to　④ on

③ to one's advantage
（人）に有利に；（人）に都合よく

訳 彼女は語学力を生かして、海外で職を得た。

解説 「～を自分に有利に使う」は use ~ to one's advantage。to は「結果として～に至る」で、利益になる方向へ使うことを表す。in / with / on は advantage と組んでこの意味にならない。take advantage of ~（～を利用する）とは形が違うので区別する。

区別 **to one's advantage ⇔ take advantage of ~** to one's advantage は「（人）に有利になるように」と結果を表す副詞句。take advantage of は「～を利用する・（人の好意）につけ込む」と動詞の働き。見分け方：use / turn / work の後ろなら to one's advantage、take の後ろなら advantage of。

0871 ☐☐☐

_____ with the heavy rain and the traffic jam, we arrived at the airport two hours late.

① How　② Which
③ What　④ That

③ what with A and B　A やら B やらで

訳 大雨やら渋滞やらで、私たちは空港に 2 時間遅れて着いた。

解説 what with A and B で「A やら B やらで」と理由を並べる。大雨と渋滞という 2 つの理由で遅れたので What が正しい。How / Which / That は with A and B と組んで理由を並べる形にならない。

区別 **what with A and B ⇔ because of A and B** because of は理由を客観的に示すだけ。what with A and B は「A やら B やらで（困ったことに）」と、いくつもの理由が重なった気持ちを込める。見分け方：文頭の what with は理由を並べる合図。

確認テスト 4　前置詞句・構文｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0631 いくつかの間違いを除けば、君の作文はすばらしい。
Apart from a few mistakes, your essay is excellent.

0632 ほとんどの生徒が新しい校則に賛成していた。
Most students were in **favor** of the new school rule.

0633 キャプテンがチーム全体を代表してトロフィーを受け取った。
The captain received the trophy on **behalf** of the whole team.

0634 年齢や経験に関係なく、誰でもクラブに参加できる。
Anyone can join the club **regardless** of age or experience.

0635 申し訳ありません、彼女はただ今席を外しております。
I'm sorry, she's not at her desk at the **moment** .

0636 これは今年見た中で断然一番の映画だ。
This is by **far** the best movie I've seen this year.

0637 彼は間違えて私の傘を持っていった。
He took my umbrella by **mistake** .

0638 彼は健康のためにタバコをやめた。
He quit smoking for the **sake** of his health.

0639 彼は恥ずかしがり屋で人前で話せない。
He is too shy to speak in **public** .

0640 住民の要望に応えて、市は新しい公園を造った。
The city built a new park in **response** to residents' requests.

0641 なくした鍵を探したが、むだだった。
We searched for the lost key in **vain** .

0642 雪のせいで、列車は2時間遅れて到着した。
Owing to the snow, the train arrived two hours late.

0643 好きであろうとなかろうと、君は行かなければならない。
Whether you like it or not, you have to go.

0644 その旅行は長くても3日しかかからない。
The trip will take three days at **most** .

0645 現在、約300人の生徒がこの学校で学んでいる。
At **present** , about 300 students study at this school.

0646 もし水がなければ、何も生きられないだろう。
If it **were** not for water, nothing could live.

0647 火事の場合には、エレベーターを使わないでください。
In **case** of fire, do not use the elevator.

0648 姉と私には共通点がたくさんある。
My sister and I have a lot in **common** .

0649 このレシピでは砂糖の代わりに蜂蜜を使える。
You can use honey in **place** of sugar in this recipe.

0650 そもそもなぜ彼を手伝うことに同意したの？
Why did you agree to help him in the **first** place?

0651 客が次々に到着した。
The guests arrived one after **another** .

0652 あなたの意見にある程度は賛成です。
I agree with your opinion to some **extent** .

0653 先週のご注文に関してご連絡しております。
I'm writing with **regard** to your order last week.

0654 妹はいつも私に質問してくる。
My little sister asks me questions all the **time** .

0655 プレゼントと一緒にお礼のカードを送った。
I sent a thank-you card **along** with the present.

0656 私としては、その計画で問題ない。
As far as I'm **concerned** , the plan is fine.

0657 彼にはよくあることだが、また遅刻した。
As is **often** the case with him, he was late again.

0658 あの黒い雲を見て。今にも雨が降り出しそうだ。
Look at those dark clouds. It could start raining at any **moment** .

0659 兄は時々とても失礼になる。
My brother can be very rude at **times** .

0660 彼女はその歌の歌詞をすべて暗記している。
She knows all the words of the song by **heart** .

0661 自分の目で見に行ったほうがいい。
You should go and see it for **yourself** .

0662 ある意味では、すべての失敗は教訓だ。
In a **sense** , every failure is a lesson.

0663 物静かな姉とは対照的に、ミアはとてもおしゃべりだ。
In **contrast** to her quiet sister, Mia is very talkative.

0664 彼女に直接お礼を言いたい。
I want to thank her in **person** .

0665 もうこれ以上待てない。
I can't wait any **longer** .

0666 金持ちが必ずしも幸せとは限らない。
The rich are not **always** happy.

0667 彼は私たちにとって先生というよりむしろ友達だ。
He is not so **much** a teacher as a friend to us.

0668 この決定は私たちの将来にとってとても重要だ。
This decision is of great **importance** to our future.

0669 エンジンの故障のため、その便は遅れた。
The flight was delayed on **account** of engine trouble.

0670 この嵐の中で外出するなんて問題外だ。
Going out in this storm is out of the **question** .

0671 土曜日の会議に来た学生はほんの一握りだった。
Only a **handful** of students came to the meeting on Saturday.

0672 2つの会社は、取引の可能性を話し合うためにひそかに会った。
The two companies met in **secret** to discuss a possible deal.

0673 急ぎなさい。さもないと最終電車に乗り遅れますよ。
Hurry up, or **else** you will miss the last train.

0674 私は猫と犬を飼っている。前者はおとなしいが、後者はうるさい。
I have a cat and a dog; the former is quiet, but the **latter** is noisy.

0675 何年も借家に住んだ後、彼らはついに自分たちの家を買った。
After years of renting, they finally bought a house of their **own** .

0676 この部屋は私の部屋の3倍の広さだ。
This room is three **times** as large as mine.

0677 その計画は予定より2週間早く終わった。
The project was finished two weeks **ahead** of schedule.

0678 一人ずつ部屋に入ってください。
Please come into the room one at a **time** .

0679 君の助けがなかったら、私は失敗していただろう。
But for your help, I would have failed.

0680 「ペンを使ってもいいですか」「ええ、どうぞ」
"May I use your pen?" "Yes, by **all** means."

0681 そのメッセージは暗号を用いて送られた。
The message was sent by **means** of a secret code.

0682 試合を始めたとたんに雨が降り出した。
Hardly had we started the game when it began to rain.

0683 結論として、私は制服は必要だと考える。
In **conclusion** , I believe school uniforms are necessary.

0684 その計画をもう少し詳しく説明してもらえますか？
Could you explain the plan in more ___detail___ ?

0685 彼は私の古いギターと交換に、漫画本をくれた。
He gave me his comic books in ___exchange___ for my old guitar.

0686 この古い家はひどく修理を必要としている。
This old house is badly in ___need___ of repair.

0687 彼が手伝ってくれたので、お返しに昼ご飯をおごった。
He helped me, so I bought him lunch in ___return___ .

0688 昼ご飯のお返しに、彼の宿題を手伝った。
I helped him with his homework in ___return___ for lunch.

0689 多くの若者が仕事を求めて都市へ移った。
Many young people moved to the city in ___search___ of work.

0690 ストレスは睡眠不足を招き、今度はそれが健康に影響する。
Stress causes poor sleep, which in ___turn___ affects your health.

0691 作業はだいたい終わっている。
The work is more or ___less___ finished.

0692 たまには甘いものを食べるのもいい。
It's good to eat something sweet once in a ___while___ .

0693 言葉を知っていることと、それを教えることは別のことだ。
To know a language is one thing, and to teach it is ___another___ .

0694 この地図は古いので、新しいのを買おう。
This map is out of ___date___ , so let's buy a new one.

0695 自動販売機がまた故障している。
The vending machine is out of ___order___ again.

0696 出発の少なくとも1時間前にチェックインしてください。
Please check in at least an hour ___prior___ to departure.

0697 彼女は祖母と一緒に少しずつ和食の作り方を覚えた。
She learned to cook Japanese food step ___by___ step with her grandmother.

0698 まず第一に、そのホテルは高すぎた。
To ___begin___ with, the hotel was too expensive.

0699 バスに乗り遅れ、さらに悪いことに携帯を家に忘れた。
I missed the bus, and to make ___matters___ worse, I left my phone at home.

0700 そのホテルは安かった。その上、スタッフがとても親切だった。
The hotel was cheap. What is ___more___ , the staff were very kind.

0701 普通、私は11時前に寝る。
As a ___rule___ , I go to bed before eleven.

0702 彼の誠実さについてはまだ疑いがある。
There is still some doubt as **to** his honesty.

0703 二人は一目ぼれした。
They fell in love at first **sight** .

0704 当選者は全応募の中から無作為に選ばれた。
The winners were chosen at **random** from all the entries.

0705 北部は寒い。それとは対照的に、南部は一年中暖かい。
The north is cold. By **contrast** , the south is warm all year.

0706 これらのかばんはすべて手作りだ。
All of these bags are made by **hand** .

0707 彼女は正午に出たので、今ごろはもう家に着いているはずだ。
She left at noon, so she should be home by **now** .

0708 予想に反して、試験はとても簡単だった。
Contrary to our expectations, the test was very easy.

0709 1年間オンラインで話した後、私たちはついに直接会った。
We finally met face **to** face after chatting online for a year.

0710 富があるにもかかわらず、彼は幸せそうに見えなかった。
For **all** his wealth, he never seemed happy.

0711 このチケットは友達からただでもらった。
I got this ticket for **nothing** from a friend.

0712 次のバスがいつ来るか確かには分からない。
I don't know for **sure** when the next bus will come.

0713 子どもの立場から見ると、その規則は不公平に思える。
From a child's point of **view** , the rule seems unfair.

0714 宿題を終えてから、テニスをしに出かけた。
Having finished my homework, I went out to play tennis.

0715 急いで家を出たので弁当を忘れた。
I left home in a **hurry** and forgot my lunch.

0716 私たちのチームは5連勝している。
Our team has won five games in a **row** .

0717 雨が降るかもしれないが、いずれにせよ9時に出発する。
It might rain, but in **any** case we'll start at nine.

0718 手短に言えば、会議は成功だった。
In **brief** , the meeting was a success.

0719 心配しないで、すぐに戻るから。
Don't worry, I'll be back in **no** time.

0720 大きな危険に直面しても、彼女は落ち着いていた。
She remained calm in the **face** of great danger.

0721 空模様から判断すると、すぐに雨が降るだろう。
Judging from the sky, it will rain soon.

0722 自転車も買えないのに、まして車なんて無理だ。
I can't afford a bike, let **alone** a car.

0723 昨日はほとんど何も食べなかった。
I had **next** to nothing to eat yesterday.

0724 財布にはたった500円しかなかった。
I had no **more** than 500 yen in my wallet.

0725 まもなくそのうわさは学校中に広まった。
It was not long **before** the rumor spread across the school.

0726 一方では旅行したいが、他方ではお金を貯める必要がある。
On the **one** hand, I want to travel; on the other, I need to save money.

0727 この本はいったん読み始めたら止められない。
Once you start this book, you won't be able to stop.

0728 凍った道路で車が制御できなくなった。
The car went out of **control** on the icy road.

0729 雨が降っているのだから、今日は家にいたほうがいい。
Seeing that it's raining, we had better stay at home today.

0730 二人の友達は川沿いを並んで歩いた。
The two friends walked side **by** side along the river.

0731 彼女は今度の金曜日、つまり15日に来る。
She'll come next Friday, **that** is, the 15th.

0732 正直に言うと、その映画は楽しくなかった。
To be **honest**, I didn't enjoy the movie.

0733 現在までに、その本は 100 万部以上売れている。
To **date**, more than a million copies of the book have been sold.

0734 火災報知器が鳴ったとき、何をすべきか誰も分からなかった。
When the fire alarm rang, nobody knew **what** to do.

0735 彼はポケットに手を入れたまま門のところに立っていた。
He was standing at the gate **with** his hands in his pockets.

0736 彼女は留学する目的で貯金している。
She is saving money with a **view** to studying abroad.

0737 スーパーで卵、牛乳、パンなどを買った。
We bought eggs, milk, bread, and **so** on at the supermarket.

0738 かなり多くの生徒が、先生に質問するために授業後も残った。
A **good** many students stayed after class to ask the teacher questions.

0739 彼女の手紙を何度も何度も読んだ。
I read her letter again **and** again.

0740 彼女は私に会うためにはるばる九州から来てくれた。
She came all the **way** from Kyushu to see me.

0741 国全体として高齢化が進んでいる。
The country as a **whole** is getting older.

0742 どんな犠牲を払っても子どもたちを守らなければならない。
We must protect the children at all **costs** .

0743 環境を犠牲にして成長する企業もある。
Some companies grow at the **expense** of the environment.

0744 遅くとも金曜日までにレポートを提出してください。
Please hand in your report by Friday at the **latest** .

0745 全校生徒の前で話すことを考えて、彼女は緊張した。
She felt nervous at the **thought** of speaking in front of the whole school.

0746 父はまだ仕事中なので、帰りが遅くなる。
My father is still at **work** , so he will come home late.

0747 彼の誠実さには疑いの余地がない。職場の誰もが彼を信頼している。
His honesty is beyond **question** ; everyone in the office trusts him.

0748 もしかしてケンのお姉さんですか？
Are you Ken's sister by **any** chance?

0749 父は生まれつき陽気だ。
My father is cheerful by **nature** .

0750 年齢の割に彼はよくやった。
He did well, **considering** his age.

0751 私は1日おきにジムに行く。
I go to the gym every **other** day.

0752 うちの隣の家が売りに出ている。
The house next to ours is **for** sale.

0753 大部分は、生徒たちは行儀よくしていた。
For the **most** part, the students behaved well.

0754 彼らはロボット工学を学ぶ目的で日本に来た。
They came to Japan for the **purpose** of studying robotics.

0755 一般的に言えば、女性は男性より長生きだ。
Generally speaking, women live longer than men.

0756 もっと勉強する時間がありさえすればなあ！
If **only** I had more time to study!

0757 ある意味では、今日雨が降ってよかった。
In a **way**, I'm glad it rained today.

0758 そのお金は彼の希望に従って使われた。
The money was used in **accordance** with his wishes.

0759 昨年と比べて、売り上げは倍増した。
In **comparison** with last year, sales have doubled.

0760 退職する先生をたたえてパーティーが開かれた。
A party was held in **honor** of the retiring teacher.

0761 生徒たちはスピーチコンテストに備えて毎日練習した。
The students practiced every day in **preparation** for the speech contest.

0762 彼は金持ちに見えるが、実際には借金がたくさんある。
He looks rich, but in **reality** he has a lot of debt.

0763 バスは1時間後に来る。それまでコーヒーでも飲もう。
The bus comes in an hour. In the **meantime**, let's have coffee.

0764 市は川に新しい橋を建設している最中だ。
The city is in the **process** of building a new bridge over the river.

0765 たいてい、彼は傘を持ってくるのを忘れる。
More **often** than not, he forgets to bring his umbrella.

0766 どの季節も好きだが、何より秋が大好きだ。
I enjoy every season, but I love autumn **most** of all.

0767 1万人もの人がコンサートに来た。
No **less** than 10,000 people came to the concert.

0768 事故の後の彼女の回復は、まさに奇跡としか言いようがなかった。
Her recovery after the accident was nothing **short** of a miracle.

0769 いったいここで何をしているの？
What on **earth** are you doing here?

0770 学校まで歩いて10分かかる。
It takes ten minutes to get to school on **foot**.

0771 この靴は半額で特売中だ。
These shoes are on **sale** at half price.

0772 工事は予定どおりに進んでいる。
The construction is going on **schedule**.

0773 生徒は試験の点数に基づいて選ばれる。
Students are selected on the **basis** of their test scores.

0774 何か手伝いが必要なら、喜んでお手伝いします。
If you need any help, I'll be **only** too happy to assist you.

0775 本はいわば心の食べ物だ。
Books are, so to **speak**, food for the mind.

0776 彼が彼女を助けたのだと思ったが、実際は逆だった。
I thought he had helped her, but it was the other way **around**.

0777 その部屋は汚いのは言うまでもなく、狭かった。
The room was small, to say **nothing** of being dirty.

0778 私の知る限りでは、その店は月曜日が休みだ。
To the best of my **knowledge**, the store is closed on Mondays.

0779 先生は生徒たちと一緒にその行事に招かれた。
The teacher, **together** with her students, was invited to the event.

0780 駅の近くに新しい図書館が建設中だ。
A new library is under **construction** near the station.

0781 連絡先の情報を常に最新の状態にしておいてください。
Please keep your contact information up to **date**.

0782 この図書館は幼い子どもたちのことを考えて設計された。
This library was designed with young children in **mind**.

0783 レポートは必ず金曜日までに提出してください。
Please hand in your report by Friday without **fail**.

0784 彼は正直なので、私はなおさら彼が好きだ。
I like him **all** the better for his honesty.

0785 夏休みは子どもたちにとって、あまりにも早く過ぎてしまった。
The summer vacation passed **all** too quickly for the children.

0786 彼女はそこに住むことで、村の生活を直接知った。
She learned about life in the village at first **hand** by living there.

0787 彼女は直前になって予定をキャンセルした。
She canceled our plans at the last **minute**.

0788 犬は郵便配達員を見たとたん吠え始めた。
The dog started barking at the **sight** of the mail carrier.

0789 新しい証拠を考慮して、その事件は再捜査された。
In **light** of the new evidence, the case was reopened.

0790 看護師は常に需要がある。
Nurses are always in **demand**.

0791 その事故は、一部は大雨が原因だった。
The accident was caused in **part** by the heavy rain.

0792 その考えはよさそうだが、実際にはうまくいかない。
The idea sounds good, but in **practice** it won't work.

0793 この本は、文法をとても分かりやすく説明しているという点で役に立つ。
This book is useful in the **sense** that it explains grammar very clearly.

0794 一体屋根の上で何をしているの？
What in the **world** are you doing up on the roof?

0795 悪天候を考慮して、行事は延期された。
In **view** of the bad weather, the event was postponed.

0796 今は話せないけど、後で折り返し電話するね。
I can't talk now, but I'll call you back **later** on.

0797 うっかりミスでこのテストに落ちた生徒はたくさんいる。
Many a student has failed this test because of careless mistakes.

0798 父はよく仕事で大阪へ行く。
My father often goes to Osaka on **business** .

0799 来週返すという条件でお金を貸してあげよう。
I'll lend you the money on **condition** that you pay it back next week.

0800 一見すると計画は単純に思えたが、問題だらけだった。
On the **face** of it, the plan seemed simple, but it was full of problems.

0801 財布をなくした上に、終電にも乗り遅れた。
On **top** of losing my wallet, I missed the last train.

0802 そのうちに、世界一周旅行をするつもりだ。
One of these **days** , I'm going to travel around the world.

0803 薬は子どもの手の届かない所に保管してください。
Keep medicine out of **reach** of children.

0804 映画と言えば、新しいのはもう見た？
Speaking of movies, have you seen the new one?

0805 物価が10%上がった。別の言い方をすれば、今は何もかもが前より高いということだ。
Prices went up by ten percent. To put it **another** way, everything costs more now.

0806 お祭りの日に雨が降ったらどうしよう？
What if it rains on the day of the festival?

0807 植物に水が必要なように、子どもが育つには愛情が必要だ。
Just as plants need water, **so** children need love to grow.

0808 彼の趣味についての長い話には死ぬほど退屈した。
I was bored to **death** by his long speech about his hobbies.

0809 その新しい携帯電話には便利な機能がたくさん付いている。
The new phone comes with a **host** of useful features.

0810 彼は一生懸命勉強した。それなのに試験に落ちた。
He studied very hard, and **yet** he failed the test.

0811 問題になっているのは、学校のプラスチックごみをどう減らすかだ。
The question at **issue** is how to reduce plastic waste in schools.

0812 彼は健康を犠牲にしてその計画を完成させた。
He finished the project at the **cost** of his health.

0813 この調子では、締め切りまでにプロジェクトは終わらないだろう。
At this **rate**, we won't finish the project before the deadline.

0814 新しい証拠は彼が無実だということを疑いの余地なく証明した。
The new evidence proved beyond **doubt** that he was innocent.

0815 この仕事では時給で支払われる。
In this job, you are paid by the **hour**.

0816 開門前、何十人もの人がスタジアムの外で待っていた。
Dozens of people were waiting outside the stadium before the gates opened.

0817 試合の早い段階で、私たちのチームは 2 点を入れた。
Early on in the game, our team scored two goals.

0818 彼女は赤ちゃんを起こさないように静かに歩いた。
She walked quietly for **fear** of waking the baby.

0819 授業があるので長くはいられない。
I can't stay for **long** because I have class.

0820 今日はここまで。また来週。
That's all for **now**. See you next week.

0821 彼の名前はアレクサンダーだが、略してアレックスと呼んでいる。
His name is Alexander, but we call him Alex for **short**.

0822 そのコンサートは家を失った子どもたちのために開かれた。
The concert was held for the **benefit** of children who lost their homes.

0823 当分の間、この部屋を教室として使います。
For the **present**, we will use this room as a classroom.

0824 野原のあちこちに小さな花が咲いていた。
Small flowers were blooming **here** and there in the field.

0825 ここで待っていてください。すぐ戻ります。
Wait here, please. I'll be back in a **minute**.

0826 パーティーには全部で40人いた。
There were forty people at the party in **all**.

0827 今年はロングスカートがまた流行している。
Long skirts are back in **fashion** this year.

0828 この問題は決してあなたのせいではない。
This problem is in no **way** your fault.

0829 今思えば、1年生のときにもっと勉強しておくべきだった。
In **retrospect**, I should have studied harder in my first year.

0830 大地震の後、きれいな水が不足していた。
Fresh water was in short **supply** after the big earthquake.

0831 ビルの屋上から遠くに富士山が見えた。
We could see Mt. Fuji in the **distance** from the top of the building.

0832 同様に、植物も生きるのに水が必要だ。
In the **same** way, plants need water to live.

0833 旅行は合計で約5万円かかった。
The trip cost about 50,000 yen in **total**.

0834 子どもが暗闇を怖がるのは当然のことだ。
It is **natural** for children to be afraid of the dark.

0835 その知らせには少しも驚かなかった。
I wasn't in the **least** surprised by the news.

0836 その映画はそれほど面白くなかったが、音楽は素晴らしかった。
The movie was not **all** that interesting, but the music was great.

0837 乗っていた乗客は全員無事だった。
All the passengers on **board** were safe.

0838 今夜はどの看護師が勤務ですか？
Which nurse is on **duty** tonight?

0839 すぐに119番して！あの古い建物が燃えている！
Call 119 right now! That old building is on **fire**!

0840 決してこのドアを開けてはいけない。
On no **account** should you open this door.

0841 営業部長なので、父はいつも動き回っている。
As a sales manager, my father is always on the **move**.

0842 ちょうど出かけようとしたとき、電話が鳴った。
I was on the **point** of leaving when the phone rang.

0843 その女の子は今にも泣き出しそうだった。
The little girl was on the **verge** of tears.

0844 昔々、貧しい農夫が3人の息子と暮らしていた。
Once **upon** a time, a poor farmer lived with his three sons.

0845 列車が見えなくなるまで手を振った。
We waved until the train was out of **sight**.

0846 開店前、店の外にはたくさんの人が並んでいた。
Scores of people lined up outside the shop before it opened.

0847 叔父は古い車についてちょっとした専門家だ。
My uncle is **something** of an expert on old cars.

0848 厳密に言えば、トマトは野菜ではなく果物だ。
Strictly speaking, a tomato is a fruit, not a vegetable.

0849 今出発すれば、おそらく時間通りに着けるだろう。
If you leave now, the **chances** are that you'll get there on time.

0850 遅れた理由は、バスが故障したからだ。
The **reason** I was late is that my bus broke down.

0851 そのホテルの部屋は、控えめに言っても狭くて汚かった。
The hotel room was small and dirty, to say the **least** .

0852 彼は遅れるという趣旨の短いメッセージを送ってきた。
He sent a short message to the **effect** that he would be late.

0853 エレベーターは修理中なので、階段を使ってください。
The elevator is under **repair** , so please use the stairs.

0854 文化祭の準備はすでに進んでいる。
Preparations for the school festival are already **under** way.

0855 暗くなり、さらに悪いことに雨が降り出した。
It got dark, and what is **worse** , it began to rain.

0856 理科室の窓を割ったのは、一体誰だったのか。
Who was it **that** broke the window in the science room?

0857 その二つの計画は費用の点で似ている。
The two plans are similar with **respect** to cost.

0858 その文を一語一語訳してはいけない。そうすると不自然になるよ。
Don't translate the sentence word **for** word, or it will sound strange.

0859 ホテルとしては、こんなに良い立地のわりにかなり安い。
As hotels **go** , this one is quite cheap for such a nice location.

0860 この学校では、生徒が自分たちの教室を掃除するのが当たり前になっている。
In this school, students clean their classrooms as a matter of **course** .

0861 彼女は感謝の印として、ホストファミリーに手作りのカードを贈った。
She gave her host family a handmade card as a **token** of her thanks.

0862 実はたまたま今夜のコンサートのチケットが2枚あるんだ。来る？
As it **happens** , I have two tickets for tonight's concert. Do you want to come?

0863 夏休みはあっという間に終わるから、よく計画を立てなさい。
Summer vacation will be over before you **know** it, so plan well.

0864 山頂からの眺めは言葉にできないほど美しかった。
The view from the top of the mountain was beautiful beyond **description** .

0865 そのホテルは高かった。とはいえ、サービスは素晴らしかった。
The hotel was expensive. **Having** said that, the service was excellent.

0866 十中八九、嵐のせいで試合は中止になるだろう。
In all **likelihood** , the game will be canceled because of the storm.

0867 全ての用紙は遅くとも 5 月 31 日までに事務所へ送らなければならない。
All forms must be sent to the office no **later** than May 31.

0868 普段は家で食べるが、時々すしを食べに出かける。
We usually eat at home, but on **occasion** we go out for sushi.

0869 ネット上の知らない人には用心すべきだ。
You should be on your **guard** against strangers online.

0870 彼女は就職の面接で語学力をうまく生かした。
She used her language skills to her **advantage** in the job interview.

0871 宿題やら部活やらで、自由な時間がまったくない。
What with homework and club activities, I have no free time.

CHAPTER 5

会話文で出るイディオム

Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。
No.0872〜1045（174 問）

問題

0872 □□□

A: I won first prize in the speech contest! B: ＿＿＿＿
Congratulations!

① I can't believe it!
② I can't help it.
③ I don't mind.
④ I'm afraid not.

解答・解説（赤シートで隠せます）

① I can't believe it! 信じられない！

訳 A：スピーチコンテストで1位になったよ！　B：信じられない！おめでとう！

解説 うれしい知らせに驚いて「信じられない！おめでとう！」と返すので I can't believe it!。I can't help it は「仕方がない」、I don't mind は「構わない」、I'm afraid not は「残念ながら違う」で、どれも優勝の知らせと Congratulations の間に入らない。

区別 **I can't believe it! ⇔ I don't believe you.** I can't believe it は出来事への驚き（本当だとは思えないほど驚いた）。I don't believe you は「あなたの言うことは信じない（うそだと思う）」で相手を疑う。見分け方：it なら出来事への反応、you なら相手の発言への不信。

0873 □□□

A: Why don't you come to the party with us tonight? B: ＿＿＿＿ But I have to finish my report.

① Yes, I'd love to.　② I hope so.
③ Sure, why not?　④ I wish I could.

④ I wish I could. そうできたらいいんだけど（できない）

訳 A：今夜、私たちと一緒にパーティーに来ない？　B：行けたらいいんだけど。でもレポートを仕上げなくちゃいけないんだ。

解説 But 以下で「レポートを終わらせないといけない」と断っているので、「行けたらいいんだけど」の I wish I could.。Yes, I'd love to. と Sure, why not? は誘いを受ける返事で But 以下と矛盾する。I hope so は誘いへの答えにならない。

区別 **I wish I could. ⇔ I hope I can.** I hope I can は「できるといいな」で、実現の可能性がある期待。I wish I could は仮定法で「できない」と分かっている残念な気持ち。見分け方：後ろに but ~（できない理由）が続けば I wish I could。

0874 □□□

A: Are you ready to order? B: Yes. ＿＿＿＿ the chicken salad and an iced tea, please.

① I had　② I've had
③ I'll have　④ Have

③ I'll have ~. ~にします（注文で）

訳 A：ご注文はお決まりですか。　B：はい。チキンサラダとアイスティーをお願いします。

解説 注文を聞かれ、その場で決めたものを伝えるので I'll have。I had / I've had は過去・完了で「食べた」になり注文にならない。Have だけだと命令文で、相手に食べるよう言うことになる。注文の決まり文句を問う問題。

区別 **I'll have ~. ⇔ I'll take it.** I'll take it は買い物で品物を決めたときの「それをください（買います）」。I'll have ~ は飲食物の注文。見分け方：服・雑貨など持ち帰る品物なら take、その場で食べる・飲むなら have。

0875 □□□

A: I'm sorry to have kept you ＿＿＿＿. B: That's OK. I just got here myself.

① wait　② waiting
③ to wait　④ waited

② I'm sorry to have kept you waiting.
お待たせしてすみません

訳 A：お待たせしてすみません。　B：大丈夫ですよ。私も今着いたところです。

解説 keep 人 ~ing で「人を～させたままにする」なので waiting。keep は原形・to 不定詞を目的語の後ろに取らないので wait / to wait は誤り。waited（過去分詞）では「待たれた」となり意味が通らない。B の返事からも待たせた場面と分かる。

区別 **I'm sorry to have kept you waiting.** ⇔ **Sorry to keep you waiting.** to keep は今まさに待たせている・これから待たせることにも使える（保留にする前など）。to have kept は待たせたことを振り返る言い方で、到着・戻った時点で使う。見分け方：待ち時間が終わったなら to have kept。

0876 □□□

A: I'm so sorry I broke your cup. B: ＿＿＿＿ It was a cheap one.

① It's no big deal.　② It's a deal.
③ It's my fault.　④ It's up to you.

① It's no big deal. 大したことないよ

訳 A：あなたのカップを割ってしまって本当にごめんなさい。B：大したことじゃないよ。安物だったから。

解説 謝罪に「大したことないよ、安物だから」と返すので It's no big deal.。It's a deal は取引の合意、It's my fault は「私のせい」で割られた側の言葉として不自然、It's up to you は「あなた次第」。謝罪への返事を選ぶ問題。

区別 **It's no big deal.** ⇔ **It's a deal.** It's a deal は取引・提案に「それで決まり」と合意する言葉。It's no big deal は「大したことない」。見分け方：条件を出し合った後なら It's a deal、謝罪・感謝・心配への返しなら It's no big deal。no big の有無で意味が全く違う。

0877 □□□

A: Do you want to go to the horror movie with us? B: Thanks, but horror movies ＿＿＿＿.

① are my cup of tea
② aren't my piece of cake
③ aren't my cup of tea
④ aren't up to me

③ It's not my cup of tea. 私の好みではない

訳 A：私たちと一緒にホラー映画を見に行かない？　B：ありがとう、でもホラー映画は好みじゃないんだ。

解説 Thanks, but と断っているので「ホラーは好みじゃない」の aren't my cup of tea。肯定の are my cup of tea は but と矛盾する。piece of cake は「簡単なこと」で my を付けて好みを言わない。up to me は「私次第」で意味が合わない。

区別 **It's not my cup of tea.** ⇔ **I'm not in the mood (for ~).** I'm not in the mood は「今はそういう気分ではない」と一時的な気持ち。not my cup of tea は好み自体に合わない（いつでも好きではない）。見分け方：今日は・今は と一時的なら in the mood、ジャンル・趣味の好みなら cup of tea。

0878 □□□

A: I don't know how to fix this printer.
B: ———— I'm good with machines.

① Leave me alone.　② Leave it at that.
③ Let it go.　④ Leave it to me.

④ Leave it to me. 私に任せて

訳 A：このプリンターの直し方が分からないんだ。　B：私に任せて。機械は得意なんだ。

解説 後ろで「機械は得意」と言っているので、修理を引き受ける Leave it to me.。Leave me alone は「放っておいて」、Leave it at that は「それくらいにしておこう」、Let it go は「気にするな・忘れろ」で、どれも引き受ける意味にならない。

区別 **Leave it to me. ⇔ Leave me alone.** Leave me alone は「放っておいて・一人にして」と相手を遠ざける言葉。Leave it to me は「（その仕事を）私に任せて」と引き受ける言葉。見分け方：it（仕事）を to me（私に）渡すなら任せて、me（私）を alone（一人）にするなら放っておいて。

0879 □□□

A: It's hot in here. Shall I open the window? B: ————

① Yes, let's.　② Yes, I shall.
③ Yes, you do.　④ Yes, please.

④ Shall I ~? ～しましょうか

訳 A：ここは暑いですね。窓を開けましょうか。　B：はい、お願いします。

解説 Shall I ~? は「私が～しましょうか」という申し出なので、お願いする Yes, please.。Yes, let's. は Shall we ~?（一緒に～しよう）への答え。Yes, I shall は申し出た本人の言葉になり、Yes, you do は文法的にも答えとして成り立たない。

区別 **Shall I ~? ⇔ Shall we ~?** Shall I ~? は私が相手のために何かする申し出、Shall we ~? は二人で一緒にする勧誘。見分け方：答えが Yes, please. なら Shall I、Yes, let's. なら Shall we。Would you like me to ~? は Shall I ~? のより丁寧な言い方。

0880 □□□

A: This summer is so hot. I can't sleep at night. B: ———— My air conditioner is broken, too.

① Don't mention it.
② Tell me about it.
③ I didn't tell you.
④ Tell me the way.

② Tell me about it.
本当にそうだよ；まったくだ（経験済み）

訳 A：今年の夏はすごく暑いね。夜も眠れないよ。　B：本当にそうだよね。うちもエアコンが壊れているんだ。

解説 暑さの不満に「本当にそう、うちもエアコンが壊れている」と同意しているので Tell me about it.。Don't mention it は礼への「どういたしまして」。I didn't tell you（言わなかった）、Tell me the way（道を教えて）は流れに合わない。

区別 **Tell me about it. ⇔ Tell me more.** Tell me more は「もっと聞かせて」と話の続きを促す言葉で、興味を表す。Tell me about it は（不満・愚痴に対して）「分かる、全くだ」と同意する決まり文句。見分け方：相手が不満を言った直後で、自分も同じ経験を続けているなら Tell me about it。

0881 □□□

A: Nice to meet you. What do you do?
B: ＿＿＿＿

① I'm watching TV now.
② I'm fine, thank you.
③ I'm a nurse at a hospital.
④ I do my best.

③ What do you do? お仕事は何ですか

訳 A：はじめまして。お仕事は何をされていますか。 B：病院で看護師をしています。

解説 現在形の What do you do? は職業を尋ねる質問なので、I'm a nurse at a hospital.。I'm watching TV now は What are you doing? への答え。I'm fine は How are you? への答え。I do my best（全力を尽くす）は職業の答えにならない。

区別 **What do you do? ⇔ What are you doing?** What are you doing? は進行形で「今何をしているの？」。What do you do? は現在形で職業。見分け方：答えが I'm a nurse. なら do、I'm watching TV. なら are doing。初対面の会話で職業を聞くのは What do you do?。

0882 □□□

A: I'd like to visit your office next week. When ＿＿＿＿? B: Thursday afternoon would be fine.

① is it convenient for you
② are you convenient
③ do you convenient
④ convenient are you

① When is it convenient for you?
いつがご都合よろしいですか

訳 A：来週、そちらの事務所に伺いたいのですが、いつがご都合よろしいですか。 B：木曜日の午後なら大丈夫です。

解説 convenient は日時・物事を主語にして for 人 を付けるので、When is it convenient for you?。are you convenient は人を主語にしていて誤り。do you convenient は形容詞を一般動詞のように使っていて誤り、convenient are you は語順が崩れている。

区別 **When is it convenient for you? ⇔ When are you free?** 人を主語にするなら free / available を使う（When are you free?）。convenient は日時・場所が主語で for 人 を付ける。見分け方：主語が you なら free / available、it や日時なら convenient。

0883 □□□

A: Hello, is this Tanaka's Bakery? B: No, I'm afraid ＿＿＿＿. This is a private home.

① the line is busy
② you have the wrong number
③ you have the right number
④ I'll put you through

② You have the wrong number. 番号をお間違えです

訳 A：もしもし、田中ベーカリーですか。 B：いいえ、番号をお間違えだと思います。こちらは個人の家です。

解説 パン屋かと聞かれて「いいえ、ここは個人の家です」と答えているので、間違い電話を知らせる you have the wrong number。the line is busy は話し中で会話できない状態。right number は No と矛盾し、I'll put you through（おつなぎします）も個人宅と合わない。

区別 **You have the wrong number. ⇔ The line is busy.** The line is busy は「話し中です」で、かけた相手が別の電話に出ていてつながらない状態。You have the wrong number はつながったが別の家・会社だった状態。見分け方：つながって会話しているなら wrong number。

0884 □□□

A: Oh, sorry. Were you going to get in first? B: No, no. ———— A: Thank you very much.

① After me.　② I'll go first.
③ Follow me.　④ After you.

④ After you. お先にどうぞ

訳 A：あ、すみません。先に乗るところでしたか。　B：いえいえ、お先にどうぞ。　A：どうもありがとうございます。

解説 先に乗るつもりだったかと聞かれて「いえいえ、お先にどうぞ」と譲るので After you.。After me は「私の後で（私が先）」、I'll go first は「私が先に行く」、Follow me は「ついて来て」で、どれも譲る意味にならず、A のお礼とつながらない。

区別 **After you. ⇔ Be my guest.** Be my guest は「どうぞご自由に（使って・やって）」と、物の使用や行動を許可する言葉。After you は順番を譲るだけ。見分け方：Can I use ~? への返事なら Be my guest、ドアや列で先を譲るなら After you。

0885 □□□

A: I didn't pass the driving test. B: Oh, that's too bad. ————

① Better luck next time.
② Good luck on your test.
③ Lucky you!
④ Well done!

① Better luck next time. 次はうまくいくよ

訳 A：運転免許の試験に受からなかったよ。　B：ああ、それは残念。次はうまくいくといいね。

解説 試験に落ちた相手を励ますので Better luck next time.。Good luck on your test は試験の前に言う言葉で、もう結果が出た場面に合わない。Lucky you!（いいなあ）と Well done!（よくやった）は失敗した人にかける言葉ではない。

区別 **Better luck next time. ⇔ Good luck.** Good luck は「頑張って・うまくいきますように」で、これからのことに使う。Better luck next time は結果が悪かった後に「次は」と励ます。見分け方：試験の前なら Good luck、落ちた後なら Better luck next time。

0886 □□□

A: We're finished. Can I have the ————, please? B: Sure. Together or separately?

① price　② fare
③ check　④ cost

③ Can I have the check, please? お会計をお願いします

訳 A：食事は済みました。お会計をお願いできますか。　B：かしこまりました。ご一緒ですか、別々ですか。

解説 食後に会計を頼み、店員が「ご一緒ですか、別々ですか」と聞いているので check（伝票）。price は品物の値段、fare は電車・バスなどの運賃、cost は費用の一般語で、どれも「持ってきてもらう伝票」の意味にならない。

区別 **Can I have the check, please? ⇔ How much do I owe you?** How much do I owe you? は金額を尋ねる「いくらですか」で、店でも友人間でも使う。Can I have the check? は伝票（請求書）を持ってきてもらう依頼。見分け方：テーブルに伝票を頼むなら check、払う額を直接聞くなら How much do I owe you?。

0887 □□□

A: You have to clean the whole house today. And the garage, too. B: ＿＿＿＿ I've been working all morning!

① Take a break.　② Break a leg.
③ Give it a try.　④ Give me a break.

④ Give me a break. 勘弁してよ；冗談はやめて

訳 A：今日は家中を掃除しなさい。それにガレージもね。　B：勘弁してよ。午前中ずっと働いていたんだよ！

解説 家中に加えてガレージまで掃除しろと言われ、「午前中ずっと働いていたのに」と抗議しているので Give me a break.（勘弁してよ）。Take a break は相手に休憩を勧める言葉、Break a leg は「頑張って（舞台前）」、Give it a try は「やってみたら」で、どれも抗議にならない。

区別 **Give me a break. ⇔ Take a break.** Take a break は「休憩しよう・ひと休みして」と相手や自分に休みを勧める言葉。Give me a break は「（私に）休みをくれ→勘弁して」とあきれ・抗議を表す。見分け方：相手への提案なら Take、無理な要求への反応なら Give me。

0888 □□□

A: I finally stopped eating junk food. B: ＿＿＿＿ That's not easy.

① Shame on you!　② Same to you!
③ Good for you!　④ Suit yourself!

③ Good for you! よかったね；えらいね

訳 A：やっとジャンクフードを食べるのをやめたよ。　B：よかったね！それは簡単なことじゃないよ。

解説 ジャンクフードをやめたという努力の報告に「えらいね、簡単じゃないのに」とほめるので Good for you!。Shame on you は「恥を知れ」、Same to you は「あなたもね」、Suit yourself は「好きにすれば」で、どれもほめる言葉ではない。

区別 **Good for you! ⇔ be good for ~** be good for ~ は「～にとって（健康などに）良い」（Vegetables are good for you.）。Good for you! は単独の感嘆で相手をほめる言葉。見分け方：主語と be 動詞があれば「体に良い」、単独で相手の報告への反応なら「よかったね」。

0889 □□□

A: I'm going to have pizza. ＿＿＿＿
B: I think I'll have pasta.

① How about you?　② How are you?
③ Who are you?　④ How do you do?

① How about you? あなたはどう？

訳 A：私はピザにする。あなたは？　B：私はパスタにしようかな。

解説 自分の注文を言った後、「あなたは？」と相手に聞き返しているので How about you?。B はそれに注文で答えている。How are you? / How do you do? はあいさつ、Who are you? は相手の素性を聞く質問で、注文の流れに合わない。

区別 **How about you? ⇔ How about ~ing?** How about ~ing? / How about ＋ 名詞? は「～するのはどう？」と提案・勧誘する。How about you? は人称代名詞 you を置いて、同じ質問を相手に返す。見分け方：you が来れば質問返し、行動や物なら提案。

0890 □□□

A: How would you like to pay? B: ＿＿＿＿

① It's 20 dollars.　② In cash, please.
③ Medium, please.　④ Yes, I would.

② How would you like to pay?
お支払いはどうなさいますか

訳 A：お支払いはどうなさいますか。　B：現金でお願いします。

解説 支払い方法を聞かれているので In cash, please.（現金で）。It's 20 dollars は金額を答えていて客の言葉としても合わない。Medium, please はステーキの焼き加減の答え。Yes, I would は Yes / No 疑問ではない how の質問への答えにならない。

区別 **How would you like to pay? ⇔ How much do I owe you?** How much do I owe you? は客が支払う金額を尋ねる言葉。How would you like to pay? は店員が支払い方法を尋ねる言葉。見分け方：答えが金額なら How much、カードか現金かなら How would you like to pay。

0891 □□□

A: I'll help you move this weekend. B: Thanks. I really appreciate ＿＿＿＿.

① to it　② for it
③ of it　④ it

④ I really appreciate it. 本当に感謝しています

訳 A：今週末、引っ越しを手伝うよ。　B：ありがとう。本当に感謝するよ。

解説 appreciate は他動詞で、目的語の物事を前置詞なしで直接取るので it。to it / for it / of it は前置詞が余分。thank 人 for ~ と混ぜて for を入れる誤りが典型。A が手伝ってくれること（it）に感謝している。

区別 **I really appreciate it. ⇔ Thank you (for ~).** thank の目的語は人（Thank you for your help.）、appreciate の目的語は物事（I appreciate your help.）。見分け方：直後が you なら thank、help / it など物事なら appreciate。I appreciate it と Thank you は並べてよく使う。

0892 □□□

A: I have some big news about our trip. B: Really? ＿＿＿＿

① I'm all thumbs.　② I'm lost.
③ I'm all ears.　④ I'm all set.

③ I'm all ears. ぜひ聞かせて；しっかり聞いているよ

訳 A：旅行について大ニュースがあるんだ。　B：本当？しっかり聞くよ。

解説 「大ニュースがある」と言う相手に「本当？ぜひ聞かせて」と促すので I'm all ears.。I'm all thumbs は「不器用だ」、I'm lost は「迷った・分からない」、I'm all set は「準備万端」で、話を聞く意思を表さない。

区別 **I'm all ears. ⇔ I'm all thumbs.** I'm all thumbs は「全部の指が親指」→ 不器用だ、の意味。I'm all ears は「全身が耳」→ しっかり聞く。見分け方：手先の作業の話なら thumbs、相手の話を聞く場面なら ears。all ＋ 体の部分の形が似ているので会話問題でひっかけに使われる。

0893 □□□

A: I have a terrible toothache. B: If I ———— you, I'd see a dentist right away.

① am　② were
③ will be　④ had been

② If I were you, I'd ~. 私があなたなら～する

訳 A：ひどく歯が痛いんだ。　B：私があなたなら、すぐに歯医者に行くよ。

解説 主節が I'd (would) see と would ＋ 原形で、今の助言をしているので仮定法過去の were。am / will be は直説法で would と組まない。had been は過去の仮定で、主節は would have seen になる。right away（すぐに）からもこれからの行動と分かる。

区別 **If I were you, I'd ~. ⇔ If I had been you, I would have ~.** If I had been you, I would have p.p. は過去の出来事について「私があなたの立場だったら～しただろう」と振り返る言い方。If I were you, I'd ~ は今・これからの助言。見分け方：これからの行動を勧めるなら were ＋ would 原形。

0894 □□□

A: My mother is in the hospital. B: Oh, I'm sorry to hear that. ————

① Is there anything I can do?
② Can I take a message?
③ What do you do?
④ Shall we go?

① Is there anything I can do?
何かできることはありますか

訳 A：母が入院しているんです。　B：まあ、それはお気の毒に。何か私にできることはありますか。

解説 母親が入院したと聞いて、同情の後に手助けを申し出るので Is there anything I can do?。Can I take a message?（伝言を承りましょうか）は電話の言葉、What do you do? は職業を聞く質問、Shall we go? は「行こうか」で、どれも場面に合わない。

区別 **Is there anything I can do? ⇔ What can I do for you?** What can I do for you? は店員・受付が客に言う「ご用件は何でしょうか」の決まり文句。Is there anything I can do? は困っている知人への手助けの申し出。見分け方：店で客を迎えるなら What can I do for you?、相手の困りごとを聞いた後なら Is there anything I can do?。

0895 □□□

A: Do you understand these instructions for the new software? B: Not at all. ————

① It's a piece of cake.
② It's my cup of tea.
③ It's all Greek to me.
④ It's a small world.

③ It's all Greek to me. ちんぷんかんぷんだ

訳 A：新しいソフトウェアのこの説明書、分かる？　B：全然。ちんぷんかんぷんだよ。

解説 説明書が分かるかと聞かれ「全然」と答えているので、It's all Greek to me.（ちんぷんかんぷんだ）。It's a piece of cake は「簡単だ」で Not at all と矛盾する。It's my cup of tea（好みだ）、It's a small world（世間は狭い）は意味が合わない。

区別 **It's all Greek to me. ⇔ Beats me.** Beats me は質問されて「さあ、知らない」と答える言葉で、知識・情報がないことを表す。It's all Greek to me は目の前の説明・文章の内容が難しくて理解できないこと。見分け方：質問への答えなら Beats me、読んだ・聞いた内容への感想なら Greek。

0896 □□□

A: Are you hungry? B: ———— I had a big lunch.

① Yes, very.　② Not really.
③ Really?　④ You bet.

② Not really. あまり；そうでもない

訳 A：お腹すいてる？　B：あまり。お昼をたくさん食べたから。

解説 「昼をたくさん食べた」と理由を添えているので、「あまり（空いていない）」と控えめに否定する Not really.。Yes, very と You bet（もちろん）は「お腹が空いている」で理由と矛盾する。Really? は驚きの聞き返しで質問への答えにならない。

区別 **Not really.** ⇔ **Not at all.** Not at all は「全然」と強い否定、また Thank you への「どういたしまして」。Not really は「それほどでもない」と弱い否定。見分け方：全否定・お礼への返事なら Not at all、やんわり否定するなら Not really。

0897 □□□

A: I have to go now. See you next week. B: OK. ————

① Take a seat.　② Take your time.
③ Take it.　④ Take care.

④ Take care. じゃあね；気をつけて

訳 A：もう行かなくちゃ。また来週ね。　B：うん。気をつけてね。

解説 帰る相手への別れのあいさつなので Take care.（じゃあね、気をつけて）。Take a seat は「おかけください」、Take your time は「ごゆっくり」で帰る人に言うのは不自然、Take it は「それを取って」。take を使った決まり文句の区別。

区別 **Take care.** ⇔ **take care of ~** take care of ~ は「～の世話をする」「～を引き受ける」で、目的語が必要（take care of my dog）。Take care. は単独のあいさつで目的語を取らない。見分け方：of が続けば世話・処理、単独なら別れのあいさつ。

0898 □□□

A: Hi, Ken. What are you up to? B: ———— Just watching TV.

① Not much.　② It's up to you.
③ Up to ten.　④ I'm up.

① What are you up to?
何してるの？；何をたくらんでいるの？

訳 A：やあ、健。何してるの？　B：特に何も。テレビを見てるだけだよ。

解説 「何してるの？」と聞かれて「特に何も。テレビを見ているだけ」と答えるので Not much.。It's up to you は「あなた次第」で質問への答えにならない。Up to ten（10 まで）、I'm up（起きている）も「何をしているか」の答えとして不自然。

区別 **What are you up to?** ⇔ **It's up to you.** It's up to you は「あなた次第だ・あなたが決めて」。What are you up to? は「何をしているの（たくらんでいるの）」。見分け方：主語が it で決定を任せるなら up to you、主語が you で行動を聞くなら What are you up to?。

0899 □□□

A: I'm going to quit my job and travel around the world. B: ＿＿＿＿ You just started working there!

① Are you ready to order?
② Are you free?
③ Are you serious?
④ Are you OK with it?

③ Are you serious? 本気なの？；マジで？

訳 A：仕事を辞めて世界一周旅行をするつもりなんだ。 B：本気なの？そこで働き始めたばかりじゃない！

解説 仕事を辞めて世界一周するという話に「本気なの？働き始めたばかりなのに」と驚いて聞き返すので Are you serious?。ready to order は注文、free は暇かどうか、OK with it は「それでいい？」と相手の同意を聞く質問で、驚きの反応にならない。

区別 **Are you serious? ⇔ You can't be serious.** Are you serious? は疑問文で、本気かどうか確かめる。You can't be serious は「本気のはずがない」と強い否定の推量で、反対の気持ちが強い。見分け方：純粋な驚きなら Are you serious?、あきれて反対するなら You can't be serious。

0900 □□□

A: Can I borrow your dictionary for a minute? B: ＿＿＿＿

① Be my guest.
② After you.
③ I'm all ears.
④ You're welcome.

① Be my guest. どうぞご自由に；ご遠慮なく

訳 A：ちょっと辞書を借りてもいい？ B：どうぞご自由に。

解説 辞書を借りたいという許可の求めに「どうぞご自由に」と応じるので Be my guest.。After you は順番を譲る言葉、I'm all ears は「ぜひ聞かせて」、You're welcome はお礼への返事で、許可の答えにならない。

区別 **Be my guest. ⇔ After you.** After you はドア・列などで順番を譲る「お先にどうぞ」。Be my guest は物の使用や行動を許可する「ご自由に」。見分け方：Can I ~? と聞かれたら Be my guest、相手と同時に入ろうとした場面なら After you。

0901 □□□

A: I've never surfed before. I don't think I can do it. B: Why not?

＿＿＿＿

① Give it back.
② Give me a break.
③ Give up.
④ Give it a try.

④ Give it a try. やってみたら

訳 A：サーフィンはしたことがないんだ。できないと思う。 B：どうして？やってみなよ。

解説 やったことがなく不安な相手に「なぜだめなの？やってみなよ」と勧めるので Give it a try.。Give it back は「返して」、Give me a break は「勘弁して」、Give up は「あきらめろ」で励ましにならない。

区別 **Give it a try. ⇔ Go for it.** Go for it は「思い切ってやれ・頑張れ」と目標に向かう相手を強く後押しする。Give it a try は「試しにやってみたら」と気軽に勧める。見分け方：初めての物を試すなら Give it a try、大きな挑戦を応援するなら Go for it。

0902 ☐☐☐

A: _____ to the station from here?
B: About 500 meters.

① How far is it
② How long does it take
③ How much is it
④ How often is it

① How far is it (from here)?
（ここから）どのくらいの距離ですか

訳 A：ここから駅までどのくらいの距離ですか。 B：500メートルくらいです。

解説 答えが About 500 meters と距離なので How far is it。How long does it take なら答えは「10 分」などの時間になる。How much は値段、How often は頻度を聞く。答えの単位から疑問詞を決める問題。

区別 **How far is it (from here)? ⇔ How long does it take?** How long does it take? は所要時間を聞く。How far is it? は距離を聞く。見分け方：答えが km / meters なら How far、minutes / hours なら How long。a ten-minute walk のように時間で距離を答えるのは How far への答えとしても使われる。

0903 ☐☐☐

A: The meeting starts at 3:15 in Room 402. B: Sorry, I didn't _____ that. Could you say it again?

① keep ② catch
③ hold ④ take

② I didn't catch that. 聞き取れませんでした

訳 A：会議は3時15分から402号室で始まります。 B：すみません、聞き取れませんでした。もう一度言っていただけますか。

解説 「もう一度言って」と頼んでいるので、聞き取れなかったの catch。keep（保つ）、hold（持つ）、take（取る）は that（相手の言葉）を目的語にして「聞き取る」の意味にならない。言葉を「つかまえる」catch の比喩を問う問題。

区別 **I didn't catch that. ⇔ I don't get it.** I don't get it は聞こえたが「意味が分からない（理解できない）」。I didn't catch that は音として「聞き取れなかった」。見分け方：もう一度言ってほしいなら catch、説明してほしいなら get。

0904 ☐☐☐

A: Do you want to eat Japanese or Italian? B: _____ I'll eat anything.

① It doesn't work.
② It's not my fault.
③ It's out of order.
④ It doesn't matter.

④ It doesn't matter. どうでもいい；大したことじゃない

訳 A：和食とイタリアン、どっちが食べたい？ B：どっちでもいいよ。何でも食べるから。

解説 どちらがいいか聞かれて「どちらでもいい、何でも食べる」と答えるので It doesn't matter.。It doesn't work は「うまくいかない・動かない」、It's not my fault は「私のせいじゃない」、It's out of order は「故障中」で、選択への答えにならない。

区別 **It doesn't matter. ⇔ I don't mind.** I don't mind は「構わない・気にしない」で、許可（Do you mind if ~? の答えにも近い）や好みにこだわらないことを言う。It doesn't matter は物事が主語で「重要ではない」。見分け方：主語が I なら mind、it なら matter。意味は重なることも多い。

0905 □□□

A: Did you call the dentist? B: Oh no, I'm sorry. It ———— my mind.

① slipped ② missed
③ forgot ④ lost

① It slipped my mind. うっかり忘れていた

訳 A：歯医者に電話した？ B：しまった、ごめん。うっかり忘れてた。

解説 It を主語にして「うっかり忘れた」と言うのは It slipped my mind。forgot は人が主語（I forgot）で、It forgot my mind は誤り。missed / lost も my mind と組んで「忘れた」の意味にならない。主語が物事である点を問う問題。

区別 **It slipped my mind. ⇔ It never occurred to me.** It never occurred to me は「そんなことは思いつきもしなかった」で、最初から頭になかった。It slipped my mind は「覚えていたのに抜け落ちた」。見分け方：頼まれていたことを忘れたなら slipped、新しい考えに驚くなら occurred。

0906 □□□

A: If you wash the dishes, I'll do the laundry. B: OK, ————

① it's no big deal. ② it's a deal.
③ it's up to you. ④ it's my treat.

② It's a deal. それで決まり；話は決まった

訳 A：あなたが皿を洗ってくれたら、私が洗濯をするよ。 B：いいよ、それで決まりね。

解説 「君が皿を洗えば僕が洗濯をする」という条件に OK と合意するので it's a deal.。it's no big deal は「大したことない」で提案への合意にならない。it's up to you は「あなた次第」で決めていない。it's my treat は「おごるよ」。

区別 **It's a deal. ⇔ It's no big deal.** It's no big deal は「大したことない」と謝罪や心配を受け流す言葉。It's a deal は取引・提案の合意。見分け方：条件のやり取りの後なら a deal、謝られた後なら no big deal。

0907 □□□

A: Dinner was great. How much was it? B: Forty dollars. ———— Twenty each.

① It's my treat.
② Keep the change.
③ Let's split the bill.
④ It's on me.

③ Let's split the bill. 割り勘にしよう

訳 A：夕食おいしかったね。いくらだった？ B：40ドル。割り勘にしよう。1人20ドルね。

解説 後ろで「一人 20 ドルずつ」と言っているので割り勘を提案する Let's split the bill.。It's my treat と It's on me は「私のおごり」で一人ずつ払う話と矛盾する。Keep the change は「おつりは取っておいて」で店員への言葉。

区別 **Let's split the bill. ⇔ It's my treat.** It's my treat / It's on me は「私のおごり」で、一人が全額払う。Let's split the bill は全員で分けて払う。見分け方：each（一人ずつ）や金額を人数で割る話なら split、一人が払うなら treat。

0908 ☐☐☐

A: I'm going to see Mike tomorrow. B: Oh, really? Say hello ＿＿＿＿ him for me.

① for　② with
③ at　④ to

④ Say hello to ~ (for me). ～によろしく伝えて

訳 A：明日マイクに会うんだ。　B：え、本当？彼によろしく伝えてね。

解説 伝える相手を示す前置詞は to で、Say hello to him for me。for は文末の for me（私の代わりに）で使っており、him の前には置かない。with / at も伝える相手を表さない。

区別 **Say hello to ~ (for me).** ⇔ **Give my regards to ~.** Give my regards to ~ はやや改まった「よろしくお伝えください」で、目上の人や仕事の場面にも使える。Say hello to ~ は友人・家族向けの気軽な言い方。見分け方：丁寧さの度合い。前置詞はどちらも to。

0909 ☐☐☐

A: Sorry, I don't know where the post office is. I'm new here. B: Oh, OK. ＿＿＿＿

① No, thanks.　② Thanks anyway.
③ You're welcome.　④ Same to you.

② Thanks anyway. とにかくありがとう

訳 A：すみません、郵便局がどこにあるか分かりません。ここに来たばかりなんです。　B：ああ、分かりました。とにかくありがとうございます。

解説 郵便局の場所を教えてもらえなかったが、答えようとしてくれた相手にお礼を言うので Thanks anyway.。No, thanks は申し出を断る言葉、You're welcome はお礼への返事、Same to you は「あなたもね」で、どれも場面に合わない。

区別 **Thanks anyway.** ⇔ **No, thanks.** No, thanks は申し出を「いいえ、結構です」と断る言葉。Thanks anyway は相手の努力が実らなかったときにお礼を言う言葉。見分け方：何かを勧められたら No, thanks、助けようとしてくれたがだめだったら Thanks anyway。

0910 ☐☐☐

A: I got a perfect score on the math test! B: ＿＿＿＿ You studied really hard.

① Well, well.　② Well done!
③ Get well soon!　④ Done for.

② Well done! よくやった

訳 A：数学のテストで満点を取ったよ！　B：よくやったね！本当に一生懸命勉強していたもんね。

解説 満点を取ったという報告に「よくやった、本当に頑張ったね」とほめるので Well done!。Well, well は「おやおや」、Get well soon は「早く良くなってね」、Done for は「もうだめだ」で、どれもほめる言葉ではない。

区別 **Well done!** ⇔ **Good for you!** Good for you は相手に起きた良いこと・良い決断を「よかったね」と喜ぶ。Well done は相手のした仕事・成果を「よくやった」と評価する。見分け方：テスト・作品など本人の働きをほめるなら Well done、うれしい知らせ全般なら Good for you。重なる場面も多い。

0911 ☐☐☐

A: ＿＿＿＿ Why is everyone running outside? B: There's a fire in the building next door!

① What do you do?
② What's your name?
③ What's going on?
④ How's it going?

③ What's going on?

何が起きているの？；どうなってるの？

訳 A：何が起きているの？どうしてみんな外へ走っていくの？ B：隣の建物で火事なんだ！

解説 みんなが外へ走っていく異変を見て「何が起きているの？」と聞き、B が火事だと答えているので What's going on?。What do you do? は職業、What's your name? は名前を聞く質問。How's it going? は「調子どう？」のあいさつで、異変を尋ねる言葉ではない。

区別 **What's going on? ⇔ What's wrong?** What's wrong? は相手の様子がおかしいときに「どうしたの？（何か問題？）」と聞く。What's going on? は周りの状況全体について「何が起きているの？」と聞く。見分け方：相手個人の不調なら What's wrong?、騒ぎ・出来事なら What's going on?。

0912 ☐☐☐

A: We should leave early. The roads will be crowded. B: You have a ＿＿＿＿. Let's go at seven.

① point
② sense
③ reason
④ mind

① You have a point. 一理あるね；それも言えるね

訳 A：早めに出たほうがいいよ。道が混むだろうから。 B：それはもっともだね。7時に出よう。

解説 早く出ようという意見を認めて「一理ある、7 時に出よう」と応じるので You have a point.。have a sense / have a reason / have a mind は「一理ある」の意味の決まり文句にならない。point（もっともな点）を使う定番表現。

区別 **You have a point. ⇔ You said it.** You said it は「まさにその通り」と全面的に同意する言葉。You have a point は「もっともな点がある」と部分的に認める言葉で、全面同意とは限らない。見分け方：後に but が来たり、自分の考えを少し変えたりするなら You have a point。

0913 ☐☐☐

A: We're going to play soccer this Saturday. Do you want to join? B: Sure, ＿＿＿＿

① count me out.
② count me in.
③ leave me alone.
④ I'm all set.

② Count me in. 私も入れて；参加するよ

訳 A：今度の土曜日にサッカーをするんだ。一緒にやる？ B：もちろん、僕も入れて。

解説 参加を誘われて Sure と答えているので、「私も入れて」の count me in.。count me out は「私は抜ける」で Sure と矛盾する。leave me alone は「放っておいて」、I'm all set は「準備万端・もう十分」で参加の返事にならない。

区別 **Count me in. ⇔ count on ~** count on ~ は「～を頼りにする」（You can count on me.）。count me in は「私を（人数に）入れて」で参加の意思。見分け方：on は頼る、in は参加、out は不参加。前置詞一つで意味が変わる。

0914 □□□

A: I'm thinking of entering the marathon, but I'm not sure I can finish. B: ＿＿＿＿ You've been training hard.

① Forget it.　② Leave it.
③ Cut it out.　④ Go for it.

④ Go for it. やってみなよ；頑張れ

訳 A：マラソンに出ようと思っているんだけど、完走できるか自信がないんだ。　B：頑張って挑戦しなよ。ずっと一生懸命練習してきたじゃない。

解説 マラソンに出るか迷う相手に「やってみなよ、ずっと練習してきたじゃない」と後押しするので Go for it.。Forget it は「もういい・忘れて」、Leave it は「放っておけ」、Cut it out は「やめて」で、励ましにならない。

区別 **Go for it. ⇔ Go ahead.** Go ahead は「どうぞ（やって・使って・話して）」と許可を与える言葉。Go for it は挑戦する相手への強い応援。見分け方：Can I ~? への答えなら Go ahead、迷っている挑戦への後押しなら Go for it。

0915 □□□

A: I had a job interview this morning. B: Really? ＿＿＿＿ A: I think it went well.

① How's it going?　② Where did it go?
③ How did it go?　④ How do you go?

③ How did it go? どうだった？；うまくいった？

訳 A：今朝、就職の面接を受けたんだ。　B：本当？どうだった？　A：うまくいったと思う。

解説 今朝の面接の結果を聞き、A が it went well と答えているので How did it go?。How's it going? はあいさつで特定の出来事の結果を聞かない。Where did it go? は「どこへ行った？」、How do you go? は交通手段を聞く質問。

区別 **How did it go? ⇔ How's it going?** How's it going? は現在進行形で、会ったときの「調子はどう？」というあいさつ。How did it go? は過去形で、特定の出来事の結果を聞く。見分け方：相手が試験や面接の話をした後なら How did it go?、出会いのあいさつなら How's it going?。

0916 □□□

A: You called me stupid yesterday. B: I'm sorry. I didn't ＿＿＿＿ it. I was just upset.

① think　② mean
③ say　④ know

② I didn't mean it.
本気じゃなかった；悪気はなかったんだ

訳 A：昨日、私のことをばかって言ったよね。　B：ごめん。本気で言ったんじゃないんだ。ちょっといらいらしていただけなんだ。

解説 ひどいことを言ったのを謝り「本気じゃなかった、ただ腹を立てていただけ」と言うので mean。say だと「言わなかった」となり謝罪と矛盾する。think / know は it（その発言）を目的語にして「本気でない」の意味にならない。

区別 **I didn't mean it. ⇔ That's not what I meant.** That's not what I meant は「そういう意味で言ったんじゃない」と、誤解された内容を訂正する。I didn't mean it は言ったこと自体は認めて「本気ではなかった」と謝る。見分け方：誤解を解くなら not what I meant、ひどいことを言ったのを謝るなら I didn't mean it。

0917 □□□

A: This plan is good, but it costs too much. B: I see what you ＿＿＿＿. Let's look for a cheaper way.

① tell　② speak
③ mean　④ talk

③ I see what you mean. おっしゃることは分かります

訳 A：この計画はいいけど、お金がかかりすぎるよ。 B：言いたいことは分かるよ。もっと安い方法を探そう。

解説 「言いたいことは分かる」は I see what you mean。mean は「言おうとする・意図する」。tell は目的語（人）が必要で what you tell だけでは不自然。speak / talk は自動詞が中心で what を目的語にして「言いたいこと」を表さない。

区別 **I see what you mean. ⇔ I know what you mean.** I know what you mean は「分かるよ（私も同じ経験・気持ち）」と共感する言葉。I see what you mean は説明を聞いて「なるほど、言いたいことが分かった」と理解を示す。見分け方：共感なら know、説明を聞いて納得したなら see。

0918 □□□

A: Dinner is ready! B: OK, ＿＿＿＿

① I'm going.
② I'll be right back.
③ I'm leaving now.
④ I'll be right there.

④ I'll be right there. すぐ行きます

訳 A：夕ご飯ができたよ！ B：分かった、すぐ行くよ。

解説 夕食ができたと呼ばれて「すぐ行く」と答えるので I'll be right there.。I'm going は相手から離れて出かける意味になり、呼ばれた返事には I'm coming を使う。I'll be right back は「すぐ戻る」でその場を離れるときの言葉。

区別 **I'll be right there. ⇔ I'm coming.** 相手の所へ行くときは come を使い、I'm coming.（今行く）。I'm going. は「（相手から離れて）出かける」になる。I'll be right there は I'm coming. と同じく相手の所へ向かう言葉。見分け方：呼ばれて相手に近づくなら coming / be right there。

0919 □□□

A: What do you think of my new jacket? B: It looks good ＿＿＿＿ you.

① on　② to
③ for　④ with

① It looks good on you. よく似合っていますね

訳 A：私の新しいジャケット、どう思う？ B：よく似合っているよ。

解説 服が人に似合うは look good on 人。on は「身に着けて」の感覚。to / with は人に似合う意味にならない。good for you は「体に良い」「よかったね」の意味になり、ジャケットの感想として合わない。

区別 **It looks good on you. ⇔ go with ~** go with ~ は「（物が物に）合う」（This tie goes with your shirt.）。look good on 人 は「（物が人に）似合う」。見分け方：on の後ろが人なら look good on、物同士の組み合わせなら go with。suit も人に似合うときに使う（It suits you.）。

0920 □□□

A: Would you like to join our tennis club? B: ＿＿＿＿ I'll give you an answer tomorrow.

① Let me think about it.
② Let me see you.
③ Let's call it a day.
④ Let it go.

① Let me think about it. 少し考えさせて

訳 A：私たちのテニスクラブに入りませんか。 B：考えさせてください。明日お返事します。

解説 入部を誘われ「明日返事する」と答えを持ち越しているので Let me think about it.。Let me see you は「会わせて」、Let's call it a day は「今日はここまで」、Let it go は「忘れなよ」で、返事を保留する意味にならない。

区別 **Let me think about it.** ⇔ **Let me see.** Let me see は「ええと・そうですね」と、その場で少し考えながら答えるときのつなぎ言葉。Let me think about it は答えを後に持ち越す「考えさせて」。見分け方：すぐ答えを続けるなら Let me see、後日返事するなら Let me think about it。

0921 □□□

A: Hey, what's new? B: ＿＿＿＿ How about you?

① Not really. ② Not at all.
③ Not yet. ④ Not much.

④ Not much. 特に何も；別に

訳 A：やあ、何か変わったことある？ B：特にないよ。君は？

解説 近況を聞く What's new? には「特に何も」の Not much.。Not really は Yes / No 疑問への控えめな否定。Not at all は強い否定やお礼への返事、Not yet は「まだ」で、What の質問への答えにならない。

区別 **Not much.** ⇔ **Not really.** Not really は Yes / No 疑問への「あまり・そうでもない」。Not much は What で始まる近況の質問への「特に何も」。見分け方：Are you ~? / Do you ~? なら Not really、What's new? / What's up? なら Not much。

0922 □□□

A: I've had a bad cold since Monday. B: That's too bad. ＿＿＿＿

① Help yourself.
② Enjoy yourself.
③ Take care of yourself.
④ Suit yourself.

③ Take care of yourself. お大事に；体に気をつけて

訳 A：月曜日からひどい風邪を引いているんだ。 B：それは大変だね。お大事にね。

解説 風邪をひいている相手に「お大事に」と言うので Take care of yourself.。Help yourself は「ご自由にどうぞ（食べ物など）」、Enjoy yourself は「楽しんで」、Suit yourself は「好きにすれば」で、病気の人への言葉ではない。

区別 **Take care of yourself.** ⇔ **Get well soon.** Get well soon は今病気の人に「早く良くなって」と回復を願う。Take care of yourself は「体を大事にして」と健康に気をつけるよう言い、元気な人との別れにも使える。見分け方：回復を願うなら Get well soon。

0923 □□□

A: Do you know a singer called Mika Aoki? B: Hmm, the name ＿＿＿＿. Was she on TV?

① rings me ② rings a bell
③ calls a bell ④ makes a bell

② That rings a bell. 聞き覚えがある；ピンとくる

訳 A：青木ミカという歌手を知ってる？ B：うーん、その名前は聞き覚えがあるな。テレビに出ていた人？

解説 「その名前には聞き覚えがある。テレビに出ていた？」と続くので rings a bell。ring me は「私に電話する」の意味になり名前を主語にできない。calls a bell / makes a bell という言い方はない。決まった形を問う問題。

区別 **That rings a bell. ⇔ That reminds me.** That reminds me は相手の話をきっかけに「それで（別のことを）思い出した」と話題を変える。That rings a bell は相手が出した名前・話そのものに聞き覚えがある。見分け方：同じ話題の記憶なら rings a bell、別の用事を思い出したなら reminds me。

0924 □□□

A: The doctor said it's nothing serious. B: ＿＿＿＿ I was so worried.

① That's a relief.
② That's a pity.
③ That's a shame.
④ That's the problem.

① That's a relief. ほっとした；よかった

訳 A：お医者さんが、深刻なものではないって。 B：それはほっとしたよ。すごく心配していたんだ。

解説 医者が「深刻ではない」と言ったと聞いて「ほっとした、すごく心配していた」と言うので That's a relief.。That's a pity / That's a shame は「残念だ」で良い知らせへの反応にならない。That's the problem は「そこが問題だ」。

区別 **That's a relief. ⇔ I'm relieved.** I'm relieved は人を主語にした形で、relieved は「ほっとした」という形容詞。That's a relief は出来事を主語にして名詞 relief を使う。見分け方：主語が I なら relieved、That / What a なら relief。意味は同じ。

0925 □□□

A: Could you help me carry these boxes? B: ＿＿＿＿

① My pleasure.
② Pleased to meet you.
③ Same to you.
④ With pleasure.

④ With pleasure. 喜んで

訳 A：この箱を運ぶのを手伝ってもらえますか。 B：喜んで。

解説 箱運びを頼まれて「喜んで」と引き受けるので With pleasure.。My pleasure はお礼への返事で、頼まれた段階では使わない。Pleased to meet you は初対面のあいさつ。依頼への返事とお礼への返事を区別する問題。

区別 **With pleasure. ⇔ My pleasure.** My pleasure は Thank you への返事で「どういたしまして（こちらこそ喜んで）」。With pleasure は依頼を引き受ける「喜んで（やります）」。見分け方：頼まれたら With pleasure、お礼を言われたら My pleasure。

0926 □□□

A: _____ me to take your picture?
B: Yes, please. Thank you.

① Would you mind
② Would you like
③ Do you want to
④ Shall I

② Would you like me to ~? ～しましょうか

訳 A：写真を撮りましょうか。 B：はい、お願いします。ありがとうございます。

解説 空所の後ろが me to take なので、like 人 to do の形を作る Would you like。「写真を撮りましょうか」という申し出で、Yes, please と合う。Would you mind は ~ing か if 節が続き、me to は取らない。Do you want to / Shall I は後ろに me to を続けられない。

区別 **Would you like me to ~? ⇔ Would you like to ~?** Would you like to ~? は相手自身がする行動を勧める「～しませんか」。Would you like me to ~? は私がする行動を申し出る「～しましょうか」。見分け方：me があれば私がする、なければ相手がする。答えも Yes, please.（申し出）と I'd love to.（誘い）で違う。

0927 □□□

A: Hello? Can you hear me? B: Sorry, the line is bad. Could you speak _____?

① out
② up
③ down
④ over

② Could you speak up?
もう少し大きな声で話してもらえますか

訳 A：もしもし、聞こえる？ B：ごめん、電波が悪いんだ。もう少し大きな声で話してくれる？

解説 電話の調子が悪く聞こえにくいので「大きな声で話して」と頼む speak up。speak out は「公に意見を述べる」で声の大きさではない。speak down / speak over は「大きな声で」の意味にならない。

区別 **Could you speak up? ⇔ Could you say that again?** Could you say that again? は「もう一度言ってもらえますか」と繰り返しを頼む。Could you speak up? は声の大きさを上げるよう頼む。見分け方：聞き取れなかったことを繰り返してほしいなら say that again、ずっと声が小さいなら speak up。

0928 □□□

A: I failed the test again. Maybe I should quit studying English. B: _____ You're getting better every day.

① Don't give up.
② Don't mention it.
③ Don't bother.
④ Don't worry about me.

① Don't give up. あきらめないで

訳 A：また試験に落ちちゃった。英語の勉強はやめたほうがいいのかな。 B：諦めないで。毎日上達しているよ。

解説 英語の勉強をやめようかと言う相手に「あきらめないで、毎日上達しているよ」と励ますので Don't give up.。Don't mention it は「どういたしまして」、Don't bother は「わざわざいいよ」、Don't worry about me は「私の心配はいらない」で、励ましにならない。

区別 **Don't give up. ⇔ Don't bother.** Don't bother は「わざわざしなくていいよ」と相手の手間を断る言葉。Don't give up は「あきらめずに続けて」と励ます言葉。見分け方：相手が挑戦をやめようとしているなら Don't give up、気遣いを断るなら Don't bother。

0929 □□□

A: Here's your change. Have a nice day. B: Thanks. ———

① Me too.
② Nice to meet you.
③ You too.
④ You're welcome.

③ Have a nice day. 良い一日を

訳 A：お釣りです。よい一日を。 B：ありがとう。あなたもね。

解説 Have a nice day. に「あなたもね」と返すので You too.。Me too は「私も（良い一日を過ごしたい）」となり返事として誤り。Nice to meet you は初対面のあいさつ、You're welcome はお礼への返事。

区別 **Have a nice day. ⇔ Same to you.** Same to you は相手のあいさつに「あなたもね」と同じ言葉を返す返事。Have a nice day は自分から言うあいさつ。会話問題では、Have a nice day. に対する返事として You too. / Same to you. を選ぶ形が多い。

0930 □□□

A: Is there a convenience store near here? B: Yes, ——— You can't miss it.

① it's out of the question.
② it's up to you.
③ it's just around the corner.
④ it's all Greek to me.

③ It's just around the corner.
すぐそこです；もうすぐだ

訳 A：この近くにコンビニはありますか。 B：はい、すぐそこの角を曲がったところです。すぐ分かりますよ。

解説 近くにコンビニがあるかと聞かれ、Yes と答えて「すぐ分かりますよ」と続けるので it's just around the corner.（すぐそこです）。out of the question は「不可能」、up to you は「あなた次第」、all Greek to me は「ちんぷんかんぷん」で、場所の答えにならない。

区別 **It's just around the corner. ⇔ It's within walking distance.** within walking distance は「歩いて行ける距離」で、10〜20 分かかることもある。just around the corner は角を曲がればすぐの「目と鼻の先」。見分け方：本当にすぐ近くなら around the corner、徒歩圏内という程度なら within walking distance。

0931 □□□

A: Who left the door open? The cat got out! B: Sorry, ——— I forgot to close it.

① it's my fault.
② it's my treat.
③ it's my turn.
④ it's my pleasure.

① It's my fault. 私のせいです

訳 A：ドアを開けっ放しにしたのは誰？猫が外に出ちゃったよ！ B：ごめん、私のせいだ。閉めるのを忘れたんだ。

解説 ドアを閉め忘れて猫が逃げたことを謝っているので「私のせいです」の it's my fault.。it's my treat は「おごるよ」、it's my turn は「私の番」、it's my pleasure は「どういたしまして」で、責任を認める言葉ではない。

区別 **It's my fault. ⇔ my mistake** mistake は「誤り・間違い」という行為そのもの（make a mistake）。fault は「（誰の）責任・落ち度」。見分け方：「間違いをした」なら make a mistake、「誰の責任か」なら fault。It's my fault. を It's my mistake. と言うと「私の勘違い」の響きになる。

0932 ☐☐☐

A: How many people are coming tomorrow? B: ———— Ten, maybe eleven.

① Let me go.　② Let it be.
③ Let me see.　④ Let's go.

③ Let me see. ええと；そうですね

訳 A：明日は何人来るの？　B：ええと。10人、たぶん11人かな。

解説 人数を聞かれて、少し考えながら「ええと、10 人、11 人かな」と答えるので Let me see.。Let me go は「行かせて・放して」、Let it be は「そのままにしておけ」、Let's go は「行こう」で、考える間を取る言葉ではない。

区別 **Let me see. ⇔ Let me think about it.** Let me think about it は答えを後に持ち越して「考えさせて」。Let me see はその場で考えながら答えを続ける「ええと」。見分け方：直後に答えが続くなら Let me see、返事を後日にするなら Let me think about it。

0933 ☐☐☐

A: We've been working for ten hours. B: You're right. ———— We can finish this tomorrow.

① Let's get started.
② Let's take turns.
③ Let's call it a day.
④ Let's go Dutch.

③ Let's call it a day. 今日はここまでにしよう

訳 A：もう10時間も働いているよ。　B：そうだね。今日はこれで終わりにしよう。続きは明日やればいい。

解説 10 時間も働いたので「今日はここまでにしよう、続きは明日」と切り上げる Let's call it a day.。Let's get started は「始めよう」で逆。Let's take turns は「交代でやろう」、Let's go Dutch は「割り勘にしよう」で流れに合わない。

区別 **Let's call it a day. ⇔ It's getting late.** It's getting late は「遅くなってきた」と時間の状況を言うだけで、帰る・やめる提案の前置きになる。Let's call it a day ははっきり「終わりにしよう」と提案する。見分け方：作業を終える提案そのものなら call it a day。

0934 ☐☐☐

A: How much do I owe you for the coffee? B: Nothing. ————

① It's my treat.　② Let's go Dutch.
③ Keep the change.　④ It's a deal.

① My treat. 私のおごりだよ

訳 A：コーヒー代はいくら払えばいい？　B：いらないよ。私のおごりだから。

解説 コーヒー代を聞かれて Nothing（いらない）と答えているので「私のおごり」の It's my treat.。Let's go Dutch は割り勘で Nothing と矛盾する。Keep the change は「おつりは取っておいて」、It's a deal は「それで決まり」。

区別 **My treat. ⇔ Let's go Dutch.** Let's go Dutch / Let's split the bill は「割り勘にしよう」で全員で払う。My treat は一人が全部払う。見分け方：How much do I owe you? に Nothing. と答えるなら My treat。

0935 □□□

A: How's your new job going? B: ———— Everyone is kind to me.

① So what?　② So to speak.
③ So far, so good.　④ So long.

③ So far, so good. 今のところ順調だ

訳 A：新しい仕事はどう？　B：今のところ順調だよ。みんな親切にしてくれるんだ。

解説 新しい仕事の様子を聞かれて「今のところ順調、みんな親切」と答えるので So far, so good.。So what? は「それがどうした」、So to speak は「いわば」、So long は「さようなら」で、進み具合の答えにならない。

区別 **So far, so good. ⇔ So what?** So what? は「だから何？・それがどうしたの？」と相手の話を突き放す言葉。So far, so good は進み具合が順調だという返事。見分け方：How's it going? への答えなら So far, so good。

0936 □□□

A: I don't want to come to the beach with you. I'd rather stay home. B: ———— But you'll miss the fun.

① Suit yourself.
② Help yourself.
③ Enjoy yourself.
④ Take care of yourself.

① Suit yourself. 好きにすれば；ご勝手に

訳 A：あなたたちと海には行きたくない。家にいるほうがいいよ。　B：好きにすれば。でも楽しいことを逃すよ。

解説 誘いを断られて「好きにすれば、楽しいのに」と言うので Suit yourself.。Help yourself は食べ物などを勧める言葉、Enjoy yourself は「楽しんでね」で家に残る人への返事として合わない。Take care of yourself は「お大事に」。

区別 **Suit yourself. ⇔ Help yourself.** Help yourself は「（食べ物などを）ご自由にどうぞ」と勧める言葉。Suit yourself は「（あなたの）好きにすれば」と相手の選択を投げやりに認める言葉。見分け方：食べ物・飲み物を勧めるなら Help yourself、誘いを断られたら Suit yourself。

0937 □□□

A: When should I send you the report? B: ———— We need it for tomorrow's meeting.

① Sooner or later.
② No sooner said than done.
③ The sooner, the better.
④ The more, the merrier.

③ The sooner, the better. 早ければ早いほどいい

訳 A：レポートはいつ送ればいいですか。　B：早ければ早いほどいいです。明日の会議で必要なので。

解説 レポートをいつ送るか聞かれ、「明日の会議で必要」と続けるので「早いほどいい」の The sooner, the better.。Sooner or later は「いずれ」で急ぎの気持ちにならない。No sooner said than done は「言うが早いか実行した」、The more, the merrier は人数の話。

区別 **The sooner, the better. ⇔ sooner or later** sooner or later は「遅かれ早かれ・いずれ」で、必ず起きることを言う。The sooner, the better は「早いほど良い」と時期の希望を言う。見分け方：「いつ必要？」への答えなら The sooner, the better。

0938 □□□

A: I was born on May 5, too. B: Really? ＿＿＿＿

① What a coincidence!
② What a pity!
③ What a relief!
④ What a mess!

① What a coincidence! なんて偶然！

訳 A：私も5月5日生まれなんだ。 B：本当？なんて偶然なんだ！

解説 誕生日が同じだと分かって驚いているので What a coincidence!（なんて偶然）。What a pity は「残念」、What a relief は「ほっとした」、What a mess は「ひどい散らかりよう」で、偶然の一致への反応にならない。

区別 **What a coincidence! ⇔ It's a small world.** It's a small world は「世間は狭いね」で、思いがけない人間関係のつながり（共通の知人など）に使う。What a coincidence は偶然の一致全般（日付・場所・考え）。見分け方：人と人のつながりなら small world、同じ日に生まれたなどの一致なら coincidence。

0939 □□□

A: Good morning. ＿＿＿＿ B: I'd like to open a bank account.

① What do you do?
② What can I do for you?
③ What are you doing?
④ What did you do?

② What can I do for you?
どうしましたか；何のご用ですか

訳 A：おはようございます。ご用件は何でしょうか。 B：銀行口座を開きたいのですが。

解説 B が「口座を開きたい」と用件を答えているので、窓口の人が用件を聞く What can I do for you?。What do you do? は職業、What are you doing? は今の行動、What did you do? は過去の行動を聞く質問で、用件の答えと合わない。

区別 **What can I do for you? ⇔ Is there anything I can do?** Is there anything I can do? は困っている知人に「何かできることはある？」と手助けを申し出る言葉。What can I do for you? は客を迎える定型の言葉。見分け方：店・窓口の場面なら What can I do for you?、病気や悲しい知らせを聞いた後なら Is there anything I can do?。

0940 □□□

A: Long time no see! What have you been up to? B: ＿＿＿＿

① I've been busy with my new job.
② I'm up to you.
③ I'll be up soon.
④ I've never been there.

① What have you been up to? 最近どうしてた？

訳 A：久しぶり！最近どうしてた？ B：新しい仕事で忙しくしていたよ。

解説 久しぶりに会って近況を聞かれたので、「新しい仕事で忙しくしていた」と現在完了進行形で答える I've been busy with my new job.。I'm up to you は意味をなさない。I'll be up soon は「すぐ起きる」、I've never been there は経験を答えていて近況にならない。

区別 **What have you been up to? ⇔ What are you up to?** What are you up to? は現在進行形で「今何してるの？」。What have you been up to? は「（この前会ってから）最近どうしてた？」。見分け方：久しぶりに会った相手なら have been、今の行動なら are。

0941 □□□

A: I think Ken is angry with me. B: ———— He seemed fine this morning.

① What do you think?
② What makes you so?
③ What makes you think so?
④ What do you make?

③ What makes you think so? どうしてそう思うの？

訳 A：健は私に怒っていると思うんだ。 B：どうしてそう思うの？今朝は普通に見えたけど。

解説 ケンが怒っていると思うという意見に「どうしてそう思うの？今朝は普通だったよ」と理由を尋ねるので What makes you think so?。What do you think? は意見を聞く言葉で、すでに意見を言った相手には合わない。What makes you so? / What do you make? は意味が通らない。

区別 **What makes you think so? ⇔ What do you think?** What do you think? は「あなたはどう思う？」と意見そのものを聞く。What makes you think so? は相手がすでに言った意見の理由を聞く。見分け方：相手が意見を言った後なら What makes you think so?、まだ意見を聞いていないなら What do you think?。

0942 □□□

A: I can't decide what to order. ———— B: The fish is very good today.

① How would you like to pay?
② What would you recommend?
③ What can I do for you?
④ Are you ready to order?

② What would you recommend?
おすすめは何ですか

訳 A：何を注文するか決められません。何がおすすめですか。B：今日は魚がとてもおいしいですよ。

解説 注文を決められない客が店員におすすめを聞き、店員が「今日は魚がおいしい」と答えているので What would you recommend?。How would you like to pay? / What can I do for you? / Are you ready to order? はどれも店員が客に言う言葉。

区別 **What would you recommend? ⇔ What would you like?** What would you like? は店員が客に「何になさいますか」と注文を聞く言葉。What would you recommend? は客が店員におすすめを聞く言葉。見分け方：言う人が客か店員か。

0943 □□□

A: This homework is way too much. B: ———— I'll be up all night.

① You don't say.　② Say when.
③ You said it!　④ I said no.

③ You said it! まさにその通り；よく言ってくれた

訳 A：この宿題、いくら何でも多すぎるよ。 B：まったくだよ！徹夜になりそうだ。

解説 宿題が多すぎるという不満に「本当にそう、徹夜になる」と同意しているので You said it!。You don't say は驚き・皮肉の「まさか」、Say when は飲み物を注ぐときの「いいところで言って」、I said no は「だめと言ったでしょ」。

区別 **You said it! ⇔ You don't say.** You don't say は「まさか・へえ、そうなの」と驚き（皮肉で「そんなの知ってるよ」）を表す。You said it は「その通り」と強い同意。見分け方：相手の意見に賛成するなら You said it、意外な知らせへの反応なら You don't say。

0944 □□□

A: One cheeseburger and a large cola, please. B: ———— A: No, that's all.

① Anything else?　② Is that so?
③ What for?　④ Who cares?

① Anything else? ほかに何かございますか

訳 A：チーズバーガー1つとコーラのLをください。　B：ほかにご注文はありますか。　A：いいえ、以上です。

解説 注文を受けた店員が「ほかには？」と聞き、客が「いいえ、それで全部」と答えているので Anything else?。Is that so? は「そうなの？」、What for? は「何のために？」、Who cares? は「どうでもいい」で、注文の流れに合わない。

区別 **Anything else? ⇔ That's it.** That's it は Anything else? への客の答え「それで全部です」。Anything else? は店員の質問。会話問題では、注文の後に Anything else? が入り、客が That's all. と答える流れを見抜く。

0945 □□□

A: ———— I'd like to talk about the project. B: Sure. What's up?

① Do you have the time?
② Do you have any idea?
③ Do you mind?
④ Do you have a minute?

④ Do you have a minute? ちょっといいですか

訳 A：ちょっとお時間ありますか。プロジェクトについてお話ししたいのですが。　B：いいですよ。どうしましたか。

解説 プロジェクトの話をしたいので相手の都合を聞く Do you have a minute?。Do you have the time? は時刻を聞く質問で Sure. What's up? と合わない。Do you have any idea? は「分かる？」、Do you mind? は「やめてくれない？」の意味にもなり、場面に合わない。

区別 **Do you have a minute? ⇔ Do you have the time?** Do you have the time? は「今何時か分かりますか」と時刻を尋ねる。Do you have a minute? / Do you have time? は「時間がありますか」と相手の都合を尋ねる。見分け方：the time なら時刻、a minute / time（無冠詞）なら都合。

0946 □□□

A: What do you think of my plan? B: ———— I like it, but I think it's too expensive.

① Don't mention it.
② Don't get me wrong.
③ Don't bother.
④ Don't give up.

② Don't get me wrong. 誤解しないでね

訳 A：私の計画をどう思う？　B：誤解しないでね。気に入っているけど、お金がかかりすぎると思うんだ。

解説 計画を気に入っていると言いつつ but で欠点を述べるので、前置きの Don't get me wrong.（誤解しないでね）。Don't mention it は「どういたしまして」、Don't bother は「わざわざいいよ」、Don't give up は「あきらめないで」で流れに合わない。

区別 **Don't get me wrong. ⇔ That's not what I meant.** That's not what I meant は、すでに誤解されたことを「そういう意味じゃない」と訂正する。Don't get me wrong は誤解されそうなことを言う前に予防として添える。見分け方：言う前の前置きなら Don't get me wrong、言った後の訂正なら not what I meant。

0947 □□□

A: Just stop eating sweets and you'll lose weight. B: That's ＿＿＿＿. I love chocolate!

① easier said than done
② easy said than done
③ easier to say than doing
④ more easily said

① Easier said than done.　言うは易く行うは難し

訳 A：甘い物を食べるのをやめれば、やせるよ。　B：それは言うのは簡単だけど、するのは難しいよ。チョコレートが大好きなんだ！

解説 「言うのは簡単だが実行は難しい」は easier said than done。than と組むので比較級 easier が必要で、easy は誤り。easier to say than doing は to say と doing の形がそろっていない。more easily said は than ~ がなく決まり文句にならない。

区別 **Easier said than done. ⇔ No sooner said than done.** No sooner said than done は「言うが早いか実行された」で、すぐに実行されたこと。Easier said than done は実行が難しいこと。見分け方：比較級が easier なら難しい、no sooner なら速い。どちらも said than done の形が同じなので注意。

0948 □□□

A: One coffee, please. B: For here or to go? A: ＿＿＿＿

① Here you are.　② To go, please.
③ I'm going.　④ Go ahead.

② For here or to go?
こちらでお召し上がりですか、お持ち帰りですか

訳 A：コーヒーを1つください。　B：店内でお召し上がりですか、お持ち帰りですか。　A：持ち帰りでお願いします。

解説 店内か持ち帰りかを聞かれたので To go, please.（持ち帰りで）。Here you are は物を渡すときの言葉で、For here と似ているが答えにならない。I'm going は「出かける」、Go ahead は「どうぞ」で、質問の答えにならない。

区別 **For here or to go? ⇔ Anything else?** Anything else? は「ほかにご注文は？」と追加の有無を聞く。For here or to go? は食べる場所を聞く。見分け方：答えが To go. / For here. なら場所、That's all. なら追加の有無。

0949 □□□

A: Our trip to Hawaii is next week! B: I know! I can't wait ＿＿＿＿ get there.

① for　② until
③ going　④ to

④ I can't wait.　待ちきれない；楽しみだ

訳 A：ハワイ旅行は来週だね！　B：そうだね！早く向こうに着きたくて待ちきれないよ。

解説 後ろが動詞の原形 get なので不定詞の to を使い、can't wait to do（～するのが待ちきれない）。for は後ろに名詞（for the trip）を置く。until の後ろには S V が必要。going は形が合わない。

区別 **I can't wait. ⇔ look forward to ~ing** look forward to の to は前置詞で、後ろは名詞・動名詞（look forward to seeing you）。I can't wait to の to は不定詞で、後ろは動詞の原形（I can't wait to see you）。見分け方：can't wait なら原形、look forward なら ~ing。

0950 □□□

A: I'll lend you my notes for the test.
B: Thanks a lot. ＿＿＿＿

① You owe me one.
② I owe you nothing.
③ I owe you one.
④ You're welcome.

③ I owe you one. 借りができたね；恩に着るよ

訳 A：テスト用に私のノートを貸してあげるよ。 B：本当にありがとう。恩に着るよ。

解説 ノートを貸してもらう側がお礼として「借りができたね」と言うので I owe you one.。You owe me one は「あなたが私に借りがある」で、貸す側の言葉。I owe you nothing は失礼、You're welcome はお礼を言われた側の返事。

区別 **I owe you one. ⇔ How much do I owe you?** How much do I owe you? は「いくら払えばいい？」とお金の借りを聞く。I owe you one は「（親切の）借りが一つできた」とお礼を言う。見分け方：金額の話なら How much、助けてもらったお礼なら owe you one。

0951 □□□

A: We shouldn't buy a car. We live near the station. B: I see your ＿＿＿＿, but a car would be useful on weekends.

① mind ② point
③ sense ④ talk

② I see your point. 言いたいことは分かる

訳 A：車は買うべきじゃないよ。駅の近くに住んでいるんだから。 B：言いたいことは分かるけど、週末には車があると便利だよ。

解説 相手の意見を理解しつつ but で反論しているので I see your point.（言いたいことは分かる）。see your mind / see your sense / see your talk は決まり文句にならない。point（要点）を使う表現を問う問題。

区別 **I see your point. ⇔ What's your point?** What's your point? は「何が言いたいの？」と相手の話の要点を問う（いら立ちを含むこともある）。I see your point は要点が分かったと示す。見分け方：理解できたなら I see、分からないなら What's your point?。

0952 □□□

A: Could you help me with my English homework? B: Sure, I'd be happy ＿＿＿＿.

① to ② to do
③ it ④ for

① I'd be happy to. 喜んで（そうします）

訳 A：英語の宿題を手伝ってもらえる？ B：もちろん、喜んで。

解説 前の help you with ~ を繰り返さず to だけを残す代不定詞で、I'd be happy to.。to do は do の目的語がなく不完全。happy it / happy for では「喜んで手伝う」の意味にならない。to で止める形を問う問題。

区別 **I'd be happy to. ⇔ I'd love to.** I'd love to は主に誘い（Would you like to ~?）への「ぜひ」。I'd be happy to は依頼（Could you ~?）への「喜んで（やります）」にも誘いにも使う。どちらも to で止める点は同じ。見分け方：頼みごとを引き受けるなら happy to が自然。

0953 ☐☐☐

A: Excuse me. ＿＿＿＿ Could you tell me where the station is? B: Sure. Go straight two blocks.

① I lost.　② I'm losing.
③ I'm lost.　④ I'm loss.

③ I'm lost. 道に迷いました

訳 A：すみません。道に迷ってしまいました。駅がどこか教えていただけますか。　B：いいですよ。2ブロックまっすぐ行ってください。

解説 道を聞く前置きの「迷ってしまって」は I'm lost.（be ＋ lost の状態）。I lost. は目的語がなければ「負けた」の意味。I'm losing は「負けている」、I'm loss は名詞 loss を補語にしていて誤り。

区別 **I'm lost. ⇔ I lost ~.** I lost ~ は他動詞 lose の過去形で「～をなくした」（I lost my key.）。I'm lost は be ＋ lost で「迷っている」状態。見分け方：be 動詞があれば迷った状態、目的語があればなくした物。I lost. だけだと「負けた」になる。

0954 ☐☐☐

A: So the money goes to the bank, and then the bank lends it to... B: Sorry, I'm not ＿＿＿＿ you. Could you explain it again more slowly?

① chasing　② catching
③ going　④ following

④ I'm not following you. 話についていけません

訳 A：つまりお金は銀行に行って、それから銀行がそれを貸し出して……　B：ごめん、話についていけないよ。もう一度もっとゆっくり説明してくれる？

解説 説明が分からず「もう一度ゆっくり」と頼んでいるので、話についていけないの I'm not following you.。chase は「追いかける」で話の理解には使わない。catch は that（言葉）を目的語にして聞き取りを言い、人の you は取らない。going は you を目的語に取れない。

区別 **I'm not following you. ⇔ I didn't catch that.** I didn't catch that は音が「聞き取れなかった」。I'm not following you は聞こえているが「内容が理解できない」。見分け方：もう一度言ってほしいだけなら catch、もっと分かりやすく説明してほしいなら following。

0955 ☐☐☐

A: Why didn't you ask your teacher for help? B: It never ＿＿＿＿ to me.

① happened　② thought
③ reminded　④ occurred

④ It never occurred to me. それは思いもよらなかった

訳 A：どうして先生に助けを求めなかったの？　B：そんなこと思いつきもしなかったよ。

解説 「先生に聞くなんて思いつかなかった」は It never occurred to me。happen to 人 は「（出来事が）人に起きる」で考えが浮かぶ意味にならない。thought は人が主語、reminded は remind 人 of ~ の形が必要で、どちらも it を主語にして to me と組まない。

区別 **It never occurred to me. ⇔ It slipped my mind.** It slipped my mind は覚えていたことを「うっかり忘れた」。It never occurred to me は最初から「思いつきもしなかった」。見分け方：頼まれていたことなら slipped my mind、新しい発想・可能性なら never occurred to me。

0956 ☐☐☐

A: You know Mr. Kato? He was my English teacher! B: Really? He's my uncle. ———

① It's a piece of cake.
② It's a small world.
③ It's all Greek to me.
④ It's on me.

② It's a small world. 世間は狭いね

訳 A：加藤先生を知ってるの？私の英語の先生だったんだよ！ B：本当？彼は私のおじさんなんだ。世間は狭いね。

解説 相手の先生が自分のおじだと分かり、意外な人のつながりに驚いているので It's a small world.。It's a piece of cake は「簡単だ」、It's all Greek to me は「ちんぷんかんぷん」、It's on me は「おごるよ」で場面に合わない。

区別 **It's a small world. ⇔ What a coincidence!** What a coincidence は日付・場所・考えなど偶然の一致全般への驚き。It's a small world は人間関係のつながりが分かったときに特に使う。見分け方：「先生があなたのおじさんだった」など人のつながりなら small world。

0957 ☐☐☐

A: How much money do you have? B: ——— That's a personal question.

① Never mind.
② Mind your step.
③ Mind your own business.
④ Do you mind?

③ Mind your own business. 余計なお世話だ

訳 A：お金をいくら持ってるの？ B：余計なお世話だよ。それは個人的な質問だよ。

解説 所持金という立ち入った質問に「個人的なことだ」とはねつけるので Mind your own business.。Never mind は「気にしないで」、Mind your step は「足元に注意」、Do you mind? は「構いませんか・やめてくれない？」で、質問を拒む言葉として合わない。

区別 **Mind your own business. ⇔ Never mind.** Never mind は「気にしないで・もういいよ」と相手をなだめる・話を引っ込める言葉。Mind your own business は相手を突き放す言葉。見分け方：相手の詫びや質問を受け流すなら Never mind、立ち入るなと言うなら Mind your own business。

0958 ☐☐☐

A: How was the movie? B: ——— The story was a little long, but the ending was great.

① Not bad.　② Not at all.
③ Not yet.　④ Not me.

① Not bad. 悪くないよ；なかなかいいね

訳 A：映画はどうだった？ B：悪くなかったよ。話は少し長かったけど、結末は最高だった。

解説 少し長いが結末は最高だった、と全体として肯定的な感想なので Not bad.（悪くないよ）。Not at all は How への答えにならない。Not yet（まだ）、Not me（私じゃない）も感想にならない。

区別 **Not bad. ⇔ Not good.** Not good は「良くない」と否定的な感想。Not bad は「悪くない＝結構いい」と肯定的な感想。見分け方：後ろにほめる内容（the ending was great）が続けば Not bad、不満が続けば Not good。

0959 ☐☐☐

A: Can you bring me a glass of water?
B: ＿＿＿＿

① You're welcome.　② You got it.
③ I got lost.　④ You did it.

② You got it. 分かった、任せて；その通り

訳 A：水を1杯持ってきてくれる？　B：了解。

解説 水を持ってきてと頼まれ「分かった、任せて」と引き受けるので You got it.。You're welcome はお礼への返事、I got lost は「迷った」、You did it は「やったね（成功した）」で、依頼への承諾にならない。

区別 **You got it. ⇔ I got it.** I got it は「（私が）分かった・理解した」、また電話・ボールなどを「私が取る」。You got it は相手の依頼を「承知した」、相手の答えを「正解」と認める。見分け方：主語が自分の理解なら I、相手への承諾・正解なら You。

0960 ☐☐☐

A: How old is your grandmother? B: ＿＿＿＿, she is 98, and she still goes swimming every week.

① Believe it or not
② Believe or not
③ Believing it or not
④ Believe in it or not

① believe it or not 信じられないかもしれないが

訳 A：おばあさんは何歳なの？　B：信じられないかもしれないけど、98 歳で、今でも毎週泳ぎに行っているよ。

解説 驚く事実の前置きは Believe it or not。believe は他動詞で it（後ろの事実）が必要なので Believe or not は誤り。Believing it or not という形は使わない。Believe in it or not も、believe in（存在を信じる）が混ざった誤り。98 歳で泳ぐという驚く内容に合う。

区別 **believe it or not ⇔ believe in ～** believe it or not は驚く事実の前置きで、it は後ろの内容を指す。believe in は「～の存在・価値を信じる」（believe in God / believe in yourself）。見分け方：文頭で驚きを予告するなら believe it or not。in を入れた形は誤り。

0961 ☐☐☐

A: Would you like tea or coffee? B: ＿＿＿＿ is fine with me.

① Neither　② Either
③ Both　④ Any

② Either is fine with me. どちらでも構いません

訳 A：紅茶とコーヒー、どちらがよろしいですか。　B：どちらでも構いません。

解説 二つのどちらでもいいので Either（単数扱い is）。Neither は「どちらも～ない」で fine と組むと「どちらも良くない」意味になり不自然。Both は複数なので is と合わない。Any は三つ以上から選ぶときに使う。

区別 **Either is fine with me. ⇔ Neither / Both** neither は「どちらも～ない」、both は「両方とも」（複数扱いで are）。either は「どちらでも（一つ選べばよい）」で単数扱い。見分け方：どちらを選んでもいいなら Either is、どちらも嫌なら Neither、両方欲しいなら Both are。

0962 □□□

A: I can't come on Friday, but I can come on Saturday. B: ———— Let's meet on Saturday, then.

① Not fair.　② Far from it.
③ Enough is enough.　④ Fair enough.

④ Fair enough. それならいいよ；もっともだ

訳 A：金曜日は行けないけど、土曜日なら行けるよ。　B：それでいいよ。じゃあ土曜日に会おう。

解説 金曜は無理だが土曜なら行けるという説明に納得して「それならいいよ、土曜にしよう」と受け入れるので Fair enough.。Not fair は「ずるい」と不満を言う言葉。Far from it は「とんでもない」、Enough is enough は「もうたくさんだ」。

区別 **Fair enough. ⇔ That's not fair.** That's not fair は「ずるい・不公平だ」と不満を言う。Fair enough は「（その理由なら）もっともだ」と受け入れる。見分け方：相手の説明に納得したなら Fair enough、不満なら not fair。

0963 □□□

Please give my ———— to your parents.

① regard　② regards
③ greeting　④ hello

② Give my regards to ~. ～によろしくお伝えください

訳 ご両親によろしくお伝えください。

解説 「ご両親によろしく」は give my regards to ~ で、複数形 regards。単数の regard は「関心・考慮」の意味で、あいさつにならない。greeting は単数で give my greeting という決まり文句はなく、hello は say hello to の形で使う。

区別 **Give my regards to ~. ⇔ Say hello to ~ (for me).** Say hello to ~ は友人・家族向けの気軽な言い方。Give my regards to ~ は改まった言い方。見分け方：丁寧さの度合い。どちらも to の後ろに伝える相手を置く。

0964 □□□

A: Thank you for coming, Mr. Brown. Please ———— a seat. B: Thank you.

① sit　② put
③ have　④ make

③ Have a seat. どうぞおかけください

訳 A：お越しいただきありがとうございます、ブラウンさん。どうぞおかけください。　B：ありがとうございます。

解説 「どうぞおかけください」は have a seat（take a seat も可だが選択肢にない）。sit は自動詞で a seat を目的語に取らない（sit down / sit on a chair）。put a seat / make a seat は「座る」の意味にならない。

区別 **Have a seat. ⇔ Is this seat taken?** Is this seat taken? は空いている席に座りたいとき「この席は空いていますか（ふさがっていますか）」と尋ねる言葉。Have a seat は相手に座るよう勧める言葉。見分け方：座りたい側なら Is this seat taken?、勧める側なら Have a seat。

0965 □□□

A: Thank you so much for finding my dog. I can't thank you ＿＿＿＿. B: I'm glad I could help.

① enough　② more
③ very　④ so

① I can't thank you enough. 感謝してもしきれません

訳 A：私の犬を見つけてくれて本当にありがとう。お礼の言いようもありません。　B：お役に立ててよかったです。

解説 「感謝してもしきれない」は can't thank you enough。enough が「十分に」で、否定と組んで「いくら感謝しても足りない」になる。can't thank you more / very / so は決まった形にならず、very や so は動詞を直接修飾できない。

区別 **I can't thank you enough. ⇔ cannot ~ too ...** cannot be too careful（いくら注意してもしすぎることはない）のように、cannot ＋ too でも同じ「いくら～しても足りない」を表す。enough は文末に置き、too は形容詞・副詞の前に置く。見分け方：thank you の後ろに付くのは enough（I can't thank you enough）。

0966 □□□

A: Excuse me. Where is the library? B: It's a little hard to find. I'll ＿＿＿＿ you the way. I'm going there too.

① show　② teach
③ lead　④ bring

① I'll show you the way. ご案内します

訳 A：すみません。図書館はどこですか。　B：少し分かりにくいんです。ご案内しますよ。私もそこへ行くところなので。

解説 「私もそこへ行くので案内します」なので show 人 the way。teach は学問・技能を教える動詞で、道には使わない。lead / bring は lead 人 to ~ / bring 人 to ~ の形が普通で、人 the way の二重目的語を取らない。

区別 **I'll show you the way. ⇔ tell 人 the way** tell 人 the way は言葉で道順を説明する。show 人 the way は地図を描く・一緒に行くなど、実際に示す・連れて行く。見分け方：一緒に行くなら show、口で説明するなら tell。teach は学問・技能に使い、道には使わない。

0967 □□□

A: You're going to quit school?! B: ＿＿＿＿ I'd never do that.

① No kidding.　② Just a minute.
③ Just kidding.　④ Just in case.

③ Just kidding. 冗談だよ

訳 A：学校を辞めるの？！　B：冗談だよ。そんなこと絶対しないよ。

解説 学校を辞めるという話に驚いた相手に「冗談だよ、そんなことしない」と打ち消すので Just kidding.。No kidding は相手の話に驚く・同意する言葉で、自分の発言を取り消せない。Just a minute（ちょっと待って）、Just in case（念のため）も合わない。

区別 **Just kidding. ⇔ No kidding.** No kidding は「まさか・本当に？」と驚くか、「全くだ（当たり前だ）」と同意する言葉。Just kidding は自分の言葉を「冗談だ」と取り消す。見分け方：自分の発言を打ち消すなら Just kidding、相手の話への反応なら No kidding。

0968 □□□

A: I got an A on the test again. B: Great! Keep ———— the good work.

① up ② on
③ off ④ out

① Keep up the good work. その調子で頑張ってね

訳 A：またテストでAを取ったよ。 B：すごい！その調子で頑張ってね。

解説 「その調子で頑張って」は Keep up the good work。keep up ~ は「～を（高い水準で）維持する」。keep off ~ は「～に近づかない」、keep out ~ は「～を締め出す」で意味が逆。keep on は ~ing を続けるときの形で the good work とは組まない。

区別 **Keep up the good work. ⇔ Keep in touch.** Keep in touch は「連絡を取り合おうね」と別れ際に言う言葉。Keep up the good work は努力を続けるよう励ます言葉。見分け方：別れて会えなくなる相手なら Keep in touch、頑張っている相手なら Keep up the good work。

0969 □□□

A: Do you want to see a movie tonight? B: Sorry, I'm busy tonight. ————

① Maybe it's time.
② Maybe some other time.
③ Any time.
④ It's about time.

② Maybe some other time. また今度ね

訳 A：今夜、映画を見ない？ B：ごめん、今夜は忙しいんだ。またの機会にね。

解説 今夜は忙しいと断った後に「また今度ね」と添えるので Maybe some other time.。Any time は「いつでも」「どういたしまして」で断りにならない。Maybe it's time（そろそろかも）、It's about time（そろそろ～する時間だ）も意味が合わない。

区別 **Maybe some other time. ⇔ Any time.** Any time は「いつでもどうぞ」「（お礼に）どういたしまして」。Maybe some other time は今回は断って「別の機会に」。見分け方：誘いを断るなら some other time、お礼への返事や歓迎なら Any time。

0970 □□□

A: I bought this jacket for only 1,000 yen. B: Wow, ————

① that's a deal!
② that's a bargain!
③ that's the spirit!
④ that's a relief!

② That's a bargain. それはお買い得だ

訳 A：このジャケット、たった1,000円で買ったんだ。 B：わあ、それは掘り出し物だね！

解説 ジャケットが 1,000 円と聞いて「お買い得だ」と驚くので that's a bargain!。that's a deal は取引への合意、that's the spirit は「その意気だ」、that's a relief は「ほっとした」で、値段の安さへの反応にならない。

区別 **That's a bargain. ⇔ It's a deal.** It's a deal は「それで決まり」と取引・提案に合意する言葉。That's a bargain は値段が安いことへの評価。見分け方：条件のやり取りへの返事なら It's a deal、値段を聞いて「安い」と言うなら bargain。a good deal なら「お買い得」の意味になる点に注意。

0971 □□□

A: If we go by train, we can read on the way. B: ———— Let's take the train, then.

① That's beside the point.
② That's not the point.
③ That's a good bargain.
④ That's a good point.

④ That's a good point. それはいい指摘だね

訳 A：電車で行けば、途中で本が読めるよ。 B：それはいい点だね。じゃあ電車に乗ろう。

解説 電車なら途中で読書できるという指摘に賛成して「じゃあ電車にしよう」と続けるので That's a good point.。That's beside the point / That's not the point は「論点が違う」と退ける言葉で、後ろと矛盾する。That's a good bargain は値段の話。

区別 **That's a good point. ⇔ That's beside the point.** That's beside the point は「それは要点から外れている・関係ない」と相手の指摘を退ける。That's a good point は「いい指摘だ」と認める。見分け方：意見を取り入れるなら good point、話がずれていると言うなら beside the point。

0972 □□□

A: Did you get through to the hotel? B: No, the line was ———— . I'll try again later.

① full ② crowded
③ closed ④ busy

④ The line is busy. 話し中です

訳 A：ホテルに電話はつながった？ B：いや、話し中だった。後でもう一度かけてみるよ。

解説 電話がつながらず「後でかけ直す」と言っているので、話し中の the line was busy。full / crowded は人や物で場所がいっぱいの意味で、電話回線には使わない。closed は「閉まっている」で通話中の意味にならない。

区別 **The line is busy. ⇔ Hold the line.** Hold the line は「切らずにお待ちください」で、つながっている相手に待ってもらう言葉。The line is busy は相手がほかの電話中でつながらない状態。見分け方：まだつながっていないなら busy、つながって保留にするなら hold the line。

0973 □□□

A: Sorry, I'll finish the report soon. B: ———— Take your time.

① Hurry up. ② I'm in a hurry.
③ There's no hurry. ④ There's no time.

③ There's no hurry. 急がなくていいよ

訳 A：ごめんなさい、レポートはもうすぐ仕上げます。 B：急がなくていいですよ。ゆっくりやってください。

解説 レポートが遅れていることを謝る相手に「急がなくていいよ、ゆっくりやって」と言うので There's no hurry.。Hurry up（急いで）、I'm in a hurry（私は急いでいる）、There's no time（時間がない）は Take your time と矛盾する。

区別 **There's no hurry. ⇔ I'm in a hurry.** I'm in a hurry は「（私は）急いでいる」と自分の状態を言う。There's no hurry は「急ぐ必要はない」と相手を安心させる。見分け方：相手を待つ側が言うなら no hurry、自分が忙しいなら in a hurry。

0974 □□□

A: I won the tennis tournament! B: ———— I knew you could do it.

① Go for it!　② Way out!
③ Way to go!　④ On my way!

③ Way to go! よくやった；その調子

訳 A：テニスの大会で優勝したよ！　B：よくやった！君ならできると思っていたよ。

解説 優勝の報告に「よくやった、できると思っていたよ」とほめるので Way to go!。Go for it はこれから挑戦する人への励ましで、もう勝った相手には合わない。Way out は「出口」、On my way は「今向かっている」。

区別 **Way to go!** ⇔ **Go for it!** Go for it はこれから挑戦する人への「頑張れ・やってみな」。Way to go は成功した後の「よくやった」。見分け方：結果が出る前なら Go for it、出た後なら Way to go。

0975 □□□

A: I need to borrow 10,000 yen. B: ———— That's a lot of money.

① What's up?　② So what?
③ What if?　④ What for?

④ What for? 何のために？；どうして？

訳 A：1万円借りたいんだけど。　B：何のために？大金だよ。

解説 1 万円貸してと言われ「何のために？大金だよ」と目的を尋ねるので What for?。What's up? は「どうしたの・元気？」、So what? は「それがどうした」、What if? は「もし～だったら？」で、目的を聞く言葉ではない。

区別 **What for?** ⇔ **What is it for?** What is it for? は道具などについて「それは何に使うもの？」と用途を聞く。What for? は相手の行動の目的を「何のために？」と聞き返す。見分け方：物の用途なら What is it for?、相手の発言への聞き返しなら What for?。

0976 □□□

A: Are you coming to my party on Saturday? B: ———— I wouldn't miss it.

① You bet.　② I bet not.
③ Beats me.　④ Not really.

① You bet. もちろん；どういたしまして

訳 A：土曜日の私のパーティーに来る？　B：もちろん。絶対に行くよ。

解説 パーティーに来るかと聞かれて「もちろん、絶対行く」と答えるので You bet.。I bet not は「きっとそうじゃない」、Beats me は「さあね」、Not really は「あまり」で、wouldn't miss it（逃さない）と矛盾する。

区別 **You bet.** ⇔ **I bet ~.** I bet (that) S V は「きっと～だ」と自分の確信を言う。You bet は相手の質問・依頼への「もちろん」。見分け方：後ろに文が続いて予想を言うなら I bet、Yes の代わりの返事なら You bet。

0977 ☐☐☐

A: Can you help me move this Sunday? B: Sure. You can count _____ me.

① in　② on
③ for　④ to

② You can count on me. 任せて；頼りにしていいよ

訳 A：今度の日曜日、引っ越しを手伝ってくれる？　B：いいよ。任せておいて。

解説 「頼りにしていいよ」は count on ~。depend on / rely on と同じ on。count in は count me in（私を入れて）の形で使い、count in me とは言わない。for / to も count と組んで「頼る」の意味にならない。

区別 **You can count on me. ⇔ Count me in.** Count me in は誘いに「私も参加する」。count on me は「私を頼りにして」。見分け方：on は頼る、in は（人数に）入れる。前置詞一つで意味が変わる。

0978 ☐☐☐

A: I'm going to swim across the lake in winter. B: _____ The water is freezing!

① You must be serious.
② You can be serious.
③ You can't be serious.
④ You should be serious.

③ You can't be serious. 本気じゃないよね；まさか

訳 A：冬にあの湖を泳いで渡るつもりなんだ。　B：冗談でしょう。水は凍るほど冷たいよ！

解説 冬の湖を泳いで渡るという計画に「本気じゃないよね、水は凍るほど冷たいのに」と言うので You can't be serious.（本気のはずがない）。must be serious は「本気に違いない」で反対の気持ちにならない。can be / should be は推量の決まり文句にならない。

区別 **You can't be serious. ⇔ Are you serious?** Are you serious? は本気かどうか確かめる疑問。You can't be serious は「本気のはずがない」と言い切る推量で、反対の気持ちが強い。見分け方：純粋に確認するなら Are you ~?、あきれて止めたいなら can't be。

0979 ☐☐☐

A: I've had a headache for three days. B: You should _____ a doctor.

① meet　② look
③ watch　④ see

④ You should see a doctor.
医者に診てもらったほうがいいよ

訳 A：3日間ずっと頭が痛いんだ。　B：医者に診てもらったほうがいいよ。

解説 「医者に診てもらう」は see a doctor。meet は「初めて会う・待ち合わせる」で診察の意味にならない。look は自動詞で at が必要、watch は「じっと見る」で、どちらも「診てもらう」にならない。

区別 **You should see a doctor. ⇔ You had better ~.** had better は「～しないとまずいことになる」という強い忠告・警告で、目上の人には使わない方がよい。should は「～したほうがいい」と穏やかな助言。見分け方：やわらかい提案なら should、警告に近いなら had better。

0980 □□□

A: Sorry, what did you say? B: Oh, ＿＿＿＿ It wasn't important.

① don't forget it.　② forget it.
③ I forgot.　④ remember it.

② Forget it. もういいよ；気にしないで

訳 A：ごめん、何て言ったの？　B：ああ、何でもない。大したことじゃなかったから。

解説 聞き返されて「もういいよ、大したことじゃない」と話を引っ込めるので forget it.。don't forget it / remember it は「覚えておいて」で後ろと矛盾する。I forgot は「忘れた」で、自分の言ったことを打ち切る言葉にならない。

区別 **Forget it. ⇔ Don't forget.** Don't forget (to do) は「忘れないで」と念を押す。Forget it は「もういいよ・気にしないで」と話を打ち切る。見分け方：用事を覚えておいてほしいなら Don't forget、話を引っ込める・受け流すなら Forget it。

0981 □□□

A: ＿＿＿＿ today? B: Much better, thanks. My fever is gone.

① How are you feeling
② How do you like it
③ What do you feel
④ How are you doing it

① How are you feeling? 具合はどうですか

訳 A：今日の具合はどうですか。　B：ずいぶんよくなりました、ありがとう。熱も下がりました。

解説 「熱が下がって、ずっと良くなった」と答えているので体調を聞く How are you feeling。How do you like it は感想を聞く質問。What do you feel は体調を聞く形にならず、How are you doing it は「どうやってそれをしているの」になる。

区別 **How are you feeling? ⇔ How do you like ~?** How do you like ~? は「～はどう？（気に入った？）」と感想を聞く。How are you feeling? は体調を聞く。見分け方：物・場所の感想なら How do you like、体の調子なら How are you feeling。

0982 □□□

I was wondering ＿＿＿＿ you could help me with my essay.

① that　② what
③ when　④ if

④ I was wondering if you could ~. ～していただけないでしょうか

訳 私の作文を手伝っていただけないでしょうか。

解説 wonder の後ろで「～していただけるかどうか」を表すのは if（whether も可だが選択肢にない）。wonder that ~ は「～ということに驚く」で依頼にならない。what / when は後ろの文が完全な形なので入らない。

区別 **I was wondering if you could ~. ⇔ Could you ~?** Could you ~? は丁寧な依頼の基本形。I was wondering if you could ~ は「～かなと思っていたのですが」と遠回しにした、さらに丁寧な形。見分け方：丁寧さの度合い。I wonder if ~ 型では if の後ろが S V（you could help）になる点に注意。

0983 □□□

A: I think we should cancel the trip. B: ———— The weather will be fine.

① I couldn't agree more.
② I'm afraid I don't agree.
③ I'm afraid so.
④ That's a good point.

② I'm afraid I don't agree. 残念ですが賛成できません

訳 A：旅行は中止したほうがいいと思う。 B：残念だけど、私は賛成できないな。天気はよくなるよ。

解説 中止しようという意見に「天気は大丈夫だ」と反論しているので I'm afraid I don't agree.。I couldn't agree more は「大賛成」、I'm afraid so は「残念ながらそうだ」、That's a good point は「いい指摘だ」で、どれも反論の前置きにならない。

区別 **I'm afraid I don't agree. ⇔ I couldn't agree more.** I couldn't agree more は「これ以上賛成できないほど賛成」＝大賛成。I'm afraid I don't agree は反対。見分け方：否定語が入っていても couldn't agree more は強い賛成。後ろの文が反対の理由なら don't agree。

0984 □□□

A: I got into the university I wanted! B: Congratulations! I'm so happy ———— you.

① for ② with
③ to ④ at

① I'm happy for you.
（あなたのことで）本当によかったね

訳 A：行きたかった大学に受かったよ！ B：おめでとう！自分のことのようにうれしいよ。

解説 相手の合格を一緒に喜ぶのは be happy for 人。happy with you は「あなたに満足している」で合格の知らせへの反応にならない。happy to は不定詞、happy at は場所・出来事に使い、you を続けて「あなたのことで」の意味にならない。

区別 **I'm happy for you. ⇔ be happy with ~** be happy with ~ は「～に満足している」（I'm happy with my new car.）。be happy for 人 は「（人の良いこと）を喜ぶ」。見分け方：相手の成功を喜ぶなら for、自分の持ち物・結果への満足なら with。

0985 □□□

A: Do I need to take a taxi to the museum? B: No, it's ———— walking distance.

① in ② on
③ within ④ by

③ It's within walking distance.
歩いて行ける距離です

訳 A：博物館まではタクシーに乗る必要がありますか。 B：いいえ、歩いて行ける距離ですよ。

解説 「歩いて行ける距離（の範囲内）だ」は within walking distance。範囲の内側を表す within が決まった形。in / on / by は walking distance と組んでこの意味にならない。タクシーはいらないという流れにも合う。

区別 **It's within walking distance. ⇔ It's just around the corner.** just around the corner は「すぐそこ」でごく近い。within walking distance は「歩いて行ける範囲」で、少し歩くこともある。見分け方：目と鼻の先なら around the corner、徒歩圏内という程度なら within walking distance。

0986 □□□

A: Have a good weekend! B: Thanks. ＿＿＿＿

① Same to you.　② Me too.
③ The same as you.　④ That's the same.

① Same to you. あなたもね

訳 A：よい週末を！　B：ありがとう。あなたもね。

解説 「良い週末を」に「あなたもね」と返すので Same to you.。Me too は「私も」で、相手の願いを返す返事にならない。The same as you（あなたと同じ）、That's the same（それは同じだ）も決まった返事ではない。

区別 **Same to you. ⇔ Me too.** Me too は「私も（同じだ）」と、相手の言ったことが自分にも当てはまるときに使う（I'm hungry. — Me too.）。Same to you は相手の願い・あいさつを相手に返す。見分け方：相手への願いを返すなら Same to you / You too。

0987 □□□

A: Ken is taller than you now. B: ＿＿＿＿ Height isn't everything.

① So far, so good.　② So do I.
③ So long.　④ So what?

④ So what? それがどうしたの？

訳 A：もう健のほうが君より背が高いね。　B：だから何？背の高さがすべてじゃないよ。

解説 「背が抜かれた」と言われて「それがどうした、身長がすべてじゃない」と突き放すので So what?。So far, so good は「今のところ順調」、So do I は「私もそうだ」、So long は「さようなら」で、流れに合わない。

区別 **So what? ⇔ What for?** What for? は「何のために？」と目的を聞く質問。So what? は「それがどうした」と相手の話の重要性を否定する。見分け方：理由・目的を知りたいなら What for?、気にしないと言いたいなら So what?。

0988 □□□

A: Have you seen Tom lately? B: No, but... oh, ＿＿＿＿ Here he comes!

① speaking of which.
② speak of the devil.
③ talk to the hand.
④ that rings a bell.

② Speak of the devil. 噂をすれば影

訳 A：最近トムに会った？　B：いや、でも……あ、噂をすれば影だ。こっちに来るよ！

解説 話題にしていたトムが現れたので「噂をすれば」の speak of the devil.。speaking of which は「そう言えば」と話題をつなぐ言葉で、人が現れた驚きを表さない。talk to the hand は「聞きたくない」、that rings a bell は「聞き覚えがある」。

区別 **Speak of the devil. ⇔ speaking of ~** speaking of ~ は「～と言えば」と話題をつなげたり変えたりする。Speak of the devil は話題の人が実際に現れたときの決まり文句。見分け方：その人が登場したなら Speak of the devil、話題を移すだけなら speaking of。

0989 □□□

A: I can't go to the concert because I'm sick. B: ＿＿＿＿ You were looking forward to it.

① What a relief!
② What a coincidence!
③ What a pity!
④ What a surprise!

③ What a pity! なんて残念な

訳 A：病気でコンサートに行けないんだ。 B：それは残念だね！楽しみにしていたのに。

解説 楽しみにしていたコンサートに病気で行けないので「残念だね」の What a pity!。What a relief は「ほっとした」、What a coincidence は「なんて偶然」、What a surprise は「びっくり」で、気の毒に思う気持ちを表さない。

区別 **What a pity! ⇔ What a relief!** What a relief は「ほっとした」と心配が消えたときの言葉。What a pity は「残念だ」と悪い知らせへの言葉。見分け方：良い結果なら relief、残念な結果なら pity。What a ＋ 名詞! の形が同じなので名詞の意味で判断する。

0990 □□□

A: I'm so nervous about my speech tomorrow. B: Don't worry. ＿＿＿＿ You've practiced a lot.

① You did it.
② You can't do it.
③ You can do it.
④ You don't have to.

③ You can do it. 君ならできる

訳 A：明日のスピーチ、すごく緊張しているんだ。 B：心配しないで。君ならできるよ。たくさん練習したじゃない。

解説 明日のスピーチに緊張している相手を「大丈夫、君ならできる、たくさん練習したじゃない」と励ますので You can do it.。You did it は成功した後の言葉で、まだ明日のことには合わない。You can't do it は逆、You don't have to は「しなくていい」。

区別 **You can do it. ⇔ You did it!** You did it! は成功した後に「やったね！」と喜ぶ言葉。You can do it は挑戦の前に「できるよ」と励ます言葉。見分け方：結果が出る前なら can do、出た後なら did。

0991 □□□

A: Why is the train so late today? B: ＿＿＿＿ Nobody has told us anything.

① Beat it.
② You beat me.
③ I beat you.
④ Beats me.

④ Beats me. さっぱり分からない；知らないよ

訳 A：今日はどうして電車がこんなに遅れているの？ B：さっぱり分からないよ。誰も何も教えてくれないんだ。

解説 電車が遅れている理由を聞かれて「分からない、誰も何も知らせてくれない」と答えるので Beats me.。Beat it は「出て行け」、You beat me は「あなたの勝ち」、I beat you は「私の勝ち」で、分からないという答えにならない。

区別 **Beats me. ⇔ Beat it.** Beat it は「あっちへ行け・失せろ」と追い払う乱暴な言葉。Beats me は「分からない」。見分け方：s が付いて me で終われば「分からない」、it で終われば「出て行け」。

0992 □□□

A: ＿＿＿＿ I won the lottery! B: No way! Really?

① I guess so.
② Guess who?
③ Guess what!
④ What's the guess?

③ Guess what! ねえ、聞いて！；何だと思う？

訳 A：ねえ聞いて！宝くじが当たったんだ！　B：まさか！本当？

解説 宝くじが当たったというニュースを切り出す前置きなので Guess what!（ねえ聞いて）。I guess so は相手の言葉への同意で、自分のニュースの前には置かない。Guess who? は「誰だと思う？」で人を当てさせる言葉。What's the guess? は決まり文句ではない。

区別 **Guess what! ⇔ I guess so.** I guess so は「たぶんそうだね」と控えめに同意する返事。Guess what は自分から話を切り出す言葉。見分け方：相手の質問への答えなら I guess so、自分のニュースの前置きなら Guess what。

0993 □□□

(In a taxi) A: ＿＿＿＿ That will be 2,000 yen. B: Thank you. Keep the change.

① Here we go.
② Here we are.
③ Here I come.
④ Here's to you.

② Here we are. さあ着いた；ほら、あった

訳 （タクシーで）A：着きましたよ。2,000円になります。　B：ありがとう。お釣りはとっておいてください。

解説 タクシーの運転手が目的地に着いて料金を言う場面なので Here we are.（さあ着きました）。Here we go は「さあ行くぞ」で出発の言葉、Here I come は「今行くよ」、Here's to you は乾杯の言葉で、到着を表さない。

区別 **Here we are. ⇔ Here you are.** Here you are は物を手渡すときの「はい、どうぞ」。Here we are は（一緒に）目的地に着いた・探し物が見つかったときの言葉。見分け方：相手に物を渡すなら you、一緒に着いたなら we。

0994 □□□

A: Do you think it will rain tomorrow? B: ＿＿＿＿ Look at those dark clouds.

① I guess so.
② I guess not.
③ I'm not so sure.
④ Guess what.

① I guess so. たぶんそうだね；まあそうかな

訳 A：明日は雨が降ると思う？　B：そう思うよ。あの黒い雲を見て。

解説 黒い雲を根拠に「たぶん降るね」と同意するので I guess so.。I guess not は「降らないと思う」で根拠と矛盾する。I'm not so sure（それはどうかな）も黒い雲と合わない。Guess what は話を切り出す言葉で答えにならない。

区別 **I guess so. ⇔ I guess not.** I guess not は「たぶんそうじゃないね」と控えめな否定。I guess so は控えめな肯定。見分け方：後ろに続く根拠が肯定の方向なら so、否定の方向なら not。× I don't guess so は不自然で、否定は I guess not。

0995 □□□

A: I always get sleepy after lunch. B: I know ＿＿＿＿ you mean. Me too.

① that　② which
③ how　④ what

④ I know what you mean.
分かるよ（私も同じ気持ち）

訳 A：お昼ご飯の後はいつも眠くなるんだ。　B：言いたいことは分かるよ。私もそう。

解説 「あなたの言いたいこと」は what you mean（what＝～すること）。that は後ろが完全な文のときに使うが、mean の目的語が抜けているので入らない。which は先行詞が必要、how では「どのように言いたいか」となり意味がずれる。

区別 **I know what you mean. ⇔ I see what you mean.** I see what you mean は説明を聞いて「言いたいことが分かった」と理解を示す（同意しない場合もある）。I know what you mean は「（私も経験があるから）よく分かる」と共感する。見分け方：自分も同じ経験を続けるなら know。

0996 □□□

A: Thank you for the scarf. It's beautiful! B: ＿＿＿＿

① I'm glad you like it.
② I'm glad to meet you.
③ I'm sorry to hear that.
④ I like it, too.

① I'm glad you like it. 気に入ってもらえてうれしいです

訳 A：マフラーをありがとう。すてきだね！　B：気に入ってもらえてうれしいよ。

解説 贈ったスカーフへのお礼に「気に入ってもらえてうれしい」と返すので I'm glad you like it.。I'm glad to meet you は初対面のあいさつ、I'm sorry to hear that は悪い知らせへの言葉。I like it, too は自分も気に入っているという意味で、贈り主の返事として不自然。

区別 **I'm glad you like it. ⇔ I'm glad to hear that.** I'm glad to hear that は相手の知らせ全般に「それを聞いてうれしい」。I'm glad you like it は自分が贈った・作った物を気に入ってもらえたときの返事。見分け方：プレゼントへのお礼の返事なら you like it。

0997 □□□

＿＿＿＿ to bother you, but could you tell me the time?

① I'm afraid　② I'm sorry
③ Excuse　④ Never mind

② I'm sorry to bother you. お邪魔してすみません

訳 お手数をおかけしてすみませんが、今何時か教えていただけますか。

解説 話しかける前に「お邪魔してすみません」と詫びるのは I'm sorry to bother you。I'm afraid to ~ は「～するのが怖い」になり意味が合わない。Excuse は Excuse me の形で使い to bother を続けない。Never mind は「気にしないで」。

区別 **I'm sorry to bother you. ⇔ Don't bother.** Don't bother は「わざわざしなくていいよ」と相手の手間を断る言葉。I'm sorry to bother you は自分が相手の手間を取らせることを詫びる言葉。見分け方：話しかける側が言うなら sorry to bother、申し出を断るなら Don't bother。

0998 □□□

I've ＿＿＿＿ a cold, so I'll stay home today.

① taken　② made
③ caught　④ done

③ I've caught a cold. 風邪をひきました

訳 風邪を引いたので、今日は家にいます。

解説 「風邪をひく」は catch a cold で、現在完了の過去分詞 caught。take a cold / make a cold / do a cold という言い方はない。病気に「かかる」の catch を問う問題。

区別 **I've caught a cold. ⇔ have a cold** have a cold は「風邪をひいている」状態。catch a cold は「風邪をひく」動作。見分け方：いつひいたかを言うなら catch（I caught a cold yesterday）、今の状態なら have。I've caught a cold は動作の結果として今も風邪、で両方の意味が重なる。

0999 □□□

A: What do you think of the new building? B: ＿＿＿＿, it's too big for this town.

① If I ask you　② Let me ask you
③ Ask me anything　④ If you ask me

④ If you ask me, ~. 私に言わせれば~

訳 A：新しいビルをどう思う？　B：私に言わせれば、この町には大きすぎるね。

解説 意見を聞かれて「私に言わせれば、大きすぎる」と述べるので If you ask me。If I ask you は主語と目的語が逆で「私があなたに聞けば」になる。Let me ask you は質問の前置き、Ask me anything は「何でも聞いて」で意見の前置きにならない。

区別 **If you ask me, ~. ⇔ May I ask you ~?** May I ask you ~? は相手に質問してよいか尋ねる言葉。If you ask me は「（私の意見を）聞かれれば」と自分の意見を述べる前置き。見分け方：自分の考えを言うなら If you ask me、相手に聞くなら May I ask you。

1000 □□□

A: Well, I have to go now. ＿＿＿＿ B: Nice meeting you, too.

① How do you do?
② Long time no see.
③ It was nice meeting you.
④ Let me introduce myself.

③ It was nice meeting you. お会いできてよかったです

訳 A：さて、もう行かなくちゃ。お会いできてよかったです。
B：こちらこそ、お会いできてよかったです。

解説 別れ際で、B が Nice meeting you, too と返しているので It was nice meeting you.。How do you do? と Let me introduce myself は初対面のあいさつ・自己紹介で別れの言葉ではない。Long time no see は久しぶりに会ったときの言葉。

区別 **It was nice meeting you. ⇔ Nice to meet you.** Nice to meet you は初めて会った瞬間のあいさつ「はじめまして」。It was nice meeting you は別れ際に「会えてよかった」。見分け方：会ったときは to meet、別れるときは was ... meeting（過去形と動名詞）。

1001 □□□

A: Who were you talking to on the phone? B: It's ＿＿＿＿ of your business.

① none　② nothing
③ no　④ not

① It's none of your business. あなたには関係ない

訳 A：電話で誰と話していたの？　B：あなたには関係ないでしょう。

解説 「あなたには関係ない」は It's none of your business。of your business と組んで「~のうちの一つもない」を表すのは none。nothing of / no of / not of という形は成り立たない。

注意 ＝ Mind your own business. That's none of your business. の形でも。

1002 ☐☐☐

A: Let me pay for dinner. B: No, no. ＿＿＿＿ Let's each pay for our own food.

① Keep the change.
② Let's eat out.
③ It's on the house.
④ Let's go Dutch.

④ Let's go Dutch. 割り勘にしよう

訳 A：夕食代は私に払わせて。 B：いやいや、割り勘にしよう。それぞれ自分の分を払おうよ。

解説 おごると言う相手に「いやいや、割り勘にしよう、自分の分は自分で」と言うので Let's go Dutch.。Keep the change は「おつりはどうぞ」、Let's eat out は「外食しよう」、It's on the house は店側の「サービスです」で、場面に合わない。

区別 **Let's go Dutch. ⇔ It's on the house.** It's on the house は店側が「サービスです（無料）」と言う言葉。Let's go Dutch は客同士で割り勘にする提案。見分け方：店員が言う無料なら on the house、友人同士の支払いなら go Dutch。

1003 ☐☐☐

A: I failed the audition. B: ＿＿＿＿ You learned a lot from it.

① Look out.
② Look on the bright side.
③ Look who's talking.
④ Look it up.

② Look on the bright side.
良い面を見よう；前向きに考えよう

訳 A：オーディションに落ちちゃった。 B：いい面を見ようよ。そこからたくさんのことを学んだじゃない。

解説 オーディションに落ちた相手に「良い面を見ようよ、多くを学んだじゃない」と励ますので Look on the bright side.。Look out は「危ない」、Look who's talking は「人のことを言えるの？」、Look it up は「調べて」で、励ましにならない。

区別 **Look on the bright side. ⇔ Look out!** Look out! は「危ない！・気をつけて」と危険を知らせる言葉。Look on the bright side は「良い面を見て」と励ます言葉。見分け方：危険が迫っているなら Look out、落ち込んでいる人には Look on the bright side。

1004 ☐☐☐

A: Thank you for coming to my party. B: ＿＿＿＿ I had a great time.

① Thank you for coming.
② Thanks for having me.
③ You're welcome to come.
④ Come again.

② Thank you for coming. 来てくれてありがとう

訳 A：私のパーティーに来てくれてありがとう。 B：招いてくれてありがとう。とても楽しかったよ。

解説 主催者の「来てくれてありがとう」に、客が「呼んでくれてありがとう、楽しかった」と返すので Thanks for having me.。Thank you for coming と Come again は主催者側の言葉。You're welcome to come は「来てもいいよ」で、客の返事にならない。

区別 **Thank you for coming. ⇔ Thanks for having me.** Thanks for having me は招かれた客が主催者に言う「呼んでくれてありがとう」。Thank you for coming は主催者が客に言う。見分け方：言う人が主催者か客か。会話問題ではこの二つの受け答えを組み合わせる形が多い。

1005 □□□

A: I failed the exam, but I'll try again next year. B: _____ Never give up.

① That's a relief!
② That's a pity!
③ That's the spirit!
④ That's my fault!

③ That's the spirit. その意気だ；その調子

訳 A：試験に落ちたけど、来年また挑戦するよ。 B：その意気だよ！絶対に諦めないでね。

解説 不合格でも来年また挑戦するという前向きな姿勢をほめるので That's the spirit!。That's a relief は「ほっとした」で不合格と合わない。That's a pity は「残念」で励ましにならず、Never give up とつながらない。That's my fault は「私のせい」。

区別 **That's the spirit. ⇔ Way to go!** Way to go! は成功した結果を「よくやった」とほめる。That's the spirit は結果に関係なく、前向きな姿勢・やる気をほめる。見分け方：失敗後に「また頑張る」と言った相手には That's the spirit。

1006 □□□

A: _____ B: Just some water, please.

① Can I have something to drink?
② Would you like to drink?
③ Can I get you something to drink?
④ Do you drink something?

③ Can I get you something to drink?
何かお飲み物はいかがですか

訳 A：何かお飲み物をお持ちしましょうか。 B：お水だけお願いします。

解説 B が「水をお願いします」と答えているので、A は飲み物を勧める側の Can I get you something to drink?。Can I have something to drink? は自分がもらう依頼で、B の答えと合わない。Would you like to drink? は目的語がなく不完全、Do you drink something? は不自然。

区別 **Can I get you something to drink? ⇔ Can I have something to drink?** Can I have ~? は客が「～をもらえますか」と頼む言葉。Can I get you ~? はもてなす側が「～をお持ちしましょうか」と勧める言葉。見分け方：you が入れば相手のために取ってくる申し出、I have なら自分がもらう依頼。

1007 □□□

A: Have you seen my umbrella? B: Come to _____ of it, I saw it in the car.

① remember ② mind
③ thought ④ think

④ Come to think of it, ~. そういえば～

訳 A：私の傘、見なかった？ B：そう言えば、車の中で見たよ。

解説 「そういえば」は Come to think of it。think of ~（～のことを考える）の think が入る。remember は of を取らず（remember it）、mind は動詞では of を取らない。thought は名詞・過去形で come to の後ろの原形にならない。

区別 **Come to think of it, ~. ⇔ That reminds me.** That reminds me は相手の話がきっかけで「それで（別の用事を）思い出した」と言う。Come to think of it は自分で考えているうちに「そういえば」と気付く。見分け方：後ろに思い出した内容がそのまま続く文頭の前置きなら Come to think of it。

1008 ☐☐☐

A: Shall I make you some coffee? B: ＿＿＿＿ I'm leaving soon.

① Don't mention it.
② Don't bother.
③ Don't give up.
④ Don't get me wrong.

② Don't bother. わざわざいいよ；おかまいなく

訳 A：コーヒーを入れましょうか。 B：お構いなく。もうすぐ出ますので。

解説 コーヒーをいれようかという申し出に「わざわざいいよ、すぐ帰るから」と断るので Don't bother.。Don't mention it は「どういたしまして」、Don't give up は「あきらめないで」、Don't get me wrong は「誤解しないで」で、申し出への返事にならない。

区別 **Don't bother. ⇔ I'm sorry to bother you.** I'm sorry to bother you は自分が相手に手間をかけることを詫びる前置き。Don't bother は相手に手間をかけさせないよう断る言葉。見分け方：申し出を断るなら Don't bother、話しかける前の詫びなら sorry to bother you。

1009 ☐☐☐

A: Thanks for buying my ticket. ＿＿＿＿ B: Ten dollars.

① How much do I owe you?
② How much do you owe me?
③ How would you like to pay?
④ How much is it worth?

① How much do I owe you?
おいくらですか；いくら払えばいい？

訳 A：チケットを買ってくれてありがとう。いくら払えばいい？ B：10ドルだよ。

解説 チケットを立て替えてもらった A が「いくら払えばいい？」と聞くので How much do I owe you?。How much do you owe me? は主語と目的語が逆で、A が貸したことになる。How would you like to pay? は支払い方法を聞く店員の言葉、How much is it worth? は価値を聞く質問。

区別 **How much do I owe you? ⇔ How would you like to pay?** How would you like to pay? は店員が支払い方法（現金・カード）を聞く言葉。How much do I owe you? は客が金額を聞く言葉。見分け方：答えが金額なら How much、方法なら How would you like to pay。

1010 ☐☐☐

A: I didn't bring an umbrella, and now I'm soaking wet. B: ＿＿＿＿ You should have listened to me.

① I didn't tell you.
② Tell me about it.
③ I told you so.
④ You told me so.

③ I told you so. だから言ったでしょ

訳 A：傘を持ってこなかったら、びしょぬれになっちゃった。 B：だから言ったでしょう。私の言うことを聞いておけばよかったのに。

解説 傘を持って行かずにずぶぬれになった相手に「だから言ったでしょ、言うことを聞けばよかったのに」と言うので I told you so.。I didn't tell you は「言わなかった」で矛盾する。Tell me about it は同意の言葉、You told me so は「あなたがそう言った」で立場が逆。

区別 **I told you so. ⇔ Tell me about it.** Tell me about it は相手の不満に「本当にそうだね」と同意する言葉。I told you so は「忠告したのに」と言う言葉。見分け方：相手の失敗を自分が予言していたなら I told you so、自分も同じ経験で共感するなら Tell me about it。

1011 □□□

A: You forgot my birthday again! B: I'm really sorry. I'll make it ＿＿＿＿ to you.

① out　② for
③ over　④ up

④ I'll make it up to you.　埋め合わせをするよ

訳 A：また私の誕生日を忘れたでしょう！　B：本当にごめん。この埋め合わせはするよ。

解説 「埋め合わせをするよ」は make it up to 人。make it out は「理解する・うまくいく」、make it over は「作り直す」で意味が違う。for は make up for ~ の形で使うもので、make it for to you にはならない。

区別 **I'll make it up to you.** ⇔ **make up for ~**　make up for ~ は「（損失・遅れ）を埋め合わせる」で、後ろに埋め合わせる物事を置く（make up for lost time）。make it up to 人 は「（迷惑をかけた）人に償う」。見分け方：to の後ろが人なら make it up to、for の後ろが物事なら make up for。

1012 □□□

A: ＿＿＿＿ I should go home now. B: OK. See you tomorrow.

① It's getting late.
② It's getting early.
③ It's late for you.
④ It was late yesterday.

① It's getting late.　もう遅くなってきた

訳 A：もう遅くなってきたね。そろそろ家に帰らなくちゃ。　B：分かった。また明日ね。

解説 「もう遅くなってきたから帰らなきゃ」と帰る前置きにしているので It's getting late.。It's getting early は意味が通らない。It's late for you（あなたには遅い）、It was late yesterday（昨日は遅かった）も、今帰る理由にならない。

区別 **It's getting late.** ⇔ **I'm running late.**　I'm running late は「（予定に）遅れそうだ」と自分が遅刻しそうなことを伝える。It's getting late は時刻が遅くなってきたという状況。見分け方：主語が it で夜が更けたなら getting late、主語が I で約束に遅れそうなら running late。

1013 □□□

A: What's wrong? Do you want to talk about it? B: No. Just leave me ＿＿＿＿.

① lonely　② alone
③ only　④ along

② Leave me alone.　放っておいて

訳 A：どうしたの？話を聞こうか？　B：いい。放っておいて。

解説 「放っておいて」は leave me alone。alone は「一人で」の状態を表す。lonely は「寂しい」で、leave me lonely は「寂しくさせる」の意味になり決まり文句ではない。only / along は leave me の後ろに置いて状態を表さない。

区別 **Leave me alone.** ⇔ **let alone ~**　let alone ~ は否定文の後ろで「まして～ない」。leave me alone は「私を一人にしておいて」。見分け方：動詞が leave で目的語に人があれば「放っておいて」、否定文の後ろで let alone なら「まして」。

1014 □□□

Hello, everyone. Let me ＿＿＿＿ myself. My name is Aoi.

① introduce　② meet
③ show　④ tell

① Let me introduce myself. 自己紹介させてください

訳 皆さん、こんにちは。自己紹介させてください。私の名前は葵です。

解説 「自己紹介させてください」は Let me introduce myself。meet myself / show myself / tell myself は「自己紹介する」の意味にならない（show oneself は「姿を見せる」）。後ろで名前を言っていることからも introduce。

区別 **Let me introduce myself. ⇔ introduce A to B** introduce A to B は「A を B に紹介する」で、他の人を紹介するときの形（Let me introduce you to my sister.）。introduce myself は自分を紹介する。見分け方：目的語が myself なら自己紹介、人なら紹介。to の後ろは紹介される相手。

1015 □□□

A: It was great working with you. B: ＿＿＿＿ I hope we can work together again.

① Otherwise.　② Unlikely.
③ Likely.　④ Likewise.

④ Likewise. こちらこそ；私も同じです

訳 A：一緒に仕事ができて本当によかったです。　B：こちらこそ。また一緒に仕事ができるといいですね。

解説 「一緒に働けてよかった」に「こちらこそ、また一緒に働きたい」と同じ気持ちを返すので Likewise.。Otherwise は「そうでなければ」、Unlikely は「ありそうにない」、Likely は「ありそうだ」で、気持ちを返す言葉にならない。

区別 **Likewise. ⇔ Otherwise.** otherwise は「そうでなければ・それ以外の点では」で、条件や別の面を表す副詞。likewise は「同様に」で、同じ気持ちを返す。見分け方：like（同じ）か other（違う）か、語の中身で区別する。

1016 □□□

A: Can I bring my sister to the party?
B: Sure! ＿＿＿＿

① The sooner, the better.
② The more, the merrier.
③ The less, the better.
④ The more, the worse.

② The more, the merrier. 多ければ多いほど楽しい

訳 A：パーティーに妹を連れていってもいい？　B：もちろん！人数は多いほど楽しいよ。

解説 妹を連れてきていいか聞かれて「もちろん、多いほど楽しい」と歓迎するので The more, the merrier.。The sooner, the better は時期の話、The less, the better（少ないほど良い）と The more, the worse（多いほど悪い）は歓迎と逆で Sure! と矛盾する。

区別 **The more, the merrier. ⇔ The sooner, the better.** The sooner, the better は「早いほど良い」で時期の希望。The more, the merrier は「人数が多いほど楽しい」で参加の歓迎。見分け方：誰かを連れて来ていいか聞かれたら merrier、いつがいいか聞かれたら sooner。

1017 ☐☐☐

This is between you and ＿＿＿＿. Please don't tell anyone.

① I　② my
③ me　④ mine

③ This is between you and me.
これはここだけの話だよ

訳 これはここだけの話だよ。誰にも言わないでね。

解説 前置詞 between の後ろなので目的格の me。you and I は主格で、前置詞の後ろには置けない（会話で見かけても入試では誤り）。my は後ろに名詞が必要、mine は「私のもの」で意味が合わない。

区別 **This is between you and me. ⇔ between you and I**（誤り） 前置詞 between の後ろは目的格なので me が正しい。you and I と言う人もいるが、入試では誤りとして扱われる。見分け方：前置詞の後ろなら目的格（me / him / us）。

1018 ☐☐☐

A: Surprise! Happy birthday! B: Oh, ＿＿＿＿ I had no idea!

① what a pity!　② what a shame!
③ what a relief!　④ what a surprise!

④ What a surprise! びっくりした！；驚いた！

訳 A：サプライズ！誕生日おめでとう！ B：わあ、びっくりした！全然知らなかったよ！

解説 思いがけない誕生日のお祝いに「びっくりした、全然知らなかった」と驚くので what a surprise!。what a pity / what a shame は「残念だ」、what a relief は「ほっとした」で、サプライズへの反応にならない。

区別 **What a surprise! ⇔ What a pity!** What a pity は「残念だ」と悪い知らせへの言葉。What a surprise は驚き（多くはうれしい驚き）。見分け方：サプライズパーティーや思わぬ再会なら surprise、行けない・失敗したなら pity。

1019 ☐☐☐

A: Your socks don't match. B: ＿＿＿＿ Nobody will notice.

① Who knows?　② Who's there?
③ Who cares?　④ Who said so?

③ Who cares? 誰が気にするもんか；どうでもいい

訳 A：靴下が左右で違うよ。 B：構うもんか。誰も気づかないよ。

解説 靴下が左右違うと言われて「どうでもいいよ、誰も気付かない」と言うので Who cares?。Who knows? は「誰にも分からない」で、気にしないという意味にならない。Who's there? は「どなた？」、Who said so? は「誰がそう言ったの？」。

区別 **Who cares? ⇔ Who knows?** Who knows? は「誰にも分からない・さあね」と、答えが分からないことを表す反語。Who cares? は「誰も気にしない・どうでもいい」。見分け方：未来・答えが不明なら knows、重要でないなら cares。

1020 ☐☐☐

A: Is my ticket ready? B: Please ———— with me. The computer is very slow today.

① stand　② bear
③ put　④ keep

② Bear with me.

少々お待ちください；ちょっと辛抱してね

訳 A：私のチケットはできていますか。　B：少々お待ちください。今日はコンピューターがとても遅くて。

解説 コンピューターが遅いので「少々お待ちください」と頼むのは bear with me。stand with 人 は「人を支持する」、put with / keep with は熟語として「辛抱して待つ」の意味にならない。stand は「我慢する」の意味もあるが with は付けない。

区別 **Bear with me.** ⇔ **can't bear ~** can't bear ~ は「～に耐えられない」（I can't bear this noise.）で、目的語を直接取る他動詞。bear with 人 は「（人の遅れ・不手際に）我慢して付き合う」。見分け方：with があれば「辛抱して付き合って」、否定で目的語が続けば「耐えられない」。

1021 ☐☐☐

A: Could you pass me the salt? B: Sure. ————

① Here we are.　② Help yourself.
③ You're welcome.　④ Here you are.

④ Could you pass me the salt?

塩を取ってもらえますか

訳 A：塩を取ってもらえますか。　B：いいですよ。はい、どうぞ。

解説 塩を取ってと頼まれて手渡すときは Here you are.（はい、どうぞ）。Here we are は「さあ着いた」、Help yourself は「ご自由にどうぞ」で頼まれた物を渡す言葉ではない。You're welcome はお礼への返事。

区別 **Could you pass me the salt?** ⇔ **Here you are.** Here you are は頼まれた物を手渡すときの「はい、どうぞ」。Could you pass me ~? は頼む側の言葉。会話問題では、この依頼に対して Here you are. を選ぶ形がよく出る。

1022 ☐☐☐

A: Ha ha! Look at your funny hair! B: ———— It's not funny.

① Cut it out.　② Cut it short.
③ Go for it.　④ Keep it up.

① Cut it out. やめてよ；いい加減にして

訳 A：はは！その変な髪型を見てよ！　B：やめてよ。面白くないよ。

解説 髪型をからかわれて「やめてよ、面白くない」と言うので Cut it out.。Cut it short は「（話を）短く切り上げて」、Go for it は「頑張れ」、Keep it up は「その調子で続けて」で、からかいをやめさせる言葉にならない。

区別 **Cut it out.** ⇔ **cut out ~** cut out sugar / cut ~ out of the newspaper のように、目的語を取って「断つ・やめる」「切り抜く」。Cut it out. は命令文で、相手の行動を「やめろ」。見分け方：単独の命令文で相手への抗議なら Cut it out。

1023 □□□

A: How would you like your steak? B: ＿＿＿＿

① Medium, please.
② By credit card.
③ I like it very much.
④ Yes, I would.

① How would you like your steak?

ステーキの焼き加減はどうなさいますか

訳 A：ステーキの焼き加減はどうなさいますか。 B：ミディアムでお願いします。

解説 焼き加減を聞かれているので Medium, please.。By credit card は支払い方法の答え。I like it very much は How do you like ~?（気に入った？）への答えに近く、注文前の質問に合わない。Yes, I would は how の質問への答えにならない。

区別 **How would you like your steak? ⇔ How would you like to pay?** How would you like to pay? は支払い方法を聞く。How would you like your steak? は焼き加減の好みを聞く。見分け方：to ＋ 動詞なら行動の方法、名詞なら物の好み（調理法・飲み方）。答えも by card と medium で違う。

1024 □□□

A: Oh, it's already ten o'clock. ＿＿＿＿ B: OK. Thanks for coming.

① You'd better go.
② I'd better be going.
③ I'd rather stay.
④ I'm better.

② I'd better be going. そろそろ失礼します

訳 A：あ、もう10時だ。そろそろおいとましなくちゃ。 B：分かった。来てくれてありがとう。

解説 もう 10 時だと気付いた客が「そろそろ失礼します」と言い、主人が「来てくれてありがとう」と返しているので I'd better be going.。You'd better go は客が主人に言う言葉として不自然。I'd rather stay は「残りたい」で逆、I'm better は「（体調が）良くなった」。

区別 **I'd better be going. ⇔ You'd better ~.** You'd better ~ は相手に「～しないとまずいよ」と強く忠告する言い方で、目上には使わない。I'd better be going は自分が帰ることを言うやわらかい表現。見分け方：主語が I なら自分の行動、you なら相手への忠告。

1025 □□□

(The phone is ringing.) A: ＿＿＿＿ B: Thanks.

① I'll call it.　② I'll make it.
③ I'll get it.　④ I'll have it.

③ I'll get it. 私が出ます（電話・玄関）

訳 （電話が鳴っている）A：私が出るよ。 B：ありがとう。

解説 電話が鳴っていて「私が出る」と言うので I'll get it.。I'll call it は「それに電話する／それを～と呼ぶ」、I'll make it は「間に合う・うまくいく」、I'll have it は「それをもらう・食べる」で、電話に出る意味にならない。

区別 **I'll get it. ⇔ I got it.** I got it は「分かった（理解した）」の意味が中心。I'll get it は「（これから）私が出る・取る」。見分け方：電話やドアのベルが鳴った直後なら I'll get it、説明を聞いた後なら I got it。

1026 ☐☐☐

A: Let's go dancing tonight! B: Sorry, I'm not in the _____ for dancing. I'm tired.

① feeling ② mind
③ heart ④ mood

④ I'm not in the mood (for ~).
（～する）気分じゃない

訳 A：今夜踊りに行こうよ！ B：ごめん、踊る気分じゃないんだ。疲れているから。

解説 「今夜は踊る気分じゃない、疲れている」は be not in the mood for ~。in the feeling / in the mind / in the heart for ~ は決まり文句にならない。I'm tired と一時的な理由が続くので「気分」の mood が合う。

区別 **I'm not in the mood (for ~). ⇔ It's not my cup of tea.** It's not my cup of tea は「（もともと）好みではない」と好み自体を言う。I'm not in the mood は「今は気分が乗らない」と一時的な気持ちを言う。見分け方：tonight / now など今の話なら in the mood、ジャンルの好みなら cup of tea。

1027 ☐☐☐

A: Tom will definitely win the race. B: _____ Ken has been practicing a lot.

① I'm sure he will.
② I'm positive.
③ I'm not so sure about that.
④ I guess so.

③ I'm not so sure about that. それはどうかな

訳 A：トムは間違いなくそのレースに勝つよ。 B：それはどうかな。健もたくさん練習しているよ。

解説 トムが必ず勝つという意見に「それはどうかな、ケンもたくさん練習している」と疑問を示すので I'm not so sure about that.。I'm sure he will / I'm positive / I guess so はどれも賛成の言葉で、ケンの練習を理由に挙げる流れと矛盾する。

区別 **I'm not so sure about that. ⇔ I'm sure.** I'm sure (that) S V は「きっと～だ・確信している」。I'm not so sure about that は相手の確信に対して「そうとは限らないのでは」と疑う。見分け方：相手の断言に反論の理由が続くなら not so sure。

1028 ☐☐☐

A: (on the phone) Sorry, I'm _____ late. I'll be there in fifteen minutes. B: No problem.

① getting ② going
③ becoming ④ running

④ I'm running late. 遅れそうです

訳 A：（電話で）ごめん、遅れそうなんだ。15分で着くよ。 B：大丈夫だよ。

解説 待ち合わせに「遅れそう」と連絡するのは I'm running late。getting late は It's getting late の形で時刻が遅くなることを言い、人を主語にしない。going late / becoming late は決まり文句にならない。

区別 **I'm running late. ⇔ It's getting late.** It's getting late は「（夜が更けて）遅い時間になってきた」と時刻の状況を言う。I'm running late は自分が予定より遅れていることを言う。見分け方：主語が I で約束に遅れるなら running late。

1029 □□□

A: I heard Mr. Kato is going to retire next year. B: ＿＿＿＿ I didn't know that.

① Is that so?　② So what?
③ Is that all?　④ That's so.

① Is that so? そうなの？；へえ、そうなんだ

訳 A：加藤先生が来年退職するんだって。　B：そうなの？知らなかったよ。

解説 知らなかった知らせに「そうなの？知らなかった」と驚くので Is that so?。So what? は「それがどうした」と突き放す言葉、Is that all? は「それだけ？」、That's so は「その通りだ」と同意する言葉で、I didn't know とつながらない。

区別 **Is that so? ⇔ Is that all?** Is that all? は「それだけ？・それで全部？」と追加がないか確かめる。Is that so? は「そうなの？」と相手の話に驚く相づち。見分け方：知らなかった情報への反応なら so、量・内容が全部かを聞くなら all。

1030 □□□

A: Can you help me fix this bike? ＿＿＿＿ B: OK, sure.

① It won't be long to.
② It doesn't take a long.
③ It takes not long.
④ It won't take long.

④ It won't take long. 長くはかかりません

訳 A：この自転車を直すのを手伝ってくれる？長くはかからないから。　B：うん、いいよ。

解説 手伝いを頼みながら「長くはかからないから」と安心させるので It won't take long.。It won't be long to は before ~ が必要な形を崩していて誤り。It doesn't take a long は time が抜けていて、It takes not long は否定の語順が誤り。

区別 **It won't take long. ⇔ It won't be long before ~** It won't be long before S V は「まもなく～するだろう」で、後ろに出来事が続く。It won't take long は作業に「時間がかからない」。見分け方：be long before ＋ S V なら「まもなく」、take long なら所要時間。

1031 □□□

A: I'm going to the post office. B: Oh, ＿＿＿＿ I need to send a letter, too.

① that rings a bell.
② that reminds me.
③ I told you so.
④ that's not the point.

② That reminds me. それで思い出した

訳 A：郵便局に行ってくるね。　B：あ、それで思い出した。私も手紙を出さなくちゃ。

解説 郵便局に行くという話から自分も手紙を出す用事を思い出したので that reminds me.。that rings a bell は名前などに聞き覚えがあるときの言葉で、自分の用事を思い出す意味にならない。I told you so は「だから言ったでしょ」、that's not the point は「そこは問題じゃない」。

区別 **That reminds me. ⇔ That rings a bell.** That rings a bell は相手が出した名前・話そのものに「聞き覚えがある」。That reminds me は相手の話から「別のこと」を思い出す。見分け方：思い出した内容が別の用事なら reminds me、同じ名前の記憶なら rings a bell。

1032 □□□

A: Anything else? B: No, ＿＿＿＿. Thanks.

① that's the spirit　② that's a deal
③ that's a bargain　④ that's it

④ That's it. それだ；それで全部だ

訳 A：ほかに何かありますか。　B：いいえ、それで全部です。ありがとう。

解説 「ほかには？」と聞かれて「いいえ、それで全部です」と答えるので that's it。that's the spirit は「その意気だ」、that's a deal は「それで決まり」、that's a bargain は「お買い得だ」で、注文の締めくくりにならない。

区別 **That's it. ⇔ That's all.** That's all は「それで全部」の意味だけ。That's it は「それで全部」に加えて「それだ（正解）」「もうたくさんだ」の意味もある。見分け方：Anything else? への答えならどちらも可、正解・怒りの場面なら That's it。

1033 □□□

A: So you think my cooking is bad? B: No, no! ＿＿＿＿ I just said it was a little salty.

① I meant it.
② That's what I meant.
③ That's not what I meant.
④ I mean business.

③ That's not what I meant.
そういうつもりで言ったんじゃない

訳 A：じゃあ、私の料理がまずいって思っているの？　B：違う違う！そういう意味じゃないよ。少ししょっぱいって言っただけだよ。

解説 料理がまずいと誤解されたので「そういう意味じゃない、少ししょっぱいと言っただけ」と訂正する That's not what I meant.。I meant it（本気だ）と That's what I meant（そういう意味だ）は誤解を認めてしまう。I mean business は「本気だぞ」。

区別 **That's not what I meant. ⇔ I didn't mean it.** I didn't mean it はひどいことを言ったのを認めて「本気じゃなかった」と謝る。That's not what I meant は誤解を「そういう意味じゃない」と訂正する。見分け方：言った内容を取り消して謝るなら didn't mean it、受け取り方を正すなら not what I meant。

1034 □□□

A: Hi, Mike. What's new? B: ＿＿＿＿

① Not much. How about you?
② I'm new here.
③ It's brand-new.
④ Nothing is wrong with it.

① What's new? 何か変わったことある？；元気？

訳 A：やあ、マイク。何か変わったことある？　B：特にないよ。君は？

解説 あいさつの What's new? には「特に何も。君は？」と返すのが自然なので Not much. How about you?。I'm new here は「ここに来たばかり」、It's brand-new は「新品だ」と new の意味に引っ張られた答え。Nothing is wrong with it は「それは壊れていない」で、あいさつの返事にならない。

区別 **What's new? ⇔ What's wrong?** What's wrong? は相手の様子がおかしいときに「どうしたの？」と心配して聞く。What's new? は気軽なあいさつ。見分け方：会ったときの普通のあいさつなら What's new?、相手が元気がないなら What's wrong?。

1035 □□□

A: Will he ever come back to Japan?
B: ＿＿＿＿ Maybe someday.

① Who cares?　② Who's calling?
③ Who knows?　④ Who's next?

③ Who knows? 誰にも分からない；さあね

訳 A：彼はいつか日本に戻ってくるかな？　B：さあね。いつかは戻ってくるかもね。

解説 日本に戻ってくるか聞かれて「さあね、いつかは戻るかも」と答えるので Who knows?。Who cares? は「どうでもいい」で、Maybe someday と可能性を考える流れに合わない。Who's calling? は電話で相手を聞く言葉、Who's next? は「次は誰？」。

区別 **Who knows? ⇔ Who cares?** Who cares? は「どうでもいい・誰も気にしない」。Who knows? は「誰にも分からない」。見分け方：答えが分からないなら knows、重要でないと言うなら cares。どちらも疑問の形で否定を表す反語。

1036 □□□

A: You look ＿＿＿＿. Are you all right? B: I feel a little sick.

① paleness　② palely
③ pale　④ like pale

③ You look pale. 顔色が悪いよ

訳 A：顔色が悪いよ。大丈夫？　B：少し気分が悪いんだ。

解説 look（～に見える）の後ろには形容詞を置くので pale。paleness は名詞、palely は副詞で look の補語にならない。like pale は like の後ろに形容詞を置いていて誤り（look like の後ろは名詞）。

区別 **You look pale. ⇔ look like ～** look like の後ろは名詞（You look like a ghost.）、look の後ろは形容詞（You look pale.）。見分け方：後ろが形容詞なら like を付けない。look like pale は誤り。

1037 □□□

A: Here's a little present for you. B: Oh, you ＿＿＿＿ have! Thank you so much.

① shouldn't　② mustn't
③ couldn't　④ wouldn't

① You shouldn't have.
そんなことしなくてよかったのに（ありがとう）

訳 A：これ、ちょっとしたプレゼントです。　B：まあ、そんなに気を遣わなくてよかったのに！本当にありがとう。

解説 プレゼントへのお礼の決まり文句は You shouldn't have!（そんなことしなくてよかったのに）。mustn't have は形として使わない。couldn't have / wouldn't have は「できなかっただろう」「しなかっただろう」で、お礼の言葉にならない。

区別 **You shouldn't have. ⇔ You should have ～.** You should have p.p. は「～すべきだったのに（しなかった）」と相手を責める・残念がる言い方。You shouldn't have は贈り物などへのお礼の決まり文句。見分け方：プレゼントを受け取った場面なら shouldn't have。

1038 ☐☐☐

A: How's everything? B: ———— Business is going well.

① Can't stand it. ② Can't complain.
③ Can't help it. ④ Can't wait.

② Can't complain. まあまあだよ；文句なしだ

訳 A：調子はどう？ B：まあまあだよ。仕事は順調だね。

解説 近況を聞かれて「文句なし、仕事も順調」と答えるので Can't complain.。Can't stand it は「我慢できない」、Can't help it は「仕方がない」で、順調という後ろの文と合わない。Can't wait は「待ちきれない」。

区別 **Can't complain. ⇔ Can't help it.** Can't help it は「仕方がない・どうしようもない」。Can't complain は調子を聞かれて「文句は言えない（順調）」。見分け方：近況への答えなら complain、避けられない事情なら help it。

1039 ☐☐☐

A: Tom has been studying all night. B: I ———— he's tired today.

① doubt ② wonder
③ hope ④ bet

④ I bet ~. きっと～だ

訳 A：トムは一晩中勉強していたよ。 B：きっと今日は疲れているね。

解説 一晩中勉強していたと聞いて「きっと今日は疲れている」と推測するので I bet。I doubt he's tired は「疲れていないと思う」で逆になる。I wonder は後ろに if 節が必要。I hope he's tired は「疲れていてほしい」で意味が不自然。

区別 **I bet ~. ⇔ You bet.** You bet は相手の質問・依頼への「もちろん」。I bet ~ は後ろに文を続けて「きっと～だ」と自分の推測を言う。見分け方：Yes の代わりの返事なら You bet、推測の文が続けば I bet。

1040 ☐☐☐

A: We'll have to work this weekend, won't we? B: ———— There's too much to do.

① I suppose not. ② I suppose so.
③ I'm supposed to. ④ Suppose it.

② I suppose so. まあそうでしょうね；仕方ないね

訳 A：今週末は働かなくちゃいけないよね？ B：そうだろうね。やることが多すぎるから。

解説 週末も働かなければならないか聞かれ「仕方ないね、やることが多すぎる」としぶしぶ同意するので I suppose so.。I suppose not は「たぶん違う」で理由と矛盾する。I'm supposed to は「～することになっている」で答えの形として不完全、Suppose it は意味が通らない。

区別 **I suppose so. ⇔ be supposed to do** be supposed to do は「～することになっている・～するはずだ」（I'm supposed to meet him at six.）。I suppose so は「そうだと思う」としぶしぶ同意する。見分け方：be 動詞と to do があれば予定・義務、so で終われば同意。

1041 □□□

A: Would you like some more cake? B: No, thank you. I've had ＿＿＿＿.

① plenty of　② much
③ too　④ enough

④ I've had enough. もうたくさんだ；もう十分だ

訳 A：ケーキをもう少しいかがですか。　B：いいえ、結構です。もう十分いただきました。

解説 おかわりを断って「もう十分いただきました」は I've had enough.。plenty of は後ろに名詞が必要で、ここで止めると不完全。much は肯定文で単独の目的語にするのは不自然、too は副詞で have の目的語にならない。

区別 **I've had enough. ⇔ That's enough.** That's enough は「もう十分だ・それくらいにして」と相手の行動を止めるときによく使う。I've had enough は自分が「もう十分（満腹・うんざり）」になったことを言う。見分け方：自分の状態なら I've had、相手を止めるなら That's enough。

1042 □□□

A: The forecast said it would be sunny all day, but look at this rain! B: ＿＿＿＿ the weather forecast!

① As much as　② So much for
③ Too much for　④ Much more than

② so much for ~
～についてはこれでおしまい；～なんてその程度のものだ

訳 A：予報では一日中晴れだと言っていたのに、この雨を見てよ！　B：天気予報なんて当てにならないね！

解説 予報が外れて雨が降った場面なので、皮肉の So much for ~!（～なんて当てにならないね）。Too much for ~ は「～の手に負えない」で、主語も動詞もなく文として成り立たない。As much as / Much more than は比較の表現で、名詞だけを続けても意味を成さない。

区別 **so much for ~ ⇔ too much for ~** so much for は「～はこれでおしまい／～なんてその程度」の決まり文句。too much for A は「A の手に負えない」（This job is too much for me.）。見分け方：文頭で話題を締めたり皮肉を言ったりするなら so much、be 動詞の後ろで負担が大きいなら too much。

1043 □□□

OK, everyone. ＿＿＿＿ Put your pens down.

① Take your time.　② Time flies.
③ Time's up.　④ On time.

③ Time's up. 時間切れです

訳 はい、皆さん。時間です。ペンを置いてください。

解説 「ペンを置いて」と続くので、試験終了の合図の Time's up.。Take your time は「ゆっくりどうぞ」で逆の意味。Time flies は「時がたつのは速い」、On time は「時間どおりに」で、終了の合図にならない。

区別 **Time's up. ⇔ Take your time.** Take your time は「ゆっくりでいいよ」と急がなくていいことを伝える。Time's up は「時間切れ」で作業をやめさせる。見分け方：終了の合図なら Time's up、余裕を与えるなら Take your time。

1044 ☐☐☐

A: ＿＿＿＿ The floor is wet. B: Thanks. I'll be careful.

① Watch your step.
② Watch your mouth.
③ Step by step.
④ Take a step.

① Watch your step. 足元に気をつけて

訳 A：足元に気をつけて。床がぬれているよ。 B：ありがとう。気をつけるね。

解説 床が濡れていると注意しているので「足元に気をつけて」の Watch your step.。Watch your mouth は「口のきき方に気をつけろ」、Step by step は「一歩ずつ」、Take a step は「一歩進んで」で、足元への注意にならない。

区別 **Watch your step. ⇔ Watch out!** Watch out! / Look out! は「危ない！」と、迫っている危険（車・落下物）全般を知らせる。Watch your step は足元の段差・滑りやすさに限った注意。見分け方：足元の話なら Watch your step、急な危険なら Watch out。

1045 ☐☐☐

A: ＿＿＿＿ I've decided to study abroad next year. B: Really? That's great!

① You know it.
② Do you know?
③ What do you know?
④ You know what?

④ You know what? あのね；実はね

訳 A：ねえ、聞いて。来年留学することに決めたんだ。 B：本当？すごいね！

解説 大事な決心を話す前に「あのね」と切り出すので You know what?。You know it は「その通り」と同意する言葉。Do you know? は目的語がなく不自然。What do you know? は「驚いた」「何が分かるの」の意味で、話の切り出しにならない。

区別 **You know what? ⇔ You know.** 文中の you know は「ほら・えっと」と言葉をつなぐ口癖で、特別な意味はない。You know what? は文頭で「あのね」と新しい話を切り出す合図。見分け方：what が付いて疑問の形で文頭にあれば切り出し。

確認テスト５　会話表現｜日本語に合うように、空所に１語を書き込もう（答えは赤字）

0872　「本当に優勝しちゃった！信じられない！」
“We actually won the championship! I can't **believe** it!”

0873　「明日一緒に夕食どう？」「行けたらいいんだけど。テストがあるんだ」
“Can you join us for dinner tomorrow?” “I **wish** I could. I have a test.”

0874　「何になさいますか」「チキンサラダとアイスティーにします」
“What would you like?” “I'll **have** the chicken salad and an iced tea.”

0875　「お待たせしてすみません。道がひどく混んでいて」
“I'm sorry to have kept you **waiting** . The traffic was terrible.”

0876　「カップ割っちゃってごめん」「大したことないよ。古いやつだから」
“Sorry I broke your cup.” “It's no big **deal** . It was an old one.”

0877　「ホラー映画好き？」「あんまり。私の好みじゃないんだ」
“Do you like horror movies?” “Not really. They're not my **cup** of tea.”

0878　「誰がレストランを予約する？」「任せて。いい店を知ってるから」
“Who's going to book the restaurant?” “ **Leave** it to me. I know a good place.”

0879　「窓を開けましょうか。少し空気がこもっていますね」「はい、お願いします」
“Shall I **open** the window? It's a bit stuffy.” “Yes, please.”

0880　「朝の電車ってすごく混んでるよね」「本当にね。毎日立ちっぱなしだよ」
“The trains are so crowded in the morning.” “ **Tell** me about it. I stand every day.”

0881　「リーさん、お仕事は何をされていますか」「町の病院で看護師をしています」
“ **What** do you do, Ms. Lee?” “I'm a nurse at a hospital downtown.”

0882　「事務所にお伺いしたいのですが、いつがご都合よろしいですか」
“I'd like to visit your office. When is it **convenient** for you?”

0883　「ピザキングですか」「いいえ、番号をお間違えのようです」
“Is this Pizza King?” “No, I'm afraid you have the **wrong** number.”

0884　「お先にどうぞ」「あら、ありがとうございます。ご親切に」
“ **After** you.” “Oh, thank you. That's very kind.”

0885　「今年はチームに選ばれなかったんだ」「次はきっとうまくいくよ」
“I didn't make the team this year.” “Better **luck** next time.”

0886　「すみません、お会計をお願いします」「かしこまりました。すぐお持ちします」
“Excuse me. Can I have the **check** , please?” “Certainly. I'll be right back.”

0887　「家中を私一人で掃除しろって？勘弁してよ！」
“You want me to clean the whole house by myself? Give me a **break** !”

0888　「とうとうジャンクフードをやめたよ」「えらいね！簡単じゃないのに」
“I finally quit eating junk food.” “ **Good** for you! That's not easy.”

0889 「私は魚料理にする。あなたは？」「同じものにするよ」
"I'm going to have the fish. How **about** you?" "I'll have the same."

0890 「20 ドルです。お支払いはどうなさいますか」「カードでお願いします」
"That's twenty dollars. How would you like to **pay** ?" "By card, please."

0891 「空港まで迎えに行くよ」「ありがとう、本当に助かるよ」
"I'll pick you up at the airport." "Thanks, I **really** appreciate it."

0892 「旅行についていい考えがあるんだ」「本当？ぜひ聞かせて」
"I have a great idea for our trip." "Really? I'm all **ears** ."

0893 「私が君なら、すぐに彼女に謝るよ」
"If I **were** you, I'd apologize to her right away."

0894 「お母さんが病気だって聞いたよ。何かできることはある？」
"I heard your mother is sick. Is there **anything** I can do?"

0895 「このコンピューターの説明書読める？」「いや、ちんぷんかんぷんだよ」
"Can you read this computer manual?" "No, it's all **Greek** to me."

0896 「サッカーに興味ある？」「あんまり。バスケットボールの方が好きなんだ」
"Are you interested in soccer?" "Not **really** . I prefer basketball."

0897 「また来週ね。気をつけて！」「そっちもね。バイバイ！」
"See you next week. Take **care** !" "You too. Bye!"

0898 「ねえ、今週末何するの？」「特に何も。どうして？」
"Hey, what are you **up** to this weekend?" "Nothing special. Why?"

0899 「来月フルマラソンを走ろうと思ってるんだ」「本気なの？」
"I'm thinking of running a full marathon next month." "Are you **serious** ?"

0900 「傘を借りてもいい？」「どうぞどうぞ。もう 1 本あるから」
"Can I borrow your umbrella?" "Be my **guest** . I have another one."

0901 「ゴルフはやったことがないんだ」「楽しいよ。やってみなよ！」
"I've never played golf before." "It's fun. Give it a **try** !"

0902 「ここから空港までどのくらいの距離ですか」「約 20 キロです」
"How **far** is it from here to the airport?" "About twenty kilometers."

0903 「すみません、お名前が聞き取れませんでした。つづりを教えていただけますか」
"Sorry, I didn't **catch** your name. Could you spell it for me?"

0904 「赤いシャツと青いシャツ、どっちがいい？」「どっちでもいいよ。どっちも似合ってる」
"Should I wear the red shirt or the blue one?" "It doesn't **matter** . Both look nice."

0905 「牛乳買った？」「あっ、ごめん。すっかり忘れてた」
"Did you buy the milk?" "Oh no, sorry. It completely **slipped** my mind."

0906 「夕飯を作ってくれたら、お皿は私が洗うよ」「それで決まり！」
"I'll wash the dishes if you cook dinner." "It's a **deal** !"

0907 「夕食はいくらだった？」「60 ドル。割り勘にしよう」
"How much was dinner?" "Sixty dollars. Let's **split** the bill."

0908 「ご家族によろしくね」「伝えておくよ。ありがとう」
"Say **hello** to your family for me." "I will. Thanks."

0909 「ごめんなさい、郵便局の場所は分からないんです」「大丈夫です。どうもありがとう」
"Sorry, I don't know where the post office is." "That's OK. Thanks **anyway** ."

0910 「クラスで一番の点を取ったよ！」「よくやったね！すごく頑張ったもんね」
"I got the highest score in the class!" "Well **done** ! You worked so hard."

0911 「なんでこんなに大勢外に立ってるの？何が起きてるの？」
"Why are all these people standing outside? What's **going** on?"

0912 「バスで行けば駐車場を探さなくていいよ」「それは一理あるね」
"If we take the bus, we won't have to look for parking." "You have a **point** ."

0913 「今度の土曜日にバーベキューを計画してるんだ」「私も入れて！飲み物持っていくよ」
"We're planning a barbecue next Saturday." "Count me **in** ! I'll bring some drinks."

0914 「学校の劇のオーディションを受けようかと思ってるんだ」「やってみなよ！」
"I'm thinking of trying out for the school play." " **Go** for it!"

0915 「今日、仕事の面接だったんだ」「本当？どうだった？」
"I had my job interview today." "Really? How did it **go** ?"

0916 「ひどいことを言うね！」「ごめん。本気で言ったんじゃないんだ」
"That was a terrible thing to say!" "I'm sorry. I didn't **mean** it."

0917 「デザインはいいけど、文字が小さすぎるね」「言いたいことは分かるよ」
"The design looks nice, but the letters are too small." "I see what you **mean** ."

0918 「ご飯できたよ！」「分かった、すぐ行く」
"Dinner's ready!" "OK, I'll be **right** there."

0919 「このセーターどう思う？」「よく似合ってるよ」
"What do you think of this sweater?" "It looks good **on** you."

0920 「うちの部に入らない？」「少し考えさせて。明日返事するね」
"Will you join our club?" "Let me **think** about it. I'll tell you tomorrow."

0921 「何してる？」「特に何も。家でテレビ見てるだけ」
"What's up?" "Not **much** . I'm just watching TV at home."

0922 「お大事にね。ゆっくり休んで」「ありがとう、そうするよ」
"Take care of **yourself** and get some rest." "Thanks, I will."

0923 「ミア・レーンっていう歌手知ってる？」「うーん、その名前は聞き覚えがあるな」
"Do you know a singer called Mia Lane?" "Hmm, that name **rings** a bell."

0924 「お医者さんは大したことないって」「ああ、ほっとした」
"The doctor said it's nothing serious." "Oh, that's a **relief** ."

0925 「この本を運ぶのを手伝ってもらえますか」「喜んで」
"Could you help me carry these books?" "With **pleasure** ."

0926 「かばんをお持ちしましょうか」「ご親切にありがとうございます」
"Would you like me to **carry** your bag?" "That's very kind of you."

0927 「もう少し大きな声で話してもらえますか。よく聞こえないんです」
"Could you speak **up** a little? I can't hear you very well."

0928 「ゲームのこのステージでずっと失敗してる」「あきらめないで！もう少しだよ」
"I keep failing this level of the game." "Don't **give** up! You're almost there."

0929 「おつりです。良い一日を！」「ありがとう、あなたも」
"Here's your change. Have a **nice** day!" "Thanks, you too."

0930 「この近くにコンビニはありますか」「はい、すぐそこの角を曲がったところです」
"Is there a convenience store near here?" "Yes, it's just around the **corner** ."

0931 「窓を割ったのは誰？」「僕のせいです。ボールを強く蹴りすぎました」
"Who broke the window?" "It's my **fault** . I kicked the ball too hard."

0932 「何人来るの？」「ええと...20 人くらいかな」
"How many people are coming?" "Let me **see** ... about twenty, I think."

0933 「もう 10 時間も働いてるよ。今日はここまでにしよう」
"We've been working for ten hours. Let's call it a **day** ."

0934 お会計は気にしないで。今日は私のおごりだよ。
Don't worry about the check. It's my **treat** today.

0935 「新しいアルバイトはどう？」「今のところ順調だよ。みんな親切だし」
"How's your new part-time job going?" "So **far** , so good. Everyone's friendly."

0936 「上着はいらない。寒くないもん」「好きにすれば。あとで風が強くなるよ」
"I don't want a jacket. I'm not cold." " **Suit** yourself. It'll be windy later."

0937 「レポートはいつ必要ですか」「早ければ早いほどいいです」
"When do you need the report?" "The **sooner** , the better."

0938 「私もサンホテルに泊まってるの」「本当？すごい偶然！」
"I'm staying at the Sun Hotel too." "Really? What a **coincidence** !"

0939 「やあマーク、今日はどうしたの？」「アドバイスが欲しくて」
"Hello, Mark. **What** can I do for you today?" "I need some advice."

0940 「やあサム！最近どうしてた？」「サッカーで忙しかったよ」
"Hey, Sam! What have you been **up** to lately?" "I've been busy with soccer."

0941 「サラが私に怒ってると思う」「どうしてそう思うの？」
"I think Sarah is angry with me." "What **makes** you think so?"

0942 「ここは初めてなんです。おすすめは何ですか」「魚料理がとてもおいしいですよ」
"It's my first time here. What would you **recommend** ?" "The fish is very good."

0943 「数学のテスト、難しすぎたね」「まったくだよ！半分も終わらなかった」
"The math test was way too difficult." "You **said** it! I couldn't finish half of it."

0944 「コーヒー１つとマフィンですね。ほかに何か？」「いえ、それで全部です」
"One coffee and a muffin. Anything **else** ?" "No, that's all, thanks."

0945 「ちょっといい？予定のことで話があるんだ」
"Do you have a **minute** ? I need to talk about the schedule."

0946 「誤解しないでね。君のアイデアは好きだけど、お金がかかりすぎるんだ」
"Don't get me **wrong** . I like your idea, but it's too expensive."

0947 「試験の心配なんてやめればいいよ」「言うのは簡単だけどね」
"Just stop worrying about the test." "That's easier said than **done** ."

0948 「チーズバーガーを１つください」「店内ですか、お持ち帰りですか」「持ち帰りで」
"One cheeseburger, please." "For **here** or to go?" "To go, please."

0949 「明日は海に行くよ！」「やった！待ちきれない！」
"We're going to the beach tomorrow!" "Yay! I can't **wait** !"

0950 「君のレポート、代わりに仕上げておいたよ」「本当？ありがとう、恩に着るよ」
"I finished your report for you." "Really? Thanks, I **owe** you one."

0951 「言いたいことは分かるけど、やっぱり高すぎると思う」
"I see your **point** , but I still think it's too expensive."

0952 「英作文をチェックしてもらえる？」「喜んで。今夜送って」
"Could you check my English essay?" "I'd be **happy** to. Send it to me tonight."

0953 「すみません、道に迷いました。地下鉄の駅はどこですか」
"Excuse me, I'm **lost** . Where is the subway station?"

0954 「すみません、話についていけていません。もっと簡単に説明してもらえますか」
"Sorry, I'm not **following** you. Could you explain it more simply?"

0955 「代わりに電車で行けばいいよ」「確かに。思いつかなかった」
"You could take the train instead." "That's true. It never **occurred** to me."

0956 「僕のいとこを知ってるの？いやあ、世間は狭いね！」
"You know my cousin? Wow, it's a small **world** !"

0957 「なんでそんな変な帽子をかぶってるの？」「余計なお世話だよ」
"Why are you wearing that strange hat?" "Mind your own **business** ."

0958 「新しいピザ屋はどうだった？」「悪くなかったよ。値段も手頃だった」
"How was the new pizza place?" "Not **bad** . The prices were reasonable too."

0959 「コーヒー２つとサンドイッチをお願いします」「かしこまりました。少々お待ちください」
"Two coffees and a sandwich, please." "You **got** it. Just a moment."

0960 信じられないかもしれないが、祖父は今でも毎朝10キロ走っている。
Believe it or not, my grandfather still runs ten kilometers every morning.

0961 「紅茶とコーヒー、どちらがいいですか」「どちらでも結構です、ありがとう」
"Would you like tea or coffee?" " **Either** is fine with me, thank you."

0962 「今日は行けないけど、明日なら手伝うよ」「それならいいよ。じゃあ明日ね」
"I can't come today, but I'll help you tomorrow." " **Fair** enough. See you then."

0963 「ご両親によろしくお伝えください」
"Please give my **regards** to your parents."

0964 「どうぞ入って。おかけください」「ありがとうございます」
"Come in, please. Have a **seat** ." "Thank you."

0965 「うちの犬の命を救ってくれて、感謝してもしきれません」
"You saved my dog's life. I can't thank you **enough** ."

0966 「図書館ですか？私も行くところです。ご案内しますよ」
"The library? I'm going there too. I'll **show** you the way."

0967 「君のチョコ全部食べちゃった。冗談だよ！冷蔵庫にあるよ」
"I ate all your chocolate. Just **kidding** ! It's in the fridge."

0968 「成績が毎月上がってるね。その調子で頑張って！」
"Your grades are getting better every month. Keep up the good **work** !"

0969 「今日の午後テニスしようよ」「ごめん、また今度ね。疲れてるんだ」
"Let's play tennis this afternoon." "Sorry, maybe some **other** time. I'm tired."

0970 「このコート、たった 30 ドルで買ったんだ」「わあ、お買い得だね！」
"I got this coat for only thirty dollars." "Wow, that's a **bargain** !"

0971 「ピクニックの計画の前に天気を確かめた方がいいね」「それはいい指摘だね」
"We should check the weather before we plan the picnic." "That's a **good** point."

0972 「ホテルにつながった？」「まだ。話し中なんだ」
"Did you reach the hotel?" "Not yet. The line is **busy** ."

0973 「よければ本は来週返すね」「いいよ。急がないから」
"I'll return your book next week, if that's OK." "Sure. There's no **hurry** ."

0974 「今日の試合で 2 点決めたよ！」「やったね！」
"I scored two goals in the game today!" " **Way** to go!"

0975 「お金を少し借りたいんだ」「何のために？」「新しいスマホを買うため」
"I need to borrow some money." "What **for** ?" "To buy a new phone."

0976 「明日のコンサート来る？」「もちろん！何か月も待ってたんだから」
"Are you coming to the concert tomorrow?" "You **bet** ! I've been waiting for months."

0977 「準備の手伝いに早めに来られる？」「もちろん。任せて」
"Can you come early to help set up?" "Sure. You can **count** on me."

0978 「学校をやめてユーチューバーになるよ」「本気じゃないよね！」
"I'm going to quit school and become a YouTuber." "You can't be **serious** !"

0979 「この咳がもう１週間続いてるんだ」「医者に診てもらったほうがいいよ」
"I've had this cough for a week." "You should see a **doctor** ."

0980 「折り返し電話するのを忘れてごめん」「もういいよ。今さら気にしてないから」
"I'm sorry I forgot to call you back." " **Forget** it. It doesn't matter now."

0981 「今日は具合はどう？」「ずっと良くなったよ、ありがとう。熱も下がった」
"How are you **feeling** today?" "Much better, thanks. The fever is gone."

0982 「レポートを手伝っていただけないかと思いまして」
"I was **wondering** if you could help me with my report."

0983 「学校では生徒はスマホを一切使うべきじゃない」「残念だけど賛成できないな」
"Students shouldn't use phones at school at all." "I'm **afraid** I don't agree."

0984 「奨学金がもらえたよ！」「素晴らしい！本当によかったね」
"I got the scholarship!" "That's wonderful! I'm really **happy** for you."

0985 「ホテルまでタクシーに乗る？」「いらないよ。歩いて行ける距離だから」
"Should we take a taxi to the hotel?" "No need. It's within **walking** distance."

0986 「素敵な休暇を！」「ありがとう。あなたもね！」
"Have a wonderful holiday!" "Thanks. **Same** to you!"

0987 「みんな新しいスマホを持ってるよ」「だから何？君のも問題なく使えるでしょ」
"Everyone else has a new phone." " **So** what? Yours works fine."

0988 「今日ケンはどこ？あっ、噂をすれば、来たよ！」
"Where's Ken today? Oh, speak of the **devil** , here he comes!"

0989 「博物館は今日休館だよ」「残念！本当に見たかったのに」
"The museum is closed today." "What a **pity** ! I really wanted to see it."

0990 「スピーチがすごく緊張する」「落ち着いて。君ならできるよ！」
"I'm so nervous about my speech." "Relax. You **can** do it!"

0991 なんで彼はあんなに急にパーティーから帰ったの？さっぱり分からない。
Why did he leave the party so suddenly? **Beats** me.

0992 「ねえ聞いて！コンサートのチケット取れたよ！」「うそ！すごい！」
" **Guess** what! I got tickets for the concert!" "No way! That's great!"

0993 「やっと着いたね。長いドライブだった」
"Here **we** are at last. That was a long drive."

0994 「念のため傘を持っていこうか？」「そうだね。空がどんよりしてるし」
"Should we take an umbrella just in case?" "I **guess** so. The sky looks gray."

0995 「月曜日っていつもだるくなるよね」「分かる。私もだよ」
"Mondays always make me feel tired." "I **know** what you mean. Me too."

0996 「このマフラー素敵。ありがとう！」「気に入ってもらえてよかった」
"This scarf is beautiful. Thank you!" "I'm **glad** you like it."

0997 「お邪魔してすみませんが、今何時か教えていただけますか」
"I'm sorry to **bother** you, but could you tell me the time?"

0998 「声が変だね」「風邪をひいたみたい」
"Your voice sounds strange." "I think I've **caught** a cold."

0999 「私に言わせれば、映画の方が原作よりずっと良かったよ」
"If you **ask** me, the movie was much better than the book."

1000 「では、そろそろ失礼します。お会いできてよかったです」「こちらこそ」
"Well, I have to go now. It was nice **meeting** you." "You too."

1001 「お金いくら持ってるの？」「あなたには関係ないでしょ！」
"How much money do you have?" "That's **none** of your business!"

1002 「夕食は私に払わせて」「いや、今回は割り勘にしようよ」
"Let me pay for dinner." "No, let's go **Dutch** this time."

1003 「試合に負けちゃった」「良い面を見ようよ。前よりずっといいプレーだったよ」
"We lost the game." "Look on the **bright** side. We played much better than last time."

1004 「はるばる会いに来てくれてありがとう」
"Thank you for **coming** all this way to see me."

1005 「落ちちゃったけど、来月また挑戦するよ」「その意気だ！」
"I failed, but I'll try again next month." "That's the **spirit** !"

1006 「どうぞおかけください。何かお飲み物はいかがですか」
"Please have a seat. Can I get you something to **drink** ?"

1007 「そういえば、去年の夏からマイクに会ってないな」
"Come to **think** of it, I haven't seen Mike since last summer."

1008 「コーヒーを入れようか？」「おかまいなく。もうすぐ帰るから」
"Shall I make you some coffee?" "Don't **bother** . I'm leaving soon."

1009 「チケットを買ってくれてありがとう。いくら払えばいい？」
"Thanks for buying my ticket. How much do I **owe** you?"

1010 「店、閉まってたよ」「だから言ったでしょ。日曜は早く閉まるって」
"The store was closed." "I **told** you so. It closes early on Sundays."

1011 「パーティーに行けなくてごめん。来週埋め合わせするよ」
"Sorry I missed your party. I'll **make** it up to you next week."

1012 「遅くなってきたね。終電に乗らなきゃ」
"It's getting **late** . I should catch the last train."

1013 「放っておいて。考える時間が欲しいの」
"Leave me **alone** . I need some time to think."

1014 「自己紹介させてください。ユキといいます。京都出身です」
"Let me **introduce** myself. My name is Yuki, and I'm from Kyoto."

1015 「お会いできて本当によかったです」「こちらこそ。また会えるといいですね」
"It was really nice to meet you." " Likewise . I hope we meet again."

1016 「パーティーに妹を連れてっていい？」「もちろん！人数が多いほど楽しいよ」
"Can I bring my sister to the party?" "Of course! The more, the merrier ."

1017 「ここだけの話だけど、私、部活をやめるつもりなの」
"This is between you and me, but I'm going to quit the club."

1018 「おばあちゃん！会いに来たよ」「まあ、びっくり！」
"Hi, Grandma! We came to visit you." "Oh, what a surprise !"

1019 「シャツとズボンが合ってないよ」「どうでもいいよ。家にいるだけだし」
"Your shirt doesn't match your pants." "Who cares ? I'm just staying home."

1020 パソコンで正しいファイルを探す間、少々お待ちください。
Please bear with me while I find the right file on my computer.

1021 「塩を取ってもらえますか」「はい、どうぞ」
"Could you pass me the salt, please?" "Sure. Here you are."

1022 「やめて！映画の間に私の椅子を蹴らないで」
" Cut it out! Stop kicking my chair during the movie."

1023 「ステーキの焼き加減はいかがなさいますか」「ミディアムでお願いします」
"How would you like your steak ?" "Medium, please."

1024 「あっ、もう 9 時だ。そろそろ失礼するね」
"Oh, it's already nine. I'd better be going."

1025 「誰か玄関に来てるよ」「私が出るよ」
"Someone's at the door." "I'll get it."

1026 「カラオケ行こうよ！」「ごめん、今夜はそんな気分じゃないんだ」
"Let's go to karaoke!" "Sorry, I'm not in the mood tonight."

1027 「この計画は絶対うまくいくよ」「それはどうかな。危ない気がする」
"This plan will definitely work." "I'm not so sure about that. It sounds risky."

1028 「ごめん、遅れそう。15 分で着くから」
"Sorry, I'm running late. I'll be there in fifteen minutes."

1029 「私たちの先生、昔プロのダンサーだったんだって」「そうなの？全然知らなかった」
"Our teacher used to be a professional dancer." "Is that so ? I had no idea."

1030 「ちょっと質問していい？すぐ済むから」
"Can I ask you a quick question? It won't take long ."

1031 「来月ハワイに行くんだ」「それで思い出した。新しい水着が要るんだった」
"We're going to Hawaii next month." "That reminds me. I need a new swimsuit."

1032 「答えは 12？」「それだよ！やっと解けたね」
"Is the answer twelve?" "That's it ! You finally solved the problem."

1033 「つまり私の料理がまずいってこと？」「違う、そういう意味じゃないよ！」
"So you think my cooking is bad?" "No, that's not what I **meant** !"

1034 「やあリサ。最近どう？」「別に。相変わらず勉強ばかり」
"Hi, Lisa. What's **new** ?" "Nothing much. Just studying as usual."

1035 「20 年後も友達でいるかな？」「どうだろうね。そうだといいな」
"Will we still be friends in twenty years?" "Who **knows** ? I hope so."

1036 「顔色が悪いよ。大丈夫？」「ちょっと頭痛がするんだ」
"You look **pale** . Are you feeling all right?" "I have a bit of a headache."

1037 「誕生日のささやかなプレゼントだよ」「まあ、気を使わなくてよかったのに！」
"Here's a little present for your birthday." "Oh, you **shouldn't** have!"

1038 「最近、商売の調子はどう？」「まあまあだよ。結構忙しい」
"How's business these days?" "Can't **complain** . We're pretty busy."

1039 「ケーキを見たら、きっと彼女は驚くよ」
"I **bet** she'll be surprised when she sees the cake."

1040 「今日、本当に部屋全部を掃除しなきゃいけないの？」「まあ、そうだろうね」
"Do we really have to clean the whole room today?" "I **suppose** so."

1041 「言い訳はもうたくさん。とにかく宿題をやりなさい！」
"I've had **enough** of your excuses. Just do your homework!"

1042 着いた途端に雨が降り出した。ピクニックもこれまでだ！
It started raining as soon as we arrived. So **much** for our picnic!

1043 「時間です。ペンを置いてください」
"Time's **up** . Please put your pens down."

1044 「足元に気をつけて。床がぬれてるよ」
"Watch your **step** . The floor is wet."

1045 「あのさ、部屋を青く塗ったらいいと思うんだ」
"You **know** what? I think we should paint the room blue."

CHAPTER 6

比喩のイディオムとことわざ

break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。 No.1046〜1181（136 問）

問題

1046 □□□

My sister and I get along well, but we don't always see eye to eye ＿＿＿＿ politics.

① with ② to
③ for ④ on

解答・解説（赤シートで隠せます）

④ see eye to eye (with A) （A と）意見が一致する

訳 姉［妹］と私は仲がよいが、政治については必ずしも意見が合うわけではない。

解説 意見が合う・合わない「話題」は on（または about）で示す。with は意見を合わせる相手の人に使う（see eye to eye with my sister）ので、politics の前には置けない。to / for は see eye to eye と組まない。否定文で使うのが典型。

区別 **see eye to eye (with A) ⇔ face to face** 同じ「名詞 to 名詞」の形だが、face to face は「面と向かって・対面で」と物理的に向き合う様子で、意見の一致は表さない。見分け方：意見・考えの話なら see eye to eye、会う・話す形なら face to face（meet face to face）。

1047 □□□

A: My job interview is tomorrow morning. B: Good luck! I'll keep my fingers ＿＿＿＿ for you.

① crossed ② crossing
③ cross ④ to cross

① keep one's fingers crossed
幸運を祈る；うまくいくように願う

訳 A：明日の朝、就職の面接があるんだ。 B：頑張って！うまくいくように祈ってるよ。

解説 keep ＋ O ＋ 過去分詞で「O を〜された状態に保つ」。指は「交差された」状態なので crossed が正しい（keep the door locked と同じ形）。crossing だと指が自分で交差し続ける意味になり不自然。cross / to cross は keep O の後ろに置けない。

区別 **keep one's fingers crossed ⇔ cross one's mind** 同じ cross でも cross one's mind は「（考えが）ふと頭に浮かぶ」で、主語は考え・アイデア（It never crossed my mind that ~）。keep one's fingers crossed の主語は祈る人。見分け方：主語が人で幸運を願うなら fingers crossed、主語が考えなら cross one's mind。

1048 ☐☐☐

My mother made this cake ＿＿＿＿ scratch; she didn't use a cake mix.

① by　② at
③ in　④ from

④ from scratch　一から；ゼロから

訳 母はこのケーキを一から作った。ケーキミックスは使わなかった。

解説 「一から・材料から手作りで」は from scratch で、前置詞は from に決まっている。by / at / in は scratch と組まない。後半の「ケーキミックスを使わなかった」が手作りであることを示している。

区別 **from scratch ⇔ from the beginning** from the beginning は「（話・作業の）最初の時点から」で、時間の始まりを指す（Read it from the beginning）。from scratch は「土台も材料もない状態から」作り上げる意味。見分け方：既にある物を頭からやり直すなら the beginning、何もない所から作るなら scratch。

1049 ☐☐☐

The hotel staff always go ＿＿＿＿ extra mile to make their guests feel at home.

① an　② a
③ the　④ one

③ go the extra mile
一層の努力をする；期待以上のことをする

訳 そのホテルのスタッフは、客にくつろいでもらうためにいつも一層の努力をする。

解説 go the extra mile は冠詞 the で固定された表現。an / a / one に変えると決まり文句にならない。to make ~ が「何のために努力するか」を示している。接客をほめる典型的な使い方。

区別 **go the extra mile ⇔ go a long way** go a long way は「大いに役立つ・成功する」（A little kindness goes a long way）で、主語は物事が多い。go the extra mile は人が主語で「期待以上に頑張る」。見分け方：主語が努力する人なら extra mile、効果のある物事なら a long way。

1050 ☐☐☐

Thanks for inviting me to the opera, but to be honest, it's not really ＿＿＿＿.

① my cup of tea　② a piece of cake
③ my fault　④ up in the air

① not one's cup of tea　好みではない；性に合わない

訳 オペラに誘ってくれてありがとう。でも正直に言うと、あまり私の好みではないんだ。

解説 誘いを断る理由として「好みではない」が合うので my cup of tea。a piece of cake は「簡単なこと」、my fault は「私のせい」、up in the air は「未定で」でどれも誘いを断る理由として文が通らない。遠回しに断る定番。

区別 **not one's cup of tea ⇔ a piece of cake** 同じ食べ物の比喩でも a piece of cake は「とても簡単なこと」で、難易度の話。not one's cup of tea は好き嫌いの話。見分け方：易しい・難しいなら piece of cake、好み・性に合うかなら cup of tea。

1051 □□□

A: I wish I lived in a big city like my cousin. B: Well, you know, the grass is always ———— on the other side.

① green ② greener
③ greenest ④ more green

② **The grass is always greener on the other side (of the fence).**
隣の芝生は青く見える

訳 A：いとこみたいに大都市に住めたらなあ。 B：まあ、ほら、隣の芝生はいつも青く見えるものだよ。

解説 ことわざは比較級 greener で決まっている。「自分の側より向こう側のほうが青い」という比較なので原級 green、最上級 greenest は不可。more green は 1 音節の形容詞の比較級として普通は使わない。都会暮らしをうらやむ相手を諭す場面。

区別 **The grass is always greener on the other side (of the fence).** ⇔ **green with envy** green with envy は「ひどくうらやましがって」という形容詞句で、人の状態を言う（She was green with envy）。ことわざの方は「よく見えるのは錯覚だ」という教訓。見分け方：人の感情を説明するなら green with envy、相手を諭すならことわざ。

1052 □□□

The manager turned a blind eye ———— the employees who left work early.

① with ② from
③ to ④ for

③ **turn a blind eye (to ~)** （～を）見て見ぬふりをする

訳 部長は早退する社員を見て見ぬふりをした。

解説 turn a blind eye to ~ で「～を見て見ぬふりをする」。to は目を向ける方向を表す。with / from / for はこの表現と組まない。早退する社員を「わざと見逃した」という非難の含みがある文。

区別 **turn a blind eye (to ~)** ⇔ **keep an eye on ~** keep an eye on は「～から目を離さない・見張る」で正反対。turn a blind eye to は「わざと目をつぶる」。見分け方：注意して見るなら keep an eye on、見逃すなら turn a blind eye to。前置詞も on と to で違う。

1053 □□□

Because of the typhoon, our travel plans are still up ———— the air.

① on ② in
③ to ④ into

② **up in the air** 未定で；はっきり決まっていない

訳 台風のせいで、私たちの旅行の計画はまだ決まっていない。

解説 「未定で」は up in the air で、前置詞は in。on the air は「放送中で」で意味が全く違う。to / into は the air と組んでこの意味にならない。台風で予定が決まらないという流れに合う。

区別 **up in the air** ⇔ **on the air** on the air は「放送中で」（The show is on the air）。up in the air は「宙に浮いて＝未定で」。見分け方：番組・放送なら on the air、計画・予定が決まらないなら up in the air。in と on の違いに注意。

1054 □□□

My little brother keeps taking my things without asking. He's a real ＿＿＿＿.

① piece of cake
② cup of tea
③ drop in the bucket
④ pain in the neck

④ a pain in the neck 厄介な人［物］；悩みの種

訳 弟は私の物を勝手に持っていってばかりいる。本当に悩みの種だ。

解説 勝手に物を持っていく弟は「厄介者」なので a pain in the neck。a piece of cake は「簡単なこと」、a cup of tea は好みの話（否定で使う）、a drop in the bucket は「ごくわずか」で、人の迷惑さを表せない。

区別 **a pain in the neck ⇔ get on A's nerves** get on A's nerves は「A をいらいらさせる」という動詞句で、主語がいらだちの原因、A がいらつく人。a pain in the neck は名詞句で補語になる。見分け方：be 動詞の後ろなら名詞句 a pain in the neck、動詞として使うなら get on one's nerves。

1055 □□□

I missed the last train, and ＿＿＿＿, my phone battery died, so I couldn't call anyone.

① to begin with
② to add insult to injury
③ to tell the truth
④ needless to say

② add insult to injury
追い打ちをかける；踏んだり蹴ったり

訳 終電に乗り遅れ、さらに悪いことに携帯電話の電池が切れて、誰にも電話できなかった。

解説 終電を逃した上にさらに悪いことが重なっているので to add insult to injury（追い打ちをかけるように）。to begin with は「まず第一に」、to tell the truth は「実を言うと」、needless to say は「言うまでもなく」で、不運の追加を表せない。

区別 **add insult to injury ⇔ to make matters worse** どちらも「さらに悪いことに」の前置きだが、add insult to injury は傷ついた人をさらに侮辱・傷つける、人の気持ちが絡む含みが強い。to make matters worse は単に状況が悪化するときに広く使う。what is worse も同じ働き。

1056 □□□

The lecture on climate change gave us ＿＿＿＿ for thought.

① a food　② food
③ foods　④ the foods

② food for thought
考えるべきこと；考えさせられるもの

訳 気候変動についての講義は、私たちに考えるきっかけを与えてくれた。

解説 food for thought は数えられない名詞として使う決まった形なので、冠詞も複数の s も付けない。a food / foods / the foods はどれも誤り。講演が「考えるきっかけを与えた」という典型的な使い方。

区別 **food for thought ⇔ think twice** think twice は「よく考え直す・慎重になる」という動詞句で、主語は人。food for thought は「考える材料」という名詞。見分け方：be 動詞・give の目的語として名詞が欲しいなら food for thought。

1057 □□□

Don't just wait for someone to solve your problems. Heaven helps those ＿＿＿ help themselves.

① which　② whose
③ what　④ who

④ God helps those who help themselves.

天は自ら助くる者を助く

訳 誰かが問題を解決してくれるのをただ待っていてはだめだ。天は自ら助くる者を助く。

解説 those ( ) help themselves は「自ら助ける人々」で、先行詞 those が人なので関係代名詞 who。which は物、whose は後ろに名詞が必要、what は先行詞を含むので those の後ろに置けない。ことわざの形を構文から押さえる問題。

区別 **God helps those who help themselves. ⇔ help oneself (to ~)** help oneself to ~ は「（飲食物を）自由に取って食べる」（Help yourself to the cake）で、ことわざの help themselves（自分で努力する）とは別の意味。見分け方：to ＋ 飲食物が続けば「自由に取る」。

1058 □□□

A: I have so much homework, and the test is tomorrow! B: Don't worry. We're all ＿＿＿ the same boat.

① in　② on
③ at　④ by

① in the same boat 同じ境遇で；運命を共にして

訳 A：宿題がたくさんあるのに、テストは明日なんだ！　B：心配しないで。みんな同じ境遇だよ。

解説 「同じ境遇にいる」は be in the same boat で、前置詞は in に決まっている。on / at / by に変えると決まり文句にならない。宿題と試験に追われる友達を「みんな同じだよ」と励ます場面。

区別 **in the same boat ⇔ miss the boat** miss the boat は「好機を逃す」。in the same boat は「同じ境遇」。同じ boat でも意味は無関係。見分け方：チャンスに乗り遅れたなら miss the boat、苦境を共有しているなら in the same boat。

1059 □□□

A: I just can't solve this math problem. B: Let me help you. Two heads are better than ＿＿＿.

① it　② two
③ ones　④ one

④ Two heads are better than one.

二つの頭は一つに勝る；三人寄れば文殊の知恵

訳 A：この数学の問題がどうしても解けないんだ。　B：手伝わせて。三人寄れば文殊の知恵［一人より二人で考えたほうがいい］だよ。

解説 ことわざは Two heads are better than one. で、one は one head（一つの頭）を表す代名詞。it は特定の物を指すので不可。two では比較が成り立たず、ones は複数形で「一つの頭」にならない。一緒に考えようと申し出る場面。

区別 **Two heads are better than one. ⇔ Too many cooks spoil the broth.** Two heads ~ は「協力すると良い知恵が出る」、Too many cooks ~ は「口を出す人が多すぎると失敗する」と逆の教訓。見分け方：人数を増やすことをすすめる文脈なら Two heads、指示役が多すぎて混乱するなら Too many cooks。

1060 □□□

I had never been to such a formal party before, so I felt like ＿＿＿＿ all evening.

① a fish out of water
② a night owl
③ a black sheep
④ an early bird

① (like) a fish out of water

場違いで落ち着かない人；陸に上がった河童

訳 そんなに改まったパーティーに行ったことがなかったので、一晩中場違いな感じがした。

解説 慣れない正式なパーティーで落ち着かなかったので a fish out of water（場違いな人）。a night owl は「夜型の人」、a black sheep は「厄介者」、an early bird は「早起きの人」で、居心地の悪さを表せない。

区別 **(like) a fish out of water ⇔ a black sheep** a black sheep は「（家族・集団の中の）厄介者・はみ出し者」で、本人の行いが悪い評価。a fish out of water は環境が合わずに落ち着かない状態で、本人は悪くない。見分け方：居心地の悪さなら fish、悪評なら black sheep。

1061 □□□

A: Should I accept this job offer or wait for a better one? B: Accept it. A bird in the hand is ＿＿＿＿ two in the bush.

① worthy
② worth of
③ worth
④ worthy to

③ A bird in the hand is worth two in the bush.

手の中の 1 羽はやぶの中の 2 羽に値する；明日の百より今日の五十

訳 A：この仕事の内定を受けるべきかな、それともももっといい話を待つべきかな？ B：受けなよ。明日の百より今日の五十だよ。

解説 be worth ＋ 名詞で「～の価値がある」。worth は後ろに直接名詞を置くので worth of は誤り。worthy は worthy of ~ の形で使い、直接名詞を続けられない。worthy to も不可。ことわざは worth で固定。

区別 **A bird in the hand is worth two in the bush. ⇔ Nothing ventured, nothing gained.** A bird in the hand は「確実な方を取れ（冒険するな）」、Nothing ventured ~ は「冒険しなければ何も得られない」と正反対の助言。見分け方：手堅さをすすめるなら bird in the hand、挑戦をすすめるなら nothing ventured。

1062 □□□

All my cousins became doctors or lawyers, but Uncle Ken left school and got into trouble. He was the ＿＿＿＿ of the family.

① dark horse
② early bird
③ night owl
④ black sheep

④ a black sheep

（家族・集団の中の）厄介者；はみ出し者

訳 いとこたちはみんな医者か弁護士になったが、ケンおじさんは学校をやめて問題を起こした。彼は一家の厄介者だった。

解説 家族の中で一人だけ問題を起こした「厄介者」なので black sheep。dark horse は「意外な実力者」で良い意味、early bird は「早起きの人」、night owl は「夜型の人」で文脈に合わない。the black sheep of the family が定番の形。

区別 **a black sheep ⇔ a dark horse** a dark horse は「予想外の実力者・穴馬」で、良い意味の意外性。a black sheep は悪い意味のはみ出し者。見分け方：選挙・試合で意外に強い人なら dark horse、家族の困り者なら black sheep。

1063 □□□

Instead of explaining the plan in detail, he just showed us a diagram. A picture is ＿＿＿＿ a thousand words.

① worthy　② worth
③ worth of　④ worthy for

② A picture is worth a thousand words.

一枚の絵は千の言葉に値する；百聞は一見に如かず

訳 彼は計画を詳しく説明する代わりに、図を見せただけだった。百聞は一見にしかずだ。

解説 be worth ＋ 名詞で「～の価値がある」。ことわざは A picture is worth a thousand words. と worth の後ろに名詞を直接置く。worth of は誤り。worthy は worthy of ~ の形で使うので worthy / worthy for は不可。

区別 **A picture is worth a thousand words. ⇔ Seeing is believing.** Seeing is believing は「見れば信じられる（自分の目で確かめよ）」で、疑いを晴らす話。A picture is worth ~ は「絵のほうが言葉より伝わる」で、伝達の効率の話。見分け方：信じる・信じないなら Seeing is believing。

1064 □□□

That online offer looks amazing, but remember: all that glitters ＿＿＿＿ not gold.

① is　② are
③ do　④ does

① All that glitters is not gold.

光るもの必ずしも金ならず

訳 そのネット上の特価品はすごく魅力的に見えるけれど、覚えておいて。輝くものが全て金とは限らない。

解説 All that glitters は「光るものすべて」で、関係代名詞 that の節を含む all は「全体」をまとめて単数扱いになり is。are は複数扱いの誤り。glitters という一般動詞の後ろの文なので、be 動詞の否定 is not が正しく do / does は不可。部分否定を表す。

区別 **All that glitters is not gold. ⇔ Don't judge a book by its cover.** どちらも見た目にだまされるなという教訓だが、Don't judge a book ~ は「見た目で（悪く）判断するな」と見かけが悪いものにも使う。All that glitters は「見かけが良くても中身は分からない」と良く見えるものに注意を促す。

1065 □□□

We missed our flight, but we caught the next one and arrived in time. All's well that ＿＿＿＿ well.

① end　② ending
③ ends　④ ended

③ All's well that ends well. 終わりよければすべてよし

訳 飛行機に乗り遅れたが、次の便に乗って間に合った。終わりよければ全てよしだ。

解説 that は All を先行詞とする関係代名詞で、All は単数扱いなので動詞は三人称単数の ends。end は複数扱いの形、ending / ended は関係詞節の動詞として形が合わない。ことわざは ends で固定。

区別 **All's well that ends well. ⇔ at the end of the day** at the end of the day は「結局のところ・最終的には」という副詞句で、文の中に入れて使う。All's well that ends well は独立した一文のことわざ。見分け方：文の一部なら at the end of the day、無事に済んだことへの感想ならことわざ。

1066 ☐☐☐

We can discuss the pros and cons all night, but ———, it's your life and your decision.

① by the end of the day
② until the end of the day
③ to the end of the day
④ at the end of the day

④ at the end of the day 結局のところ；最終的には

訳 一晩中、良い点と悪い点を話し合うことはできるけれど、結局のところ、それはあなたの人生で、あなたが決めることだ。

解説 議論の末の「結局のところ」は at the end of the day。by the end of the day は「今日中に」という期限、until the end of the day は「その日の終わりまでずっと」で継続、to the end of the day も結論を表さない。

区別 **at the end of the day ⇔ in the end** in the end は「（時間がたって）最後には・ついに」で、出来事の結末を言う（In the end, he won）。at the end of the day は「（いろいろあるが）結局大事なのは」と判断・結論を言う。見分け方：結末の出来事なら in the end、議論の結論なら at the end of the day。

1067 ☐☐☐

You failed the test, but it's no use ——— over spilled milk. Just study harder next time.

① cry　② cried
③ being cried　④ crying

④ cry over spilled milk 取り返しのつかないことを嘆く

訳 テストに落ちたけれど、済んだことを悔やんでも仕方がない。次はもっと勉強すればいい。

解説 It is no use ~ing（～しても無駄だ）の構文なので動名詞 crying。原形 cry や過去形 cried は use の後ろに置けず、being cried は受け身で意味が通らない。ことわざも crying の形で覚える。

区別 **cry over spilled milk ⇔ It's no use ~ing** It is no use ~ing は「～しても無駄だ」という構文で、ことわざの骨組み。There is no use (in) ~ing / It is useless to do も同じ意味。見分け方：use の後ろは動名詞、useless の後ろは to do。

1068 ☐☐☐

My grandmother always says, Don't put off until tomorrow ——— you can do today.

① what　② that
③ which　④ it

①

Don't put off until tomorrow what you can do today.
今日できることを明日に延ばすな

訳 祖母はいつも「今日できることを明日に延ばすな」と言う。

解説 put off の目的語として「今日できること」が必要で、先行詞を含む関係代名詞 what（＝ the thing which）が入る。that / which は先行詞が必要で、ここには前に名詞がない。it では後ろの you can do today とつながらない。

区別 **Don't put off until tomorrow what you can do today. ⇔ put off / call off** put off は「延期する（後で行う）」、call off は「中止する（行わない）」。ことわざは延期の put off。見分け方：日程を後ろへずらすなら put off（＝ postpone）、取りやめなら call off（＝ cancel）。

1069 □□□

I've been feeling a little ＿＿＿＿ since my best friend moved to another city.

① over the moon　② on cloud nine
③ blue　④ green with envy

③ feel blue　憂うつだ；気分が落ち込む

訳 親友が別の町へ引っ越してから、少し気分が沈んでいる。

解説 親友が引っ越して寂しい気持ちなので feel blue（憂うつだ）。over the moon / on cloud nine は「大喜びで」、green with envy は「ひどくうらやましい」で、別れの寂しさを表せない。a little で程度をやわらげている。

区別 **feel blue ⇔ out of the blue**　out of the blue は「突然・思いがけず」（He called me out of the blue）で、憂うつとは無関係。feel blue は気分。見分け方：予告なく起こるなら out of the blue、気持ちが沈むなら feel blue。

1070 □□□

The party got out ＿＿＿＿ hand, and the neighbors called the police because of the noise.

① from　② of
③ to　④ in

② get out of hand
手に負えなくなる；収拾がつかなくなる

訳 パーティーは手に負えなくなり、騒音のせいで近所の人が警察を呼んだ。

解説 「手に負えなくなる」は get out of hand で、out of の of を落とさない。from / to / in は out と組んでこの決まり文句にならない。騒音で警察を呼ばれるほど収拾がつかなくなった様子。

区別 **get out of hand ⇔ at hand / on hand**　at hand は「すぐ近くに・間近に」（The exam is close at hand）、on hand は「手元に・その場に」。out of hand は「手から離れて＝制御不能」。見分け方：前置詞 at / on / out of で、近い・手元・制御不能を分ける。

1071 □□□

Don't jump ＿＿＿＿ conclusions. Let's hear his side of the story first.

① at　② into
③ on　④ to

④ jump to conclusions　早合点する；性急に結論を出す

訳 早まって結論を出してはいけない。まず彼の言い分を聞こう。

解説 「早合点する」は jump to conclusions で、到達点の to。jump at は「（機会）に飛びつく」で意味が違う。into / on も conclusions と組まない。相手の言い分を聞こう、という後半の流れと合う。

区別 **jump to conclusions ⇔ jump at ~**　jump at ~ は「（機会・申し出）に飛びつく」（jump at the chance）で、喜んで受ける意味。jump to conclusions は「性急に結論を出す」。見分け方：前置詞 at ＋ 機会なら飛びつく、to ＋ conclusions なら早合点。

1072 □□□

Don't forget your umbrella. ＿＿＿＿ is raining cats and dogs outside.

① There　② It
③ Rain　④ That

② rain cats and dogs　（雨が）土砂降りに降る

訳 傘を忘れないでね。外は土砂降りだよ。

解説 天候を表す文の主語は it（天候の it）。There is raining は文法的に誤り。Rain is raining は rain を主語と動詞に重ねていて不可。That は特定の物を指す代名詞で天候の主語にならない。

区別 **rain cats and dogs ⇔ It never rains but it pours.**　ことわざの It never rains but it pours は「悪いことは重なる」という比喩で、実際の天気の話ではない。rain cats and dogs は実際の大雨。見分け方：不運が続く話ならことわざ、天気の描写なら cats and dogs。

1073 ☐☐☐

She said she was fine, but if you read _____ the lines, you can tell she's upset.

① between ② among
③ through ④ across

① read between the lines
行間を読む；言外の意味をくみ取る

訳 彼女は大丈夫だと言ったが、言葉の裏を読めば、動揺しているのが分かる。

解説 「行間を読む」は read between the lines。行と行の「間」なので between。among は 3 つ以上の中に紛れている様子で、この決まり文句には使わない。through は「読み通す」、across は「横切って」で意味が合わない。

区別 **read between the lines ⇔ read through** ～ read through は「～を最後まで読み通す」で、書かれた内容をすべて読む。read between the lines は書かれていない意味を読み取る。見分け方：本音・裏の意味なら between the lines、全文を読むなら read through。

1074 ☐☐☐

Starting a small business here is difficult because there is too _____ red tape.

① many ② few
③ several ④ much

④ red tape お役所仕事；煩雑な手続き

訳 ここで小さな会社を始めるのは難しい。お役所的な手続きが多すぎるからだ。

解説 red tape は数えられない名詞なので too much で修飾する。many / few / several は数えられる名詞の複数形に使う語で、red tape には付かない。手続きが多すぎて起業が難しいという批判の文。

区別 **red tape ⇔ paperwork** paperwork は「書類仕事・事務手続き」という中立的な言葉。red tape は不必要に複雑で時間がかかる手続きを批判する言葉。見分け方：無駄・非効率への不満があれば red tape。どちらも不可算。

1075 ☐☐☐

A: Do you remember a man called Mr. Kato? B: Hmm, the name _____ a bell, but I can't remember his face.

① hits ② rings
③ calls ④ sounds

② ring a bell 聞き覚えがある；思い当たる

訳 A：加藤さんという男の人を覚えてる？ B：うーん、名前には聞き覚えがあるけど、顔が思い出せないな。

解説 「聞き覚えがある」は ring a bell で、主語の name に合わせて rings。hit / call は a bell と組んでこの意味にならない。sound a bell は「警鐘を鳴らす」に近い言い方で、聞き覚えの意味にはならない。

区別 **ring a bell ⇔ remind A of B** remind A of B は「A に B を思い出させる」で、思い出す人 A を目的語に取る。ring a bell は目的語の人を取らず、主語の名前・言葉に「聞き覚えがある」。見分け方：人を目的語にするなら remind。

1076 □□□

A: Should I tell my friend what I really think of her new haircut? B: I wouldn't. ＿＿＿＿

① Two heads are better than one.
② The pen is mightier than the sword.
③ Speech is silver, silence is golden.
④ Knowledge is power.

③ Speech is silver, silence is golden.

雄弁は銀、沈黙は金

訳 A：友達の新しい髪型について本音を言うべきかな？　B：私なら言わないね。雄弁は銀、沈黙は金だよ。

解説 正直な感想を言うべきか迷う相手に「言わないほうがいい」と助言しているので、沈黙をすすめる Speech is silver, silence is golden.。Two heads ~ は協力、The pen ~ は言論の力、Knowledge is power は知識の力で、黙る助言にならない。

区別 **Speech is silver, silence is golden. ⇔ The pen is mightier than the sword.** The pen is mightier ~ は「言論（書くこと）は武力より強い」と言葉の力をたたえる。Speech is silver ~ は「黙っているほうがよい場合がある」と沈黙をすすめる。見分け方：言葉を使うよう勧めるか、控えるよう勧めるか。

1077 □□□

I've given them my best offer. Now the ball is in their ＿＿＿＿. We'll just have to wait.

① field　② hands
③ goal　④ court

④ the ball is in A's court

次は A が行動する番だ；決定権は A にある

訳 できる限りの条件は示した。今度は向こうが決める番だ。ただ待つしかない。

解説 「次は相手の番だ」は the ball is in A's court で、テニスのコートから来た決まり文句。field / goal はサッカーなどの言葉だがこの表現には使わない。in their hands は「彼らの手中に」で近い意味だが the ball is とは組まない。

区別 **the ball is in A's court ⇔ get the ball rolling** get the ball rolling は「（物事を）始める・口火を切る」。the ball is in A's court は「次は A の番」。見分け方：最初に始めるなら get the ball rolling、こちらが動いた後の相手の番なら ball in your court。

1078 □□□

The reporter kept writing articles against the dictator, saying, ＿＿＿＿

① Two heads are better than one.
② Easy come, easy go.
③ The pen is mightier than the sword.
④ Love is blind.

③ The pen is mightier than the sword.

ペンは剣よりも強し

訳 その記者は「ペンは剣よりも強し」と言って、独裁者を批判する記事を書き続けた。

解説 独裁者に記事で対抗する場面なので、言論は武力に勝るという The pen is mightier than the sword.。Two heads ~ は協力、Easy come, easy go は得やすいものは失いやすい、Love is blind は恋は盲目で、言論の力の話にならない。

区別 **The pen is mightier than the sword. ⇔ Knowledge is power.** Knowledge is power は「知識は力なり」で、学ぶこと・情報を持つことの強さ。The pen is mightier ~ は「書いて訴える言論の力」と武力との対比。見分け方：武力・暴力との比較があれば pen、学習・情報の価値なら knowledge。

1079 ☐☐☐

The cases reported in the news are only the ＿＿＿ of the iceberg; many more go unreported.

① top ② tip
③ peak ④ head

② the tip of the iceberg 氷山の一角

訳 ニュースで報じられた事件は氷山の一角にすぎず、報じられないものがもっとたくさんある。

解説 「氷山の一角」は the tip of the iceberg で、tip（先端）が決まった語。top / peak / head も「上の部分」を表すが、この決まり文句には使わない。後半の「多くは報告されていない」が隠れた大部分を示している。

区別 **the tip of the iceberg ⇔ a drop in the bucket** a drop in the bucket は「（必要量に比べて）ごくわずか・焼け石に水」で、量が足りないこと。the tip of the iceberg は「見えている部分は一部で、隠れた全体は巨大」。見分け方：見えない部分の大きさを言うなら iceberg、効果が小さすぎるなら drop。

1080 ☐☐☐

There is no royal road ＿＿＿ learning. You have to study a little every day.

① to ② for
③ of ④ in

① There is no royal road to learning.
学問に王道なし

訳 学問に王道なし。毎日少しずつ勉強しなければならない。

解説 road to ~ で「～への道」。ことわざは There is no royal road to learning. と to で固定。for / of / in は road の後ろで行き先を示せない。後半の「毎日少しずつ勉強するしかない」と内容が合う。

区別 **There is no royal road to learning. ⇔ Slow and steady wins the race.** Slow and steady ~ は「ゆっくりでも着実な者が勝つ」と継続の大切さ。no royal road は「（特に学問に）楽な近道はない」。見分け方：近道・裏技を否定するなら royal road、着実さをほめるなら slow and steady。

1081 ☐☐☐

Everyone says the company is in trouble. Well, there's no smoke ＿＿＿ fire.

① with ② without
③ but ④ except

② There's no smoke without fire.
火のない所に煙は立たぬ

訳 その会社は経営が危ないとみんなが言っている。まあ、火のない所に煙は立たないからね。

解説 no A without B で「B なしに A はない」。ことわざは There's no smoke without fire. と without で固定。with では「火のある煙はない」と意味が逆になる。but / except も without の代わりにならない。

区別 **There's no smoke without fire. ⇔ No news is good news.** No news is good news は「便りのないのは良い便り」で、連絡がないのは無事の証拠という意味。no smoke without fire は「うわさには根拠がある」。見分け方：うわさ・疑いの話なら smoke、連絡がない話なら news。

1082 □□□

My best friend has stood by me ———— thick and thin for over twenty years.

① through ② across
③ between ④ over

① through thick and thin

良い時も悪い時も；どんな時でも

訳 親友は 20 年以上、良いときも悪いときも私を支えてくれている。

解説 「良い時も悪い時も」は through thick and thin で、前置詞は through に決まっている。across / between / over は thick and thin と組まない。20 年以上ずっと支えてくれた、という変わらない友情を表す文。

区別 **through thick and thin ⇔ ups and downs** ups and downs は「浮き沈み」という名詞で、have ups and downs の形で人生・景気の変化を言う。through thick and thin は副詞句で「どんな時も（一緒に）」。見分け方：変化そのものなら ups and downs、変わらず支えるなら through thick and thin。

1083 □□□

After failing the driving test five times, he finally ———— and decided to take the bus.

① bit the bullet
② broke the ice
③ hit the sack
④ threw in the towel

④ throw in the towel 降参する；あきらめる

訳 運転免許の試験に 5 回落ちた後、彼はついに諦めて、バスを使うことにした。

解説 5 回落ちて運転をあきらめバスにしたので threw in the towel（降参した）。bit the bullet は「覚悟してやった」で反対、broke the ice は「場を和ませた」、hit the sack は「寝た」で、あきらめを表せない。

区別 **throw in the towel ⇔ bite the bullet** bite the bullet は「（嫌なことを）覚悟してやる・歯を食いしばって耐える」で、逃げずに取り組む。throw in the towel は「降参してやめる」。見分け方：あきらめるなら towel、我慢して立ち向かうなら bullet。

1084 □□□

Five people tried to direct the school play, and it was a mess. As they say, ————

① two heads are better than one.
② first come, first served.
③ too many cooks spoil the broth.
④ the early bird catches the worm.

③ Too many cooks spoil the broth.

料理人が多すぎるとスープがだめになる；船頭多くして船山に上る

訳 5 人が学校劇の演出をしようとして、めちゃくちゃになった。よく言うように、船頭多くして船山に上る、だ。

解説 5 人が演出をして劇がめちゃくちゃになったので、口を出す人が多すぎると失敗する too many cooks spoil the broth。two heads ~ は協力を勧める逆の教訓、first come ~ は先着順、the early bird ~ は早起きの得で合わない。

区別 **Too many cooks spoil the broth. ⇔ Two heads are better than one.** Two heads ~ は「二人で考えるほうがよい」と協力を勧める。Too many cooks ~ は「関わる人が多すぎると失敗する」と逆の教訓。見分け方：みんなが口を出して混乱した結果なら Too many cooks。

1085 □□□

A: What time should we leave tomorrow? B: I'm not sure yet. Let's just play ＿＿＿＿ by ear.

① it　② that
③ them　④ one

① play it by ear

その場の成り行きで決める；臨機応変にやる

訳 A：明日は何時に出発しようか？　B：まだ分からないな。その場の成り行きで決めよう。

解説 play it by ear は it で固定された表現で、漠然と「状況」を指す。that / them / one に変えると決まり文句にならない。出発時間が決まっていないので、成り行きで決めようと答えている。

区別 **play it by ear ⇔ learn by heart**　learn ~ by heart は「暗記する」。by ear は「耳で聞いて（楽譜なしに）」。同じ by ＋ 体の一部でも意味は違う。見分け方：暗記なら by heart、即興・成り行きなら play it by ear。

1086 □□□

I agreed to organize the festival, join two clubs, and study for exams. I think I bit off more than I ＿＿＿＿ chew.

① can　② could
③ will　④ must

② bite off more than one can chew

手に負えないことを引き受ける；欲張りすぎる

訳 祭りの運営を引き受け、部活を二つ掛け持ちし、試験勉強もすることにした。どうやら自分の手に負えないほど引き受けてしまったようだ。

解説 bit（過去形）に合わせて時制を一致させ、more than I could chew とする。can は現在形で時制が合わない。will / must も「かめる以上」という能力の比較にならない。引き受けすぎた後悔を表す文。

区別 **bite off more than one can chew ⇔ have a lot on one's plate**　have a lot on one's plate は「やることがたくさんある」と状況を言うだけで、失敗の含みはない。bite off more than one can chew は「（自分で）能力以上に引き受けてしまう」と判断の誤りを言う。

1087 □□□

I really hate going to the dentist, but my tooth hurts so much that I'll have to ＿＿＿＿ and make an appointment.

① throw in the towel
② jump on the bandwagon
③ sit on the fence
④ bite the bullet

④ bite the bullet

（嫌なことを）覚悟してやる；歯を食いしばって耐える

訳 歯医者に行くのは本当に嫌だが、歯がひどく痛むので、我慢して予約を入れるしかない。

解説 嫌でも歯医者に行くと決めているので bite the bullet（覚悟してやる）。throw in the towel は「あきらめる」で反対、jump on the bandwagon は「時流に乗る」、sit on the fence は「どっちつかずの態度をとる」で文脈に合わない。

区別 **bite the bullet ⇔ throw in the towel**　throw in the towel は「降参してあきらめる」。bite the bullet は「我慢して立ち向かう」と反対。見分け方：嫌なことを避けずにやるなら bite the bullet、途中でやめるなら throw in the towel。

1088 □□□

He has called in sick so many times that if he keeps crying ＿＿＿＿, no one will believe him when he's really ill.

① a wolf　② wolf
③ wolves　④ the wolf

② cry wolf

うそをついて人を騒がせる；（何度も）嘘の警報を出す

訳 彼は何度も仮病で休んでいるので、うそばかりついていると、本当に病気のときに誰も信じてくれなくなる。

解説 cry wolf は無冠詞・単数の wolf で固定された表現。a wolf / wolves / the wolf に変えると決まり文句にならない。仮病を繰り返すと本当に病気のとき信じてもらえない、というイソップ物語どおりの文脈。

区別 **cry wolf ⇔ the boy who cried wolf** イソップ物語の「オオカミ少年」の題名で、名詞句として「うそつき・信用されない人」を指す。cry wolf は動詞句。見分け方：人を指す名詞なら the boy who cried wolf、行為なら cry wolf。

1089 □□□

Stop beating around the bush and ＿＿＿＿. What exactly do you want?

① break the ice　② hit the sack
③ cut to the chase　④ play it by ear

③ cut to the chase 要点に入る；本題に入る

訳 遠回しな言い方はやめて、本題に入ってよ。いったい何が欲しいの？

解説 遠回しに言うのをやめて「本題に入って」と頼んでいるので cut to the chase。break the ice は「場を和ませる」、hit the sack は「寝る」、play it by ear は「臨機応変にやる」で、要点を求める流れに合わない。

区別 **cut to the chase ⇔ beat around the bush** beat around the bush は「遠回しに言う・要点を避ける」で正反対。cut to the chase は「すぐ要点に入る」。見分け方：Stop beating around the bush. と Let's cut to the chase. は同じ場面の裏表。

1090 □□□

A: You spent all the money you won in the lottery in one week? B: Yeah. ＿＿＿＿

① First come, first served.
② Easy come, easy go.
③ No news is good news.
④ Two heads are better than one.

② Easy come, easy go.

得やすいものは失いやすい；悪銭身につかず

訳 A：宝くじで当たったお金を 1 週間で全部使ったの？　B：うん。悪銭身につかずだね。

解説 くじで当てたお金を 1 週間で使い切ったので、楽に得た物はすぐ出ていく Easy come, easy go.。First come, first served は先着順、No news is good news は便りがないのは無事の証拠、Two heads ~ は協力の大切さで合わない。

区別 **Easy come, easy go. ⇔ First come, first served.** First come, first served は「先着順・早い者勝ち」。同じ「～ come, ～」の形だが内容は無関係。見分け方：お金・物がすぐなくなる話なら Easy come、順番・先着の話なら First come。

1091 ☐☐☐

Free tickets will be given out on a first-come, first-＿＿＿＿ basis.

① serving ② serve
③ served ④ servant

③ First come, first served. 早い者勝ち；先着順

訳 無料チケットは先着順で配られます。

解説 「最初に来た人が最初に応対される」という受け身の意味なので過去分詞 served。serving だと「応対する側」になり、serve（原形）や servant（召使い）は形が合わない。first-come, first-served basis は「先着順で」の決まった言い方。

区別 **First come, first served. ⇔ The early bird catches the worm.** The early bird ~ は「早起きは三文の徳」と早く行動する人の得を言う教訓。First come, first served は順番の規則。見分け方：ルールの説明なら First come、早起き・早めの行動を勧めるなら early bird。

1092 ☐☐☐

My brother's constant whistling really gets ＿＿＿＿ my nerves.

① on ② in
③ to ④ at

① get on A's nerves
A の神経に障る；A をいらいらさせる

訳 兄［弟］がひっきりなしに口笛を吹くので、本当にいらいらする。

解説 「A をいらいらさせる」は get on A's nerves で、前置詞は on に決まっている。in / at は nerves と組まない。get to ~ だけでも「（人を）いらいらさせる」意味になるが、my nerves の前には on を使う。

区別 **get on A's nerves ⇔ lose one's nerve** lose one's nerve は「おじけづく・勇気を失う」で、nerve（度胸）は単数。get on one's nerves は「いらいらさせる」で nerves（神経）は複数。見分け方：単数 nerve は度胸、複数 nerves は神経・いらだち。

1093 ☐☐☐

My father has a sweet ＿＿＿＿; he eats chocolate every evening.

① tooth ② teeth
③ mouth ④ tongue

① have a sweet tooth 甘いものに目がない

訳 父は甘いものが好きで、毎晩チョコレートを食べる。

解説 「甘いものに目がない」は have a sweet tooth で、a に合わせて単数の tooth。teeth は複数形で a と合わない。mouth / tongue はこの決まり文句に使わない。毎晩チョコレートを食べる様子と合う。

区別 **have a sweet tooth ⇔ have one's hands full** have one's hands full は「手がふさがっている・とても忙しい」。同じ「have ＋体の部分」の型の熟語でも意味は全く違う。見分け方：好物の話なら sweet tooth、忙しさなら hands full。

1094 □□□

If Mom finds out that you broke her favorite vase, you'll be ＿＿＿＿.

① in the same boat　② over the moon
③ in hot water　④ on the same page

③ in hot water 困った立場で；（叱られる）苦境に陥って

訳 お母さんのお気に入りの花瓶を割ったことがばれたら、大変なことになるよ。

解説 母のお気に入りの花瓶を割ったのがばれたら「叱られる・まずい立場になる」ので in hot water。in the same boat は「同じ境遇で」、over the moon は「大喜びで」、on the same page は「同じ認識で」で文脈に合わない。

区別 **in hot water ⇔ in the same boat** in the same boat は「同じ（苦しい）境遇で」と他人との共有を言う。in hot water は「（自分のせいで）叱られる・まずい立場に」。見分け方：叱責・罰の予感なら hot water、苦境の共有なら same boat。

1095 □□□

My grandfather started learning the piano at 75. It's never too late ＿＿＿＿.

① learning　② learn
③ learned　④ to learn

④ It is never too late to learn.
学ぶのに遅すぎることはない；六十の手習い

訳 祖父は 75 歳でピアノを習い始めた。学ぶのに遅すぎるということはない。

解説 too ~ to do（～するには…すぎる）の構文なので to learn。learning / learn / learned は too late の後ろでこの構文を作れない。75 歳でピアノを始めた祖父を励ます文。

区別 **It is never too late to learn. ⇔ You can't teach an old dog new tricks.** You can't teach an old dog ~ は「年を取ると新しいことは覚えにくい」と正反対の考え。It is never too late to learn は「いつでも学べる」と励ます。見分け方：挑戦を後押しするなら never too late。

1096 □□□

First I lost my wallet, then I caught a cold, and now my bike is broken. It never rains ＿＿＿＿ it pours.

① but　② and
③ or　④ so

① It never rains but it pours.
降れば土砂降り；泣きっ面に蜂

訳 まず財布をなくし、それから風邪をひき、今度は自転車が壊れた。降ればいつも土砂降り［悪いことは重なるもの］だ。

解説 ことわざは It never rains but it pours. で but が固定。but は「～しないで（は）」の意味で、「降れば必ず土砂降り」。and / or / so に変えるとこの意味にならない。不運が続く場面の嘆き。

区別 **It never rains but it pours. ⇔ rain cats and dogs** rain cats and dogs は実際の大雨の描写。It never rains but it pours は比喩で不運の連続。見分け方：天気の話か、不運が重なった話か。

1097 □□□

A: Why do you read so many books about money and health? B: Because ＿＿＿＿ The more you know, the better choices you can make.

① love is blind.
② easy come, easy go.
③ walls have ears.
④ knowledge is power.

④ Knowledge is power. 知識は力なり

訳 A：どうしてお金や健康についての本をそんなにたくさん読むの？ B：知識は力だからだよ。知っていればいるほど、より良い選択ができるんだ。

解説 知れば知るほど良い選択ができる、と知識の価値を言っているので knowledge is power.。love is blind は恋は盲目、easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなる、walls have ears は壁に耳ありで、知識の話にならない。

区別 **Knowledge is power. ⇔ Ignorance is bliss.** Ignorance is bliss は「知らぬが仏」で、知らないほうが幸せという逆の考え。Knowledge is power は知ることの価値を説く。見分け方：知ることを勧めるなら Knowledge、知らないほうがよい場面なら Ignorance。

1098 □□□

What's the name of that actor? It's on the ＿＿＿＿ of my tongue, but I just can't remember it.

① top　② end
③ tip　④ edge

③ on the tip of one's tongue
（言葉が）喉まで出かかっている

訳 あの俳優の名前は何だっけ？喉まで出かかっているのに、どうしても思い出せない。

解説 「喉まで出かかっている」は on the tip of one's tongue で、tip（先端）が決まった語。top / end / edge も「端」を表すが、この決まり文句には使わない。思い出せないもどかしさを表す文。

区別 **on the tip of one's tongue ⇔ ring a bell** ring a bell は「何となく聞き覚えがある」程度。on the tip of one's tongue は「あと少しで思い出せそうなのに出てこない」。見分け方：かすかな記憶なら ring a bell、もどかしく出てこない状態なら tip of my tongue。

1099 □□□

When she heard she had been accepted to her first-choice university, she was over the ＿＿＿＿.

① sun　② moon
③ stars　④ sky

② over the moon 大喜びで；有頂天で

訳 第一志望の大学に合格したと聞いて、彼女は大喜びした。

解説 「大喜びで」は be over the moon で、moon が決まった語。sun / stars / sky はこの決まり文句に使わない。第一志望の大学に合格したという嬉しい知らせへの反応。

区別 **over the moon ⇔ feel blue** feel blue は「憂うつだ」と正反対の気分。見分け方：合格・優勝など嬉しい知らせなら over the moon、別れ・失敗の後の落ち込みなら feel blue。

1100 ☐☐☐

Don't try to learn everything in one night. Slow and steady ——— the race.

① win ② winning
③ to win ④ wins

④ Slow and steady wins the race.

ゆっくり着実な者が勝つ；急がば回れ

訳 一晩で全部覚えようとしてはいけない。急がば回れ［ゆっくり着実に進む者が勝つ］だ。

解説 Slow and steady は「ゆっくり着実なこと」という一つのまとまりとして単数扱いなので wins。win は複数扱いの形、winning / to win は文の動詞になれない。ウサギとカメの教訓を表すことわざ。

区別 **Slow and steady wins the race. ⇔ Haste makes waste.** Haste makes waste は「急いては事を仕損じる」で、急ぐことの害を言う。Slow and steady ~ は着実さが最後に勝つという肯定の教訓。どちらも急ぐなという場面で使えるが、見分け方：失敗の原因を言うなら Haste、着実さをほめるなら Slow and steady。

1101 ☐☐☐

None of the usual solutions worked, so we had to think ——— the box.

① outside ② inside
③ out ④ over

① think outside the box 型にはまらない発想をする

訳 いつものやり方はどれもうまくいかなかったので、私たちは固定観念にとらわれずに考えなければならなかった。

解説 「型にはまらない発想をする」は think outside the box。inside では「枠の中で考える」と逆の意味になる。out は前置詞として the box の前に置かず、think over ~ は「～をよく考える」で the box を目的語にしても意味が通らない。

区別 **think outside the box ⇔ think twice** think twice は「よく考え直す・慎重になる」。think outside the box は「新しい角度から発想する」。見分け方：慎重さなら think twice、独創性なら outside the box。

1102 ☐☐☐

Stop wasting your days playing games. Time and tide wait ——— no man.

① to ② on
③ for ④ at

③ Time and tide wait for no man.

時と潮は人を待たない；歳月人を待たず

訳 ゲームをして毎日を無駄にするのはやめなさい。歳月人を待たず、だ。

解説 wait for ~ で「～を待つ」。ことわざは Time and tide wait for no man. で for が固定。wait on は「（客）に給仕する」で意味が違い、to / at は wait と組んで「待つ」相手を示さない。

区別 **Time and tide wait for no man. ⇔ Make hay while the sun shines.** Make hay ~ は「好機のうちにやれ」と具体的な行動を促す。Time and tide ~ は「時間は待ってくれない」と時間の性質を言う。見分け方：今のチャンスを使えなら Make hay、時間が過ぎていくことへの警告なら Time and tide。

1103 □□□

A man found his lost wedding ring inside a fish he caught twenty years later. Truth really is ＿＿＿＿ than fiction.

① strangest ② stranger
③ strange ④ strangely

② Truth is stranger than fiction.

事実は小説よりも奇なり

訳 ある男性が、なくした結婚指輪を 20 年後に釣った魚のおなかの中から見つけた。事実は本当に小説よりも奇なりだ。

解説 後ろに than があるので比較級 stranger。strangest は最上級、strange は原級、strangely は副詞で than と組んで比較を作れない。信じがたい実話への感想として使う典型的な場面。

区別 **Truth is stranger than fiction.** ⇔ **fiction / nonfiction** fiction は「作り話・小説」、nonfiction は「事実に基づく作品（伝記・記録など）」。science fiction（SF）の fiction も「作り話」。見分け方：ことわざの fiction は小説のような作り話を指す。

1104 □□□

After our argument, my friend gave me the cold ＿＿＿＿ for a whole week.

① back ② hand
③ eye ④ shoulder

④ give A the cold shoulder

A に冷たくする；よそよそしくする

訳 けんかの後、友達は丸 1 週間私に冷たい態度をとった。

解説 「冷たくする・よそよそしくする」は give A the cold shoulder で、shoulder が決まった語。back / hand / eye はこの決まり文句に使わない。口げんかの後に 1 週間冷たくされた、という場面。

区別 **give A the cold shoulder** ⇔ **turn a blind eye to ~** turn a blind eye to は「（悪いこと）を見て見ぬふりする」で、物事を見逃す。give A the cold shoulder は「（人を）冷たくあしらう」。見分け方：人への態度なら cold shoulder、不正を見逃すなら blind eye。

1105 □□□

My brother never exercises. He's a real ＿＿＿＿; he lies on the sofa watching TV all weekend.

① night owl ② early bird
③ couch potato ④ dark horse

③ a couch potato

（ソファで）ごろごろしてテレビばかり見る人；怠け者

訳 兄［弟］は全く運動をしない。本当にぐうたらで、週末はずっとソファーに寝転んでテレビを見ている。

解説 運動せずソファでテレビばかり見ているので couch potato。night owl は「夜型の人」、early bird は「早起きの人」、dark horse は「意外な実力者」で、ごろごろする生活を表せない。

区別 **a couch potato** ⇔ **a night owl** a night owl は「夜型の人・宵っ張り」で、夜遅くまで起きている生活習慣を言う。a couch potato は「家でごろごろする怠け者」。見分け方：寝る時間の話なら night owl、運動しない生活なら couch potato。

1106 ☐☐☐

We collected 50,000 yen for the hospital, but that's only a drop in the ＿＿＿＿ compared to what they need.

① bag　② bucket
③ cup　④ glass

② a drop in the bucket 焼け石に水；ごくわずかな量

訳 私たちは病院のために 5 万円を集めたが、病院が必要としている額に比べれば焼け石に水にすぎない。

解説 「ごくわずか・焼け石に水」は a drop in the bucket で、bucket が決まった語（英国では ocean も）。bag / cup / glass はこの決まり文句に使わない。必要額に比べて寄付が少なすぎる、という文脈。

区別 **a drop in the bucket ⇔ the tip of the iceberg** the tip of the iceberg は「（問題の）見えている一部で、隠れた全体は巨大」。a drop in the bucket は「（解決に必要な量に比べて）ほんの少し」。見分け方：問題の大きさを言うなら iceberg、対策・量の少なさなら drop。

1107 ☐☐☐

Writing a whole novel sounds impossible, but a journey of a thousand miles begins ＿＿＿＿ a single step.

① with　② at
③ by　④ on

①

A journey of a thousand miles begins with a single step.
千里の道も一歩から

訳 小説を 1 冊丸ごと書くなんて無理に思えるが、千里の道も一歩から始まる。

解説 begin with ~ で「～で始まる」。ことわざは begins with a single step と with で固定。at は時刻・地点、by は手段（begin by ~ing で「～することから始める」）、on は日付に使い、ここには合わない。

区別 **A journey of a thousand miles begins with a single step. ⇔ Slow and steady wins the race.** Slow and steady ~ は「着実に続けた者が勝つ」と継続の大切さ。A journey of a thousand miles ~ は「まず一歩を踏み出せ」と始めることの大切さ。見分け方：最初の一歩を促すなら journey、続けることを促すなら slow and steady。

1108 ☐☐☐

I'm a ＿＿＿＿, so I usually do my homework after midnight.

① early bird　② couch potato
③ night owl　④ black sheep

③ a night owl 夜型の人；宵っ張り

訳 私は夜型なので、たいてい夜中の 12 時を過ぎてから宿題をする。

解説 真夜中過ぎに宿題をするので「夜型の人」の night owl。early bird は「早起きの人」で反対、couch potato は「ごろごろする怠け者」、black sheep は「厄介者」で、夜型の生活を表せない。

区別 **a night owl ⇔ an early bird** an early bird は「早起きの人・朝型の人」で正反対。見分け方：夜遅くまで起きているなら night owl、朝早く起きるなら early bird。The early bird catches the worm.（早起きは三文の徳）のことわざもある。

1109 ☐☐☐

If you think I ate your cake, you're barking up the ＿＿＿＿ tree. I was out all day.

① right ② other
③ same ④ wrong

④ bark up the wrong tree
見当違いのことをする；お門違いだ

訳 私があなたのケーキを食べたと思っているなら、お門違いだよ。一日中出かけていたんだから。

解説 「見当違いをしている」は bark up the wrong tree で、wrong が決まった語。right では意味が逆になり、other / same はこの決まり文句に使わない。一日中外出していたので犯人ではない、という流れ。

区別 **bark up the wrong tree ⇔ jump to conclusions** jump to conclusions は「早合点する」と判断の速さの問題。bark up the wrong tree は「（責める・探す）方向が間違っている」と対象の誤り。見分け方：性急さなら jump to conclusions、相手・方向違いなら wrong tree。

1110 ☐☐☐

It's not fair to say bad things about her behind her ＿＿＿＿. Tell her directly.

① face ② eyes
③ back ④ head

③ behind A's back A のいないところで；陰で

訳 彼女のいないところで悪口を言うのはずるい。本人に直接言いなさい。

解説 「本人のいないところで・陰で」は behind A's back で、back が決まった語。face / eyes / head はこの決まり文句に使わない。後半の「直接言いなさい」と、陰口をやめるよう促す流れが合う。

区別 **behind A's back ⇔ behind the scenes** behind the scenes は「舞台裏で・表に出ないところで」で、陰で働く・支えるなど良い意味でも使う。behind A's back は「A に隠れて」で、本人を裏切る悪い意味。見分け方：特定の人に隠れて悪口ならA's back、裏方の仕事なら scenes。

1111 ☐☐☐

The small ramen shop didn't advertise at all. It became popular ＿＿＿＿ word of mouth.

① with ② in
③ by ④ from

③ by word of mouth 口コミで；口伝えで

訳 その小さなラーメン店は全く宣伝をしなかった。口コミで人気になったのだ。

解説 「口コミで」は by word of mouth で、手段を表す by が決まっている。with / in / from は word of mouth と組まない。広告をしなかったという前半から、口伝えで広まったと分かる。

区別 **by word of mouth ⇔ word for word** word for word は「一語一語・逐語的に」（translate word for word）。by word of mouth は「口伝えで」。見分け方：翻訳・暗記の正確さなら word for word、情報の広がり方なら by word of mouth。

1112 □□□

A: My experiment failed again. B: Don't give up. ———— You'll learn something from every mistake.

① Failure is the mother of success.
② Easy come, easy go.
③ Walls have ears.
④ Love is blind.

① Failure is the mother of success.

失敗は成功のもと

訳 A：また実験に失敗しちゃった。　B：諦めないで。失敗は成功のもとだよ。間違いをするたびに何かを学べるんだから。

解説 実験に失敗した相手を「失敗から学べる」と励ましているので Failure is the mother of success.。Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなる、Walls have ears は壁に耳あり、Love is blind は恋は盲目で、励ましにならない。

区別 **Failure is the mother of success. ⇔ Necessity is the mother of invention.** 同じ「A is the mother of B」の形だが、Necessity ~ は「必要は発明の母」で、困ったときに工夫が生まれるという意味。見分け方：失敗から学ぶ話なら Failure、必要に迫られて生まれた工夫なら Necessity。

1113 □□□

No one wanted to speak first at the meeting, so the manager said, Let me get the ball ————.

① rolled　② roll
③ rolling　④ rolls

③ get the ball rolling （物事を）始める；口火を切る

訳 会議で誰も最初に話したがらなかったので、部長が「では、私から始めましょう」と言った。

解説 get O ~ing で「O を～している状態にする」。ボールが「転がっている」状態にするので rolling。rolled は「転がされた（結果）」で決まり文句にならない。roll / rolls は get O の後ろに置けない。

区別 **get the ball rolling ⇔ break the ice** break the ice は「（初対面の場の）緊張をほぐす」で、雰囲気を和らげること。get the ball rolling は「（作業・議論を）始める」。見分け方：気まずさを解くなら break the ice、物事を動かし始めるなら ball rolling。

1114 □□□

A: I'll pay for dinner tonight. B: No, no. Let's go ———— this time.

① a Dutch　② Dutch
③ the Dutch　④ Dutches

② go Dutch 割り勘にする

訳 A：今夜の夕食は僕がおごるよ。　B：いやいや。今回は割り勘にしよう。

解説 「割り勘にする」は go Dutch で、Dutch は大文字・無冠詞・単数の形で固定。a Dutch / the Dutch / Dutches はこの決まり文句にならない。おごろうとする相手に割り勘を提案する場面。

区別 **go Dutch ⇔ split the bill** split the bill は「勘定を（人数で）均等に分ける」。go Dutch は本来「各自が自分の分を払う」。会話ではほぼ同じ意味で使われる。見分け方：形の違い（go Dutch は自動詞、split は the bill を目的語に取る）。

1115 ☐☐☐

When I told my friends I was going to Hawaii, they were green ＿＿＿＿ envy.

① of ② by
③ in ④ with

④ green with envy ひどくうらやましがって；嫉妬して

訳 ハワイに行くと友達に話したら、みんなひどくうらやましがった。

解説 「ひどくうらやましがって」は green with envy で、原因を表す with が決まっている（shiver with cold と同じ）。of / by / in は envy と組んでこの決まり文句にならない。

区別 **green with envy ⇔ be jealous of ~** be jealous of は「～をねたむ」で、ねたむ相手を of で示す。green with envy は「うらやましさで顔色が変わるほど」の比喩で、相手は示さないことが多い。見分け方：of ＋ 相手が必要なら jealous of。

1116 ☐☐☐

We ran all the way and got on the last train just in the ＿＿＿＿ of time.

① edge ② nick
③ point ④ end

② in the nick of time 間一髪で；ぎりぎり間に合って

訳 私たちはずっと走って、ぎりぎり間に合って終電に乗った。

解説 「間一髪で・ぎりぎり間に合って」は in the nick of time で、nick が決まった語。edge / point / end はこの決まり文句に使わない（at the end of ~ は「～の終わりに」）。走って終電に間に合った場面。

区別 **in the nick of time ⇔ on time / in time** on time は「時間どおりに」、in time は「間に合って（for ~ / to do）」。in the nick of time は「（もう少しで遅れるところを）間一髪で」と最後の瞬間を強調する。見分け方：ぎりぎりの緊張感があれば nick of time。

1117 ☐☐☐

When the tapioca drink became popular, many cafés ＿＿＿＿ and started selling it too.

① jumped on the bandwagon
② bit the bullet
③ threw in the towel
④ sat on the fence

① jump on the bandwagon 時流に乗る；勝ち馬に乗る

訳 タピオカドリンクが流行ると、多くのカフェが時流に乗って同じように売り始めた。

解説 流行した飲み物を多くの店がまねして売り始めたので jumped on the bandwagon（時流に乗った）。bit the bullet は「覚悟してやった」、threw in the towel は「あきらめた」、sat on the fence は「どっちつかずだった」で合わない。

区別 **jump on the bandwagon ⇔ catch on** catch on は「（物事が）流行る・人気が出る」で、主語は流行する物。jump on the bandwagon は「（人が）流行に便乗する」で、主語は人。見分け方：流行そのものなら catch on、乗っかる人なら bandwagon。

1118 □□□

It took me about a month to learn the _____ at my new part-time job.

① rope ② lines
③ ropes ④ strings

③ learn the ropes
（仕事などの）こつを覚える；やり方を学ぶ

訳 新しいアルバイトで仕事のこつを覚えるのに 1 か月ほどかかった。

解説 「（仕事の）こつを覚える」は learn the ropes で、ropes は複数形で固定。単数 rope ではこの意味にならない。lines / strings はこの決まり文句に使わない。新しいアルバイトに慣れるのに 1 か月かかった、という文。

区別 **learn the ropes ⇔ learn ~ by heart** learn ~ by heart は「暗記する」。learn the ropes は「（実際にやって）仕事のやり方に慣れる」。見分け方：文章・単語を覚えるなら by heart、仕事・作業の進め方を身につけるなら the ropes。

1119 □□□

Ken's father is a famous soccer player, and Ken is the best player on our team. _____

① Love is blind.
② Walls have ears.
③ Like father, like son.
④ Easy come, easy go.

③ Like father, like son.
この父にしてこの子あり；蛙の子は蛙

訳 ケンのお父さんは有名なサッカー選手で、ケンは私たちのチームで一番うまい。この父にしてこの子ありだ。

解説 有名なサッカー選手の父を持つケンもチームで一番うまいので、子は親に似る Like father, like son.。Love is blind は恋は盲目、Walls have ears は壁に耳あり、Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなるで、親子の類似を表せない。

区別 **Like father, like son. ⇔ Blood is thicker than water.** Blood is thicker than water は「血は水よりも濃い（身内の絆は強い）」で、家族のつながりの強さを言う。Like father, like son は「子は親に似る」で、性格・能力の遺伝や影響の話。見分け方：似ている話か、絆の話か。

1120 □□□

Everyone knows her boyfriend is lazy and rude, but she thinks he's perfect.

_____

① Love is blind.
② Knowledge is power.
③ First come, first served.
④ Easy come, easy go.

① Love is blind. 恋は盲目

訳 彼女の彼氏が怠け者で失礼なことはみんな知っているのに、彼女は彼が完璧だと思っている。恋は盲目だ。

解説 怠け者で失礼な恋人を完璧だと思い込んでいるので、恋をすると欠点が見えない Love is blind.。Knowledge is power は知識の力、First come, first served は先着順、Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなるで、恋の話にならない。

区別 **Love is blind. ⇔ be blind to ~** be blind to ~ は「～に気づかない・～が見えていない」（be blind to his faults）という形容詞句。Love is blind はことわざとして独立した一文。見分け方：to ＋ 気づかない物事が続けば be blind to。

1121 ☐☐☐

The application deadline was yesterday. I'm afraid you've _____.

① rocked the boat
② jumped on the bandwagon
③ hit the sack
④ missed the boat

④ miss the boat 好機を逃す；乗り遅れる

訳 応募の締め切りは昨日だった。残念ながら、チャンスを逃してしまったね。

解説 締め切りが昨日で申し込めないので「好機を逃した」missed the boat。rocked the boat は「波風を立てた」、jumped on the bandwagon は「時流に乗った」、hit the sack は「寝た」で、締め切りに遅れた状況に合わない。

区別 **miss the boat ⇔ in the same boat** in the same boat は「同じ境遇で」。miss the boat は「好機を逃す」。同じ boat でも意味は無関係。見分け方：機会・締め切りの話なら miss the boat、苦労の共有なら same boat。

1122 ☐☐☐

A: My daughter hasn't called me since she started college. B: Don't worry. _____

① There's no smoke without fire.
② No news is good news.
③ Walls have ears.
④ Time is money.

② No news is good news. 便りのないのは良い便り

訳 A：娘が大学に入ってから一度も電話してこないの。 B：心配しないで。便りのないのは良い便りよ。

解説 娘から連絡がなく心配している人を安心させているので、No news is good news.（便りのないのは良い便り）。There's no smoke without fire はうわさには根拠がある、Walls have ears は壁に耳あり、Time is money は時は金なりで、安心させる言葉にならない。

区別 **No news is good news. ⇔ There's no smoke without fire.** There's no smoke without fire は「うわさには必ず根拠がある」。No news is good news は「連絡がないのは無事の証拠」。見分け方：うわさ・疑いの話なら smoke、連絡がなくて心配な話なら news。

1123 ☐☐☐

A: I want to apply for the scholarship, but I probably won't get it. B: Just try. _____

① A bird in the hand is worth two in the bush.
② Curiosity killed the cat.
③ Nothing ventured, nothing gained.
④ Walls have ears.

③ Nothing ventured, nothing gained.
冒険しなければ何も得られない；虎穴に入らずんば虎子を得ず

訳 A：その奨学金に応募したいけど、たぶんもらえないと思う。B：とにかくやってみなよ。虎穴に入らずんば虎子を得ず、だよ。

解説 どうせ無理だとためらう相手に「とにかく挑戦して」と勧めているので、挑戦しなければ得られない Nothing ventured, nothing gained.。A bird in the hand ~ は手堅さを勧める逆の教訓、Curiosity killed the cat は好奇心を戒める、Walls have ears は壁に耳ありで合わない。

区別 **Nothing ventured, nothing gained. ⇔ A bird in the hand is worth two in the bush.** A bird in the hand は「確実な物を取れ（冒険するな）」で反対の教訓。Nothing ventured ~ は「挑戦しなければ何も得られない」。見分け方：挑戦を勧めるなら Nothing ventured、手堅さを勧めるなら bird in the hand。

1124 □□□

Before we start the project, let's make sure we're all _____ the same page.

① on　② in
③ at　④ to

① on the same page 同じ認識で；考えが一致して

訳 プロジェクトを始める前に、全員の認識が一致しているか確かめておこう。

解説 「同じ認識を持っている」は be on the same page で、前置詞は on に決まっている（ページの上に）。in / at / to は the same page と組んでこの意味にならない。仕事を始める前に認識をそろえる場面。

区別 **on the same page ⇔ see eye to eye** see eye to eye は「意見が一致する」で、否定文で「意見が合わない」とよく使う。on the same page は「（情報・計画について）同じ理解をしている」と認識の共有に重心がある。見分け方：意見の賛否なら see eye to eye、情報・段取りの共有なら same page。

1125 □□□

A: Why do you get a flu shot every year? B: Because _____ It's much easier than getting sick.

① failure is the mother of success.
② easy come, easy go.
③ love is blind.
④ prevention is better than cure.

④ Prevention is better than cure.
予防は治療に勝る；転ばぬ先の杖

訳 A：どうして毎年インフルエンザの予防接種を受けるの？　B：予防は治療に勝るからだよ。病気になるよりずっと楽だもの。

解説 病気になる前に予防接種を受ける理由なので、予防は治療に勝る prevention is better than cure.。failure is the mother of success は失敗は成功のもと、easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなる、love is blind は恋は盲目で合わない。

区別 **Prevention is better than cure. ⇔ A stitch in time saves nine.** A stitch in time ~ は「（小さな問題を）早めに手当てすれば後で大変にならない」と、起きた問題への早期対応。Prevention ~ は「起きる前に防ぐ」。見分け方：事前の予防なら Prevention、小さいうちの早めの修理なら A stitch in time。

1126 □□□

I didn't sleep at all last night. I pulled an all- _____ to finish my report.

① night　② nighter
③ nights　④ nightly

② pull an all-nighter 徹夜する

訳 昨夜は全く寝なかった。レポートを終わらせるために徹夜したんだ。

解説 「徹夜する」は pull an all-nighter で、nighter（一晩中の作業）が決まった名詞。all-night は形容詞（an all-night party）で名詞として使えない。nights / nightly も an all- の後ろでこの意味にならない。

区別 **pull an all-nighter ⇔ stay up** stay up は「（寝ないで）起きている」で、stay up late（夜更かし）にも使う。pull an all-nighter は「一晩中寝ずに（勉強・仕事を）やる」と徹夜に限る。見分け方：一晩中なら all-nighter、遅くまでなら stay up late。

1127 □□□

In the debate, he refused to support either side. He just ＿＿＿＿.

① went the extra mile
② broke the ice
③ sat on the fence
④ hit the nail on the head

③ sit on the fence
どっちつかずの態度をとる；日和見する

訳 その討論で、彼はどちらの側も支持しなかった。ただ態度を決めずに様子を見ていた。

解説 どちらの側も支持しなかったので sat on the fence（どっちつかずの態度をとった）。went the extra mile は「一層努力した」、broke the ice は「場を和ませた」、hit the nail on the head は「核心を突いた」で、態度を決めない様子と合わない。

区別 **sit on the fence ⇔ play it by ear** play it by ear は「（計画を立てず）臨機応変にやる」で、悪い意味はない。sit on the fence は「（意見を言うべき場面で）態度を決めない」と批判の含み。見分け方：立場・賛否を決めない話なら fence。

1128 □□□

While waiting for the meeting to start, we made ＿＿＿＿ talk about the weather.

① small　② little
③ short　④ few

① small talk 世間話；雑談

訳 会議が始まるのを待つ間、私たちは天気について世間話をした。

解説 「世間話・雑談」は small talk で、make small talk の形で使う。little talk / short talk / few talk はこの意味の決まり文句にならない。会議前に天気の話をする、という典型的な場面。

区別 **small talk ⇔ chat** chat は「おしゃべり（する）」で動詞・可算名詞（have a chat）として使える。small talk は不可算で、初対面などで場をつなぐ軽い話題に限る。見分け方：make small talk / have a chat と動詞の組み合わせで区別する。

1129 □□□

Some of my friends love horror movies, and others hate them. Well, ＿＿＿＿

① two heads are better than one.
② first come, first served.
③ no news is good news.
④ so many men, so many minds.

④ So many men, so many minds. 十人十色

訳 友達の中にはホラー映画が大好きな人もいれば、大嫌いな人もいる。まあ、十人十色だね。

解説 好みが人によって分かれていることへの感想なので、十人十色 so many men, so many minds。two heads ~ は協力の大切さ、first come ~ は先着順、no news ~ は便りのないのは無事の証拠で、好みの違いを表せない。

区別 **So many men, so many minds. ⇔ not one's cup of tea** not one's cup of tea は「（ある物事が）自分の好みではない」と個人の好みを言う表現。So many men ~ は「人によって考えはさまざま」と一般論を言うことわざ。見分け方：自分の好みを伝えるなら cup of tea、違いを受け入れるならことわざ。

1130 □□□

He often exaggerates, so you should take his stories with a ———— of salt.

① spoon ② grain
③ bag ④ cup

② take ~ with a grain of salt
～を割り引いて聞く；話半分に聞く

訳 彼はよく大げさに言うので、彼の話は割り引いて聞いたほうがいい。

解説 「割り引いて聞く」は take ~ with a grain of salt で、grain（一粒）が決まった語。spoon / bag / cup はこの決まり文句に使わない。よく大げさに言う人の話は話半分に聞け、という助言。

区別 **take ~ with a grain of salt ⇔ take ~ for granted** take ~ for granted は「～を当然のことと思う」（ありがたみを忘れる）。take ~ with a grain of salt は「～を疑ってかかる」。見分け方：疑うなら grain of salt、当たり前と思うなら for granted。

1131 □□□

We've discussed many ideas, but the bottom ———— is that we don't have enough money.

① point ② end
③ word ④ line

④ the bottom line 要点；最終的な結論

訳 いろいろなアイデアを話し合ってきたが、要するにお金が足りないということだ。

解説 「要点・肝心なこと」は the bottom line で、line が決まった語。point（要点）も意味は近いが bottom point とは言わない。end / word もこの決まり文句に使わない。議論の結論を述べる場面。

区別 **the bottom line ⇔ at the end of the day** at the end of the day は「結局のところ」という副詞句で文頭に置く。the bottom line は名詞句で、The bottom line is ~ の主語として使う。見分け方：be 動詞の主語になるなら bottom line。

1132 □□□

Before making a final decision, she carefully ———— the pros and cons.

① weighed ② carried
③ lifted ④ threw

① the pros and cons 良い点と悪い点；賛否両論

訳 最終的に決める前に、彼女は良い点と悪い点を慎重に比べた。

解説 weigh the pros and cons で「良い点と悪い点を比べる」という定番の組み合わせ。weigh は「重さを量る」から「比べて考える」の意味になる。lifted / carried / threw では「比較検討する」の意味にならない。

区別 **the pros and cons ⇔ ups and downs** ups and downs は「（人生などの）浮き沈み・良い時と悪い時」で時間の流れの中の変化。the pros and cons は物事の「長所と短所・賛成と反対の理由」。見分け方：判断の材料なら pros and cons。

1133 □□□

After two weeks of traveling abroad, I was glad to be back. There's no place ＿＿＿＿ home.

① like　② as
③ than　④ for

① There's no place like home.　我が家に勝る所はない

訳 2 週間の海外旅行の後、帰ってこられてうれしかった。我が家に勝る所はない。

解説 no place like ~ で「~のような所はない（~が一番）」。like は前置詞で名詞 home を続けられる。as は接続詞・前置詞だがこのことわざには使わない。than は比較級が前にないと使えず、for も意味が合わない。

区別 **There's no place like home. ⇔ feel at home**　feel at home は「くつろぐ・気楽にする」（Make yourself at home.）で、自宅以外の場所でも使う。There's no place like home は「自分の家が一番」。見分け方：どこかでくつろぐなら feel at home、家に帰ってほっとするならことわざ。

1134 □□□

After failing two classes, he decided to turn over a new ＿＿＿＿ and study every day.

① tree　② book
③ leaf　④ hand

③ turn over a new leaf
心を入れ替える；生活を一新する

訳 2 科目落とした後、彼は心を入れ替えて毎日勉強することにした。

解説 「心を入れ替える」は turn over a new leaf で、leaf（本の 1 枚）が決まった語。tree / book / hand はこの決まり文句に使わない。単位を落としたのをきっかけに毎日勉強すると決めた、という出直しの場面。

区別 **turn over a new leaf ⇔ turn over ~**　turn over ~ だけだと「~をひっくり返す」「（ページ）をめくる」「~を引き渡す」。a new leaf が付くと「心を入れ替える」の比喩になる。見分け方：a new leaf があれば出直しの意味。

1135 □□□

Nobody expected much from the new student, but she won the speech contest. She was a real ＿＿＿＿.

① black sheep　② dark horse
③ couch potato　④ night owl

② a dark horse　ダークホース；予想外の実力者

訳 その転校生には誰もあまり期待していなかったが、彼女はスピーチコンテストで優勝した。まさに思いがけない実力者だった。

解説 誰も期待していなかったのに優勝したので、意外な実力者 dark horse。black sheep は「厄介者」で悪い意味、couch potato は「ごろごろする怠け者」、night owl は「夜型の人」で、意外な勝利を表せない。

区別 **a dark horse ⇔ a black sheep**　a black sheep は「（家族・集団の中の）厄介者」で悪い意味。a dark horse は「意外な実力者」で良い意味。見分け方：意外に強い・活躍するなら dark horse、問題を起こす人なら black sheep。

1136 ☐☐☐

Raising taxes is a political ＿＿＿＿; no politician wants to talk about it before an election.

① couch potato　② piece of cake
③ cup of tea　④ hot potato

④ a hot potato 扱いにくい問題；厄介な問題

訳 増税は政治的に扱いにくい問題で、選挙前にはどの政治家もそれについて話したがらない。

解説 選挙前に誰も触れたがらない「扱いにくい問題」なので hot potato。couch potato は「ごろごろする人」、piece of cake は「簡単なこと」、cup of tea は好みの話で、政治的な論争の種を表せない。

区別 **a hot potato ⇔ a pain in the neck** a pain in the neck は「（日常的に）うっとうしい人・物」。a hot potato は「（議論が分かれ、誰も触れたがらない）扱いにくい問題」。見分け方：社会・政治的な論争なら hot potato、身近な迷惑なら pain in the neck。

1137 ☐☐☐

He can't sleep because he's worried, and he's worried because he can't sleep. It's a ＿＿＿＿ circle.

① virtuous　② perfect
③ full　④ vicious

④ a vicious circle 悪循環

訳 彼は心配で眠れず、眠れないので心配になる。悪循環だ。

解説 心配で眠れず、眠れないから心配する、と悪い状態が繰り返されているので悪循環 vicious circle。virtuous circle は「好循環」で状況が良くなる場合に使う。perfect / full はこの決まった言い方にならない。

区別 **a vicious circle ⇔ a virtuous circle** a virtuous circle は「好循環」で、良い結果がさらに良い結果を生む。a vicious circle は悪い結果が次の悪い結果を生む。見分け方：状況が悪くなり続けるなら vicious、良くなり続けるなら virtuous。

1138 ☐☐☐

My grandmother eats an apple every morning. She always says, An apple a day keeps the doctor ＿＿＿＿.

① away　② off
③ out　④ back

① An apple a day keeps the doctor away.
1 日 1 個のリンゴで医者いらず

訳 祖母は毎朝りんごを食べる。いつも「1 日 1 個のりんごで医者いらず」と言っている。

解説 keep A away で「A を遠ざける」。ことわざは keeps the doctor away で away が固定。keep A off は「A を（表面に）近づけない」、keep A out は「A を中に入れない」、keep A back は「A を引き留める」で、このことわざの形にならない。

区別 **An apple a day keeps the doctor away. ⇔ keep away from ~** keep away from ~ は自動詞的に「～に近づかない」。ことわざの keep A away は他動詞で「A を遠ざける」。見分け方：keep の直後に目的語（the doctor）があれば「遠ざける」。

1139 □□□

A: I really want to know what's in my sister's secret box. B: Leave it alone.

———

① Two heads are better than one.
② Knowledge is power.
③ Nothing ventured, nothing gained.
④ Curiosity killed the cat.

④ Curiosity killed the cat.

好奇心は猫をも殺す；好奇心もほどほどに

訳 A：姉［妹］の秘密の箱に何が入っているのか、すごく知りたいな。 B：放っておきなよ。好奇心は身を滅ぼすよ。

解説 姉の秘密の箱をのぞきたがる相手に「放っておいて」と止めているので、詮索を戒める Curiosity killed the cat.。Two heads ~ は協力、Knowledge is power は知識の力、Nothing ventured ~ は挑戦を勧めるので、止める流れに合わない。

区別 **Curiosity killed the cat.** ⇔ **be curious about** ~ be curious about は「～を知りたがる」と好奇心そのもので、悪い意味はない。Curiosity killed the cat は好奇心が強すぎると危険だと戒める。見分け方：好奇心をたしなめるならことわざ。

1140 □□□

Thank you for helping me during such a difficult time. I thank you from the bottom of my ———.

① mind ② soul
③ heart ④ chest

③ from the bottom of one's heart

心の底から；心から

訳 こんなに大変なときに助けてくれてありがとう。心の底から感謝しています。

解説 「心の底から」は from the bottom of one's heart で、heart が決まった語。mind / soul / chest も心や体の部分だが、この決まり文句には使わない。つらい時期に助けてくれた人への深い感謝を表す文。

区別 **from the bottom of one's heart** ⇔ **by heart** learn ~ by heart は「暗記する」で、気持ちとは無関係。from the bottom of one's heart は「心から（感謝・謝罪する）」。見分け方：暗記なら by heart、感情の強さなら bottom of my heart。

1141 □□□

The city finally gave us the green ——— to build a new park in the area.

① card ② light
③ sign ④ flag

② give A the green light

A に許可を与える；ゴーサインを出す

訳 市はついに、その地域に新しい公園を造ることに許可を出してくれた。

解説 「許可を与える・ゴーサインを出す」は give A the green light で、light（信号）が決まった語。card / sign / flag はこの決まり文句に使わない。to build ~ が許可の中身を示している。

区別 **give A the green light** ⇔ **give A the cold shoulder** 同じ give A the ~ の形でも、give A the cold shoulder は「A に冷たくする」。give A the green light は「A に許可を出す」。見分け方：許可・承認なら green light、冷たい態度なら cold shoulder。

1142 □□□

I always have butterflies in my _____ before I give a speech.

① heart ② head
③ chest ④ stomach

④ have butterflies in one's stomach
（緊張で）胸がどきどきする；そわそわする

訳 スピーチをする前は、いつも緊張してどきどきする。

解説 「（緊張で）そわそわする」は have butterflies in one's stomach で、stomach が決まった語。heart / head / chest は体の部分だがこの決まり文句に使わない。スピーチ前の緊張を表す典型的な場面。

区別 **have butterflies in one's stomach ⇔ be nervous about ~** be nervous about は「～に緊張している」と普通に言う形容詞句。have butterflies in one's stomach は「お腹の中で蝶が舞っているような」そわそわ感を比喩で言う。意味はほぼ同じで、比喩表現かどうかの違い。

1143 □□□

I'd love to help you, but I have my hands _____ with my own work right now.

① fully ② filled
③ full ④ fill

③ have one's hands full
手がふさがっている；とても忙しい

訳 手伝いたいのはやまやまだけど、今は自分の仕事で手いっぱいなんだ。

解説 have one's hands full で「とても忙しい」。have O C の形で、C には形容詞 full が入る。fully は副詞で補語になれず、filled は決まり文句にならない。fill は動詞の原形で形が合わない。

区別 **have one's hands full ⇔ have a lot on one's plate** have a lot on one's plate は「やることがたくさんある」で、抱えている仕事・問題の多さ。have one's hands full は「手がふさがっている」と、今まさに手一杯の状態。ほぼ同じ意味で使える。

1144 □□□

The same kind of economic crisis happened a hundred years ago. History repeats _____.

① itself ② it
③ himself ④ themselves

① History repeats itself. 歴史は繰り返す

訳 同じような経済危機が 100 年前にも起こった。歴史は繰り返す。

解説 repeat の目的語が主語 history 自身なので再帰代名詞 itself。it だと主語とは別の物を指してしまう。history は人でも複数でもないので himself / themselves は不可。

区別 **History repeats itself. ⇔ repeat oneself** 人が主語の repeat oneself は「（同じことを）繰り返し言う」（I'm sorry to repeat myself）。History repeats itself は「歴史が繰り返される」。どちらも再帰代名詞を主語に合わせる。

1145 ☐☐☐

I met my roommate for the first time yesterday, and we hit ＿＿＿＿ off right away.

① that ② it
③ them ④ one

② hit it off (with A)　（A と）すぐに意気投合する

訳 昨日ルームメートに初めて会ったが、すぐに意気投合した。

解説 「すぐに意気投合する」は hit it off で、it が固定されている。that / them / one に変えると決まり文句にならない。初対面ですぐ気が合った、という典型的な場面。

区別 **hit it off (with A) ⇔ get along with ~** get along with は「（継続的に）仲良くやっている」と関係の状態。hit it off は「（会ってすぐに）意気投合する」と最初の出会いの瞬間。見分け方：初対面ですぐ気が合ったなら hit it off。

1146 ☐☐☐

I have to get up at five tomorrow, so I'm going to ＿＿＿＿ now.

① hit the road ② hit the books
③ hit the roof ④ hit the sack

④ hit the sack　寝る；床につく

訳 明日は 5 時に起きなければならないので、もう寝るよ。

解説 明日 5 時に起きるので今「寝る」hit the sack。hit the road は「出発する」、hit the books は「猛勉強する」、hit the roof は「激怒する」で、早起きの前に寝るという流れに合わない。

区別 **hit the sack ⇔ hit the road** hit the road は「出発する・旅に出る」。hit the sack は「寝る」。同じ hit the ~ でも意味は全く違う。見分け方：sack（寝袋・袋）なら寝る、road なら出発。

1147 ☐☐☐

It's just a small scratch on the car. Don't make a mountain out of a ＿＿＿＿.

① rock ② hole
③ hill ④ molehill

④ make a mountain out of a molehill
大げさに騒ぎ立てる；針小棒大に言う

訳 車にちょっと傷がついただけだよ。大げさに騒ぎ立てないで。

解説 「大げさに騒ぐ」は make a mountain out of a molehill で、molehill（モグラ塚）が決まった語。rock / hole / hill はこの決まり文句に使わない。小さな傷で騒ぐなという場面。

区別 **make a mountain out of a molehill ⇔ a drop in the bucket** a drop in the bucket は「ごくわずか」で量の少なさを言う名詞句。make a mountain out of a molehill は「小さいことを大きく騒ぐ」という動詞句。見分け方：大げさな反応を批判するなら molehill。

1148 ☐☐☐

It's a good idea to save a little money every month for a ＿＿＿＿ day.

① rainy ② sunny
③ cloudy ④ windy

① save ~ for a rainy day
（お金などを）万一に備えて蓄える

訳 万一の時に備えて、毎月少しずつお金をためておくのはよい考えだ。

解説 「万一に備えて蓄える」は save ~ for a rainy day で、rainy が決まった語。困った時を「雨の日」にたとえている。sunny / cloudy / windy はこの決まり文句に使わない。

区別 **save ~ for a rainy day ⇔ Make hay while the sun shines.** Make hay ~ は「好機を逃すな（晴れているうちに干し草を作れ）」。save for a rainy day は「困った時に備えて蓄えよ」。どちらも天気の比喩だが、見分け方：今のうちに行動せよなら Make hay、将来に備えて貯めよなら rainy day。

1149 □□□

After losing the contest, he said the prize wasn't worth having anyway, but that was just sour ———— .

① grapes ② apples
③ lemons ④ milk

① sour grapes 負け惜しみ

訳 コンテストに負けた後、彼はどうせあの賞には価値がないと言ったが、それはただの負け惜しみだった。

解説 「負け惜しみ」は sour grapes で、grapes（ブドウ）が決まった語。イソップ物語のキツネの話から来ている。apples / lemons / milk はこの決まり文句に使わない。賞を逃して「どうせ価値がない」とけなす態度に合う。

区別 **sour grapes ⇔ green with envy** green with envy は「ひどくうらやましがって」と素直な嫉妬。sour grapes は「（手に入らなかった物を）けなす負け惜しみ」。見分け方：うらやましさを表に出すなら green with envy、強がってけなすなら sour grapes。

1150 □□□

Every business has its ups and ———— , so don't worry too much about one bad year.

① down ② lows
③ downs ④ falls

③ ups and downs 浮き沈み；栄枯盛衰

訳 どんな商売にも浮き沈みがあるのだから、1 年悪かったくらいであまり心配しないで。

解説 「浮き沈み」は ups and downs で、名詞として両方複数形にする。down（単数）では形がそろわず、lows / falls はこの決まり文句に使わない（highs and lows なら別の言い方として可）。

区別 **ups and downs ⇔ through thick and thin** through thick and thin は「良い時も悪い時も（ずっと）」という副詞句で、変わらぬ支えを言う。ups and downs は浮き沈みそのものを表す名詞。見分け方：have の目的語なら ups and downs。

1151 □□□

A: Did you hear the rumor about our boss? B: Shh! Not here. ————

① Love is blind.
② Knowledge is power.
③ Walls have ears.
④ Easy come, easy go.

③ Walls have ears. 壁に耳あり

訳 A：上司のうわさ、聞いた？ B：しっ！ここではだめ。壁に耳ありだよ。

解説 上司のうわさ話をここでするなと止めているので、誰が聞いているか分からない Walls have ears.。Love is blind は恋は盲目、Knowledge is power は知識は力なり、Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなるで、声をひそめる理由にならない。

区別 **Walls have ears. ⇔ keep ~ to oneself** keep ~ to oneself は「～を人に言わずにおく」という動詞句で、秘密を守る行動を言う。Walls have ears は「誰が聞いているか分からない」と注意を促すことわざ。見分け方：行動の指示なら keep it to yourself、警告の一言ならことわざ。

1152 □□□

I gave my son lots of good books, but he never reads them. You can lead a horse to water, but you can't make it ＿＿＿＿.

① drink　② to drink
③ drinking　④ drunk

①

You can lead a horse to water, but you can't make it drink.

馬を水辺に連れて行けても、水を飲ませることはできない

訳 息子に良い本をたくさん与えたが、彼は全く読まない。馬を水辺に連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。

解説 使役動詞 make は make O ＋ 原形（O に～させる）の形なので drink。to drink は make の後ろでは使えない（受動態 be made to do なら to が入る）。drinking / drunk も make O の後ろに置けない。

区別 **You can lead a horse to water, but you can't make it drink.** ⇔ **God helps those who help themselves.** God helps those ~ は「自ら努力する人が報われる」と努力する人を励ます。You can lead a horse to water ~ は「やる気のない人には何をしても無駄」と、周りの手助けの限界を言う。見分け方：本人の意欲がない状況への嘆きなら horse。

1153 □□□

My father still refuses to use a computer. I guess you can't teach an old dog new ＿＿＿＿.

① tracks　② things
③ rules　④ tricks

④ You can't teach an old dog new tricks.

老犬に新しい芸は教えられない；老いては新しいことは覚えにくい

訳 父は今でもパソコンを使おうとしない。老犬に新しい芸を教えることはできない［年を取ると新しいことは覚えられない］ということだろう。

解説 ことわざは You can't teach an old dog new tricks. で、tricks（芸）が決まった語。tracks（足跡）、things / rules はこのことわざに使わない。年配の父が新しい機器を覚えない場面に合う。

区別 **You can't teach an old dog new tricks.** ⇔ **It is never too late to learn.** It is never too late to learn は「学ぶのに遅すぎることはない」と、年齢に関係なく学べると励ます逆の考え。You can't teach an old dog ~ は年を取ると覚えにくいとあきらめる言い方。見分け方：あきらめなら old dog、励ましなら never too late。

1154 □□□

He was always rude to his classmates, and now nobody wants to help him. You reap ＿＿＿＿ you sow.

① that　② what
③ which　④ as

② You reap what you sow.

まいた種は自分で刈り取る；自業自得

訳 彼はいつもクラスメートに失礼な態度をとっていたので、今では誰も彼を助けようとしない。自業自得だ。

解説 reap の目的語として「まいたもの」が必要で、先行詞を含む関係代名詞 what が入る。that / which は前に先行詞の名詞がないと使えない。as は As you sow, so shall you reap. の形なら使うが、ここには入らない。

区別 **You reap what you sow.** ⇔ **God helps those who help themselves.** God helps those ~ は努力する人への励まし。You reap what you sow は「行いの結果は本人に返る」で、特に悪い結果を本人の責任とする場面。見分け方：報い・自業自得なら reap。

1155 □□□

He was so desperate that he believed the fake cure. A drowning man will catch ＿＿＿ a straw.

① at　② on
③ to　④ with

① A drowning man will catch at a straw.
溺れる者は藁をもつかむ

訳 彼はすっかり追い詰められていたので、偽物の治療法を信じてしまった。おぼれる者はわらをもつかむ。

解説 catch at ~ で「～をつかもうとする」。ことわざは catch at a straw で at が固定。on / to / with は catch と組んでこの意味にならない。必死の人がにせの治療法まで信じてしまった、という場面。

区別 **A drowning man will catch at a straw. ⇔ catch ~** catch ~ は「～をつかむ・捕まえる」と、実際に手に入れること。catch at ~ は「～をつかもうとする（手を伸ばす）」と、動作の向かう先を示すだけ。見分け方：at が付くと「しようとする」の意味になる。

1156 □□□

I broke my leg and couldn't play soccer, but every cloud has a silver ＿＿＿; I read twenty books that month.

① line　② lining
③ edge　④ side

② a silver lining
（悪い状況の中の）希望の光；明るい兆し

訳 足を骨折してサッカーができなかったが、悪いことにも良い面はあるもので、その月は本を 20 冊読んだ。

解説 ことわざは Every cloud has a silver lining. で、lining（裏地・縁取り）が決まった語。line / edge / side はこの決まり文句に使わない。足を骨折したが本をたくさん読めた、という悪い中の良い面。

区別 **a silver lining ⇔ a blessing in disguise** a blessing in disguise は「（最初は不運に見えたが）実は幸運だったこと」で、出来事全体が良い結果になった場合。a silver lining は「悪い状況の中の一部の良い点」。見分け方：結局すべて良かったなら blessing in disguise。

1157 □□□

The store gets more customers and the customers get lower prices. It's a win-＿＿＿ situation.

① lose　② won
③ win　④ winning

③ a win-win situation　双方に利益のある状況

訳 店は客が増え、客は安く買える。双方にとって得な状況だ。

解説 店も客も得をするので「双方に利益のある」win-win situation。win-lose は片方だけが得をする状況。won / winning はこの決まった言い方にならない。両者の得を並べた前半と合う。

区別 **a win-win situation ⇔ a zero-sum game** a zero-sum game は「一方の得が他方の損になる状況」で、win-win と対照的な考え。見分け方：両方が得をするなら win-win、取り合いで片方しか得をしないなら zero-sum。

1158 ☐☐☐

Some people learn English through movies, and others through books. All roads lead ＿＿＿＿ Rome.

① to　② for
③ at　④ **into**

① All roads lead to Rome.　すべての道はローマに通ず

訳 映画で英語を学ぶ人もいれば、本で学ぶ人もいる。全ての道はローマに通ず［方法は違っても目的は同じ］。

解説 lead to ~ で「～に通じる」。ことわざは All roads lead to Rome. で to が固定。for / at / into は lead の後ろで到達点を示す形にならない。学び方は違っても目的は同じ、という場面。

区別 **All roads lead to Rome. ⇔ lead to ~**　lead to ~ は「～につながる・～を引き起こす」（Smoking can lead to cancer）という動詞句で、原因と結果を表すことが多い。ことわざの lead to は道が「～に通じる」の文字どおりの意味。見分け方：原因・結果の文なら lead to。

1159 ☐☐☐

Many people work ＿＿＿＿ the scenes to make a movie, not just the actors.

① under　② **behind**
③ after　④ beyond

② behind the scenes　舞台裏で；陰で

訳 映画を作るには、俳優だけでなく、たくさんの人が裏方で働いている。

解説 「舞台裏で・表に出ないところで」は behind the scenes で、前置詞は behind に決まっている。under / after / beyond は the scenes と組んでこの意味にならない。俳優以外の裏方の仕事を表す文。

区別 **behind the scenes ⇔ behind A's back**　behind A's back は「A に隠れて・A のいないところで」と、特定の人を裏切る悪い意味。behind the scenes は「表から見えない所で」と中立的。見分け方：本人に隠れる裏切りなら A's back、裏方の仕事なら scenes。

1160 ☐☐☐

Even though they argue a lot, he always helps his brother when he's in trouble. Blood is ＿＿＿＿ than water.

① thick　② more thick
③ **thicker**　④ thickest

③ Blood is thicker than water.　血は水よりも濃い

訳 よく口げんかをしているが、彼は兄［弟］が困っているといつも助ける。血は水よりも濃い。

解説 後ろに than があるので比較級 thicker。thick は原級で than と組まず、thickest は最上級。1 音節の thick は -er で比較級を作るので more thick は不可。兄弟の絆を表す場面。

区別 **Blood is thicker than water. ⇔ Like father, like son.**　Like father, like son は「子は親に似る」と性格・能力の類似。Blood is thicker than water は「身内の絆は強い」とつながりの強さ。見分け方：似ている話なら like father、身内を優先する話なら blood。

1161 □□□

Even though she's a famous actress, she's very down to _____ and talks to everyone kindly.

① ground ② floor
③ land ④ earth

④ down to earth 現実的な；気取らない

訳 彼女は有名な女優なのに、とても気取らない人で、誰にでも親切に話しかける。

解説 「気取らない・現実的な」は down to earth で、earth が決まった語で無冠詞。ground / floor / land は意味が近くてもこの決まり文句に使わない。有名女優が偉ぶらない様子をほめる文。

区別 **down to earth ⇔ on earth** on earth は疑問詞を強める（What on earth are you doing? 一体何をしているの）。down to earth は「現実的・気取らない」。見分け方：疑問詞の後ろなら on earth、人の性格なら down to earth。

1162 □□□

Don't worry about getting lost. My uncle knows this city like the _____ of his hand.

① palm ② back
③ top ④ side

② know ~ like the back of one's hand
～を知り尽くしている

訳 道に迷う心配はないよ。おじはこの町を隅々まで知り尽くしているから。

解説 「～を知り尽くしている」は know ~ like the back of one's hand で、back（手の甲）が決まった語。palm（手のひら）/ top / side はこの決まり文句に使わない。道に迷う心配はない、という前半と合う。

区別 **know ~ like the back of one's hand ⇔ know ~ by heart** know ~ by heart は「～を暗記している」（詩・番号など）。know ~ like the back of one's hand は「（場所などを）熟知している」。見分け方：言葉を覚えているなら by heart、場所・物事に精通しているなら back of my hand。

1163 □□□

The weather is perfect for selling ice cream this week. Make hay _____ the sun shines.

① during ② while
③ for ④ until

② Make hay while the sun shines.
日の照るうちに干し草を作れ；好機を逃すな

訳 今週はアイスクリームを売るのにぴったりの天気だ。好機を逃すな［日の照るうちに干し草を作れ］。

解説 後ろに the sun shines という文（S V）があるので接続詞 while（～している間に）。during / for は前置詞で後ろに名詞しか置けない。until は「～するまで」で、ことわざの意味にならない。

区別 **Make hay while the sun shines. ⇔ Strike while the iron is hot.** Strike while the iron is hot も「鉄は熱いうちに打て（好機を逃すな）」でほぼ同じ意味。どちらも while S V の形。英語ではどちらも好機の比喩。日本語の「鉄は熱いうちに打て」は若いうちに鍛えよ、の意味でも使う点が違う。

1164 ☐☐☐

As a rule of _____, you should save at least ten percent of your income.

① finger ② thumb
③ hand ④ head

② rule of thumb 経験則；大まかなやり方の目安

訳 大まかな目安として、収入の少なくとも 10 パーセントは貯金したほうがよい。

解説 「経験則・大まかな目安」は rule of thumb で、thumb（親指）が決まった語。finger / hand / head はこの決まり文句に使わない。収入の 1 割を貯金するという、大まかな目安を示す文。

区別 **rule of thumb ⇔ as a rule** as a rule は「概して・普通は」（As a rule, I get up at six）。rule of thumb は「経験則・目安」。見分け方：習慣・一般的傾向を言う副詞句なら as a rule、目安となるやり方なら rule of thumb。

1165 ☐☐☐

The new smartphone is selling like hot _____; the store has almost none left.

① bread ② potatoes
③ cakes ④ dogs

③ sell like hot cakes 飛ぶように売れる

訳 新しいスマートフォンは飛ぶように売れていて、店にはほとんど残っていない。

解説 「飛ぶように売れる」は sell like hot cakes で、cakes が決まった語。bread / potatoes / dogs はこの決まり文句に使わない（hot potato は「厄介な問題」）。店にほとんど残っていない、という後半と合う。

区別 **sell like hot cakes ⇔ sell out** sell out は「売り切れる」と結果を言う。sell like hot cakes は「飛ぶように売れている」と勢いを言う。見分け方：在庫がなくなったなら sell out、売れ行きの速さなら hot cakes。

1166 ☐☐☐

My grandfather loves his only granddaughter more than anything. She is the apple of his _____.

① heart ② eye
③ hand ④ mind

② the apple of A's eye
A の目に入れても痛くないほど大切な人

訳 祖父はたった一人の孫娘を何よりもかわいがっている。彼女は祖父にとって目に入れても痛くない存在だ。

解説 「目に入れても痛くないほど大切な人」は the apple of A's eye で、eye が決まった語。heart / hand / mind はこの決まり文句に使わない。一人っ子の孫娘をかわいがる祖父の様子に合う。

区別 **the apple of A's eye ⇔ a sight for sore eyes** a sight for sore eyes は「（久しぶりに会えて）見ると嬉しい人・物」。the apple of one's eye は「一番大切な人」。見分け方：再会の喜びなら sight for sore eyes、いつもかわいがっている存在なら apple of one's eye。

1167 ☐☐☐

Don't worry about the quiz. It'll be as easy as _____.

① cake ② bread
③ tea ④ pie

④ (as) easy as pie とても簡単な

訳 小テストのことは心配しなくていいよ。とても簡単だから。

解説 「とても簡単な」は (as) easy as pie で、pie が決まった語。cake は a piece of cake の形で使い、easy as cake とは言わない。bread / tea もこの決まり文句に使わない。

区別 **(as) easy as pie ⇔ a piece of cake** a piece of cake は名詞句で「簡単なこと」（The test was a piece of cake）。easy as pie は形容詞句で「とても簡単な」。見分け方：be 動詞の後ろに a が付く名詞を置くなら piece of cake、形容詞なら easy as pie。

1168 □□□

From the top of the tower, you can get a bird's-eye ＿＿＿＿ of the whole city.

① look ② view
③ sight ④ scene

② a bird's-eye view 鳥瞰図；全体を見渡す眺め

訳 塔のてっぺんからは、町全体を見渡すことができる。

解説 「鳥瞰図・高い所からの眺め」は a bird's-eye view で、view が決まった語。look / sight / scene は意味が近くてもこの決まり文句に使わない。of the whole city が見渡す対象。

区別 **a bird's-eye view ⇔ a point of view** a point of view は「観点・見方」（from my point of view）。a bird's-eye view は「（上からの）全体像・概観」。見分け方：個人の考え方なら point of view、全体を見下ろす眺め・概要なら bird's-eye view。

1169 □□□

The Internet is ＿＿＿＿: it gives us useful information, but it also spreads false news.

① a double-edged sword
② a piece of cake
③ a drop in the bucket
④ a dark horse

① a double-edged sword もろ刃の剣

訳 インターネットは両刃の剣だ。役に立つ情報をくれる一方で、うそのニュースも広めてしまう。

解説 便利な情報を与える一方で偽の情報も広めるので、良い面と悪い面を持つ a double-edged sword。a piece of cake は「簡単なこと」、a drop in the bucket は「ごくわずか」、a dark horse は「意外な実力者」で、両面性を表せない。

区別 **a double-edged sword ⇔ a win-win situation** a win-win situation は「双方に利益がある状況」で良い面だけ。a double-edged sword は「良い面と悪い面の両方がある」。見分け方：プラスとマイナスが同居するなら double-edged sword。

1170 □□□

I can't explain why, but I have a ＿＿＿＿ feeling that something bad is going to happen.

① heart ② head
③ stomach ④ gut

④ a gut feeling 直感；虫の知らせ

訳 なぜかは説明できないが、何か悪いことが起こりそうな予感がする。

解説 「直感・虫の知らせ」は a gut feeling で、gut が決まった語。heart / head / stomach は体の部分だがこの決まり文句に使わない。理由は説明できないが感じる、という前半と合う。

区別 **a gut feeling ⇔ a sixth sense** a sixth sense は「第六感」で、五感以外の特別な感覚。a gut feeling は「（その場での）直感・予感」。見分け方：特定の状況での予感なら gut feeling、能力としての勘なら sixth sense。

1171 □□□

I accidentally called my teacher Mom in class. It was just a slip of the ＿＿＿＿.

① mouth ② tongue
③ lip ④ word

② a slip of the tongue 言い間違い；失言

訳 授業中にうっかり先生を「お母さん」と呼んでしまった。ただの言い間違いだった。

解説 「言い間違い」は a slip of the tongue で、tongue（舌）が決まった語。mouth / lip / word はこの決まり文句に使わない。先生を「お母さん」と呼んでしまった、という典型的な言い間違い。

区別 **a slip of the tongue ⇔ on the tip of one's tongue** on the tip of one's tongue は「（言葉が）喉まで出かかっている」。a slip of the tongue は「言い間違い」。同じ tongue でも意味は違う。見分け方：思い出せないなら tip、言い間違えたなら slip。

1172 □□□

Our school motto encourages both study and sports: A sound mind in a sound ＿＿＿＿.

① heart　② life
③ body　④ health

③ A sound mind in a sound body.

健全な精神は健全な肉体に宿る

訳 私たちの学校の校訓は勉強とスポーツの両方を勧めている。「健全な精神は健全な肉体に宿る」だ。

解説 ことわざは A sound mind in a sound body. で、body が決まった語。mind（精神）と body（肉体）を対にしている。heart / life / health ではこのことわざにならない。勉強と運動の両立を勧める場面に合う。

区別 **A sound mind in a sound body. ⇔ safe and sound** safe and sound は「無事で」（arrive safe and sound）。どちらも形容詞 sound（健全な・無事な）を使う。見分け方：危険を逃れて無事なら safe and sound、心身の健康の話ならことわざ。

1173 □□□

There's a small crack in the roof. Fix it now before it gets bigger. A stitch in ＿＿＿＿ saves nine.

① time　② hand
③ place　④ need

① A stitch in time saves nine.

今日の一針、明日の十針；早めの手当てが大事

訳 屋根に小さなひびがある。大きくなる前に今すぐ直しなさい。今日の一針、明日の十針だ。

解説 ことわざは A stitch in time saves nine. で、in time（早めに・間に合ううちに）が決まった形。in hand / in place / in need はこのことわざにならない。小さなひびを早めに直すよう勧める場面。

区別 **A stitch in time saves nine. ⇔ Prevention is better than cure.** Prevention ~ は「問題が起きる前に防げ」と予防の大切さ。A stitch in time ~ は「起きた小さな問題を早めに直せ」と早期対応。見分け方：起きる前なら Prevention、起きた後の早い修理なら A stitch in time。

1174 □□□

My grandfather is ＿＿＿＿; he gets up at 4:30 every morning to walk the dog.

① a night owl　② an early bird
③ a couch potato　④ a dark horse

② an early bird　早起きの人；朝型の人

訳 祖父は早起きで、毎朝 4 時半に起きて犬の散歩をする。

解説 毎朝 4 時半に起きるので「早起きの人」an early bird。a night owl は「夜型の人」で反対、a couch potato は「ごろごろする怠け者」、a dark horse は「意外な実力者」で、早起きの習慣を表せない。

区別 **an early bird ⇔ a night owl** a night owl は「夜型の人」で反対。見分け方：朝早くから活動するなら early bird、夜遅くまで起きているなら night owl。

1175 □□□

My grandfather believes that early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy, and ＿＿＿＿.

① wisdom　② wise
③ wisely　④ wiser

②

Early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise.

早寝早起きは人を健康に、裕福に、賢くする；早起きは三文の徳

訳 祖父は、早寝早起きは人を健康に、裕福に、賢明にすると信じている。

解説 make O C の C に形容詞が並んでいる（healthy, wealthy, and ~）ので、形容詞 wise。wisdom は名詞、wisely は副詞で、healthy / wealthy と並べられない。wiser は比較級で他の 2 つと形がそろわない。

区別 **Early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise.** ⇔ **The early bird catches the worm.** The early bird ~ は「早く行動する者が得をする」で、早起きに限らず先に動くことの得を言う。Early to bed ~ は早寝早起きの生活習慣が健康・富・知恵をもたらすと言う。見分け方：生活習慣全体なら Early to bed。

1176 □□□

A: Let's plan the party! What should we decide? B: ＿＿＿＿ We need to decide the date before anything else.

① First things first.
② Easy come, easy go.
③ Two heads are better than one.
④ Walls have ears.

① **First things first.** 大事なことから先に

訳 A：パーティーの計画を立てよう！何を決めればいい？　B：まずは大事なことから。何よりも先に日にちを決めないと。

解説 「何よりも先に日付を決めよう」と優先すべきことを示しているので First things first.。Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなる、Two heads ~ は協力、Walls have ears は壁に耳ありで、優先順位の話にならない。

区別 **First things first.** ⇔ **first of all** first of all は「まず第一に」と、話の順序を示すつなぎ言葉。First things first は「（一番）大事なことを先に」と優先順位を言う一文。見分け方：文の頭に置いて列挙を始めるなら first of all、独立して優先を促すなら First things first。

1177 □□□

Our team went all ＿＿＿＿ to win the championship game.

① off　② out
③ over　④ up

② **go all out** 全力を出す；徹底的にやる

訳 私たちのチームは決勝戦に勝つために全力を尽くした。

解説 「全力を出す」は go all out。go all off / go all over / go all up はこの意味の決まり文句にならない。out は「（力を）すべて外へ出し切って」。優勝のために全力を尽くした文。

区別 **go all out** ⇔ **go the extra mile** go the extra mile は「（期待以上に）一層の努力をする」で、他人のために尽くす含み。go all out は「（目標に向かって）力を出し切る」。見分け方：勝つため全力なら all out、人のために余分に尽くすなら extra mile。

1178 ☐☐☐

I'd love to join the committee, but I have a lot on my ———— this month.

① table ② desk
③ dish ④ plate

④ have a lot on one's plate

やることがたくさんある；手一杯である

訳 その委員会にぜひ入りたいのですが、今月はやることがたくさんあるんです。

解説 「やることがたくさんある」は have a lot on one's plate で、plate が決まった語。table / desk / dish は意味が近くてもこの決まり文句に使わない。委員会に入りたいが忙しい、と断る場面。

区別 **have a lot on one's plate ⇔ bite off more than one can chew** bite off more than one can chew は「（自分で）能力以上のことを引き受けてしまう」と判断の誤り。have a lot on one's plate は「やることが多い」状況を言うだけ。見分け方：引き受けすぎた後悔なら bite off、忙しい状態の説明なら plate。

1179 ☐☐☐

After hiking all day, even simple rice balls tasted wonderful. ————

① Easy come, easy go.
② Hunger is the best sauce.
③ Walls have ears.
④ Love is blind.

② Hunger is the best sauce.

空腹は最上のソース；空き腹にまずいものなし

訳 一日中ハイキングした後は、ただのおにぎりでさえとてもおいしく感じた。空腹は最高の調味料だ。

解説 一日中歩いた後で素朴なおにぎりがとてもおいしく感じたので、空腹は最上のソース Hunger is the best sauce.。Easy come, easy go は楽に得た物はすぐなくなる、Walls have ears は壁に耳あり、Love is blind は恋は盲目で、食事の味の話にならない。

区別 **Hunger is the best sauce. ⇔ Variety is the spice of life.** Variety is the spice of life は「変化は人生のスパイス（いろいろあるから楽しい）」で、同じ調味料の比喩でも意味は違う。Hunger ~ は「空腹なら何でもおいしい」。見分け方：食事の味の話なら Hunger。

1180 ☐☐☐

Office workers such as bank clerks and accountants are often called ———— workers.

① blue-collar ② part-time
③ white-collar ④ full-time

③ white-collar 事務職の；ホワイトカラーの

訳 銀行員や会計士のような事務職の人は、よくホワイトカラーと呼ばれる。

解説 銀行員や会計士など事務職は white-collar workers。blue-collar は工場や建設現場などの肉体労働で反対。part-time / full-time は勤務時間の区別で、職種の種類を表さない。

区別 **white-collar ⇔ blue-collar** blue-collar は「肉体労働の・現場の」（工場・建設などで青い作業着を着る仕事）。white-collar は「事務職の」。見分け方：オフィスで働くなら white、工場・現場で働くなら blue。

1181 □□□

Factory workers, carpenters, and mechanics are often called ＿＿＿＿ workers.

① white-collar　② blue-collar
③ part-time　④ full-time

② blue-collar 肉体労働の；ブルーカラーの

訳 工場で働く人や大工、整備士は、よくブルーカラーと呼ばれる。

解説 工場労働者・大工・整備士など現場で体を使う仕事は blue-collar workers。white-collar は事務職で反対。part-time / full-time は勤務時間の区別で、職種の種類を表さない。

区別 **blue-collar ⇔ white-collar** white-collar は「事務職の」。blue-collar は「肉体労働の・現場の」。見分け方：オフィスで書類を扱うなら white、工場・現場で手を動かすなら blue。

確認テスト6　イディオム・ことわざ｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

1046 姉と私は音楽については必ずしも意見が合わない。
My sister and I don't always **see** eye to eye on music.

1047 運動会に雨が降らないよう祈っているよ。
I'm keeping my **fingers** crossed that it won't rain on sports day.

1048 母は毎週末、パンを一から作る。
My mother makes bread from **scratch** every weekend.

1049 その看護師は患者が快適に過ごせるよう、いつも一層の努力をしている。
The nurse always goes the **extra** mile to make patients feel comfortable.

1050 ホラー映画は私の好みではない。
Horror movies are not my **cup** of tea.

1051 彼女は都会に引っ越したがっているが、隣の芝生は青く見えるものだ。
She wants to move to the city, but the grass is always **greener** on the other side.

1052 先生は生徒が授業中にお菓子を食べているのを見て見ぬふりをした。
The teacher turned a **blind** eye to the students eating snacks in class.

1053 夏休みの予定はまだ決まっていない。
Our plans for the summer vacation are still up in the **air** .

1054 この長い書類を書くのは本当に面倒だ。
Filling out these long forms is a real **pain** in the neck.

1055 バスに乗り遅れたうえに、追い打ちをかけるように雨が降り出した。
I missed the bus, and to add **insult** to injury, it started to rain.

1056 貧困についての講演者の話は、私たちに考えるきっかけを与えた。
The speaker's story about poverty gave us food for **thought** .

1057 運を待つだけじゃだめ。天は自ら助くる者を助くだよ。
Don't just wait for luck. God helps those who help **themselves** .

1058 落ちることを心配しないで。私たちは皆同じ立場なんだから。
Don't worry about failing; we're all in the same **boat** .

1059 このパズルを一緒に解こう。三人寄れば文殊の知恵だ。
Let's solve this puzzle together. Two **heads** are better than one.

1060 高級なディナーパーティーで、私は場違いで落ち着かなかった。
I felt like a **fish** out of water at the fancy dinner party.

1061 明日の百より今日の五十だと思って、最初の内定を受けた。
I took the first job offer because a bird in the hand is worth two in the **bush** .

1062 彼は大学に行かなかったので、家族の中ではみ出し者扱いだった。
He was the black **sheep** of the family because he never went to college.

1063 被害の写真を見せなさい。百聞は一見に如かずだよ。
Show them the photo of the damage. A picture is **worth** a thousand words.

1064 そのサイトは立派に見えるけど、光るもの必ずしも金ならずだよ。
That website looks great, but all that **glitters** is not gold.

1065 道に迷ったが間に合った。終わりよければすべてよしだ。
We got lost, but we arrived in time. All's well that **ends** well.

1066 結局のところ、決めるのは私ではなく君だよ。
At the **end** of the day, it's your decision, not mine.

1067 過ぎたことを嘆いても仕方がない。次はもっと勉強しよう。
There's no point crying over **spilled** milk; let's just study harder next time.

1068 宿題は今やりなさい。今日できることを明日に延ばしちゃだめ。
Do your homework now. Don't put off until **tomorrow** what you can do today.

1069 雨の月曜の朝はいつも憂うつだ。
I always feel **blue** on rainy Monday mornings.

1070 人が来すぎて、パーティーは収拾がつかなくなった。
The party got out of **hand** when too many people showed up.

1071 早合点しないで。たぶん彼女はバスに乗り遅れたんだよ。
Don't jump to **conclusions**; maybe she missed the bus.

1072 土砂降りだったので、一日中家の中にいた。
It was raining cats and **dogs**, so we stayed inside all day.

1073 行間を読めば、彼女が満足していないのが分かる。
If you read **between** the lines, you can tell she isn't happy.

1074 お役所仕事のせいで、許可を得るのに何か月もかかった。
It took months to get the permit because of all the red **tape**.

1075 彼の名前に聞き覚えはあるが、どこで聞いたか思い出せない。
His name rings a **bell**, but I can't remember where I heard it.

1076 言い返したかったが、雄弁は銀、沈黙は金だ。
I wanted to argue, but speech is **silver**, silence is golden.

1077 私は提案したので、今度は君が決める番だよ。
I've made my offer, so now the ball is in your **court**.

1078 彼女の記事が法律を変えた。ペンは剣よりも強しだ。
Her articles changed the law. The pen is **mightier** than the sword.

1079 報告されたいじめの件数は、ほんの氷山の一角にすぎない。
The reported cases of bullying are just the tip of the **iceberg**.

1080 毎日勉強が必要だ。学問に王道なしだ。
You need to study every day. There is no **royal** road to learning.

1081 皆、彼が辞めると言っている。火のない所に煙は立たぬだ。
Everyone says he's quitting. There's no **smoke** without fire.

1082 親友は良い時も悪い時も私を支えてくれた。
My best friend has stood by me through **thick** and thin.

1083 10 連敗して、チームはほとんどあきらめかけた。
After losing ten games in a row, the team almost threw in the **towel** .

1084 5 人でパーティーを計画したらめちゃくちゃになった。船頭多くして船山に上るだ。
Five people tried to plan the party and it was a mess. Too many **cooks** spoil the broth.

1085 何時に終わるか分からないから、その場で決めよう。
I don't know what time I'll finish, so let's play it by **ear** .

1086 今年は 3 つも部に入って、手に余ることを引き受けすぎたと思う。
I joined three clubs this year, and I think I bit off more than I can **chew** .

1087 ついに覚悟を決めて歯医者に行った。
I finally bit the **bullet** and went to the dentist.

1088 何度も嘘をついていたら、本当に病気のときに誰も信じてくれないよ。
If you keep crying **wolf** , no one will believe you when you're really sick.

1089 時間があまりないので、本題に入ろう。
We don't have much time, so let's cut to the **chase** .

1090 彼はゲームでお金を手に入れたが、翌日なくした。悪銭身につかずだ。
He won some money in a game and lost it the next day. Easy **come** , easy go.

1091 無料チケットは先着順だから、早めに行ってね。
The free tickets are first come, first **served** , so get there early.

1092 隣の大音量の音楽に本当にいらいらする。
The loud music from next door is really getting on my **nerves** .

1093 私は甘党なので、チョコレートを食べるのがやめられない。
I have a **sweet** tooth, so I can't stop eating chocolate.

1094 彼はテスト中にスマホを使って大目玉を食った。
He got in **hot** water for using his phone during the test.

1095 祖母は 70 歳で英語を始めた。学ぶのに遅すぎることはない。
My grandmother started English at seventy. It is never too **late** to learn.

1096 財布をなくした上にスマホも壊れた。泣きっ面に蜂だ。
I lost my wallet and then my phone broke. It never rains but it **pours** .

1097 できるだけたくさん本を読みなさい。知識は力なりだから。
Read as much as you can, because knowledge is **power** .

1098 彼女の名前が喉まで出かかっているのに、どうしても思い出せない。
Her name is on the **tip** of my tongue, but I just can't remember it.

1099 合格通知を受け取って、私は大喜びした。
I was over the **moon** when I got the letter of acceptance.

1100 毎日少しずつ勉強しなさい。ゆっくり着実な者が勝つんだ。
Study a little every day. Slow and **steady** wins the race.

1101 この問題を解決するには、型にはまらない発想が必要だ。
To solve this problem, we need to think **outside** the box.

1102 今から試験の準備を始めなさい。歳月人を待たずだ。
Start preparing for the exam now. Time and **tide** wait for no man.

1103 彼はなくした指輪を魚の中から見つけた。事実は小説よりも奇なりだ。
He found his lost ring inside a fish. Truth is stranger than **fiction** .

1104 口げんかの後、友達は 1 週間私に冷たかった。
After our argument, my friend gave me the cold **shoulder** for a week.

1105 ごろごろしてないで、外に散歩に行きなさい。
Stop being a **couch** potato and go outside for a walk.

1106 私たちの寄付は、修理費に比べればほんのわずかだった。
Our donation was only a drop in the **bucket** compared to the cost of the repairs.

1107 言語の習得には何年もかかるが、千里の道も一歩からだ。
Learning a language takes years, but a **journey** of a thousand miles begins with a single step.

1108 私は夜型なので、たいてい夜中の 12 時を過ぎてから勉強する。
I'm a night **owl** , so I usually study after midnight.

1109 私があなたのペンを取ったと思っているなら、お門違いだよ。
If you think I took your pen, you're barking up the wrong **tree** .

1110 陰で友達の悪口を言うのは意地悪だ。
It's unkind to talk about your friends **behind** their backs.

1111 その小さなカフェは広告ではなく口コミで人気になった。
The small cafe became popular by word of **mouth** , not through ads.

1112 間違いを恐れるな。失敗は成功のもとだ。
Don't be afraid of mistakes. **Failure** is the mother of success.

1113 自己紹介から始めましょう。
Let's get the ball **rolling** by introducing ourselves.

1114 今夜の夕食は割り勘にしよう。
Let's go **Dutch** on dinner tonight.

1115 友達に新しいスマホを見せられて、ひどくうらやましかった。
I was green with **envy** when my friend showed me her new phone.

1116 消防士たちは間一髪のところで到着した。
The firefighters arrived in the **nick** of time.

1117 多くの会社が時流に乗って、タピオカミルクティーを売り始めた。
Many companies jumped on the **bandwagon** and started selling bubble tea.

1118 新しいアルバイトのやり方を覚えるのに数週間かかった。
It took me a few weeks to learn the **ropes** at my new part-time job.

1119 トムもお父さんも野球が大好きだ。この父にしてこの子ありだ。
Both Tom and his dad love baseball. Like **father**, like son.

1120 彼女は彼の悪いところがまったく見えていない。恋は盲目だ。
She doesn't see his bad points at all. Love is **blind**.

1121 チケットは数分で売り切れ、私は乗り遅れた。
Tickets sold out in minutes, and I missed the **boat**.

1122 大学の息子から連絡はないが、便りのないのは良い便りだ。
My son hasn't called from college, but no news is **good** news.

1123 主役のオーディションを受けてみる。虎穴に入らずんば虎子を得ずだ。
I'll try out for the lead role. Nothing **ventured**, nothing gained.

1124 始める前に、全員が同じ認識かどうか確認しよう。
Before we start, let's make sure we're all on the same **page**.

1125 今年はインフルエンザの予防接種を受けなさい。予防は治療に勝るよ。
Get a flu shot this year. Prevention is better than **cure**.

1126 歴史の試験の準備で徹夜した。
I pulled an **all-nighter** to prepare for the history exam.

1127 いつまでもどっちつかずではいられないよ。どちらかの案を選ばないと。
You can't sit on the **fence** forever. You have to choose one plan.

1128 上手な雑談は会議の場をなごませる。
Good **small** talk can break the ice at meetings.

1129 クラスの皆がそれぞれ違う考えを持っていた。十人十色だ。
Everyone in the class had a different idea. So many men, so many **minds**.

1130 ネットで読んだことは話半分に聞いた方がいい。
You should take what you read online with a **grain** of salt.

1131 要するに、ボランティアがもっと必要だということだ。
The **bottom** line is that we need more volunteers.

1132 決める前に、留学の良い点と悪い点を話し合った。
We discussed the pros and **cons** of studying abroad before making a decision.

1133 旅行は楽しかったが、我が家に勝る所はない。
The trip was great, but there's no place like **home**.

1134 テストに落ちた後、彼は心を入れ替えて毎日勉強することにした。
After failing the test, he decided to turn over a new **leaf** and study every day.

1135 コンテストの前は誰も彼女を知らなかったが、思わぬ実力者だった。
Nobody knew her before the contest, but she turned out to be a **dark** horse.

1136 制服の問題は、生徒会の会議で厄介な話題になった。
School uniforms became a hot **potato** at the student council meeting.

1137 ストレスで眠れず、睡眠不足がさらにストレスを生む。悪循環だ。
Stress makes it hard to sleep, and lack of sleep causes more stress: it's a **vicious** circle.

1138 祖母は毎朝果物を食べる。1日1個のリンゴで医者いらずだからね。
My grandmother eats fruit every morning. An apple a day keeps the **doctor** away.

1139 その変なメールを開けちゃだめ。好奇心もほどほどにね。
Don't open that strange email. **Curiosity** killed the cat.

1140 いろいろ助けてくれて、心の底から感謝しています。
I thank you from the **bottom** of my heart for all your help.

1141 校長は文化祭の開催にゴーサインを出してくれた。
The principal gave us the **green** light to hold a school festival.

1142 大事な試合の前はいつも緊張でどきどきする。
I always have **butterflies** in my stomach before a big game.

1143 手伝いたいけど、試験準備で手一杯なんだ。
I'd like to help, but I have my hands **full** with exam preparation.

1144 歴史は繰り返すので、戦争は起こり続ける。
Wars keep happening because history **repeats** itself.

1145 私たちはすぐに意気投合して、何時間も話した。
We hit it **off** right away and talked for hours.

1146 くたくただから、今夜は早く寝るよ。
I'm exhausted, so I'm going to hit the **sack** early tonight.

1147 ただのかすり傷だよ。大げさに騒がないで。
It's just a small scratch. Don't make a mountain out of a **molehill** .

1148 万一に備えて、お小遣いの一部を銀行に預けている。
I put part of my allowance in the bank to save it for a **rainy** day.

1149 彼はあの賞は取る価値がないと言ったが、ただの負け惜しみだ。
He said the prize wasn't worth winning, but that's just sour **grapes** .

1150 どんな人間関係にも浮き沈みがある。
Every relationship has its ups and **downs** .

1151 ここでサプライズパーティーの話はやめよう。壁に耳ありだ。
Let's not talk about the surprise party here. **Walls** have ears.

1152 彼に参考書をあげたが勉強しない。馬を水辺に連れて行けても飲ませることはできない。
I gave him the textbooks, but he won't study. You can lead a **horse** to water, but you can't make it drink.

1153 祖父はスマホを使おうとしない。年を取ると新しいことは覚えられないものだ。
My grandfather won't use a smartphone. You can't teach an old dog new **tricks** .

1154 彼はまったく勉強せずにすべてのテストで落ちた。自業自得だ。
He never studied and failed every test. You **reap** what you sow.

1155 彼はその変なダイエットが効くと信じた。溺れる者は藁をもつかむのだ。
He believed the strange diet would work; a drowning man will catch at a **straw** .

1156 仕事を失ったのはつらかったが、希望の光は本当にやりたいことが見つかったことだ。
Losing my job was hard, but the silver **lining** is that I found my real passion.

1157 相乗り通学は、私たちにも地球にも得になる状況だ。
Sharing a car to school is a **win-win** situation for us and the planet.

1158 アプリで勉強しても本で勉強してもいい。すべての道はローマに通ずだ。
You can study with apps or books. All roads lead to **Rome** .

1159 多くのボランティアが陰で働いて、お祭りを成功させた。
Many volunteers worked behind the **scenes** to make the festival a success.

1160 兄とはよくけんかするが、血は水よりも濃い。
My brother and I fight a lot, but blood is **thicker** than water.

1161 彼女は有名なのに、とても気取らない人だ。
Even though she's famous, she's very down to **earth** .

1162 彼女はここで育ったので、この町を隅々まで知っている。
She grew up here, so she knows this town like the **back** of her hand.

1163 今日は練習にぴったりの天気だ。好機を逃すな。
The weather is perfect for practice today. Make **hay** while the sun shines.

1164 目安として、1日に約2リットルの水を飲むとよい。
As a rule of **thumb** , you should drink about two liters of water a day.

1165 新しいゲームは発売初日に飛ぶように売れた。
The new game sold like hot **cakes** on the first day.

1166 幼い娘は彼にとって目に入れても痛くない存在だ。
His little daughter is the **apple** of his eye.

1167 パンケーキを作るのはとても簡単だ。
Making pancakes is as easy as **pie** .

1168 塔のてっぺんから、街を一望できた。
From the top of the tower, we got a bird's-eye **view** of the city.

1169 SNS は若者にとってもろ刃の剣だ。
Social media is a double-edged **sword** for young people.

1170 何かおかしいという直感がしたので、彼女に電話した。
I had a **gut** feeling that something was wrong, so I called her.

1171 先生をうっかり「お母さん」と呼んでしまった。ただの言い間違いだ。
I called my teacher "Mom" by mistake. It was just a **slip** of the tongue.

1172 健全な精神は健全な肉体に宿ると思うので、毎朝走っている。
I run every morning because a sound **mind** in a sound body is important.

1173 小さな水漏れは今のうちに直しなさい。早めの手当てが大事だよ。
Fix that small leak now. A **stitch** in time saves nine.

1174 祖父は早起きで、5 時に犬の散歩をする。
My grandfather is an **early** bird and walks the dog at five.

1175 父はいつも「早寝早起きは健康・富・知恵のもと」と言う。
My father always says, "Early to bed and early to rise makes a man healthy, **wealthy**, and wise."

1176 大事なことから先に。宿題を終わらせてからゲームをしよう。
First things first: let's finish our homework, then play games.

1177 うちのチームは決勝戦で全力を出し切った。
Our team went **all** out in the final match.

1178 今やることがたくさんあって、そのイベントには参加できない。
I can't join the event because I have a lot on my **plate** right now.

1179 ハイキングの後は白いご飯でもとてもおいしかった。空腹は最高の調味料だ。
Even plain rice tasted great after the hike. Hunger is the best **sauce**.

1180 今では多くの事務職の人が在宅勤務をしている。
Many **white-collar** workers now work from home.

1181 彼は自動車工場で知られる労働者の町で育った。
He grew up in a **blue-collar** town known for its car factories.

CHAPTER 7

口語・スラング（原田英語 用語集）

海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。 No.1182〜1183（2 問）

問題

1182 □□□

The printer in the teachers' room is broken, and we need it for tomorrow's exam. Please call the repair company ＿＿＿＿.

① FYI ② BTW
③ ASAP ④ IMO

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ ASAP できるだけ早く；至急

訳 職員室のプリンターが壊れていて、明日の試験に必要だ。至急、修理会社に電話してください。

解説 明日の試験に必要なので「至急」電話してほしいという依頼。文末に置いて急ぎを表す ASAP（as soon as possible）。FYI（for your information）は「参考までに」とお知らせの前置き、BTW（by the way）は「ところで」と話題を変える語、IMO（in my opinion）は「私の考えでは」で、どれも急ぎの依頼にならない。

区別 **ASAP ⇔ FYI** ASAP は「できるだけ早く（〜して）」と相手に急いで行動を求める。FYI は「参考までに」と情報を伝えるだけで、相手に何かを求めない。見分け方：お願い・命令の文なら ASAP、お知らせの前置きなら FYI。

1183 □□□

A: ＿＿＿＿, the meeting room has been changed to Room 302. B: Oh, thanks for letting me know.

① FYI ② ASAP
③ RSVP ④ TBA

① FYI 参考までに；念のためお知らせすると

訳 A：念のためお知らせすると、会議室は 302 号室に変わりました。 B：あ、教えてくれてありがとう。

解説 部屋の変更を「参考までに」伝え、B が「教えてくれてありがとう」と返しているので、お知らせの前置き FYI（for your information）。ASAP は「できるだけ早く」で文頭に置いてお知らせにはならない。RSVP は招待状の「お返事ください」、TBA（to be announced）は「追って発表」で、変更をすでに伝えている文と合わない。

区別 **FYI ⇔ ASAP** FYI は「参考までに」と情報を伝えるだけ。ASAP は「できるだけ早く」と相手に急いで何かをしてもらう。見分け方：後ろが事実のお知らせなら FYI、依頼の文の最後に付くなら ASAP。

確認テスト 7　口語・スラング｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

1182　会議が正午に始まるので、至急レポートを送ってください。
Please send me the report **ASAP** , because the meeting starts at noon.

1183　参考までに、締め切りは来週の金曜日に変更になりました。
FYI , the deadline has been moved to next Friday.

索引 熟語（be・one's などを除いた最初の語のアルファベット順）→ 問題番号

A

abide by ~ 0020
accustom A to B 0468
be acquainted with ~ 0591
adapt A to B 0377
adapt oneself to ~ 0378
adapt to ~ 0206
add insult to injury 1055
be addicted to ~ 0535
adjust A to B 0425
adjust to ~ 0233
admire A for B 0315
After you. 0884
again and again 0739
be against ~ 0579
agree on ~ 0379
agree to ~ 0207
ahead of ~ 0677
aim A at B 0219
aim at ~ 0278
All roads lead to Rome. 1158
All that glitters is not gold. 1064
all the + 比較級 (for ~ / because ...) 0784
all the time 0654
all the way 0740
all too 0785
All you have to do is (to) do 0252
All's well that ends well. 1065
allow for ~ 0426
along with ~ 0655
amount to ~ 0316
An apple a day keeps the doctor away. 1138
an early bird 1174
~ and so on 0737
and yet 0810
be anxious for ~ 0603
Anything else? 0944
apart from ~ 0631
apply A to B 0234
apply to ~ 0205
be apt to do 0547
Are you serious? 0899
argue with ~ 0279
arise from ~ 0280
arrange for ~ 0427
as ~ go 0859
(just) as ~, so ... 0807
as a matter of course 0860
as a rule 0701
as a token of ~ 0861
as a whole 0741
as far as ~ is concerned 0656
as is often the case with ~ 0657
as it happens 0862
as to ~ 0702
ASAP 1182
be ashamed of ~ 0521
ask a favor of A 0281
ask A of B 0208
be associated with ~ 0563
assure A of B 0469
be at a loss 0522
at a time 0678
at all costs 0742
at any moment 0658
at first hand 0786
at first sight 0703
be at home in ~ 0610
at issue 0811
at most 0644
at present 0645
at random 0704
at the cost of ~ 0812
at the end of the day 1066
at the expense of ~ 0743
at the last minute 0787
at the latest 0744
at the moment 0635
at the sight of ~ 0788
at the thought of ~ 0745
at this [that] rate 0813
at times 0659
at work 0746
attach A to B 0380
attach importance to ~ 0353
be attached to ~ 0623
attend to ~ 0220
be available to ~ 0592

B

back up ~ 0007
be bad at ~ 0536
ban A from ~ing 0428
bark up the wrong tree 1109
bear fruit 0470
bear out ~ 0148
Bear with me. 1020
Beats me. 0991
before one knows it 0863
behave oneself 0471
behind A's back 1110
behind the scenes 1159
believe it or not 0960
be beside oneself (with ~) 0611
Better luck next time. 0885
be better off 0548
beyond description 0864
beyond doubt 0814
beyond question 0747
A bird in the hand is worth two in the bush. 1061
a bird's-eye view 1168
bite off more than one can chew 1086
bite the bullet 1087
a black sheep 1062
Blood is thicker than water. 1160
blow up 0040
blue-collar 1181
boast of ~ 0472
be bored with ~ 0537
break in 0112
break off ~ 0149
break one's promise 0429
break up with ~ 0008
bring ~ to an end 0317
bring ~ to light 0409
bring A home to B 0430
bring back ~ 0022
bring oneself to do 0381
bring out ~ 0075
brush up on ~ 0076
build up ~ 0077
bump into ~ 0041
burn down 0150
burst into laughter 0473
burst into tears 0318
burst out ~ing 0042
be busy with ~ 0523
but for ~ 0679
by all means 0680
by any chance 0748
by contrast 0705
by far 0636
by hand 0706
by heart 0660
by means of ~ 0681
by mistake 0637
by nature 0749
by now 0707
by the + 単位 0815
by word of mouth 1111

C

call at ~ 0078
call back 0043
call up ~ 0151
Can I get you something to drink? 1006
Can I have the check, please? 0886
Can't complain. 1038
can't wait to do 0319
cannot but do 0275

care about ~ 0023
catch (a) cold 0320
catch A ~ing 0221
catch A by the arm 0282
catch a glimpse of ~ 0474
catch fire 0410
catch on 0113
catch one's eye 0431
catch up 0079
be caught in ~ 0538
be certain to do 0564
change A into B 0209
change trains 0283
charge A for B 0321
charge A with B 0253
check in 0044
check out 0002
clean up ~ 0080
clear A of B 0475
clear up 0024
be close to ~ 0580
combine A with B 0235
come back 0152
come before ~ 0190
come by ~ 0009
come down with ~ 0045
come in handy 0476
come into being 0284
come into contact with ~ 0354
come into effect 0355
come out 0001
come over 0153
come to an agreement 0477
come to light 0382
come to mind 0322
come to terms with ~ 0432
Come to think of it, ~. 1007
come up 0025
comment on ~ 0433
commit oneself to ~ 0356
be committed to ~ 0549
communicate with ~ 0254
be compelled to do 0612
compensate for ~ 0383
compete for ~ 0434
compete with ~ 0236
comply with ~ 0285
be composed of ~ 0550
concentrate A on B 0435
be concerned with ~ 0581
be confident of ~ 0593
conform to ~ 0384
connect A with B 0210
be connected with ~ 0582
be conscious of ~ 0551
considering ~ 0750
consist in ~ 0385
be content with ~ 0552
contrary to ~ 0708
contrast A with B 0436
contribute A to B 0437
convert A into B 0323
be convinced of ~ 0565
cooperate with ~ 0286
correspond to ~ 0386
a couch potato 1105
Could you pass me the salt? 1021
Could you speak up? 0927
Count me in. 0913
cover A with B 0222
be crazy about ~ 0553
cross out ~ 0154
cry over spilled milk 1067
cry wolf 1088
Curiosity killed the cat. 1139
be curious about ~ 0554
cut back on ~ 0155
cut down ~ 0081
Cut it out. 1022
cut to the chase 1089

D

dare (to) do 0255
a dark horse 1135
date back to ~ 0026
deal in ~ 0082
decide on ~ 0324
dedicate A to B 0438
define A as B 0478
derive A from B 0479
derive from ~ 0325
describe A as B 0223
be desperate for ~ 0613
be determined to do 0524
be devoted to ~ 0539
die down 0156
die of ~ 0046
be disappointed with ~ 0540
discriminate against ~ 0387
dispose of ~ 0224
distinguish between A and B 0237
do + 動詞の原形（強調） 0439
do damage to ~ 0440
do research (on ~) 0357
do the dishes 0480
do well (in ~) 0388
do with ~ 0157
Do you have a minute? 0945
Don't bother. 1008
Don't get me wrong. 0946
Don't give up. 0928
Don't put off until tomorrow what you can do today. 1068
a double-edged sword 1169
down to earth 1161
dozens of ~ 0816
draw a conclusion 0358
draw attention to ~ 0326
dream of ~ 0327
dress up 0083
be dressed in ~ 0604
drive at ~ 0158
drop by 0084
a drop in the bucket 1106
drop off 0114
A drowning man will catch at a straw. 1155
be due to do 0555

E

early on 0817
Early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise. 1175
Easier said than done. 0947
(as) easy as pie 1167
Easy come, easy go. 1090
eat out 0003
Either is fine with me. 0961
emerge from ~ 0441
end in ~ 0115
engage in ~ 0211
be engaged in ~ 0525
enter into ~ 0191
entrust A with B 0442
be equal to ~ 0624
equip A with B 0212
be equipped with ~ 0583
escape from ~ 0328
be essential to ~ 0566
every other day 0751
be excited about ~ 0526
exclude A from B 0481
excuse A for B 0443
expect A of B 0444
be expected to do 0541
expose A to B 0238
express oneself 0482

F

face to face 0709
be faced with ~ 0567
fade away 0159
Failure is the mother of success. 1112
Fair enough. 0962
fall apart 0160
fall asleep 0256
fall back on ~ 0161
fall ill 0483
fall in love (with ~) 0287
fall out with ~ 0085
fall short of ~ 0445
fall through 0162

be familiar to ~ 0568
be far from ~ 0527
be fascinated by ~ 0605
be fed up with ~ 0556
feel at home 0359
feel blue 1069
feel for ~ 0163
fill A with B 0213
fill up 0164
find one's way (to ~) 0484
find oneself ~ 0446
First come, first served. 1091
First things first. 1176
(like) a fish out of water 1060
fit in 0086
focus A on B 0225
food for thought 1056
for all ~ 0710
for fear of ~ 0818
For here or to go? 0948
for long 0819
for nothing 0711
for now 0820
for oneself 0661
for sale 0752
for short 0821
for sure 0712
for the benefit of ~ 0822
for the most part 0753
for the present 0823
for the purpose of ~ing 0754
for the sake of ~ 0638
forbid A from ~ing 0329
force A into ~ing 0485
Forget it. 0980
forgive A for B 0288
free A from B 0447
be free from ~ 0569
be free to do 0584
from ~ point of view 0713
from scratch 1048
from the bottom of one's heart 1140
FYI 1183

G

generally speaking 0755
get across ~ 0165
get away with ~ 0047
get back 0087
get by 0027
get down to ~ 0166
get in the way (of ~) 0448
get into ~ 0088
get into the habit of ~ing 0486
get lost 0330
get off ~ 0010
get on ~ 0011
get on A's nerves 1092
get on with ~ 0116
get out of ~ 0048
get out of hand 1070
get ready (for ~) 0411
get the ball rolling 1113
get the better of ~ 0487
get the point 0412
get through ~ 0004
get to ~ 0049
get together 0089
give ~ a try 0360
give A a call 0310
give A a ride 0361
give A the cold shoulder 1104
give A the green light 1141
give away ~ 0050
Give it a try. 0901
Give me a break. 0887
Give my regards to ~. 0963
give out 0167
give priority to ~ 0488
give up on ~ 0168
glance at ~ 0489
go ~ing 0331
go ahead 0028
go all out 1177
go along with ~ 0169
go away 0029
go bad 0490
go bankrupt 0389
go blind 0449
go by 0051
go Dutch 1114
go for ~ 0170
Go for it. 0914
go hand in hand (with ~) 0491
go on a diet 0492
go out 0012
go out of business 0362
go out with ~ 0117
go so far as to do 0493
go the extra mile 1049
go to the trouble of ~ing 0494
go with ~ 0030
go without ~ 0090
go wrong 0390
God helps those who help themselves. 1057
be good for ~ 0528
Good for you! 0888
a good many ~ 0738
green with envy 1115
Guess what! 0992
be guilty of ~ 0625
a gut feeling 1170

H

hand down ~ 0091
hand over ~ 0171
a handful of ~ 0671
hang on 0052
hang out 0118
hang up 0031
hardly ~ when ... 0682
be harmful to ~ 0557
have ~ in mind 0257
have ~ on one's mind 0289
have a good command of ~ 0258
have a good time 0290
have a high opinion of ~ 0259
have a liking for ~ 0495
have a look at ~ 0332
have a lot on one's plate 1178
Have a nice day. 0929
have a point 0496
Have a seat. 0964
have a sweet tooth 1093
have a word with ~ 0363
have access to ~ 0239
have an advantage over ~ 0497
have butterflies in one's stomach 1142
have confidence in ~ 0413
have no idea 0260
have one's hands full 1143
Having done ~, ... 0714
having said that 0865
head for ~ 0498
hear of ~ 0214
help oneself to ~ 0240
here and there 0824
Here we are. 0993
hide A from B 0450
History repeats itself. 1144
hit it off (with A) 1145
hit on ~ 0053
hit the sack 1146
hold back ~ 0092
hold on to ~ 0172
hold up ~ 0032
hope for ~ 0451
a host of ~ 0809
a hot potato 1136
How about you? 0889
How are you feeling? 0981
How did it go? 0915
How far is it (from here)? 0902
How much do I owe you? 1009
How would you like to pay? 0890
How would you like your steak? 1023
Hunger is the best sauce. 1179

I

I bet ~. 1039
I can't believe it! 0872
I can't thank you enough. 0965
I can't wait. 0949
I didn't catch that. 0903
I didn't mean it. 0916
I guess so. 0994
I know what you mean. 0995
I owe you one. 0950
I really appreciate it. 0891
I see what you mean. 0917
I see your point. 0951
I suppose so. 1040
I told you so. 1010
I was wondering if you could ~. 0982
I wish I could. 0873
I'd be happy to. 0952
I'd better be going. 1024
I'll be right there. 0918
I'll get it. 1025
I'll have ~. 0874
I'll make it up to you. 1011
I'll show you the way. 0966
I'm afraid I don't agree. 0983
I'm all ears. 0892
I'm glad you like it. 0996
I'm happy for you. 0984
I'm lost. 0953
I'm not following you. 0954
I'm not in the mood (for ~). 1026
I'm not so sure about that. 1027
I'm running late. 1028
I'm sorry to bother you. 0997
I'm sorry to have kept you waiting. 0875
I've caught a cold. 0998
I've had enough. 1041
identify A as B 0452
If I were you, I'd ~. 0893
if it were not for ~ 0646
if only ~ 0756
If you ask me, ~. 0999
be ignorant of ~ 0626
impose A on B 0241
be impressed with ~ 0594
in (the) light of ~ 0789
in a hurry 0715
in a minute 0825
in a row 0716
in a sense 0662
in a way 0757
in accordance with ~ 0758
in all 0826
in all likelihood 0866
in any case 0717
in brief 0718
in case of ~ 0647
in common 0648
in comparison with ~ 0759
in conclusion 0683
in contrast to ~ 0663
be in danger of ~ing 0595
in demand 0790
in detail 0684
in exchange for ~ 0685
in fashion 0827
in favor of ~ 0632
in honor of ~ 0760
in hot water 1094
be in love with ~ 0570
in need of ~ 0686
in no time 0719
in no way 0828
in part 0791
in person 0664
in place of ~ 0649
in practice 0792
in preparation for ~ 0761
in public 0639
in reality 0762
in response to ~ 0640
in retrospect 0829
in return 0687
in return for ~ 0688
in search of ~ 0689
in secret 0672
in short supply 0830
in the distance 0831
in the face of ~ 0720
in the first place 0650
be in the habit of ~ing 0596
in the meantime 0763
in the nick of time 1116
in the process of ~ 0764
in the same boat 1058
in the same way 0832
in the sense that S V 0793
in the world 0794
in total 0833
be in trouble 0606
in turn 0690
in vain 0641
in view of ~ 0795
be inclined to do 0558
include A in B 0291
be indifferent to ~ 0559
be indispensable to ~ 0614
interact with ~ 0261
interest A in B 0292
invest A in B 0453
invest in ~ 0391
invite A to B 0226
Is that so? 1029
Is there anything I can do? 0894
It doesn't matter. 0904
it follows that ... 0499
It is kind of A to do 0546
It is natural (for A) to do 0834
It is never too late to learn. 1095
It is not too much to say that ~ 0392
It looks good on you. 0919
It never occurred to me. 0955
It never rains but it pours. 1096
It slipped my mind. 0905
It was nice meeting you. 1000
It won't take long. 1030
It's a deal. 0906
It's a small world. 0956
It's all Greek to me. 0895
It's getting late. 1012
It's just around the corner. 0930
It's my fault. 0931
It's no big deal. 0876
It's none of your business. 1001
It's not my cup of tea. 0877
It's within walking distance. 0985

J

be jealous of ~ 0585
A journey of a thousand miles begins with a single step. 1107
judging from ~ 0721
jump on the bandwagon 1117
jump to conclusions 1071
Just kidding. 0967

K

be keen on ~ 0571
keep (oneself) in shape 0500
keep away from ~ 0013
keep down ~ 0054
keep off ~ 0017
keep one's fingers crossed 1047
keep one's promise 0262
keep one's temper 0414
keep out (of ~) 0006
keep pace with ~ 0393
keep to ~ 0093
keep track of ~ 0333
keep up ~ 0005
Keep up the good work. 0968
kick off (~) 0173
kick out ~ 0131
knock down ~ 0109
knock out ~ 0055
know ~ like the back of one's hand 1162
know A from B 0454
know better (than to do) 0227
Knowledge is power. 1097

L

be lacking in ~ 0627
later on 0796
lay down ~ 0132
lay off ~ 0056
lay out ~ 0018
lead a ~ life 0394
learn the ropes 1118
leave ~ alone 0364
leave A for B 0215
leave A to B 0242
Leave it to me. 0878
Leave me alone. 1013
lend A a hand 0365
let alone ~ 0722
let go of ~ 0094
let in ~ 0057
Let me introduce myself. 1014
Let me see. 0932
Let me think about it. 0920
let out ~ 0133
Let's call it a day. 0933
Let's go Dutch. 1002
Let's split the bill. 0907
be liable to do 0615
lie ahead (of ~) 0134
lie down 0119
lie in ~ 0095
Like father, like son. 1119
Likewise. 1015
limit A to B 0334
link A to B 0263
live off ~ 0192
live on ~ 0019
live with ~ 0174
long for ~ 0293
look A in the eye 0294
look around (~) 0135
look on 0136
Look on the bright side. 1003
look through ~ 0096
lose interest in ~ 0501
lose one's way 0415
lose touch with ~ 0366
lose track of ~ 0416
lose weight 0455
Love is blind. 1120

M

be made into ~ 0572
be made up of ~ 0542
major in ~ 0228
make a choice 0335
make a contribution to ~ 0336
make a distinction between A and B 0456
make a face 0502
make a fool of ~ 0276
make a habit of ~ing 0367
make A into B 0337
make a mountain out of a molehill 1147
make a profit 0417
make a promise 0457
make a reservation 0458
make a speech 0503
make an appointment (with ~) 0395
make an attempt (to do) 0504
make an excuse 0505
make an impression on ~ 0338
make ends meet 0339
make for ~ 0137
make good ~ 0506
Make hay while the sun shines. 1163
make it 0216
make light of ~ 0418
make money 0311
make no difference (to ~) 0396
make one's way 0264
make oneself at home 0295
make up with ~ 0058
many a ~ 0797
be married to ~ 0586
may as well do 0340
Maybe some other time. 0969
be meant to do 0628
meet one's needs 0397
meet the deadline 0419
meet with ~ 0120
mention A to B 0265
mess up ~ 0175
might as well A as B 0507
Mind your own business. 0957
miss out (on ~) 0059
miss the boat 1121
mix up ~ 0097
more often than not 0765
more or less 0691
most of all 0766
move in 0138
move on 0121
Be my guest. 0900
My treat. 0934

N

be nervous about ~ 0573
never ~ without ...ing 0312
never fail to do 0368
next to ~ 0723
a night owl 1108
no later than ~ 0867
no less than ~ 0767
no more than ~ 0724
No news is good news. 1122
not ~ any longer 0665
not ~ in the least 0835
not all that ~ 0836
not always 0666
Not bad. 0958
not long before ~ 0725
Not much. 0921
not one's cup of tea 1050
Not really. 0896
not so much A as B 0667
nothing short of ~ 0768
Nothing ventured, nothing gained. 1123

O

be obliged to do 0529
of importance 0668
be of interest 0597
~ of one's own 0675
on account of ~ 0669
on behalf of ~ 0633
on board 0837
on business 0798
on condition that ~ 0799
on duty 0838
on earth 0769
on fire 0839
on foot 0770
be on good terms with ~ 0587
on no account 0840
on occasion 0868
on one's guard 0869
on sale 0771
on schedule 0772
on the basis of ~ 0773
on the face of it 0800
on the move 0841
on the one hand 0726
on the point of ~ing 0842
on the same page 1124
on the tip of one's tongue 1098
on the verge of ~ 0843
on top of ~ 0801
once ~（接続詞） 0727
once in a while 0692
once upon a time 0844
one ~, another ... 0693
one after another 0651
one of these days 0802
only too 0774
open up (~) 0193
or else 0673
order A from B 0508
originate in ~ 0509
out of control 0728
out of date 0694
out of order 0695
out of reach 0803
out of sight 0845

out of the question 0670
be over 0021
over the moon 1099
owing to ~ 0642

P

a pain in the neck 1054
be particular about ~ 0598
pass by (~) 0194
pass down ~ 0110
pass on ~ 0033
pass out (~) 0060
pave the way for ~ 0266
pay A for B 0217
pay a visit to ~ 0341
pay back ~ 0122
be peculiar to ~ 0616
persist in ~ 0398
persuade A into ~ing 0459
persuade A of B 0460
pick on ~ 0139
pick out ~ 0098
A picture is worth a thousand words. 1063
play a trick on ~ 0369
play down ~ 0140
play it by ear 1085
point to ~ 0061
be poor at ~ 0530
be preferable to ~ 0617
prepare A for B 0342
be prepared for ~ 0543
be prepared to do 0574
present A with B 0243
be present at ~ 0599
Prevention is better than cure. 1125
pride oneself on ~ 0296
prior to ~ 0696
protest against ~ 0461
provide for ~ 0399
pull an all-nighter 1126
pull off ~ 0111
pull over 0176
pull up (~) 0195
punish A for B 0267
put ~ at risk 0370
put ~ into words 0510
put A into B 0268
put aside ~ 0034
put away ~ 0062
put down ~ 0099
put emphasis on ~ 0297
put forward ~ 0100
put pressure on ~ 0371
put the blame on ~ 0420
put through ~ 0196
put together ~ 0123
put up ~ 0063

R

rain cats and dogs 1072
range from A to B 0269
reach out (to ~) 0177
react to ~ 0270
read between the lines 1073
recognize A as B 0400
red tape 1074
reduce A to B 0298
reflect on ~ 0343
regardless of ~ 0634
relate to ~ 0344
be relevant to ~ 0618
remain to be seen 0462
require A of B 0511
rescue A from B 0463
resort to ~ 0401
be rich in ~ 0531
rid A of B 0299
ring a bell 1075
rule of thumb 1164
rule out ~ 0064
run a business 0372
run across ~ 0101
run after ~ 0141
run away (from ~) 0065
run down ~ 0197
run for ~ 0124
run over ~ 0125
run short (of ~) 0402

S

be safe and sound 0619
Same to you. 0986
save ~ for a rainy day 1148
save A from B 0244
Say hello to ~ (for me). 0908
be scared of ~ 0575
scold A for B 0229
scores of ~ 0846
search A for B 0245
search for ~ 0218
be second to none 0629
see eye to eye (with A) 1046
see little of ~ 0512
see much of ~ 0513
see through ~ 0142
see to it that S V 0313
seeing (that) S V 0729
sell like hot cakes 1165
sell out 0102
send for ~ 0178
be sensitive to ~ 0560
separate A from B 0300
set ~ free 0514
set a goal 0515
set about ~ 0143
set an example (to ~) 0373
set aside ~ 0103
set back ~ 0198
set fire to ~ 0301
set in 0144
set out 0035
settle down 0104
settle for ~ 0126
Shall I ~? 0879
shed light on ~ 0302
be short of ~ 0532
show off (~) 0066
shut down (~) 0179
be sick of ~ 0561
side by side 0730
sign up for ~ 0036
a silver lining 1156
single out ~ 0180
sit on the fence 1127
a slip of the tongue 1171
Slow and steady wins the race. 1100
slow down (~) 0105
small talk 1128
So far, so good. 0935
So many men, so many minds. 1129
so much for ~ 1042
so to speak 0775
So what? 0987
something of a ~ 0847
be sorry for ~ 0533
sort out ~ 0181
A sound mind in a sound body. 1172
sour grapes 1149
speak ill of ~ 0345
Speak of the devil. 0988
speak out (against ~) 0199
speak up 0182
speak well of ~ 0346
speaking of ~ 0804
specialize in ~ 0246
Speech is silver, silence is golden. 1076
stand by (~) 0014
stand in line 0516
stand up for ~ 0015
stand up to ~ 0067
stare at ~ 0464
starve to death 0403
stay away from ~ 0200
stay up 0068
stem from ~ 0404
step by step 0697
step down 0183
step up ~ 0201
stick to ~ 0037
A stitch in time saves nine. 1173
stop by (~) 0184

be strict with ~ 0588
strictly speaking 0848
strike a balance (between A and B) 0517
struggle for ~ 0185
struggle with ~ 0303
be subject to ~ 0576
be successful in ~ 0600
Suit yourself. 0936
be suitable for ~ 0544
sum up ~ 0069
supply B to A 0465
surrender to ~ 0106
be surrounded by ~ 0562
sympathize with ~ 0405

T

take ~ seriously 0406
take ~ with a grain of salt 1130
take a break 0271
take a chance 0347
take a day off 0421
take A for B 0230
take a look at ~ 0348
take a picture (of ~) 0374
take a risk 0349
take a walk 0518
take action 0247
take an interest in ~ 0422
take away ~ 0186
take back ~ 0127
Take care of yourself. 0922
Take care. 0897
take charge of ~ 0304
take control of ~ 0407
take down ~ 0145
take effect 0408
take hold of ~ 0519
take measures 0248
take medicine 0423
take note of ~ 0424
take notes (on ~) 0350
take notice of ~ 0251
take out ~ 0128
take pains (to do) 0375
take pity on ~ 0520
take responsibility for ~ 0351
take steps (to do) 0305
take the trouble to do 0277
take to ~ 0146
talk A out of ~ing 0249
talk over ~ 0187
tell a lie 0314
Tell me about it. 0880
tell on ~ 0202
tell the difference (between A and B) 0306
Thank you for coming. 1004
be thankful for ~ 0607
Thanks anyway. 0909
that is (to say) 0731
That reminds me. 1031
That rings a bell. 0923
That's a bargain. 0970
That's a good point. 0971
That's a relief. 0924
That's it. 1032
That's not what I meant. 1033
That's the spirit. 1005
the apple of A's eye 1166
the ball is in A's court 1077
the bottom line 1131
be the case 0589
the chances are (that) ... 0849
the former ..., the latter ... 0674
The grass is always greener on the other side (of the fence). 1051
The line is busy. 0972
The more, the merrier. 1016
the other way around 0776
The pen is mightier than the sword. 1078
the pros and cons 1132
The reason (why) ~ is that ... 0850
The sooner, the better. 0937
the tip of the iceberg 1079
There is no royal road to learning. 1080
There is something wrong with ~ 0534
There's no hurry. 0973
There's no place like home. 1133
There's no smoke without fire. 1081
think highly of ~ 0231
think little of ~ 0272
think outside the box 1101
think over ~ 0107
think twice 0307
This is between you and me. 1017
through thick and thin 1082
throw in the towel 1083
Time and tide wait for no man. 1102
Time's up. 1043
~ times as ... as — 0676
be tired from ~ 0545
to ~ extent 0652
to be honest 0732
to begin with 0698
be to blame 0577
to date 0733
~ to death 0808
to make matters worse 0699
to one's advantage 0870
to put it another way 0805
to say nothing of ~ 0777
to say the least (of it) 0851
to the best of one's knowledge 0778
to the effect that ... 0852
together with ~ 0779
Too many cooks spoil the broth. 1084
transform A into B 0352
treat A as B 0308
treat A to B 0309
be true of ~ 0608
Truth is stranger than fiction. 1103
try on ~ 0070
try out ~ 0129
turn a blind eye (to ~) 1052
turn in ~ 0016
turn off ~ 0071
turn on ~ 0072
turn over ~ 0203
turn over a new leaf 1134
Two heads are better than one. 1059
be typical of ~ 0601

U

be unable to do 0602
under construction 0780
under repair 0853
under way 0854
be unique to ~ 0620
be unlikely to do 0590
be unwilling to do 0609
up in the air 1053
up to date 0781
ups and downs 1150
use up ~ 0108

V

be versed in ~ 0630
a vicious circle 1137
view A as B 0250

W

wait on ~ 0130
wake up (~) 0073
Walls have ears. 1151
warm up (~) 0147
warn A against ~ing 0466
warn A of B 0232
waste A on B 0273
watch out (for ~) 0074
Watch your step. 1044
Way to go! 0974
wear off 0204
Well done! 0910
be well off 0578
What a coincidence! 0938
What a pity! 0989
What a surprise! 1018
What are you up to? 0898
What can I do for you? 0939

What do you do? 0881
What for? 0975
What has become of ~? 0376
What have you been up to? 0940
What if ~? 0806
what is more 0700
what is worse 0855
What makes you think so? 0941
what to do 0734
what with A and B 0871
What would you recommend? 0942
What's going on? 0911
What's new? 1034
When is it convenient for you? 0882
whether A or B 0643
white-collar 1180
Who cares? 1019
Who is it that ~? 0856
Who knows? 1035
a win-win situation 1157
wipe out ~ 0188
with ~ in mind 0782
with A + 前置詞句 0735
with a view to ~ing 0736
With pleasure. 0925
with regard to ~ 0653
with respect to ~ 0857
without fail 0783
word for word 0858
work on ~ 0038
be worn out 0621
be worthy of ~ 0622
Would you like me to ~? 0926
wouldn't do 0274
wrap up ~ 0189
write down ~ 0039

Y

yield to ~ 0467
You bet. 0976
You can count on me. 0977
You can do it. 0990
You can lead a horse to water, but you can't make it drink. 1152
You can't be serious. 0978
You can't teach an old dog new tricks. 1153
You got it. 0959
You have a point. 0912
You have the wrong number. 0883
You know what? 1045
You look pale. 1036
You reap what you sow. 1154
You said it! 0943
You should see a doctor. 0979
You shouldn't have. 1037

原田英語の英熟語・イディオム問題集　Vol.2 標準編（STANDARD）

1183 問（4 択）＋ 1183 問（書き込み式）

2026 年 11 月　初版

著者・発行：原田英語　https://www.haradaeigo.com/eijukugo/

この PDF は個人の学習・学校の授業で自由に印刷して使えます。無断での転載・再配布・販売はできません。

問題・例文・解説はすべてオリジナルです。誤りを見つけたら、サイトからお知らせください。